

新保田中村前遺跡Ⅳ

一級河川染谷川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第4分冊

第6・7次の調査

《骨角製品・動物遺体編・写真図版編》

1994

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第176集

しん ぼ た なかむらまえ
新保田中村前遺跡Ⅳ

一級河川染谷川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第4分冊

第6・7次の調査

《骨角製品・動物遺体編・写真図版編》

1994

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



1 弭や簪等の各種の骨角製品



2 有角柄頭

目 次

口 絵

1	新保田中村前遺跡出土の骨角製品	金子浩昌	1
2	新保田中村前遺跡出土の脊椎動物遺体	金子浩昌	66

挿 図

第1図	弭形鹿角製品作出例 (1/2)		7
第2図	V形簪作出例 (1/2)		9
第3図	有馬遺跡出土鉄剣と有角柄頭の装着試案 (2/3)		13
第4図	柄頭出土例 (1/3・縮尺不同)		14
第5図	弭形鹿角製品出土例 (縮尺不同)		15
第6図	簪出土例		17
第7図	鐵・劍形加工品 (1/2)		22
第8図	錐状・やす状刺突具・刺突具 (1/2)		23
第9図	刺突具未製品・篋状加工品 (1/2)		24
第10図	尺骨刺突具 (1) (1/2)		25
第11図	尺骨刺突具 (2) (1/2)		26
第12図	尺骨刺突具 (3) (1/2)		27
第13図	イノシシ犬歯加工品 (1/2)		27
第14図	有角柄頭 (1) (1/2)		28
第15図	有角柄頭 (2) (1/2)		29
第16図	有角柄頭 (3) (1/2)		30
第17図	有角柄頭 (4) (1/2)		31
第18図	有角柄頭 (5) (1/2)		32
第19図	有栓弭形角製品・弭形角製品 (2/3・1/2)		33
第20図	垂飾・輪切り・紡錘車 (2/3・1/2)		34
第21図	髪飾 (2/3)		35
第22図	卜骨 (1) (1/2)		36
第23図	卜骨 (2) (1/2)		37
第24図	卜骨 (3) (1/2)		38
第25図	卜骨 (4) (1/2)		39
第26図	卜骨 (5) (1/2)		40
第27図	卜骨 (6) (1/2)		41
第28図	卜骨 (7) (1/2)		42
第29図	シカ角未製品・断材 (1) (1/2・1/3)		43
第30図	シカ角断材 (2) (1/3)		44
第31図	シカ角断材 (3) (1/3)		45
第32図	シカ角断材 (4) (1/3)		46
第33図	加工品・イノシシ上顎骨 (1/2・1/3)		47
第34図	ウシ大腿骨右実測図 (1/2)		74

写 真 図 版

1	鐵・劍形加工品 (1/2)		48
2	錐状・やす状刺突具・刺突具 (1) (1/2)		48
3	錐状・やす状刺突具・刺突具 (2) (1/2)		49
4	刺突具未製品・篋状加工品 (1/2)		50
5	尺骨刺突具 (1) (1/2)		51
6	尺骨刺突具 (2) (1/2)		52
7	尺骨刺突具 (3) (1/2)		53
8	イノシシ犬歯加工品 (1/2)		53
9	有角柄頭 (1) (1/2)		54
10	有角柄頭 (2) (1/2)		55
11	有角柄頭 (3) (1/2)		56
12	有角柄頭 (4) (1/2)		57
13	有栓弭形角製品・弭形角製品 (2/3・1/2)		58
14	垂飾・輪切り・紡錘車 (2/3・1/2)		59
15	髪飾 (2/3)		59
16	卜骨 (1) (1/2)		60
17	卜骨 (2) (1/2)		61
18	卜骨 (3) (1/2)		62
19	シカ角未製品・断材 (1) (1/2・1/3)		62
20	シカ角断材 (2) (1/3)		63
21	シカ角断材 (3) (1/3)		64
22	シカ角断材 (4) (1/3)		65
23	加工品 (1/2)		65
24	各種動物遺体 (ヒト・ニホンザル・ツキノワグマ・オオカミ・イヌ・タヌキ・カワウソ・キジ) (1/2)		123
25	イノシシ 環椎・頸椎・胸椎・腰椎・肋骨 (1/2)		124
26	イノシシ 頭蓋骨 (1/2)		125
27	イノシシ 頭蓋骨 R・L (1/2)		125
28	イノシシ 上顎骨 L (1/2)		126
29	イノシシ 上顎骨 R (1/2)		127
30	イノシシ 下顎骨 R・L (1/2)		128
31	イノシシ 下顎骨 R (1/2)		128
32	イノシシ 下顎骨 L (1/2)		129
33	イノシシ 肩甲骨 R・L (1/2)		130
34	イノシシ 上腕骨 L (1/2)		131
35	イノシシ 上腕骨 R (1/2)		131
36	イノシシ 橈骨 R・L (1/2)		132
37	イノシシ 尺骨 L (1/2)		133
38	イノシシ 尺骨 R (1/2)		133
39	イノシシ 寛骨 R・L (1/2)		134
40	イノシシ 大腿骨 R・L (1/2)		134
41	イノシシ 脛骨 L (1/2)		135
42	イノシシ 脛骨 R (1/2)		135
43	イノシシ 腓骨・手根骨・足根骨・中手骨・中足骨・指趾骨 (基節・中節・末節) (1/2)		136
44	イノシシ 距骨・踵骨 L (1/2)		137
45	イノシシ 距骨・踵骨 R (1/2)		137
46	ニホンジカ 頸椎・胸椎・腰椎 (1/2)		138
47	ニホンジカ 環椎・軸椎 (1/2)		138
48	ニホンジカ 頭蓋骨 R・L (1/2)		139
49	ニホンジカ 角 L/ウシ 大腿骨 R (1/3)		140
50	ニホンジカ 上顎骨 R・L (1/2)		141
51	ニホンジカ 下顎骨 L (1/2)		142
52	ニホンジカ 下顎骨 L (1/2)		142
53	ニホンジカ 下顎骨 R (1/2)		143
54	ニホンジカ 下顎骨 R (1/2)		144
55	ニホンジカ 肩甲骨 R・L (1/2)		145
56	ニホンジカ 上腕骨 L (1/2)		146
57	ニホンジカ 上腕骨 R (1/2)		146
58	ニホンジカ 橈骨 L (1/2)		147
59	ニホンジカ 橈骨 R (1/2)		147
60	ニホンジカ 尺骨 R・L (1/2)		148
61	ニホンジカ 中手骨 R・L (1/2)		148
62	ニホンジカ 寛骨 L (1/2)		149

63	ニホンジカ	寛骨	R (1/2)	149
64	ニホンジカ	大腿骨	L (1/2)	150
65	ニホンジカ	大腿骨	R (1/2)	150
66	ニホンジカ	脛骨	L (1/2)	151
67	ニホンジカ	脛骨	R (1/2)	152
68	ニホンジカ	距骨	L (1/2)	153

69	ニホンジカ	距骨	R (1/2)	153
70	ニホンジカ	踵骨	L (1/2)	154
71	ニホンジカ	踵骨	R (1/2)	154
72	ニホンジカ	手根骨・足根骨・肋骨	R・L (1/2)	155
73	ニホンジカ	中足骨	R・L (1/2)	155
74	ニホンジカ	指趾骨 (基節・中節・末節)	(1/2)	156

写真図版目次

図版1-1	新保田中村前遺跡E・F区全景 (北西より)
-2	調査区中央を流下する染谷川 (南より。左岸がE区、右岸がF区。)
図版2-1	E区住居跡調査風景 (南より)
-2	E区住居跡調査風景 (北西より)
-3	E区2号河川跡調査風景 (南西より)
-4	E区2号河川跡調査風景 (北より)
-5	E区2号河川跡木器取り上げ作業風景 (北西より)
-6	E区2号河川跡木器取り上げ作業風景 (北西より)
-7	出土木器水洗作業風景 (西より)
-8	出土木器基本整理作業風景 (西より)
図版3-1	E区調査区東壁土層断面 (北半部、北西より。)
-2	E区調査区東壁土層断面 (南半部、南西より。)
図版4-1	E区I面全景 (北より)
-2	E区I面全景 (南より)
図版5-1	E区I面柱穴群 (西より)
-2	E区I面51号溝 (南より)
-3	E区I面52号溝 (北西より)
図版6-1	E区I面98号溝 (東より)
-2	E区I面99~101号溝 (北西より)
-3	E区I面道路状遺構 (北西より)
図版7-1	E区I面1号溜井 (西より)
-2	E区I面1号溜井 (南西より)
-3	E区I面3号河川跡 (南より)
図版8-1	E区I面93号土坑 (東より)
-2	E区I面95・96号土坑 (南より)
-3	E区I面97号土坑 (東より)
-4	E区I面99号土坑 (南より)
-5	E区I面98号土坑 (南より)
-6	E区I面98号土坑土層断面 (南より)
-7	E区I面100号土坑 (南より)
-8	E区I面102号土坑 (南より)
図版9-1	E区II面全景 (北より)
-2	E区II面全景 (西より)
図版10-1	E区II面北半部全景 (南西より)
-2	E区II面中央部全景 (西より)
-3	E区II面南半部全景 (北西より)
図版11-1	E区II面179・180号住居跡 (南東より)
-2	E区II面179号住居跡遺物出土状態 (西より)
-3	E区II面179・180号住居跡土層断面 (西より)
-4	E区II面181・182号住居跡 (西より)
-5	E区II面183号住居跡 (西より)
-6	E区II面183号住居跡掘り方 (北西より)
-7	E区II面183号住居跡遺物出土状態 (西より)
-8	E区II面183号住居跡遺物出土状態 (西より)
図版12-1	E区II面184・185・198号住居跡 (西より)
-2	E区II面184・185・198号住居跡掘り方 (西より)
-3	E区II面184号住居跡カマド (西より)
-4	E区II面184号住居跡床面下落込み (西より)
-5	E区II面186・187・199号住居跡 (西より)
-6	E区II面186・187・199号住居跡掘り方 (西より)
-7	E区II面186号住居跡カマド (西より)
-8	E区II面187号住居跡カマド (西より)

図版13-1	E区II面188・202号住居跡 (西より)
-2	E区II面188・202号住居跡掘り方 (西より)
-3	E区II面188号住居跡カマド (西より)
-4	E区II面188号住居跡遺物出土状態 (西より)
-5	E区II面202号住居跡カマド (西より)
-6	E区II面189・190号住居跡 (西より)
-7	E区II面189・190号住居跡掘り方 (西より)
-8	E区II面189号住居跡カマド掘り方 (西より)
図版14-1	E区II面191号住居跡 (西より)
-2	E区II面191号住居跡掘り方 (西より)
-3	E区II面191号住居跡カマド (西より)
-4	E区II面191号住居跡貯蔵穴 (北西より)
-5	E区II面193号住居跡 (西より)
-6	E区II面193号住居跡遺物出土状態 (西より)
-7	E区II面193号住居跡カマド前掘り方 (北西より)
-8	E区II面193号住居跡掘り方遺物出土状態 (南西より)
図版15-1	E区II面192号住居跡 (西より)
-2	E区II面192号住居跡遺物出土状態 (北西より)
-3	E区II面194号住居跡 (西より)
-4	E区II面194号住居跡 (北より)
-5	E区II面195・200号住居跡 (西より)
-6	E区II面195号住居跡カマド・貯蔵穴 (北西より)
-7	E区II面195号住居跡遺物出土状態 (西より)
-8	E区II面195・200号住居跡カマド掘り方 (西より)
図版16-1	E区II面197号住居跡 (西より)
-2	E区II面197号住居跡カマド掘り方 (南西より)
-3	E区II面201号住居跡 (東より)
-4	E区II面201号住居跡カマド (北東より)
-5	E区II面柱穴群と1号円形周溝遺構 (北より)
図版17-1	E区II面1号円形周溝遺構 (西より)
-2	E区II面108号土坑 (西より)
-3	E区II面110・111号土坑 (北西より)
-4	E区II面109号土坑 (東より)
-5	E区II面109号土坑土層断面 (西より)
図版18-1	E区III面水田跡全景 (北西より)
-2	E区III面水田跡 (北西より)
図版19-1	E区IV面島跡全景 (北西より)
-2	E区IV面島跡 (南より)
-3	E区IV面島跡 (西より)
-4	E区IV面島跡 (北東より)
-5	E区IV面島跡のS字竪出土状態 (北西より)
図版20-1	E区V面全景 (北西より)
-2	E区V面台地部住居群全景 (北西より)
図版21-1	E区V面163・164・205号住居跡 (南より)
-2	E区V面205号住居跡1号炉 (南より)
-3	E区V面205号住居跡出入口柱穴 (南より)
-4	E区V面103号溝 (西より)
-5	E区V面112号土坑 (西より)
図版22-1	E区V面2号河川跡木器出土状態全景 (北東より)
-2	E区V面2号河川跡河道全景 (南より)
図版23-1	E区V面2号河川跡木器出土状態全景 (南より)
-2	E区V面2号河川跡木器出土状態全景 (北より)
図版24-1	E区V面2-2号河川跡東西土層断面 (南より)

	- 2	E区V面2-1号河川跡東西土層断面(南より)		- 4	F区II面212号住居跡カマド(西より)
	- 3	E区V面2号河川跡南北土層断面(西より)		- 5	F区II面213号住居跡(西より)
図版25-1		E区V面2-2号河川跡木器出土状態全景(北より)		- 6	F区II面213号住居跡カマド(西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡木器出土状態全景(南より)		- 7	F区II面213号住居跡貯蔵穴(西より)
図版26-1		E区V面2-2号河川跡南半部木器出土状態(西より)		- 8	F区II面213号住居跡北東隅の落ち込み(西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡北半部木器出土状態(南東より)	図版40-1		F区II面214号住居跡(西より)
図版27-1		E区V面2-2号河川跡南端部木器出土状態(西より)		- 2	F区II面214号住居跡カマド(西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡中央部木器出土状態(東より)		- 3	F区II面214号住居跡貯蔵穴(西より)
図版28-1		E区V面2-2号河川跡の板材や分割材の出土状態(2E68グリット周辺、南東より。)		- 4	F区II面216~219・220・239・240号住居跡(西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡の板材の出土状態(2D67グリット周辺、東より。)		- 5	F区II面216号住居跡カマド(西より)
	- 3	E区V面2-2号河川跡の容器・糸巻・鉄・分割材の出土状態(2D68グリット周辺、北東より。)		- 6	F区II面216号住居跡貯蔵穴(西より)
図版29-1		E区V面2-2号河川跡の丸木弓と鉄の出土状態(2D70グリット周辺、東より。)		- 7	F区II面216~218号住居跡掘り方(北西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡の長柄鋤の出土状態(2D69グリット周辺、東より。)		- 8	F区II面220・239・240号住居跡掘り方(西より)
	- 3	E区V面2-2号河川跡の鉄(未製品)の出土状態(2C69グリット周辺、北より。)	図版41-1		F区II面221~225・227・241・242号住居跡(西より)
図版30-1		E区V面2-2号河川跡の斧柄の出土状態(2E69グリット周辺、南より。)		- 2	F区II面221号住居跡カマド(西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡の分割材の出土状態(2E70グリット周辺、南より。)		- 3	F区II面222・225号住居跡カマド(西より)
	- 3	E区V面2-2号河川跡の丸木弓の出土状態(2E69グリット周辺、東より。)		- 4	F区II面223号住居跡カマド(南西より)
図版31-1		E区V面2-2号河川跡の環状金属器の出土状態(2D68グリット、東より。)		- 5	F区II面224号住居跡カマド(西より)
	- 2	E区V面2-2号河川跡のシカ下顎の出土状態(2D70グリット、西より。)		- 6	F区II面221~225号住居跡掘り方(西より)
	- 3	E区V面2-2号河川跡のイノシシ頭骨とシカ角の出土状態(2E70グリット、東より。)		- 7	F区II面228号住居跡(西より)
図版32-1		E区V面2-1号河川跡木器出土状態全景(南より)		- 8	F区II面228号住居跡貯蔵穴(西より)
	- 2	E区V面2-1号河川跡河道全景(南より)	図版42-1		F区II面229~233号住居跡(西より)
図版33-1		E区V面2-1号河川跡木器出土状態全景(南より)		- 2	F区II面229号住居跡カマド(西より)
	- 2	E区V面2-1号河川跡木器出土状態全景(北より)		- 3	F区II面229号住居跡貯蔵穴(西より)
図版34-1		E区V面2-1号河川跡の木橋の出土状態(2E69グリット、西より。)		- 4	F区II面231号住居跡カマド(南西より)
	- 2	E区V面2-1号河川跡の木橋の出土状態(2E69グリット、北東より。)		- 5	F区II面231号住居跡貯蔵穴(西より)
	- 3	E区V面2-1号河川跡の木橋に打ち込まれた杭の出土状態(2E69グリット、南より。)		- 6	F区II面233号住居跡カマド(西より)
図版35-1		E区V面2-1号河川跡の自然木の出土状態(2E70グリット周辺、南東より。)		- 7	F区II面229~233号住居跡掘り方(西より)
	- 2	E区V面2-1号河川跡の建築材の出土状態(2E66グリット周辺、南西より。)		- 8	F区II面114号土坑(西より)
	- 3	E区V面2-1号河川跡の壁白の出土状態(2E69グリット周辺、南東より。)	図版43-1		F区III面水田跡全景(南より)
図版36-1		E区V面2-1号河川跡の長柄又鋤と分割材の出土状態(2E68グリット周辺、北西より。)		- 2	F区III面水田跡全景(北より)
	- 2	E区V面2-1号河川跡の又鋤の出土状態(2E67グリット周辺、東より。)	図版44-1		F区V面全景(北より)
	- 3	E区V面2-1号河川跡の竪柱の出土状態(2E68グリット周辺、南西より。)		- 2	F区V面全景(南西より)
図版37-1		F区I・II面全景(北より)	図版45-1		F区V面243・245~247・252号住居跡(南より)
	- 2	F区I・II面全景(南より)		- 2	F区V面246号住居跡遺物出土状態(西より)
図版38-1		F区I・II面北半部全景(西より)		- 3	F区V面252号住居跡遺物出土状態(南東より)
	- 2	F区I・II面中央部全景(西より)	図版46-1		F区V面234・244・250・253号住居跡(西より)
	- 3	F区I・II面南半部全景(西より)		- 2	F区V面251号住居跡(東より)
図版39-1		F区II面209・210号住居跡(西より)		- 3	F区V面251号住居跡炉(南より)
	- 2	F区II面211・212・215・236号住居跡(西より)	図版47-1		F区V面254~256号住居跡(北より)
	- 3	F区II面211号住居跡カマド(西より)		- 2	F区V面248・249・256号住居跡(東より)
				- 3	F区V面256号住居跡シカ角出土状態(南西より)
				- 2	F区V面257・259号住居跡(西より)
				- 3	F区V面257号住居跡遺物出土状態(西より)
				- 2	F区V面257号住居跡炉(東より)
				- 3	F区V面235・258~260号住居跡(北より)
				- 2	F区V面261~263号住居跡(北より)
				- 3	F区V面115号土坑(東より)
			図版50-1		E区I面51号溝出土遺物
				- 2	E区I面1号溜井出土遺物
				- 3	E区I面3号河川跡出土遺物(1)
			図版51-1		E区I面3号河川跡出土遺物(2)
			図版52-1		E区II面179号住居跡出土遺物
				- 2	E区II面181・183号住居跡出土遺物
				- 3	E区II面184・185号住居跡出土遺物
				- 4	E区II面186号住居跡出土遺物
			図版53-1		E区II面186・187・202号住居跡出土遺物
				- 2	E区II面188号住居跡出土遺物(1)
			図版54-1		E区II面188号住居跡出土遺物(2)
				- 2	E区II面190号住居跡出土遺物
				- 3	E区II面189・201号住居跡出土遺物
			図版55-1		E区II面192号住居跡出土遺物

- 2 E区Ⅱ面193·196号住居跡出土遺物
- 3 E区Ⅱ面195·197号住居跡出土遺物
- 4 E区Ⅳ面鳥跡出土遺物
- 図版56-1 E区Ⅴ面163号住居跡出土遺物
- 2 E区Ⅴ面205号住居跡出土遺物
- 3 E区Ⅴ面207号住居跡・113号土坑出土遺物
- 4 E区Ⅴ面103号溝出土遺物
- 図版57-1 2-2号河川跡下層出土土器(1)
- 図版58-1 2-2号河川跡下層出土土器(2)
- 図版59-1 2-2号河川跡下層出土土器(3)
- 図版60-1 2-2号河川跡下層出土土器(4)
- 図版61-1 2-2号河川跡下層出土土器(5)
- 図版62-1 2-2号河川跡下層出土土器(6)
- 図版63-1 2-2号河川跡下層出土土器(7)
- 2 2-2号河川跡下層出土土器(8)
- 図版64-1 2-2号河川跡下層出土土器(9)
- 図版65-1 2-2号河川跡下層出土土器(10)
- 図版66-1 2-2号河川跡下層出土土器(11)
- 図版67-1 2-2号河川跡下層出土土器(12)
- 図版68-1 2-2号河川跡下層出土土器(13)
- 図版69-1 2-2号河川跡下層出土土器(14)
- 図版70-1 2-2号河川跡下層出土土器(15)
- 図版71-1 2-2号河川跡下層出土土器(16)
- 図版72-1 2-2号河川跡下層出土土器(17)
- 図版73-1 2-2号河川跡下層出土土器(18)
- 図版74-1 2-2号河川跡下層出土土器(19)
- 図版75-1 2-2号河川跡下層出土土器(20)
- 図版76-1 2-2号河川跡下層出土土器(21)
- 図版77-1 2-2号河川跡下層出土土器(22)
- 図版78-1 2-2号河川跡下層出土土器(23)
- 図版79-1 2-2号河川跡下層出土土器(24)
- 図版80-1 2-2号河川跡下層出土土器(25)
- 図版81-1 2-2号河川跡下層出土土器(26)
- 図版82-1 2-2号河川跡下層出土土器(27)
- 図版83-1 2-2号河川跡下層出土土器(28)
- 図版84-1 2-2号河川跡中層出土土器(1)
- 図版85-1 2-2号河川跡中層出土土器(2)
- 図版86-1 2-2号河川跡中層出土土器(3)
- 図版87-1 2-2号河川跡中層出土土器(4)
- 図版88-1 2-2号河川跡中層出土土器(5)
- 2 2-1号河川跡下層出土土器(1)
- 図版89-1 2-1号河川跡下層出土土器(2)
- 図版90-1 2-1号河川跡下層出土土器(3)
- 図版91-1 2-1号河川跡下層出土土器(4)
- 図版92-1 2-1号河川跡下層出土土器(5)
- 図版93-1 2-1号河川跡下層出土土器(6)
- 図版94-1 2-1号河川跡下層出土土器(7)
- 図版95-1 2-1号河川跡下層出土土器(8)
- 図版96-1 2-1号河川跡下層出土土器(9)
- 図版97-1 2-1号河川跡下層出土土器(10)
- 図版98-1 2-1号河川跡下層出土土器(11)
- 図版99-1 2-1号河川跡下層出土土器(12)
- 図版100-1 2-1号河川跡下層出土土器(13)
- 図版101-1 2-1号河川跡下層出土土器(14)
- 図版102-1 2-1号河川跡下層出土土器(15)
- 図版103-1 2-1号河川跡中層出土土器(1)
- 図版104-1 2-1号河川跡中層出土土器(2)
- 図版105-1 2-1号河川跡中層出土土器(3)
- 図版106-1 2-1号河川跡中層出土土器(4)・2号河川跡上層出土土器(1)
- 図版107-1 2号河川跡出土土器(1)
- 2 2号河川跡出土土器(2)
- 図版108-1 2号河川跡出土土器(3)
- 図版109-1 2号河川跡出土土器(4)
- 図版110-1 2-1号河川跡中層出土土器(5)
- 図版111-1 2-1号河川跡中層出土土器(6)
- 図版112-1 2-1号河川跡中層出土土器(7)
- 図版113-1 2-1号河川跡中層出土土器(8)
- 図版114-1 2-1号河川跡中層出土土器(9)
- 図版115-1 2-1号河川跡中層出土土器(10)
- 図版116-1 2-1号河川跡中層出土土器(11)
- 図版117-1 2-2号河川跡中層出土土器(6)
- 図版118-1 2-2号河川跡中層出土土器(7)・2号河川跡上層出土土器(2)
- 図版119-1 2号河川跡上層出土土器(3)
- 図版120-1 2号河川跡出土土製品
- 図版121-1 2-2号河川跡下層出土石器(1)
- 2 2-2号河川跡下層出土石器(2)
- 図版122-1 2-2号河川跡下層出土石器(3)
- 図版123-1 2-2号河川跡下層出土石器(4)
- 図版124-1 2-2号河川跡下層出土石器(5)
- 2 2-2号河川跡下層出土石器(6)
- 図版125-1 2-2号河川跡下層出土石器(7)
- 2 2-2号河川跡中層出土石器(1)
- 図版126-1 2-2号河川跡中層出土石器(2)
- 図版127-1 2-1号河川跡下層出土石器(1)
- 図版128-1 2-1号河川跡下層出土石器(2)
- 図版129-1 2-1号河川跡下層出土石器(3)
- 2 2-1号河川跡下層出土石器(4)
- 図版130-1 2-1号河川跡下層出土石器(5)
- 2 2-1号河川跡中層出土石器(1)
- 図版131-1 2-1号河川跡中層出土石器(2)
- 2 2-1号河川跡中層出土石器(3)
- 図版132-1 2-1号河川跡上層出土石器(1)
- 2 2-1号河川跡上層出土石器(2)
- 図版133-1 2-2号河川跡上層出土石器
- 図版134-1 2号河川跡上層出土土製品
- 2 2-2号河川跡上層出土金屬器
- 3 2-2号河川跡下層出土木器(1)
- 図版135-1 2-2号河川跡下層出土木器(2)
- 図版136-1 2-2号河川跡下層出土木器(3)
- 図版137-1 2-2号河川跡下層出土木器(4)
- 図版138-1 2-2号河川跡下層出土木器(5)
- 図版139-1 2-2号河川跡下層出土木器(6)
- 図版140-1 2-2号河川跡下層出土木器(7)
- 図版141-1 2-2号河川跡下層出土木器(8)
- 図版142-1 2-2号河川跡下層出土木器(9)
- 図版143-1 2-2号河川跡下層出土木器(10)
- 図版144-1 2-2号河川跡下層出土木器(11)
- 図版145-1 2-2号河川跡下層出土木器(12)
- 図版146-1 2-2号河川跡下層出土木器(13)
- 図版147-1 2-2号河川跡下層出土木器(14)
- 図版148-1 2-2号河川跡下層出土木器(15)
- 図版149-1 2-2号河川跡下層出土木器(16)
- 図版150-1 2-2号河川跡下層出土木器(17)
- 図版151-1 2-2号河川跡下層出土木器(18)
- 図版152-1 2-2号河川跡下層出土木器(19)
- 図版153-1 2-2号河川跡下層出土木器(20)
- 図版154-1 2-2号河川跡下層出土木器(21)
- 図版155-1 2-2号河川跡下層出土木器(22)
- 2 2-2号河川跡中層出土木器(1)
- 図版156-1 2-2号河川跡中層出土木器(2)
- 図版157-1 2-2号河川跡中層出土木器(3)
- 2 2-1号河川跡下層出土木器(1)

- 図版158-1 2-1号河川跡下層出土木器 (2)
 図版159-1 2-1号河川跡下層出土木器 (3)
 図版160-1 2-1号河川跡下層出土木器 (4)
 図版161-1 2-1号河川跡中層出土木器 (1)
 図版162-1 2-1号河川跡中層出土木器 (2)
 図版163-1 2-1号河川跡中層出土木器 (3)
 図版164-1 2-1号河川跡中層出土木器 (4)
 図版165-1 2-1号河川跡中層出土木器 (5)
 図版166-1 2-1号河川跡中層出土木器 (6)
 図版167-1 2-1号河川跡中層出土木器 (7)
 図版168-1 2-1号河川跡中層出土木器 (8)
 図版169-1 2-1号河川跡中層出土木器 (9)
 図版170-1 2-1号河川跡中層出土木器 (10)
 図版171-1 2-1号河川跡中層出土木器 (11)
 図版172-1 2-1号河川跡中層出土木器 (12)
 図版173-1 2-1号河川跡中層出土木器 (13)
 図版174-1 2-1号河川跡中層出土木器 (14)
 図版175-1 2-1号河川跡上層出土木器
 -2 グリットおよび2号河川跡出土の縄文土器
 図版176-1 F区Ⅱ面209・210号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅱ面212号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅱ面213号住居跡出土遺物 (1)
 図版177-1 F区Ⅱ面213号住居跡出土遺物 (2)
 -2 F区Ⅱ面214号住居跡出土遺物
 図版178-1 F区Ⅱ面211・214号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅱ面215・216号住居跡出土遺物
 図版179-1 F区Ⅱ面216号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅱ面217・219・239号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅱ面221号住居跡出土遺物
 図版180-1 F区Ⅱ面222・223号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅱ面224号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅱ面225・227号住居跡出土遺物
 -4 F区Ⅱ面228号住居跡出土遺物 (1)
 図版181-1 F区Ⅱ面228号住居跡出土遺物 (2)
 -2 F区Ⅱ面229号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅱ面231号住居跡出土遺物 (1)
 -4 F区Ⅱ面231号住居跡出土遺物 (2)
 -5 F区Ⅱ面グリット出土遺物
 図版182-1 F区Ⅴ面243号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅴ面234・244号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅴ面245・246号住居跡出土遺物
 図版183-1 F区Ⅴ面252号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅴ面248号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅴ面256号住居跡出土遺物
 -4 F区Ⅴ面251号住居跡出土遺物 (1)
 図版184-1 F区Ⅴ面251号住居跡出土遺物 (2)
 -2 F区Ⅴ面254号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅴ面257号住居跡出土遺物
 図版185-1 F区Ⅴ面258・260号住居跡出土遺物
 -2 F区Ⅴ面261号住居跡出土遺物
 -3 F区Ⅴ面262号住居跡出土遺物

1 新保田中村前遺跡出土の骨角製品

金子浩昌

I. 利器

a. 鎌 (B-41~44, 第7図, 図版1)

1. 犬歯製 (B-43)

牙製品で完存する2点がある。イノシシの雄の下顎犬歯の舌側エナメル質面が使われる。幅の広い五角形を呈し、イノシシ下骨犬歯の湾曲をほとんど見せない作りである。裏側は左右側面と底面の三面が作られるような形に面取りされ、細かい擦痕が残る。また中央の部分はやや平らに加工され、穿孔される。

2. 犬歯製 (B-42)

イノシシの下顎犬歯が使われている。上記の製品と比較すると幅も狭く小さい。五角形を呈するといっても、丸みをもって不整形である。裏側の右上には犬歯咬面が残されていて、この製品が犬歯のかなり先の方を使って作られていることがわかる。本製品の幅が狭いのも、こうした材料の取り方に関係がある。

3. 鹿角製 (B-44)

確認された製品は1点である。器体は砲弾型、柄部は一部を残すのみである。先端は僅かに欠損。器体は平滑に加工、断面は円形、丁寧な仕上げであったようである。柄の部分の折れ口でみると角の内側に海綿体を全く見ない。素材は鹿角の枝であろう。

b. やす状刺突具 (B-3・4・6・17・85・86・106, 第8図, 図版2・3)

1. (B-3) 幅の広い作りであり、断面はやや平たい。シカの中手もしくは中足骨の側面が使われている。器体の半ば位が残るのであろう。先端に近い位置の表裏両面に斜行する細擦痕が顕著に付く。この先端部は研磨されて尖るということはないので、この部分が柄に当たることも考えられる。

2. (B-4) やや幅の広い作りである。亀裂、破損などで原形を完全に保っていない。シカの中足骨の後面の隆起部が使われている。現存の状態は亀裂な

どによって、幅が少しく広がっていることが考えられる。内側に髓腔面がみられる。断面は三角状を呈している。

3. (B-17) 幅の狭い作りである。シカの中手もしくは中足骨の後面の隆起部分が使われ、三角形の断面形がよくみられる。内側の髓腔面がやや広くみられる。先端部が欠損するが、この部分の骨の裂き面に擦痕がみられるが、これは先端を尖らせる加工であったと思われる。器体の反対側にも擦痕がつくが、先は尖らない。こちら側が柄部になるのであろう。

4. (B-6) シカの中手もしくは中足骨の利用である。全体をかなり削り込んでいるために骨の原形が失われている。このことは骨の髓腔面を一部しかみないことからでもわかる。器体の先端はおそらくこの細く削った部分の先の方であったのであろう。基部の方も失われている。

5. (B-86) 幅の狭い作りである。シカの中手もしくは中足骨の後面が使われるが、全体を細く削り込むために髓腔面は著しく狭いものになっている。もともと形のととのったものである。擦痕などの加工痕をみないのはその部分が折れて失われているのであろう。

6. (B-85) 細く削られた先をもつ刺突具である。幅の広い方の端に中手もしくは中足骨の近位骨端がみられる。この部分は特に加工されず、自然の形状が残されている。やや広く残し、柄としたのであろう。先端も骨を割った際の割れ面がそのまま残された状態であり、整形された道具とは思えない。

7. (B-106) 刺突具の形に骨が裂かれたものである。シカの脛骨の前面部「前縁」と呼ばれている部分の下部から骨体にかけてが使われている。骨質が薄いので、若い個体の骨であろう。なお器面に骨器製作のための特別な加工痕を認めることはできない。

c. 錐状の加工品 (B-2・5, 第8図, 図版2)

1 骨角製品

1. (B-5) 先端部分を残す。シカの中手もしくは中足骨の側面部を細く裂いて一方の端を尖らせたものの。表裏に斜行する擦痕がつくが、全体の形を整えることはなかったようである。

2. (B-2) 先端部分のみを残す。ごく一部が残されるのみであるため、全体の形は不明である。上記の例よりは整形されたものであったかもしれない。

d. イノシシの腓骨をつかった刺突具 (B-7・18, 第8図, 図版3)

1. (B-18) 腓骨の遠位骨端を柄部としてほぼ中央あたりで切断し、先を尖らせたものである。遠位骨端の幅が広く骨体も太い。大形の成獣のものであったと思われる。

2. (B-7) 腓骨の遠位部から骨体を残し、先端を尖らす。先端には使用痕と思われる擦痕がつく。現在下端の遠位骨端はないが、骨化が完全でなく、外れたのであろう。

e. 肋骨製の刺突具 (B-12, 第8図, 図版3)

イノシシあるいはシカの肋骨を使ったもので、先端が尖り、基部と思われる部分はそれらしい丸みをみる。しかしそれらの部分を詳細に観察しても、先端を尖らしたり、基部を作り上げる研磨加工の痕跡などは明瞭でない。さらに簡単な作りのものなのであろうか。

f. 鹿角製の刺突具 (B-8・13・105, 第8図, 図版3)

1. (B-8) 鹿角枝を切断、先端を尖らせたもの。基部と思われる部分は欠損してない。先端は鋭く尖るが、表面に研磨擦痕などの痕跡はほとんどみない。こうした痕跡は使用中に摩滅消失したものと思われる。

2. (B-13) 鹿角の第1枝と思われる部分を使う。縦に半裁し、先端を尖らしている。やや反りのあるのは、角の自然の曲がりである。本製品にも特に目立った加工痕をみることはない。

3. (B-105) 鹿角の縦に割れた破片である。先端

が尖るような形になっているが、現存するのは最先端ではないようである。全体の整形痕はほとんどみられない。

g. 幅広の骨器 (B-107~111・120・141・142, 第9図, 図版4)

シカの中手もしくは中足骨加工品

1. (B-141) 完存品。右側中足骨の後面側を使ったもの。近位骨端部を残し、骨体のほとんど全長を使ったものと思われる。近位骨端とそれに近い骨体の部分と先端側の加工が認められる。以下にのべるシカの中手もしくは中足骨の加工品は、大部分がこのような製品となったと思われる。

2. (B-110) 中手もしくは中足骨の側面部の利用品で、やや幅が狭い。縦に裂いた壁面には研磨された痕が明瞭である。

3. (B-107) 前後両端を欠き、原形の推定が難しい。中手もしくは中足骨を骨体の中央で縦に割ったもの。器体の両側は研磨され、骨器の一部であったことは明瞭である。一方の端を尖らせた加工品になろう。

4. (B-108) 中足骨後面を使っているもの。内側の片側面に割面を調整しようとした打撃面がみられる。未製品であろうか。

5. (B-109) 中足骨の前面をさらに半裁したものである。幅はかなり狭くなり、一方の端は多少細まる。内側の壁には調整のための打撃面が多少みられる。

6. (B-111) 中足骨前面を中央で左右に半裁したものの。かなり長く残され、骨体部の全体が使われていると思われる。遠位部に近い方に調整の打ち欠き面が残る。

7. (B-142) 中足骨の側面を使った半裁品である。片側に中足骨前面の溝を僅かにみる。短い断片であり、作業途中で折れたものであろう。

8. (B-120) 骨部位不明。中手もしくは中足骨製。先端が尖るような作りであるが、あまり整形された製品ではない。

h. 小形の篋状の加工品 (B-88・99・146, 第8・9図, 図版3・4)

1. (B-146) 形の整えられた加工品である。中手骨の前面部から側面部が利用され、骨体の表面の一部に中手骨の前溝が見える。先端は篋状に丸みをもっており、反対部は柄部のような摘みが作られている。内側の骨壁面には横に走る擦痕がつき、平らな面を作っている。外側表面には加工痕は認められない。
2. (B-88) シカもしくはイノシシの肋骨の半裁品。肋骨を半裁、形を整えている。表裏面共に擦痕がみられる。元の部分は形が不明であるが、やや細まっていたのであろう。先端部と思われる部分は摩滅。
3. (B-99) 鹿角の枝の半裁品。さらに切断面を擦って平滑な面を作っている。原形がこのままのものであったか、多少篋状をなしていたか不明である。

i. 鹿角加工・未製品 (B-10・89～92・104・121・122, 第29図, 図版19)

1. (B-89) 鹿角の平板である。両面がかなり削られ、薄い板になっている。五角形に作られ、底辺に挟りが入るようにみえるが、これが特別な加工であるかどうかはよくわからない。
2. (B-90) 枝部を切断して半裁、先端の方に刻みが入るが、意図的な加工痕ではないであろう。枝の基部の方に切断痕とさらに1条の切り込みがはいる。この切り込みは枝を半裁してからつけられたもので、何らか製品と関連がある加工と思われる。
3. (B-10) 角幹部を五角形に切り、柄の付いた形のもの。全体が板状で鹿角の凹凸が残り、僅かであるが擦痕もみられる。しかし、どのようなものができるのか判然としない。
4. (B-122) 角幹部の半裁、かまぼこ型のもの。一定の長さに切断された角幹を半裁。表面の凹凸を削り込んで、大小の平らな削り面の集まる面ができ、裏側は一面のほぼ平らな面になっている。何かの未製品なのであろうが、直接に製品を示唆するものはない。

5. (B-92) 鹿角枝部の加工品で枝の先端は折れている。もともとは折れていないものであったろう。一定の長さで切られた枝部は、表面に浅い削り面を残して整形されているので、鹿角の自然の形そのままを利用しようとはしていないようである。中央よりやや下に細く1条の刻み線がはいる。何かの目印であったのであろう。

6. (B-121) 真っ直ぐに延びる角で、表面には凹凸がない。角冠部をつくる長い角の一部ではなかったかと思われる。一部に削り痕がみられる以外に加工痕はなく、未製品としてもごく初期の段階にあるものであろう。

j. 針状の鹿角製品 (B-14, 第8図, 図版3)

鹿角を細く削ったもので弓なりに曲がる。表面の腐食が著しく加工の状況を詳しく観察できないのが残念である。

k. 剣形の鹿角製品 (B-24, 第7図, 図版1)

太い鹿角の角幹部を使って作った剣形の製品である。角幹を適当な長さに切断、縦に半裁、一方を柄として使うために表面側から挟りをいれて区画し、中央に小孔をあける。器体は周囲を研磨して滑らかにしてはいるが、かなりずんぐりとした感じのつくりである。尖端は欠けるが、形はほぼ推定できる。

剣形といっても、形態に鋭さはないので、儀器的な要素の強い製品ではなかったかと思われる。

l. 尺骨製の刺突具 (B-11・20・21・100・112～114・125～140, 第10～12図, 図版5～7)

シカの尺骨を使った刺突具である。近位骨端に近い部分を把持する場所とし、骨体部が器体として使われるのである。器体部として使われているのは、半円形の滑車切痕の下端の鈎状突起から60～70mmの長さのところまでであって、それ以上に長いのはない。これは尺骨の骨体と橈骨とが遊離している間がこの位の長さであるからであって、これより先は細くなって橈骨と癒合するのである。

1 骨角製品

加工は尺骨を橈骨から外して、橈骨との接合部以下を折り、その際の折れ口を整形しながら尖頭器としての形を整えていったと思われる。製品の多くは尖頭部が均整のとれた槍先状の形になっていたらしいことが推測される。

現存する製品で元の形のよくのこされているのは鋭く尖っているもので、使用されたと思われるのは先端がやや丸みを帯びているのである。こうした尖頭部には器体に平行に、つまり縦方向につく擦痕がみられ、おそらく整形にあたって付いた傷なのであろう。こうした傷は先端の摩耗が進んだものにはみないので、この骨器を使用するに当たっては、あまり傷が付くようなことはなかったと思われる。

m. イノシシ犬歯の加工品 (B-56・57・93～95・115～118, 第13図, 図版8)

装身具として加工された製品を除いたものをここにまとめておく。

1. (B-117) 左側下顎犬歯の加工品で、縦に割り遠心面を残す。切断面には擦痕がみられ、この部分を整形している。咬面が見えるので犬歯の先の方であることがわかる。

2. (B-118) 左側下顎犬歯を縦に半裁したものである。頬面は全面が残り舌側面は縦に半裁される。半裁面には擦痕がみえ、切断面を整形しているようである。

3. (B-115) 左側犬歯の加工品でエナメル質部分を切り取り、さらに幅10mmに縦に割ったものである。ただし、この縦割りはエナメル質部分のみが残されているのではなく、遠心面の一部も残り、その部分はエナメル質部分その分だけ狭くなっている。反対面には象牙質部分を削り取った際に付いた擦痕が縦横につく。エナメル質部分のみになっている部分で1.2mm、象牙質の残る部分で5mmの厚さである。もしこのままで使われたものとするれば筥状の道具というべきものなのであろう。

4. (B-95) 左側下顎犬歯で、頬側と遠心面が残るが、一個の犬歯が完存するのではなく、基部に近い

三分の一位を失っている。この欠損は当初からのものではないように思われる。反対面は象牙質部分を削った擦痕が一定方向に付けられ、犬歯を縦に割った面を整形している。この面の一部には手ずれ痕がみられ、この加工品が道具として手に持って使われていたことが推定される。

5. (B-94) 左側下顎犬歯の頬側面部を切り取ったものである。厚さ2.0mm、幅10mmの大きさに仕上げられているものである。反対面は整形した擦痕が一定方向に斜行してつく。

6. (B-93) 左側下顎犬歯の頬側の一部である。不定形のものであって、特定の製品を確認できない。しかし切断痕があり、意図的に形を整えようとしていたものとみられる。反対面は研磨され、平滑な面になっている。

7. (B-57) 右側下顎犬歯の遠心面部のみを残す破片である。舌側あるいは頬側のエナメル質部分を切除した後に残ったものと思われる。

8. (B-56) 右側下顎犬歯の遠心面部で、上記のものと同様の標本である。

9. (B-116) 右側下顎犬歯であるが、意図的な加工痕は中間部での折り取りの部分位である。

n. 鹿角製の有角柄頭

分類に当て柄頭の器体部と枝部の施紋、加工状況と素材となった鹿角の使用部位について特に留意した。

A. 施紋のみられない製品 (B-26・28・32・35・36, 第14・15図, 図版9・10)

1. (B-36) 器体頂部と枝部を欠く。やや小さい製品であるが、全体よく研磨、整形され整った形が作られ、鹿角製の柄頭の典型的な形態を作り出している。本器は両面からのかなりの研磨、偏平化にもかかわらず、鹿角の海綿体が見えないので鹿角自体小さいものであったと思われる。枝部との分岐部に僅かに鹿角の自然面をみる。

器体頂部が欠けるので、その部分の加工状況が不明であるが、おそらくブリッジ状加工があったのであ

ろう。基部は目釘穴を中心にして均整のとれた形に仕上げられ、台状の広がりを見せる。分岐部内側の抉りはかなり深く行われ、このために角幹部の海綿体が一部でみえる程である。

2. (B-35) 全体の形はほぼ完存する。器体の頂部にはブリッジ状加工がつくられ、枝部には隆帯部を残す。分岐部の内側に鹿角の自然面が残るが、その他の部分は鹿角の原形を深く抉り込み、かつ全体に偏平化が強い。このため基部の内外面には海綿体が部分的に露呈する。基部の穿孔は6ヶ所に開口するが、目釘穴は中央1ヶ所なのであろう。

3. (B-28) 器体と枝部の一部を残すのみのものである。枝部の先端部、器体部頂部に特別の加工はなかったらしいもっとも単純な作りの例である。分岐部に自然面の痕跡がのこる。

4. (B-26) 大形の製品である。基部が半分ほど失われている。器体の頂部はブリッジ状加工があったと思われるが、現在では失われている。海綿体の部分は深く抉れ、幅の広い溝をつくっている。

枝部の先端には特別の加工はないが、枝部の作り出しのために基部の内側が特に深く抉り込まれるが、この結果枝部の内側縁には海綿体の露呈が顕著である。

器体部から基部に至る裏面には装飾的な加工はみられないが、器体の頂部、溝のつく反面側の頂部には擦痕が横の方向に35mm位の幅で付く。この部分は多少窪むような形である。これは装飾的な加工とするよりも、ここに緊縛したものの滑り止めの加工ではなかったかと考えられ、柄頭の口部に鹿角角座の隆起の一部が残る。

5. (B-32) 枝部と基部の片側を欠く。全面の研磨が進み、平面化した表裏両面の一部に海綿体が露呈する。

器体頂部には方形の穴が大きく開き、これまでの作りと違う。器体部はやや角張った形に整形される。目釘穴は基部中央に1ヶ所で、他には穿孔されていない。器体部の傾きがやや強くみえるのも本製品の特徴で、素材となった鹿角の場所がこれまでの角座

部ではなく、第2枝の分岐部を使っているためである。

B.線刻の装飾施紋をもつ。(B-33・37,第17図,図版11・12)

1. (B-33) 全体はよく研磨、整形されている。器体頂部の表面に平行、斜行、交差する線刻の文様が刻まれる。本器につく施紋は比較的簡単なものであるが、頂点の縁に格子紋、一段下がった位置に斜行格子紋の二つの文様帯に分けようとしている意図をみることができる。

器体部は僅かな湾曲をもち頂部に穿孔、裏面にブリッジ状加工があった。裏面は破損部分が広く、海綿体が露呈する。枝部は細く先端に隆帯部が作られる。器体部との分岐部には鹿角の自然面が残り、角幹部との開きはほぼ自然のままのようであり、鹿角の角幹部の自然の形状を大きく変えることはなかったようである。基部は偏平化が強く表面に海綿体の一部露呈する。柄口部の内外縁の端には角座の凹凸隆起が削られてもなお残り、鹿角の利用部位をよく示している。

2. (B-37) 破損が著しいが、形態的にはもっとも整った形の製品であったと思われる。

まず器体部の頂部には15mmの幅に文様帯が設定され、斜行する線刻で交差文がつけられている。線刻はやや荒い線で刻まれるが、それだけに力強い感じもするのである。また器体部の全体が断面方形になるように面取りされているのも本器の特徴である。

器体部から分岐部にかけてはやや細まり、広い基部につながる。基部の半分は欠けるが、原形を推測することは不可能ではない。おそらく図に示したような形態が考えられよう。この部分も表裏両面を研磨してふくらみのある板状に整形されている。この加工のために海綿体の見える部分がある。

C.点刻の装飾施文をもつ。(B-25・27・34,第16図,図版11・12)

1. (B-27) 完存する製品である。やや小さい。全体に鹿角の自然の形がよくのこされ、鹿角の形がそのまま使われている。

1 骨角製品

器体部には頂部にブリッジ状加工が裏側に作られ、鹿角の中心を抜くように海綿部を穿孔する。器体部の表面には2組の点刻文が施紋される。点刻はほぼ等間隔につくが、3列もしくは4列に並ぶ。

枝部の先端部にも裏面にブリッジ状加工があり、さらに先端部からの海綿部の穿孔がみられる。

基部はほぼ平らに加工され、表面には横に9列の点刻が並ぶ。平面とされている範囲がこの点刻で埋められていることになる。柄口は鹿角の角幹部と直交するように切断されていて、角座があったような形態的特徴をみることがない。おそらくこの製品の使われた鹿角分岐部は第1枝の分岐部ではなく、第2枝分岐部になると思われる。この基部中央に目釘が縦に2個並ぶ。

2. (B-34) 表面は完存する全形をみることができ、裏面では基部が一部欠損する。やや小さいのは素材になった鹿角が小さいからである。

器体は研磨されてやや角張る形に仕上げられ、頂部の裏面にブリッジ状加工、それを貫通する縦溝が器体の半ばまで延びる。表面の頂部と中間部に点刻文が並ぶ。頂部のは横に4列、中間部のは5列が斜行して並ぶ。基部ではその中央の位置に縦に1列が並び、枝部では先端に3列が並ぶ。基部の形は角座部分の原形をよく残し、さらに中括れの形を作り、角座の自然隆帯のごく一部が残るのである。

目釘穴は4個が縦2個、横に2個と狭い中に並ぶ。この穿孔部の周辺には漆の塗布があったらしく、部分的な漆の痕跡を今日さらにみる。

3. (B-25) 部分的な破損がめだつが、原形をほぼ窺うことができる。全体の傾斜の強い特徴のある形態である。おそらく年令のいった個体の角が使われているためであろう。

器体部は太くやや角張った円柱状で頂部に点刻が施紋される。点刻は5列並ぶが個々の点刻の間隔が広いために、やや不揃いになるところもあった。頂部の裏面はブリッジ状加工があるが、幅は狭く穿孔部も短い。

基部は平たい板状にまで研磨され、分岐部分の周

辺も角張るような縁取りをしている。柄口部分は直線的で、角座を思わせる隆起帯などをみることはない。しかし、角座のあったことを推測させる特殊な孔が残されており、本製品では角座部分を意図的に削り取ったと考えられる。

枝部は角の第1枝の内側縁がかなり削られ細くなり、角状の感じが強く、第1枝の湾曲して突出する形をみせている。

この製品には部分的にであるが漆の塗布の痕跡がみられ、特に柄口部にはほぼ全面に塗られていたようである。

D. 破損品 (B-30・31・32②・39・40・101～103・124, 第14～18図, 図版9～12)

器体部の破片3点 (B-31・32②・124) があり、頂部に近い。ブリッジ状加工を作り、穿孔されている。これまで述べてきた製品と大きくは変わらない。無文2点、点刻をもつもの1点である。点刻列は2列が確認されるのみでもっとも簡単である。

基部の破損品は5点 (B-30・39・101～103) を数える。いずれも別々の個体のものであろう。点刻などの確認されたものはない。

枝部は1点 (B-40) がある。これは特別の作りであって、既存例に同じものはない。すなわち先端には隆起帯が巡る。興味ある形であるが、他の部分がどのようなになっているかを推定できる資料はない。

E. 未製品 (B-23, 第17図, 図版12)

製作の途次にあると考えられるものが、1点採取されている。器体部から基部にかけてのもので枝部のみが欠損するが、この欠損は埋没後の自然力によるもので、もしこれが廃棄されたものであったにしても今少し形の残るものではなかったかと思うのである。

器体部は鹿角の幹部を荒削りしている段階のもので、その加工面をよくみることができる。3～4mm幅の削り面が長くて4cm位続く部分、さらに幅広く、削り込んでいるところもある。分岐部に続くところが削り込まれ、海綿体がすでにみえている。基部となる部分は既に研磨され、平らな面が作られている。

柄口に当たる部分も平らに削られている。この部分に角座と思われる痕跡はなく、したがって素材として使われているのは、第1枝分岐部以外の場所である。

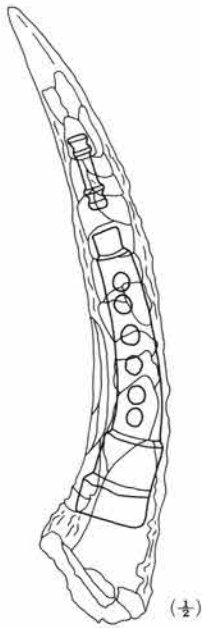
o. 弭形鹿角製品 (B-1・15・45~47, 第19図, 図版13)

穿孔のある製品

1. (B-46) 鹿角の第1枝の自然の湾曲をそのまま使ったものである。ソケット部を少し欠損している。他は器体部での損傷はない。

頂部に僅かな作り出しの部分があって、括れ部ができ、器体部にはいる。器体部はほぼ方形に面取りされているが、湾曲の背、腹面には中央に稜線が通るので六面体のような断面になる。

器体部は平滑、ここには背面を主として線刻による文様が施紋される。頂部には6条の平行する細刻が器軸と直交する横方向につけられ、やや間隔をおいた中間部には1もしくは2本の組線で3条の横線刻が付けられ、これにさらに斜行する線刻が重なる。そして下段には3条の横線と1もしくは2本の組線による斜交線刻が組み合わせられる。腹面部では下寄り



第19図 弭形鹿角製品作出例 (1/2)

に1ヶ所2本線の横線が付けられているのみである。

器体には6個の穿孔が背・腹と直交する方向に開き、その中に3本まで栓状の骨製品が装着された状態である。ソケット部は器体部よりも2段を付けて幅を広めている。ソケット内の深さ21.0、径13.0×10.12mm。

栓は鹿角製で海綿体が全くみえないところから、角の緻密質部が使われている。器体部の穿孔径と栓の最大径とはきわめて僅かな差でしかないので、他の穿孔にはいついた栓は抜け落ちたのであろう。

2. (B-47) 栓のすべてを失うが、器体はほぼ完存する。器体頂部には小さな括れ部をつくる。強い湾曲性をもつのが特徴であり、背・腹の方向に長い隅丸長方形の断面形である。この背・腹の両面に点と線による刻み文がつけられ、美しい文様の構成をみることができる。

背面の文様は4段構成で、最上部に2本の線刻を付け、その下から線刻を中心として連続する三角と弧線文からなる文様ができる。最下段のみ弧線文はつかない。文様を構成する三角と弧線は上段より下に向かう程大きくなり、施紋範囲の広くなることと対応する。腹面の文様は背面のそれと異なり、最上段のが線刻と点刻による三角文、次段が点刻による線文、3段目は線刻をはさむ弧線文、最下段は三角と弧線との完全な組み合わせ文である。これも上から下の施紋域が広まっていることと関係があるだろう。三角の点刻は、はじめ鋸歯状の点刻を並べ、さらにその中を小さい三角で埋めるようにしたものらしい。

穿孔は器体部に等しい間隔で同じ口径のものが配列する状態は、十分に計算された結果であったと思われる。穿孔はほとんど垂直に開けられている。

ソケット部の作りも丁寧で上下の両端に隆帯部をつくり、上段の隆帯部には、連続する三角文が交互に向きを変えて線刻される。

3. (B-45) ソケット部分のほぼ半分を欠損するが、栓は5本中4本が残り、この種の製品の原形をよく残すものといえよう。

1 骨角製品

器体部はほぼ方形の柱状の作りで、僅かな湾曲をもつものであったらしい。背面の彫刻はやや粗略で交差する太く深い線が縦に並ぶ。この交差線はこの種の製品につく基本的な文様であったようである。両側面にみられる穿孔の配列はほぼ等しい間隔である。残存する栓は両端に幅のある隆帯部がつくられ、片側の径が大きく、反対の側が小さい。細い方から差し込んだことがよくわかる。差し込む方向は4本とも一定で、腹面を手前に置いて、左側から差し込んでいる。

ソケット部は、器体部から2段に段差をつけて幅を広くしている。

穿孔を持たない製品

1. (B-15) 鹿角の枝部が使われる。器体の頂部につまみ状の小突起が付き、短い柱状の器体部がつくられ、1段幅を広めてソケット部になる。表面は平滑に研磨されるが、器体頂部などには切断痕が残り、ソケット部の表面に鹿角の自然面がみられるので素材は細い枝の部分であったろう。
2. (B-1) 鹿角の枝部であるが、半分が失われ、頂部も欠けている。もっとも単純な作りである。器体はやや楕円形の断面をもっていたものと思われる。器体のやや下方に横走る浅い溝がつく。

p. 紡錘車 (B-48, 第20図, 図版14)

鹿角の角座部分が使われる。角座部のみを切断して、その外周部の凹凸を削り落とし円盤をつくりあげる。周辺には鹿角の凹凸の間に貫通する小孔が残る。角幹側はわずかに凸面となり、角座骨側は凹面をなしている。

II. 装身具

a. 犬歯穿孔品

オオカミ犬歯 (B-52・53, 第20図, 図版14)

1. (B-52) 完存する。歯冠部は下顎犬歯との咬合の摩耗によって原形よりも細まり、また先端も摩耗して、小さな平坦部をつくる。歯根は大きく膨隆し、表面に縦皺が細かく走る。歯根は完全に閉鎖、垂飾

のための穿孔はこの末端に小さく開く。穿孔の両端は同じ口径であって、金属器で穿孔されたことが推定される。

2. (B-53) 完存するが、歯冠部に腐食部分があり、原形が損なわれる。先端は摩滅して平坦な面ができる。歯冠部分に光沢が強く、この部分がよく擦られるような状況があったのではないかと推測している。歯根部には縦皺が走り、歯髓腔は閉鎖、歯根のやや下方に小さく穿孔される。穿孔は両側から行われるが口径は小さい。

3. (B-54) 全体の形を残してはいるが、破損が著しい。歯冠部のエナメル質はごく一部を残して剝離し、先端は折れて欠損。歯根部の末端も腐食して厚みを失う。穿孔は歯根部の末端に近く開き、口径は両側とも同じである。

イノシシ犬歯 (B-55, 第20図, 図版14)

下顎犬歯左側が使われている。基部と先端がわずかつ欠損するが、ほぼ原形を窺うことは可能である。舌側のエナメル質の部分を切除した後の部分であって、頬側面のエナメル質部分と遠心面の一部が残る。表裏に擦痕が付いて整形の加工をしていることがわかる。垂飾のための穿孔は基部に近い位置に開けられているが、表面の研磨加工の後さらに手擦れで摩滅している面もある。

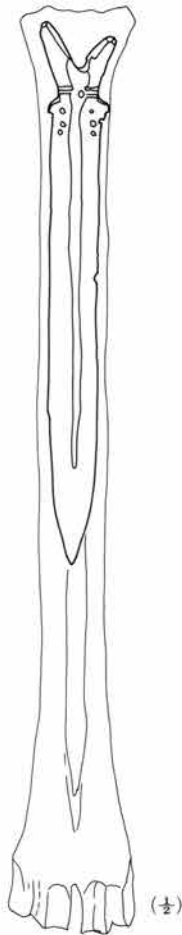
b. 鹿角製双脚の簪 (B-49・50, 第21図, 図版15)

1. (B-50) 円盤状の器体部と2本の脚部の基の部分を残す。円盤部は鹿角の角座部分が使われ、きれいな円板になるまで削り込んだものである。笠型に中央が少し高まり、周縁に数カ所角座部分にみる小孔がみられ、円盤部の内側に鹿角の海綿体が残されている。2本の脚は縁に近く並ぶ。これから長い脚が角幹の斜めに延びると同じ方向にあったのであろう。
2. (B-49) やや小さい中高の円盤と2本の脚が円盤の縁にならぶ。円盤の周辺には角座部分の小孔が幾つも開き、表裏ともに擦痕で整形される。内側は中窪みになり、笠型の形になる。脚はかなり斜めに

でたことが推測される。

c. V形の彫刻をもつ簪 (B-9・51, 第21図, 図版15)

1. (B-51) 幅の広い偏平な剣形の器体に種々の彫刻の加えられた簪と考えられる製品である。シカの中足骨の前面部を割り、これを両面から削り込み、レンズ状の断面形になるように仕上げる。この器体は先端に近い程薄く2.0~2.2mm、基に近いところで2.4mmである。中足骨前面の溝が中心に来、その頂部にV型の彫刻が付き、それに続いて細溝、凹凸、小穿孔などの彫刻が付く。穿孔は多少大小があるが径1.0~1.4mmである。この部分は中足骨の近位骨端で、種々の加工はこの骨端の骨の形を利用しているものである。



第2図 V形簪作出例 (1/2)

2. (B-9) 全体の作りが薄く、剣形の形をもち、頂部にV型の彫刻のある点など上記と同類の作りであるが、装飾加工の少ない製品であったと思われる。素材がシカの中手もしくは中足骨の側面部を使っているので、上記にみた表面の長い溝などをみないが、この骨の髓部分が浅い窪みになって残っているのは、意図的なものであった可能性もある。

Ⅲ. ト骨

イノシシ *Sus scrofa*、ニホンジカ *Cervus nippon* の肩甲骨を使ったト骨が多数出土している。素材となった動物種別に記述していく。

イノシシの肩甲骨 (B-22・58・59・61 ③・61 ④・98・144・145, 第22~25図, 図版16~18)

1. 右側 (B-58)。遠位骨端から骨体のほぼ半ば位までを残すもの。大形の肩甲骨である。肩甲棘の上面を削って平らにしている。その削り面が観察される。器体表面には擦痕が縦横に付く。この加工は欠損している部分によくみられたのではないと思われる。

現存する灼痕は6ヶ所であるが、さらに数ヶ所あった可能性がある。灼痕の多くは貫通した孔になって残り、周辺にわずかに焼痕を認め得る程度である。肋骨面の観察で棘上窩の最下部にある灼痕は中央の小孔の周囲が白く焼け、かなり高い温度であったことが推定される。その周囲は白っぽい状態から炭化した黒色に変わっている。この部分の反対面は緻密質部分が剥離するが、焼けて崩れたのであろう。

2. 右側 (B-59)。遠位骨端から全体の三分の一程度が残されるのみの破片。棘上窩部に2ヶ所灼痕をみとめるが、骨の焦げ目などは明瞭でない。

3. 左側 (B-145)。若く小さい個体のもの。近位骨端と肩甲頸部から後縁の一部を残す。灼痕孔の一部が1ヶ所みられるが、周辺の変化は明瞭でない。

4. 左側 (B-98)。大形の肩甲骨であるが、後縁部の一部を残すのみのものである。外側面には細かい擦痕が多数刻まれ、表面を削るような感じになる。おそらく全面にこのような加工があったのであろう。

1 骨角製品

内面の肋骨面では後縁に平行する隆帯部の表面に刻み目が付き、何らかの加工の行われていることがわかる。

灼痕孔の痕跡が隆帯部に沿って4~5ヶ所にみられるが、焼痕などは明瞭ではない。

5. 右側 (B-61③) であるが、肩甲骨後縁の近位骨端に近い一部が残されるのみである。棘下窩部に2ヶ所に並ぶ灼痕孔の一部をみるのみである。骨表面には擦痕がみられ、加工状況の一部をみる。

6. 左側 (B-144)。関節窩から肩甲頸部前縁の二分の一を残す。若くやや小さい肩甲骨である。関節窩が少し破損。表面の擦痕は肋骨面にみられるが、残存の部分ではごく一部を認めるのみである。灼痕は肋骨面の棘上窩部に5ヶ所位が認められ、1ヶ所は小円をなして形がよくのこる。焦痕などははっきりしない。

7. 左側 (B-61④) 後縁部の近位骨端寄りの一部を残す小片。やや小さい肩甲骨であったと思われる。この肩甲骨片の肋骨面には部分的であるが擦痕が認められ、さらに破損した部分の周辺には8ヶ所に灼痕孔の痕跡が認められた。その位置は棘下窩に当たる。この肩甲骨にはさらに多くの灼痕があったのであろう。そしてその骨壁の破損のために、この部分のみが切り取られてしまったものと考えられる。

8. 左側 (B-22)。近位骨端部をやや広く残す。自然の肩甲骨近位骨端の周辺を削り込んで、隅丸の形をつくり出している。さらに肩甲棘を削り、その部分は幅10mm位に緻密部分が欠け、浅く凹んだ面をつくり海綿体が露呈している状態である。骨の表面には擦痕が部分的にみられ、それはト骨として使われるものの加工に共通する。ただし、この骨面には灼痕とみられる痕跡はみることができない。本標本は全体の一部と思われるのであるが、これにみるのと同様の形態の加工品をみることがなく、したがって欠損部分についての復元、つまり原形がどのようなものであったかは、本遺跡の関係資料のみからは推測し難い。

シカの肩甲骨 (B-60・61①・61②・96・97・143, 第26~

28図, 図版16~18)

1. 左側 (B-143)。関節窩から肩甲頸と後縁部の半ば位がのこされる。本品にはト骨の灼痕は確認されていないが、肩甲棘が削られている点、現存する棘下窩の部分に細擦痕が全面に付けられ、ト骨としての調整をしていることは明かである。反対面の肋骨面にも擦痕はみるが、現存部にみる限りわずかである。

2. 左側 (B-97)。近位骨端の前縁と肩甲棘の近くが残される破片である。肩甲棘の部分は低く削り込まれ、削り込んだ加工痕をみる。灼痕は1ヶ所棘下窩に認めるのみである。もちろんこの1ヶ所ではなかったのであろうが、現在では確認し難い。

3. 右側 (B-60)。若くやや小さい個体のものである。肩甲棘についての加工は明瞭でない。棘下窩に縦に並ぶ灼痕が6ヶ所認められ、その痕跡部に焦痕が残る。骨壁面に擦痕加工があるようであるが、現存部からは顕著には認められない。

4. 右側 (B-96)。肩甲頸部から骨体の一部を残す破片。後縁を肩甲頸から肋骨面の隆帯部に沿って切断する。これは特殊な加工である。肩甲棘は削られて低い。こうした加工はみられたが、ト骨の灼痕の痕跡は残存部分には確認されていない。

5. 左側 (B-61①)。肩甲骨の後縁部の一部が残されているのみのも。灼痕は不確実のもの1ヶ所。骨壁面に僅かに擦痕がみられる。

6. 左側 (B-61②)。後縁部の一部。肋骨面のみが緻密部分で残る。つまり外側面は海綿体をみるのみ。灼痕の痕跡は1ヶ所。

新保田中村前遺跡出土骨角製品の形態的特徴と他遺跡資料との比較考察

本遺跡からは弥生時代後期に属する多くの骨角製品が知られている。おそらくその数はこれまでに知られてきた弥生時代諸遺跡の例のなかでも出色のものということができよう。しかもその遺跡の所在する場所が、これまでに知られる諸遺跡の集中域にあって、類例を増やしたというのではなく、全く新たな拠点として知られるべき遺跡であって、文化の

波及を知る上での重要な出土例といわねばなるまい。以下これまでに報告された出土例との比較検討を行い本遺跡製品の特徴と意義を考えてみたいと思う。

I. 利器

鎌

本遺跡の鎌はイノシシの下顎犬歯を素材とした2例と鹿角製1点である。イノシシの下顎犬歯製の2例は柄部を作らない比較的単純な作りであって、その形態はむしろ縄文期の系統を継ぐといってもよいと思われる。しかし、この時期のもの類品が少ないので簡単にはいえなないかも知れない。本遺跡のイノシシの下顎犬歯製鎌の一つは幅広く大形な作りである。縄文期にも全く同じ作りのものはない。そして今一つのものは幾度も使用して、その都度研磨してきたのではないかということをおぼせるものであった。

イノシシの下顎犬歯の加工品にはエナメル質部分を剝離したあとの残片ともいべきものが出土している。鎌を製作するのも目的の一つであったと考えている。

鹿角製の鎌は縄文から弥生期の類品は多い。本遺跡でもこうした製品を多く作ろうとしたことは加工された鹿角の出土からもわかる。

やす状の刺突具

シカの中手もしくは中足骨を素材として作られた単純な刺突具である。縄文期にはもっとも一般的に製作された道具であったが、弥生期ではこれが多数作られたという例がない。特に素材の扱い方で中足骨の後面の隆帯部を使い幅のある頑丈な作りのものが縄文期に特徴的であった。本遺跡でのこの種の製品は、素材としては同じものを扱いつつながら、製品はやや粗雑な作りであったり、細いものであったのである。この道具は漁具として使われたことが多かったのは、遺跡の立地、出土する魚類の遺体からみて推測できる。本遺跡でもそうした使用目的を考えたいが、魚類の遺骸を何一つ検出することができな

かった。この種の利器の貧弱なことは、使用の頻度ともかかわるのであろう。

篋状骨製品

シカの中手もしくは中足骨の前後側壁を使い、篋状に加工したものである。本遺跡における定形化した骨角器であったとみてよいと思われる。ただ破損したものが多く、形態のよくわかるのは1例くらいである。それほどよく使われた骨器であったのかも知れない。この種の製品はこれまでの出土資料にみる限り、弥生期のものは少なく、縄文期、特に東北地方に多い製品である。その製法、素材加工の方法など共通するところが多い。縄文期の製品とのつながりについては興味ある問題であるが、資料の増加をまたねばなるまい。

イノシシの腓骨製の刺突具

2点が出土するのみである。弥生期の製品としては稀なものではないかと思われるが、これに対して縄文期には比較的普遍的にみられたもので、例えば南西諸島沖縄方面なども含めたイノシシの棲息域全域に及んでいる。ところで、腓骨を使う場合、この骨の近・遠位骨端の形態がかなり異なるので、この骨端のいずれを先端部として加工するかによって反対側の基部となる部分の形態が変わってくるわけで、それはまた使用方法にも関係してきたはずである。本品のように遠位骨端を基部に使う方法は、骨端がしっかりしているので刺突具としては有効である。関東から東北地方にかけてこうした方法で製作された製品は多く、この地方に棲息した大形のイノシシを反映して、腓骨の製品も大形である。本例はこの製品のみをみれば縄文期のものと変わるところがない。その製作の技法もまた縄文期のそれを引き継いでいるとみることは可能であろう。

シカ尺骨製の刺突具

本製品はシカの尺骨の形態的な特徴を生かして製作された代表的な骨器である。もちろん縄文期から伝統的に製作されており、多くの出土例がある。ただし、その在り方は必ずしも普遍的ではなく、製作には地域や時期の上で片寄りがみられるようであ

1 骨角製品

る。弥生期においても同様であって、在り方の上にもられる片寄りが何を意味するか関心の持たれるところである。

縄文期における製作の中心の一つとしては東北地方があげられる。そして弥生期において本遺跡同様に多くの出土例をみたのは、東海地方の朝日遺跡が第一であろう。いずれも形態的に本遺跡例と変わるところがないようである。この道具の用途については確たる定説はない。道具としてはそう頑丈な骨質をもつものとも考え難い。先端に付く使用痕は細かく、しかもごく一部である。あまり激しい使用はなかったのではないと思われる。

剣形鹿角製品

1点であるが検出されている。真っ直ぐな器体、僅かに欠損してはいるが尖った先端部の形、1ヶ所に開く目釘穴などは剣をそのまま模したものといてもよいであろう。鹿角の鈍さはあるものの、その意図するところは十分に察知することができよう。ただ金属器の鋭さはなく、それははじめから考えていない製品とみてよいであろう。金属製品を模したであろうと考えられる骨角製品は牙製の鎌などにみる例はあるが、骨角製品として剣形につくられたものは稀ではないと思われる。そして本製品は儀器としてつくられたものに相違なく、その製作の目的、意図が何らか祭祀に関わるものであったのは十分に考えられるところである。

鹿角製の有角柄頭

本製品は新保遺跡の第一次調査の折りに多くの資料が出土してその存在が確認されたが、新保田中村前遺跡の調査によって更に多くの資料が得られ、形態的な分類、その使用法の具体的な方法も考えられるに至ったものである。

形態的な特徴についてはすでに詳細を記したが、今その重要点を列記するとすれば、次のようになろう。

1. 鹿角の角座部から第1枝を付けた角幹部が器体の中心になる。稀に第2枝の分岐する部分が使われたようである。角座部の突出はかなり削られるが、製

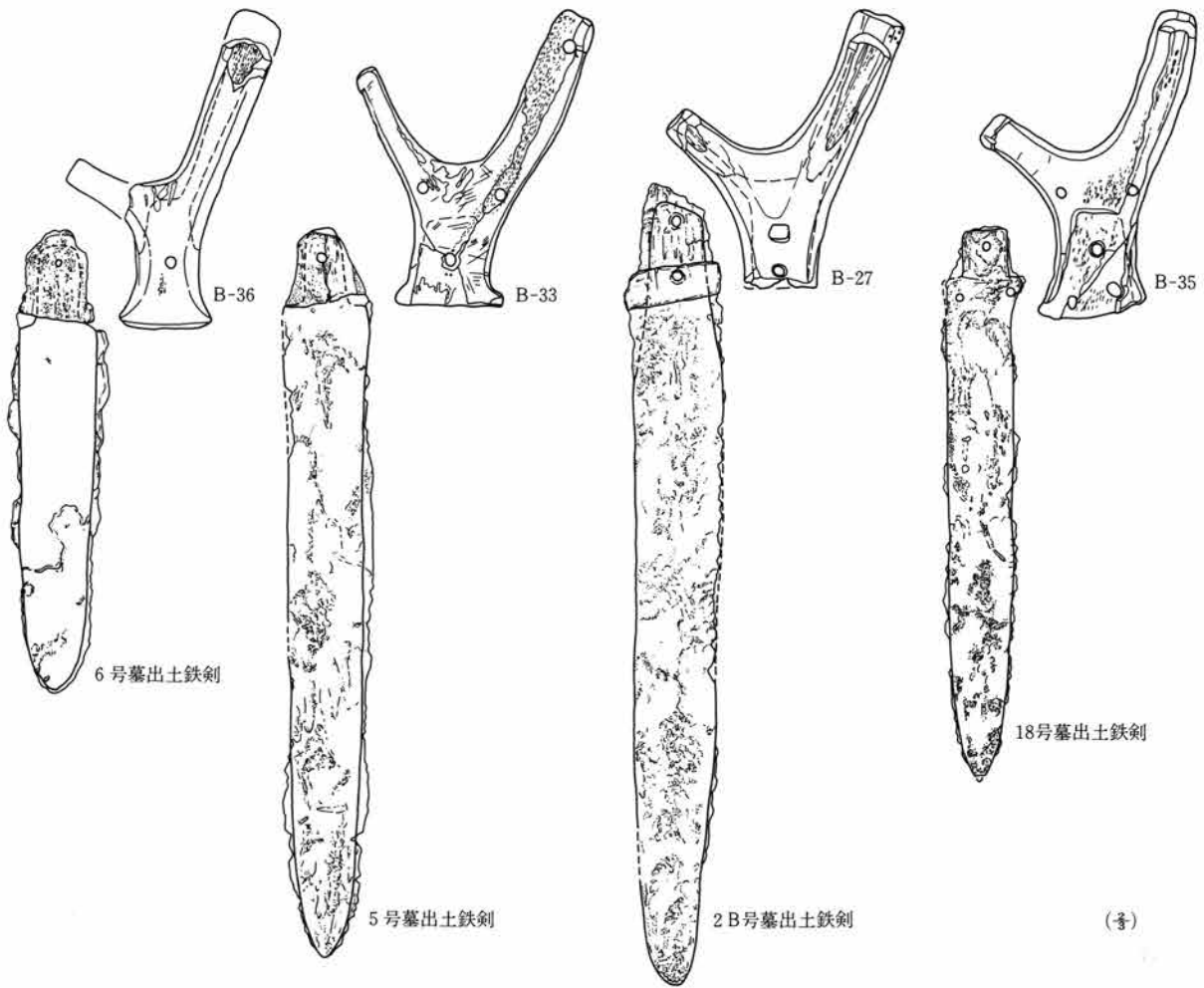
品となってもそのかたちは残り、柄部として使われたのである。

2. 全体を研磨して鹿角の自然面はごく一部にみられるのみになる。特にソケットをつくる角幹の基部は偏平な板状となる。ソケットは挿入される剣の柄の大きさに適合するように作られ、目釘穴と補助的な穴(用途は種々有った可能性がある)が開けられる。

3. 角幹部と第1枝の先端は特別の加工が施される。角幹部の端は中心の海綿体の部分に穴をあけるが、そのまま穿孔されるのではなく溝となって外側になる。おそらくそこに垂飾になるようなものを結びつけたのではなかろうか。このような加工は縄文期の製品にみられ、その場合にも紐などを垂下するためと考えている。枝部つまり「角」になるところは元の鹿角の第1枝をかなり削り込んで細くし、そのまま切断する例が多いが、先端に角幹部先端に似た加工と同じ穿孔をみる例などもみる。いずれにしても重要な部分であった。

4. 器面の表面には場所を決めて装飾的な手法で文様が施紋される。線刻と点刻である。交差線刻は縄文期の垂飾品を飾る手法の一つであり、点刻もまた装飾部に刻まれた例は多い。ただ縄文期の点刻とやや異なるのは点線的な配列であって、その手法はむしろ弭形鹿角製品の文様に共通するところがある。一部に漆の塗布された形跡もある。

5. 本製品は柄頭であって、これに金属器の柄が挿入されたと推定するのであるが、本製品でこのことを直接証明する出土の状況はない。しかし、本遺跡に近い有馬遺跡の弥生期墓坑内出土の鉄剣にはこの柄頭を装着したと仮定したとき、長さ、幅、目釘穴の位置、柄口部の傾きの具合などがよく一致するものがあること、鉄剣の剣身の長さは長短があったようであるが、柄の部分の大きさはほぼ一致しており、柄頭もまた多少の大小があり、剣身の大きさに対応したことが考えられる。なお、有馬遺跡2B号墓出土の鉄剣には、脛巾(ハバキ)とみられる鹿角製のリングがつけられ、目釘で止められていたと報告され、5号墓、6号墓、19号墓出土の鉄剣の茎あるいは



第3図 有馬遺跡出土鉄剣と有角柄頭の装着試案 (2/3)

把部に鹿角の遺存が認められる。この部分に鹿角製の柄頭の装着されていたことを推定させる。

6. 比較資料についてのべる。

静岡県登呂遺跡の有角柄頭

1943年に発見され、ほぼ完存する2例がある。この種の遺物としてはもっとも早くに知られたものである。点列の装飾施紋をもつ新保遺跡で今回報告するC類に属する。点列の施紋は2例ともよく似ていて、次に述べる長崎遺跡例をやや単純にした施紋である。両遺跡は地理的にも近接し、一つ遺跡群における製品ともいえよう。

静岡県長崎遺跡の有角柄頭

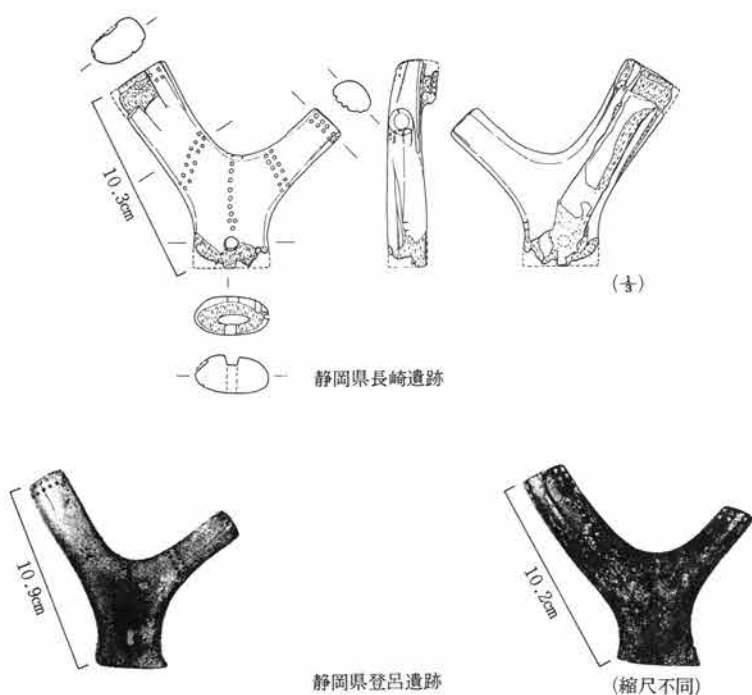
新保田中村前遺跡のC類とした製品に属する。点

列の装飾施紋をもつもので、1点のみ出土。形態はB-27に似るが、目釘穴は1個である。点刻はB-34と共通するが、施紋は点列が1~2で単純化された表現である。また検出数は登呂、長崎遺跡を合わせても3例で少ないが、これを単純にこの地域で製作の少ないことを推測してよいかどうかはなお問題が残るであろう。

7. 有角柄頭の分布

本遺跡において数多く出土した骨角製品であったが、他遺跡における出土例は上述の静岡県登呂、長崎遺跡の他には神奈川県逗子市池子遺跡からも出土していることが知られている。そして形状は登呂、長崎例がよく似、新保例と池子例が似ていることは

1 骨角製品



第4図 柄頭出土例 (1/3・縮尺不同)

つくり地域性があったことを示すようである。製作の意図、目的は同じではあったが、微妙な地域差があって製作されたことが推測される。現在のところでは出土例は限定されるようであるが、今後の資料の増加によってまた新たな知見が得られるのであろう。

先にも述べたとおり本製品は鉄剣に装着されたと考えられており、金属器の柄として鹿角が使われたことが確認されるもっとも古い例である。鹿角の枝が巧みに利用され、さらに本器にはこれに付属する特殊な工作による穿孔があり、そこには何かを装着したことが推測される。このような剣はこれを保持する者の身分や階級を明示したのであろう。柄の形態も実用には不向きで、剣自体にも単なる利器ではなく特別な儀器という考えがあったのではないと思われる。

ところでこの柄頭の原因となるものを更に遡って具体的に知ることができるであろうか。弥生期以前つまり縄文文化期の鹿角製品のなかに角の叉状部を柄として使用している例は無いわけではない。「叉

状角製品」としたもののなかに角座部分を使い、その部分にソケット状の加工をもつ製品がある。愛知県吉胡貝塚、同伊川津貝塚の出土例がある。しかしこれは柄というよりも、組み合わせられるものの一部ではなかったかと思われる。しかも類品は稀である。他には「掘り具」と呼ぶ道具で、鹿角の第2枝の分岐部を使い角幹部分が掘り具の器体部になる。また「長叉状角器」と呼んだ角製品は叉部に多様な彫刻を施して、儀器的な用途をもつと早くから考えられてきたが、このような角の扱い方はさらに遡ってあったのであろう。ただこの場合叉部は器体の中心であって、この部分が柄になるような使われ方はなかったと思われる。

有角柄頭はこの時期に鉄剣を手にした人が、これにふさわしい柄として同じように強靱な力を象徴すると考えた鹿角を使い、またその叉部をえらんでいるのは、そのかたちが角だけがもつ特徴的な形態であったこと、さらにこのかたちにも何らかの意味を考えたからであろう。また実際にこれを製作するには、鹿角の使用部分全体をかなり削り込み、茎を挿

入するソケットをつくり、さらに器体、角部の先端は器体に平行して縦方向に穿孔するという手間をかけているのである。このような技法自体は縄文期にもあったものであり、さらに製品の主要位置に配された点刻列点文は縄文期にもみられるだけでなく、原始的な装飾文としても汎世界につかわれた施紋であった。こうしたことも本器の特質とされる点であろう。

有角柄頭の原因を既知の資料から直接求めることはできないが、基本的には縄文期からの伝統的な製作技法を受け継ぐなかで作られた製品といえよう。そのような意味からこの角器を縄文期骨角器の名称の一部を使って「叉状柄頭」と呼んでもよいと考えている。

なお古墳時代には刀装具として大刀あるいは剣につけられた鹿角製装具が知られている。古墳時代前期からその例が知られ、以後その着装法、形態上に幾つかの基本的な類型があったようである。このような鹿角製装具に直弧文の付けられることとも関連してその系統をめぐる論説がある。こうした古墳時代の鹿角製装具と新保遺跡例とは形態的に直接につながることはないであろう。新保遺跡の製品は鹿角そのものの形がそのまま残るより素朴な作りである。しかし古墳時代の鹿角装具についても鹿角素材の扱い方、加工技法の詳細についてはまだ研究の余

地がこのされおり、弥生期のものとの比較研究が今後の課題となろう。一方、金属器が大陸側から伝来されたものである以上、その拵えの上においても何らかの影響があったことも考えられ、大陸における例あるいは周辺諸地域の民族例などについての今後の調査が必要になろう。

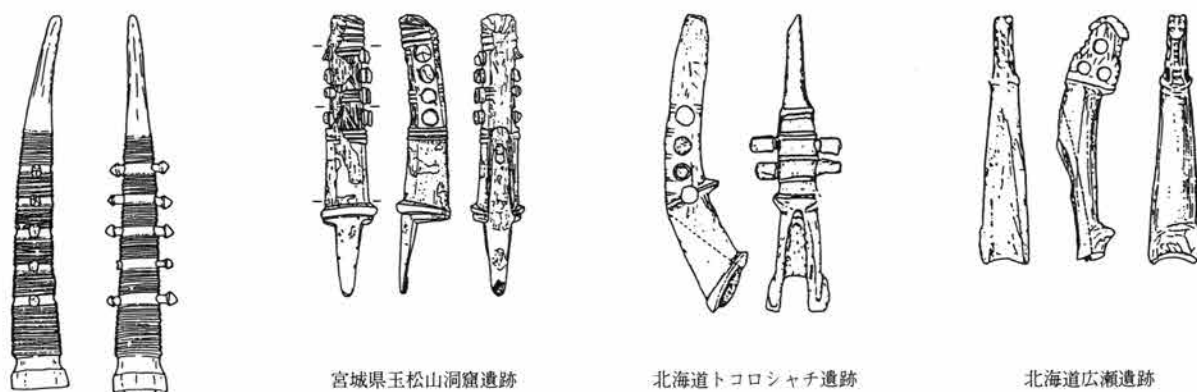
この項を草するに当たり東京国立博物館考古課研究員の古屋 毅氏から種々のご教示を得た。末筆であるが御礼申し上げる次第である。

弭形鹿角製品

栓を伴う製品3点、栓を付けぬもの2点計5点の出土は多い例であり、特に栓を付けた精製の製品が3点もあったことは注目される。

本製品の用途、特に栓を付ける製品については幾つかの説があるが、その使用法をうかがい知ることができるような状態で出土した例はない。しかし、これが古墳時代の装飾弓にみる鋳飾り金属製品につながるであろうとする推考は可能であろう。

古墳時代よりもさらに新しい製品については、北海道の擦文文化期の例、さらには中・近世のアイヌ文化期のなかにもみられるが、そこではこの種の製品の用途、そのかたちの意味を具体的に知り得る出土例はない。これまで知られた骨角製品すべてについて現時点では、形態とその系統的な研究から弭と



愛知県朝日遺跡

宮城県玉松山洞窟遺跡

北海道トコロシャチ遺跡

北海道広瀬遺跡

(縮尺不同)

第5図 弭形鹿角製品出土例 (縮尺不同)

1 骨角製品

しての機能をもつものであったろうという考えをとっておく。

珥形鹿角製品が近畿から東海西部地方に一つの分布圏をもって広まることはよく知られるが、形態についても特徴点を指摘することができる。それは自然の鹿角枝をそのまま使い、装飾的効果としては重層的に重なる直線文が支配的であったが、新保田中村前遺跡のそれはむしろ四辺形を基調とした整形加工が重要視され、その面に施される文様は使用の目的に応じて変わったのではないだろうか。この製品自体実用的なものではなく、祭祀的な目的から作られたことは明かであるからである。

精製の3点がそれぞれに基本的な形態に共通点を持ちながら、施紋の手法にかなりの違いをみるのは製作者の技量にもよったのであろうが、それぞれ別々の意味合いがあったことも推測される。中でも鋸歯文、円弧との組み合わせ文様にはマジカルなパワーが秘められ、これを付ける弓を保持するのは首長のクラスの人物ではなかったらか。施文の違いがどのような意味をもつのか興味のあるところである。

それにしてもこれらの製作にはかなりの労力と技術を必要としたと思われる。縄文期からの伝統的な技法に加えて、鉄器の使用もあったであろう。特殊な技術者のいたことも考えられるのである。

II. 装身具

本遺跡で知られる骨角製品中の装身具の数は多くない。既に骨角以外の素材で作られた装飾品があったからであろう。しかし、犬歯加工品など他の素材を代用できない製品がある。

オオカミの犬歯穿孔品

3点の出土があり、稀にみる多い出土例である。この種の製品の出土例自体極めて稀なものであって、弥生期の出土例は類品がなく、縄文期でも一遺跡で2例というのは奈良県橿原遺跡があるのみで、この遺跡の広大な面積の発掘によるのであろう。新保田中村前遺跡の3例は希有のことになる。よく知

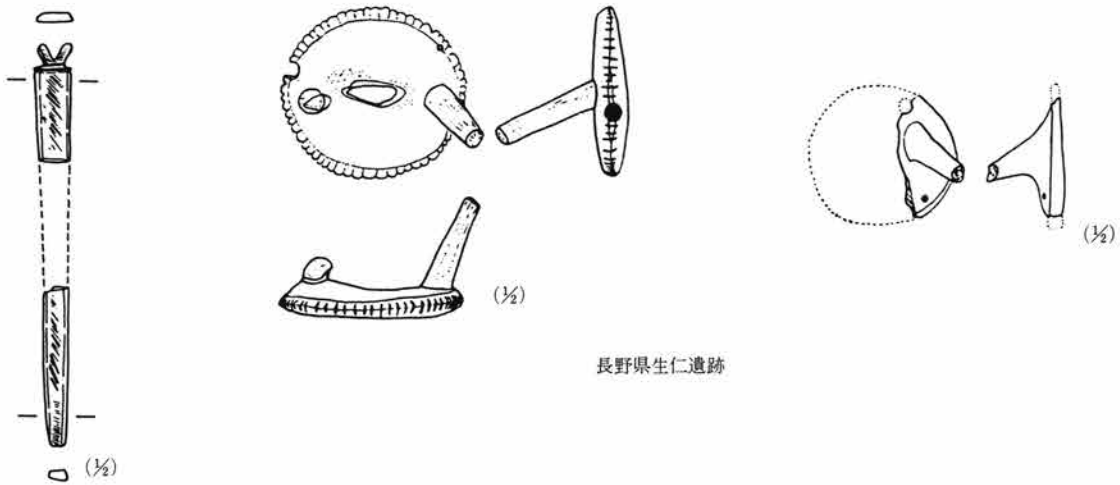
られるようにオオカミは明治初年以降日本列島から姿を消した。しかしそれ以前はかなりの数が棲息していたようである。そして人々と様々な関わりの中かで生存してきた。縄文期から弥生期においては、人々の生活の中かで狩猟の占める役割は大きく、多くの種類の動物とも関わったはずである。そうしたなかでオオカミはその卓越した行動力の故に狩猟の対象とはなり得なかったであろう。それは遺跡からの出土の状況がよく示している。

オオカミの全身の骨格の出土は稀で、多くは犬歯あるいは下顎骨、特定の四肢骨の一部であり、しかもそれに穿孔などの加工が行われるのである。オオカミの骨格を他の獣と区別でき、一部でもオオカミの遺骸は特別のものとして運ばれているのである。オオカミの食肉獣としてのすぐれた点を熟知していた古代人は、その骨格の一部を身につけて、その力を得たいと願ったのである。しかし、そのような加工品自体も出土例がきわめて少なく、オオカミの遺骸が手にはいることは稀であったのである。それが本遺跡で3例もあったということは、獣の豊富なこの地域の自然環境を考えねばならないが、またここに住んだ人々が、オオカミの遺骸の一部を手にいれたいと願う感情つまり狩猟に対する積極性の特に強かったことを示すことになるのであろう。

オオカミの犬歯製品と関連して、本邦に棲息する大形食肉獣であるツキノワグマの犬歯も垂飾品として使われている例がある。この獣の犬歯の加工品の出土例の方が縄文、弥生期を通じて出土例が多い。この場合にも犬歯以外の遺骸の出土は稀である。愛知県朝日遺跡は多くの獣骨を出土した弥生期の遺跡であるが、ここからはツキノワグマの犬歯穿孔品が1点検出されているが、その他の遺骸は出土していないようである。

本遺跡ではツキノワグマの犬歯の加工品は検出されなかったが、指骨が検出されていて本種の遺骸は確認されている。したがって、犬歯の加工品もあった可能性を推測することもできよう。

鹿角製双脚の簪



愛知県朝日遺跡

長野県生仁遺跡

第6図 簪出土例

この特徴のある形態の鹿角製品について「きのこの形の髪飾り」と呼んで速報している。鹿角の角座部と角幹の一部が使われていることは既に述べた。このような素材の扱い方はこれ以前の縄文期にはみることがなかった。脚部が真っ直ぐに伸びないことを承知してなおこのような素材の取り方をしているのは、傘型になるようなところが製作の意図であったと思われる。それにしてもこれを製作するにはかなりの労力を必要としたと思われる。鹿角を細く削り込む技法は縄文期に普通であるが、素材のとりかたがもっと単純である。双脚に固執する点は金属製品を模したか、製作する上で全体のかたちに制約を受けるものがあつたことも考えられる。いずれにしても何か原形になるものがあつたのではないかと思うが、現在では推測の域をでない。

類品は長野県更埴市生仁遺跡でやはり2点が知られる。脚部が破損し、多少つくりの違いがあるが基本的には同じ類型にはいる製品であり、これも同様の方法で作られたはずである。生仁遺跡では有栓の弭形鹿角製品など新保田中村前遺跡と共通する遺物が出土しており、二つの遺跡の間の交流を具体的に示している。

Ⅲ. ト骨

本遺跡からはイノシシ、シカの肩甲骨を使ったト骨を14点検出し、内イノシシ肩甲骨が8点、シカ肩甲骨が6点あつた。材料の扱い方、灼痕の形態について以下に述べるような注意すべき特徴があつた。

1. ト骨にはイノシシの肩甲骨の使われる例がやや高かつたが、おそらくイノシシ、シカの肩甲骨が共に使われたというべきなのであろう。ただ、イノシシ、シカの骨格全体の出土ではシカの方が明らかに多いので、イノシシの肩甲骨は意図的に使われたということはあるのかも知れない。

ト骨にシカの肩甲骨が主体的に使われることは、筆者が最近調査した岡山県加茂遺跡においてもみたことであつたが、近畿地方に入って比較的数量多く出土している奈良県唐古遺跡では、前期ではシカが多く、後期になるとイノシシが増えている。

東海地方東部の様相は資料が少ないが、静岡県登呂遺跡ではシカの肩甲骨製が主体的であつた。登呂遺跡については獣骨の出土が少ないので狩猟獣との比較がむづかしい。同じ静岡県清水市長崎遺跡でもシカ肩甲骨製が多く、狩猟獣ではイノシシが多かつた。シカ肩甲骨を主とする傾向は関東地方にも及び三浦半島の洞窟遺跡においても同様であつた。

1 骨角製品

このことから新保田中村前遺跡のト骨の在り方は豊かな動物資源を背景にした状況と考えるべきものなのであろう。

2. 本遺跡のト骨にみた整形の加工は器体の骨壁の細かい擦痕がつくが、これは器壁を削るというのではなく、むしろ細かく切り込むような状況である。このような加工は縄文時代の骨角器の表面に黒耀石などで付けられた傷と同じである。この傷を多数外側面に付けている例があったが、灼痕の集中域が破損しているのではどの程度付けられたものか明かでない。これが後になってみられる骨壁を薄く削り込む加工と同じ効果を果たしたことはある程度推測も可能である。この加工は上述の静岡県長崎遺跡のト骨にみられるが、その他の弥生期の製品にはあまりみないのではないかとと思われる。あるいは縄文的な手法が東日本の地域においてとられたと考える

こともできる。

3. 灼痕にみる特徴。本遺跡のト骨にみる灼痕は、弥生期の例にみるように焼灼部には特別の加工をほどこさない。灼痕は原形を止めるのはごくわずかである。

灼痕は出土例の多いイノシシの肩甲骨でみると、棘上窩と棘下窩にみられ、その位置は肩甲頸部よりも下の方にあり、あまり上の方には行われなかったようである。特に静岡県登呂遺跡、長崎遺跡のト骨にみるような狭い肩甲頸部に幾つもの灼痕が並ぶというのをみることはなかった。しかし、ある程度は列をつくっていたらしい様子もみられはしたが、残された部分からみる限り骨の全面にわたるということはなかったと思われる。そして、これはトする機会の多少を示すことと関連があるのではないかと考えられる。

参考文献

(文献については、全体では大量の数になるために基本的な文献、直接関係のある研究あるいは報告に限った。別にも重要文献があるが下記を参照されたい)

後藤守一、原始時代の武器と武装、雄山閣、1928

末永雅雄、日本上代の武器、弘文堂書房、1941

小林行雄、鹿角製刀剣装具、古墳文化論考、平凡社、1976

小林行雄、直弧文、同上

田中新史、出現期古墳の理解と展望—東国神門五号墳の調査と展望、古代 第77号、1984

横須賀考古学会、三浦半島海蝕洞窟遺跡、1984

春成秀爾、鈎と靈一有鈎短剣の研究、「国立歴史民俗博物館研究報告」7号、1985

金子浩昌、忍沢成視、骨角器の研究、縄文編Ⅰ、Ⅱ、(考古民俗叢書22、23) 慶友社、1986

金子浩昌、新保遺跡出土の脊椎動物遺存体・骨角牙製品、新保遺跡Ⅰ、1986

中村由克、生仁遺跡出土の骨角器と動物遺体、長野県更埴市生仁遺跡Ⅲ、更埴市教育委員会、1989

静岡市立登呂遺跡博物館、登呂遺跡出土資料目録、1989

群馬県教育委員会、有馬遺跡Ⅱ、弥生・古墳時代編—関越自動車道(新湯線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書 第32集、群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書 第102集 1990

周溝墓等出土の弥生時代金属製品—篠ノ井遺跡群聖川堤防地点出土金属製品の応急処置—篠ノ井遺跡群(4)—聖川堤防地点—、長野県教育委員会、1992

愛知県埋蔵文化センター、朝日遺跡Ⅲ、愛知県埋蔵文化センター調査報告書 第32集 1992

足立順司、骨製品、長崎遺跡Ⅱ、静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第39集、1992

友廣哲也、礫床墓、新保田中村前遺跡Ⅲ—掘立柱建物・ピット・土坑・墓等の調査分析と調査成果—、群馬県文化財調査事業団発掘調査報告書 第151集、1993

下城 正、石守 見、新保田中村前遺跡出土の骨角器、群馬文化235、1993

石守 見、弓弭状有栓骨製品について、群馬考古学手帳 Vol.4 1994

足立順司、ト骨、長崎遺跡Ⅳ、静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告書 第59集、1995

金子浩昌、岡山県足守川加茂A・B遺跡出土の動物遺体と骨角製品、足守川加茂A遺跡、足守川加茂B遺跡、足守川矢部南向遺跡、岡山県埋蔵文化財発掘調査報告書 94、1995

2号河川跡骨角製品一覧表(1)

種類	遺物番号	種 部 位	出土位置	挿図番号	図版番号
鏃	B-41	イノシシ・ニホンジカ?	2-2河下層	第7図	図版1
鏃	B-42	イノシシ 下顎犬歯 L 舌側	2-2河下層	第7図	図版1
鏃	B-43	イノシシ 下顎犬歯 L 舌側	2-2河下層	第7図	図版1
鏃	B-44	ニホンジカ 角 枝部先端	2-2河下層	第7図	図版1
計	4点				
剣形加工品	B-24	ニホンジカ 角 角幹	2-1河下層	第7図	図版1
計	1点				
錐状刺突具	B-2	ニホンジカ 中手・中足骨	2-2河下層	第8図	図版2
錐状刺突具	B-5	ニホンジカ 中手・中足骨 側壁	2-2河下層	第8図	図版2
計	2点				
やす状刺突具	B-3	ニホンジカ 中手・中足骨 側面	2-2河下層	第8図	図版2
やす状刺突具	B-4	ニホンジカ 中足骨 後面	2-2河下層	第8図	図版2
やす状刺突具	B-6	ニホンジカ 中手・中足骨	2-2河下層	第8図	図版2
やす状刺突具	B-17	ニホンジカ 中手・中足骨	2-1河下層	第8図	図版2
やす状刺突具	B-85	ニホンジカ 中手・中足骨 近位端	2-2河中層	第8図	図版2
やす状刺突具	B-86	ニホンジカ 中手・中足骨	2-1河下層	第8図	図版2
やす状刺突具	B-106	ニホンジカ 脛骨 前面	2-1河下層	第8図	図版3
計	7点				
刺突具	B-7	イノシシ 腓骨 R 骨頭外れ	2-2河下層	第8図	図版3
刺突具	B-18	イノシシ 腓骨 L	2-1河下層	第8図	図版3
刺突具	B-12	ニホンジカ・イノシシ 第一?肋骨	2-2河下層	第8図	図版3
刺突具	B-8	ニホンジカ 角	2-2河下層	第8図	図版3
刺突具	B-13	ニホンジカ 角 第一尖?	2-2河下層	第8図	図版3
刺突具	B-99	ニホンジカ 角 枝部	2-2河中層	第8図	図版3
刺突具	B-105	ニホンジカ 角	2-1河下層	第8図	図版3
計	7点				
針状刺突具	B-14	ニホンジカ 角	2-1河下層	第8図	図版3
計	1点				
刺突具 未製品	B-107	ニホンジカ 中足骨 前~側面	2-1河下層	第9図	図版4
刺突具 未製品	B-108	ニホンジカ 中足骨 R 後面	2-1河下層	第9図	図版4
刺突具 未製品	B-109	ニホンジカ 中足骨 R 前面	2-1河下層	第9図	図版4
刺突具 未製品	B-111	ニホンジカ 中足骨 骨体	2-1河下層	第9図	図版4
刺突具 未製品	B-120	ニホンジカ? 中手・中足骨?	2-1河中層	第9図	図版4
刺突具 未製品	B-142	ニホンジカ 中足骨	2-1河下層	第9図	図版4
計	6点				
篋状製品	B-88	ニホンジカ・イノシシ 肋骨	2-2河下層	第9図	図版4
篋状加工品	B-110	ニホンジカ 中手・中足骨 側面	2-1河下層	第9図	図版4
篋状加工品	B-141	ニホンジカ 中足骨 R	2-2河中層	第9図	図版4
篋状骨器	B-146	ニホンジカ 中手骨 前~側面	2-2河下層	第9図	図版4
計	4点				
刺突具	B-20	ニホンジカ 尺骨 R	2-1河下層	第10図	図版5
刺突具	B-125	ニホンジカ 尺骨 R	2-2河下層	第10図	図版5
刺突具	B-126	ニホンジカ 尺骨 R	2-2河下層	第10図	図版5
刺突具	B-127	ニホンジカ 尺骨 R	2-2河下層	第10図	図版5
刺突具	B-132	ニホンジカ 尺骨 R	2-2河中層	第10図	図版5
刺突具	B-133	ニホンジカ 尺骨 R	2-1河下層	第10図	図版5
刺突具	B-138	ニホンジカ 尺骨 R	2-1河中層	第10図	図版5
刺突具	B-140	ニホンジカ 尺骨 R	2河上層	第10図	図版5
刺突具	B-11	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第11図	図版6
刺突具	B-21	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河下層	第11図	図版6
刺突具	B-100	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河中層	第12図	図版7
刺突具	B-112	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河下層	第12図	図版7
刺突具	B-113	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河下層	第11図	図版6
刺突具	B-114	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河下層	第11図	図版6
刺突具	B-119	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河中層	第10図	図版5
刺突具	B-128	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第11図	図版6
刺突具	B-129	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第11図	図版6
刺突具	B-130	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第11図	図版6
刺突具	B-131	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第11図	図版6

1 骨角製品

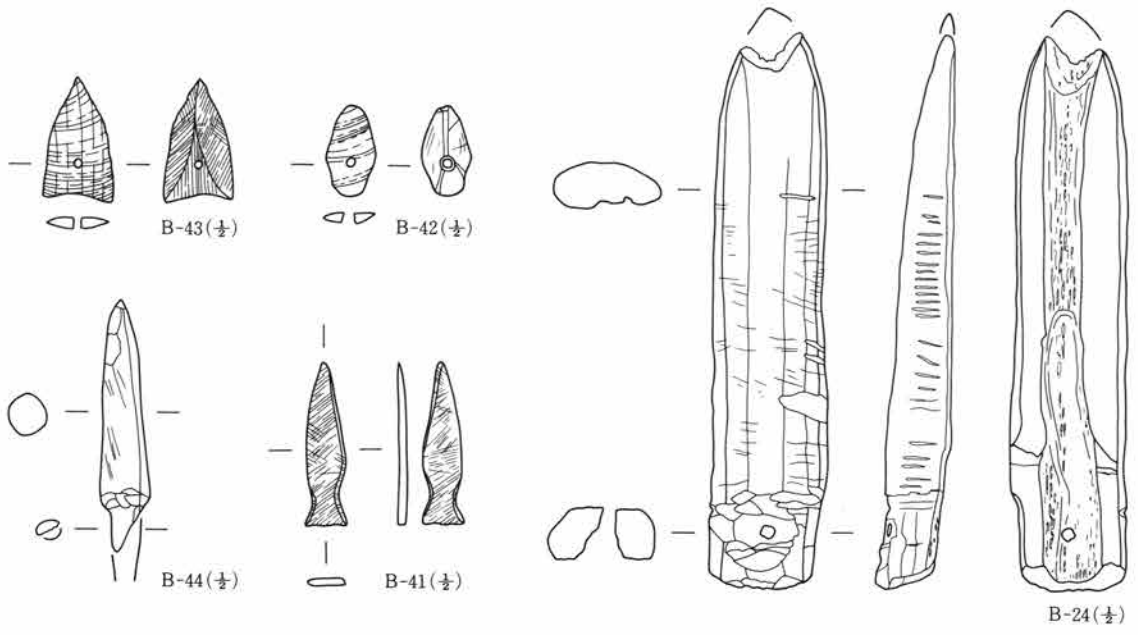
2号河川跡骨角製品一覧表(2)

種類	遺物番号	種 部 位	出土位置	挿図番号	図版番号
刺突具	B-134	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河下層	第12図	図版7
刺突具	B-135	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第11図	図版6
刺突具	B-136	ニホンジカ 尺骨 L	2-2河下層	第12図	図版7
刺突具	B-137	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河下層	第11図	図版6
刺突具	B-139	ニホンジカ 尺骨 L	2-1河中層	第12図	図版7
計	24点				
イノシシ犬歯加工品	B-56	イノシシ 犬歯 R	2-1河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯加工品	B-57	イノシシ 下顎犬歯 R ♂	2-1河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯加工品	B-93	イノシシ 下顎犬歯 L ♂	2-2河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯篋状加工品	B-94	イノシシ 下顎犬歯 L	2-2河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯篋状加工品	B-95	イノシシ 下顎犬歯 L ♂	2-2河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯篋状加工品	B-115	イノシシ 下顎犬歯 R ♂	2-1河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯加工品	B-116	イノシシ 下顎犬歯 R ♂	2-1河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯加工品	B-117	イノシシ 下顎犬歯 L ♂	2-1河下層	第13図	図版8
イノシシ犬歯加工品	B-118	イノシシ 下顎犬歯 L ♂	2-1河下層	第13図	図版8
計	9点				
有角柄頭	B-23	ニホンジカ 角	2-1河下層	第17図	図版12
有角柄頭	B-25	ニホンジカ 角 L 第三尖	2-2河下層	第16図	図版11
有角柄頭	B-26	ニホンジカ 角 R 第三尖	2-2河下層	第15図	図版10
有角柄頭	B-27	ニホンジカ 角 L 第三尖	2-2河下層	第16図	図版11
有角柄頭	B-28	ニホンジカ 角 R 第三尖	2-2河下層	第14図	図版9
有角柄頭	B-30	ニホンジカ 角	2-2河下層	第18図	図版12
有角柄頭	B-31	ニホンジカ 角	2-2河下層	第15図	図版9
有角柄頭	B-32①	ニホンジカ 角 R 第二尖	2-2河中層	第15図	図版10
有角柄頭	B-32②	ニホンジカ 角	2-2河中層	第15図	図版9
有角柄頭	B-33	ニホンジカ 角 L 第二尖	2-2-1河下層	第17図	図版12
有角柄頭	B-34	ニホンジカ 角 R 第三尖	2-1河下層	第16図	図版10
有角柄頭	B-35	ニホンジカ 角 L 第三尖	2-2河下層	第14図	図版9
有角柄頭	B-36	ニホンジカ 角 R 第二尖	2-1河下層	第14図	図版9
有角柄頭	B-37	ニホンジカ 角	2-2河下層	第17図	図版11
有角柄頭	B-39	ニホンジカ 角	2-1河下層	第18図	図版12
有角柄頭	B-40	ニホンジカ 角	2-1河下層	第15図	図版9
有角柄頭	B-101	ニホンジカ 角	2-2河中層	第18図	図版12
有角柄頭	B-102	ニホンジカ 角	2-2河中層	第18図	図版12
有角柄頭	B-103	ニホンジカ 角	2-1河下層	第18図	図版12
有角柄頭	B-124	ニホンジカ 角	2河上層	第15図	図版9
計	20点				
有栓弭形角製品	B-45	ニホンジカ 角	2-2河下層	第19図	図版13
有栓弭形角製品	B-46	ニホンジカ 角	2-2河下層	第19図	図版13
有栓弭形角製品	B-47	ニホンジカ 角	2-2河下層	第19図	図版13
計	3点				
弭形角製品	B-1	ニホンジカ 角 角冠	2-2河下層	第19図	図版13
弭形角製品	B-15	ニホンジカ 角 枝部先端	2-1河下層	第19図	図版13
計	2点				
垂飾	B-52	オオカミ 上顎犬歯 R	2-2河下層	第20図	図版14
垂飾	B-53	オオカミ 下顎犬歯 L	2-2河下層	第20図	図版14
垂飾	B-54	オオカミ 下顎犬歯 R	2-2河中層	第20図	図版14
垂飾	B-55	イノシシ 犬歯	2-1河下層	第20図	図版14
計	4点				
輪切り	B-16	ニホンジカ 角	2-1河下層	第20図	図版14
計	1点				
紡錘車	B-48	ニホンジカ 角 角坐	2-2河下層	第20図	図版14
計	1点				
髪飾	B-9	ニホンジカ 中手(中足)骨	2-2河下層	第21図	図版15
髪飾	B-51	ニホンジカ 中足骨	2-2河下層	第21図	図版15
髪飾	B-49	ニホンジカ 角 角坐~角幹	2-2河下層	第21図	図版15
髪飾	B-50	ニホンジカ 角 角坐~角幹	2-2河下層	第21図	図版15
計	4点				
卜骨	B-58	イノシシ 肩甲骨 R	2-2河下層	第22図	図版17

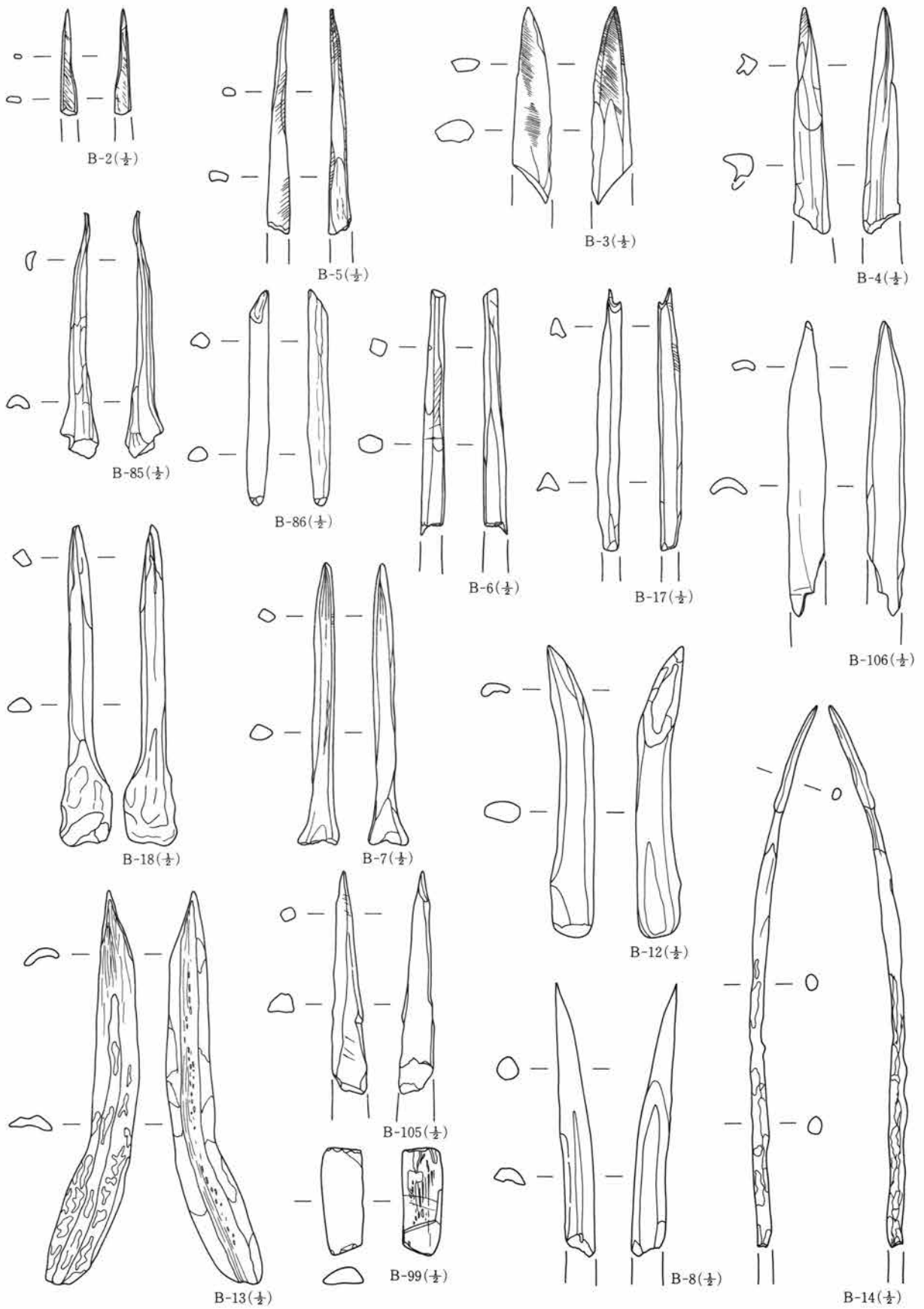
2号河川跡骨角製品一覧表(3)

種類	遺物番号	種 部 位	出土位置	挿図番号	図版番号
卜骨	B-59	イノシシ 肩甲骨 R	2-2 河下層	第22図	図版16
卜骨	B-61③	イノシシ 肩甲骨 R	2-1 河下層	第23図	図版17
卜骨	B-22	イノシシ 肩甲骨 L	2-1 河下層	第25図	図版16
卜骨	B-61④	イノシシ 肩甲骨 L	2-1 河下層	第25図	図版17
卜骨	B-98	イノシシ 肩甲骨 L	2-2 河下層	第24図	図版16
卜骨	B-144	イノシシ 肩甲骨 L	2-1 河下層	第23図	図版18
卜骨	B-145	イノシシ 肩甲骨 L	2-1 河下層	第24図	図版16
卜骨	B-60	ニホンジカ 肩甲骨 R	2-1 河下層	第26図	図版16
卜骨	B-96	ニホンジカ 肩甲骨 R	2-2 河下層	第26図	図版17
卜骨	B-61①	ニホンジカ 肩甲骨 L	2-1 河下層	第28図	図版17
卜骨	B-61②	ニホンジカ 肩甲骨 L	2-1 河下層	第28図	図版17
卜骨	B-97	ニホンジカ 肩甲骨 L	2-2 河下層	第27図	図版18
卜骨	B-143	ニホンジカ 肩甲骨 L	2-2 河下層	第27図	図版16
計	14点				
未製品	B-10	ニホンジカ 角 角幹	2-2 河下層	第29図	図版19
未製品	B-89	ニホンジカ 角 枝部	2-2 河下層	第29図	図版19
未製品	B-90	ニホンジカ 角	2-2 河下層	第29図	図版19
未製品	B-91	ニホンジカ 角 角冠?	2-2 河下層	第29図	図版19
未製品	B-92	ニホンジカ 角	2-2 河下層	第29図	図版19
未製品	B-104	ニホンジカ 角	2-1 河下層	第29図	図版19
未製品	B-121	ニホンジカ 角 先端	2-1 河中層	第29図	図版19
未製品	B-122	ニホンジカ 角 角幹	2-1 河中層	第29図	図版19
計	8点				
断材	B-63	ニホンジカ 角 R 前頭骨~角坐骨	2-1 河下層	第29図	図版20
断材	B-64	ニホンジカ 角 L 前頭骨~角坐骨	2-1 河下層	第29図	図版20
断材	B-80	ニホンジカ 角 R 角坐	2-2 河下層	第29図	図版20
断材	B-123	ニホンジカ 角	2 河上層	第29図	図版20
断材	B-68	ニホンジカ 角 L 第一枝分岐部	2-2 河下層	第30図	図版20
断材	B-69	ニホンジカ 角 R 角坐~第一枝	2-2 河下層	第30図	図版20
断材	B-82	ニホンジカ 角 L 第一尖	2-2 河下層	第30図	図版20
断材	B-84	ニホンジカ 角 R 角坐骨~角坐~第一枝	2-2 河下層	第30図	図版20
断材	B-66	ニホンジカ 角 R 第四枝分岐部	2-1 河下層	第31図	図版21
断材	B-67	ニホンジカ 角 R 角幹~第三枝~第四枝	2-1 河下層	第31図	図版21
断材	B-70	ニホンジカ 角 R 角幹~第三枝~第四枝分岐部	2-2 河下層	第31図	図版21
断材	B-72	ニホンジカ 角 R 角幹~第三枝~第四枝分岐部	2-2 河下層	第31図	図版21
断材	B-81	ニホンジカ 角 L 第四枝	2-2 河下層	第31図	図版20
断材	B-148	ニホンジカ 角 L 前頭骨~角坐骨~角幹~角冠先端	2-2 河下層	第31図	図版49-1
断材	B-62	ニホンジカ 角 R 第一枝分岐部	2-1 河中層	第32図	図版21
断材	B-65	ニホンジカ 角 L 角幹	2-1 河下層	第32図	図版22
断材	B-71	ニホンジカ 角 R 第一枝	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-73	ニホンジカ 角 L 第一枝	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-74	ニホンジカ 角 L 角幹	2-2 河下層	第32図	図版21
断材	B-75	ニホンジカ 角 L 第一枝	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-76	ニホンジカ 角 R 第四枝	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-77	ニホンジカ 角 L 第一枝?	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-78	ニホンジカ 角 L 第三枝	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-79	ニホンジカ 角 L 角幹	2-2 河下層	第32図	図版22
断材	B-83	ニホンジカ 角 R 第一枝	2-2 河下層	第32図	図版22
計	25点				
加工品	B-19	イノシシ 下顎骨 R 枝部	2-1 河下層	第33図	図版23
加工品	B-87	ニホンジカ 上腕骨 R 遠位部	2-2 河下層	第33図	図版23
計	2点				
合 計	149点 (B-29 B-38 欠番)				

1 骨角製品

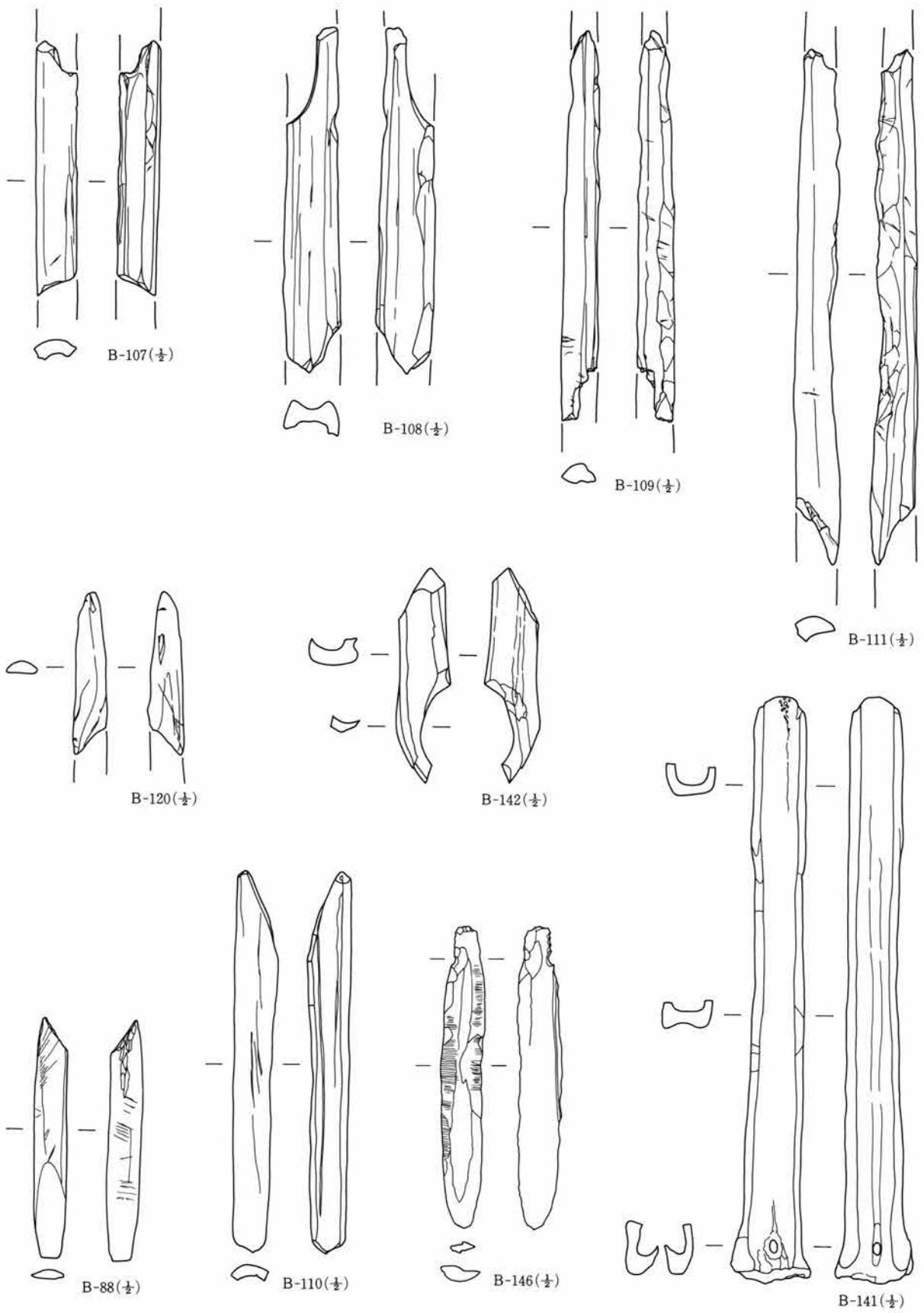


第7図 鏃・剣形加工品 (1/2)

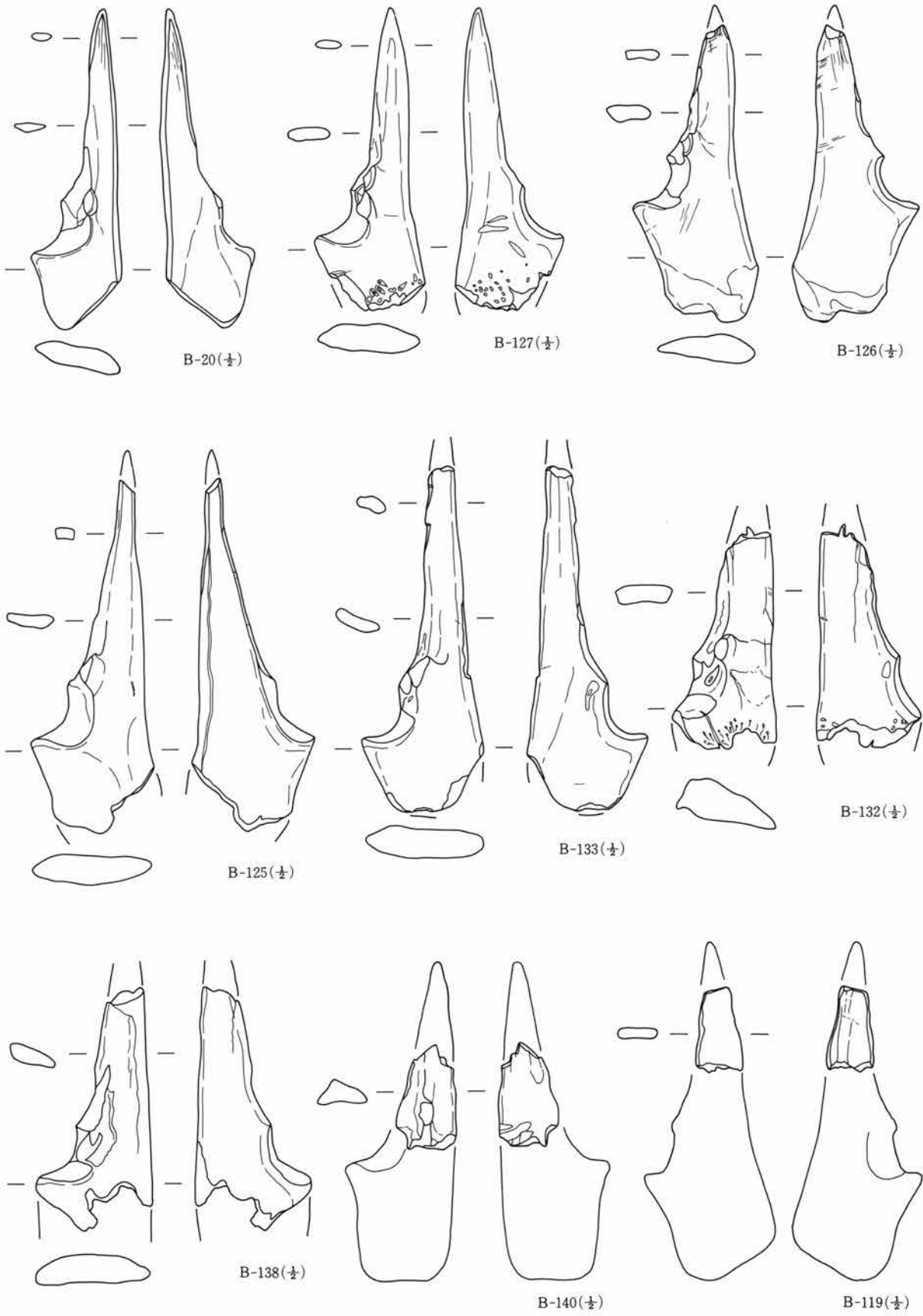


第8図 錐状・やす状刺突具・刺突具 (1/2)

1 骨角製品

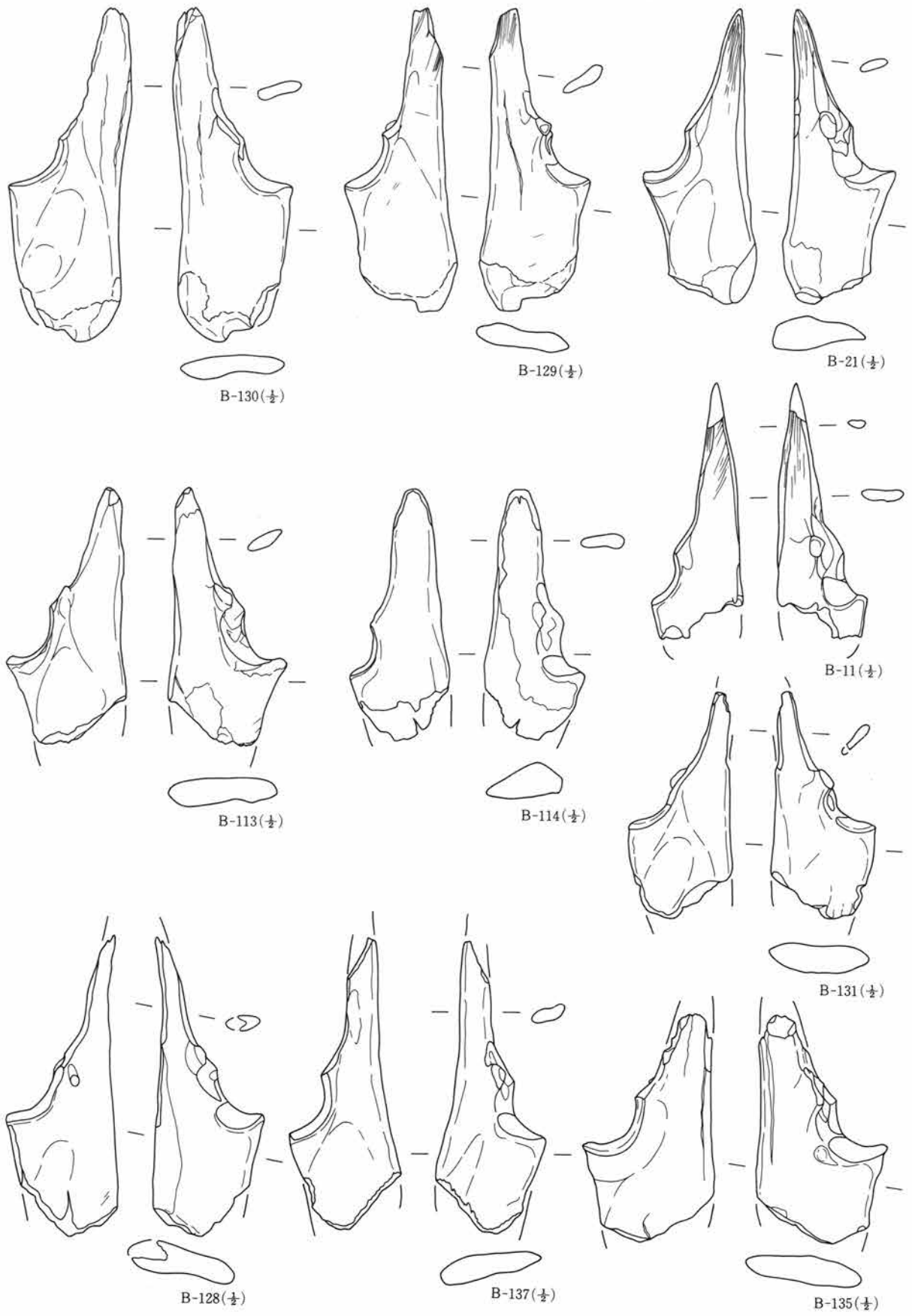


第9図 刺突具未製品・箆状加工品 (1/2)

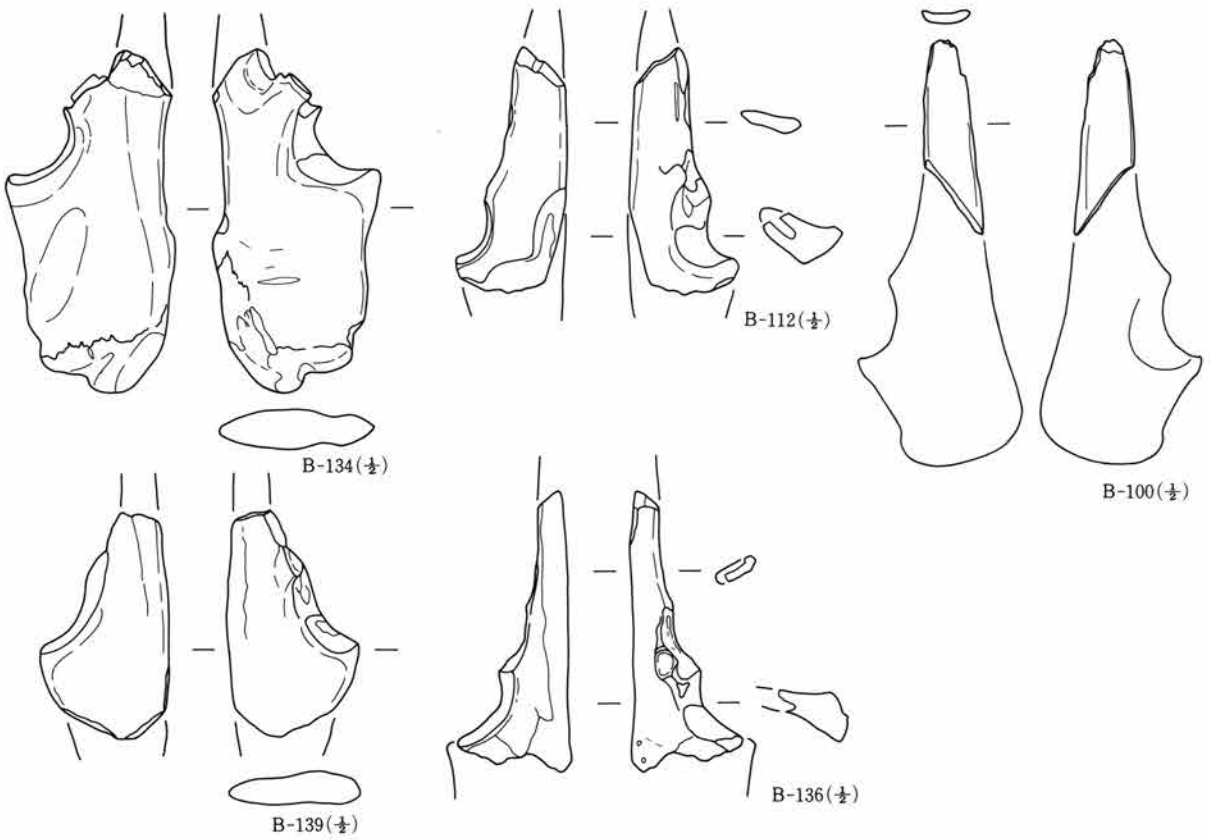


第10図 尺骨刺突具 (1) (1/2)

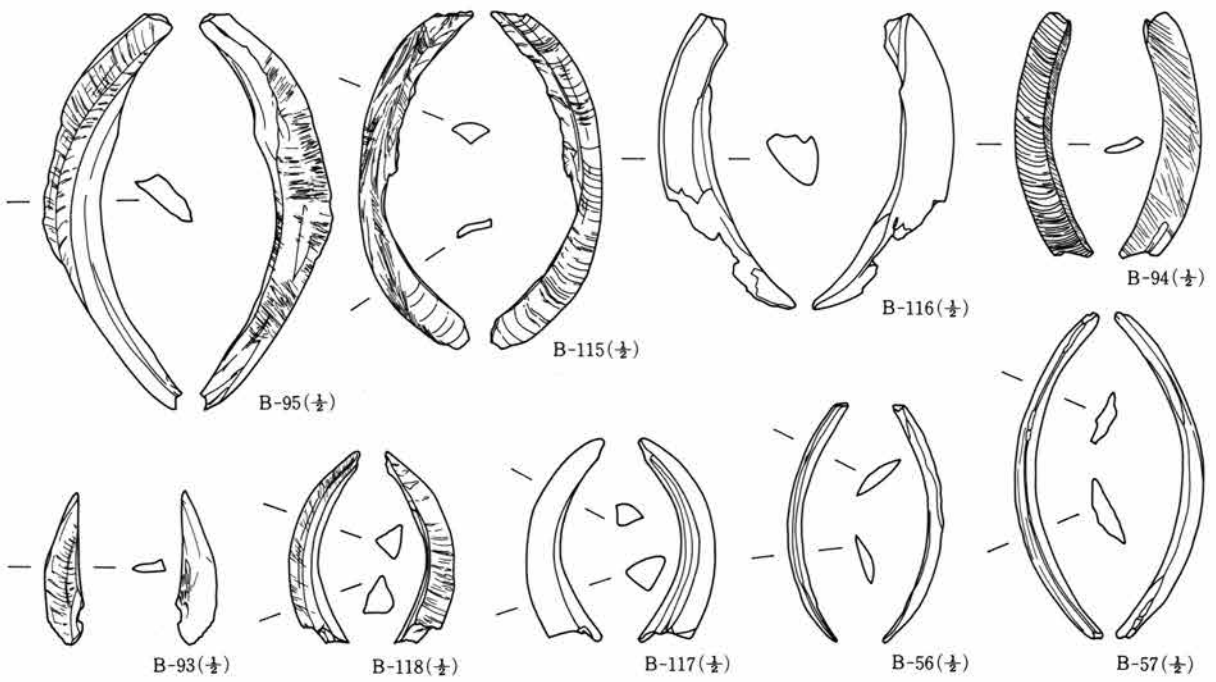
1 骨角製品



第11図 尺骨刺突具 (2) (1/2)

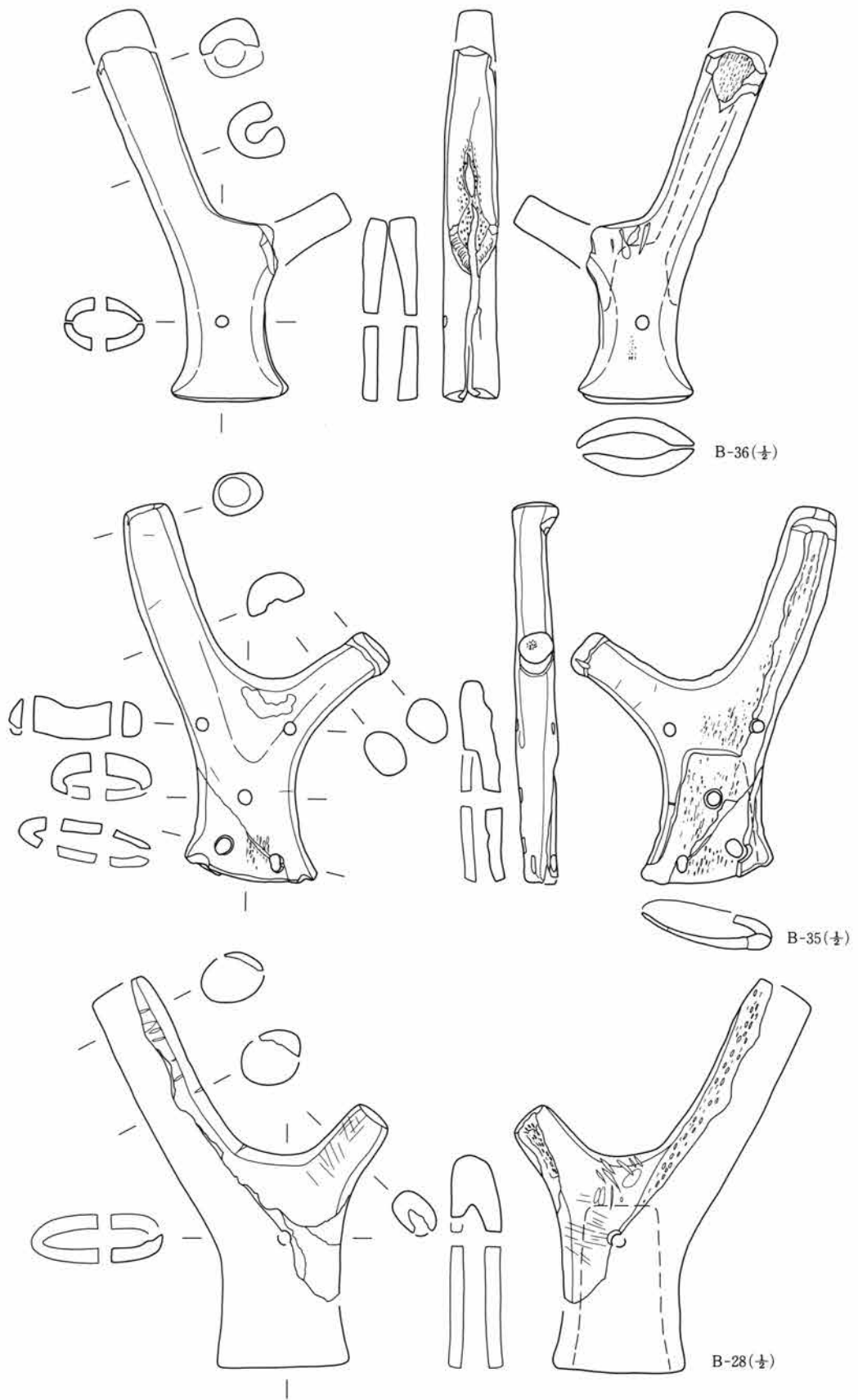


第12図 尺骨刺突具 (3) (1/2)

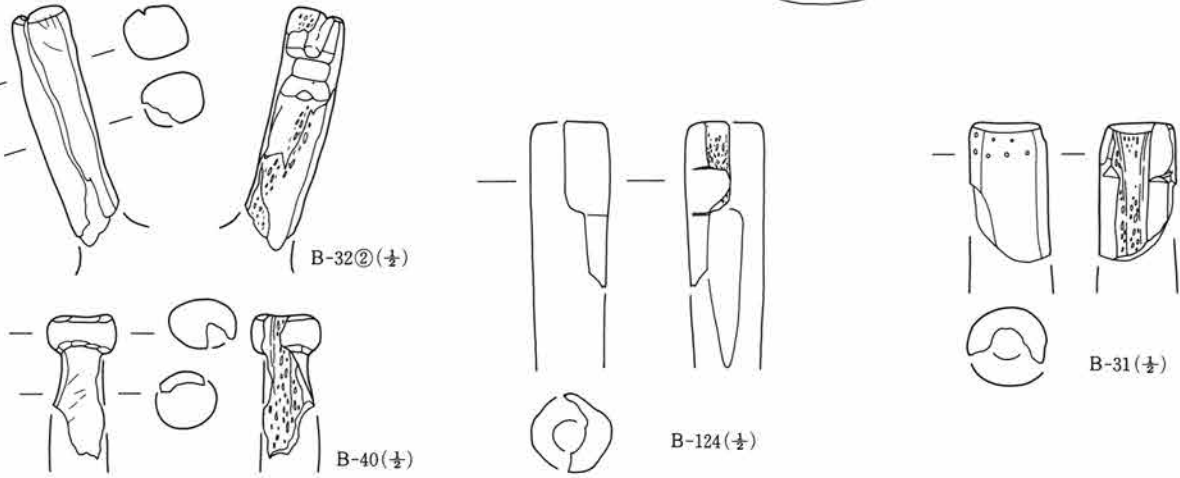
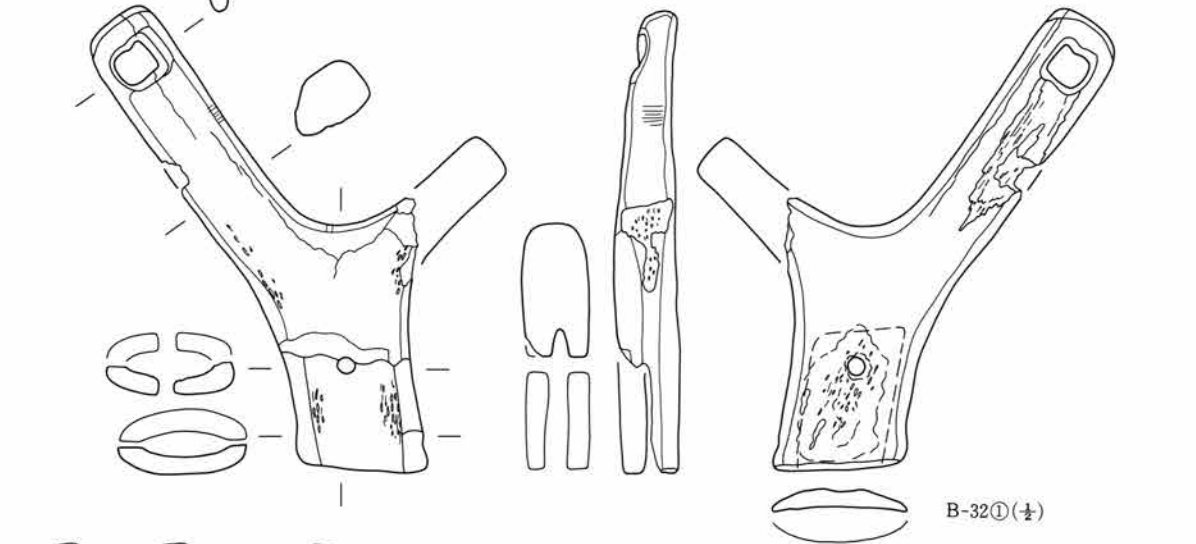
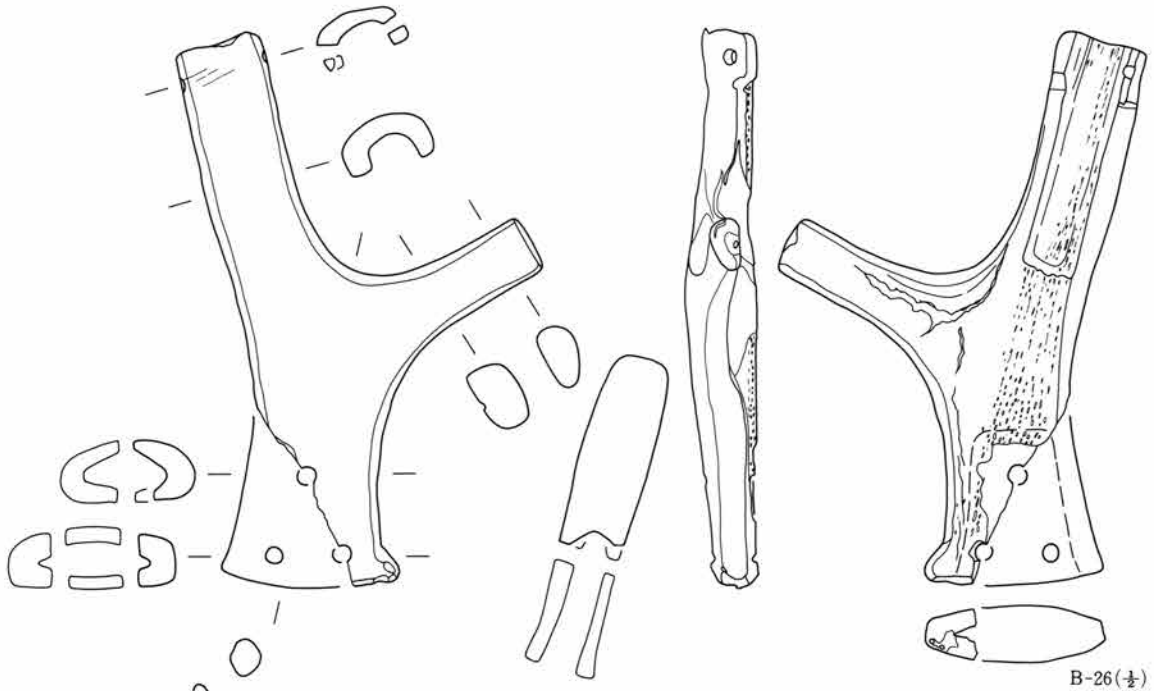


第13図 イノシシ犬歯加工品 (1/2)

1 骨角製品

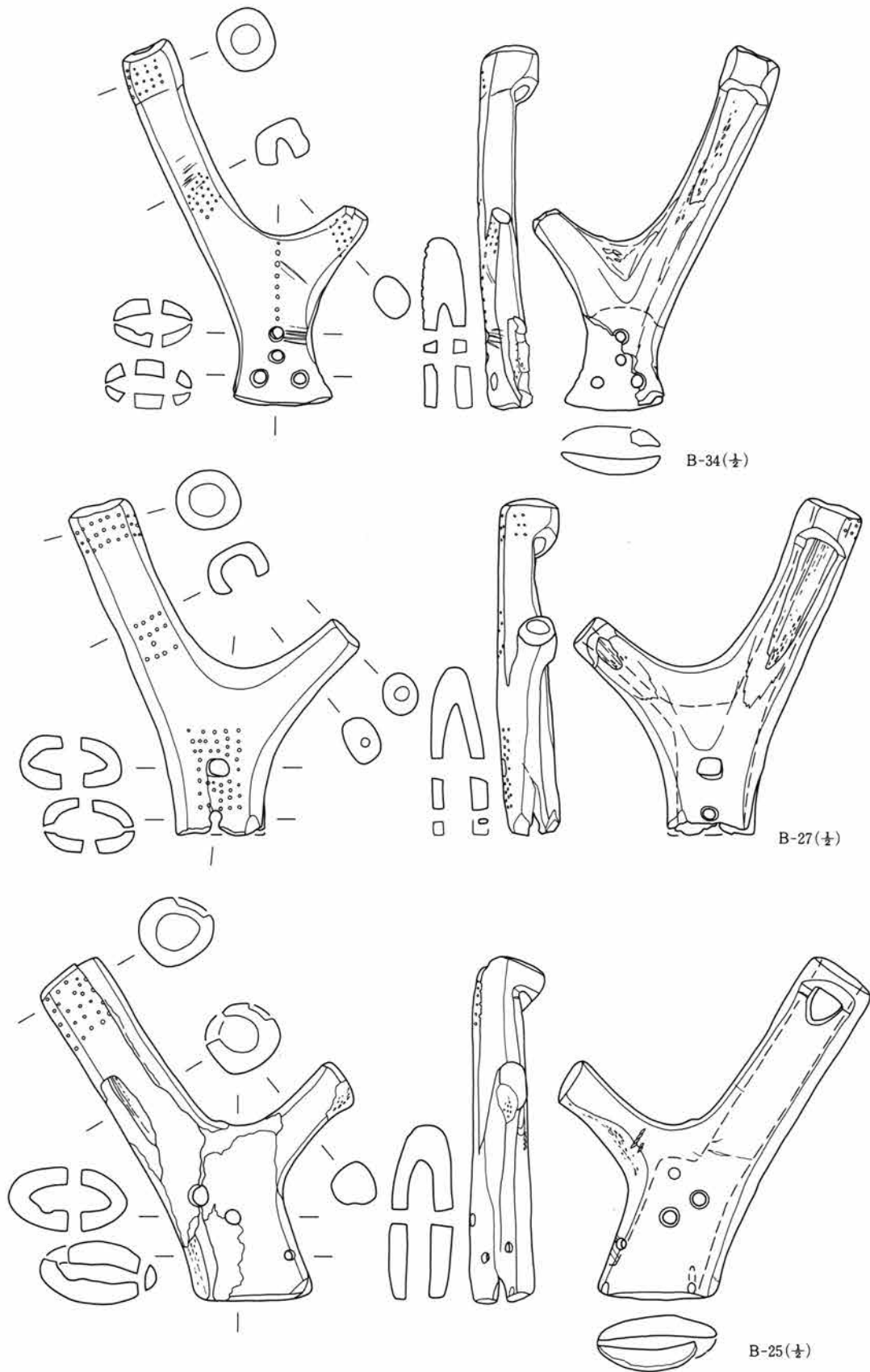


第14図 有角柄頭 (1) (1/2)

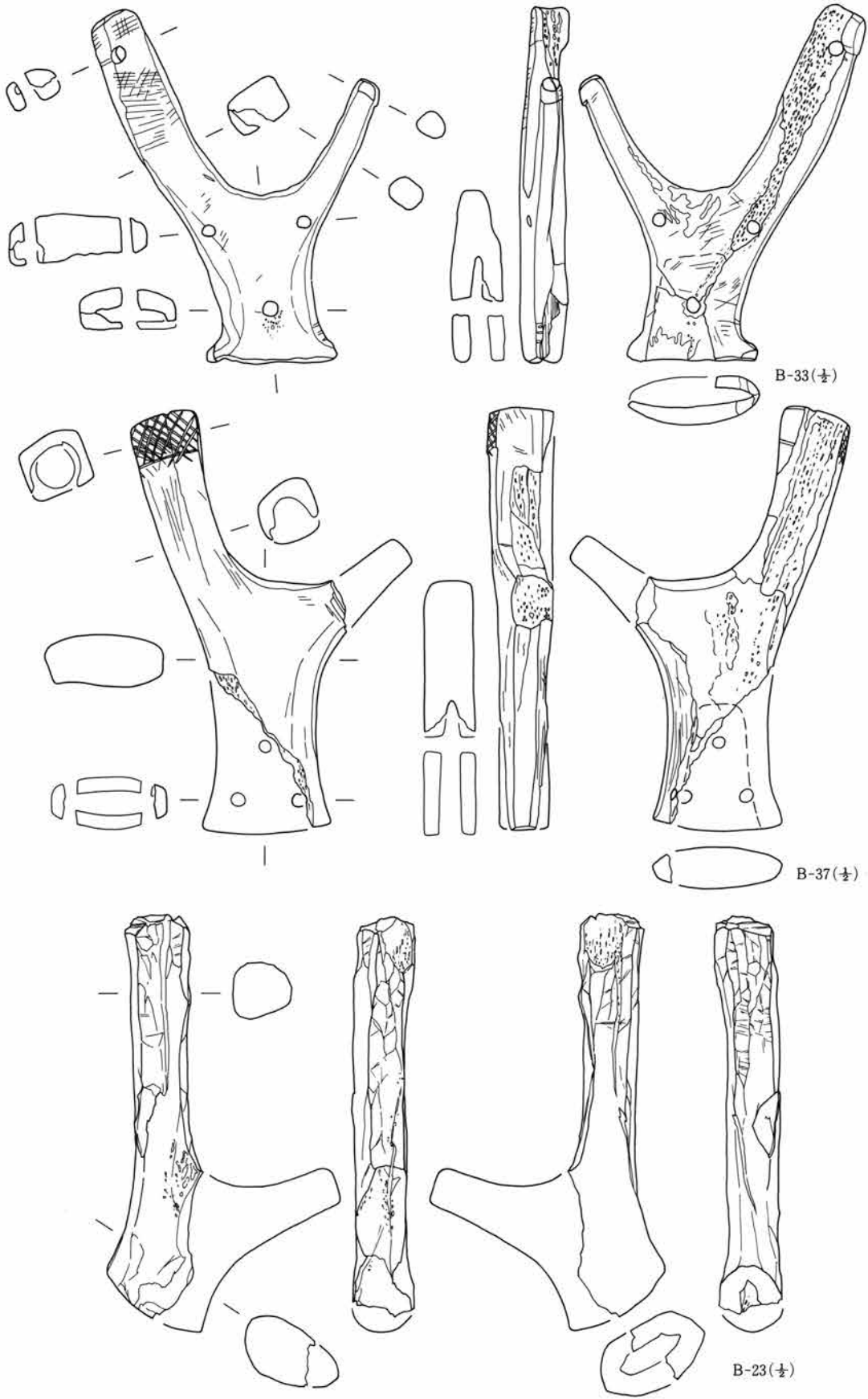


第15図 有角柄頭 (2) (1/2)

1 骨角製品

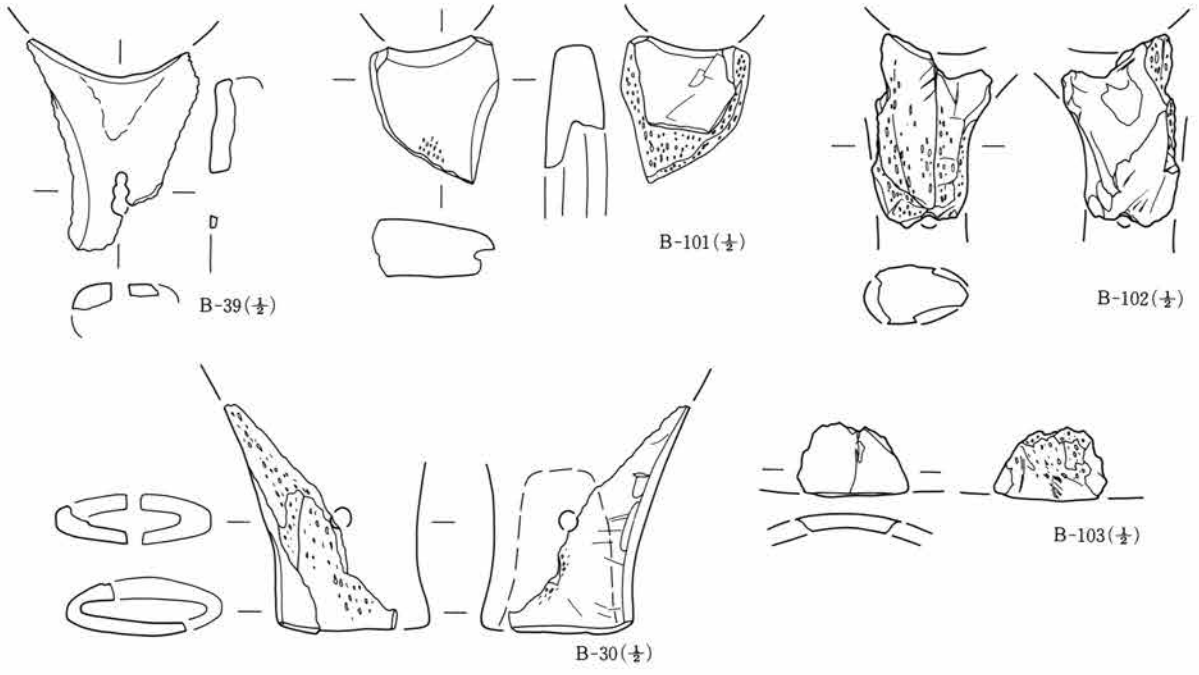


第16図 有角柄頭 (3) (1/2)



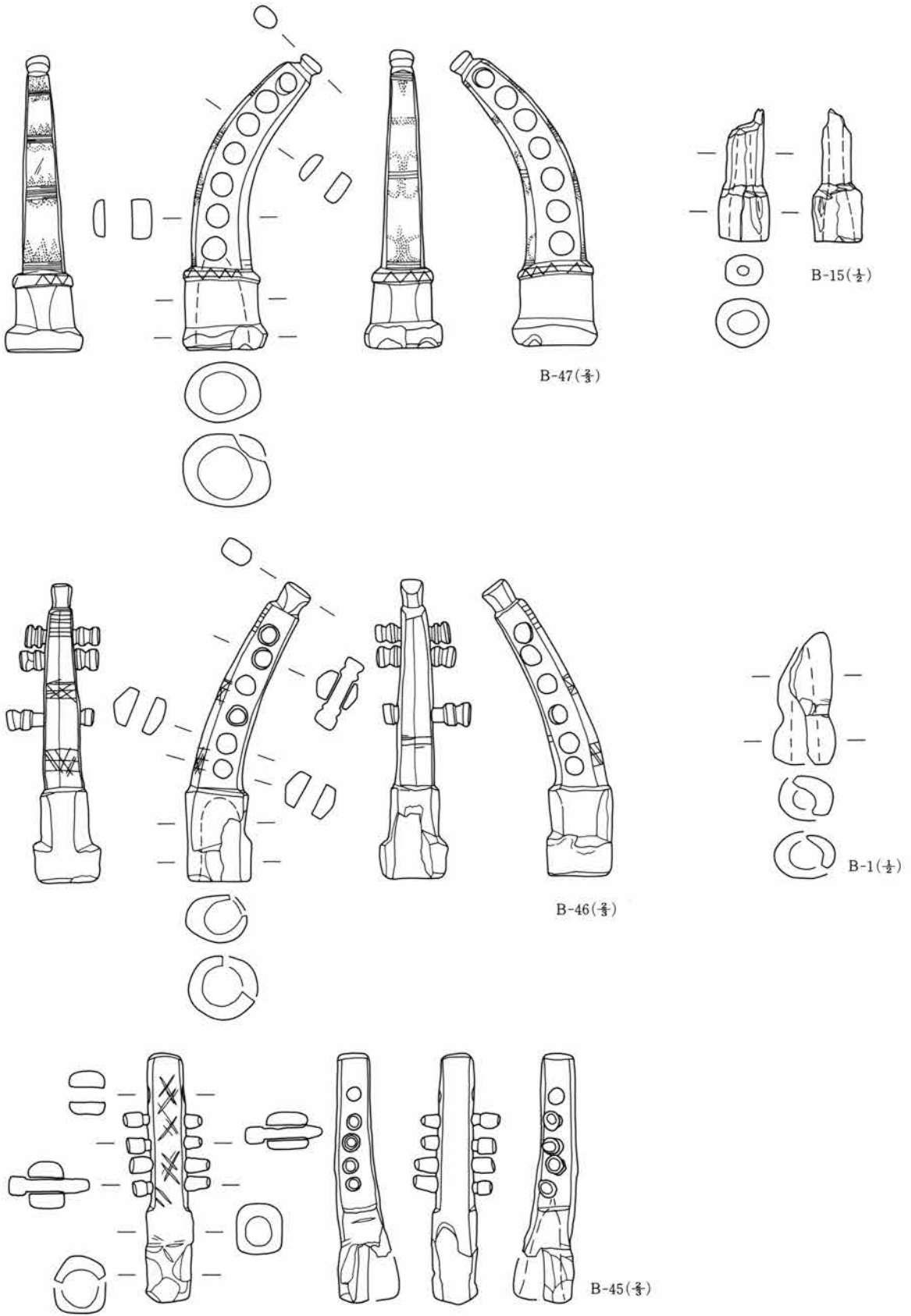
第17図 有角柄頭 (4) (1/2)

1 骨角製品



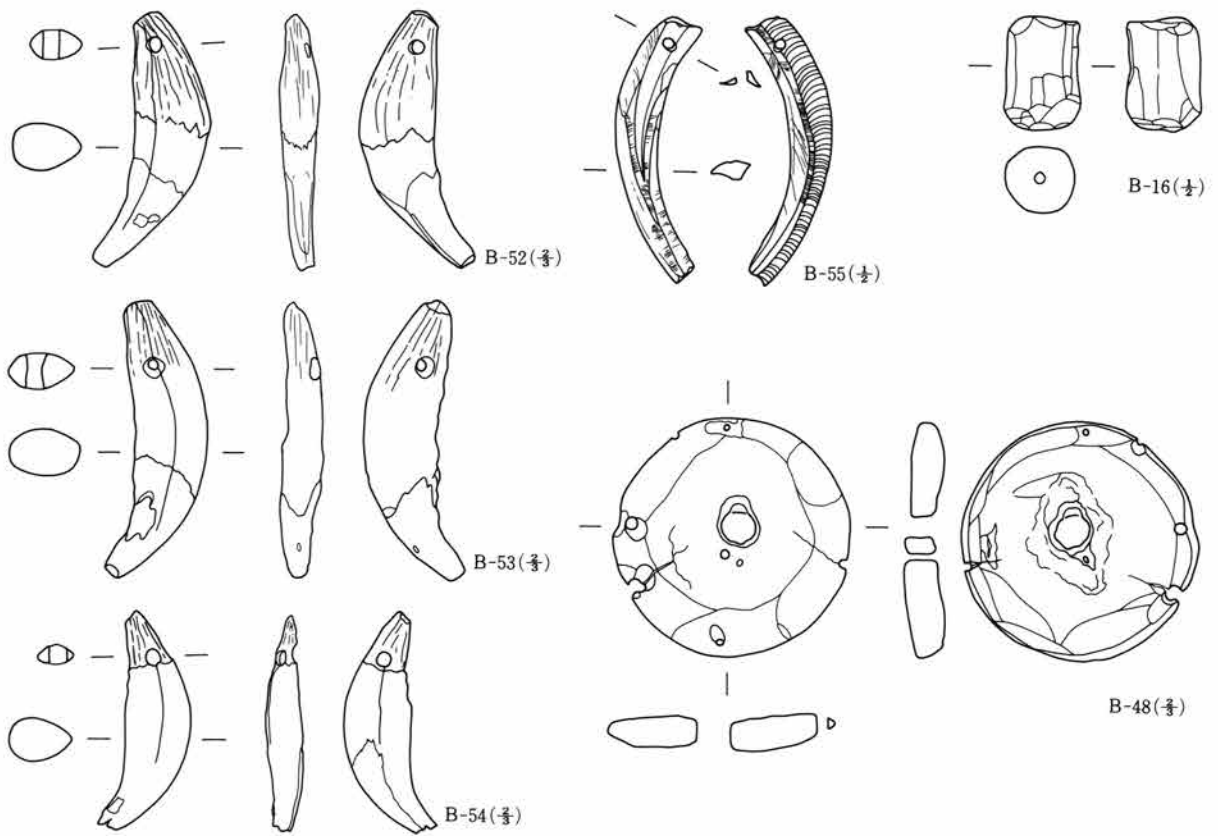
第18図 有角柄頭 (5) (1/2)

1 骨角製品



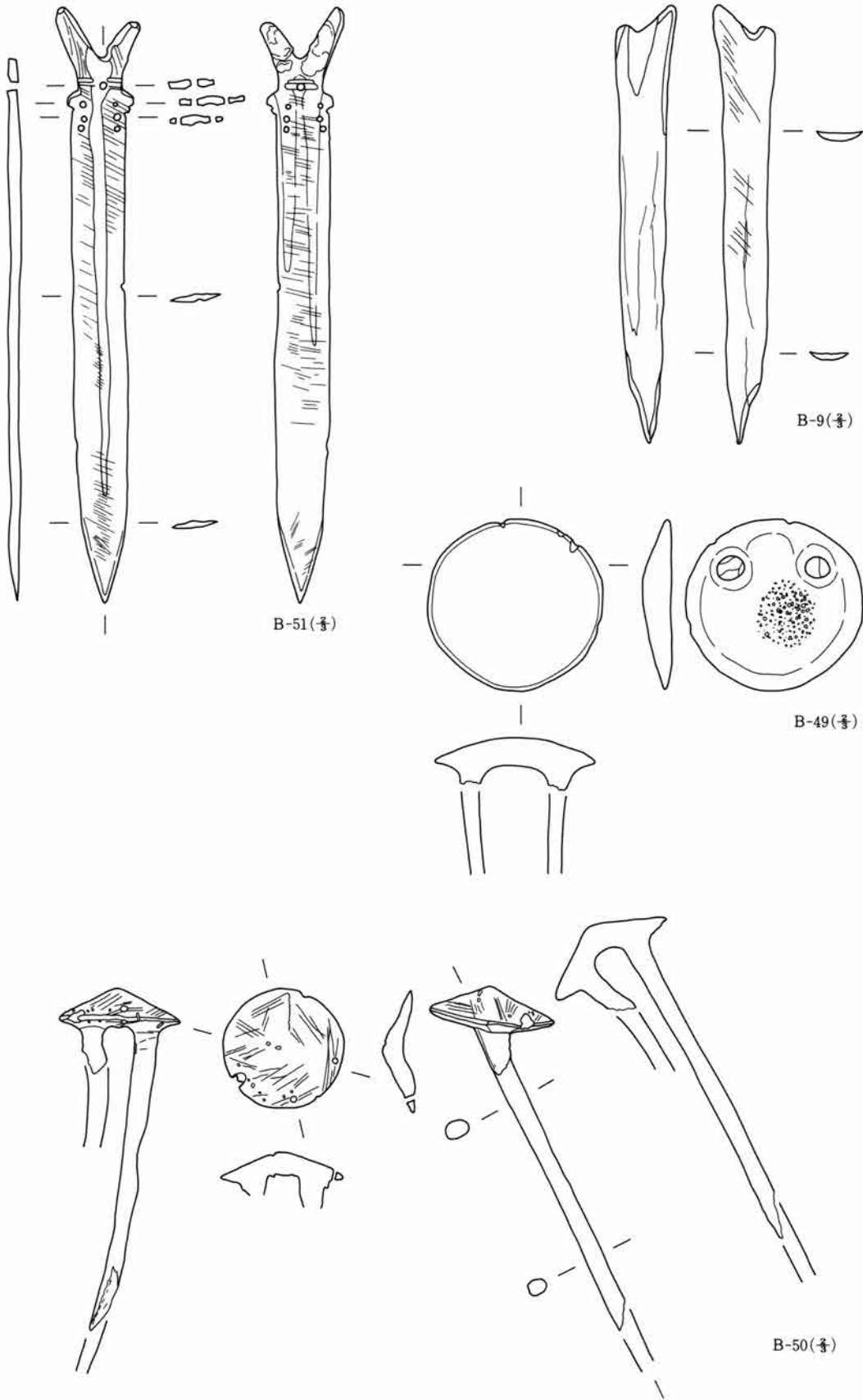
第19図 有栓弭形角製品・弭形角製品 (2/3・1/2)

1 骨角製品



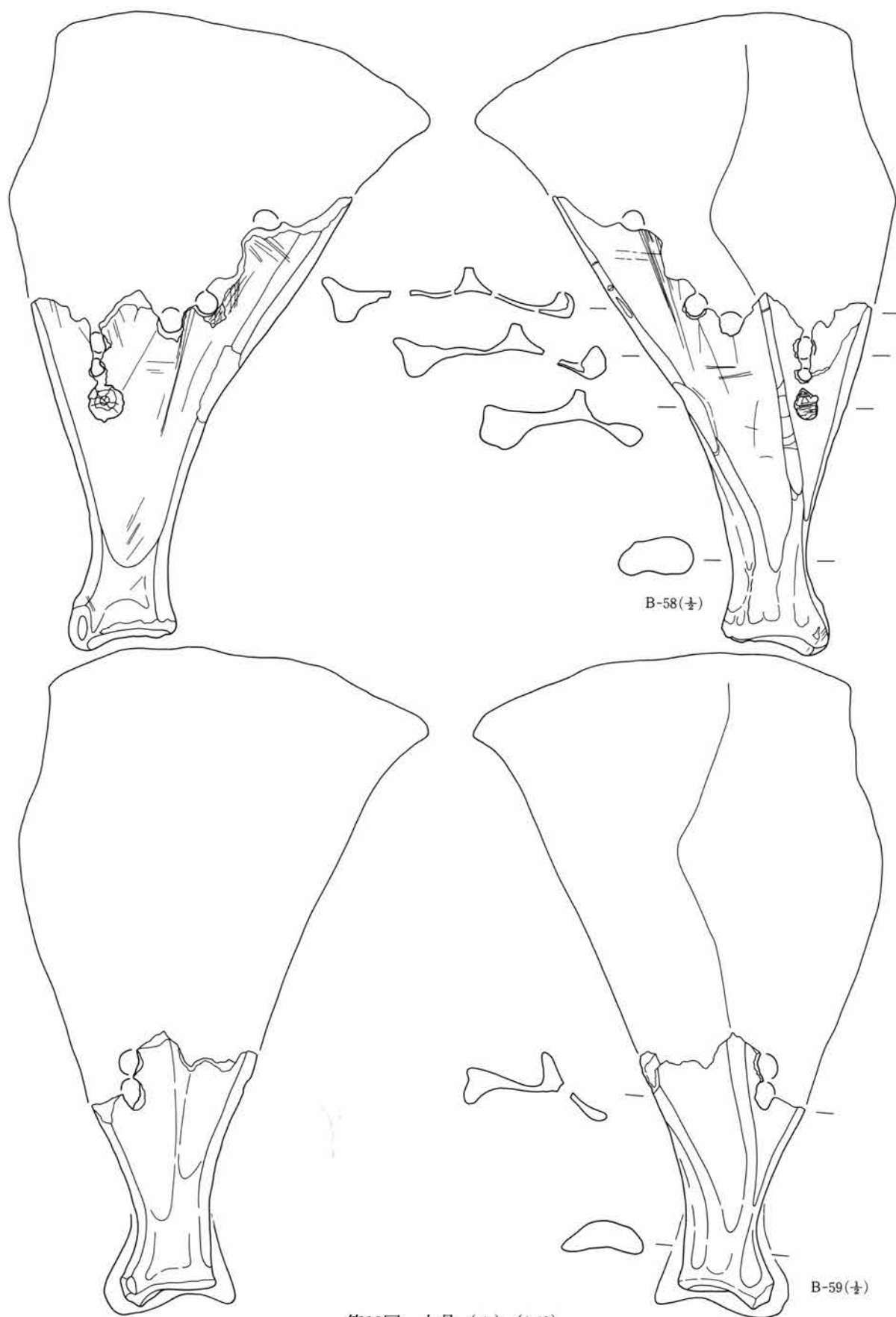
第20図 垂飾・輪切り・紡錘車 (2/3・1/2)

1 骨角製品

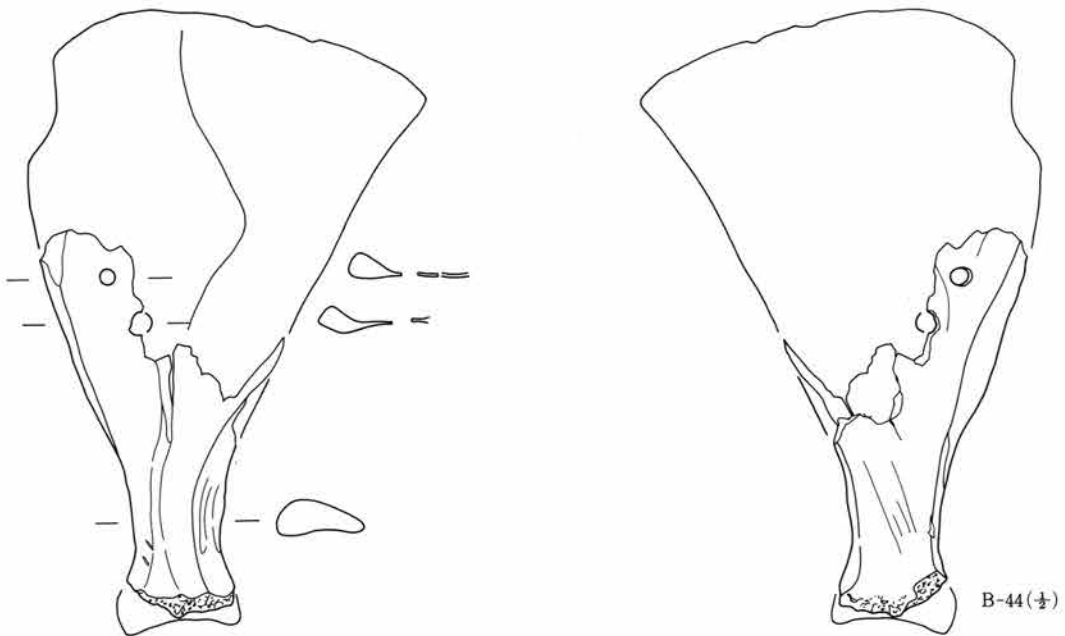
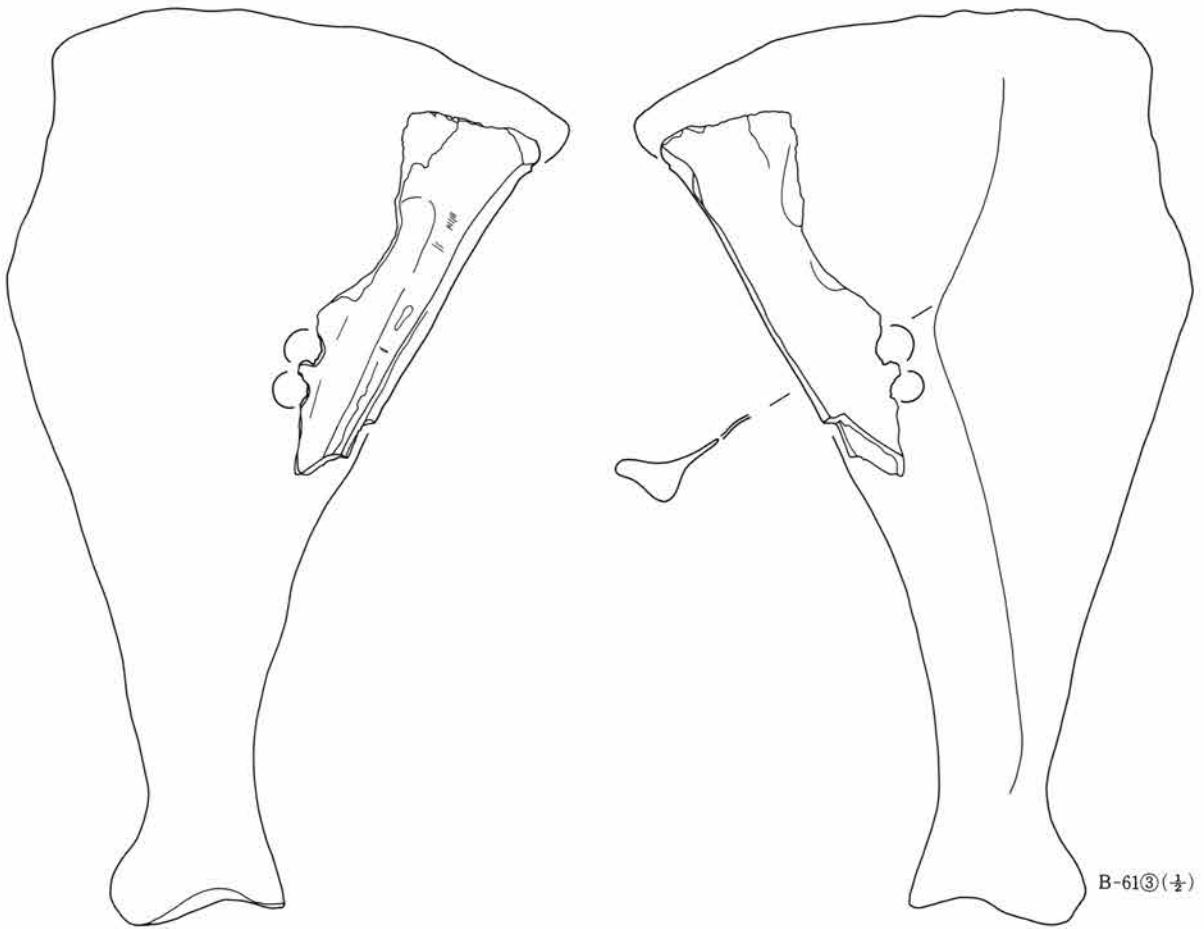


第21図 髪飾 (2/3)

1 骨角製品

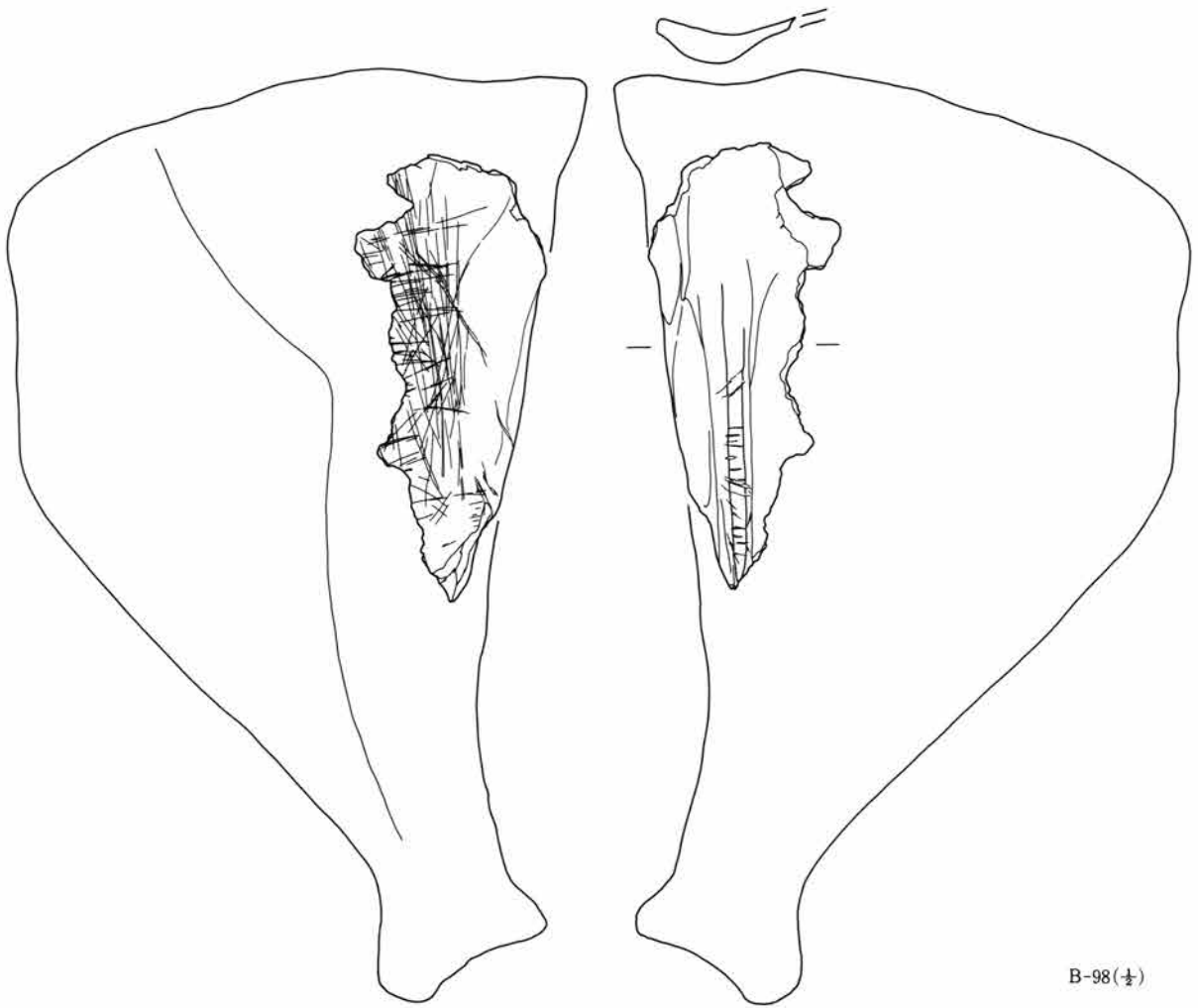
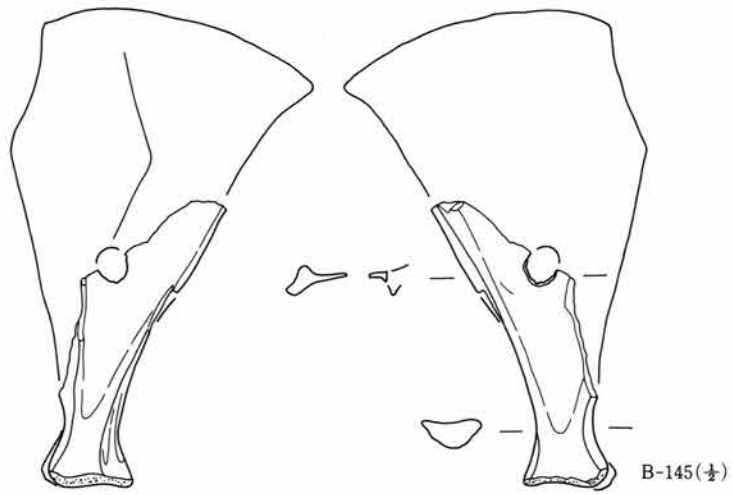


第22図 卜骨 (1) (1/2)

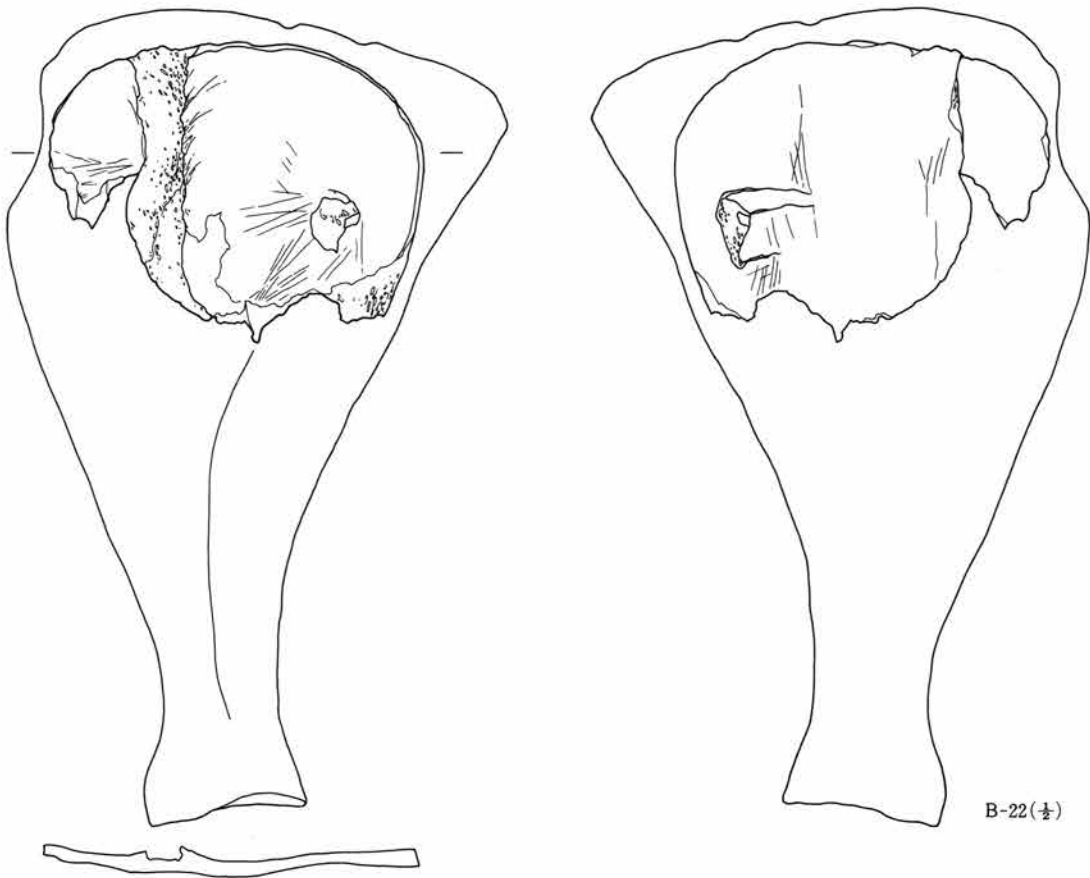
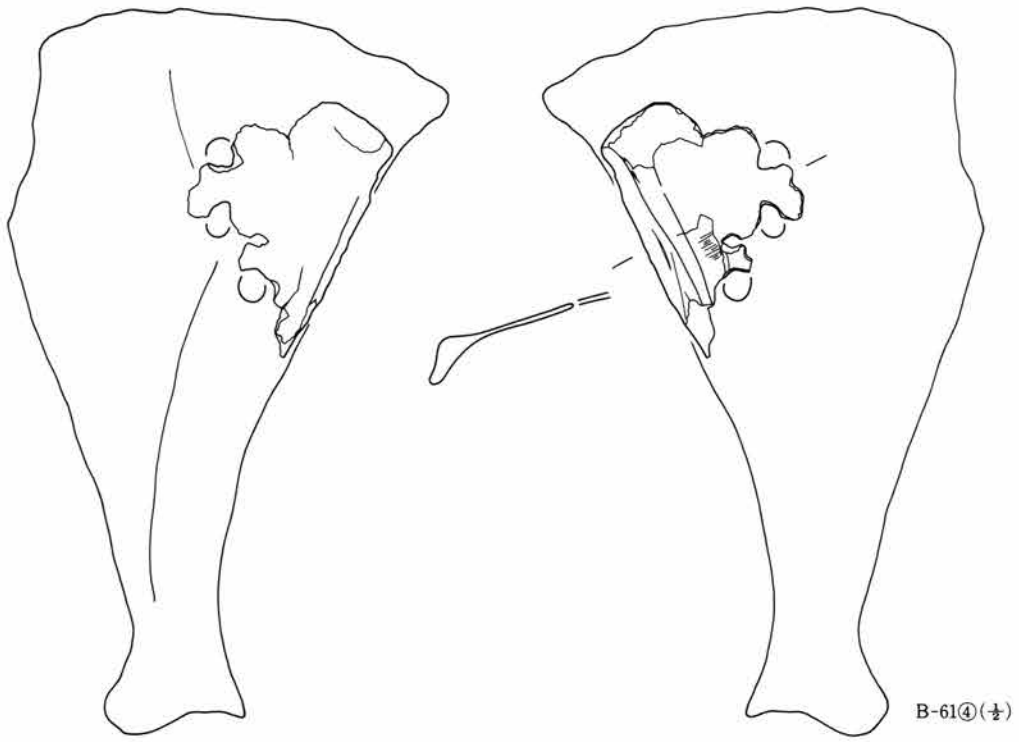


第23図 卜骨 (2) (1/2)

1 骨角製品

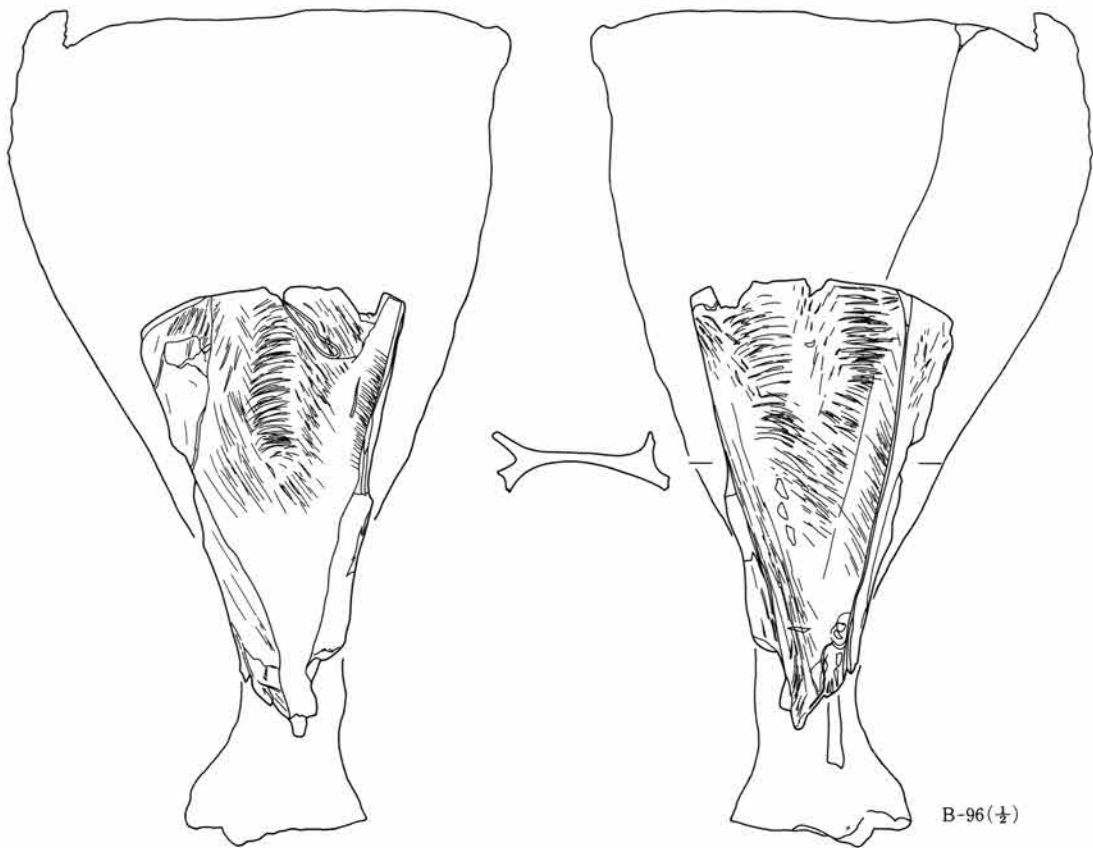
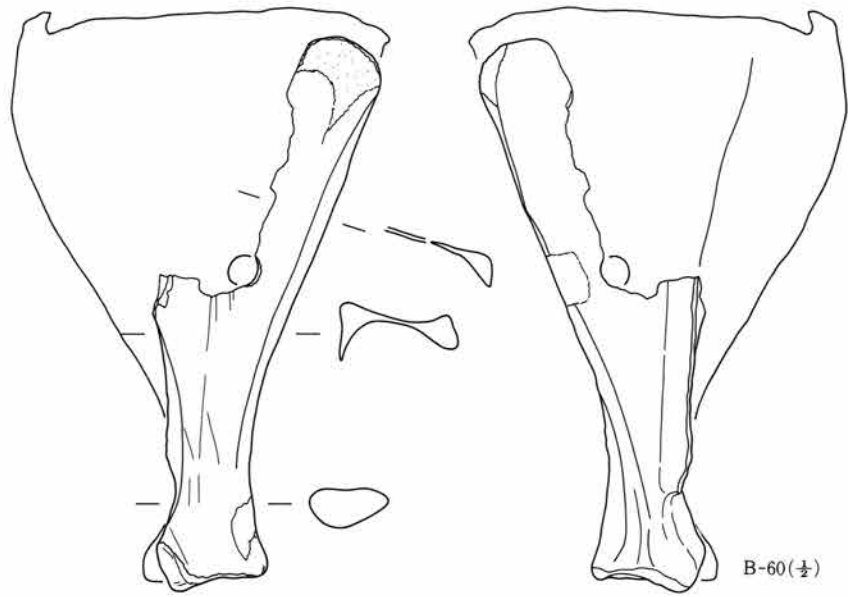


第24図 卜骨 (3) (1/2)

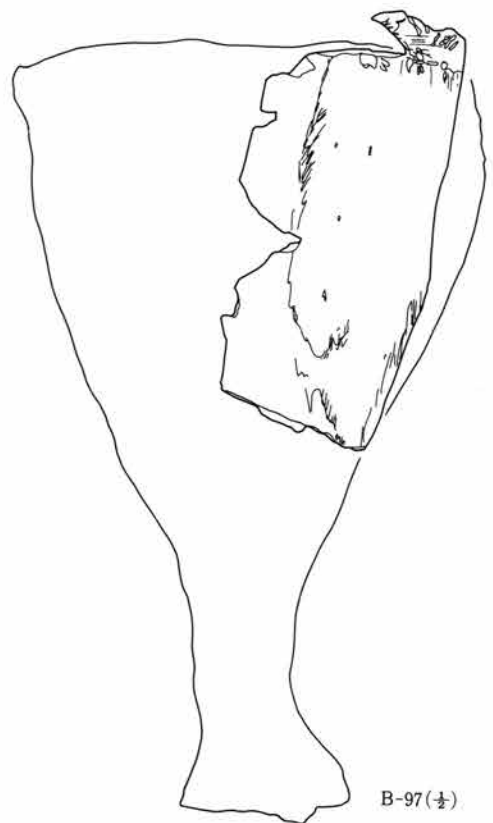
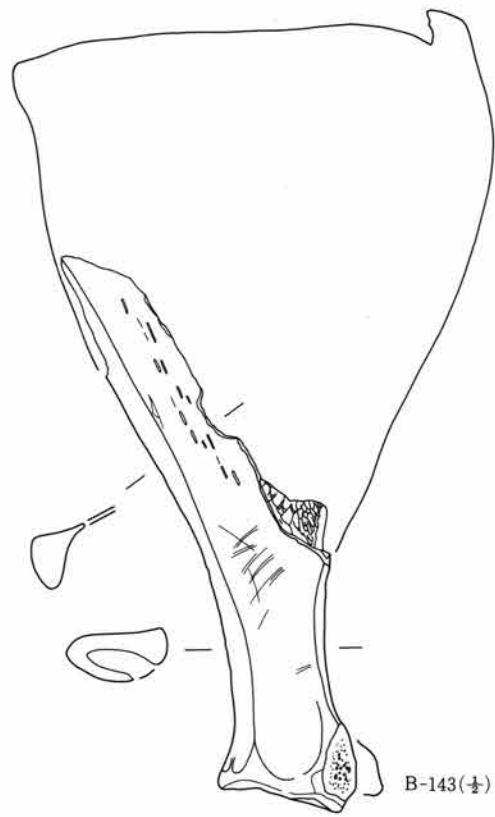
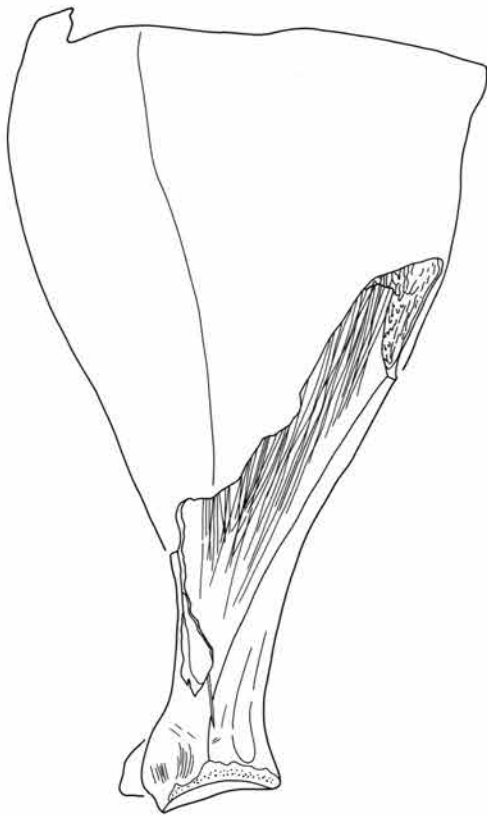


第25図 卜骨 (4) (1/2)

1 骨角製品

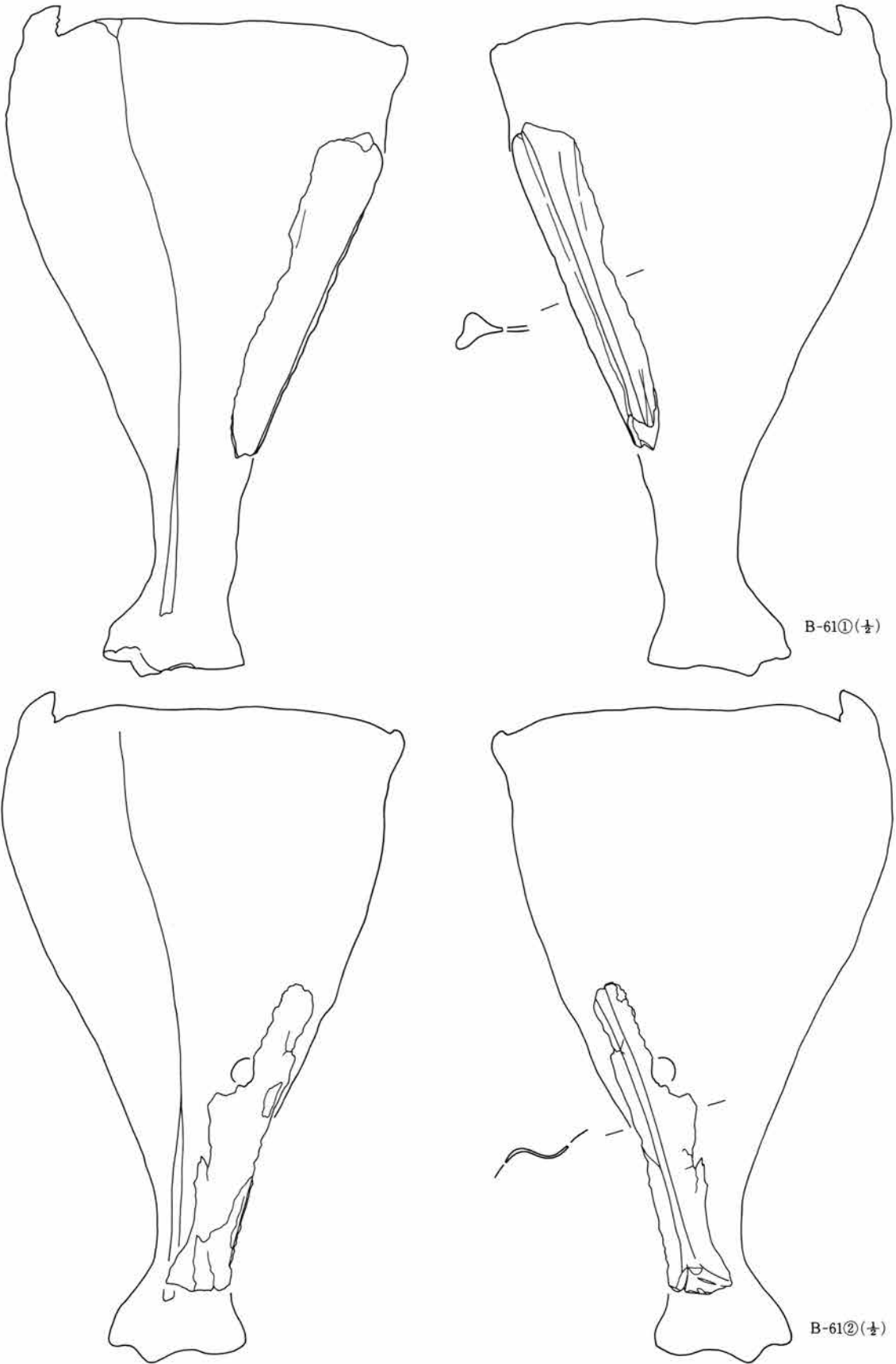


第26図 卜骨 (5) (1/2)



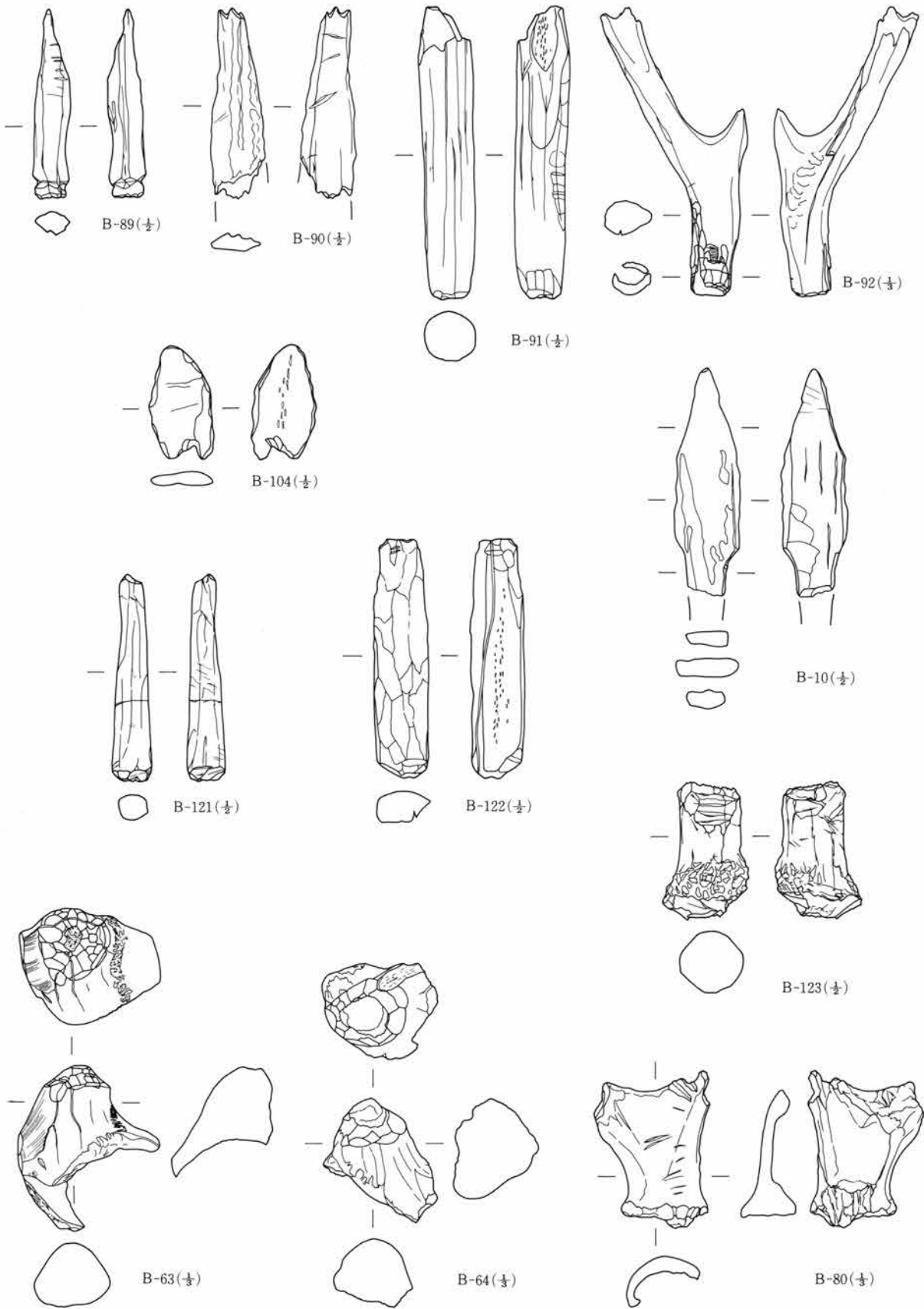
第27図 卜骨 (6) (1/2)

1 骨角製品



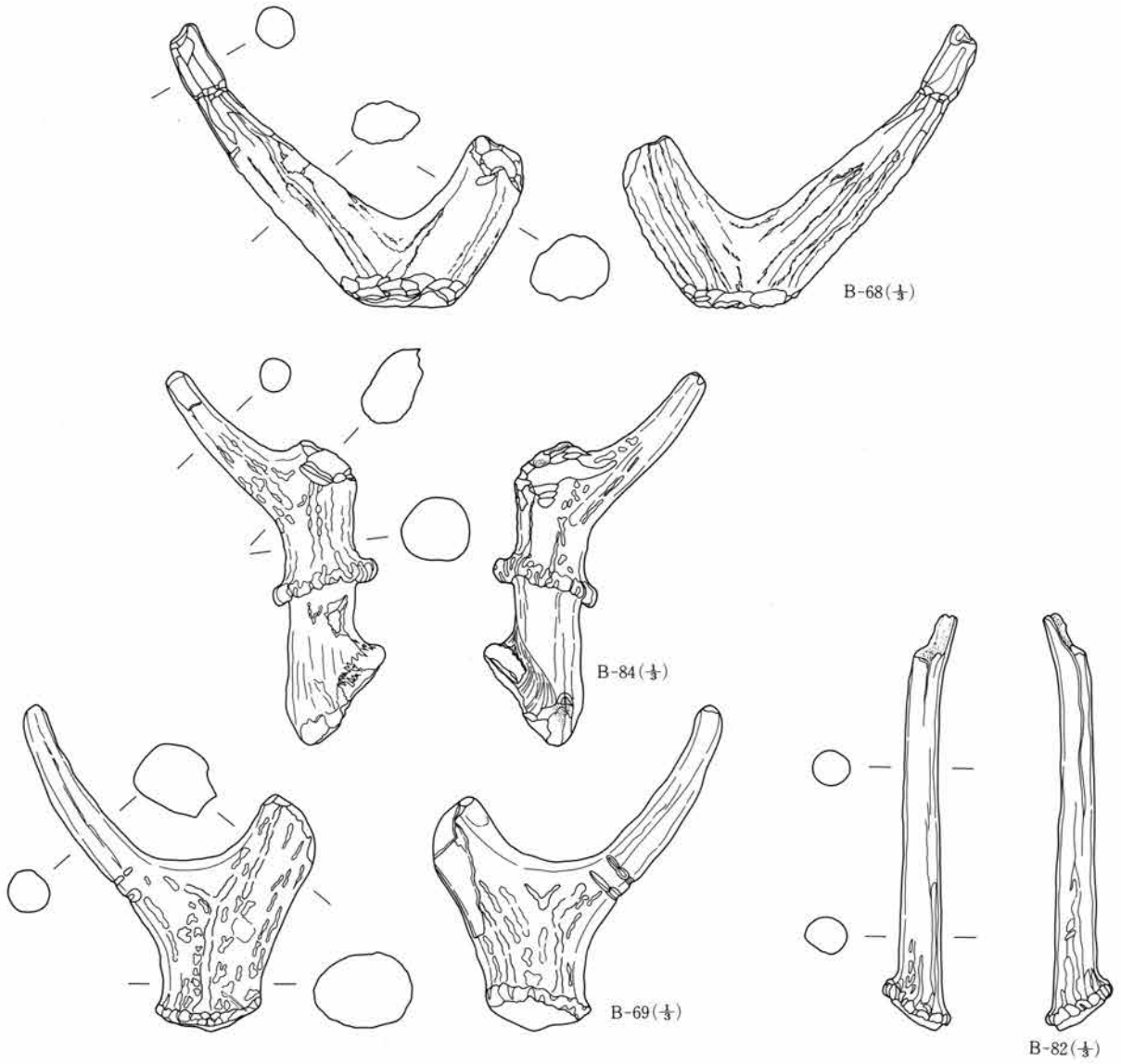
第28図 卜骨 (7) (1/2)

1 骨角製品

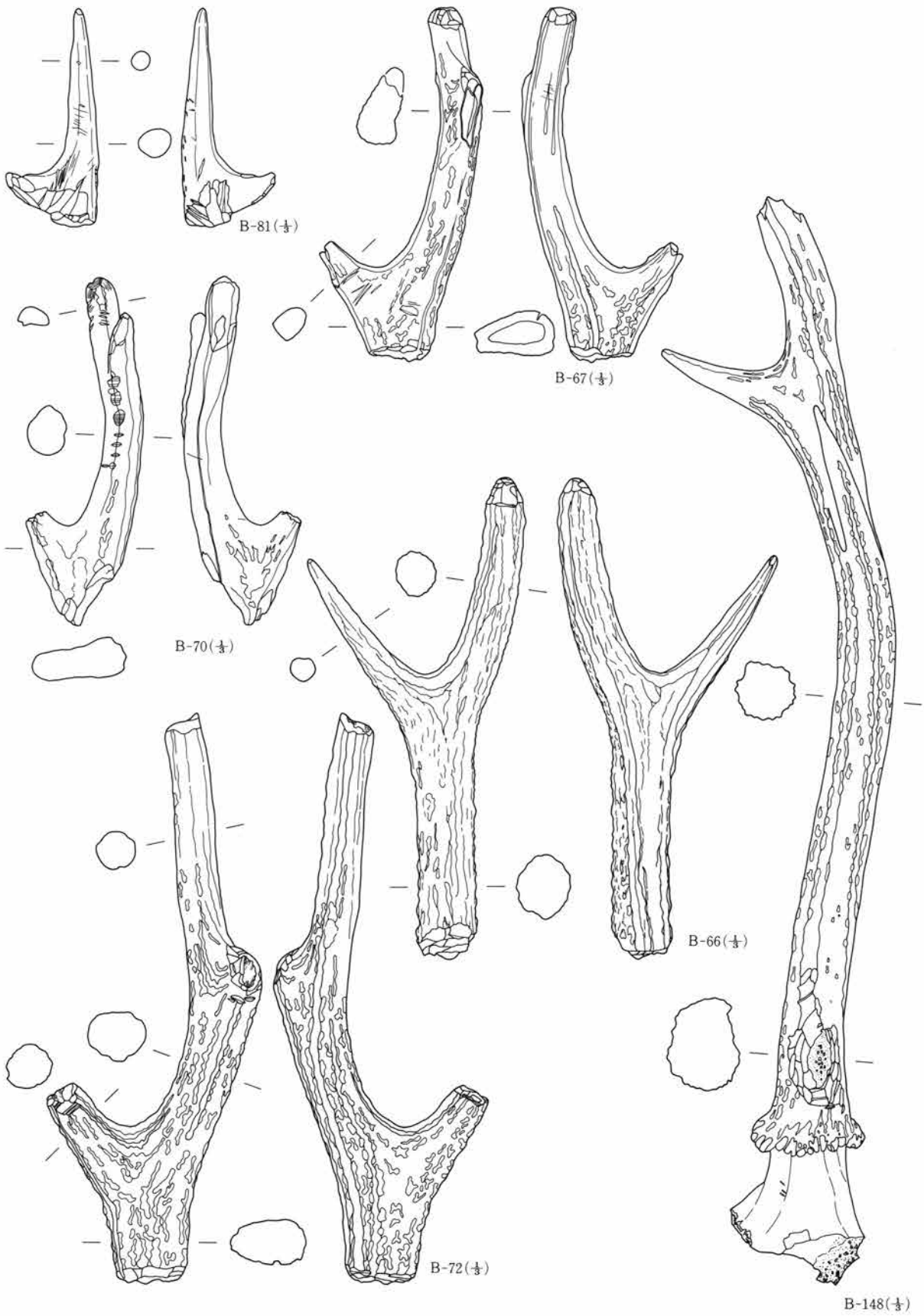


第29図 シカ角未製品・断材 (1) (1/2・1/3)

1 骨角製品

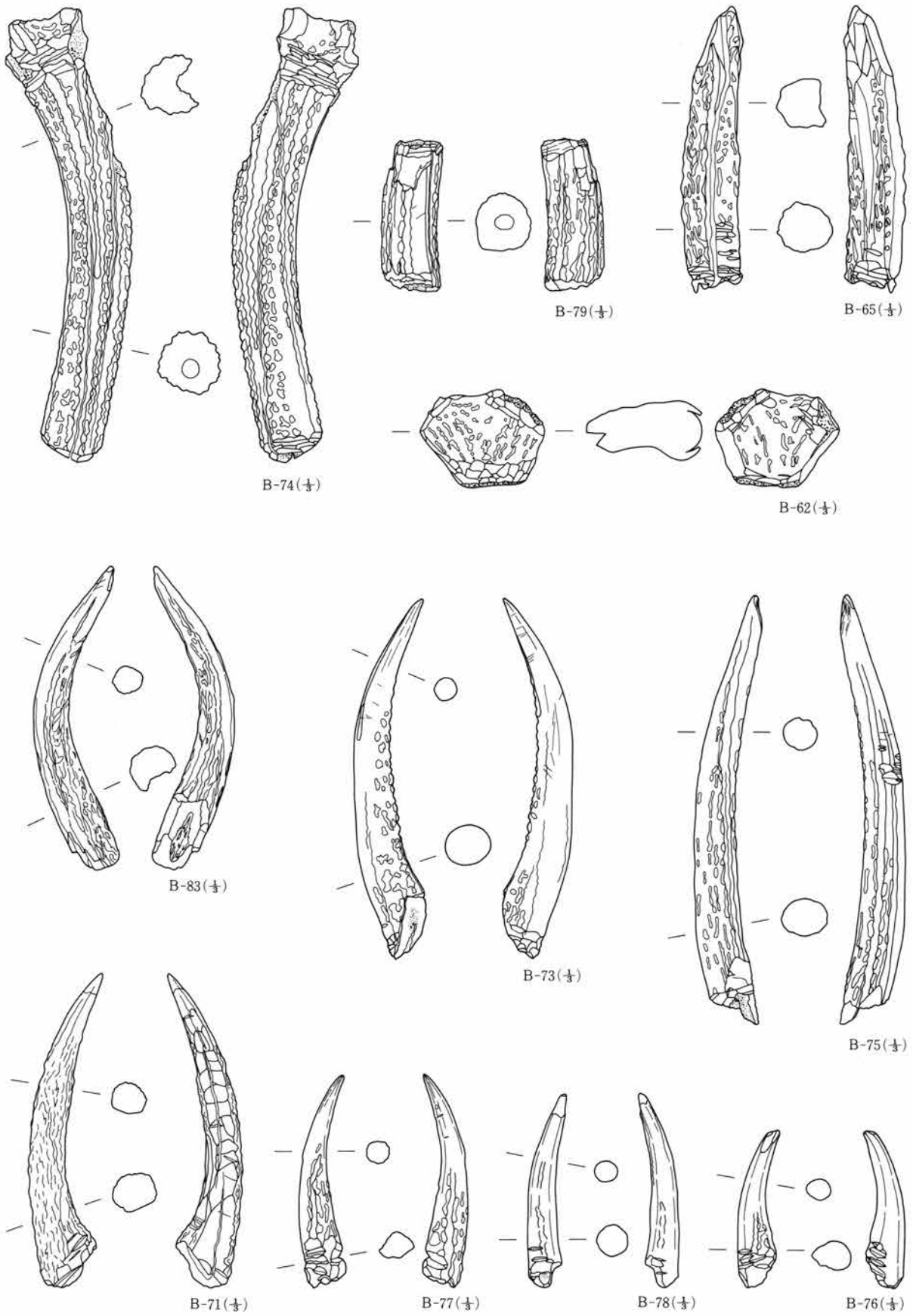


第30図 シカ角断材 (2) (1/3)

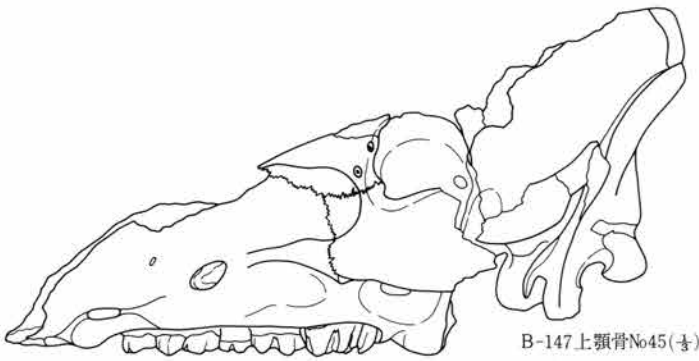
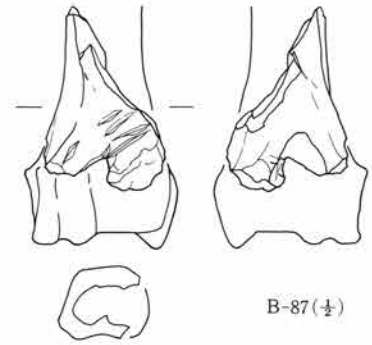
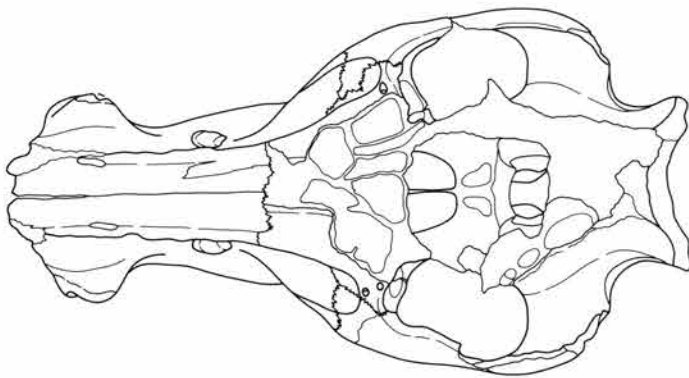
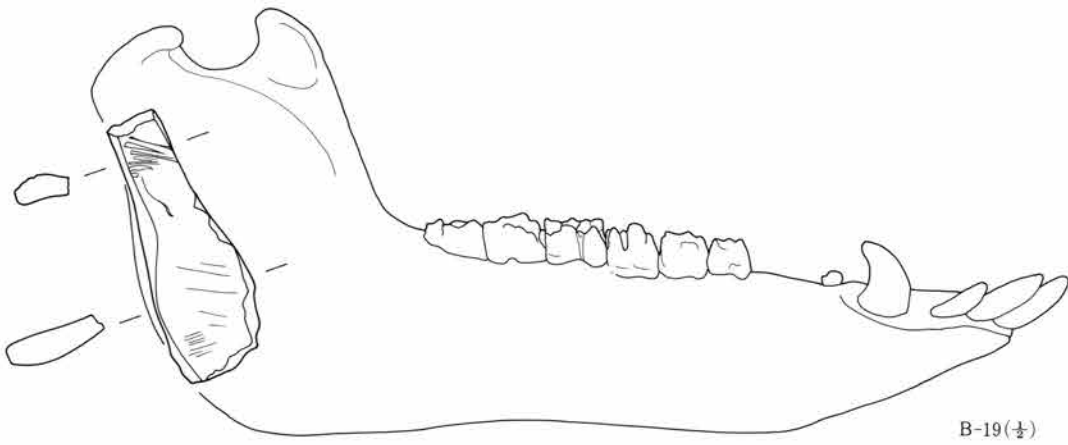


第31図 シカ角断材 (3) (1/3)

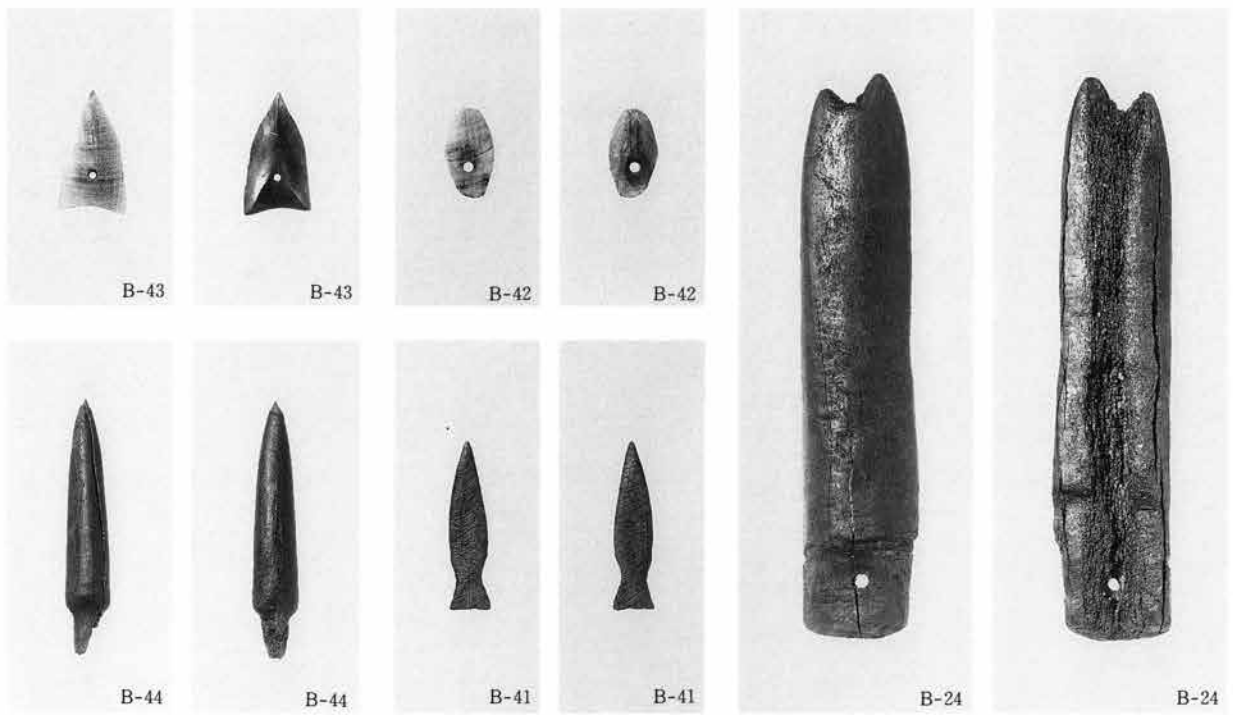
1 骨角製品



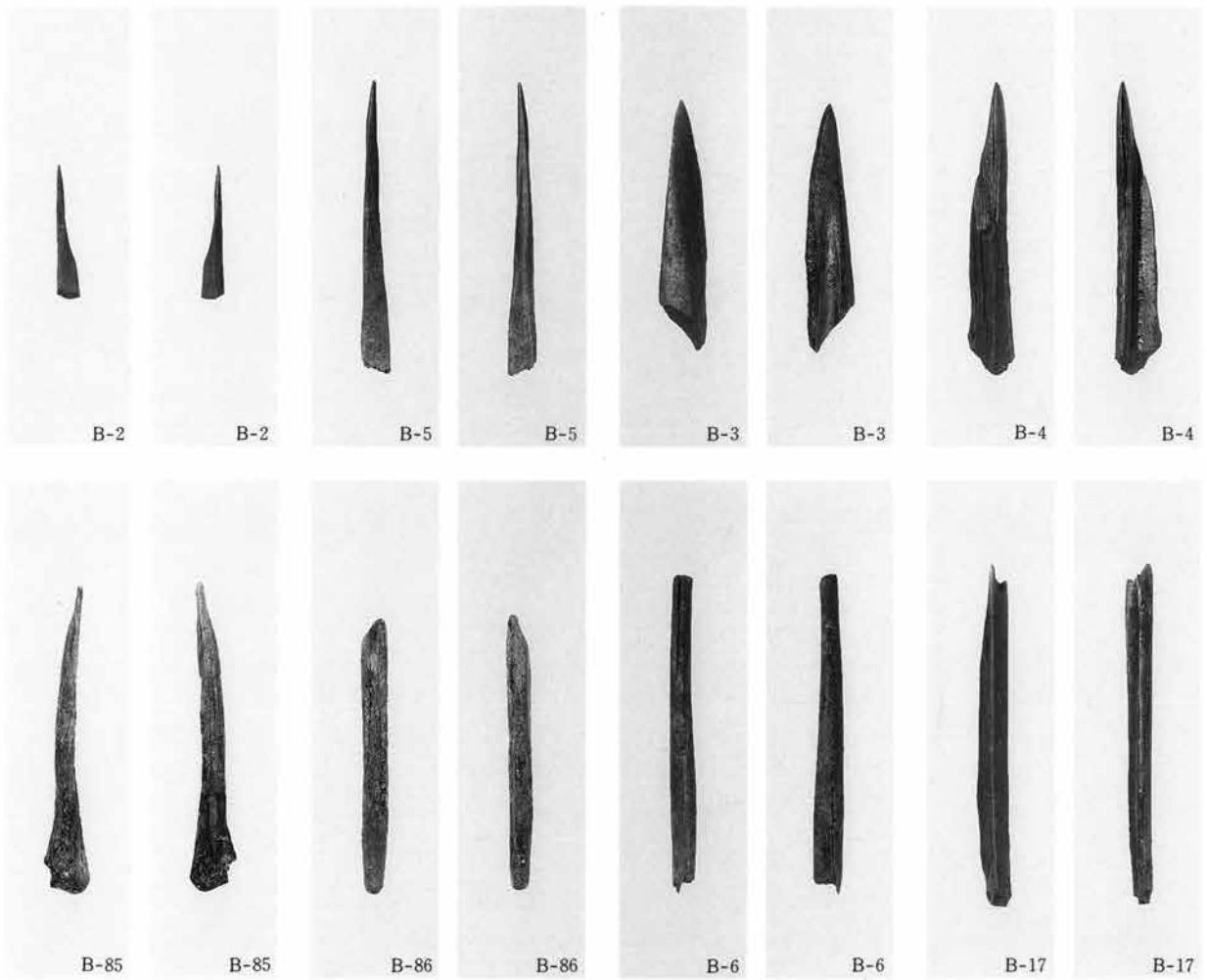
第32図 シカ角断材 (4) (1/3)



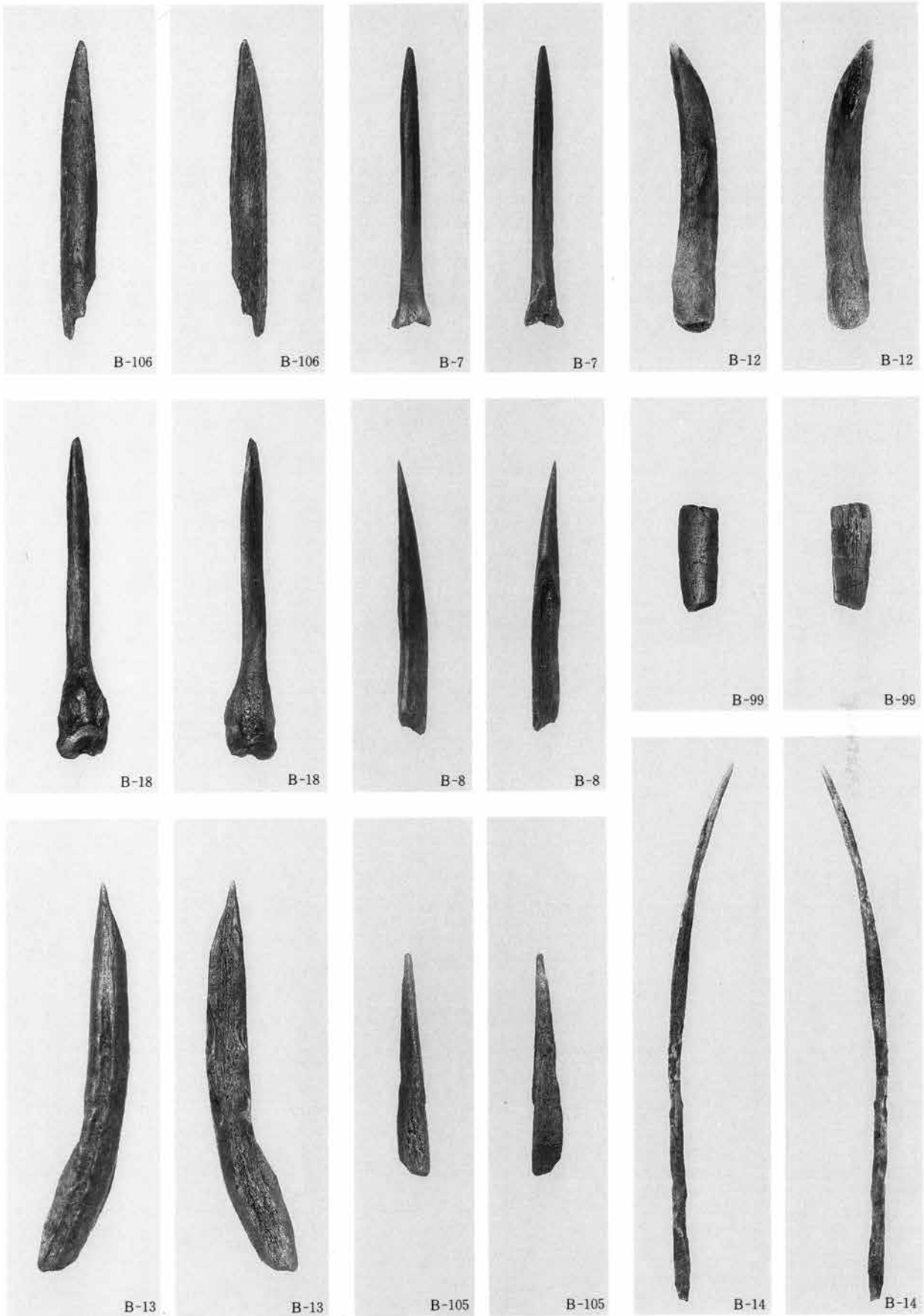
第33図 加工品・イノシシ上顎骨 (1/2・1/3)



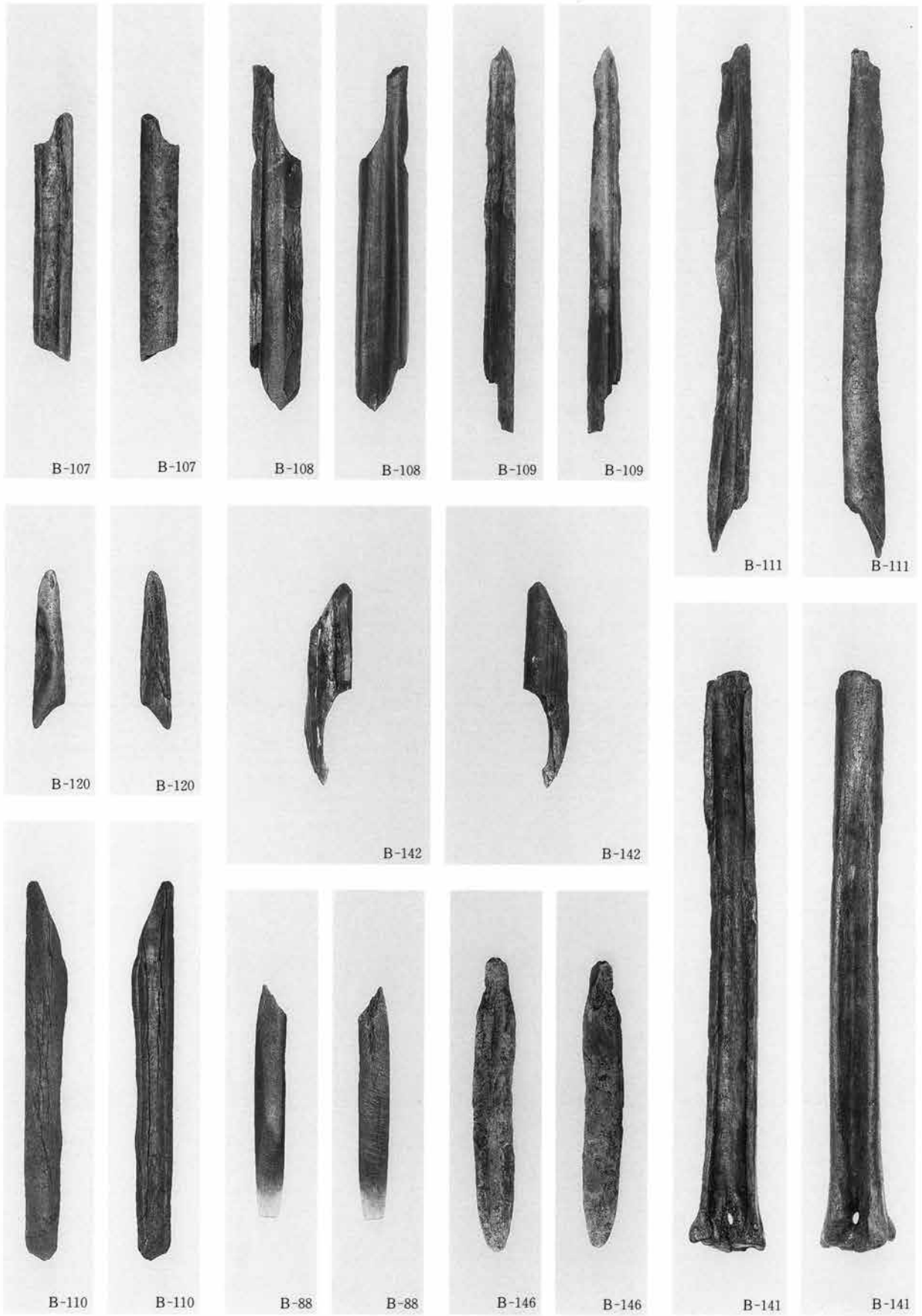
1 鋏・剣形加工品 (1/2)



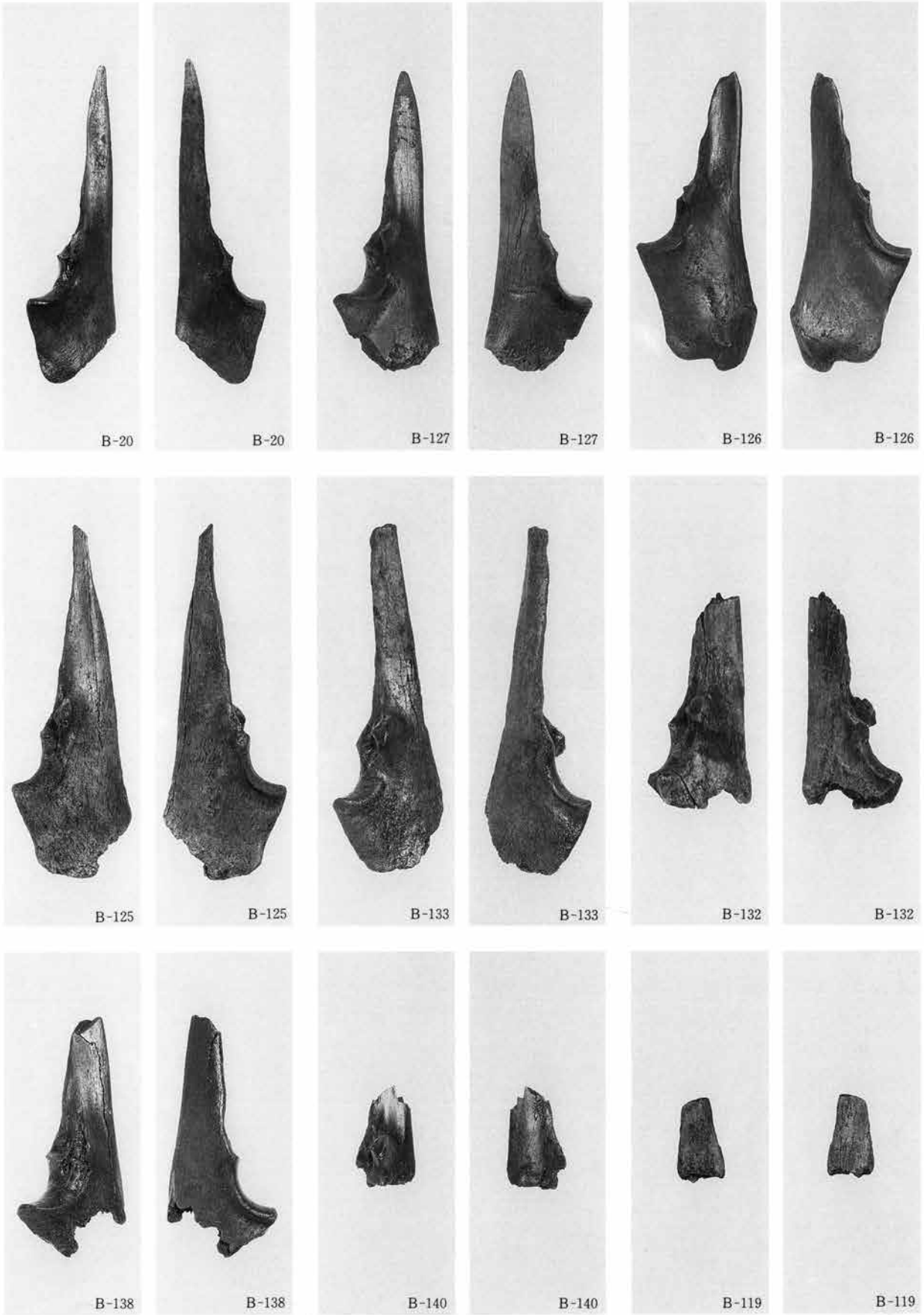
2 錐状・やす状刺突具・刺突具 (1) (1/2)



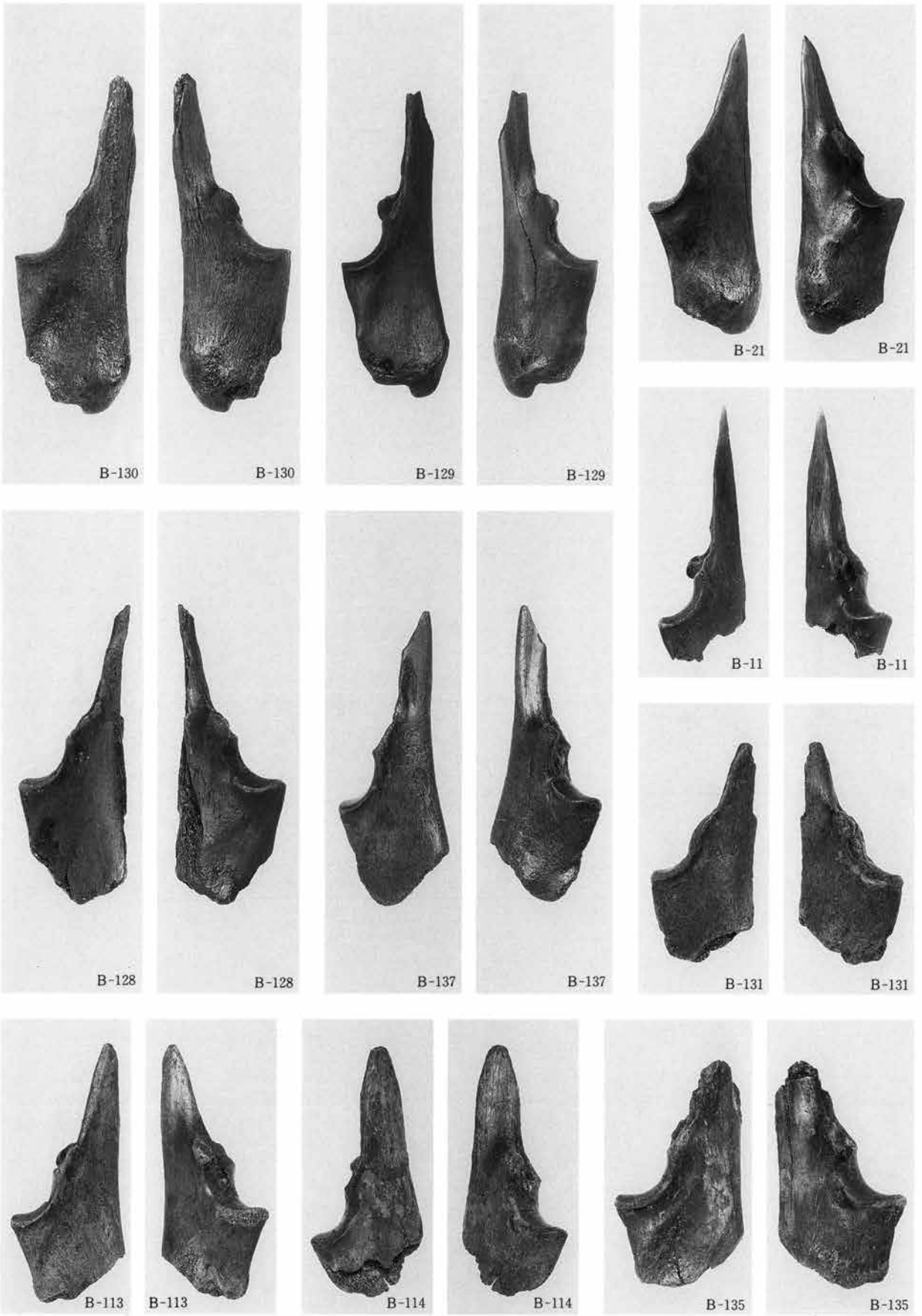
3 錐状・やす状刺突具・刺突具 (2) (1/2)



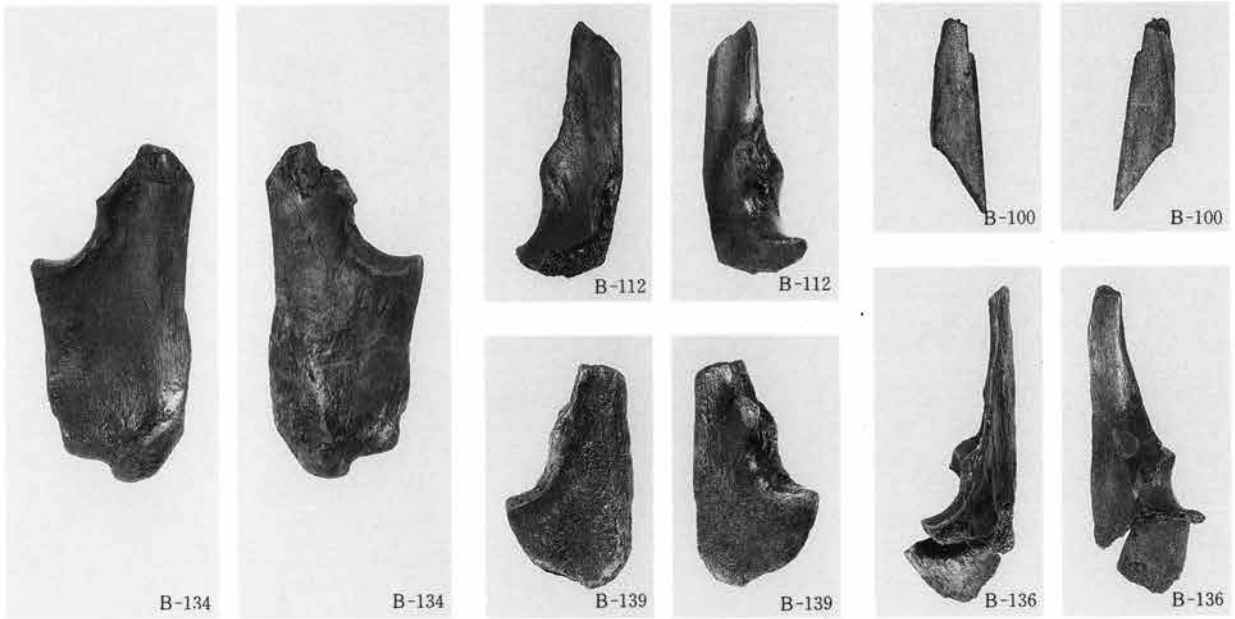
4 刺突具未製品・篋状加工品 (1/2)



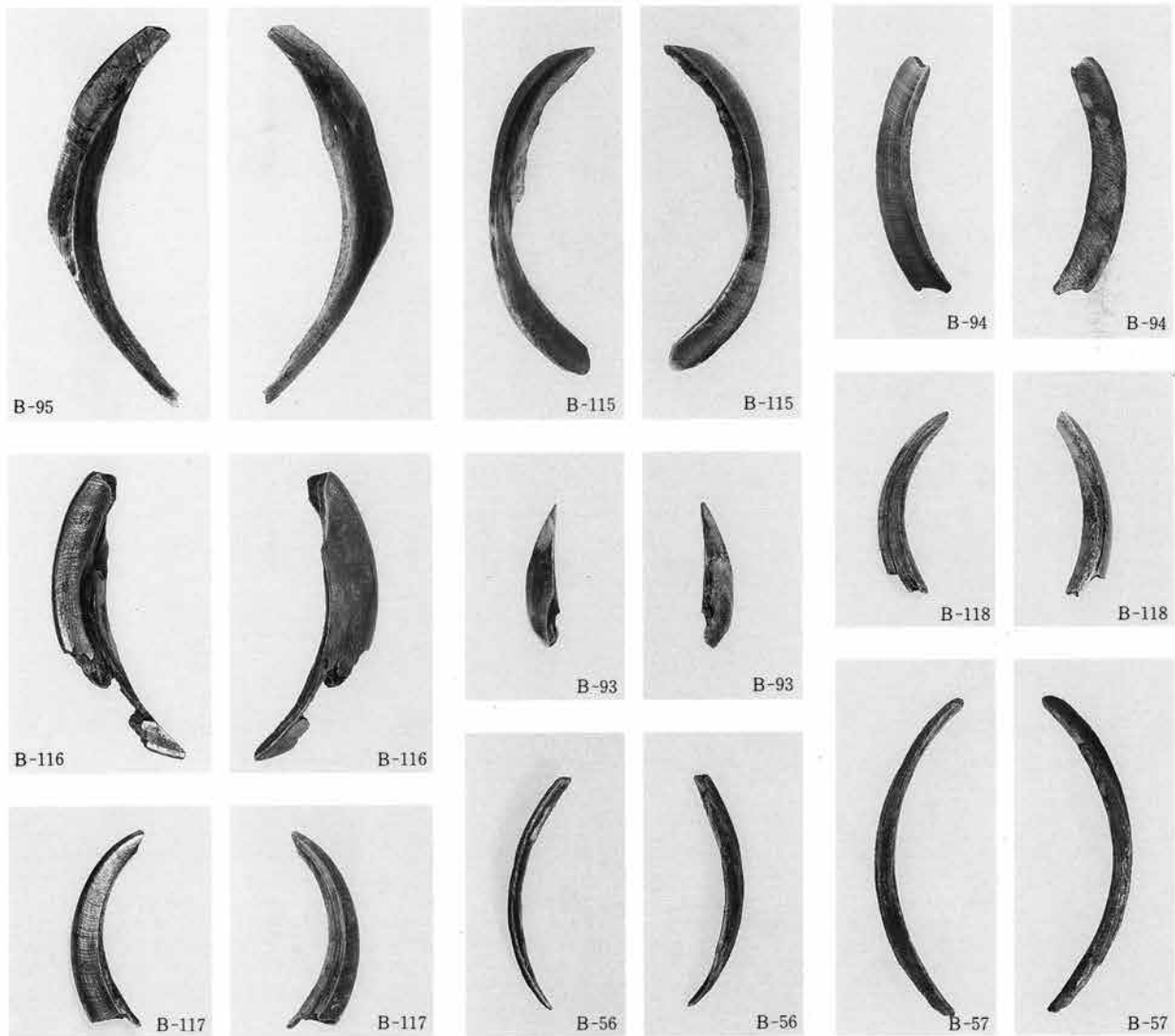
5 尺骨刺突具 (1) (1/2)



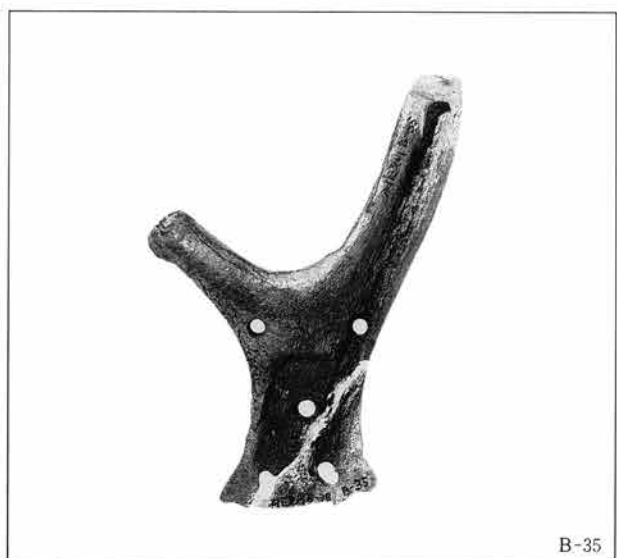
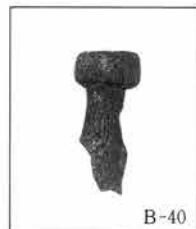
6 尺骨刺突具 (2) (1/2)



7 尺骨刺突具 (3) (1/2)



8 イノシシ犬歯加工品 (1/2)







B-25



B-25



B-27



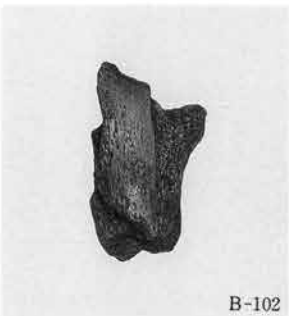
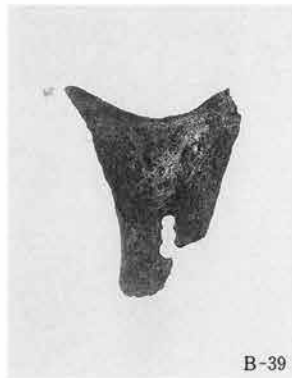
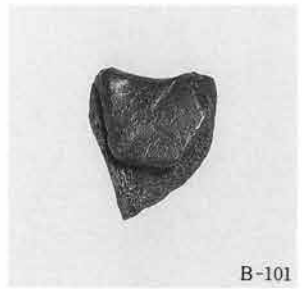
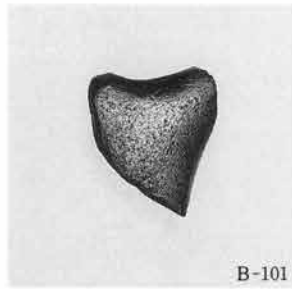
B-27



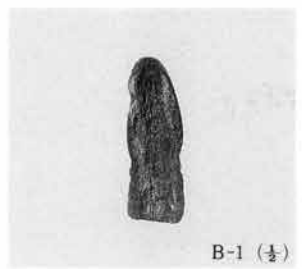
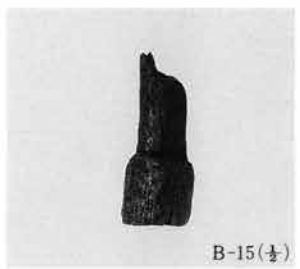
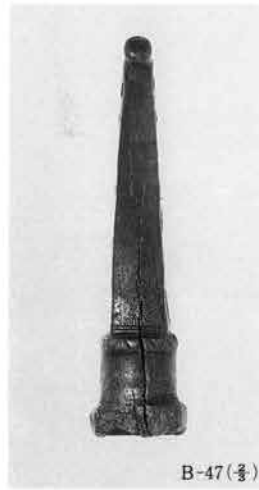
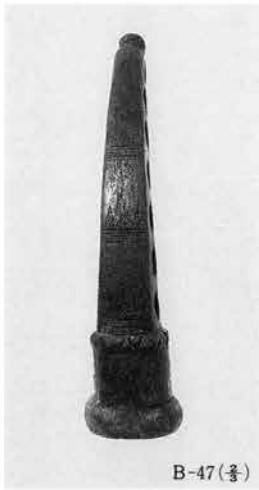
B-37



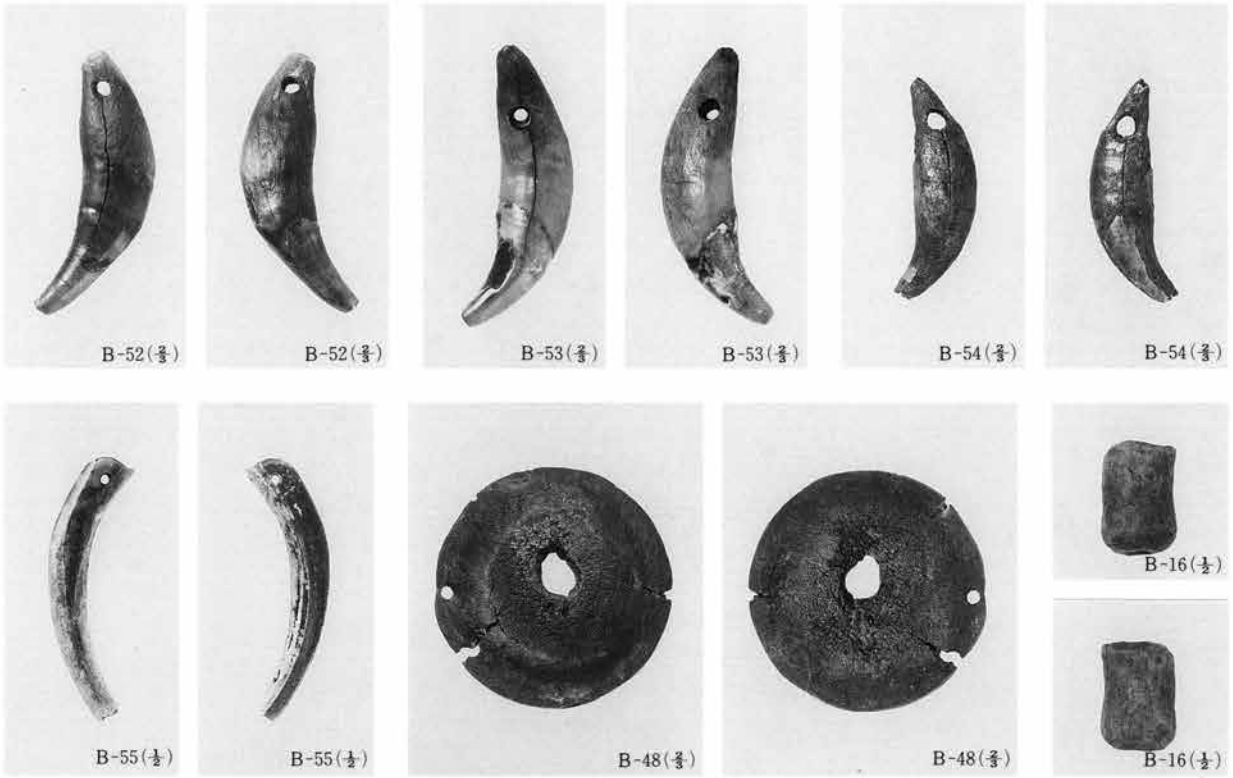
B-37



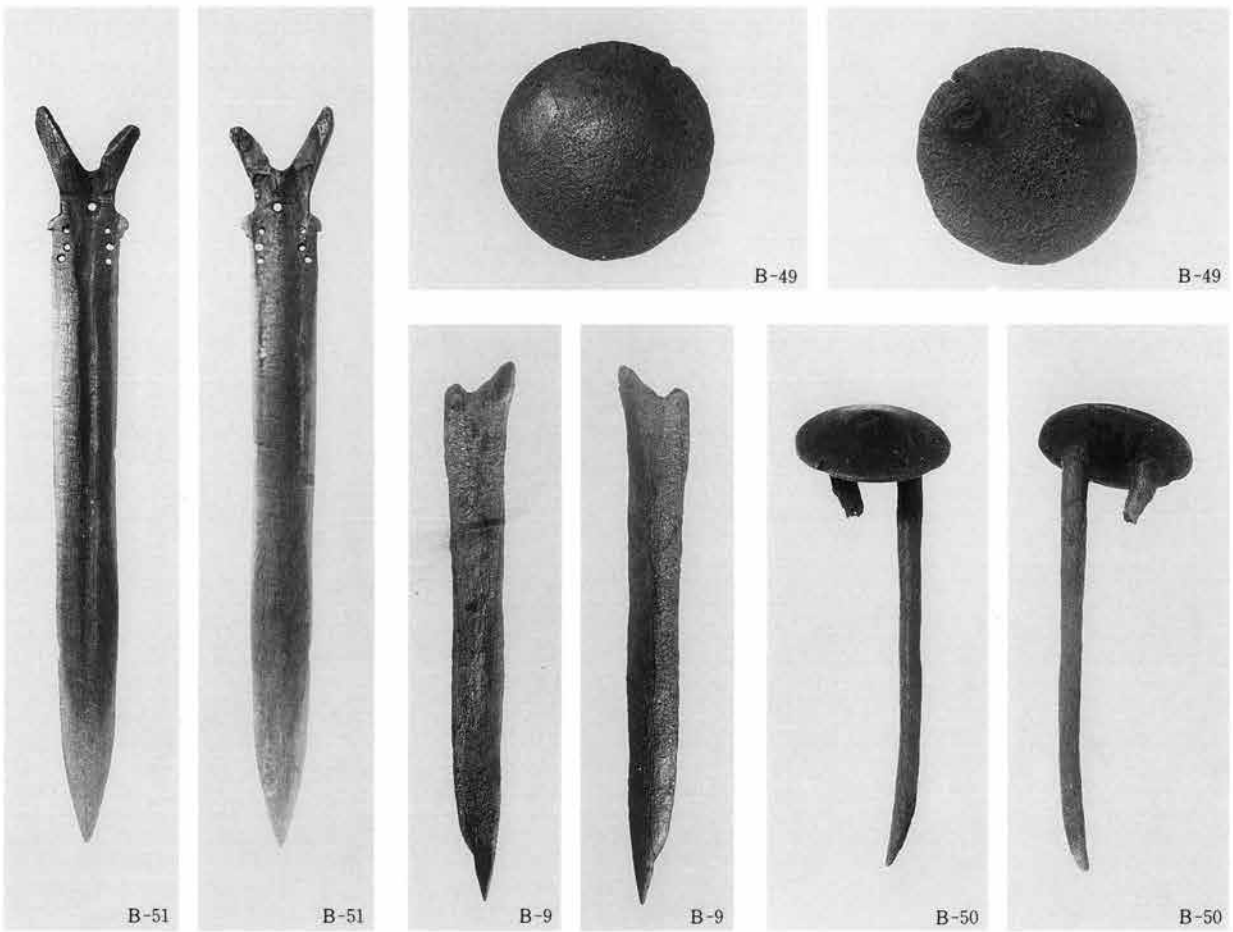
12 有角柄頭 (4) (1/2)



13 有栓弭形角製品・弭形角製品 (2/3・1/2)



14 垂飾・輪切り・紡錘車 (2/3・1/2)



15 髪飾 (2/3)



B-59



B-59



B-60



B-60



B-145



B-145



B-143



B-143



B-98



B-98



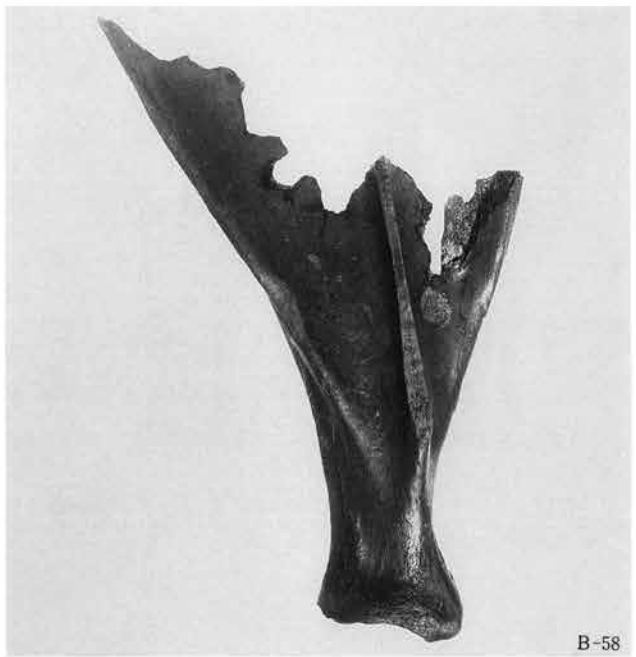
B-22



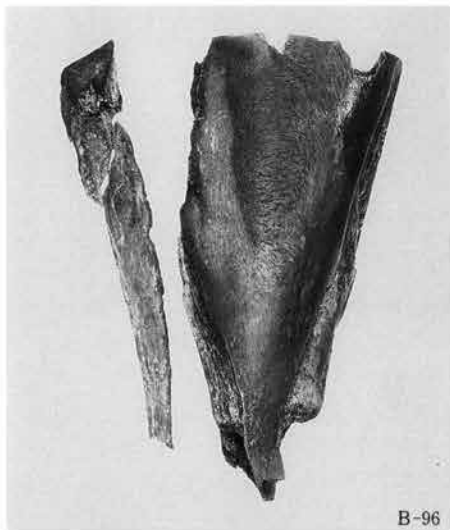
B-22



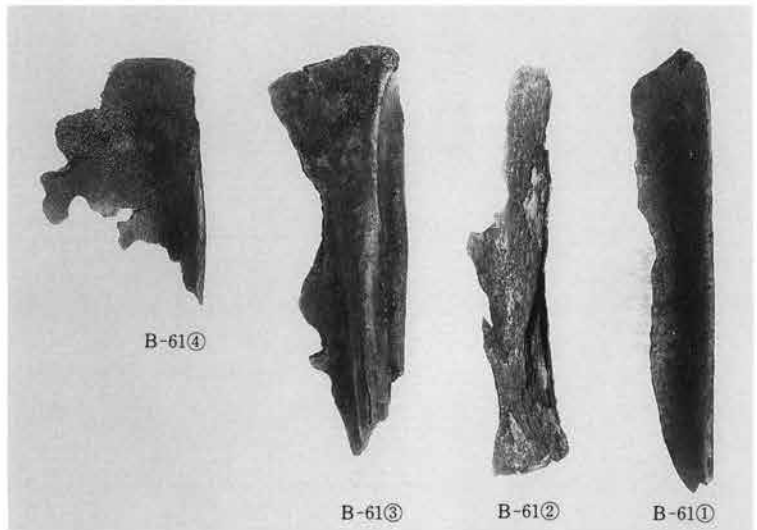
B-58



B-58



B-96

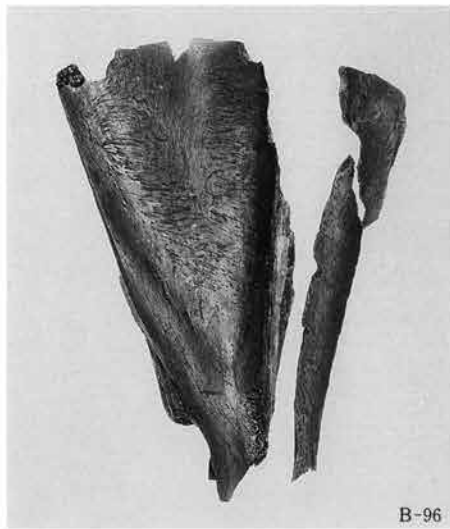


B-61④

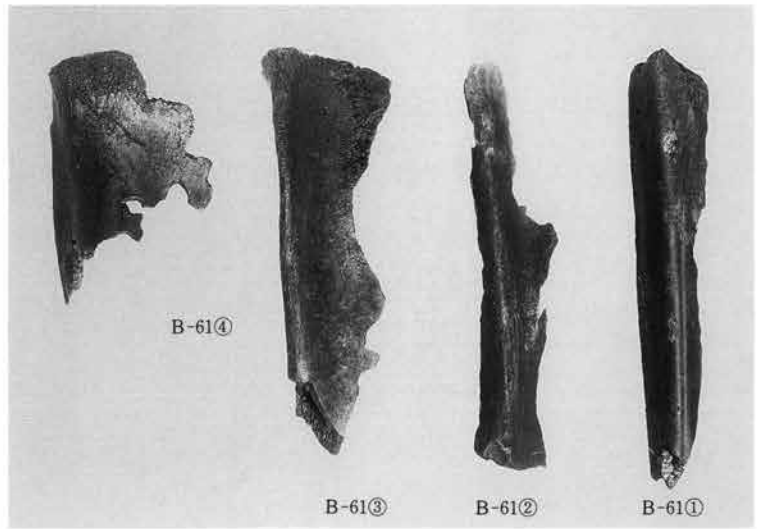
B-61③

B-61②

B-61①



B-96

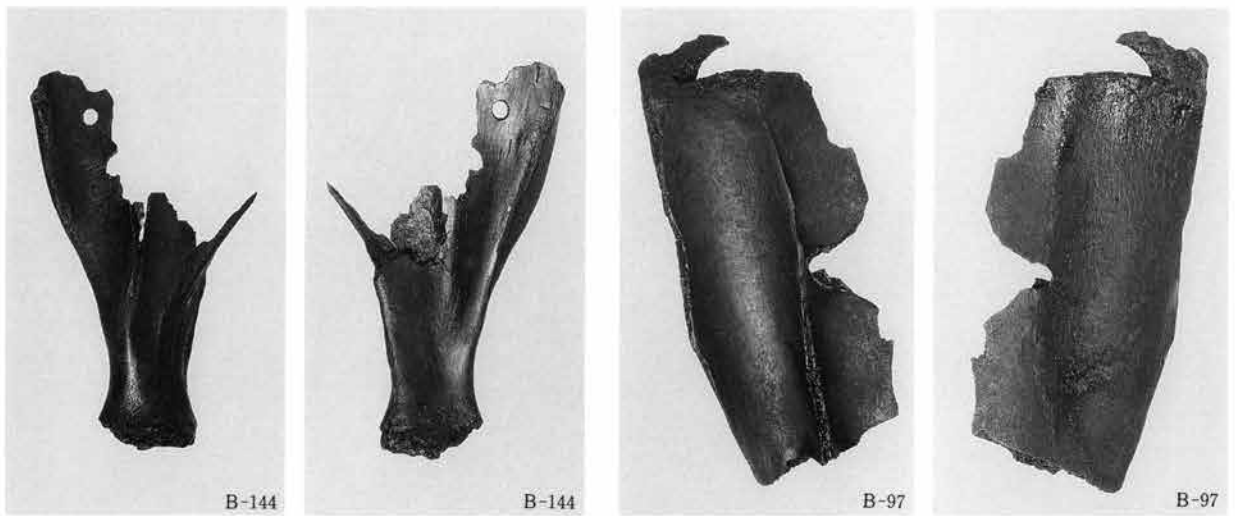


B-61④

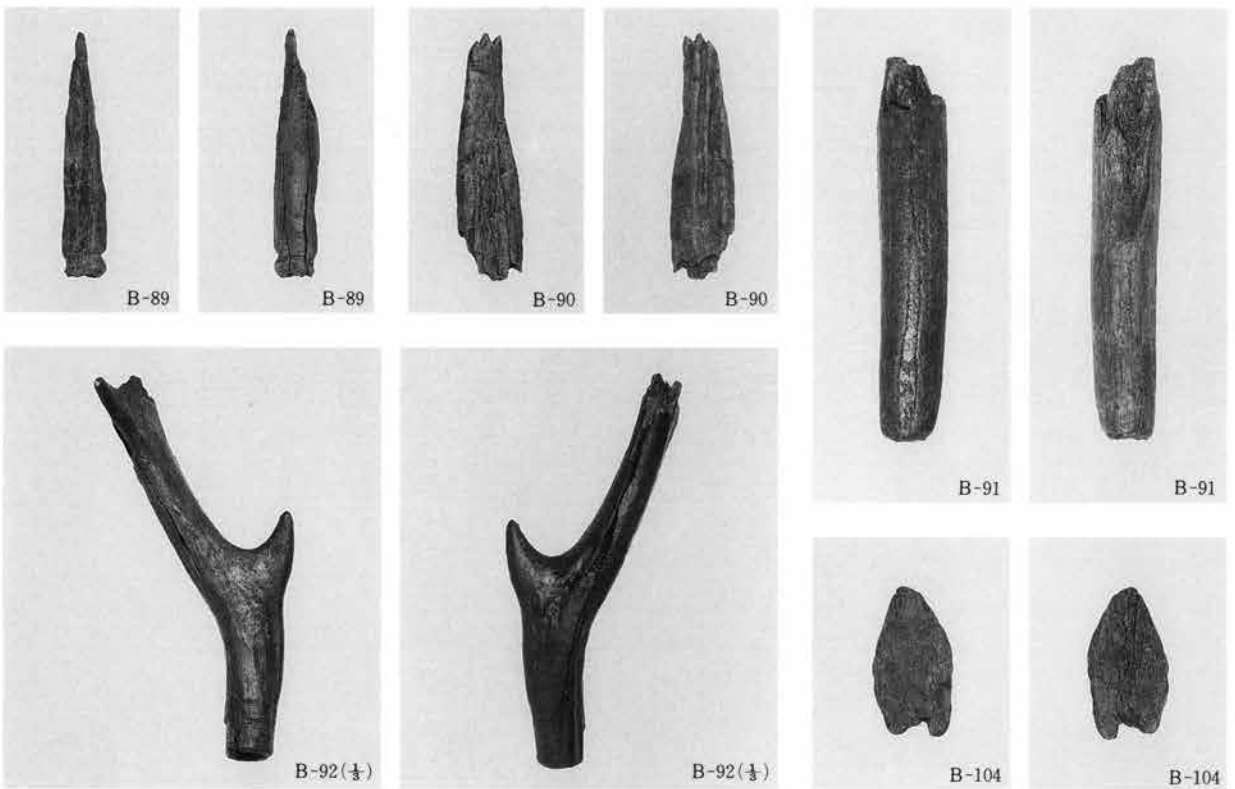
B-61③

B-61②

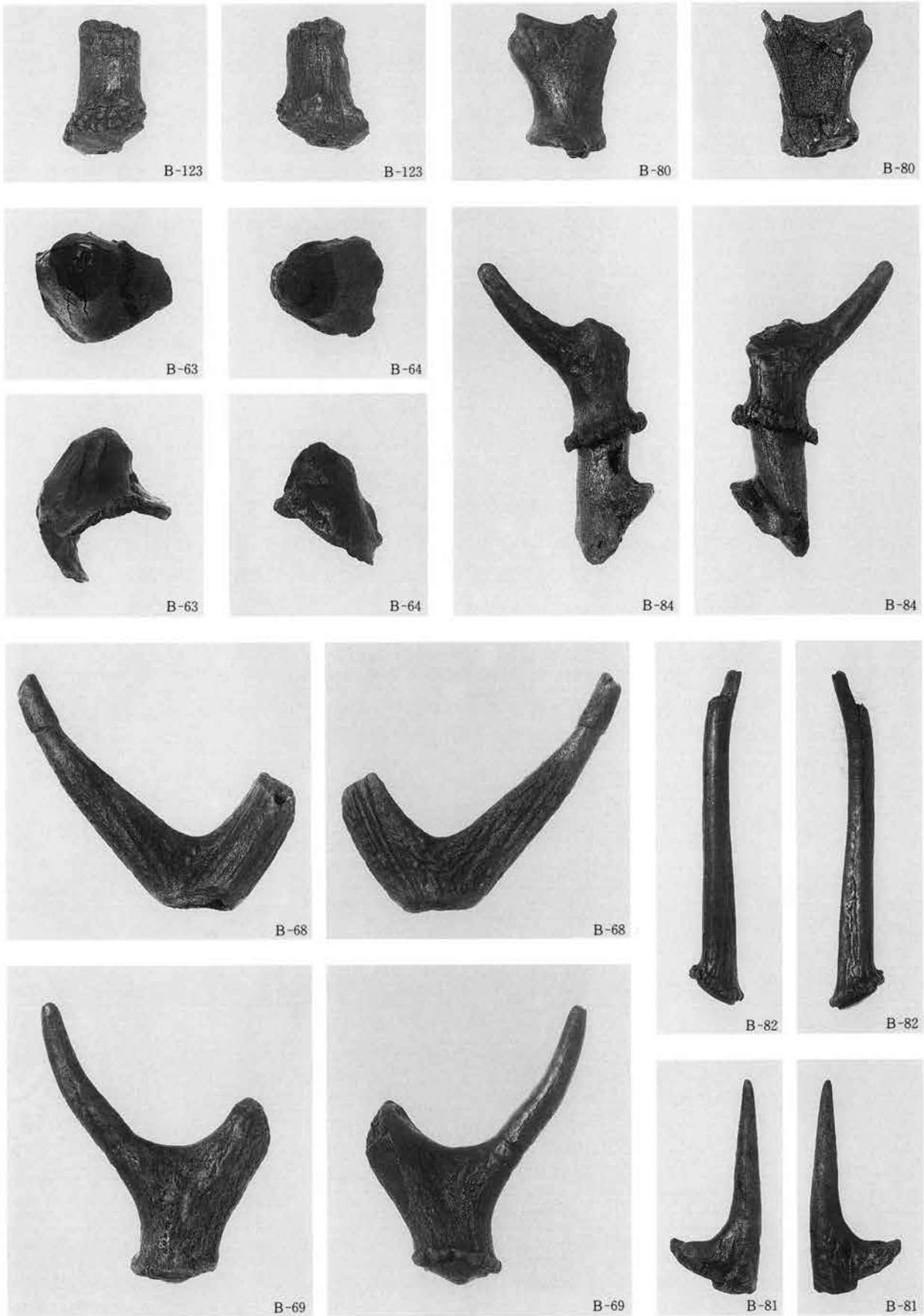
B-61①



18 卜骨 (3) (1/2)



19 シカ角未製品・断材 (1) (1/2・1/3)



20 シカ角断材 (2) (1/3)



B-66



B-66



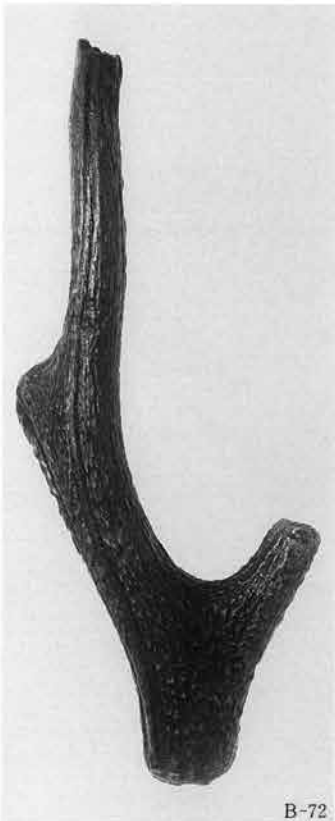
B-70



B-70



B-72



B-72



B-67



B-67



B-62



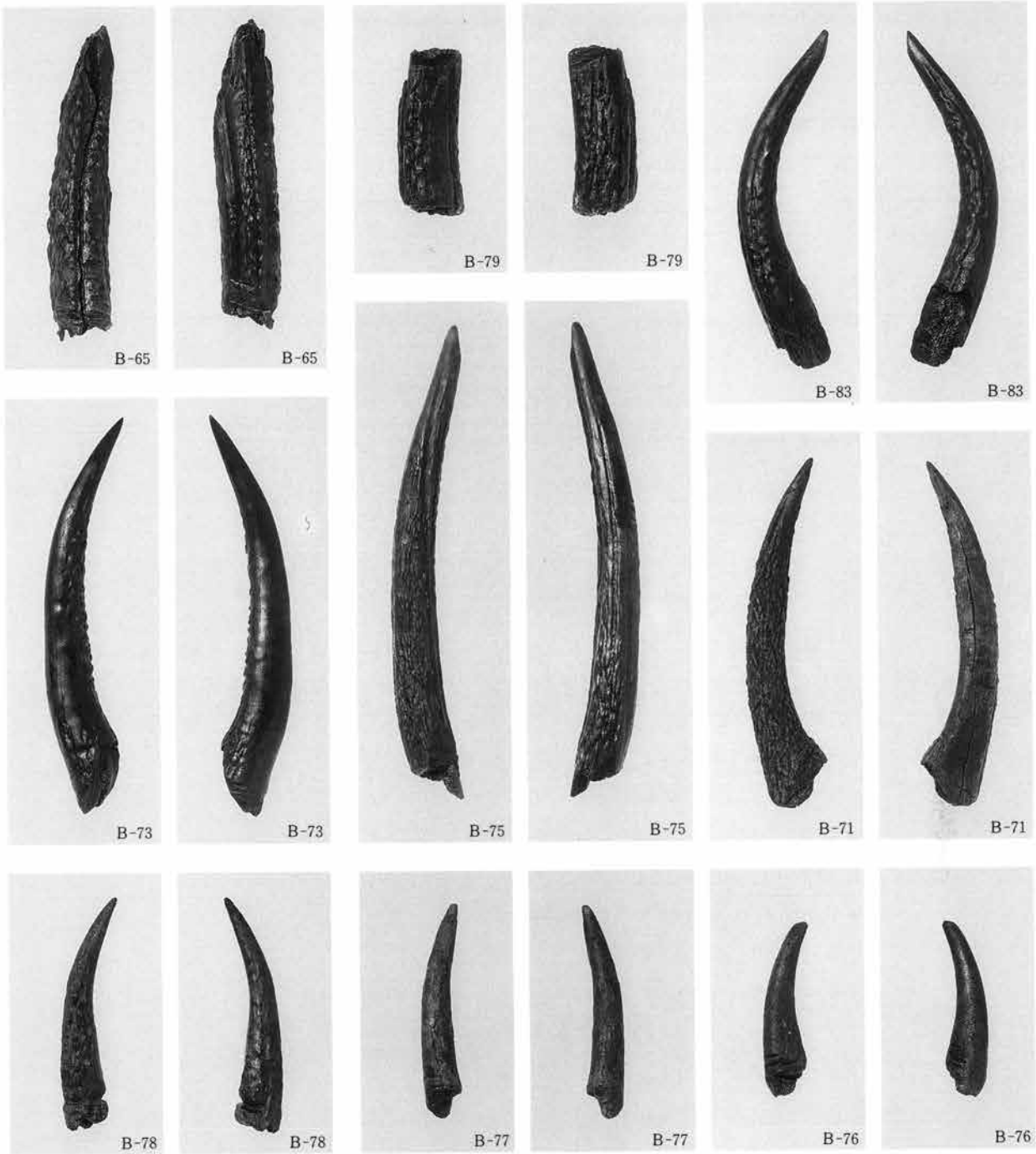
B-62



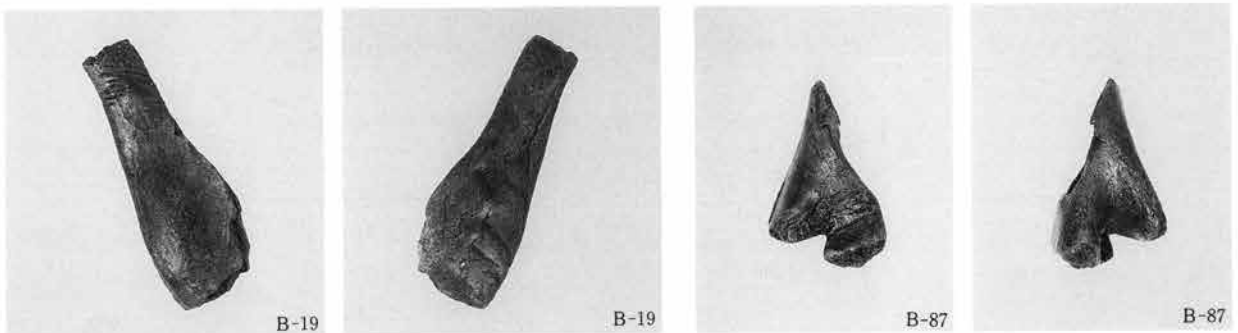
B-74



B-74



22 シカ角断材 (4) (1/3)



23 加工品 (1/2)

2 新保田中村前遺跡出土の脊椎動物遺体

金子浩昌

I. 検出された動物遺体の種名表

脊椎動物門 Phylum VERTEBRATA

鳥綱 Class Aves

キジ目 Order Galliformes

キジ科 Family Phasianidae

キジ類 Phasianus sp.

哺乳綱 Class Mammalia

霊長目 Order Primates

オナガザル科 Family Cercopithecoidae

ニホンザル *Macaca fuscata*

ヒト科 Family Hominidae

ヒト *Homo sapiens*

食肉目 Order Carnivora

イヌ科 Family Canidae

イヌ *Canis familiaris*

オオカミ *Canis lupus*

タヌキ *Nyctereutes procyonoides*

クマ科 Family Ursidae

ツキノワグマ *Selenarctos thibetanus*

イタチ科 Family Mustelidae

カワウソ *Lutra lutra whiteleyi*

偶蹄目 Order Artiodactyla

イノシシ科 Family Suidae

イノシシ *Sus scrofa*

シカ科 Family Cervidae

ニホンジカ *Cervus nippon*

ウシ科 Family Bovidae

ウシ *Bos taurus*

II. 出土動物遺体についての記載

検出された脊椎動物遺体はその多くが弥生時代後期に属し、鳥類1目、1科、1種、哺乳類3目、7科、9

種があった。鳥類は僅かに1種、哺乳類では本州産の代表的な中、大形種があったが、全体の種類は少なかった。本項では先ず各種の遺骸の形質、出土の

状況について述べ、その後で特にイノシシ、ニホンジカについては捕獲対象になった個体についての歯牙咬耗、年齢などの調査結果をまとめた。計測記号は A.V.d.Driesch (1976) による。単位:mm.

鳥綱 Class Aves

キジ類 *Phasianus* sp. (図版24-1・2)

右側尺骨：No.2 (図版24-1)

近位部を欠損する。

哺乳綱 Class Mammalia

ニホンザル *Macaca fuscata* (図版24-3~5)

1. 右側橈骨：No.26 (図版24-3)

成獣。骨体の一部を残すのみの破片。両端の破損は人為的のものではないと思われる。

2. 右側大腿骨：No.27 (図版24-4)

成獣。近位骨端を欠損。埋没後に自然力で折れたものと思われる。骨体遠位部は人為的な打ち割りで骨体を裂くように割れる。骨体の後面中央を叩き、その亀裂によって遠位部を失ったものである。骨体の略中央径14.4。雌?。

3. 右側大腿骨：No.28 (図版24-5)

近位部に近い骨体の破片。両端の破損は埋没後の自然力によるもの。

ヒト *Homo sapiens* (図版24-6・7)

頭頂部破片2：No.21,22

同一個体のもので、骨質が薄く若い個体と思われる。

イヌ *Canis familiaris* (図版24-8~10)

1. 頸椎：No.30 (図版24-9)

2. 左側下顎骨：No.15 (図版24-8)

歯牙はM₂を残すのみ。咬頭に僅かな咬耗がみられる。吻端と下顎角部を破損。下顎幅広く、咬筋窩深く(深さ7.6)、おそらく雄であろう。小形。

オオカミ *Canis lupus* (図版24-12~17)

1. 左側下顎骨片：No.8 (図版24-14)

歯は(P₃.P₄.M₁)を残すが、骨体もこの歯の部分のみを残す断片。M₁は打ち割られたような痕跡がみられ、完存していない。

2. 右側下顎骨片：No.5 (図版24-15)

歯牙の残植はない。骨体もかなり破損し、残るのは咬筋窩と関節突起、下顎角突起と骨体の一部である。骨体部の歯槽部を欠くために下記の臼歯の挿入を確認することができない。咬筋窩は深く、筋肉粗面は強大である。

3. 右側M₁：No.4 (図版24-12)

歯根部の先端が欠けるが、人為的なものかどうか不明。

歯冠長×歯冠幅 26.3×10.9

4. 左側M₁：No.6 (図版24-13)

原丘(Protocone)の先端を欠損。前丘(Paracone)はやや低く、咬面が平であるのが特徴的。エナメル質の摩滅は穿孔するほどの咬耗ではない。

歯冠長×歯冠幅 26.3×11.0

5. 左側橈骨：No.14 (図版24-16)

骨体中程の破片。両端の割れ口には人為的に割ったような痕跡が残り、遠位部に近い方の割れ口には食肉獣による咬み痕が残る。SD14.2

6. 右側中足骨：No.12 (図版24-17)

近位部を15.0位欠損。この骨にも折れ口に人為的に割ったような痕跡がある。オオカミの骨格で中手・足骨、指骨部分はほとんど残されることがなく、本標本が唯一である。遠位骨端幅9.6

タヌキ *Nyctereutes procyonoides* (図版24-18~21)

1. 右側下顎骨：No.11 (図版24-18)

C, P₂, M₂を残す。

2. 左側下顎骨：No.9 (図版24-19)

P₂, P₄, M₁を残す。やや大きな下顎骨である。

3. 左側肩甲骨：No.19 (図版24-20)

4. 左側上腕骨：No.23 (図版24-11)

近位骨端の大結節を欠損する他はよく原状を保つ。

GLC118.0, SD9.9

2 脊椎動物遺体

5. 右側大腿骨：No. 34 (図版24-21)

完存する。

ツキノワグマ *Selenarctos thibetanus* (図版24-22~24)

1. 左側上顎犬歯：No. 7 (図版24-22)

歯冠部分の破損が著しい。歯髓腔は閉鎖。

2. 右側大腿骨：No. 24 (図版24-23)

近位部分のみの破片。骨端を失った部分に多くの咬み痕が付く。おそらくイヌによる咬み痕であろう。骨体は人為的に割られる。

3. 右側第4中足骨：No. 43 (図版24-24)

完存。

イノシシ *Sus scrofa* (図版25~図版45)

脊柱

環椎 (図版25-1~4)

椎骨のなかでもっとも多かったが総数6点である。そのなかでも完存に近い状態のは半数足らずであり、破損率の高い骨である。このような破損は、頭蓋を外す際の損傷なのであろう。標本の大部分は成獣のもので、環椎の背結節は高く膨隆していた。頭蓋 (図版26・図版27)

ほぼ完存する雄成体標本が1点が出土している。切歯骨と鼻骨の一部を欠損し、前頭骨と頭頂骨が破損、頸静脈突起を欠くが、ほぼ全体の形状をうかがえる標本である。切歯骨の部分は別に採集されている標本もあるが、同一個体のものを確認することはできなかった。

脳頭蓋部の破損は著しく、骨も崩れた状態である。このために人為的な打撃などの加工痕を観察することは困難であった。自然的な損傷であるかも知れない。頬骨は左右共に残されていた。普通この部分は損傷され易く、残されることは少ない。この部分の保存で頭蓋の形状をうかがうための好資料となった。

頭蓋全長350±

本標本とは別に成獣の個体の前頭骨、後頭骨、頬

骨などの破片が得られている。いずれも破損の著しいもので、頭蓋を壊した際の断片なのであろう。

下顎骨

左右下顎連合部 (図版30-1~5)

5点があり左右下顎骨の連合部が化石した場合の骨解体の方法であったことを示している。縄文期にみるそのままの方法であった。

1. 大形の雄の下顎骨、犬歯が抜き取られている。P₄の位置で下顎骨は切断されている。(No. 46)

2. 大形の雄の下顎骨、犬歯が抜き取られている。M₁の位置で切断されている。(No. 47)

3. 雌の下顎骨、強度に摩耗した犬歯が残され、P₄の位置で切断されている。(No. 45)

4. 雌の下顎骨、犬歯は残るが先端が破損。前臼歯は失われ、左側のみ臼歯がM₃まで残る (No. 44)。この標本は厳密な意味での連合部切断とはいえないかも知れぬ。

5. 雌の下顎骨、犬歯が残る。摩耗は弱い。臼歯はP₄まで残り、その直後で折られる。

1例を除いてP₄あるいはM₁の位置で切断され、雄下顎骨は犬歯が抜き取られ、それに対して雌下顎骨では犬歯はすべて残されていた。このような下顎骨片は、雄では犬歯を抜き取ることで、そして雌雄の下顎骨共にこれを割って内部の骨髓を利用するためであった。そしてこのような加工をみれば、下顎骨は早くに頭蓋から外されていたと思われる。

四肢骨

肩甲骨 (図版33)

完存する標本はないが、関節窩から骨体の半分程を残す標本が多い。肩甲骨は上腕骨に比べて三分の一の数である。上腕骨に比べて骨質が薄いために破損率が高くなっていることも考えられる。大きさと形質から幼、若、成獣の個体が確認されているが、大形の標本は少ない。ト骨として加工痕のある肩甲骨が2点あるが、他にもト骨として使われたものもあつたかも知れない。しかし保存されている部分からだけでは確認し難い。

上腕骨 (図版34・図版35)

完存する標本はなかったが、もっとも多く数が出土している。近位骨端を確認した標本はなく、近位部分を残すのが9点あるのみである。骨端を欠損した部分は平坦になっていて、イヌによってかじられた歯跡がみられた。遠位部分もまた骨端を欠く標本があったが、その多くは骨端未化骨のために骨端が外れたものと思われる。この部分にイヌによるかじり痕をもつ例が7例あるが、これらの標本はいずれもやや小さく、若い個体のものであることが推測される。

イノシシの主要四肢骨の骨端化骨のもっとも早い上腕骨遠位骨端化骨が1才半であり、その程度の個体の上腕骨は64点あり、全標本の約10%になる。

上腕骨は骨体を割って、骨髄を摘出している。遠位骨端を残す標本で、現長が110~130.0位になる標本No.34,35は、近位骨端の直下位から割っていることが推測される。しかし、多くは遠位骨端から100.0以内の低い位置で割られているもので、骨体の中央位置よりも下で割るのが普通であったと思われる。厚さのあるイノシシの上腕骨が上手に割られ、螺旋状の割れ口を観察できる標本も多い。標本No.25は骨体部から観察できる割れ口である。

No.9,12の上腕骨遠位部の内側には横位に走る切痕がみられ、ここに付く靭帯を切断する際についた切痕をもつ。このような例は2例があったのみである。

橈骨 (図版36)

標本はわずかに17点であって、他の骨に比べるときわめて少ない。そのなかには破損した一部のみの標本もあり、壊され易い骨格であったようである。

近位部を残す標本では骨端から100.0程と、60.0から70.0のほぼ中央位置で割られた例が多い。

骨体部は若く細い標本が1点あったのみである。遠位部骨端を残すのは数点で、かじり痕のある標本もあった。

尺骨 (図版37・図版38)

完存する標本はなかったが、滑車切痕部を中心とした骨体部分がよく残され、その総数35点になり橈

骨よりも多かった。

近位骨端を完全に残す標本はNo.23の1点のみで、この尺骨は大形で、頑丈な骨体をもつ唯一の骨であった。骨端を残さない標本は、かじり痕を残すもの9点、その他は破損する骨端であった。近位骨端がこのように破損するのは、解体時の骨の扱い方によるのであろう。近位骨端である肘頭部は上腕三頭筋の終止部であるところから、前肢の解体の際この筋肉を外すためにこの部分が叩かれたり、壊されたりすることが多かったと思われる。またやや遠位に位置する滑車切痕部から尺骨の中心部に当たる部分は、橈骨の近位部に当たる位置になり、橈骨を切断する際に尺骨も切断されることになったのであろう。

遠位骨端は検出されていない。

寛骨 (図版39)

完存する標本はない。総数僅かに15点があったのみである。寛骨臼を中心とした部分のみが残され、腸骨はその骨体の一部のみをみるだけである。寛骨臼部の背面に当たる座骨棘に裂けたような痕跡のみられる標本がある (No.4,9)。座骨部分を打ち割った際に、座骨棘がひび割れるのであろう。恥骨部分を残す標本は少ない。形態から雌雄を区別できたのは2点で、いずれも雌の個体と思われるものであった。

大腿骨 (図版40)

形態の判明した標本は少なく、総計は29点で、しかも保存も良いものではなかった。この骨の多くが壊されているからである。

近位骨端の残された標本は1点で (No.18)、骨端の外れた標本は2点あった (No.19,23)。近位骨端がかじられている標本があるが、おそらく若い個体の大腿骨であったと思われる。

遠位部は近位部より多いが、骨端の残されているのは1点で (No.25)、他の2点は骨端がはずれ (No.8,9)、骨端のみの標本が2点あった。大腿骨は標本が少なかったが、骨端の化骨しない3才半未満の個体のものが多かったということになる。

2 脊椎動物遺体

脛骨 (図版41・図版42)

標本の数では大腿骨よりもやや数が少ないが、遠位部の保存のよい標本があった。遠位骨端部の多いのは、上腕骨の遠位部に似た骨質の保存条件の良さがあったからと思われる。

近位部を残す標本は骨端の外れるもの2点、骨端のみ1点という少なさであるが、おそらくこれは骨体を割ったときに近位部まで壊れることが多かったためであろう。骨体の部分は7点あるが、自然破損の破片であるらしい。

遠位部を残す標本ははるかに多く、遠位骨端が丈夫であったこと、また解体時にはまだこの部分に足根骨が関節していたことも予測され、この部分の保存率を高くしたと思われる。

遠位骨端を残す脛骨片には、現長120~150.0位を残す標本があり、この場合では切断が骨体中心よりも近位寄りの位置でおこなわれたことになる。しかし、多くの標本では遠位骨端から60~80.0位を残すので、遠位骨端寄りの位置で切断していることになる。このあたりが骨の形態からも打撃を加え易い位置であったのであろう。

腓骨 (図版43-1~7)

僅かに1点があったのみである。この骨は骨器の素材に使われているが、骨器として確認されているのも2点のみであり、遺存する条件の著しく低い骨である。

距骨 (図版44-1~4・図版45-1~9)

踵骨とは同じ位置にありながら、数の上では踵骨の半数にもならない15点である。足根部の骨が遊離した後に、何らか自然の営力で無くなったことを考えねばならないであろう。

踵骨 (図版44-5~20・図版45-10~25)

総数34点と比較的多くの標本が残されていた。このうち近位骨端を完存する標本は僅かに5例である。またそのうち骨端の外れていることが確認される標本は3点で、他はすべてこの部分を何らか欠損するか、原状が明瞭でない。この部分に強大な腓腹筋の付くことからこれを外す際に破損することが考えら

れる。

中足骨・指骨 (図版43-21~29)

中足骨では3点が確認されたのみである。指骨には残された標本はない。流失した可能性がある。

ニホンジカ *Cervus nippon* (図版46~図版49-1・図版50~図版74)

頭蓋骨 (図版48)

検出された頭蓋はすべて打ち割られた破片であった。頭蓋を割って脳髓を摘出し、また角を角座骨部分から切り取るための加工であったのである。ただしその数は、四肢骨から予想される数よりも少なく、なお別にわれわれが知り得ないところに埋没しているか、別の場所に搬出されたことが考えられる。

切歯骨は2点があったのみである。破損した頭蓋から分離し流失したかも知れない。

前頭骨から頭頂骨にかけては比較的多くの標本が残されている。この部分の骨質が厚く丈夫なことによるのであろう。特に雄の前頭骨はここに角座骨部分があるため大きく厚い。この部分に切断痕を残す標本があり、角の切断がここで行われたことを示していた (No.1,2,7,8)。この部分の切断は金属器で叩き切るような方法であったようである。角座骨部分の周囲を何回にも切りつけるという作業がつづけられている。またこの切断は角座骨部分の直下より切断している例も多く、おそらくここが脳頭蓋の中央に当たることを承知していたからなのであろう (No.29)。No.30,35の標本もそうした破片である。

雌獣の頭蓋標本では前頭骨から頭頂骨が残されていた。雌の頭蓋の切断の方法は雄の場合とやや違っていたかも知れない (No.22,23)。

後頭骨の残存は少ない。後頭顆の残存する例 (No.10) で、左右顆幅58.73。

鹿角

多くの鹿角が出土している。落角と角座骨を付ける標本がある。落角には第1枝と角幹部の残されている標本があるが、それらは折れて短い。折れ口は人為的というよりも、自然による破損である

(No.29,30,52,53)。第1枝の基部で角幹部共に切断しようとする加工のみられる標本がある。切断は連続して行われる叩き切りである (No.3,10)。第1枝を残している例もある (No.4)。また、この作業を開始した直後の例もある (No.31)。

角座骨をつける鹿角例はほぼ完存する1例 (B-148,第31図,図版49-1) と、落角にみたのと同じ折れ口の形状で角幹部と第1枝の先の方が欠ける標本があった (No.25~28,49~51,63)。前頭骨の部分が眼窩あたりまで残す例もあった。角座骨部分から前頭骨の一部を残す場合でも眼窩部は自然破損のままである。しかし、角座骨の直下をきれいに整形するように切断している例もある (No.51)。このような切断法は縄文石器時代にも類例がある。

角座骨部分を残す標本では角幹部の径16.0がもっとも細く、2~3才の個体 (No.58)、角座骨部分の径23.69 (No.59) になるものもある。なお落角例で角幹部径18.61が最も細いが、1例のみである (No.60)。

角幹部が長く残されている標本があり、意図的にこの部分が残されたようである (No.35~37)。角幹部に浅い切痕のみられる例がある (No.56)。

角冠部 (No.46~48,55) とその分岐部の出土例が多い。枝の部分のみの例 (No.42~45) もある。

肩甲骨 (図版55)

残されていた標本は少なく総数16点である。多くの標本は関節窩および頸部と骨体のごく一部を残すものである。骨体部でも薄い棘窩下の部分はほとんど残されていない。上腕骨の総数101点に比べるとその数の少ないことがよく判る。本遺跡では卜骨として肩甲骨が使われるが、そのことと関係があるかも知れない。卜骨とはしなかったが、肩甲棘を削り、棘窩下面に多数の擦痕のつけられたものがあつた。これには焼灼痕など確認できなかったが、卜骨と関係が予測される。

上腕骨 (図版56・図版57)

完存する標本は1点もないが、総数101点と多い。近位部の残されるのは7点で、うち骨端の外れた標

本は5例である (No.2,3,31~33)。近位骨端の出土が遠位骨端に比べて少ない。骨体容積の大きい近位部は骨髄の摘出の際に壊され易いようである。

遠位骨端を残す標本は最も多かつた。骨端から150.0を残すような標本もあつたが、多くはもっと遠位骨端寄りで割られる。現存する長さは打撃によって生じる亀裂の大きさにもよる。通常は骨体のほぼ中央位置辺りで割っているのではないかと考えられる。打撃の原状を残す標本には螺旋状の割れ口がみられ、上手にはほぼ一撃で骨を割っている状態を示している。なお遠位骨端で骨端を欠く標本、骨端骨のみという標本は少なかった。骨体を外れた小さい骨は流失している可能性もある。

橈骨 (図版58・図版59)

完存する標本はないが、総数78点があり、近・遠位両部位がよく残され、上腕骨に見るような両端による数の差は少なかった。

近位部位は特によく残されていた。骨体を長く残す標本では骨端から130.0位にもなつたが、普通は近位骨端から60.0から70.0位の長さである。近位骨端寄りの全体の四分の一位の位置で割られることが多かつたと思われる。

遠位骨端部を残す標本も同様に骨端からの長さは種々であるが、150.0~170.0の範囲内と、70.0位の長さを残す標本が多い。短い場合には2箇所割られた可能性もあるが、かなり長い形を残す標本もあるので、近・遠位部いずれかに近い場所で割られるのが普通であつたと考えられる。しかし切断といっても亀裂による割れ口ができるので、骨髄を取り出す位置を特定するのは難しいと思われる。

尺骨 (図版60)

尺骨は骨体の遠位半分が狭長で、この部分はほとんどの場合破損する。また橈骨と平行して並ぶので、橈骨が打ち割られる時にいっしょに折れる。一般に尺骨の出土が少ないのはこのようなことに起因するが、本遺跡で比較的多く残されていたのは、この骨を刺突具に利用しようとする意図があり、この骨を大切に扱っていたからではないかと思われる。近位

2 脊椎動物遺体

部分が比較的よく残されていることも特徴的である。総数42点になる。

加工品として別にあげた他に、ここに30点ほどがあり、これらにも加工痕の認められる標本がある。これを詳細に観察すると近位端の一部、あるいは橈骨との関節部の一部に研磨された痕跡、擦痕などを認めることができる。骨器として何らか手の加えられた骨はさらに多くなるものと思われる。なお、遠位部分の標本は3点ほどの確認できわめて少ない。

中手骨 (図版61)

完存あるいはそれに近い標本もみることにはなかった。近位部を残す標本が多かったが、破損標本も多い。左右不明の破片も含め総数63点がある。骨体のほぼ全体を残すような標本には意図的な加工痕が看取される (No.23)。骨体を切断する位置は、近位骨端の直下のような場合もあるが、多くは骨端から30.0~60.0位の位置、あるいはやや長い場合には100.0位の位置で、骨体を打ち割るように分割する。切断面に螺旋状の割れ口のみられる標本もあるが、破損し易い骨質のために切断の原形が失われていることが多いようである。

破損標本のうち骨体部のみを残すような標本はごく少なく、遠位部で確認できた標本も近位部に比べると少ない。

寛骨 (図版62・図版63)

完存する標本はないが、総数59点がある。腸骨体部から寛骨臼部、さらに恥骨と座骨の基部までを残す標本が主要なもので、その他にも腸骨体部のみの小片、寛骨臼部の小片といった破片もあった。腸骨部分の原形がほとんど残されることがなかったのは、この部分が解体の際壊され易かったからであろう。腸骨のような大きな骨格はこのような処理の方法しかなかったのであろう。座骨部分もいわゆる「閉鎖孔」が完存する標本はなかった。座骨板とよばれる部分が壊されているからであるが、おそらく後肢を外すときに骨盤も壊されて外されたからではなかろうか。

腸骨と臼部との切断は、腸骨寄りの位置で体部が

残されるような場合と、寛骨臼の直上までに及ぶ場合があった。このときの腸骨体の切断は、この部分を叩き切るような方法であったらしく、そうした痕跡をみる標本が幾つもあった。

恥骨の形態は雌雄の特徴をよく表すが、標本について観察した限りでは雄の寛骨が多いようである。しかし、確認できたのはごく一部なので雌雄の量差を知るには充分ではない。標本としては雄獣の恥骨の方が丈夫であるために保存される率が高いのではないかとも考えられる。

大腿骨 (図版64・図版65)

完存する標本は無く、その総数は上腕骨や脛骨に比べるとやや少ない80点である。大腿骨は四肢の主要骨のなかでもっとも壊される率が高い。骨体径があり、骨髓の利用に有利な骨格であったからであろう。本遺跡では全体の骨格の保存量も多いので、大腿骨も普通の遺跡よりも多くなっていると考えられる。

近位部の保存は多く、骨体の中央あるいはやや近位端寄りの位置で割っている様子が窺える。割れ口にはきれいな螺旋状の線がみられ、骨体を上手に叩いて割っている。近位骨端骨の外れている標本 (No.3,4,51,55,75,80) が確認されるが、それらは3才令もしくはそれ以下の若い個体である。これとは別に近位骨端を破損した標本に同じ位の年令の標本が含まれる可能性がある。

遠位部骨端の残されている例はきわめて少ない。遠位骨端は大きい緻密骨質が薄く軟質である。この部分をイヌ科の獣にかじられている例が多い。遠位骨端が全く平になる位にかじられるのである (No.10~15,43~49,62~69)。その部分には多くのかじり痕が観察される。なお、大腿骨の骨体部、骨端骨のみが単独で残されることは稀であった。流失していることが考えられる。

脛骨 (図版66・図版67)

ほぼ完存する標本1点、他に99点あり、最も多い上腕骨に次ぐ数がある。脛骨は緻密骨質が厚く丈夫であり、保存率は高い。ただ、近位部は関節面広く、

骨質が薄くなり破損し易いので、遠位部に比べて保存率は低い。近位骨端から60.0~150.0位の長さが残されるので、ほぼ骨体の中央位置で割っていることになる。

遠位部の保存はもっとも多く、骨端もよく残される。脛骨の遠位骨端の化骨は早い年令で完了、骨質の丈夫なことに因る。遠位骨端から70.0前後、110.0前後、170.0前後というような長さが残り、100.0位までがもっとも多い。この長さにひび割れの部分を加えると、ほぼ骨体の中央に近い位置になる。脛骨では遠位部の出土が多いが、髓腔部の広い近位端寄り割られたのではないと思われる。

なお骨体部の破片はわずかに4点である (No.40~43)。

膝蓋骨

2点があったのみである。

距骨・踵骨 (図版68~図版71)

距骨が66点、踵骨が63点残されていた。

距骨と踵骨の数はこれに関節する脛骨の遠位骨端の数に比べて少ないが、大きさによって左右を揃えると、総数はさらに増加するはずである。しかしいづれにしても脛骨程の数は残されていない。また距骨、踵骨以外の足根骨がほとんど検出されていない。その多くは流失しているのであろう。

中足骨 (図版73)

総数129点が残される。この中には断片的な近位骨端部、骨体部なども含まれるので数が多くなっている。実際に良好な保存状況の標本はごく少ない。この骨を素材とした骨器は特に多いわけではないが、形態が管状であることから、簡単に割って刺器状のものがつくられていたのではないだろうか。破損骨の多いのはそのためではないかと思われる。

指骨 (図版74)

前後肢の分を含めて出土が確認されていない。

ニホンジカ、イノシシの歯牙の咬耗からみた捕獲獣の個体数とその令構成

1. イノシシ

臼歯咬頭の摩耗の状況について、dm4, M1~M3各咬頭の摩耗状況を表記し、それに基づいて年令を推定した。調査は標本の出土のもっとも多かった河川下層出土の上顎骨について行い、さらに下顎骨の標本を使ってそれを補足した。結果は次のような6段階に分けられる年令の構成があったと推定される。

①dm4までの萌出個体：当才児。3個体 (下顎骨による)。

②M1(d~f), M2(b~d), M3(b,c)：1才。秋~冬の個体が多い。それぞれの歯の最大12個体。

③M1(g)：2才の夏季捕獲と推定。2個体。

④M1(h), M2(f), M3(d,e)：2才。秋~冬季捕獲と推定。最大8個体。

⑤M1(j), M2(g,h), M3(f,g)：3才。最大8個体。

⑥M3(h,i)：3才以上。2個体。

35個体が最小個体数になる。上記のように当才児から3才までの個体が大部分で、それ以上になる個体は少なかった。生存数も多く、捕獲する機会が多くなった3才位までの個体が遺骸としても多かったであろう。そしてそれらの多くは秋から冬にかけての捕獲であることが歯の咬耗からもうかがえるが、夏頃と推定される標本も少数あった。

2. ニホンジカ

標本の数の多い河川下層出土の下顎M₁~M₃と遊離する臼歯のすべてについて咬耗の状況を調査して、摩滅指数を別表に示した。遊離する臼歯も合わせた上での年令を推定するために、個々の歯についての年令を推定し、それをM₁~M₃の組み合わせのなかで整理してみると、0.5才が5、2.5才までが4、3.5才が9、4.5~7.5才が9、8.5才が4、10.5才が1の各個体、計32個体 (最少個体) になる。これをみると若年から高年令のものまでが含まれるが、全体としては棲息個体が多く、獲物としても優れた壮年期の個体が狙われたのではないかと思われる。狩猟環境としても良好な状態が遺跡の近域にあったことが推測される。

ニホンジカ、イノシシの四肢骨の計測

2 脊椎動物遺体

1. 本遺跡からはニホンジカ、イノシシの多くの四肢骨が出土していて、当時主要な狩猟対象になったこれら大形獣類の形質を知るための貴重な資料である。計測し得た数値を表示しておく。それぞれの部位、標本についての詳細をのべる余裕がないことと、比較資料の整備も充分ではないので、ここでは全体の傾向とその特徴を提示する範囲にとどめる。

計測は A von d. Driesch, A Guide to the Measurement of Animal bone from Archaeological site, (1976) に依ったが、一部改変した。

2. ニホンジカの四肢骨計測値について。

ニホンジカの四肢骨の計測値に基づいて骨格各部位の雌雄差を推定しようと試みたものである。このためには雌雄を区別し得る計測資料が必要であり、それも現生標本ではなく、少なくとも近世以前の標本であることが望ましい。筆者の手にある中世鎌倉の資料で雌雄を推定できる標本がありそれを比較資料とした。これも複数個体からなる標本であるが、一括の出土標本であり不完全である。

肩甲骨：計測可能な標本はきわめて限られた。SLC20.00以上を成獣雄として左側では5標本すべて雄、右側では雌雄比1：4である。

上腕骨：多くの標本を得ているが、計測可能標本は少ない。左右ほぼ同数の標本があるが、右側遠位骨端の計測標本でBd38.00以上を成獣雄として、雌雄比3：16である。なお破損標本にも雌雄の明らかなものがあるが、計測値として示すことは難しい。

橈骨：近位部を残す標本と遠位部をのこす標本を別々に扱うことになるが、近位部Bp40.00以上を雄とすると雌雄比は12：6、遠位骨端の計測でBd37.00以上を成獣雄とすると雌雄比は10：3となつていずれも雌の比率の高いことが示される。

尺骨：計測可能標本は多い。左側近位部のDPA36.00以上を成獣雄とすると雌雄比（左側を使い、1例は若い個体）7：13である。この他に加工品として使われている標本があり、それに雌雄同数各7点がある。雌が半数を占める。

寛骨：LA39.00以上10点があり、すべて雄獣と思

われる。

大腿骨：標本は多いが計測の可能な標本は少なく、またその部位のよく残されている標本も限られる。この骨についての資料が不足しているので雌雄差などについては省略する。

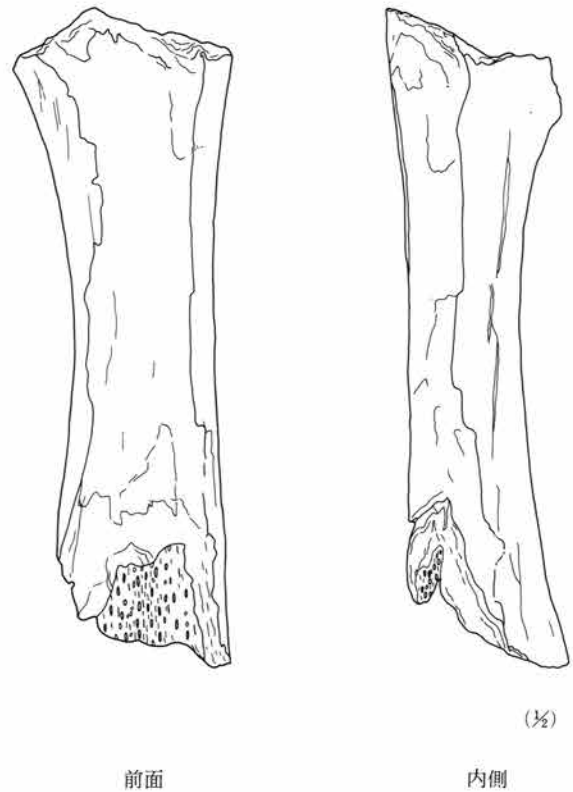
脛骨：骨体～近位部の計測された標本は多い。左右はほぼ同数である。Bd37.00以下を雌獣とすると雌雄比は18：13となる。

距骨：計測された資料は多い。左側距骨でGL39.00以下を雌獣とすると大部分が雄獣の大きさである。距骨は単純には扱えないのであろう。

踵骨：遠位骨端の破損する標本が多くGLからの計測比較が困難である。

ウシ *Bos taurus* (図版49-2)

2-1号河川跡中層から右側大腿骨1点が出土してい



第34図 ウシ大腿骨右実測図 (1/2)

る。近・遠位両端を欠損する。2-1号河川跡中層は、下層に比べると骨の出土量はかなり減少する。骨の保存条件が変わるのであろう。このウシの遺骸は本遺跡で確認された唯一の標本である。骨の保存状況に特に新しいものの混入を予測させる形状はみられない。

大腿骨体最小径 36.71×37.81

標本が1点のみに限られ、所属時期が弥生後期以降に下る可能性があるが、古代家牛の出土例が少ない現状では貴重な一例といえよう。

Ⅲ. 新保田中村前遺跡出土の獣骨について

—その地域的な特性—

本遺跡から出土した多くの獣骨は、この遺跡が立地した広大な赤城、榛名山系を背景にしての狩猟活動による獲物であったはずである。その動物種による量的な差異は、これら大形獣の生息分布の密度や個体数を示していると思われる。それは、縄文時代晩期の貝塚などで知られた内容とほぼ共通するものがあつたと考えている。つまり、このような狩猟条件が広くみられていたということなのであろう。

次に幾つかの注意される点について述べる。

1. 本遺跡から検出された獣類はもっとも多いニホンジカとそれに次ぐイノシシが主体となるものであつた。しかし、この両種の間にあまり量的な差異はなかったのではないかとと思われる。イノシシはニホンジカに比べてやや少なく、ニホンジカとイノシシの比率は10:7.6位の個体数になるようである。ニホンジカ、イノシシ共に捕獲された個体は成獣が多く、また十分に成育した大形の個体の遺骸が目立ったようである。捕獲された個体には年令的に幼年から若年、壮老年期までが含まれ、イノシシについては乳歯をもつ顎骨、および当歳児の骨格もあつた。ニホンジカの場合は個体数が多いだけに様々な年令階層の個体が含まれ、若い個体では乳臼歯をもつ当歳もしくは1才程度の個体はイノシシよりも多く、縄文石器時代貝塚での場合とはやや異なった様相であつた。

2. すでに再三述べたように本遺跡の獣骨特に大形獣の出土量は、この時期のものではこの地域では類例がない大量のものであり、それは縄文石器時代の遺跡にみる在り方と共通するものがある。特に縄文後期末葉期から晩期の遺跡ではこの大形獣を主体とした出土が幾つかの例で知られている。しかしこうした在り方が関東地方の場合では弥生期においては山地帯に近い洞窟遺跡、あるいはその周辺の低地性遺跡で知られてきている。それらとの比較が今後興味ある問題を提供しよう。

一方、新保田中村前遺跡の地理的な位置について考える時、中部山地帯における洞窟遺跡での動物遺体の在り方にも深い関心が寄せられる。これについては長野県上高井郡高山村湯倉洞穴の内容が興味ある比較資料である。縄文晩期から弥生期にかけての動物遺体が多い。ただこれについては資料整理中であり、整理をまって別にのべたい。

3. イノシシ、ニホンジカ以外の獣骨についてまとめて述べておく。

すでにのべているように本遺跡ではニホンザル、イヌ、オオカミ、ツキノワグマなどの遺骸を検出しているが、その総数は少ない。しかし、オオカミ、クマなどの歯牙、骨格を素材とした垂飾品などは少なくない。狩猟の方法、獣に対する扱い方に変化が生じているのであろう。そしてクマとかオオカミのような一級の狩猟獣に対して強い関心の払われていることが注目される。

ニホンザルは大腿骨など数点があつたのみである。弥生期の遺跡での検出はかつて奈良県唐古遺跡の頭蓋の例などあつたが、一般には稀である。縄文期の例も決して一般的ではなく、関東地方の後期などにやや多い例もあるが、それがその後さらに普遍的になったわけではない。

イヌについては数点の下顎骨と歯をみたのみである。豊富な獣骨の出土と比較するとイヌの遺骸は少ない。関東地方の縄文晩期でも、多くの獣骨が検出されることはあつても、イヌの遺骸は特に多くないことを千葉県市原市西広貝塚の晩期地点の様相で指

2 脊椎動物遺体

摘したことがある。個体数にそれ程違いがなかったのか、あるいは別の場所で埋葬されているのかなお問題が残る。

オオカミ。すでに述べているように本遺跡ではオオカミの犬歯加工品3点が出土していて、一遺跡の出土例でこれだけの数を得た例はこれまでにない。この遺跡の人々のオオカミ犬歯に対する関心の高さを知るのである。そしてこのことが狩猟の活動と深く関わることは容易に考えられ、おそらく狩猟神としてのオオカミが意識の中にあり、その霊の象徴とした犬歯を体につけることによってその霊力を狩猟者にも乗り移らせ得ると考え、これを佩用する者が狩猟の実際を統括できる人物になったのであろう。

こうした狩猟信仰は縄文時代からの伝統であるが、それがなここで根強く残るのは狩猟に重要な意義を認めていたからであろう。それは農耕の社会にはいっても変わることはなかった。狩猟に求められる豊かな自然は、農耕においても同じように求められるはずである。狩猟と農耕とは分離された行動ではなく、狩猟にも積極的な社会的な意義が求められていたのである。

なおオオカミは幾つもの犬歯を残しながら、そのほかの遺骸はほとんどみることがなかった。オオカ

ミの遺体の処理が他の狩猟獣と異なる特別の扱いがあったと考えている。

タヌキ。残されていた遺骸はわずかなものであった。中形獣の中では生息個体の数はもっとも多かったと思われる獣であるが、このように少ないのは、おそらく狩猟の主たる対象から外されていたからであろう。縄文時代の晩期頃からそうした傾向は既に見られているのである。

ツキノワグマ。本遺跡のツキノワグマは犬歯、大腿骨の破片、中手もしくは中足骨1点を検出したのみである。本種の犬歯が垂飾品として使われている例はオオカミよりも多い。本遺跡でも犬歯が垂飾品として使われた可能性がある。おそらくクマの犬歯の方が入手し易かったはずである。中手もしくは中足骨1点があるのは、掌蹠部から指部が取りはずされていたのであろう。本種についても残されている部分骨が少なく、別に扱われているかも知れない。

カワウソ。上腕骨1点をみたのみである。カワウソはもともと出土例の少ないけものであり、生息も少なかつたに違いない。一遺跡の調査で顎骨、四肢骨などが1,2点出土する程度であるのは縄文期の例でも変わらない。特別に狙うということではなかったのであろう。

参考文献

(別項の骨角製品の文末にあげた文献も併せて参照されたい。)

金子浩昌：動物遺体，「西広貝塚」上総国分寺台遺跡調査団，1977

牛沢百合子：貝層の形成，上掲書

金子・牛沢，池上遺跡出土の動物遺存体，「池上・四ツ池遺跡」第6分冊，大阪文化財センター，1980

金子浩昌：弥生時代の貝塚と動物遺存体，「三世紀の考古学」上巻，学生社，1980

金子浩昌・牛沢百合子：貝塚出土の動物遺体—関東地方・縄文貝塚の動物相とその考古学的研究—，貝塚博物館研究資料（千葉市加曽利貝塚博物館）第3集，1982

金子浩昌：タテチョウ第2次調査出土動物遺存体，「朝酌川河川改修工事に伴うタテチョウ遺跡発掘調査報告書Ⅱ」，鳥根県教育委員会，1987

金子浩昌：同3次調査出土の脊椎動物遺体，同報告書Ⅲ，1990

西本豊弘ほか：朝日遺跡の動物遺体，朝日遺跡Ⅱ，愛知県埋蔵文化財センター調査報告書，第31集，1992

イノシシ出土状況(1)

部 位	出土層位	2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
		R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
頭 骨	前頭骨	1	1	1		1						1					1	3	1	5	
	頭頂骨			3 若2													0	3	0	3	
	側頭骨			3	1	1						1					1	4	1	6	
	側頭頬骨突起	3	1		1			1	1		1	1					6	3	0	9	
	後頭骨							2	1								2	1	0	3	
	後頭顆											1					0	1	0	1	
	頭蓋片				*2						*3						0	0	*5	5	
	切歯骨	4	1					1									5	1	0	6	
	耳骨				1												0	0	1	1	
	涙骨			2		1		1									1	3	0	4	
	鼻骨										1						1	0	0	1	
	加工品																0	0	0	0	
	小計		8	11	4	2	2	1	5	2	3	2	4	0	0	0	0	17	19	8	44
	かじり有り		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
雄		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雌		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上 顎 骨	骨体	21	13	*1	3			11	9		3	2				38	24	*1	63		
	破片	1	1	21			2		1	4					1	1	2	28	31		
	加工品															0	0	0	0		
	小計	22	14	22	3	0	2	11	10	4	3	2	0	0	0	1	39	26	29	94	
	雄															0	0	0	0		
	雌															0	0	0	0		
	歯(遊離)	23	20		2	7		17	8		1	2		1		43	38	0	81		
下 顎 骨	骨体	15	20		3	1					2					18	23	0	41		
	下顎角部	3	3													3	3	0	6		
	下顎枝部			2								1				0	2	1	3		
	連合部			1	*13					*1						0	1	*14	15		
	破片	5	3	2		1		6	6	5	1	1	7		2	12	13	14	39		
	加工品							1								1	0	0	1		
	小計	23	29	15	3	2	0	7	6	6	1	3	8	0	2	0	34	42	29	105	
	雄	5	6	7				1		1	1					7	6	8	21		
	雌	1		5												1	0	5	6		
	歯(遊離)	27	37		2	1		8	5		7		1			38	50	0	88		
	歯(遊離)加工品			5				3	2							3	7	0	10		
椎 体	環椎									*1						0	0	*7	7		
	頸椎									*1						0	0	*3	3		

2 脊椎動物遺体

イノシシ出土状況(2)

部 位	出土層位			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計			
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明				
胸椎	胸椎			*4					*1							0	0	*5	5			
	腰椎			*1												0	0	*1	1			
	加工品															0	0	0	0			
	小計	0	0	13	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16		
	雄															0	0	0	0			
	雌															0	0	0	0			
肋骨	破片	1					1	1								2	1	0	3			
	加工品															0	0	0	0			
	小計	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3			
	雄															0	0	0	0			
	雌															0	0	0	0			
	肩甲骨	遠位部	欠	2				2			1	1				3	3	0	6			
		外れ	2							若1					2	0	0	2				
		若・幼1																				
遠位端			4	1			1				1				5	2	0	7				
		若1					若1															
加工品			2	1			1	4							3	5	0	8				
小計			8	4	0	0	0	4	4	0	1	2	0	0	0	13	10	0	23			
かじり有り			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1			
雄																0	0	0	0			
雌																0	0	0	0			
上腕骨	近位骨端骨のみ		1												1	0	0	1				
	近位端							1							0	1	0	1				
	近位部	欠	5	3				1							5	4	0	9				
		外れ	若2	若2																		
				1							1				0	2	0	2				
	骨体			2											0	2	0	2				
		幼2																				
	遠位部	欠	6	3		1	1	3			2				12	4	0	16				
		外れ		1		幼1									0	1	0	1				
				若1																		
	遠位端		12	8				2	4		1	2			15	14	0	29				
	遠位骨端骨のみ							1			1				1	1	0	2				
	加工品														0	0	0	0				
	小計		24	18	0	1	1	0	6	6	0	3	4	0	0	0	0	0	34	29	0	63
	キズ有り		3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
かじり有り		5	7	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	7	0	16	
SPあり		12	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	13	7	0	20	
雄															0	0	0	0				
雌															0	0	0	0				
橈骨	近位端		7	1		1					1				9	1	0	10				
	近位部	欠													0	0	0	0				
	骨体		2	2				1							3	2	0	5				
		幼1																				
遠位部	欠						1							1	0	0	1					

2 脊椎動物遺体

イノシシ出土状況(3)

部 位	出 土 層 位			2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
	遠位端									1						1	0	0				1	
	加工品															0	0	0				0	
	小計	9	3	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	14	3	0				17	
	かじり有り	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0				2
	雄															0	0	0				0	
	雌															0	0	0				0	
尺 骨	近位端						1									1	0	0				1	
	近位部	欠	6	5		1	2		2	6		1	1			10	14	0				24	
		外れ	3	1			1									3	2	0				5	
	骨体			3					2							0	5	0				5	
	遠位部	欠														0	0	0				0	
		外れ														0	0	0				0	
	遠位端															0	0	0				0	
	加工品															0	0	0				0	
	小計	9	9	0	1	3	0	3	8	0	1	1	0	0	0	14	21	0				35	
	かじり有り	3	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0				7	
	雄															0	0	0				0	
	雌															0	0	0				0	
手 根 骨	完形												1		1	0	0					1	
	破片														0	0	0					0	
	加工品														0	0	0					0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0				1	
	雄														0	0	0					0	
中 手 骨	Ⅲ	完 形		1							1				0	2	0					2	
		近位端	1													1	0	0				1	
	Ⅳ	完 形	1													1	0	0				1	
		近位端	1					1			1					3	0	0				3	
	Ⅴ	完 形	1													1	0	0				1	
		近位端														0	0	0				0	
	破片				1			1							2	0	0					2	
	加工品														0	0	0					0	
	小計	4	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	8	2	0					10	
	雄														0	0	0					0	
	雌														0	0	0					0	
寛 骨	頸部							1							0	1	0					1	
	白部	1	5			1		2	2						3	8	0					11	
	白部+座骨部	1						1							1	1	0					2	

2 脊椎動物遺体

イノシシ出土状況(4)

部 位	出土層位	2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計
		R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	
座骨部	座骨部										1					0	1	0	1	
	加工品															0	0	0	0	
	小計	2	5	0	0	1	0	2	4	0	0	1	0	0	0	0	4	11	0	15
	かじり有り	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	5
	雄							1									1	0	0	1
	雌	1	1														1	1	0	2
大 腿 骨	近位骨端骨のみ															0	0	0	0	
	近位端		1													0	1	0	1	
	近位部	欠	5	3												5	3	0	8	
		外れ	1	2												1	2	0	3	
	骨体									1						1	0	0	1	
	遠位部	欠	7	3												7	3	0	10	
		外れ	2													2	0	0	2	
	遠位端		1													0	1	0	1	
	遠位骨端骨のみ	2	1													2	1	0	3	
	加工品															0	0	0	0	
	小計	17	11	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	18	11	0	29
	かじり有り	9	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	4	0	14
	S P有り	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	0	11
	雄																0	0	0	0
雌																0	0	0	0	
脛 骨	近位骨端骨のみ							3								3	0	0	3	
	近位端		1			1										0	2	0	2	
	近位部	欠		2						1							0	3	0	3
		外れ								2							0	2	0	2
	骨体	1	2						4			1				1	7	0	8	
	遠位部	欠		2					2								2	2	0	4
		外れ															0	0	0	0
	遠位端	9	7		1	1		4	1							14	9	0	23	
	遠位骨端骨のみ							1								1	0	0	1	
	加工品															0	0	0	0	
	小計	10	14	0	1	2	0	10	8	0	0	1	0	0	0	0	21	25	0	46
	かじり有り	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
S P有り	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	12	
雄																0	0	0	0	
雌																0	0	0	0	
腓 骨	骨体	1									1					1	1	0	2	

イノシシ出土状況(5)

部 位	出土層位			2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	
	遠位端		2	2					1										3	2	0	5
	加工品		1						1										1	1	0	2
	小計		4	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5	4	0	9
	雄																		0	0	0	0
	雌																		0	0	0	0
距 骨	完形							6	3		2	1						8	4	0	12	
	近位端+骨体 (遠位端欠)							1				1						1	1	0	2	
	骨体+遠位端 (骨頭欠)							1										1	0	0	1	
	加工品																		0	0	0	0
	小計		0	0	0	0	0	0	8	3	0	2	2	0	0	0	0	0	10	5	0	15
	雄																		0	0	0	0
	雌																		0	0	0	0
踵 骨	完形							3	2									3	2	0	5	
	骨体			2				6	6									6	8	0	14	
	骨体+遠位端 (骨頭欠)			若2		1		4	4			1						5	5	0	10	
	骨体+遠位端 (骨頭外れ)							1	1		2	1						3	2	0	5	
	加工品																		0	0	0	0
	小計		0	2	0	1	0	0	14	13	0	2	2	0	0	0	0	0	17	17	0	34
	雄																		0	0	0	0
雌																		0	0	0	0	
足 根 骨	完形								1			1						0	2	0	2	
	破片																	0	0	0	0	
	加工品																		0	0	0	0
	小計		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	雄																		0	0	0	0
雌																		0	0	0	0	
中 足 骨	Ⅲ	完 形																0	0	0	0	
		近位端																0	0	0	0	
	Ⅳ	完 形	2															0	2	0	2	
		近位端	1															0	1	0	1	
	Ⅴ	完 形																0	0	0	0	
		近位端																0	0	0	0	
	加工品																		0	0	0	0
	小計		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	雄																		0	0	0	0
雌																		0	0	0	0	
中手・ 中足骨	完形				2				2									0	0	4	4	
	近位端																	0	0	0	0	
	近位部	欠							1									0	0	1	1	

2 脊椎動物遺体

イノシシ出土状況(6)

部 位	出 土 層 位			2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	
	遠位部	外れ														0	0	0			0	
		欠															0	0	0			0
		外れ															0	0	0			0
	遠位端			1						2						0	0	3			3	
	破片			1						3						0	0	4			4	
	加工品															0	0	0			0	
	小計			4	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	12			12
	雄															0	0	0			0	
	雌															0	0	0			0	
	指 骨	基節骨	完形			1											0	0	1			1
破片																0	0	0			0	
中節骨		完形			1					1			1			0	0	3			3	
		破片			1											0	0	1			1	
末節骨		完形								1						0	0	1			1	
		破片														0	0	0			0	
加工品																0	0	0			0	
小計				3	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	6			6	
雄																0	0	0			0	
雌																0	0	0			0	

ニホンジカ出土状況(1)

部 位	出土層位			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
頭 骨	前頭骨	1		1			1		1	1	1			2	3	1	5	9		
	頭頂骨			*3						1					1	0	*3	4		
	前頭骨+頭頂骨								*2 幼1						0	0	*2	2		
	側頭骨	2	1		1										3	1	0	4		
	側頭頬骨突起										1				0	1	0	1		
	後頭骨+後頭顆	3				1									3	1	0	4		
	後頭顆		1	1											0	1	1	2		
	頭蓋底			*1											0	0	*1	1		
	頭蓋片			*5		*1			*3						0	0	*9	9		
	切歯骨	1			1			1	1			1			3	2	0	5		
	耳骨	1	1							1					1	1	1	3		
	加工品														0	0	0	0		
	小計	8	3	11	1	1	1	2	1	7	3	3	1	0	0	2	14	8	22	44
	雄			1				1							1	0	1	2		
雌	1							2						1	0	2	3			
角	前頭骨~角坐骨		2				2			1	1				3	3	0	6		
	前頭骨~角坐										1				0	1	0	1		
	前頭骨~角幹	4	2							1	1				5	3	0	8		
	前頭骨~ 角冠先端														0	0	0	0		
	角坐骨	2	2										1		2	3	0	5		
	角坐骨~角坐		1		1										0	2	0	2		
	角坐骨~角幹	1					2			2					5	0	0	5		
	角坐	7 落2				1				1					8	0	1	9		
	角坐~角幹	2 落1	3		2 落2		1 落1								5	3	0	8		
	第一枝	1			1					1	1				3	1	0	4		
	第一枝~第三枝	2													2	0	0	2		
	角幹	3	8	21			1					4		2	3	8	28	39		
	角幹~ 第三・第四枝	3	3												3	3	0	6		
	第三枝		1												0	1	0	1		
	第四枝	1	1	3		2					1			1	1	4	4	9		
	枝部					4			1						0	0	5	5		

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ出土状況(2)

部 位	出土層位	2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計
		R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	
上 顎 骨	分岐部			11													0	0	11	11
	加工品	10	13	18	1		4	5	3	10	1		2			2	17	16	36	69
	小計	36	36	53	4	3	10	10	3	11	7	5	6	0	1	5	57	48	85	190
	骨体	8	8			2		6	3		1						15	13	0	28
	破片			4									3				0	0	7	7
	加工品																0	0	0	0
	小計	8	8	4	0	2	0	6	3	0	1	0	3	0	0	0	15	13	7	35
雄																0	0	0	0	
雌																0	0	0	0	
歯(遊離)	18	26		8	4		14	14		13	5		1			54	49	0	103	
下 顎 骨	骨体	20	9		5	1		10	7		1	1			1	36	19	0	55	
	下顎角部							1							1	1	1	0	2	
	下顎枝部	1	3						1			2				1	6	0	7	
	連合部	1	1		1											2	1	0	3	
	破片	3						1		19		1	2			4	1	21	26	
	加工品															0	0	0	0	
	小計	25	13	0	6	1	0	12	8	19	1	4	2	0	2	0	44	28	21	93
	雄															0	0	0	0	
	雌															0	0	0	0	
	歯(遊離)	14	7					4	8		1	4		1		20	19	0	39	
椎 体	環椎			*4			*2			*4			*3			0	0	*13	13	
	軸椎			*5						*1			*1			0	0	*7	7	
	頸椎			*19						*10			*1			0	0	*30	30	
	頸静脈突起		1										1			0	1	1	2	
	胸椎			*6						*3						0	0	*9	9	
	腰椎			*10												0	0	*10	10	
	腰椎 仙									*1			*1			0	0	*2	2	
	腰椎 石									*4						0	0	*4	4	
	仙骨									*2						0	0	*2	2	
	加工品															0	0	0	0	
	小計	0	1	44	0	0	2	0	0	25	0	0	7	0	0	0	0	1	78	79
	雄												2			0	0	2	2	
	雌		1													0	1	0	1	
肋 骨	破片	2	3					1	4							3	7	0	10	
	加工品															0	0	0	0	
	小計	2	3	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	3	7	0	10	
	雄															0	0	0	0	
	雌															0	0	0	0	

ニホンジカ出土状況(3)

部 位	出土層位	2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
		R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
肩 甲 骨	近位端															0	0	0	0		
	近位部	欠														0	0	0	0		
	骨体		1 若1		1 若1											1	1	0	2		
	遠位部	欠		1				1								1	1	0	2		
	遠位端		3 若2	2					1							3	3	0	6		
	加工品		1	2				1	2							2	4	0	6		
	小計		4	6	0	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	7	9	0	16		
	かじり有り		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
	雄															0	0	0	0		
	雌															0	0	0	0		
上 腕 骨	近位骨端骨のみ															0	0	0	0		
	近位端		1	2												1	2	0	3		
	近位部	欠	4	4 若1				4 若2			1					9	4	0	13		
		外れ	1	1 若1												1	1	0	2		
	骨体							1		1						1	1	0	2		
	遠位部	欠	3 若1	2 若1		1 若1		5 若1	4 若1					1		9	7	0	16		
		外れ				1 若1										0	1	0	1		
	遠位端		21	16 若2		3	4	7	3				2			31	25	0	56		
	遠位骨端骨のみ			2		1	1	1	1		1					2	5	0	7		
	加工品		1													1	0	0	1		
	小計		31	27	0	5	6	0	17	9	0	2	1	0	0	3	0	55	46	0	101
	キズ有り		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
	かじり有り		2	4	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	5	0	8	
	S P有り		20	13	0	0	2	0	9	2	0	0	0	0	0	0	29	17	0	46	
	雄															0	0	0	0		
雌															0	0	0	0			
桡 骨	近位骨端骨のみ							1								1	0	0	1		
	近位端		5	16			2	8		1	1					14	19	0	33		
	近位部	欠							3							0	3	0	3		
		外れ														0	0	0	0		
	骨体		5	5 若1					1 若1							5	6	0	11		
	遠位部	欠														0	0	0	0		
		外れ		2 若1				1			1					1	3	0	4		
	遠位端		6	7		2		4	2		1		1	1		13	11	0	24		
遠位骨端骨のみ		1			1										2	0	0	2			

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ出土状況(4)

部 位	出土層位			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
	加工品															0	0	0	0	
	小計	17	30	0	3	2	0	14	6	0	1	3	0	1	1	0	36	42	0	78
	SP有り	9	15	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	10	17	0	27
	雄																0	0	0	0
	雌																0	0	0	0
尺 骨	近位端		1													0	1	0	1	
	近位部	欠	3	3					1		1	1					4	5	0	9
		外れ	1	1					1		1						1	3	0	4
	骨体				1			2			1					3	1	0	4	
	遠位部	欠															0	0	0	0
		外れ															0	0	0	0
	遠位端															0	0	0	0	
	加工品	3	7		1	1		2	6		1	2		1			8	16	0	24
	小計	7	12	0	2	1	0	4	8	0	2	5	0	1	0	0	16	26	0	42
	かじり有り	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	雄																0	0	0	0
	雌																0	0	0	0
	手 根 骨	完形	2	1							1						3	1	0	4
破片																0	0	0	0	
加工品																0	0	0	0	
小計		2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	4	
雄																0	0	0	0	
中 手 骨	近位端	7	11		3	1		2	6							12	18	0	30	
	近位部	欠														0	0	0	0	
	骨体	2	4	2		1	1		1	5			1	1		3	6	9	18	
	遠位部	欠						2				2				2	2	0	4	
	遠位端	2	5				1		1	1						2	6	2	10	
	加工品			1												0	0	1	1	
	小計	11	20	3	3	2	2	4	8	6	0	2	1	1	0	19	32	12	63	
	雄															0	0	0	0	
	雌															0	0	0	0	
寛 骨	腸骨部	1	1													1	1	0	2	
	頸部	3	5		3			1	1		1	1				8	7	0	15	
	臼部	5	11		1	2		5	3		1					12	16	0	28	
	臼部+座骨部	4	3		1			1								5	4	0	9	
	座骨部	1			1			1			1					1	3	0	4	
	恥骨部				1											0	1	0	1	

ニホンジカ出土状況(5)

部 位	出 土 層 位			2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
	加工品															0	0	0				0	
	小計	14	20	0	4	5	0	7	5	0	2	2	0	0	0	0	0	0	27	32	0	59	
	かじり有り	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	雄	4	6			1		2											6	7	0	13	
	雌		2		1	1		1											2	3	0	5	
大 腿 骨	近位骨端骨のみ					1								1					1	1	0	2	
	近位端	1	5		1	2		2	2										4	9	0	13	
	近位部	欠	3	7		1	2		1			1								6	9	0	15
		外れ	2	若1		1	1		1	1		1								5	2	0	7
	骨体	1	幼1		若1			1	若1											2	0	0	2
	遠位部	欠	9	3					3	2										12	5	0	17
		外れ	2	1		1														3	1	0	4
	遠位端	6	7			1		1	2		1								8	10	0	18	
	遠位骨端骨のみ	1	1																1	1	0	2	
	加工品																		0	0	0	0	
	小計	25	24	0	4	7	0	9	7	0	3	0	0	1	0	0	42	38	0				80
	キズ有り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0				1
	かじり有り	15	13	0	0	5	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	19	19	0				38
	S P有り	14	15	0	1	3	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	18	22	0				40
	雄																0	0	0				0
	雌																0	0	0				0
	膝 蓋 骨	完形															0	0	0				0
破片		1	1													1	1	0				2	
加工品																0	0	0				0	
小計		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0				2	
雄																0	0	0				0	
雌															0	0	0				0		
脛 骨	完形	1														1	0	0				1	
	近位骨端骨のみ	1	2					1						1		1	4	0				5	
	近位端	5	3			2		1	1							6	6	0				12	
	近位部	欠	3	1					1								3	2	0				5
		外れ	1						1	1							2	1	0				3
	骨体	4	4													4	4	0				8	
	遠位部	欠														0	0	0				0	
		外れ	1													1	0	0				1	
	遠位端	16	16		2	1		6	11		4	3		1	1	29	32	0				61	
遠位骨端骨のみ	1						1								1	1	0				2		

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ出土状況(6)

部 位	出 土 層 位			2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	
	加工品								1										0	0	0	1
	小計	33	26	0	2	3	0	8	16	1	4	3	0	1	2	0			48	50	1	99
	かじり有り	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2	2	0	4
	S P有り	19	18	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0			21	21	0	42
	雄																		0	0	0	0
雌																			0	0	0	0
距 骨	完形	12	12		3			7	12			1	1						22	29	1	52
	近位端+骨体 (遠位端欠)	1	1		1														2	1	0	3
	骨体	1																	1	0	0	1
	骨体遠+位端 (骨頭欠)		4						1		3	2							3	7	0	10
	加工品																		0	0	0	0
	小計	14	17	0	4	0	0	7	13	0	3	7	1	0	0	0			28	37	1	66
	雄																		0	0	0	0
雌																		0	0	0	0	
踵 骨	完形	6	3					1	2		1								8	5	0	13
	近位骨端骨のみ (骨頭のみ)		1					1											1	1	0	2
	近位端+骨体 (遠位端欠)	1	2					3	2		1	1							5	5	0	10
	骨体	6	1		2	1		1	2		1			1	1				11	5	0	16
	骨体 (骨頭外れ)		1		1														1	1	0	2
	骨体+遠位端 (骨頭欠)	6	2		1	1		2	2		1	1							10	6	0	16
	骨体+遠位端 (骨頭外れ)	1	2											1					1	3	0	4
	幼1																					
	加工品																		0	0	0	0
小計	20	12	0	4	2	0	8	8	0	4	2	0	1	2	0			37	26	0	63	
雄																		0	0	0	0	
雌																		0	0	0	0	
足 根 骨	完形	4	8			3		1	1										5	12	0	17
	破片										1								1	0	0	1
	加工品																		0	0	0	0
	小計	4	8	0	0	3	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0			6	12	0	18
雄																		0	0	0	0	
雌																		0	0	0	0	
中 足 骨	近位端	7	14	1	1			3	2										11	16	1	28
	近位部				1				1										0	1	1	2
	外れ						1												0	0	1	1
	骨体			46	1		3		7	13			3						1	7	65	73
	遠位部				4			1	1										1	1	4	6
	外れ	3	2		1			1											5	2	0	7
遠位端		6		1			2											3	6	0	9	

ニホンジカ出土状況(7)

部 位	出土層位			2-2河下層			2-2河下層			2-1河下層			2-1河下層			2河上層			小 計			合 計	
	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明	R	L	不明		
	加工品			1	1		2	3								3	0	4				7	
	小計	10	22	53	5	0	4	9	11	16	0	0	3	0	0	0	24	33	76			133	
	雄																0	0	0			0	
	雌																0	0	0			0	
中手・ 中足骨	遠位骨端骨のみ			1					2							0	0	3				3	
	加工品			4		1		3		1						0	0	12				12	
	小計	0	0	5	0	0	1	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	9			9	
	雄																0	0	0			0	
	雌															0	0	0				0	
指 骨	基節骨	完形			10		2		7					2		0	0	21				21	
		破片			5							1		2		0	0	8				8	
	中節骨	完形			2				2		2					0	0	6				6	
		破片					1									0	0	1				1	
	末節骨	完形			1				2							0	0	3				3	
		破片							2							0	0	2				2	
	加工品															0	0	0				0	
	小計	0	0	18	0	0	3	0	0	13	0	0	3	0	0	4	0	0	41				41
	雄																0	0	0				0
	雌																0	0	0				0

2 脊椎動物遺体

イノシシ頸椎分類表

番号	頸椎NO.	GLPa	残存状況
1	Ⅲ・Ⅳ	29.00	略完
2	Ⅲ・Ⅳ	27.00	略完

イノシシ四肢骨計測値表

イノシシ肩甲骨計測値

番号	S L C	G L P	B G	左右の別	備考	番号	S L C	G L P	B G	左右の別	備考
16	28.75			L		10	31.65	43.34	28.77	R	
7	24.95	36.44		L		6	31.06	41.67	27.88	R	
B-144	22.06		18.70	L		5	28.61		25.08	R	
8	21.76			L		4	27.54	35.71	22.18	R	
9	20.72			L		B-58	26.63	38.07	25.10	R	
B-145	15.25	21.76	14.53	L		B-59	25.35	33.45	22.65	R	
B-22				L		11	25.09			R	
B-61④				L		3	23.62	31.19		R	
17			17.86	L		2	21.15			R	
B-98				L		13	17.30	25.50	17.94	R	
						1	16.42			R	
						15				R	
						B-61③				R	

イノシシ上腕骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
62			47.77	L		18		22.64	47.88	R	SD+-
33			46.84	L		21			47.70	R	
32			45.06	L		12			46.44	R	
37			45.00	L		44			44.81	R	
55			44.54	L		19			44.69	R	
36		20.33	43.62	L		13			44.49	R	
52			42.92	L		7			44.43	R	
53			39.85	L		58			42.49	R	
61			38.66	L	Bd+-	20			42.18	R	
54			37.37	L		17		22.38		R	
35		21.62		L		46		18.66		R	
34		19.86		L		48		17.82		R	
38		17.69		L		9				R	
26				L		1				R	
27				L		2				R	
28				L		3				R	
29				L		4				R	
30				L		6				R	
31				L		8				R	
39				L		10				R	
40				L		11				R	
41				L		14				R	
42				L		15				R	
43				L		16				R	
50				L		22				R	
51				L		23				R	
59				L		24				R	
60				L		25				R	
64				L		45				R	
						47				R	
						49				R	
						56				R	
						57				R	
						63				R	

イノシシ橈骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
9	29.23			L		6	37.00			R	Bp+-
11		22.69	28.23	L	ep ハズレ	16	36.00			R	
12		20.35	26.33	L	ep ハズレ	3	30.64			R	
						7	30.00			R	Bp+-
						8	30.00			R	Bp+-
						1	29.72			R	
						2	28.03			R	
						13	26.41			R	
						10	25.00	18.25		R	Bp+-
						14		24.35		R	
						5		23.16		R	
						4		17.68		R	
						15		14.63		R	
						17			34.59	R	

イノシシ尺骨計測値

番号	S D O	D P A		左右の別	備考	番号	S D O	D P A		左右の別	備考
35		46.00		L	DPA+-	23	38.05	47.25		R	
13		45.50		L	DPA+-	19		46.50		R	DPA+-
27		45.30		L		33	34.09	43.80		R	
28		45.00		L	DPA+-	6		42.37		R	
30		45.00		L	DPA+-	1	36.50	40.18		R	SDO+-
26	34.78	43.85		L		24		40.05		R	
29		43.50		L	DPA+-	3		40.00		R	DPA+-
11		42.22		L		2		39.00		R	DPA+-
10		41.79		L		7		38.50		R	DPA+-
20		40.82		L		25		38.50		R	DPA+-
14		39.21		L		9		37.00		R	DPA+-
22		39.02		L	DPA+-	5	27.56	36.29		R	
21		38.78		L		4		36.19		R	
12		37.93		L		8		35.50		R	DPA+-
34		37.77		L							
15				L							
16				L							
17				L							
18				L							
31				L							
32				L							

イノシシ手根骨計測値

番号	幅(B)		左右の別	備考	番号	幅(B)		左右の別	備考
					1	18.84		R	

イノシシ中手骨計測値

番号			左右の別	備考	番号			左右の別	備考
3			L		11	51.26		R	
7			L		2			R	
					4			R	
					5			R	
					6			R	
					8			R	
					9			R	
					10			R	

2 脊椎動物遺体

イノシシ寛骨計測値

番号	SD	LA		左右の別	備考	番号	SD	LA		左右の別	備考
4		37.34		L		9		35.37		R	
3	27.52	36.76		L		1		32.41		R	
5		36.52		L		2				R	
11		33.45		L		10				R	
6		29.31		L							
7				L							
12				L							
13				L							
14				L							
15				L							
16				L							

イノシシ大腿骨計測値

番号	B p	SD	B d	左右の別	備考	番号	B p	SD	B d	左右の別	備考
25		26.71		L		16		29.42		R	
27		22.69		L		8		26.37		R	
28		22.04		L		15		23.89		R	
18				L		12		22.92		R	
19				L		9		22.61		R	
20				L		11		21.69		R	
21				L		29		21.31		R	
22				L		1		21.12		R	
23				L		14		21.05		R	
24				L		13		20.08		R	
26				L		7		19.06		R	
						3				R	
						2				R	
						4				R	
						5				R	
						6				R	
						10				R	
						17				R	

イノシシ脛骨計測値

番号	B p	SD	B d	左右の別	備考	番号	B p	SD	B d	左右の別	備考
20			33.46	L		1		23.25	34.84	R	
21		20.54	31.69	L		25		22.36	34.81	R	
22		20.66	29.93	L		28			34.24	R	
24		20.72	29.88	L		7			33.59	R	
41			29.65	L		8			32.81	R	
23		19.38	29.64	L		2			32.47	R	
26			28.93	L	Bd+-	5		23.29	31.84	R	
16			26.71	L	Bd+-	3		20.21	31.04	R	
44		20.76		L		31			30.49	R	
46		20.48		L		29		19.99	30.04	R	
45		20.47		L	SD+-	30			29.70	R	
17		20.28		L		9			29.61	R	
43		20.20		L		10			29.40	R	
42		19.07		L		4		22.03	29.31	R	
19		18.56		L		33		20.69		R	
27	56.05			L		32		19.70		R	
39	50.24			L		36	48.56			R	
13	46.89			L		35	44.77			R	
38	46.45			L		6				R	
11				L		34				R	
12				L		37				R	
14				L							
15				L							
18				L							
40				L							

イノシシ距骨計測値

番号	GL		左右の別	備考	番号	GL		左右の別	備考
9	46.00		L		1	48.00		R	
10	44.00		L		2	48.00		R	
14	43.00		L		3	47.00		R	
11	41.00		L		12	47.00		R	
					4	47.00		R	
					13	46.00		R	
					5	46.00		R	
					7	44.00		R	GL+-
					6	44.00		R	
					8	43.00		R	GL+-

イノシシ踵骨計測値

番号	GL		左右の別	備考	番号	GL		左右の別	備考
18	93.00		L	GL+-	4	93.00		R	GL+-
19	93.00		L	GL+-	31	93.00		R	GL+-
20	87.00		L		3	92.00		R	GL+-
21	87.00		L	GL+-	5	92.00		R	
22	87.00		L	GL+-	6	88.00		R	
23	87.00		L	GL+-	7	84.00		R	GL+-
2	84.00		L	GL+-	8	84.00		R	GL+-
24	84.00		L		9	84.00		R	GL+-
25	84.00		L	GL+-	10	84.00		R	GL+-
26	84.00		L	GL+-	11	84.00		R	GL+-
27	84.00		L	GL+-	12	84.00		R	GL+-
33	84.00		L	GL+-	13	83.00		R	GL+-
34	83.00		L	GL+-	14	83.00		R	GL+-
1	82.00		L	GL+-	15	82.00		R	
28	80.00		L	GL+-	16	82.00		R	GL+-
29	80.00		L	GL+-	17	80.00		R	GL+-
30	80.00		L	GL+-	32			R	

イノシシ足根骨計測値

番号	幅(B)		左右の別	備考	番号	幅(B)		左右の別	備考
1	31.40		L						
2	30.88		L						

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ頸椎分類表

番号	頸椎NO.	GLPa	BPacr	BPacd	残存状況
23	Ⅲ	79.67	50.13	52.20	完
25	Ⅲ	72.32	(46.44)	48.84	略完
7	Ⅲ				半欠(切断?)
24	Ⅳ				略完
29	Ⅳ	68.47	53.49		略完
3	Ⅳ	66.96	46.20	42.59	略完
6	Ⅳ	68.97	(55.34)	52.03	略完
1	Ⅳ		48.61		半欠(切断?)
26	Ⅳ				破損
9	Ⅳ	(49.84)			半欠(切断?)
27	Ⅳ	42.55			半欠(切断?)
16	Ⅳ	72.22			縦半欠
14	Ⅳ				破片
22	V	75.74	59.75		後関節欠
12	V				
8	V	(57.14)			半欠(切断?)
11	V				半欠(切断?)
13	V				半欠(切断?)
5	V			(55.68)	一部破損
15	Ⅵ	58.17		23.67	略完
4	Ⅵ	(65.00)	57.84		略完
30	Ⅵ		59.04		半欠
18	Ⅵ				破片
20	Ⅶ	62.15	59.17	49.47	完
10	Ⅶ	55.44	65.14		
2	Ⅶ	57.19	54.67	41.38	
28	Ⅶ				
17	Ⅶ	(42.72)			

ニホンジカ四肢骨計測値表

ニホンジカ肩甲骨計測値

番号	SLC	GLP	BG	左右の別	備考	番号	SLC	GLP	BG	左右の別	備考
4	29.13	45.33		L		3	22.74	42.08		R	
B-143	25.58	30.13		L		2	22.62			R	
5	23.51			L		9	22.37			R	
10	23.23	39.57		L		1	20.05			R	
7	21.49			L		B-60	18.25		23.14	R	
B-61②				L		B-96				R	
11				L							
8				L							
B-61①				L							
B-97				L							

ニホンジカ上腕骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
88			47.00	L		7			45.76	R	
41			45.87	L		73			45.00	R	
42			44.61	L		64			44.81	R	
37			43.94	L		9			44.23	R	
44			43.65	L		10			43.56	R	
87			42.06	L		8			43.20	R	
38			40.21	L		71			41.57	R	
40			40.20	L		16			41.35	R	
43			39.89	L		6		21.94	41.18	R	
39			39.62	L		70			40.59	R	
99			38.76	L		24			40.46	R	
65			38.61	L		76			39.65	R	
101			38.52	L		14			39.42	R	
66			38.23	L		23			38.29	R	
91			35.79	L		11		18.41	38.25	R	
30		19.61		L	SD+-	63			38.04	R	Bd+-
48		18.20		L	SD+-	12		18.75	37.49	R	
89		17.73		L		74		17.82	37.40	R	
47		16.46		L		75			37.24	R	
59		14.51		L		1				R	
51				L		3				R	
92				L		15		19.75		R	
90				L		78		15.69		R	
60				L		85				R	
56				L		5				R	
55				L		13				R	
98				L		19				R	
100				L		57				R	
97				L		4				R	
94				L		61				R	
95				L		20				R	
31				L		80				R	
67				L		21				R	
33				L		82				R	
69				L		29				R	
35				L		84				R	
50				L		28				R	
52				L		86				R	
49				L		96				R	
93				L		18				R	
45				L		27				R	
34				L		77				R	
46				L		26				R	
53				L		81				R	
36				L		62				R	
32				L		22				R	
54				L		25				R	
						72				R	
						2				R	
						83				R	
						79				R	
						17				R	
						102				R	
						B-87				R	

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ橈骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
41		26.20	38.76	L		49		26.49	37.84	R	
9		26.14		L		10		26.19	32.84	R	Bd+-
42		24.54	35.98	L		50		25.95	34.54	R	
37		24.36		L		14		25.79		R	
71		23.81	38.32	L		15		25.40	37.80	R	
46		23.76	34.91	L		19		23.56	33.53	R	
43		23.18	33.59	L		13		23.07		R	
44		22.35	33.42	L		64		22.45	35.72	R	
33	34.55	21.82		L		18		22.41	33.64	R	
70		20.84		L		12		21.54		R	
36		19.99		L		62			36.79	R	
38		18.15		L		48			36.52	R	Bd+-
47			39.70	L		16			36.03	R	
74			35.74	L		65			36.00	R	Bd+-
6			34.21	L	ep ハズレ	77			35.91	R	
78			33.06	L		63			35.43	R	
45			32.91	L		17			35.01	R	
72			32.18	L		21			34.08	R	
76			31.53	L	ep ハズレ	20			33.63	R	
27	42.75			L	Bp+-	66			30.24	R	ep ハズレ
24	41.91			L	Bp+-	54	43.31			R	
23	41.90			L		73	42.42			R	
26	41.08			L		3	42.29			R	
22	40.83			L		5	42.00			R	Bp+-
30	40.32			L		58	41.35			R	Bp+-
25	39.85			L		59	41.35			R	
29	39.64			L		2	41.07			R	
28	39.37			L		4	40.58			R	
75	38.98			L		60	40.00			R	Bp+-
67	38.87			L	Bp+-	61	40.00			R	Bp+-
68	38.86			L		1	39.77			R	
52	38.61			L		56	38.99			R	
69	38.46			L		55	38.76			R	
32	37.33			L		53	21.85			R	
34	35.97			L		11				R	
35	35.30			L	Bp+-	57				R	
31	33.61			L							
7				L							
8				L							
39				L							
40				L							
51				L							

ニホンジカ尺骨計測値

番号	SDO	DPA		左右の別	備考	番号	SDO	DPA		左右の別	備考
B-135	40.86	44.91		L		1	37.00	42.00		R	S・D+-
B-128		41.16		L	ep ハズレ	B-132		40.96		R	DPA+-
B-134	37.95	41.02		L		B-138		40.80		R	
9		41.00		L	DPA+-	B-125	37.50	40.49		R	
7		40.78		L		B-133		40.29		R	
B-114		40.70		L		4		38.00		R	DPA+-
B-113	34.67	40.65		L		B-126	32.37	37.66		R	
17		40.00		L	DPA+-	15		37.00		R	DPA+-
B-130	36.55	39.63		L		3	35.30	36.88		R	
13	34.99	39.50		L	DPA+-	B-127		35.67		R	
14	34.00	39.05		L	S・D+-	2		35.07		R	
5	33.04	38.73		L		B-20	29.69	31.55		R	
B-21	31.08	36.26		L		12				R	
B-137	33.67	35.75		L		10				R	
B-131	34.14	35.00		L	ep ハズレ	11				R	
B-11		35.00		L	DPA+-	B-140				R	
B-129	32.23	34.60		L							
6	33.42	34.52		L							
B-139		34.32		L							
8		33.00		L	DPA+-						
B-112		32.32		L	DPA+-						
B-136				L							
B-100				L							
16				L							
18				L							
B-119				L							

ニホンジカ手根骨計測値

番号	幅(B)		左右の別	備考	番号	幅(B)		左右の別	備考
3	23.98		L		2	22.90		R	
					1	20.09		R	
					4	16.05		R	

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ中手骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
6	34.00			L	Bp+-	22	31.78			R	
2	33.85			L		20	31.31			R	
42	31.59			L		19	31.20			R	
41	31.37			L		17	30.68			R	
1	30.73			L		35	30.45			R	
3	30.47			L		45	28.46			R	
44	30.36			L		23	27.41			R	
43	30.31			L		21	26.71			R	
4	29.84			L		24			32.49	R	
5	29.73			L		18				R	
34	25.74			L	Bp+-	26				R	
50			32.00	L		30				R	
51			30.77	L		32				R	
13			30.42	L		37				R	
14			30.25	L		38				R	
12			29.78	L		47				R	
7				L		49				R	
8				L		52				R	
9				L		62				R	
10				L							
11				L		B-146				R/L	
15				L		25				R/L	
16				L		31				R/L	
27				L		39				R/L	
28				L		48				R/L	
29				L		54				R/L	
33				L		55				R/L	
40				L		56				R/L	
46				L		57				R/L	
53				L		58				R/L	
59				L		61				R/L	
60				L		63				R/L	

ニホンジカ寛骨計測値

番号	SD	LA		左右の別	備考	番号	SD	LA		左右の別	備考
40		46.82		L		9		45.72		R	
26		45.84		L		8		45.06		R	
28		44.87		L		14		44.50		R	
16		44.80		L		12		44.48		R	
17		44.80		L		13		44.31		R	
15		42.92		L		47		43.39		R	
29		42.46		L		44		43.16		R	
27		42.21		L		46		41.60		R	
51		40.58		L		3		41.40		R	
30		39.23		L		36		39.39		R	
53	28.08			L		1				R	
52	27.17			L		48	26.74			R	
58	26.35			L		37	25.74			R	
31	23.76			L		39	23.35			R	
57				L		11				R	
59				L		55				R	
43				L		49				R	
18				L		56				R	
35				L		45				R	
54				L		6				R	
20				L		4				R	
42				L		7				R	
22				L		38				R	
23				L		5				R	
24				L		2				R	
25				L		10				R	
41				L		60				R	
19				L							
32				L							
21				L							
50				L							
33				L							

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ大腿骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
40		26.52		L		72		25.89		R	SD+-
79		26.09		L		22		24.79		R	
53		25.74		L		21		24.67		R	
34		24.66		L		9		24.67		R	
32		24.10		L		70		24.48		R	SD+-
66		22.88	53.44	L		65		23.76		R	
80		22.83		L		71		23.46		R	
54		22.76		L		10		23.28		R	
78		22.71		L		2		22.01		R	
41		22.29		L		63		21.75		R	
39		20.90		L		76	57.65	21.61		R	
60		19.38		L		73		21.41		R	
38			55.66	L		62		21.20	54.26	R	
42			52.74	L		77	58.13	20.86		R	Bp+-
31	54.19			L		19		19.20		R	
6				L		75		18.28		R	
8				L		16			49.77	R	
27				L		50	70.30			R	
28				L		1				R	
29				L		3				R	
30				L		4				R	
33				L		5				R	
35				L		7				R	
36				L		11				R	
37				L		12				R	
43				L		13				R	
44				L		14				R	
45				L		15				R	
46				L		17				R	
47				L		18				R	
48				L		20				R	
49				L		23				R	
55				L		24				R	
56				L		25				R	
57				L		26				R	
58				L		51				R	
59				L		52				R	
67				L		61				R	
68				L		64				R	
69				L		74				R	

ニホンジカ膝蓋骨計測値

番号	GL	GB		左右の別	備考	番号	GL	GB		左右の別	備考
2	38.80	28.64		L		1	30.63	24.18		R	GB+-

ニホンジカ脛骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
55		27.95	39.85	L		70		26.75	35.88	R	
49		26.31	38.28	L		10		26.47	38.55	R	
54		26.27	38.06	L		72		26.18	40.14	R	
53		26.18	37.93	L		91		25.81	36.95	R	
51		25.90	38.40	L		67		25.64	39.99	R	
64		25.69	36.18	L		89		25.22	37.69	R	
50		25.62	39.62	L		37		24.95		R	
82		25.50	35.96	L		11		24.62	38.24	R	
80		25.16	37.58	L		61		24.59	35.92	R	
59		25.08	34.37	L		92		24.38	36.93	R	
81		24.82	38.31	L		9		24.20	39.16	R	
83		24.74	34.40	L		71		24.10	37.90	R	
79		24.61	39.36	L		68		23.93	36.42	R	
47		24.60	33.78	L		8		23.48	37.43	R	
85		24.34	37.17	L		69		23.25	34.69	R	
48		24.30	36.33	L		7		23.02	36.51	R	
86		24.27	34.93	L		38		22.94		R	
45		23.95	34.40	L		23		22.87	35.57	R	
94		23.56	35.21	L		19		22.68		R	
84		23.19	36.70	L		15		22.64	32.51	R	
46		23.17	36.04	L		16		22.59	34.76	R	
58		22.81	33.13	L		20		22.39	33.45	R	
52		22.75	34.93	L		60		22.22	35.29	R	
44		22.03	33.14	L		90		22.22	29.88	R	Bd+-
43		18.50		L		1		22.09	35.01	R	
78			40.37	L		39		22.05		R	
97			38.52	L		14		21.40	28.85	R	
77			37.26	L		17		21.19	35.05	R	
57			36.80	L		6		20.05		R	
93			35.80	L		12			42.17	R	
95			34.27	L		13			40.58	R	
56			33.36	L		22			35.65	R	
34	59.46			L		96			34.76	R	
74	57.12			L		24			34.15	R	
73	54.38			L		28	63.14			R	
35	50.86			L		26	59.79			R	
30				L		36	54.86			R	
31				L		2				R	
32				L		3				R	
33				L		4				R	
40				L		5				R	
41				L		18				R	
42				L		21				R	
62				L		25				R	
63				L		27				R	
75				L		29				R	
76				L		65				R	
87				L		66				R	
88				L							
98				L		B-106				R/L	

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ距骨計測値

番号	G L		左右の別	備考	番号	G L		左右の別	備考
16	46.00		L	GL+-	1	46.00		R	
15	46.00		L		2	45.00		R	
44	45.00		L		56	45.00		R	GL+-
43	45.00		L		36	45.00		R	
45	44.00		L		32	45.00		R	
59	44.00		L		37	44.00		R	
60	44.00		L		3	44.00		R	
21	43.00		L	GL+-	4	44.00		R	
19	43.00		L		33	43.00		R	
17	43.00		L		7	43.00		R	
18	43.00		L		6	43.00		R	
48	43.00		L		5	43.00		R	
20	43.00		L	GL+-	8	42.00		R	
46	43.00		L		38	42.00		R	
47	43.00		L		10	41.00		R	
61	42.00		L		57	41.00		R	GL+-
24	42.00		L		58	41.00		R	GL+-
50	42.00		L		9	41.00		R	
23	42.00		L		39	41.00		R	
49	42.00		L		34	40.00		R	
62	42.00		L		14	40.00		R	GL+-
22	42.00		L		13	40.00		R	GL+-
52	41.00		L		11	40.00		R	
27	41.00		L	GL+-	35	40.00		R	GL+-
28	41.00		L	GL+-	12	40.00		R	GL+-
25	41.00		L		40	39.00		R	
63	41.00		L		41	38.00		R	
26	41.00		L		42	38.00		R	GL+-
51	41.00		L						
29	40.00		L		66	38.00		R/L	GL+-
54	40.00		L						
31	40.00		L						
30	40.00		L						
53	40.00		L						
64	38.00		L	GL+-					
65	38.00		L	GL+-					
55			L						

ニホンジカ踵骨計測値

番号	GL		左右の別	備考	番号	GL		左右の別	備考
21	99.00		L		1	98.00		R	
22	99.00		L	GL+-	2	98.00		R	
32	98.00		L	GL+-	20	98.00		R	GL+-
47	98.00		L	GL+-	3	95.00		R	
48	97.00		L		39	95.00		R	GL+-
59	95.00		L	GL+-	40	95.00		R	GL+-
23	93.00		L	GL+-	55	95.00		R	
62	93.00		L	GL+-	56	95.00		R	GL+-
63	93.00		L	GL+-	4	94.00		R	
24	91.00		L		5	93.00		R	
25	91.00		L	GL+-	6	93.00		R	GL+-
26	88.00		L		7	93.00		R	GL+-
27	88.00		L	GL+-	8	93.00		R	GL+-
37	87.00		L	GL+-	9	93.00		R	GL+-
49	87.00		L		10	92.00		R	GL+-
50	87.00		L	GL+-	61	92.00		R	GL+-
51	87.00		L	GL+-	33	87.00		R	GL+-
52	87.00		L	GL+-	34	87.00		R	GL+-
53	87.00		L	GL+-	41	87.00		R	GL+-
54	84.00		L	GL+-	42	87.00		R	GL+-
28	82.00		L	GL+-	43	87.00		R	GL+-
29	82.00		L	GL+-	35	84.00		R	GL+-
30	82.00		L	GL+-	44	84.00		R	
31	80.00		L	GL+-	45	84.00		R	GL+-
60	80.00		L	GL+-	46	84.00		R	GL+-
38			L		57	84.00		R	GL+-
					11	82.00		R	
					12	82.00		R	GL+-
					13	82.00		R	GL+-
					14	82.00		R	GL+-
					15	82.00		R	GL+-
					16	82.00		R	GL+-
					17	82.00		R	GL+-
					18	82.00		R	GL+-
					19	65.56		R	ep ハズレ
					36			R	
					58			R	

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ足根骨計測値

番号	幅(B)		左右の別	備考	番号	幅(B)		左右の別	備考
14	34.19		L		2	34.39		R	
13	34.07		L		3	33.99		R	
7	34.02		L		4	31.50		R	
8	33.32		L		16	30.89		R	
5	32.12		L		1	30.60		R	
6	31.38		L		17	27.35		R	
10	31.18		L						
12	30.48		L						
9	30.29		L						
15	30.24		L						
11	24.88		L						
18	19.52		L						

ニホンジカ中足骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
20	29.92			L		1	29.73			R	
14	29.04			L		9	27.81			R	
13	25.82			L		97	27.69			R	
28			34.66	L		96	26.13			R	
25			33.45	L		95	25.95			R	
26			33.18	L		100			33.77	R	
29			31.81	L		98			33.18	R	
30			30.68	L		B-108				R	
27			30.01	L		B-109				R	
4				L		B-141				R	
6				L		2				R	
15				L		3				R	
16				L		5				R	
17				L		7				R	
18				L		8				R	
19				L		10				R	
21				L		11				R	
22				L		12				R	
23				L		86				R	
24				L		87				R	
31				L		89				R	
32				L		90				R	
102				L		99				R	
103				L		101				R	
104				L							
105				L							
106				L							
107				L							
108				L							
109				L							
110				L							
111				L							
113				L							

ニホンジカ中足骨計測値

番号	B p	S D	B d	左右の別	備考	番号	B p	S D	B d	左右の別	備考
B-4				R/L		68				R/L	
B-107				R/L		69				R/L	
B-111				R/L		70				R/L	
B-142				R/L		71				R/L	
33				R/L		72				R/L	
34				R/L		73				R/L	
35				R/L		74				R/L	
36				R/L		75				R/L	
37				R/L		76				R/L	
38				R/L		77				R/L	
39				R/L		78				R/L	
40				R/L		79				R/L	
41				R/L		80				R/L	
42				R/L		81				R/L	
43				R/L		82				R/L	
44				R/L		83				R/L	
45				R/L		84				R/L	
46				R/L		85				R/L	
47				R/L		91				R/L	
48				R/L		92				R/L	
49				R/L		93				R/L	
50				R/L		94				R/L	
51				R/L		114				R/L	
52				R/L		115				R/L	
53				R/L		116				R/L	
54				R/L		117				R/L	
55				R/L		118				R/L	
56				R/L		119				R/L	
57				R/L		120				R/L	
58				R/L		121				R/L	
59				R/L		122				R/L	
60				R/L		123				R/L	
61				R/L		124				R/L	
63				R/L		125				R/L	
64				R/L		126				R/L	
65				R/L		127				R/L	
66				R/L		128				R/L	
67				R/L		129				R/L	

2 脊椎動物遺体

歯牙出土量表 ()のあるのは単体で顎骨をつけるもの

イノシシ上顎 E区V面2-2河川下層

番号	L										番号	R																		
	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²		M ³	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³							
46 (I ¹)												1				(C)														
47 (I ¹)												2				(C)														
48 (I ¹)												3				(C)														
49 (I ¹)												4				(C)														
50 (I ¹)												5				(C)														
51 (I ¹)												6				(C)‡														
52												7 (I ¹)												++- (M ³)						
53												8 (I ²)												++-? (M ³)						
54												9 (I ¹)												+++? (M ²)						
55												10												++++ (M ¹)						
56												11												++++ (M ²)						
57												12												+++ (M ³)						
58												13												+++ (M ³)						
59												14												++++ (M ²)						
60												15												++++ (M ²)						
61												16												+++ (M ²)						
62												17												+++ (M ²)						
63												18												+++ (M ²)						
64 I ¹												19												+++ (M ²)						
65												20												+++ (M ²)						
66												21												+++ (M ²)						
67												22												+++ (M ²)						
68												23												+++ (M ²)						
69												24												+++ (M ²)						
70												25												+++ (M ²)						
71												26												+++ (M ²)						
72												27												+++ (M ²)						
73												28												+++ (M ²)						
74												29												+++ (M ²)						
75												30												+++ (M ²)						
76												31												+++ (M ²)						
77												32												+++ (M ²)						
78												33												+++ (M ²)						
												34												+++ (M ²)						
												35												+++ (M ²)						
												36												+++ (M ²)						
												37												+++ (M ²)						
												38												+++ (M ²)						
												39												+++ (M ²)						
												40												+++? (M ²)						
												41												+++ (M ²)						
												42												+++ (M ²)						
												43												+++ (M ²)						
												44												+++ (M ²)						
45												45												+++ (M ²)						
計												計													8 M ¹	1 1 M ²	1 6 M ³	1 6 M ¹	2 0 M ²	1 8 M ³

イノシシ上顎 E区V面2-2河川中層

L											R													
番 号	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³	番 号	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³	
103				(C)♂								98				(C)♂								
104				(C)								99									+++	M ¹	M ²	M ³
105				(C)								100											--- (M ³)	
106				(C)								101								+	+++	M ¹		
107												102									+	+	M ¹	
108 (I ¹)																								
109								++																
計																						3 M ¹	1 M ²	2 M ³

イノシシ上顎 E区V面2-1河川下層

L											R															
番 号	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³	番 号	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³			
140									°°	M ¹	M ²	+++?	112				(C)♂									
141					P ²	P ³		P ⁴					113				(C)♂									
142									+++	M ¹	M ²	?	114				(C)♂									
143								P ⁴		M ¹	M ²		115				(C)♂									
144										M ¹	M ²	M ³	116							++	P ⁴	°°	M ¹	M ²	M ³	
145											M ²		117							++	P ⁴	°°	M ¹	M ²	M ³	
146													118	+++	△	△	C	△	P ²		?	+++	M ¹	△		
147											M ²	M ³	119				dm ¹	dm ²	dm ³	?	dm ⁴	+++	M ¹	△		
148								++++					120							++	P ⁴	+++	M ¹	M ²		
149										(M ¹)			121							++	P ⁴	+++	M ¹			
150													122						++	P ³	++	P ⁴	+++	M ¹		
151										(M ¹)			123												--- (M ³)	
152										(M ¹)			124				♂		++	P ³	?	P ⁴	+++	M ¹		
153								(P ³)					125						dm ³	+	dm ⁴	+++	M ¹			
154								(P ³)					126										+++	M ¹		
155 (I ¹)													127								++	(P ⁴)				
156 (I ¹)													128								++	(P ⁴)				
													129								++	(P ⁴)				
													130							?	(dm ³)					
													131										+++	(M ¹)		
													132										+++	M ¹		
													133												--- (M ²)	
													134												--- (M ²)	
													135												--- (M ²)	
													136 (I ¹)													
													137 (I ¹)													
													138 (I ¹)													
													139 (I ¹)													
計										1 dm ⁴	6 M ¹	7 M ²	6 M ³	計							2 dm ⁴	9 M ¹	7 M ²	3 M ³		

2 脊椎動物遺体

イノシシ上顎 E区V面2-1河川中層

番号	L										番号	R											
	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²		M ³	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³
165																							
166																							
167																							
168																							
計																							

イノシシ上顎 E区V面2号河川上層

番号	L										番号	R											
	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²		M ³	I ¹	I ²	I ³	C	P ¹ dm ¹	P ² dm ²	P ³ dm ³	P ⁴ dm ⁴	M ¹	M ²	M ³
169																							
計																							

イノシシ下顎 E区V面2-2河川下層

番号	L											番号	R											
	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃		I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃	
49				C ♂								1			(C)♂									
50				(C)♀								2			(C)♀									
51				(C)♀								3	(I ₁)											
52				(C)								4	(I ₁)											
53				(C)♂								5	(I ₁)											
54				(C)♂								6	(I ₁)											
55				(C)♂								7	(I ₁)											
56				(C)♂								8	(I ₁)											
57		I ₁										9	(I ₁)											
58	I ₁											10	(I ₂)											
59		(I ₁)										11	(I ₂)											
60	(I ₁)											12	(I ₁)											
61		(I ₂)										13	(I ₁)											
63		(I ₂)										14	(I ₁)											
64		(I ₂)										15										+++++	M ₃	
65		(I ₂)										16										+-	(M ₃)	
66		(I ₂)										17										+-	(M ₃)	
67		(I ₂)										18									++++	(M ₂)		
68	(I ₁)											19									+	(P ₄)		
69	(I ₁)											20										++++-	(M ₃)	
70	(I ₁)											21										+-	(M ₂)	
71	(I ₁)											22										+-	(M ₂)	
72	(I ₁)											23									++++	(M ₁)		
73	(I ₁)											24		Δ♂ Δ	P ₂	P ₃		Δ						
74	(I ₁)											25			P ₂	P ₃		P ₄						
75	(I ₁)											26			Δ	Δ	Δ		P ₄					
76	(I ₁)											27		Δ♀ Δ	Δ	Δ		Δ		M ₁	M ₂	+++++	M ₃	
77	(I ₁)											28	I ₂ Δ	Δ♂ Δ	P ₂	P ₃		P ₄						
78												29				P ₃		P ₄		M ₁	M ₂	++++	M ₃	
79												30										++++	M ₂	
80												31										+++++	M ₃	
81												32								M ₁	Δ		???	
82												33											M ₃	
83												34										?	M ₂	
84												35										+++++	M ₃	
85												36										++++	(M ₂)	
86												37												
87												38												
88												39											???	
89												40										+++++	(M ₃)	
90												41										+++++	(dm ₄)	
91												42										++++	(M ₁)	
92																								
93																								
94																								
95																								
96																								

2 脊椎動物遺体

イノシシ下顎 E区V面2-2河川下層

L												R													
番号	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃	番号	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃		
97						P ₂	P ₃																		
98																								+++ (M ₃)	
99																								+++ (M ₃)	
100																									
101								(P ₄)																+++ (M ₃)	
102																									+++ (M ₂)
103																									°°° (M ₁)
104								(P ₄)																	
136																									
137																									
43		I ₂																							
44	I ₁	I ₂	△	C ♀	△	△	△	△	°°°°° M ₁	°°°°°°° M ₂	°°°°°°° M ₃ ?		I ₁	I ₂	△	△									
45	I ₁	I ₂	△	C ♀									I ₁	I ₂	△	C		△	+++ P ₂	+++ P ₄					
46	I ₁	△	△	△ ♀									I ₁	I ₂	△	△	△	△	+++ P ₂	+++ P ₄					
47	△	I ₂	△	△ ♀	?								△	△	△	△	△	△	+++ P ₂	+++ P ₄					°°° M ₁
48	I ₁	I ₂	△	C ♀	△								I ₁	I ₂	△	C	△	△	+++ P ₂	+++ P ₄					
138																									
139	△												I ₁												
計								1 dm ₄	8 M ₁	8 M ₂	1 5 M ₃	計								2 dm ₄	7 M ₁	8 M ₂	1 0 M ₃		

イノシシ下顎 E区V面2-2河川中層

L												R													
番号	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃	番号	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃		
110																									
111																									
計												計													

イノシシ下顎 E区V面2-1河川下層

L												R												
番号	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃	番号	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃	
121	(I ₁)												113	(I ₁)										
122	(I ₂)												114	(I ₁)										
123													115	(I ₁)										
124													116	(I ₁)										
125													117	(I ₁)										
													118	(I ₁)										
													119	(I ₂)										
													120	(I ₂)										
計												計												

イノシシ下顎 E区V面2-1河川中層

番号	L										番号	R											
	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂		M ₃	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃
126																							
127																							
128																							
129																							
130																							
131	(I ₁)																						
132	(I ₂)																						
133	(I ₃)																						
134	(I ₂)																						
計																							

イノシシ下顎 E区V面2号河川上層

番号	L										番号	R											
	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂		M ₃	I ₁	I ₂	I ₃	C	P ₁ dm ₁	P ₂ dm ₂	P ₃ dm ₃	P ₄ dm ₄	M ₁	M ₂	M ₃
											135												
計																							

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ上顎 E区V面2-2河川下層

番号	L							番号	R						
	P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³		P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³
26				P ⁴	M ¹	M ²		1		P ³	P ⁴	M ¹	M ²	M ³	
27				dm ³	M ¹	M ²		2		P ³	P ⁴	M ¹	M ²		
28					M ¹	M ²		3				M ¹	M ²	M ³	
29						M ²	M ³	4					M ²	M ³	
30		dm ¹	dm ²	dm ³	M ¹			5	P ²	P ³	P ⁴	M ¹			
31		P ²						6		P ³	P ⁴	M ¹			
32		P ²						7					(M ²)	M ³	
33				(P ⁴)				8						(M ³)	
34				(dm ³)				9						(M ³)	
35				(P ⁴)				10						(M ³)	
36				(P ⁴)				11						(M ³)	
37				(P ⁴)				12			P ⁴				
38							(M ³)	13				(M ¹)			
39							(M ³)	14				(M ¹)			
40							(M ³)	15				(M ¹)			
41							(M ³)	16				(M ¹)			
42							(M ³)	17						(M ³)	
43							(M ³)	18						(M ³)	
44					(M ¹)			19						(M ³)	
45					(M ¹)			20						(M ³)	
46					(M ¹)			21					(M ²)		
47						(M ²)		22					(M ²)		
48						(M ²)		23					(M ²)		
49						(M ²)		24					(M ²)		
50						(M ²)		25		(P ³)					
51						(M ²)		62		(M ³)					
52						(M ²)									
53						(M ²)									
54				P ⁴											
55				(P ⁴)											
56				(P ⁴)											
57				(P ⁴)											
58				(P ⁴)											
63		(dm ¹)													
計				3 dm ³	7 M ¹	1 1 M ²	7 M ³	計				9 M ¹	9 M ²	1 3 M ³	

ニホンジカ上顎 E区V面2-2河川中層

番号	L							番号	R						
	P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³		P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³
72						M ²	M ³	64			(dm ²)				
73						M ²	M ³	65						(M ³)	
74							(M ³)	66						(M ³)	
75				(P ⁴)				67						(M ³)	
76						(M ²)		68				(M ¹)			
77							(M ³)	69					(M ²)		
								70			(P ⁴)				
								71		(P ³)					
計						3 M ²	4 M ³	計		1 dm ²		1 M ¹	1 M ²	3 M ³	

ニホンジカ上顎 E区V面2-1河川下層

番号	L							番号	R						
	P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³		P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³
97		△	P ³	P ⁴	M ¹			78		P ²	P ³	P ⁴	M ¹	M ²	M ³
98								79				P ⁴	M ¹	M ²	
99					(M ¹)			80				P ⁴	M ¹	M ²	
100					(M ¹)			81						M ²	M ³
101					(M ¹)			82						M ²	M ³
102					(M ¹)			83		P ²	P ³				
103					(M ¹)			84					(M ¹)		
104						(M ²)		85					(M ¹)		
105						(M ²)		86		(P ²)					
106						(M ²)		87		(P ²)					
107						(M ²)		88		(P ²)					
108						(M ²)		89		(P ³)					
109		(P ²)						90							(M ³)
110				(P ⁴)				91							(M ³)
111							M ³	92							(M ³)
112							(M ³)	93							(M ³)
113							(M ³)	94							(M ³)
								95							(M ³)
								96						(M ²)	
								137							(M ³)
計					6 M ¹	6 M ²	4 M ³	計				5 M ¹	6 M ²	10 M ³	

ニホンジカ上顎 E区V面2-1河川中層

番号	L							番号	R						
	P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³		P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³
128							(M ³)	114		P ²	P ³	P ⁴	M ¹		
129				(P ⁴)				115				(P ⁴)			
130							(M ²)	116							(M ³)
131					(M ¹)			117							(M ³)
132					(M ¹)			118							(M ³)
								119						(M ²)	
								120						(M ²)	
								121						(M ²)	
								122						(M ²)	
								123			(P ³)				
								124				(P ⁴)			
								125					(M ¹)		
								126						(M ²)	
								127							(M ³)
計					2 M ¹	1 M ²	1 M ³	計				2 M ¹	5 M ²	4 M ³	

ニホンジカ上顎 E区V面2号河川上層

番号	L							番号	R						
	P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³		P ¹	P ² dm ¹	P ³ dm ²	P ⁴ dm ³	M ¹	M ²	M ³
								136				(P ⁴)			
計								計							

2 脊椎動物遺体

ニホンジカ下顎 E区V面2-2河川下層

番号	L							番号	R							
	P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃		P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃	
35			dm ₂	(dm ₃)				1			dm ₂	dm ₃	M ₁ ⑥			
36						Mz⑤	Mz⑦	2			dm ₂	dm ₃	M ₁ ⑤			
37		P ₂	P ₃					3					M ₁ ⑥			
38		P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ③	Mz④	Mz⑦	4				dm ₃	M ₁ ⑥	Mz⑥		
39					(M ₁ ⑤ ^{or} ⑥)	(Mz⑥)	(Mz⑦)	5			dm ₁	dm ₂	dm ₃	M ₁ ⑥	(Mz⑥)	
40			P ₃	P ₄	(M ₁ ④)	Mz⑤	Mz⑥	6			P ₂	△	△	M ₁ ③	Mz④ ^{or} ⑤	Mz⑥ ^{or} ⑦
41					M ₁ ②	Mz②		7			P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ③	Mz⑤ ^{or} ④	Mz⑦
42			P ₃	P ₄	M ₁ ②	Mz②		8						M ₁ ④b ^{or} ④a	Mz⑤	(Mz⑥)
43			P ₃	P ₄	M ₁ ①	Mz②	Mz③	9				P ₃	P ₄	M ₁ ③	Mz⑤	
44		P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ○	Mz②	Mz④	10				P ₃	P ₄	M ₁ ②	Mz④ ^{or} ⑤	Mz⑤a ^{or} ⑥
45					(M ₁ ⑤)	(Mz⑥ ^{or} ⑤)	(Mz⑦)	11					P ₄			
46							(Mz⑥ ^{or} ⑦)	12			P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ③	Mz③ ^{or} ④	Mz⑥ ^{or} ⑤a
47							(Mz⑥)	13						M ₁ ③	Mz④	(Mz⑥)
48						(Mz⑥ ^{or} ⑤)		14			P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ②	Mz⑤ ^{or} ④	Mz⑥
49						(Mz⑤)		15						M ₁	Mz③	Mz④a
50						(Mz)		16					P ₄	M ₁	Mz②	
51					(M ₁ ④b)			17					P ₄	M ₁ ②		
52			(dm ₃)					18							Mz③	Mz④b ^{or} ⑤b
								19				P ₃	P ₄	M ₁ ②	Mz③	Mz③ ^{or} ④a
								20			P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ②	Mz②	Mz⑤
								21								(Mz⑦)
								22								(Mz③)
								23								(Mz)
								24							(Mz⑤ ^{or} ⑥)	
								25							(Mz⑤)	
								26							(Mz⑤)	
								27							(Mz④ ^{or} ⑤)	
								28						(M ₁ ⑤?)		
								29						(M ₁ ③)		
								30						(M ₁ ②)		
								31						(M ₁ ②)		
								32					(P ₄)			
								33					(P ₃)			
								34					(P ₃)			
計				2 dm ₃	9 M ₁	1 2 M ₂	9 M ₃	計			4 dm ₃	2 2 M ₁	1 9 M ₂	1 4 M ₃		

ニホンジカ下顎 E区V面2-2河川中層

番号	L							番号	R						
	P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃		P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃
58						Mz⑤	Mz⑦	53		dm ₁	dm ₂	dm ₃	M ₁ ⑤		
								54		P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ② ^{or} ③	Mz④	
								55		(P ₂)	P ₃	P ₄	M ₁ ②	Mz③	Mz④a ^{or} ④b
								56				P ₄	M ₁ ②	Mz②	Mz③ ^{or} ④a
								57						Mz②	
計						1 M ₂	1 M ₃	計			1 dm ₃	4 M ₁	4 M ₂	2 M ₃	

ニホンジカ下顎 E区V面2-1河川下層

番号	L							番号	R								
	P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃		P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃		
73			dm ₂	△	M ₁ ④b	M ₂ ⑤	M ₃ ⑦	59			dm ₂	△					
74						(M ₂ ⑤)	M ₃ ⑦	60			P ₃	P ₄	M ₁ ③	M ₂ ⑤	M ₃ ⑦ ^{or} ⑥		
75							M ₃ ⑥	61						M ₂ ⑤	(M ₃ ⑥)		
76		P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ②	M ₂ ③	M ₃ ④a	62							M ₃ ⑥		
77			P ₃	P ₄	M ₁ ②	M ₂ ③	M ₃ ④a	63			P ₃	P ₄	M ₁ ② ^{or} ③	M ₂ ④ ^{or} ③	M ₃ ⑤a		
78						M ₂ ②	M ₃ ③	64		P ₂	P ₃	P ₄					
79							(M ₃ ⑦ ^{or} ⑥)	65		P ₂	P ₃	P ₄	M ₁ ②	M ₂ ③	M ₃ ⑤a		
80							(M ₃ ⑦ ^{or} ⑥)	66					P ₄	M ₁ ②	M ₂ ②		
81							(M ₃ ⑥)	67				P ₃	P ₄	M ₁ ○	M ₂ ②		
82							(M ₃ ⑤a ^{or} ④a)	68							M ₃ ③ ^{or} ④b		
83							(M ₃ ⑤a ^{or} ④a)	69							(M ₃ ④a)		
84							(M ₃ ④b ^{or} ③)	70						(M ₁ ⑤ ^{or} ⑥)			
85						(M ₂ ⑤)		71						(M ₁ ⑤)			
86						(M ₂ ④)		72					(P ₄)				
87				dm ₃				計						1 dm ₂	7 M ₁	6 M ₂	7 M ₃
計				1 dm ₃	3 M ₁	7 M ₂	1 2 M ₃	計						1 dm ₂	7 M ₁	6 M ₂	7 M ₃

ニホンジカ下顎 E区V面2-1河川中層

番号	L							番号	R						
	P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃		P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃
97					M ₁ ④a	M ₂ ⑤	M ₃ ⑦	94				(P ₄)	(M ₁ ③)	(M ₂ ⑤)	
98				(dm ₃)				95					M ₁	M ₂ ③	M ₃ ④
99							(M ₃ ⑥ ^{or} ⑤a)	96							(M ₃ ⑤a ^{or} ⑤b)
100							(M ₃ ③)								
101					(M ₁)										
計				1 dm ₃	2 M ₁	1 M ₂	3 M ₃	計					2 M ₁	2 M ₂	2 M ₃

ニホンジカ下顎 E区V面2号河川上層

番号	L							番号	R						
	P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃		P ₁	P ₂ dm ₁	P ₃ dm ₂	P ₄ dm ₃	M ₁	M ₂	M ₃
103					M ₁ ③	M ₂ ⑤	M ₃ ⑦ ^{or} ⑥	102							(M ₃ ⑥)
計					1 M ₁	1 M ₂	1 M ₃	計							1 M ₃

2 脊椎動物遺体

写真図版掲載動物遺体一覧表(1)

図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置	図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置
24-1	キジ	尺骨No.2 R	2-2河下層	28-13	イノシシ	上顎骨No.65 L	2-2河下層
2	キジ	大腿骨No.1 R	2-2河下層	14	イノシシ	上顎骨No.59 L	2-2河下層
3	ニホンザル	橈骨No.26 R	2-2河下層	15	イノシシ	上顎骨No.147 L	2-1河下層
4	ニホンザル	大腿骨No.27 R	2-2河下層	16	イノシシ	上顎骨No.150 L	2-1河下層
5	ニホンザル	大腿骨No.28 R	2-2河下層	17	イノシシ	上顎骨No.144 L	2-1河下層
6	ヒト	頭蓋骨No.21	2-1河下層	18	イノシシ	上顎骨No.56 L	2-2河下層
7	ヒト	頭蓋骨No.22	2-1河下層	19	イノシシ	上顎骨No.63 L	2-2河下層
8	イヌ	下顎骨No.15 L	2-2河中層	20	イノシシ	上顎骨No.146 L	2-1河下層
9	イヌ	頸椎No.30	2-1河下層	21	イノシシ	上顎骨No.66 L	2-2河下層
10	イヌ	肋骨No.44	2-1河中層	22	イノシシ	上顎骨No.61 L	2-2河下層
11	タヌキ	上腕骨No.23 L	2-1河下層	23	イノシシ	上顎骨No.140 L	2-1河下層
12	オオカミ	下顎骨No.4 R	2-2河下層	24	イノシシ	上顎骨No.165 L	2-1河中層
13	オオカミ	下顎骨No.6 L	2-2河下層	29-1	イノシシ	上顎骨No.118 R	2-1河下層
14	オオカミ	下顎骨No.8 L	2-2河下層	2	イノシシ	上顎 I ¹ No.7 R	2-2河下層
15	オオカミ	下顎骨No.5 R	2-2河下層	3	イノシシ	上顎 C No.104 R	2-2河中層
16	オオカミ	橈骨No.14 L	2-2河下層	4	イノシシ	上顎 C No.112 R	2-1河下層
17	オオカミ	第Ⅲ中足骨No.12 R	2-2河下層	5	イノシシ	上顎 C No.113 R	2-1河下層
18	タヌキ	下顎骨No.11 R	2-2河下層	6	イノシシ	上顎 C No.114 R	2-1河下層
19	タヌキ	下顎骨No.9 L	2-2河下層	7	イノシシ	上顎 C No.105 R	2-2河中層
20	タヌキ	肩甲骨No.19 L	2-2河中層	8	イノシシ	上顎 C No.6 R	2-2河下層
21	タヌキ	大腿骨No.34 R	2-1河下層	9	イノシシ	上顎骨No.125 R	2-1河下層
22	ツキノワグマ	上顎骨No.7 L	2-2河下層	10	イノシシ	上顎骨No.119 R	2-1河下層
23	ツキノワグマ	大腿骨No.24 R	2-2河下層	11	イノシシ	上顎骨No.25 R	2-2河下層
24	ツキノワグマ	第Ⅳ中足骨No.43 R	2-2河下層	12	イノシシ	上顎骨No.41 R	2-2河下層
25	カワウソ	上腕骨No.33 L	2-1河下層	13	イノシシ	上顎骨No.19 R	2-2河下層
25-1	イノシシ	環椎No.2	2-2河下層	14	イノシシ	上顎骨No.122 R	2-1河下層
2	イノシシ	環椎No.1	2-2河下層	15	イノシシ	上顎骨No.15 R	2-2河下層
3	イノシシ	環椎No.3	2-2河下層	16	イノシシ	上顎骨No.14 R	2-2河下層
4	イノシシ	環椎No.4	2-2河下層	17	イノシシ	上顎骨No.120 R	2-1河下層
5	イノシシ	頸椎No.3	2-1河下層	18	イノシシ	上顎骨No.99 R	2-2河中層
6	イノシシ	第Ⅲ・Ⅳ頸椎No.1	2-2河下層	19	イノシシ	上顎骨No.23 R	2-2河下層
7	イノシシ	第Ⅲ・Ⅳ頸椎No.2	2-2河下層	20	イノシシ	上顎骨No.20 R	2-2河下層
8	イノシシ	胸椎No.1	2-2河下層	21	イノシシ	上顎骨No.24 R	2-2河下層
9	イノシシ	胸椎No.3	2-2河下層	22	イノシシ	上顎骨No.18 R	2-2河下層
10	イノシシ	胸椎No.2	2-2河下層	23	イノシシ	上顎骨No.34 R	2-2河下層
11	イノシシ	胸椎No.4	2-2河下層	24	イノシシ	上顎骨No.27 R	2-2河下層
12	イノシシ	腰椎No.1	2-2河下層	25	イノシシ	上顎骨No.38 R	2-2河下層
13	イノシシ	肋骨No.1 R	2-2河下層	26	イノシシ	上顎骨No.117 R	2-1河下層
14	イノシシ	肋骨No.48 L	2-1河下層	27	イノシシ	上顎骨No.21 R	2-2河下層
15	イノシシ	肋骨No.45 R	2-1河下層	28	イノシシ	上顎骨No.116 R	2-1河下層
26-1	イノシシ	頭蓋骨B-147 R・L	2-2河下層	29	イノシシ	上顎骨No.16 R	2-2河下層
27-1	イノシシ	頭蓋骨No.22 R	2-1河下層	30	イノシシ	上顎骨No.62 L	2-2河下層
2	イノシシ	頭蓋骨No.21 R	2-1河下層	30-1	イノシシ	下顎骨No.48 R・L	2-2河下層
3	イノシシ	頭蓋骨No.19 R	2-2河中層	2	イノシシ	下顎骨No.45 R・L	2-2河下層
4	イノシシ	頭蓋骨No.1 R・L	2-2河下層	3	イノシシ	下顎骨No.44 R・L	2-2河下層
5	イノシシ	頭蓋骨No.2 L	2-2河下層	4	イノシシ	下顎骨No.46 R・L	2-2河下層
6	イノシシ	頭蓋骨No.18 R	2-2河中層	5	イノシシ	下顎骨No.47 R・L	2-2河下層
28-1	イノシシ	上顎骨No.64 L	2-2河下層	6	イノシシ	下顎骨No.49 L	2-2河下層
2	イノシシ	上顎骨(切)No.2 L	2-2河下層	31-1	イノシシ	下顎 I ¹ No.6 R	2-2河下層
3	イノシシ	上顎 I ¹ No.156 L	2-1河下層	2	イノシシ	下顎 I ¹ No.3 R	2-2河下層
4	イノシシ	上顎 I ¹ No.155 L	2-1河下層	3	イノシシ	下顎 I ¹ No.115 R	2-1河下層
5	イノシシ	上顎 C No.2 L	2-2河下層	4	イノシシ	下顎 I ¹ No.9 R	2-2河下層
6	イノシシ	上顎 C No.1 L	2-2河下層	5	イノシシ	下顎 I ² No.11 R	2-2河下層
7	イノシシ	上顎 C No.98 L	2-2河中層	6	イノシシ	下顎 I ² No.10 R	2-2河下層
8	イノシシ	上顎骨No.57 L	2-2河下層	7	イノシシ	下顎 I ² No.119 R	2-1河下層
9	イノシシ	上顎骨No.141 L	2-1河下層	8	イノシシ	下顎 C No.2 R	2-2河下層
10	イノシシ	上顎骨No.58 L	2-2河下層	9	イノシシ	下顎 C No.1 R	2-2河下層
11	イノシシ	上顎骨No.142 L	2-1河下層	10	イノシシ	下顎骨No.28 R	2-2河下層
12	イノシシ	上顎骨No.60 L	2-2河下層	11	イノシシ	下顎骨No.23 R	2-2河下層

写真図版掲載動物遺体一覧表(2)

図版番号	種 類	部 位・資料番号	出土位置	図版番号	種 類	部 位・資料番号	出土位置
3 1-1 2	イノシシ	下顎骨No.25 R	2-2河下層	3 5-2	イノシシ	上腕骨No.12 R	2-2河下層
1 3	イノシシ	下顎骨No.30 R	2-2河下層	3	イノシシ	上腕骨No.13 R	2-2河下層
1 4	イノシシ	下顎骨No.29 R	2-2河下層	4	イノシシ	上腕骨No.21 R	2-2河下層
1 5	イノシシ	下顎骨No.34 R	2-2河下層	5	イノシシ	上腕骨No.19 R	2-2河下層
1 6	イノシシ	下顎骨No.35 R	2-2河下層	6	イノシシ	上腕骨No.58 R	2-1河中層
1 7	イノシシ	下顎骨No.27 R	2-2河下層	7	イノシシ	上腕骨No.20 R	2-2河下層
1 8	イノシシ	下顎骨No.31 R	2-2河下層	8	イノシシ	上腕骨No.44 R	2-1河下層
1 9	イノシシ	下顎骨No.106 R	2-2河中層	9	イノシシ	上腕骨No.7 R	2-2河下層
2 0	イノシシ	下顎骨No.15 R	2-2河下層	1 0	イノシシ	上腕骨No.14 R	2-2河下層
3 2-1	イノシシ	下顎 I ₁ No.73 L	2-2河下層	1 1	イノシシ	上腕骨No.45 R	2-1河下層
2	イノシシ	下顎 I ₁ No.69 L	2-2河下層	3 6-1	イノシシ	橈骨No.16 R	2-1河中層
3	イノシシ	下顎 I ₂ No.57 L	2-2河下層	2	イノシシ	橈骨No.3 R	2-2河下層
4	イノシシ	下顎 I ₂ No.62 L	2-2河下層	3	イノシシ	橈骨No.1 R	2-2河下層
5	イノシシ	下顎 C No.50 L	2-2河下層	4	イノシシ	橈骨No.2 R	2-2河下層
6	イノシシ	下顎 C No.123 L	2-1河下層	5	イノシシ	橈骨No.17 R	2-1河中層
7	イノシシ	下顎 C No.111 L	2-2河中層	6	イノシシ	橈骨No.14 R	2-1河下層
8	イノシシ	下顎 C No.55 L	2-2河下層	7	イノシシ	橈骨No.5 R	2-2河下層
9	イノシシ	下顎 C No.54 L	2-2河下層	8	イノシシ	橈骨No.4 R	2-2河下層
1 0	イノシシ	下顎 C No.53 L	2-2河下層	9	イノシシ	橈骨No.12 L	2-2河下層
1 1	イノシシ	下顎骨No.88 L	2-2河下層	1 0	イノシシ	橈骨No.9 L	2-2河下層
1 2	イノシシ	下顎骨No.96 L	2-2河下層	1 1	イノシシ	橈骨No.11 L	2-2河下層
1 3	イノシシ	下顎骨No.24 R	2-2河下層	3 7-1	イノシシ	尺骨No.26 L	2-1河下層
1 4	イノシシ	下顎骨No.109 R	2-2河中層	2	イノシシ	尺骨No.10 L	2-2河下層
1 5	イノシシ	下顎骨No.97 L	2-2河下層	3	イノシシ	尺骨No.27 L	2-1河下層
1 6	イノシシ	下顎骨No.95 L	2-2河下層	4	イノシシ	尺骨No.11 L	2-2河下層
1 7	イノシシ	下顎骨No.83 L	2-2河下層	5	イノシシ	尺骨No.20 L	2-2河中層
1 8	イノシシ	下顎骨No.94 L	2-2河下層	6	イノシシ	尺骨No.35 L	2-1河下層
1 9	イノシシ	下顎骨No.92 L	2-2河下層	7	イノシシ	尺骨No.16 L	2-2河下層
2 0	イノシシ	下顎骨No.93 L	2-2河下層	8	イノシシ	尺骨No.28 L	2-1河下層
2 1	イノシシ	下顎骨No.85 L	2-2河下層	9	イノシシ	尺骨No.12 L	2-2河下層
2 2	イノシシ	下顎骨No.89 L	2-2河下層	1 0	イノシシ	尺骨No.22 L	2-2河中層
2 3	イノシシ	下顎骨No.126 L	2-1河中層	1 1	イノシシ	尺骨No.21 L	2-2河中層
2 4	イノシシ	下顎骨No.110 L	2-2河中層	1 2	イノシシ	尺骨No.14 L	2-2河下層
2 5	イノシシ	下顎骨No.86 L	2-2河下層	1 3	イノシシ	尺骨No.30 L	2-1河下層
2 6	イノシシ	下顎骨No.98 L	2-2河下層	1 4	イノシシ	尺骨No.34 L	2-1河中層
2 7	イノシシ	下顎骨No.90 L	2-2河下層	3 8-1	イノシシ	尺骨No.23 R	2-1河下層
3 3-1	イノシシ	肩甲骨No.10 R	2-1河下層	2	イノシシ	尺骨No.19 R	2-2河中層
2	イノシシ	肩甲骨No.4 R	2-2河下層	3	イノシシ	尺骨No.33 R	2-1河中層
3	イノシシ	肩甲骨No.5 R	2-2河下層	4	イノシシ	尺骨No.1 R	2-2河下層
4	イノシシ	肩甲骨No.6 R	2-2河下層	5	イノシシ	尺骨No.2 R	2-2河下層
5	イノシシ	肩甲骨No.3 R	2-2河下層	6	イノシシ	尺骨No.5 R	2-2河下層
6	イノシシ	肩甲骨No.1 R	2-2河下層	7	イノシシ	尺骨No.24 R	2-1河下層
7	イノシシ	肩甲骨No.7 L	2-2河下層	8	イノシシ	尺骨No.6 R	2-2河下層
8	イノシシ	肩甲骨No.13 L	2-1河下層	9	イノシシ	尺骨No.3 R	2-2河下層
9	イノシシ	肩甲骨No.8 L	2-2河下層	1 0	イノシシ	尺骨No.4 R	2-2河下層
3 4-1	イノシシ	上腕骨No.27 L	2-2河下層	3 9-1	イノシシ	寛骨No.3 L	2-2河下層
2	イノシシ	上腕骨No.1 L	2-2河下層	2	イノシシ	寛骨No.4 L	2-2河下層
3	イノシシ	上腕骨No.32 L	2-2河下層	3	イノシシ	寛骨No.5 L	2-2河下層
4	イノシシ	上腕骨No.33 L	2-2河下層	4	イノシシ	寛骨No.11 L	2-1河下層
5	イノシシ	上腕骨No.62 L	2-1河中層	5	イノシシ	寛骨No.6 L	2-2河下層
6	イノシシ	上腕骨No.34 L	2-2河下層	6	イノシシ	寛骨No.9 R	2-1河下層
7	イノシシ	上腕骨No.37 L	2-2河下層	7	イノシシ	寛骨No.1 R	2-2河下層
8	イノシシ	上腕骨No.55 L	2-1河下層	4 0-1	イノシシ	大腿骨No.19 L	2-2河下層
9	イノシシ	上腕骨No.36 L	2-2河下層	2	イノシシ	大腿骨No.20 L	2-2河下層
1 0	イノシシ	上腕骨No.61 L	2-1河中層	3	イノシシ	大腿骨No.1 R	2-2河下層
1 1	イノシシ	上腕骨No.52 L	2-1河下層	4	イノシシ	大腿骨No.2 R	2-2河下層
1 2	イノシシ	上腕骨No.53 L	2-1河下層	5	イノシシ	大腿骨No.18 L	2-2河下層
1 3	イノシシ	上腕骨No.54 L	2-1河下層	6	イノシシ	大腿骨No.23 L	2-2河下層
3 5-1	イノシシ	上腕骨No.18 R	2-2河下層	7	イノシシ	大腿骨No.22 L	2-2河下層

2 脊椎動物遺体

写真図版掲載動物遺体一覧表(3)

図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置	図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置
40-8	イノシシ	大腿骨No.3 R	2-2河下層	43-29	イノシシ	指趾骨末節No.1	2-1河下層
9	イノシシ	大腿骨No.21 L	2-2河下層	44-1	イノシシ	距骨No.10 L	2-1河下層
10	イノシシ	大腿骨No.12 R	2-2河下層	2	イノシシ	距骨No.9 L	2-1河下層
11	イノシシ	大腿骨No.10 R	2-2河下層	3	イノシシ	距骨No.14 L	2-1河中層
12	イノシシ	大腿骨No.8 R	2-2河下層	4	イノシシ	距骨No.11 L	2-1河下層
13	イノシシ	大腿骨No.25 L	2-2河下層	5	イノシシ	踵骨No.18 L	2-1河下層
14	イノシシ	大腿骨No.17 R	2-2河下層	6	イノシシ	踵骨No.19 L	2-1河下層
41-1	イノシシ	脛骨No.27 L	2-2河中層	7	イノシシ	踵骨No.21 L	2-1河下層
2	イノシシ	脛骨No.39 L	2-1河下層	8	イノシシ	踵骨No.20 L	2-1河下層
3	イノシシ	脛骨No.11 L	2-2河下層	9	イノシシ	踵骨No.24 L	2-1河下層
4	イノシシ	脛骨No.20 L	2-2河下層	10	イノシシ	踵骨No.33 L	2-1河中層
5	イノシシ	脛骨No.21 L	2-2河下層	11	イノシシ	踵骨No.34 L	2-1河中層
6	イノシシ	脛骨No.22 L	2-2河下層	12	イノシシ	踵骨No.27 L	2-1河下層
7	イノシシ	脛骨No.24 L	2-2河下層	13	イノシシ	踵骨No.26 L	2-1河下層
8	イノシシ	脛骨No.23 L	2-2河下層	14	イノシシ	踵骨No.22 L	2-1河下層
9	イノシシ	脛骨No.41 L	2-1河下層	15	イノシシ	踵骨No.25 L	2-1河下層
42-1	イノシシ	脛骨No.13 R	2-2河下層	16	イノシシ	踵骨No.28 L	2-1河下層
2	イノシシ	脛骨No.1 R	2-2河下層	17	イノシシ	踵骨No.23 L	2-1河下層
3	イノシシ	脛骨No.28 R	2-1河下層	18	イノシシ	踵骨No.30 L	2-1河下層
4	イノシシ	脛骨No.7 R	2-2河下層	19	イノシシ	踵骨No.2 L	2-2河下層
5	イノシシ	脛骨No.8 R	2-2河下層	20	イノシシ	踵骨No.29 L	2-1河下層
6	イノシシ	脛骨No.25 R	2-2河中層	45-1	イノシシ	距骨No.1 R	2-1河下層
7	イノシシ	脛骨No.2 R	2-2河下層	2	イノシシ	距骨No.12 R	2-1河中層
8	イノシシ	脛骨No.31 R	2-1河下層	3	イノシシ	距骨No.2 R	2-1河下層
9	イノシシ	脛骨No.5 R	2-2河下層	4	イノシシ	距骨No.3 R	2-1河下層
10	イノシシ	脛骨No.3 R	2-2河下層	5	イノシシ	距骨No.13 R	2-1河中層
11	イノシシ	脛骨No.9 R	2-2河下層	6	イノシシ	距骨No.7 R	2-1河下層
12	イノシシ	脛骨No.4 R	2-2河下層	7	イノシシ	距骨No.6 R	2-1河下層
13	イノシシ	脛骨No.29 R	2-1河下層	8	イノシシ	距骨No.5 R	2-1河下層
14	イノシシ	脛骨No.10 R	2-2河下層	9	イノシシ	距骨No.8 R	2-1河下層
15	イノシシ	脛骨No.30 R	2-1河下層	10	イノシシ	踵骨No.4 R	2-1河下層
43-1	イノシシ	腓骨No.2 R	2-2河下層	11	イノシシ	踵骨No.3 R	2-2河中層
2	イノシシ	腓骨No.3 R	2-2河下層	12	イノシシ	踵骨No.5 R	2-1河下層
3	イノシシ	腓骨No.4 R	2-2河下層	13	イノシシ	踵骨No.31 R	2-1河中層
4	イノシシ	腓骨No.7 L	2-1河中層	14	イノシシ	踵骨No.7 R	2-1河下層
5	イノシシ	腓骨No.1 L	2-2河下層	15	イノシシ	踵骨No.13 R	2-1河下層
6	イノシシ	腓骨No.6 L	2-1河下層	16	イノシシ	踵骨No.9 R	2-1河下層
7	イノシシ	腓骨No.5 L	2-2河下層	17	イノシシ	踵骨No.16 R	2-1河下層
8	イノシシ	橈側手根骨No.1 R	2河上層	18	イノシシ	踵骨No.6 R	2-1河下層
9	イノシシ	中心足根骨No.1 L	2-1河下層	19	イノシシ	踵骨No.15 R	2-1河下層
10	イノシシ	中心足根骨No.2 L	2-1河中層	20	イノシシ	踵骨No.8 R	2-1河下層
11	イノシシ	第Ⅲ中手骨No.5 R	2-2河下層	21	イノシシ	踵骨No.10 R	2-1河下層
12	イノシシ	第Ⅳ中手骨No.4 R	2-2河下層	22	イノシシ	踵骨No.17 R	2-1河下層
13	イノシシ	第Ⅳ中手骨No.6 R	2-1河下層	23	イノシシ	踵骨No.11 R	2-1河下層
14	イノシシ	第Ⅳ中手骨No.8 R	2-1河中層	24	イノシシ	踵骨No.32 R	2-1河中層
15	イノシシ	第Ⅳ中手骨No.2 R	2-2河下層	25	イノシシ	踵骨No.12 R	2-1河下層
16	イノシシ	中手骨No.9 R	2-2河中層	46-1	ニホンジカ	第Ⅲ頸椎No.23	2-1河下層
17	イノシシ	中手骨No.10 R	2-1河下層	2	ニホンジカ	第Ⅳ頸椎No.24	2-1河下層
18	イノシシ	第Ⅲ中手骨No.7 L	2-1河中層	3	ニホンジカ	第Ⅳ頸椎No.1	2-2河下層
19	イノシシ	第Ⅲ中手骨No.3 L	2-2河下層	4	ニホンジカ	第Ⅵ頸椎No.15	2-2河下層
20	イノシシ	第Ⅴ中手骨No.11 R	2-2河下層	5	ニホンジカ	第Ⅲ頸椎No.25	2-1河下層
21	イノシシ	第Ⅳ中足骨No.2 L	2-2河下層	6	ニホンジカ	第Ⅶ頸椎No.2	2-2河下層
22	イノシシ	第Ⅳ中足骨No.1 L	2-2河下層	7	ニホンジカ	腰椎No.15	2-1河下層
23	イノシシ	第Ⅳ中足骨No.3 L	2-2河下層	8	ニホンジカ	胸椎No.7	2-1河下層
24	イノシシ	指趾骨基節No.1	2-2河下層	9	ニホンジカ	胸椎No.1	2-2河下層
25	イノシシ	指趾骨中節No.3	2-1河下層	10	ニホンジカ	腰椎No.11	2-1河下層
26	イノシシ	指趾骨中節No.4	2-1河中層	11	ニホンジカ	腰椎No.4	2-2河下層
27	イノシシ	指趾骨中節No.1	2-2河下層	12	ニホンジカ	腰椎No.1	2-2河下層
28	イノシシ	指趾骨中節No.2	2-2河下層	13	ニホンジカ	腰椎No.3	2-2河下層

写真図版掲載動物遺体一覧表(4)

図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置	図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置
46-14	ニホンジカ	腰椎No.16	2-1河中层	53-11	ニホンジカ	下顎骨No.10 R	2-2河下層
47-1	ニホンジカ	環椎No.11	2-1河中层	54-1	ニホンジカ	下顎骨No.61 R	2-1河下層
2	ニホンジカ	環椎No.1	2-2河下層	2	ニホンジカ	下顎骨No.54 R	2-2河中层
3	ニホンジカ	環椎No.2	2-2河下層	3	ニホンジカ	下顎骨No.65 R	2-1河下層
4	ニホンジカ	環椎No.5	2-2河中层	4	ニホンジカ	下顎骨No.12 R	2-2河下層
5	ニホンジカ	環椎No.3	2-2河下層	5	ニホンジカ	下顎骨No.95 R	2-1河中层
6	ニホンジカ	環椎No.7	2-1河下層	6	ニホンジカ	下顎骨No.63 R	2-1河下層
7	ニホンジカ	環椎No.10	2-1河下層	7	ニホンジカ	下顎骨No.55 R	2-2河中层
8	ニホンジカ	軸椎No.1	2-2河下層	8	ニホンジカ	下顎骨No.15 R	2-2河下層
9	ニホンジカ	軸椎No.3	2-2河下層	9	ニホンジカ	下顎骨No.19 R	2-2河下層
10	ニホンジカ	軸椎No.2	2-2河下層	10	ニホンジカ	下顎骨No.20 R	2-2河下層
11	ニホンジカ	軸椎No.4	2-2河下層	55-1	ニホンジカ	肩甲骨No.3 R	2-2河下層
48-1	ニホンジカ	頭蓋骨No.1 R・L	2-2河下層	2	ニホンジカ	肩甲骨No.2 R	2-2河下層
2	ニホンジカ	頭蓋骨No.29 R	2-1河中层	3	ニホンジカ	肩甲骨No.1 R	2-2河下層
3	ニホンジカ	頭蓋骨No.31 R	2-1河中层	4	ニホンジカ	肩甲骨No.4 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	頭蓋骨No.22 R・L	2-1河下層	5	ニホンジカ	肩甲骨No.10 L	2-1河下層
5	ニホンジカ	頭蓋骨No.23 R・L	2-1河下層	6	ニホンジカ	肩甲骨No.7 L	2-2河下層
6	ニホンジカ	頭蓋骨No.9 R	2-2河下層	7	ニホンジカ	肩甲骨No.11 L	2-1河下層
49-1	ニホンジカ	角B-148 L	2-2河下層	56-1	ニホンジカ	上腕骨No.30 L	2-2河下層
2	ウシ	大腿骨No.48 R	2-1河中层	2	ニホンジカ	上腕骨No.31 L	2-2河下層
50-1	ニホンジカ	上顎骨No.78 R	2-1河下層	3	ニホンジカ	上腕骨No.42 L	2-2河下層
2	ニホンジカ	上顎骨No.1 R	2-2河下層	4	ニホンジカ	上腕骨No.37 L	2-2河下層
3	ニホンジカ	上顎骨No.79 R	2-1河下層	5	ニホンジカ	上腕骨No.44 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	上顎骨No.5 R	2-2河下層	6	ニホンジカ	上腕骨No.41 L	2-2河下層
5	ニホンジカ	上顎骨No.6 R	2-2河下層	7	ニホンジカ	上腕骨No.43 L	2-2河下層
6	ニホンジカ	上顎骨No.80 R	2-1河下層	8	ニホンジカ	上腕骨No.56 L	2-2河下層
7	ニホンジカ	上顎骨No.3 R	2-2河下層	9	ニホンジカ	上腕骨No.40 L	2-2河下層
8	ニホンジカ	上顎骨No.2 R	2-2河下層	10	ニホンジカ	上腕骨No.66 L	2-2河中层
9	ニホンジカ	上顎骨No.7 R	2-2河下層	11	ニホンジカ	上腕骨No.39 L	2-2河下層
10	ニホンジカ	上顎骨No.4 R	2-2河下層	57-1	ニホンジカ	上腕骨No.1 R	2-2河下層
11	ニホンジカ	上顎骨No.81 R	2-1河下層	2	ニホンジカ	上腕骨No.73 R	2-1河下層
12	ニホンジカ	上顎骨No.82 R	2-1河下層	3	ニホンジカ	上腕骨No.9 R	2-2河下層
13	ニホンジカ	上顎骨No.30 L	2-2河下層	4	ニホンジカ	上腕骨No.8 R	2-2河下層
14	ニホンジカ	上顎骨No.27 L	2-2河下層	5	ニホンジカ	上腕骨No.6 R	2-2河下層
15	ニホンジカ	上顎骨No.26 L	2-2河下層	6	ニホンジカ	上腕骨No.2 R	2-2河下層
16	ニホンジカ	上顎骨No.29 L	2-2河下層	7	ニホンジカ	上腕骨No.24 R	2-2河下層
17	ニホンジカ	上顎骨No.28 L	2-2河下層	8	ニホンジカ	上腕骨No.27 R	2-2河下層
51-1	ニホンジカ	下顎骨No.73 L	2-1河下層	9	ニホンジカ	上腕骨No.11 R	2-2河下層
2	ニホンジカ	下顎骨No.58 L	2-2河中层	10	ニホンジカ	上腕骨No.12 R	2-2河下層
3	ニホンジカ	下顎骨No.36 L	2-2河下層	58-1	ニホンジカ	橈骨No.25 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	下顎骨No.75 L	2-1河下層	2	ニホンジカ	橈骨No.27 L	2-2河下層
5	ニホンジカ	下顎骨No.97 L	2-1河中层	3	ニホンジカ	橈骨No.28 L	2-2河下層
6	ニホンジカ	下顎骨No.76 L	2-1河下層	4	ニホンジカ	橈骨No.23 L	2-2河下層
7	ニホンジカ	下顎骨No.38 L	2-2河下層	5	ニホンジカ	橈骨No.52 L	2-2河中层
52-1	ニホンジカ	下顎骨No.44 L	2-2河下層	6	ニホンジカ	橈骨No.22 L	2-2河下層
2	ニホンジカ	下顎骨No.42 L	2-2河下層	7	ニホンジカ	橈骨No.32 L	2-2河下層
3	ニホンジカ	下顎骨No.103 L	2河上層	8	ニホンジカ	橈骨No.29 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	下顎骨No.43 L	2-2河下層	9	ニホンジカ	橈骨No.31 L	2-2河下層
5	ニホンジカ	下顎骨No.78 L	2-1河下層	10	ニホンジカ	橈骨No.71 L	2-1河下層
53-1	ニホンジカ	下顎骨No.2 R	2-2河下層	11	ニホンジカ	橈骨No.41 L	2-2河下層
2	ニホンジカ	下顎骨No.1 R	2-2河下層	12	ニホンジカ	橈骨No.43 L	2-2河下層
3	ニホンジカ	下顎骨No.4 R	2-2河下層	13	ニホンジカ	橈骨No.46 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	下顎骨No.53 R	2-2河中层	59-1	ニホンジカ	橈骨No.56 R	2-1河下層
5	ニホンジカ	下顎骨No.5 R	2-2河下層	2	ニホンジカ	橈骨No.73 R	2-1河中层
6	ニホンジカ	下顎骨No.6 R	2-2河下層	3	ニホンジカ	橈骨No.54 R	2-1河下層
7	ニホンジカ	下顎骨No.7 R	2-2河下層	4	ニホンジカ	橈骨No.2 R	2-2河下層
8	ニホンジカ	下顎骨No.14 R	2-2河下層	5	ニホンジカ	橈骨No.4 R	2-2河下層
9	ニホンジカ	下顎骨No.60 R	2-1河下層	6	ニホンジカ	橈骨No.1 R	2-2河下層
10	ニホンジカ	下顎骨No.62 R	2-1河下層	7	ニホンジカ	橈骨No.3 R	2-2河下層

2 脊椎動物遺体

写真図版掲載動物遺体一覧表(5)

図版番号	種 類	部 位・資料番号	出土位置	図版番号	種 類	部 位・資料番号	出土位置
59-8	ニホンジカ	橈骨No.59 R	2-1 河下層	64-7	ニホンジカ	大腿骨No.40 L	2-2 河下層
9	ニホンジカ	橈骨No.49 R	2-2 河中層	8	ニホンジカ	大腿骨No.42 L	2-2 河下層
10	ニホンジカ	橈骨No.18 R	2-2 河下層	9	ニホンジカ	大腿骨No.66 L	2-1 河下層
11	ニホンジカ	橈骨No.15 R	2-2 河下層	65-1	ニホンジカ	大腿骨No.50 R	2-1 河中層
60-1	ニホンジカ	尺骨No.6 L	2-2 河下層	2	ニホンジカ	大腿骨No.77 R	2-1 河下層
2	ニホンジカ	尺骨No.7 L	2-2 河下層	3	ニホンジカ	大腿骨No.76 R	2-1 河下層
3	ニホンジカ	尺骨No.5 L	2-2 河下層	4	ニホンジカ	大腿骨No.2 R	2-2 河下層
4	ニホンジカ	尺骨No.14 L	2-1 河下層	5	ニホンジカ	大腿骨No.72 R	2-1 河中層
5	ニホンジカ	尺骨No.13 L	2-1 河下層	6	ニホンジカ	大腿骨No.22 R	2-2 河下層
6	ニホンジカ	尺骨No.8 L	2-2 河下層	7	ニホンジカ	大腿骨No.62 R	2-1 河下層
7	ニホンジカ	尺骨No.11 R	2-1 河下層	8	ニホンジカ	大腿骨No.16 R	2-2 河下層
8	ニホンジカ	尺骨No.12 R	2-1 河下層	66-1	ニホンジカ	脛骨No.31 L	2-2 河下層
9	ニホンジカ	尺骨No.10 R	2-2 河中層	2	ニホンジカ	脛骨No.62 L	2-2 河中層
10	ニホンジカ	尺骨No.1 R	2-2 河下層	3	ニホンジカ	脛骨No.63 L	2-2 河中層
11	ニホンジカ	尺骨No.3 R	2-2 河下層	4	ニホンジカ	脛骨No.55 R	2-2 河下層
12	ニホンジカ	尺骨No.2 R	2-2 河下層	5	ニホンジカ	脛骨No.55 R	2-2 河下層
61-1	ニホンジカ	中手骨No.44 L	2-1 河下層	6	ニホンジカ	脛骨No.50 L	2-2 河下層
2	ニホンジカ	中手骨No.3 L	2-2 河下層	7	ニホンジカ	脛骨No.51 L	2-2 河下層
3	ニホンジカ	中手骨No.2 L	2-2 河下層	8	ニホンジカ	脛骨No.81 L	2-1 河下層
4	ニホンジカ	中手骨No.42 L	2-1 河下層	9	ニホンジカ	脛骨No.49 L	2-2 河下層
5	ニホンジカ	中手骨No.4 L	2-2 河下層	10	ニホンジカ	脛骨No.80 L	2-1 河下層
6	ニホンジカ	中手骨No.35 R	2-2 河中層	11	ニホンジカ	脛骨No.52 L	2-2 河下層
7	ニホンジカ	中手骨No.19 R	2-2 河下層	12	ニホンジカ	脛骨No.85 L	2-1 河下層
8	ニホンジカ	中手骨No.17 R	2-2 河下層	13	ニホンジカ	脛骨No.47 L	2-2 河下層
9	ニホンジカ	中手骨No.22 R	2-2 河下層	14	ニホンジカ	脛骨No.58 L	2-2 河下層
10	ニホンジカ	中手骨No.5 L	2-2 河下層	15	ニホンジカ	脛骨No.84 L	2-1 河下層
11	ニホンジカ	中手骨No.43 L	2-1 河下層	16	ニホンジカ	脛骨No.45 L	2-2 河下層
12	ニホンジカ	中手骨No.9 L	2-2 河下層	17	ニホンジカ	脛骨No.46 L	2-2 河下層
13	ニホンジカ	中手骨No.21 R	2-2 河下層	18	ニホンジカ	脛骨No.59 L	2-2 河下層
14	ニホンジカ	中手骨No.45 R	2-1 河下層	67-1	ニホンジカ	脛骨No.1 R	2-2 河下層
15	ニホンジカ	中手骨No.23 R	2-2 河下層	2	ニホンジカ	脛骨No.28 R	2-2 河下層
16	ニホンジカ	中手骨No.1 L	2-2 河下層	3	ニホンジカ	脛骨No.29 R	2-2 河下層
17	ニホンジカ	中手骨No.41 L	2-1 河下層	4	ニホンジカ	脛骨No.65 R	2-1 河下層
18	ニホンジカ	中手骨No.26 R	2-2 河下層	5	ニホンジカ	脛骨No.72 R	2-1 河下層
19	ニホンジカ	中手骨No.24 R	2-2 河下層	6	ニホンジカ	脛骨No.67 R	2-1 河下層
20	ニホンジカ	中手骨No.50 L	2-1 河下層	7	ニホンジカ	脛骨No.8 R	2-2 河下層
21	ニホンジカ	中手骨No.12 L	2-2 河下層	8	ニホンジカ	脛骨No.91 R	2-1 河中層
62-1	ニホンジカ	寛骨No.26 L	2-2 河下層	9	ニホンジカ	脛骨No.9 R	2-2 河下層
2	ニホンジカ	寛骨No.40 L	2-2 河中層	10	ニホンジカ	脛骨No.7 R	2-2 河下層
3	ニホンジカ	寛骨No.25 L	2-2 河下層	11	ニホンジカ	脛骨No.61 R	2-2 河中層
4	ニホンジカ	寛骨No.17 L	2-2 河下層	12	ニホンジカ	脛骨No.20 R	2-2 河下層
5	ニホンジカ	寛骨No.28 L	2-2 河下層	13	ニホンジカ	脛骨No.69 R	2-1 河下層
6	ニホンジカ	寛骨No.16 L	2-2 河下層	14	ニホンジカ	脛骨No.17 R	2-2 河下層
7	ニホンジカ	寛骨No.30 L	2-2 河下層	68-1	ニホンジカ	距骨No.15 L	2-2 河下層
8	ニホンジカ	寛骨No.27 L	2-2 河下層	2	ニホンジカ	距骨No.44 L	2-1 河下層
63-1	ニホンジカ	寛骨No.5 R	2-2 河下層	3	ニホンジカ	距骨No.43 L	2-1 河下層
2	ニホンジカ	寛骨No.47 R	2-1 河下層	4	ニホンジカ	距骨No.17 L	2-2 河下層
3	ニホンジカ	寛骨No.44 R	2-1 河下層	5	ニホンジカ	距骨No.20 L	2-2 河下層
4	ニホンジカ	寛骨No.46 R	2-1 河下層	6	ニホンジカ	距骨No.16 L	2-2 河下層
5	ニホンジカ	寛骨No.9 R	2-2 河下層	7	ニホンジカ	距骨No.63 L	2-1 河中層
6	ニホンジカ	寛骨No.13 R	2-2 河下層	8	ニホンジカ	距骨No.46 L	2-1 河下層
7	ニホンジカ	寛骨No.14 R	2-2 河下層	9	ニホンジカ	距骨No.59 L	2-1 河中層
8	ニホンジカ	寛骨No.36 R	2-2 河中層	10	ニホンジカ	距骨No.45 L	2-1 河下層
64-1	ニホンジカ	大腿骨No.79 L	2-1 河下層	11	ニホンジカ	距骨No.22 L	2-2 河下層
2	ニホンジカ	大腿骨No.78 L	2-1 河下層	12	ニホンジカ	距骨No.47 L	2-1 河下層
3	ニホンジカ	大腿骨No.54 L	2-2 河中層	13	ニホンジカ	距骨No.18 L	2-2 河下層
4	ニホンジカ	大腿骨No.80 L	2-1 河下層	14	ニホンジカ	距骨No.24 L	2-2 河下層
5	ニホンジカ	大腿骨No.55 L	2-2 河中層	15	ニホンジカ	距骨No.62 L	2-1 河中層
6	ニホンジカ	大腿骨No.38 L	2-2 河下層	16	ニホンジカ	距骨No.21 L	2-2 河下層

写真図版掲載動物遺体一覧表(6)

図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置	図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置
68-17	ニホンジカ	距骨No.50 L	2-1河下層	71-8	ニホンジカ	踵骨No.4 R	2-2河下層
18	ニホンジカ	距骨No.25 L	2-2河下層	9	ニホンジカ	踵骨No.44 R	2-1河下層
19	ニホンジカ	距骨No.48 L	2-1河下層	10	ニホンジカ	踵骨No.40 R	2-1河下層
20	ニホンジカ	距骨No.26 L	2-2河下層	11	ニホンジカ	踵骨No.10 R	2-2河下層
21	ニホンジカ	距骨No.52 L	2-1河下層	12	ニホンジカ	踵骨No.42 R	2-1河下層
22	ニホンジカ	距骨No.49 L	2-1河下層	13	ニホンジカ	踵骨No.33 R	2-2河中層
23	ニホンジカ	距骨No.51 L	2-1河下層	14	ニホンジカ	踵骨No.56 R	2-1河中層
24	ニホンジカ	距骨No.23 L	2-2河下層	15	ニホンジカ	踵骨No.7 R	2-2河下層
25	ニホンジカ	距骨No.61 L	2-1河中層	16	ニホンジカ	踵骨No.6 R	2-2河下層
26	ニホンジカ	距骨No.53 L	2-1河下層	17	ニホンジカ	踵骨No.19 R	2-2河下層
27	ニホンジカ	距骨No.27 L	2-2河下層	18	ニホンジカ	踵骨No.45 R	2-1河下層
28	ニホンジカ	距骨No.29 L	2-2河下層	72-1	ニホンジカ	肋骨No.43 R	2-1河下層
29	ニホンジカ	距骨No.54 L	2-1河下層	2	ニホンジカ	肋骨No.4 R	2-2河下層
30	ニホンジカ	距骨No.19 L	2-2河下層	3	ニホンジカ	肋骨No.31 R	2-1河下層
31	ニホンジカ	距骨No.28 L	2-2河下層	4	ニホンジカ	肋骨No.63 L	2-1河下層
69-1	ニホンジカ	距骨No.2 R	2-2河下層	5	ニホンジカ	肋骨No.62 L	2-1河下層
2	ニホンジカ	距骨No.32 R	2-2河中層	6	ニホンジカ	肋骨No.9 L	2-2河下層
3	ニホンジカ	距骨No.1 R	2-2河下層	7	ニホンジカ	肋骨No.21 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	距骨No.4 R	2-2河下層	8	ニホンジカ	肋骨No.8 L	2-2河下層
5	ニホンジカ	距骨No.5 R	2-2河下層	9	ニホンジカ	第Ⅱ・Ⅲ手根骨No.4 R	2-1河中層
6	ニホンジカ	距骨No.36 R	2-1河下層	10	ニホンジカ	橈側手根骨No.1 R	2-2河下層
7	ニホンジカ	距骨No.3 R	2-2河下層	11	ニホンジカ	橈側手根骨No.3 L	2-2河下層
8	ニホンジカ	距骨No.37 R	2-1河下層	12	ニホンジカ	橈側手根骨No.2 R	2-2河下層
9	ニホンジカ	距骨No.33 R	2-2河中層	13	ニホンジカ	足根骨No.2 R	2-2河下層
10	ニホンジカ	距骨No.6 R	2-2河下層	14	ニホンジカ	足根骨No.3 R	2-2河下層
11	ニホンジカ	距骨No.7 R	2-2河下層	15	ニホンジカ	中心足根骨No.16 R	2-1河下層
12	ニホンジカ	距骨No.10 R	2-2河下層	16	ニホンジカ	足根骨No.1 R	2-2河下層
13	ニホンジカ	距骨No.39 R	2-1河下層	17	ニホンジカ	足根骨No.4 R	2-2河下層
14	ニホンジカ	距骨No.9 R	2-2河下層	18	ニホンジカ	中心足根骨No.17 R	2-1河中層
15	ニホンジカ	距骨No.8 R	2-2河下層	19	ニホンジカ	中心足根骨No.14 L	2-2河中層
16	ニホンジカ	距骨No.38 R	2-1河下層	20	ニホンジカ	足根骨No.13 L	2-2河中層
17	ニホンジカ	距骨No.64 L	2-1河中層	21	ニホンジカ	足根骨No.8 L	2-2河下層
18	ニホンジカ	距骨No.34 R	2-2河中層	22	ニホンジカ	足根骨No.7 L	2-2河下層
19	ニホンジカ	距骨No.11 R	2-2河下層	23	ニホンジカ	中心足根骨No.5 L	2-2河下層
20	ニホンジカ	距骨No.40 R	2-1河下層	24	ニホンジカ	足根骨No.6 L	2-2河下層
21	ニホンジカ	距骨No.41 R	2-1河下層	25	ニホンジカ	足根骨No.10 L	2-2河下層
70-1	ニホンジカ	踵骨No.47 L	2-1河下層	26	ニホンジカ	中心足根骨No.9 L	2-2河下層
2	ニホンジカ	踵骨No.48 L	2-1河下層	27	ニホンジカ	中心足根骨No.15 L	2-2河中層
3	ニホンジカ	踵骨No.21 L	2-2河下層	73-1	ニホンジカ	中足骨No.13 L	2-2河下層
4	ニホンジカ	踵骨No.24 L	2-2河下層	2	ニホンジカ	中足骨No.19 L	2-2河下層
5	ニホンジカ	踵骨No.26 L	2-2河下層	3	ニホンジカ	中足骨No.118	2-1河下層
6	ニホンジカ	踵骨No.49 L	2-1河下層	4	ニホンジカ	中足骨No.35	2-2河下層
7	ニホンジカ	踵骨No.37 L	2-2河中層	5	ニホンジカ	中足骨No.34	2-2河下層
8	ニホンジカ	踵骨No.23 L	2-2河下層	6	ニホンジカ	中足骨No.46	2-2河下層
9	ニホンジカ	踵骨No.62 L	2河上層	7	ニホンジカ	中足骨No.20 L	2-2河下層
10	ニホンジカ	踵骨No.50 L	2-1河下層	8	ニホンジカ	中足骨No.96 R	2-1河下層
11	ニホンジカ	踵骨No.53 L	2-1河下層	9	ニホンジカ	中足骨No.95 R	2-1河下層
12	ニホンジカ	踵骨No.59 L	2-1河中層	10	ニホンジカ	中足骨No.51	2-2河下層
13	ニホンジカ	踵骨No.60 L	2-1河中層	11	ニホンジカ	中足骨No.26 L	2-2河下層
14	ニホンジカ	踵骨No.51 L	2-1河下層	12	ニホンジカ	中足骨No.28 L	2-2河下層
15	ニホンジカ	踵骨No.28 L	2-2河下層	13	ニホンジカ	中足骨No.25 L	2-2河下層
16	ニホンジカ	踵骨No.52 L	2-1河下層	14	ニホンジカ	中足骨No.29 L	2-2河下層
71-1	ニホンジカ	踵骨No.55 R	2-1河中層	74-1	ニホンジカ	指趾骨基節No.18	2-1河下層
2	ニホンジカ	踵骨No.41 R	2-1河下層	2	ニホンジカ	指趾骨基節No.1	2-2河下層
3	ニホンジカ	踵骨No.5 R	2-2河下層	3	ニホンジカ	指趾骨基節No.23	2-1河下層
4	ニホンジカ	踵骨No.1 R	2-2河下層	4	ニホンジカ	指趾骨基節No.19	2-1河下層
5	ニホンジカ	踵骨No.3 R	2-2河下層	5	ニホンジカ	指趾骨基節No.3	2-2河下層
6	ニホンジカ	踵骨No.2 R	2-2河下層	6	ニホンジカ	指趾骨基節No.28	2河上層
7	ニホンジカ	踵骨No.39 R	2-1河下層	7	ニホンジカ	指趾骨基節No.17	2-1河下層

2 脊椎動物遺体

写真図版掲載動物遺体一覧表(7)

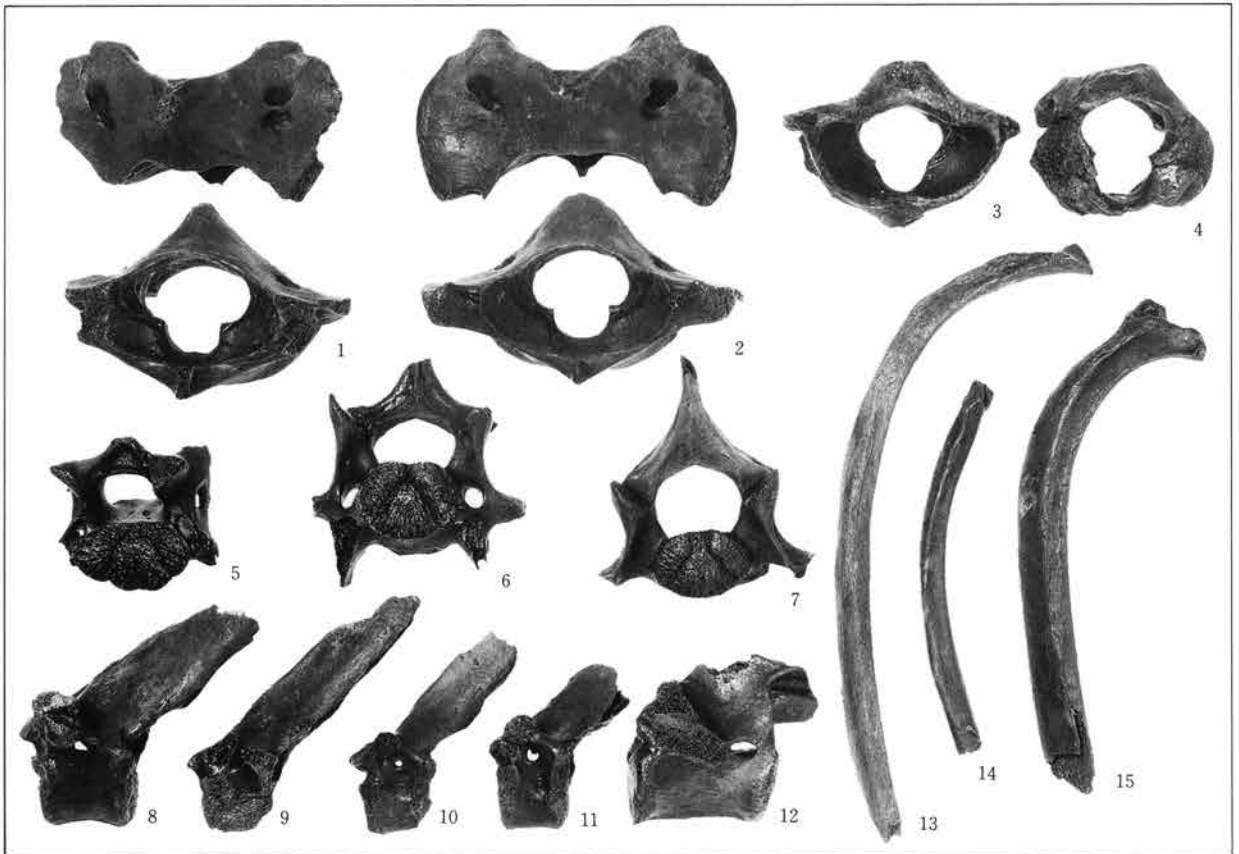
図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置	図版番号	種類	部位・資料番号	出土位置
74-8	ニホンジカ	指趾骨基節No.20	2-1河下層	74-18	ニホンジカ	指趾骨基節No.7	2-2河下層
9	ニホンジカ	指趾骨基節No.2	2-2河下層	19	ニホンジカ	指趾骨基節No.15	2-2河下層
10	ニホンジカ	指趾骨基節No.4	2-2河下層	20	ニホンジカ	指趾骨中節No.1	2-2河下層
11	ニホンジカ	指趾骨基節No.26	2河上層	21	ニホンジカ	指趾骨中節No.4	2-1河下層
12	ニホンジカ	指趾骨基節No.12	2-2河下層	22	ニホンジカ	指趾骨中節No.2	2-2河下層
13	ニホンジカ	指趾骨基節No.13	2-2河下層	23	ニホンジカ	指趾骨中節No.7	2-1河中層
14	ニホンジカ	指趾骨基節No.14	2-2河下層	24	ニホンジカ	指趾骨末節No.3	2-1河下層
15	ニホンジカ	指趾骨基節No.21	2-1河下層	25	ニホンジカ	指趾骨末節No.2	2-1河下層
16	ニホンジカ	指趾骨基節No.16	2-2河中層	26	ニホンジカ	指趾骨末節No.1	2-2河下層
17	ニホンジカ	指趾骨基節No.8	2-1河下層				

住居跡出土動物遺体一覧表

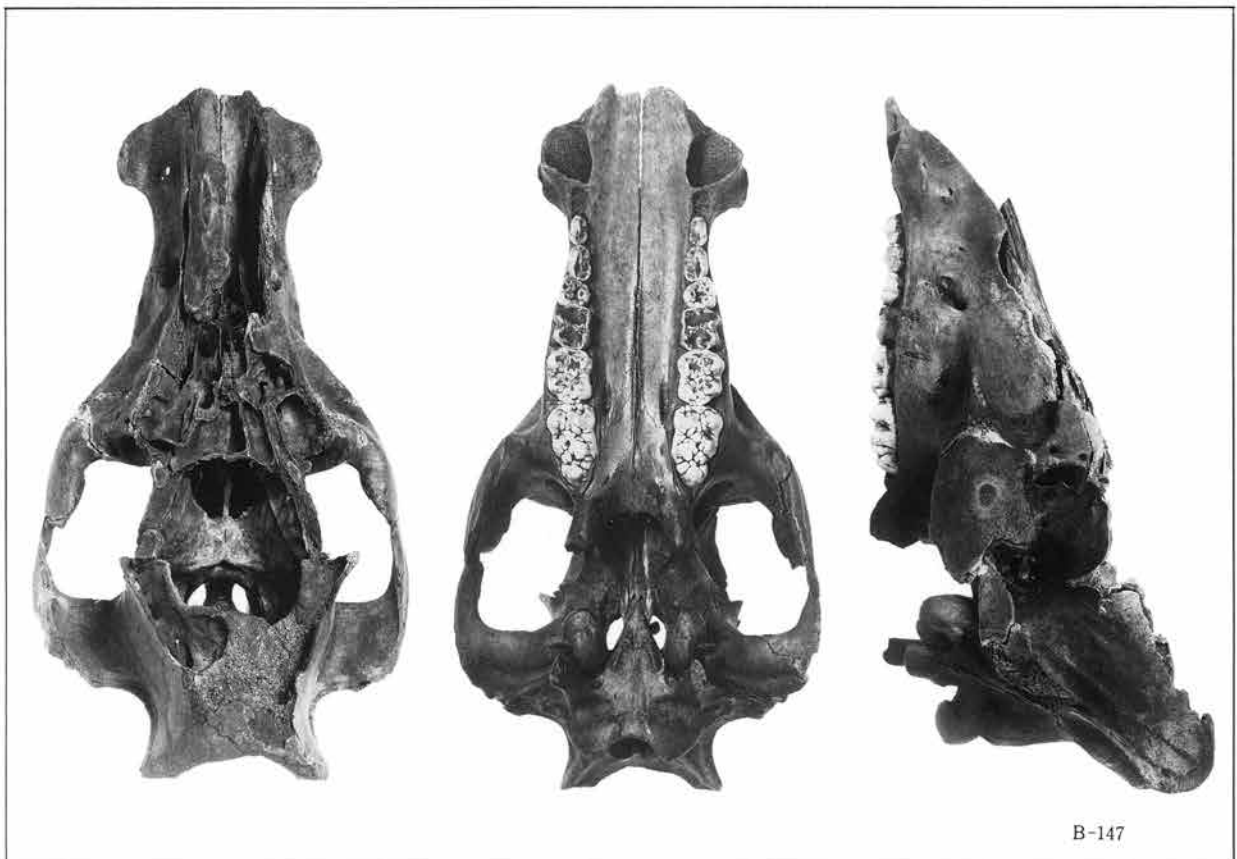
住居番号	遺物番号	種類・部位	残存状態	出土位置	備考
F区V面243住	1	ニホンジカ 距骨 L		柱穴内	
F区V面244住	1	ニホンジカ 角	破片	覆土	
	2	ニホンジカ 角坐骨 L?		覆土	落角痕?
	3	ニホンジカ 角坐骨 L?		覆土	落角痕?
	4	イノシシ M ³ R		覆土	M ³ (-----)
F区V面245住	1	骨片		床面	(33点)
F区V面246住	1	ニホンジカ 角幹		炉	(19点)
	2	ニホンジカ M ³ R		北壁寄り覆土	
F区V面251住	1	骨片		覆土	
	2	ニホンジカ 角坐骨 L		貯蔵穴	
	3	ニホンジカ M ¹ R		貯蔵穴	
	4	ニホンジカ M ² R		貯蔵穴	
	5	ニホンジカ M ¹ L		貯蔵穴	
	6	ニホンジカ M ² L		貯蔵穴	
	7	イノシシ P ₃ P ₄ M ₁ M ₂ R		貯蔵穴	M ₁ (+++++) M ₂ (+++)
	8	イノシシ P ₃ P ₄ M ₁ M ₂ L		貯蔵穴	M ₁ (+++++) M ₂ (+++)
	9	イノシシ I ₂ R		貯蔵穴	未出
	10	骨片		貯蔵穴	(33点)
F区V面255住	1	ニホンジカ 橈骨 R	近位端	覆土	
	2	ニホンジカ 角坐骨 R		覆土	
	3	骨片		覆土	(12点)
F区V面256住	1	ニホンジカ 角坐骨 R		北西隅床面	落角
	2	ニホンジカ 角枝		覆土	焼骨
	3	ニホンジカ 角		覆土	焼骨(2点)
	4	ニホンジカ 指趾骨 基節		覆土	(2点)
	5	ニホンジカ 指趾骨 基節	遠位端	覆土	焼骨
	6	イノシシ 中手骨		覆土	
	7	イノシシ 中足骨	骨体	覆土	
	8	中足骨	後面	覆土	(25点)
	9	骨片		覆土	(3点)
F区V面257住	1	ニホンジカ 距骨 L	近位端	覆土	(2点)
F区V面259住	1	ニホンジカ P ₄		南壁寄り床面	
	2	ニホンジカ M ₁		南壁寄り床面	
	3	ニホンジカ M ₂		南壁寄り床面	
	4	骨片		南壁寄り床面	(18点)



24 各種動物遺体 (ヒト・ニホンザル・ツキノワグマ・オオカミ・イヌ・タヌキ・カワウソ・キジ) (1/2)
123



25 イノシシ 環椎・頸椎・胸椎・腰椎・肋骨 (1/2)

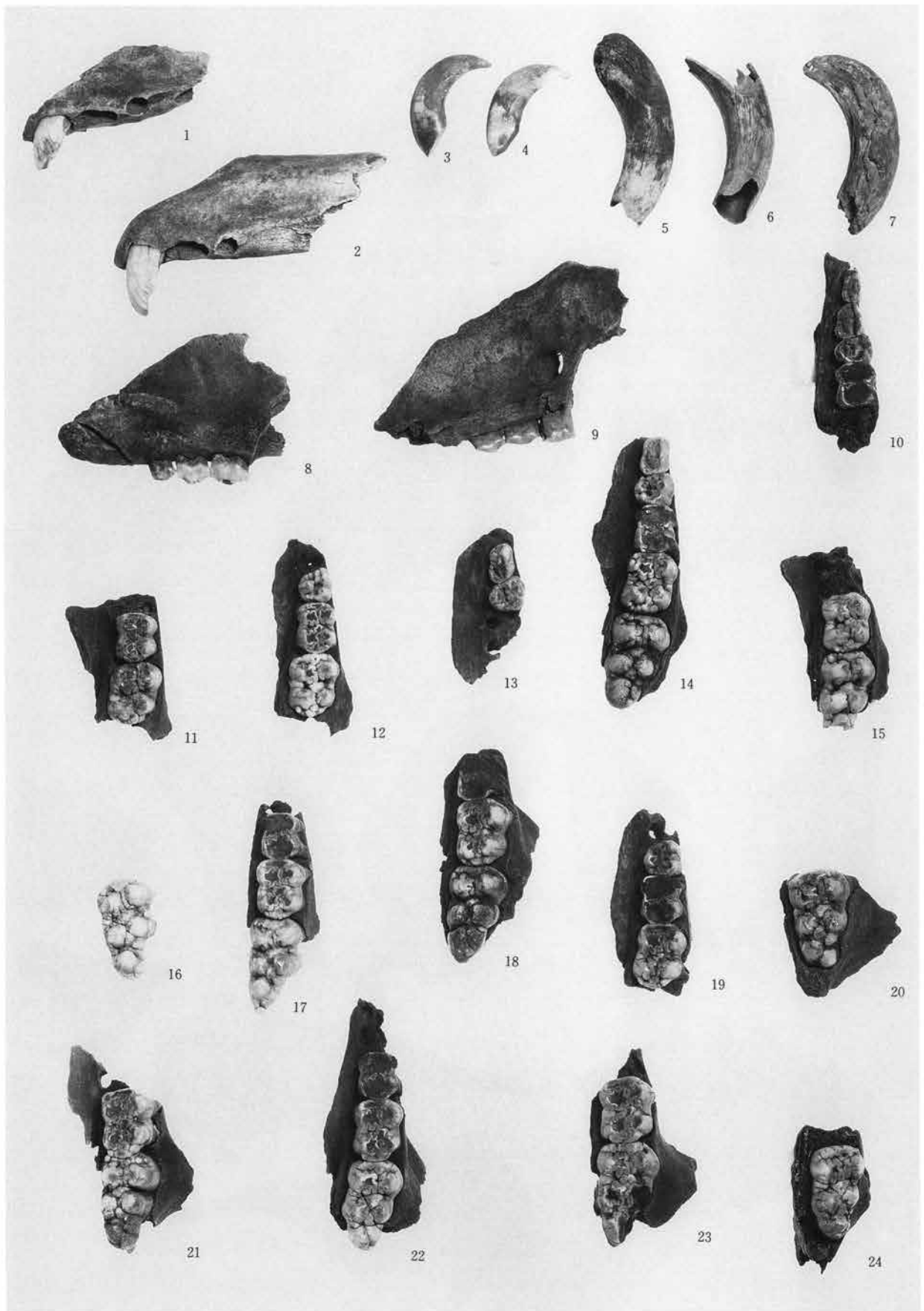


B-147

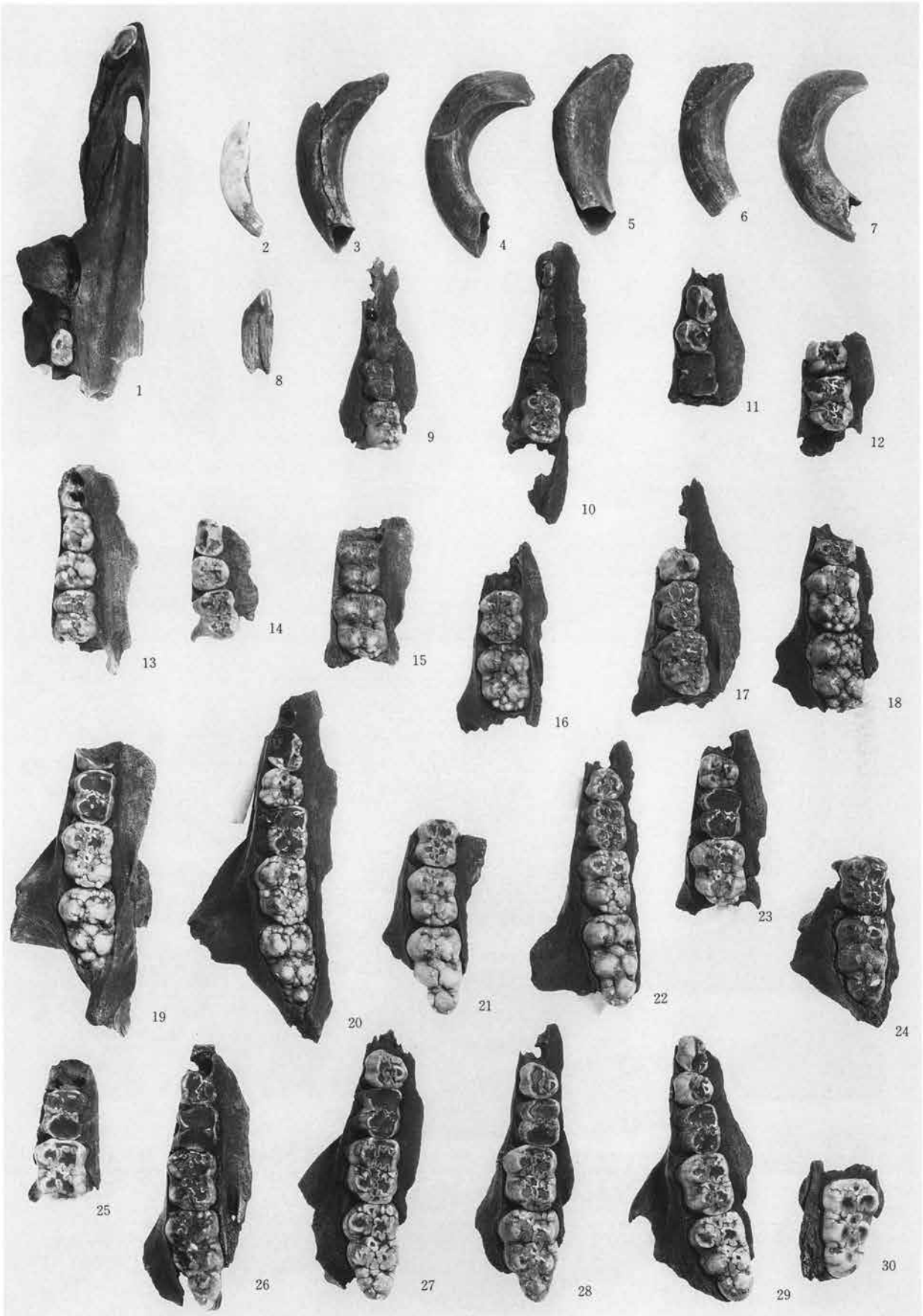
26 イノシシ 頭蓋骨 (1/2)



27 イノシシ 頭蓋骨 R・L (1/2)



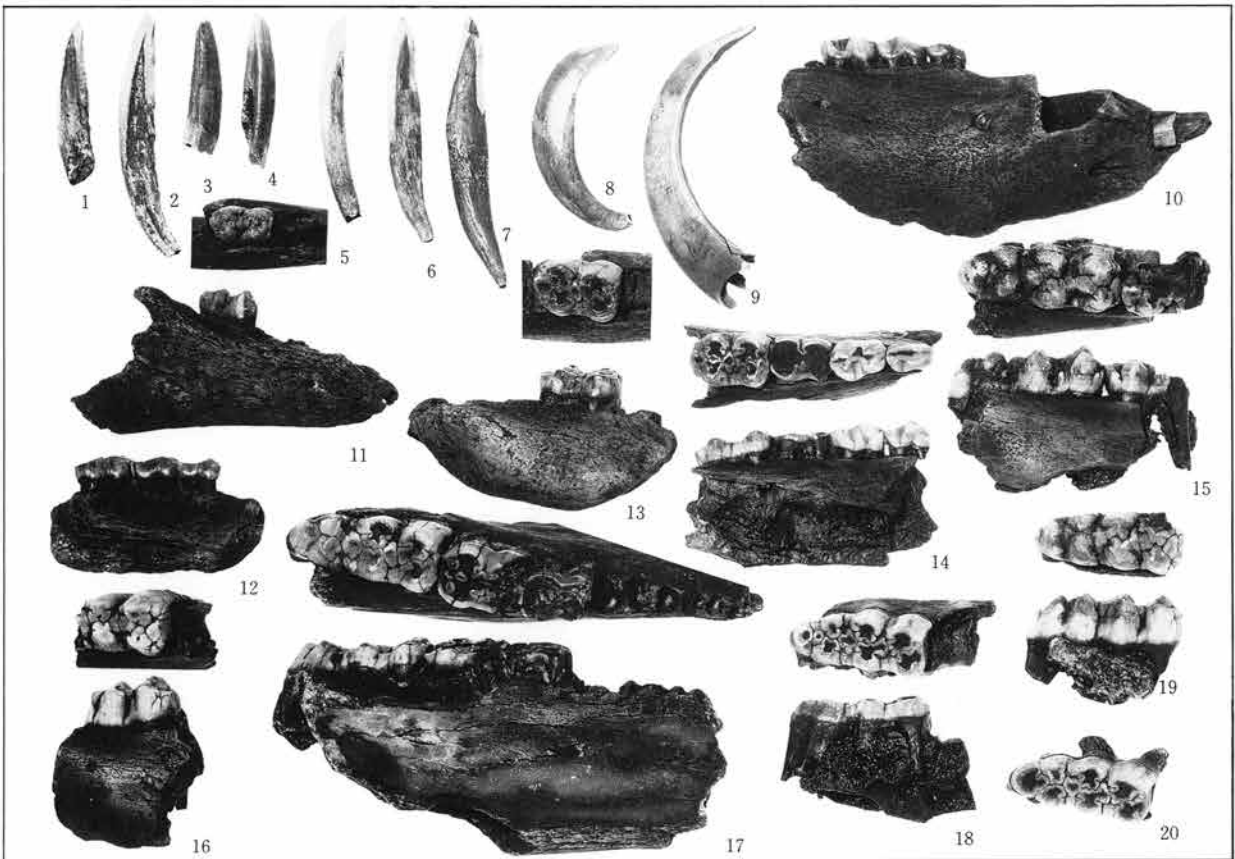
28 イノシシ 上顎骨 L (1/2)
126



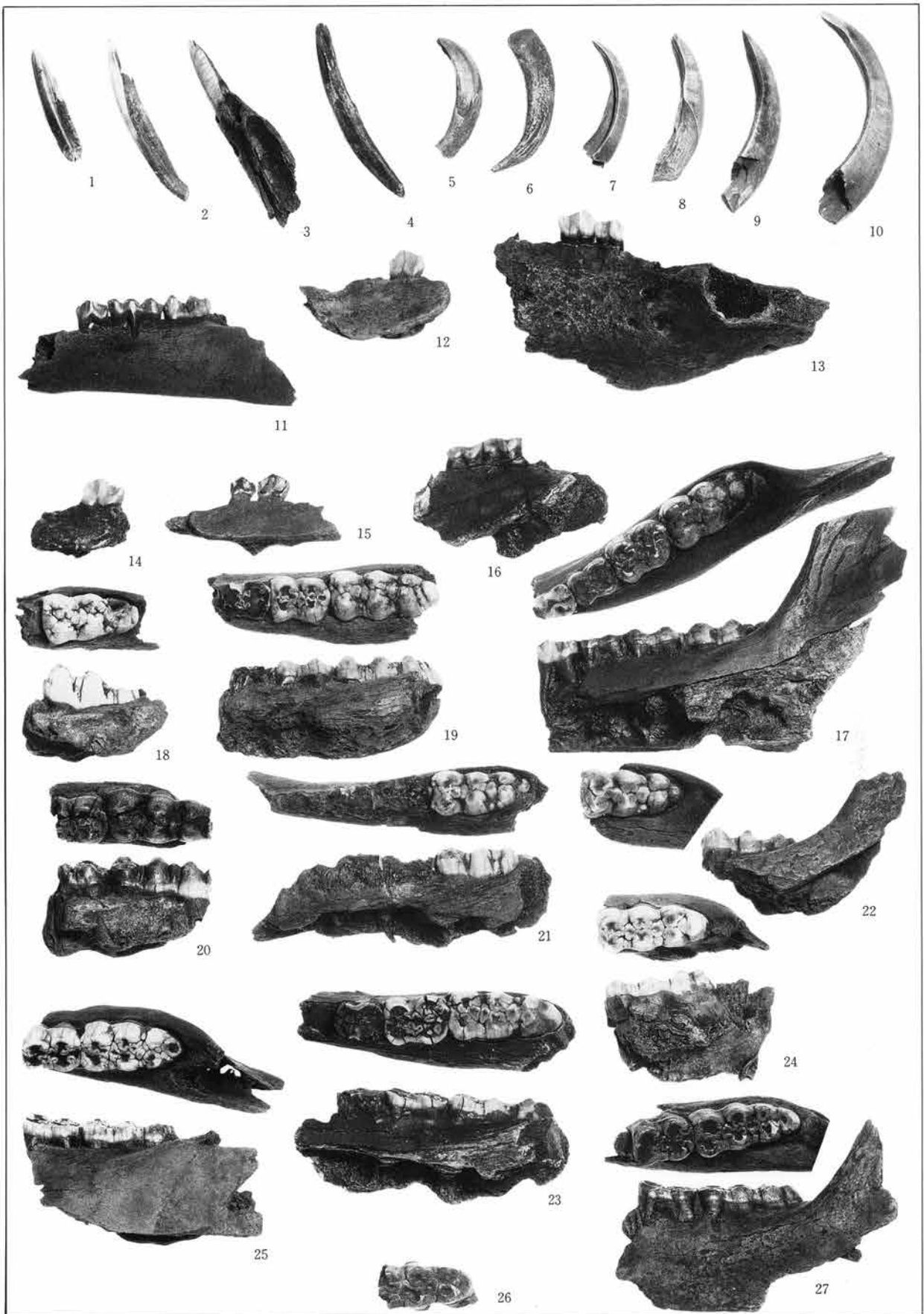
29 イノシシ 上顎骨 R (1/2)



30 イノシシ 下顎骨 R・L (1/2)



31 イノシシ 下顎骨 R (1/2)



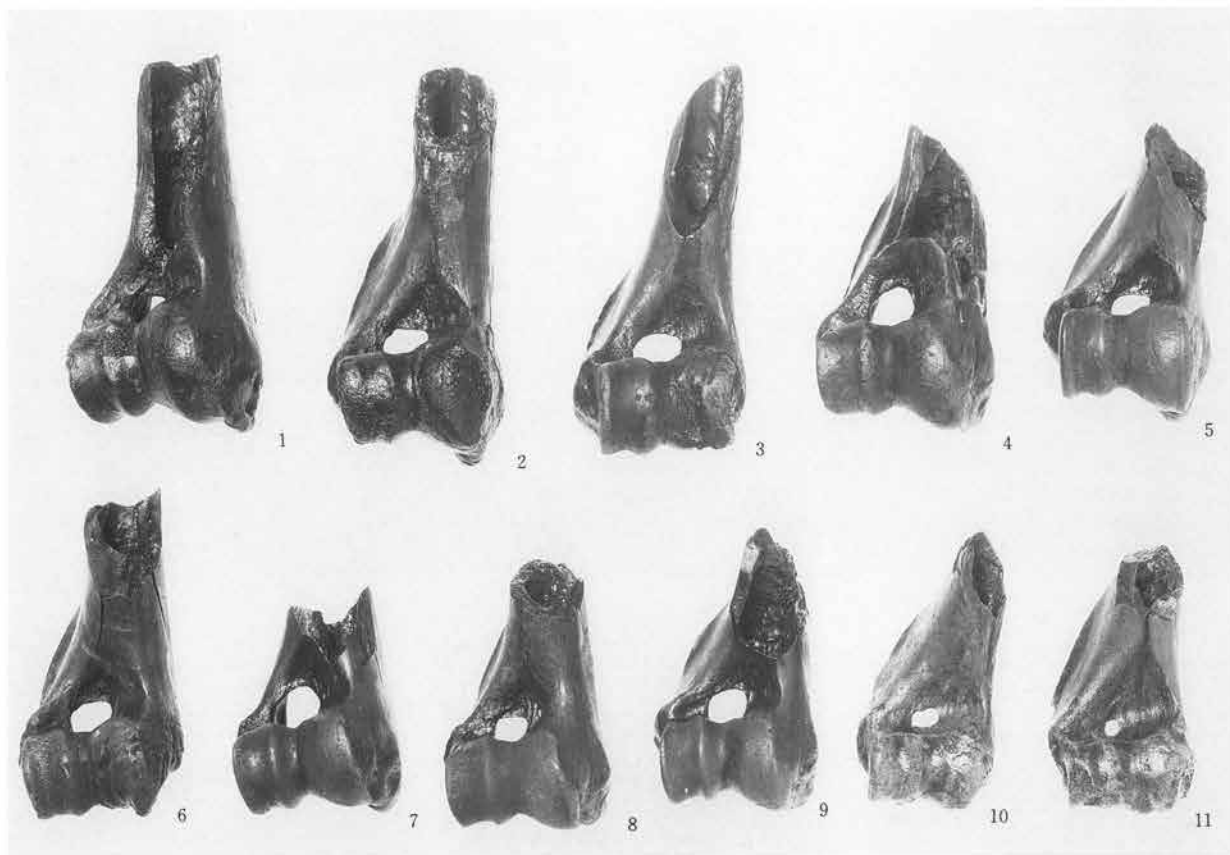
32 イノシシ 下顎骨 L (1/2)



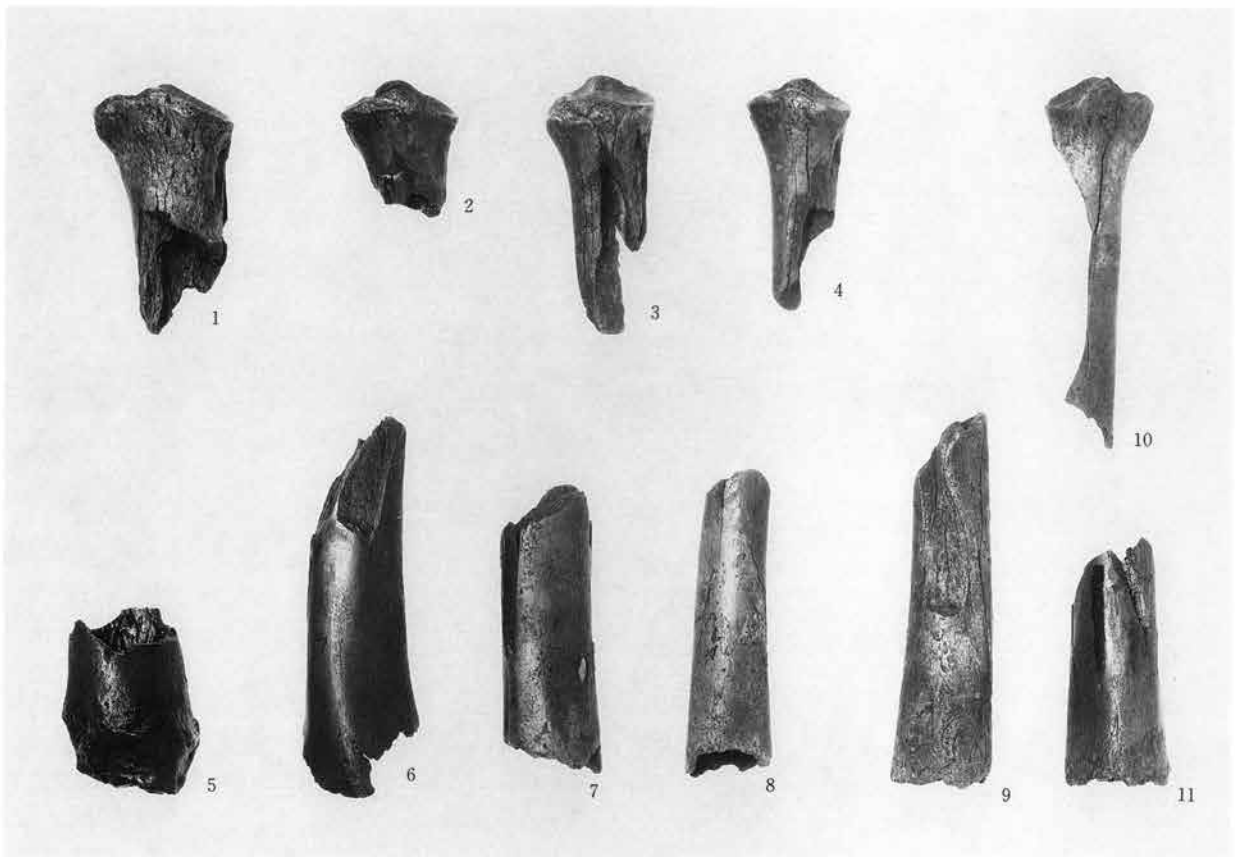
33 イノシシ 肩甲骨 R・L (1/2)



34 イノシシ 上腕骨 L (1/2)



35 イノシシ 上腕骨 R (1/2)



36 イノシシ 桡骨 R・L (1/2)



37 イノシシ 尺骨 L (1/2)



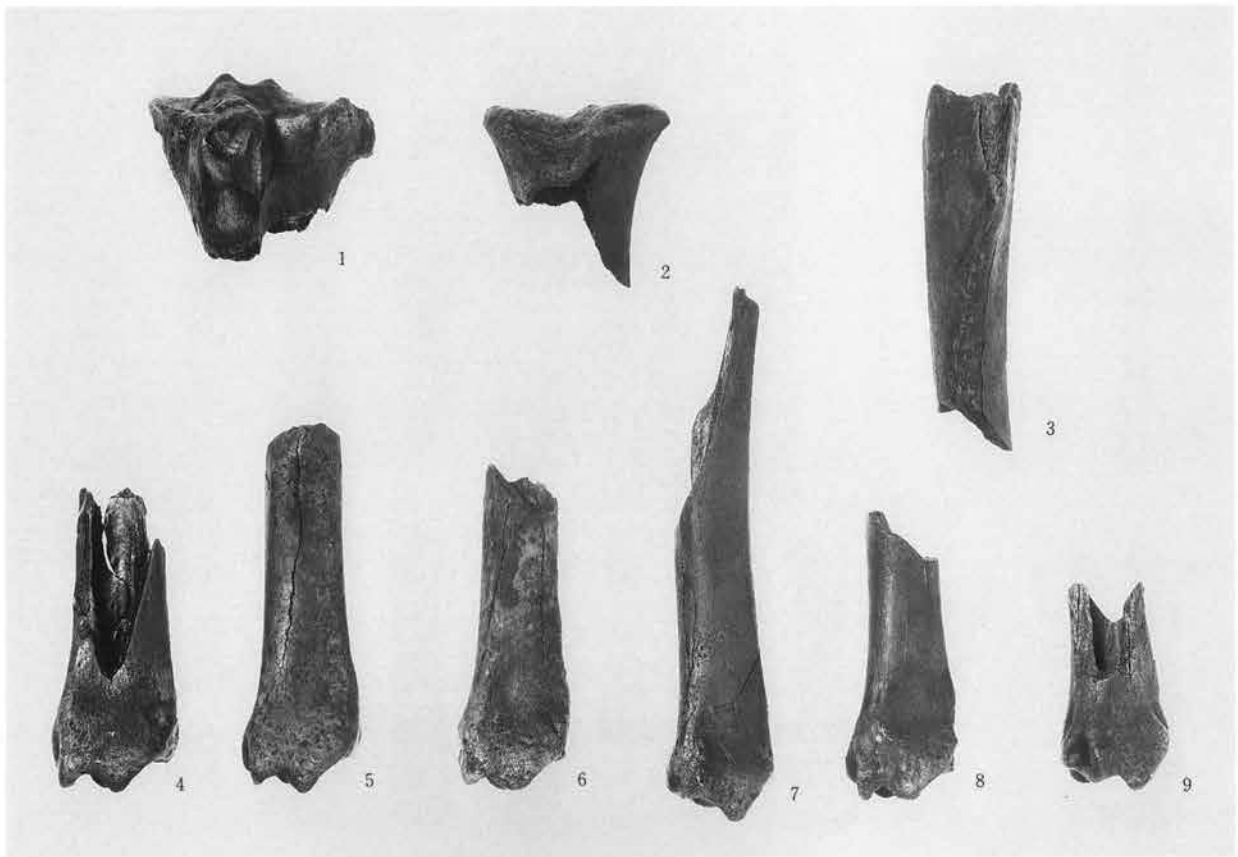
38 イノシシ 尺骨 R (1/2)



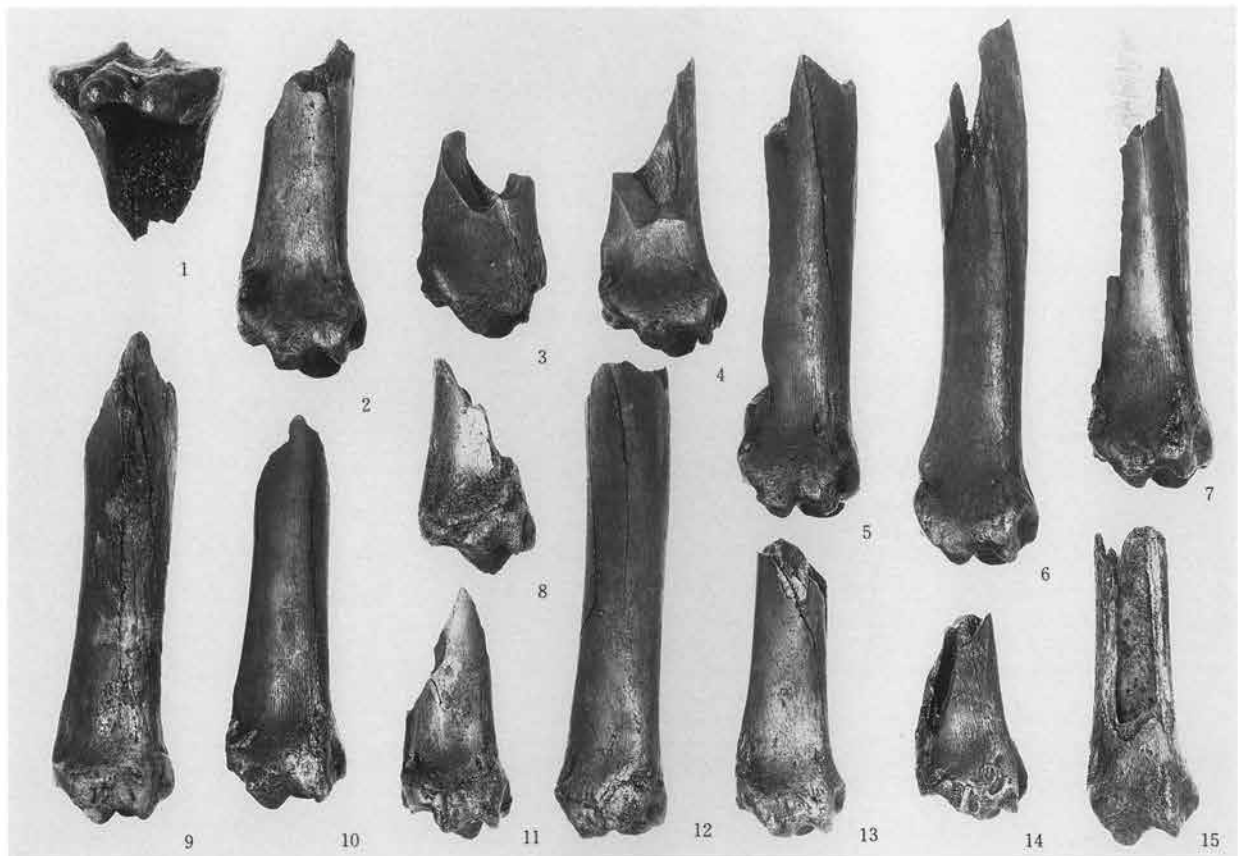
39 イノシシ 寛骨 R・L (1/2)



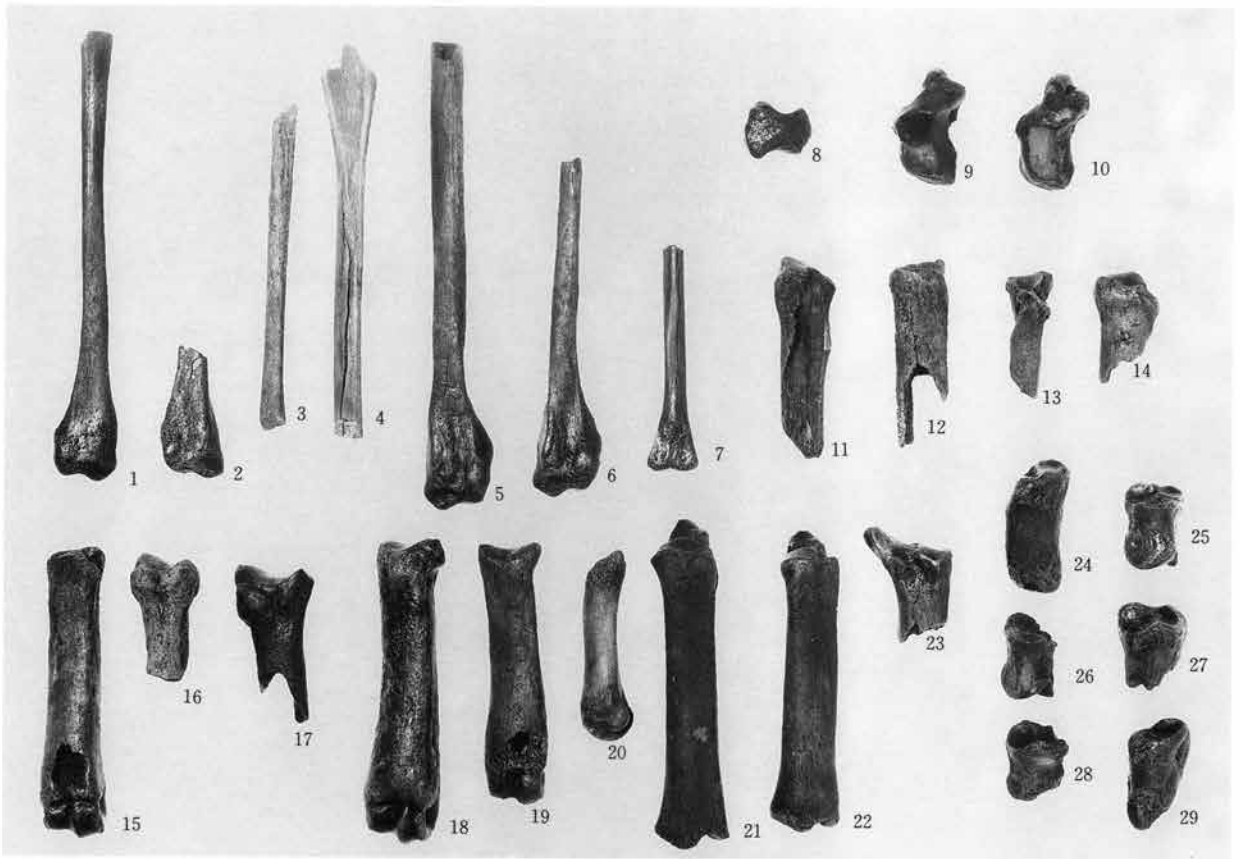
40 イノシシ 大腿骨 R・L (1/2)



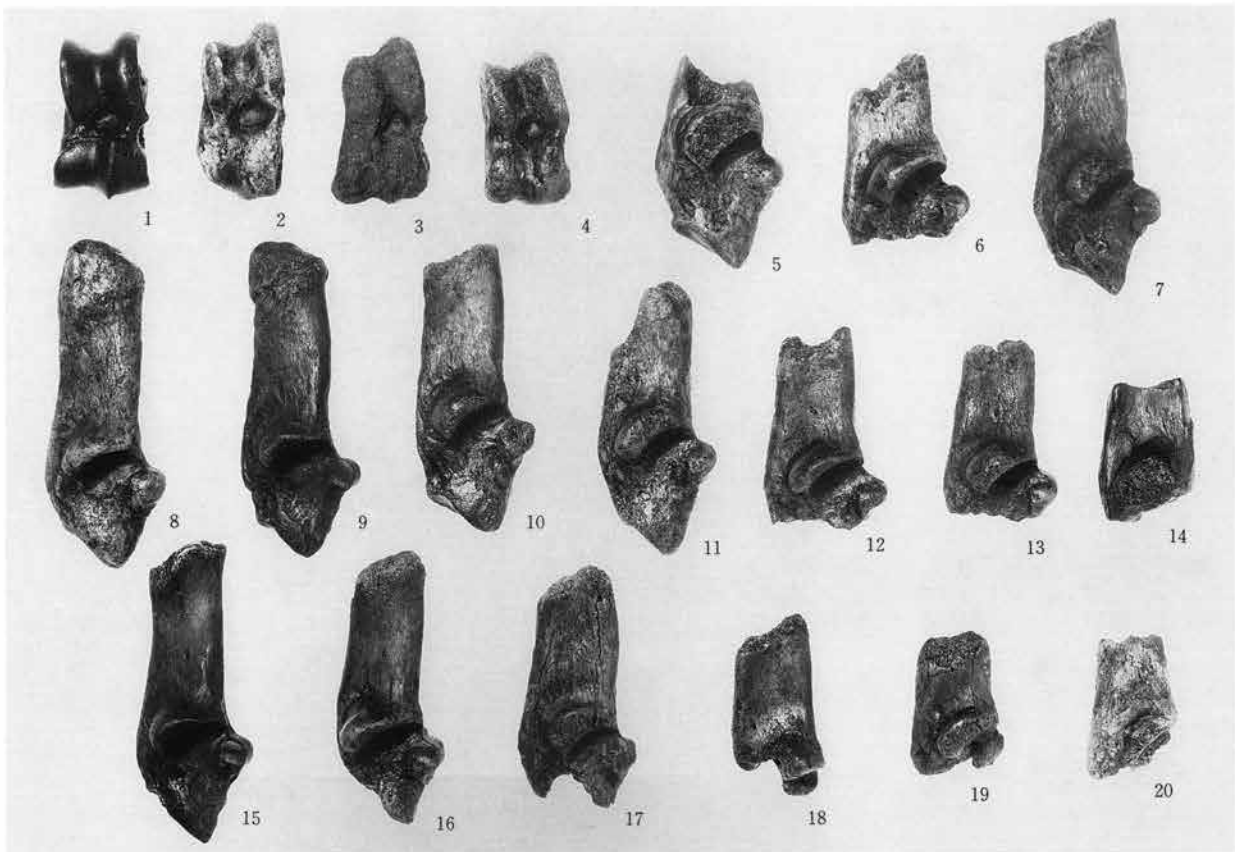
41 イノシシ 脛骨 L (1/2)



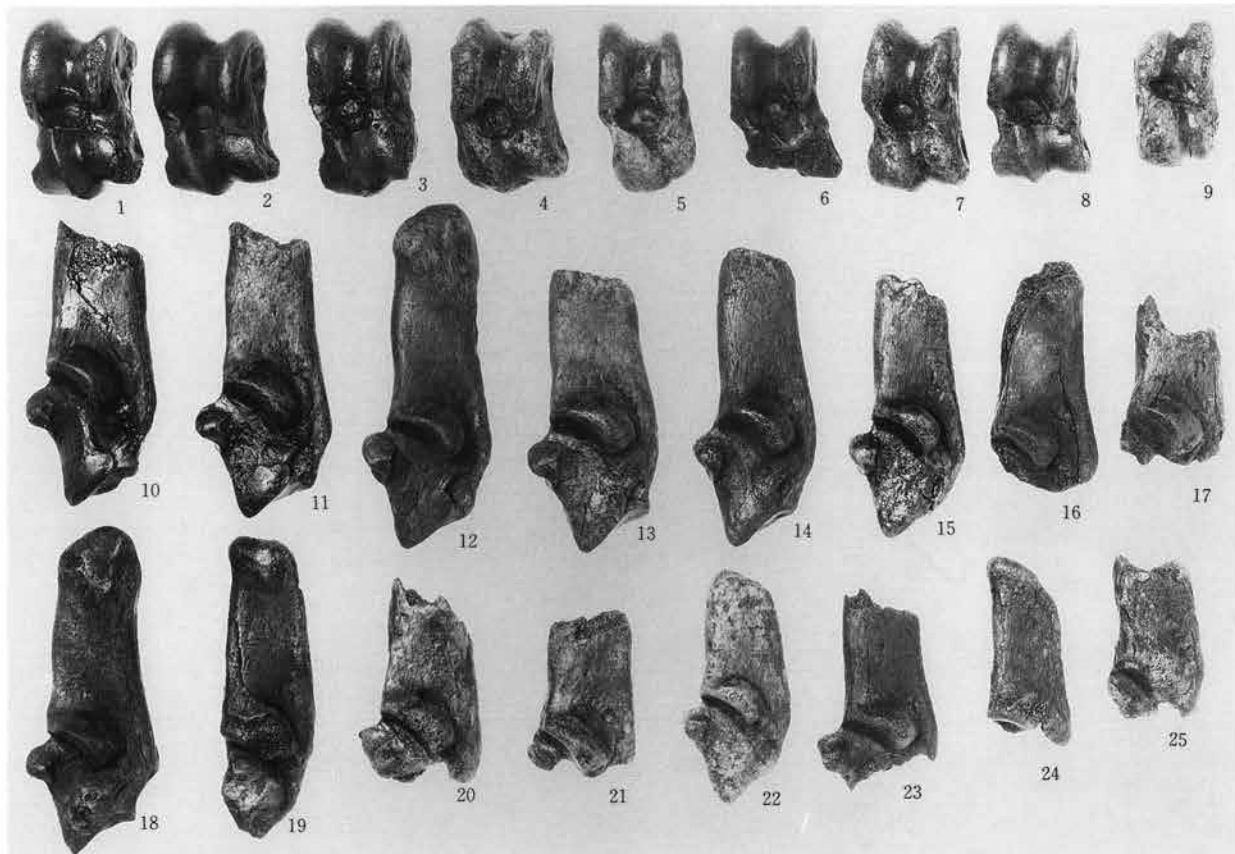
42 イノシシ 脛骨 R (1/2)



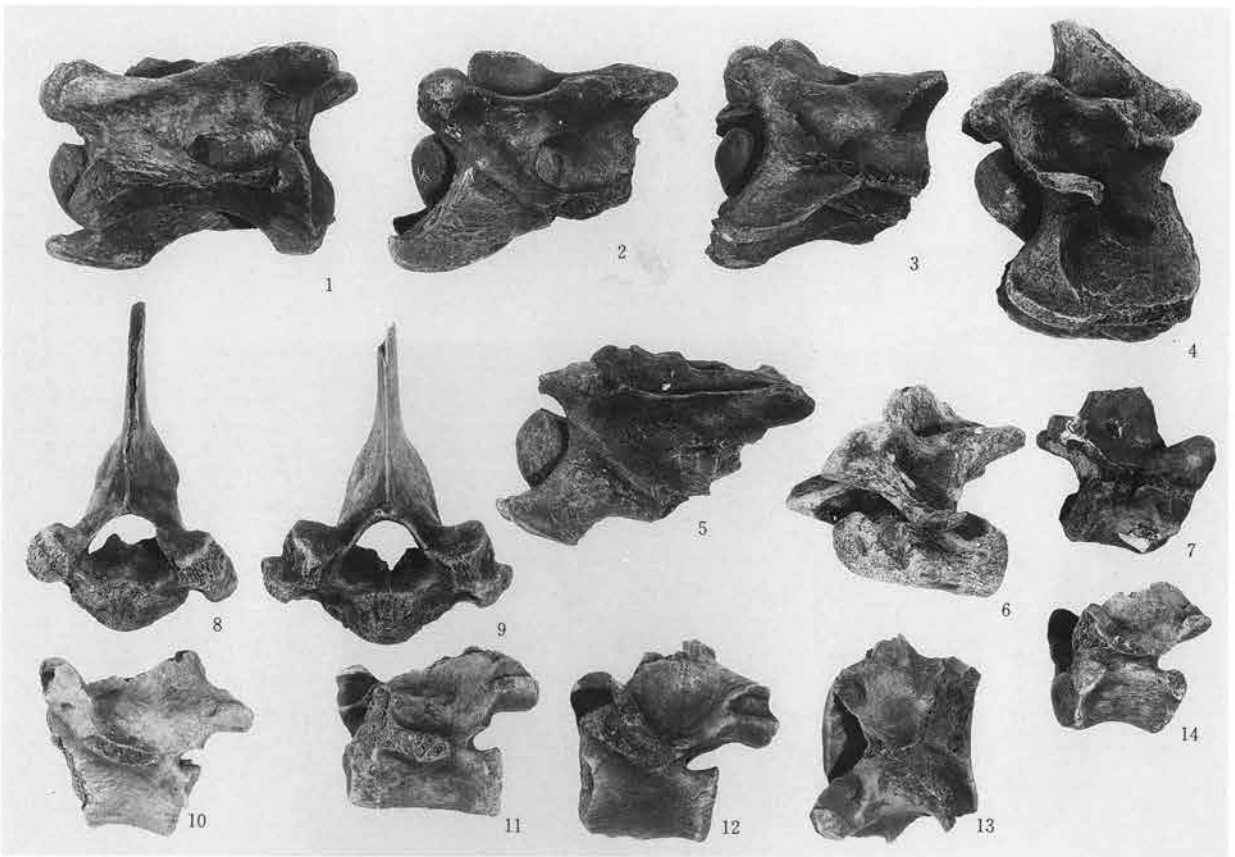
43 イノシシ 腓骨・手根骨・足根骨・中手骨・中足骨・指趾骨（基節・中節・末節）(1/2)



44 イノシシ 距骨・踵骨 L (1/2)



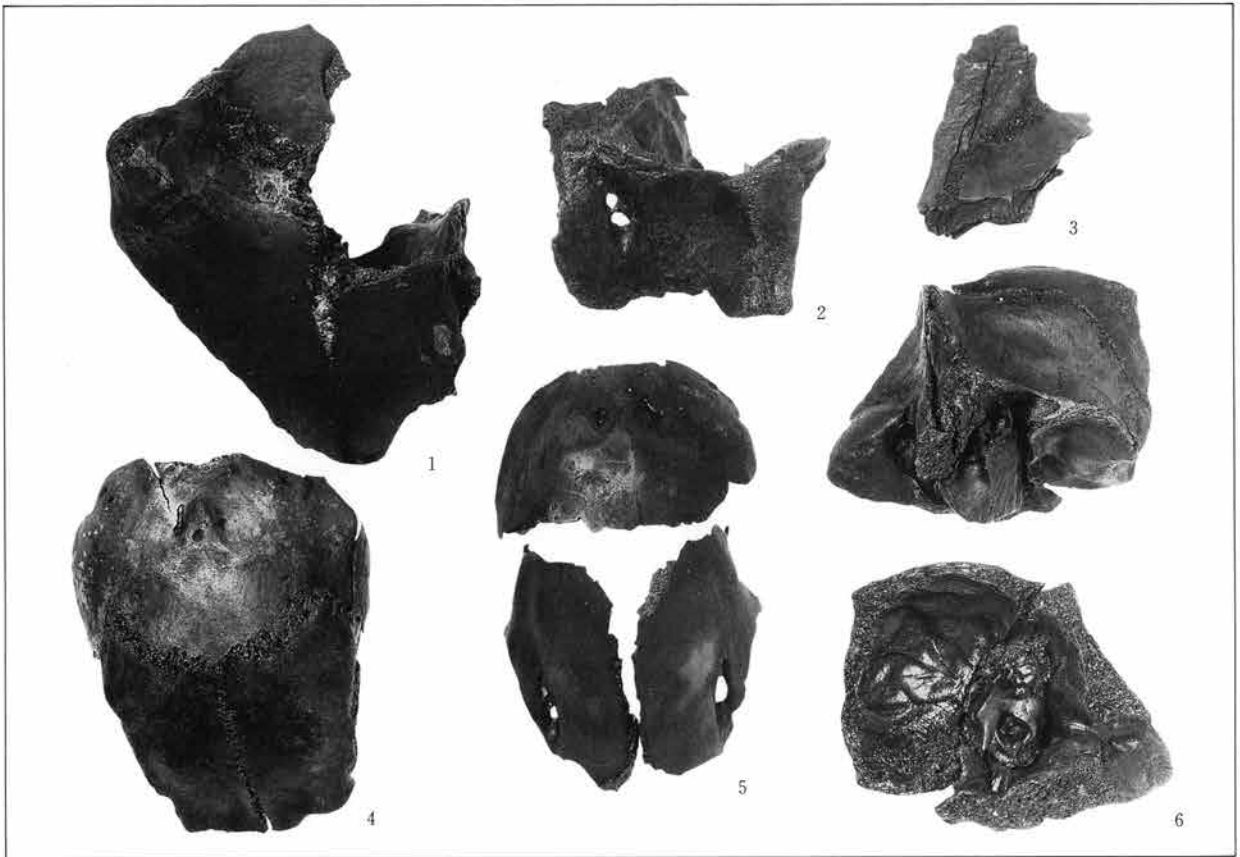
45 イノシシ 距骨・踵骨 R (1/2)



46 ニホンジカ 頸椎・胸椎・腰椎 (1/2)



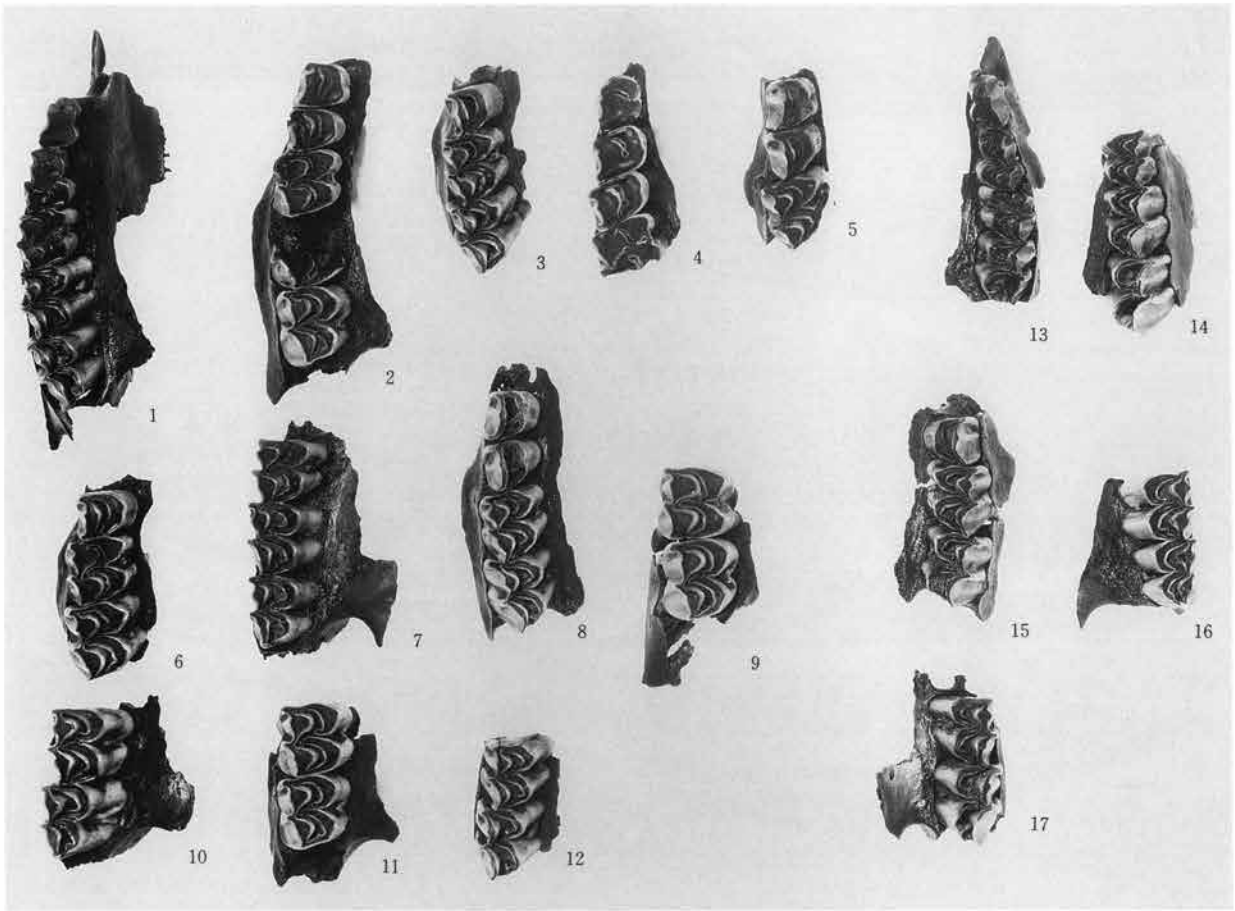
47 ニホンジカ 環椎・軸椎 (1/2)



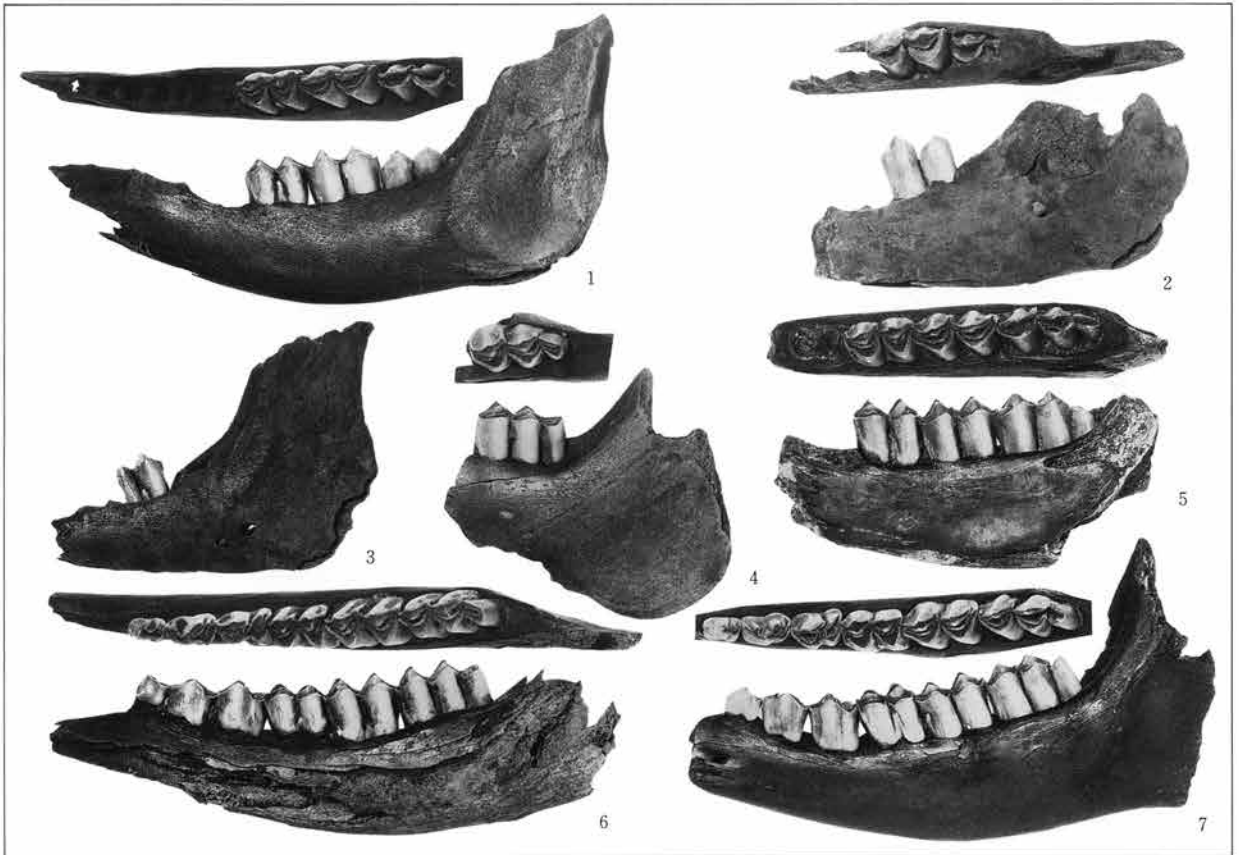
48 ニホンジカ 頭蓋骨 R・L (1/2)



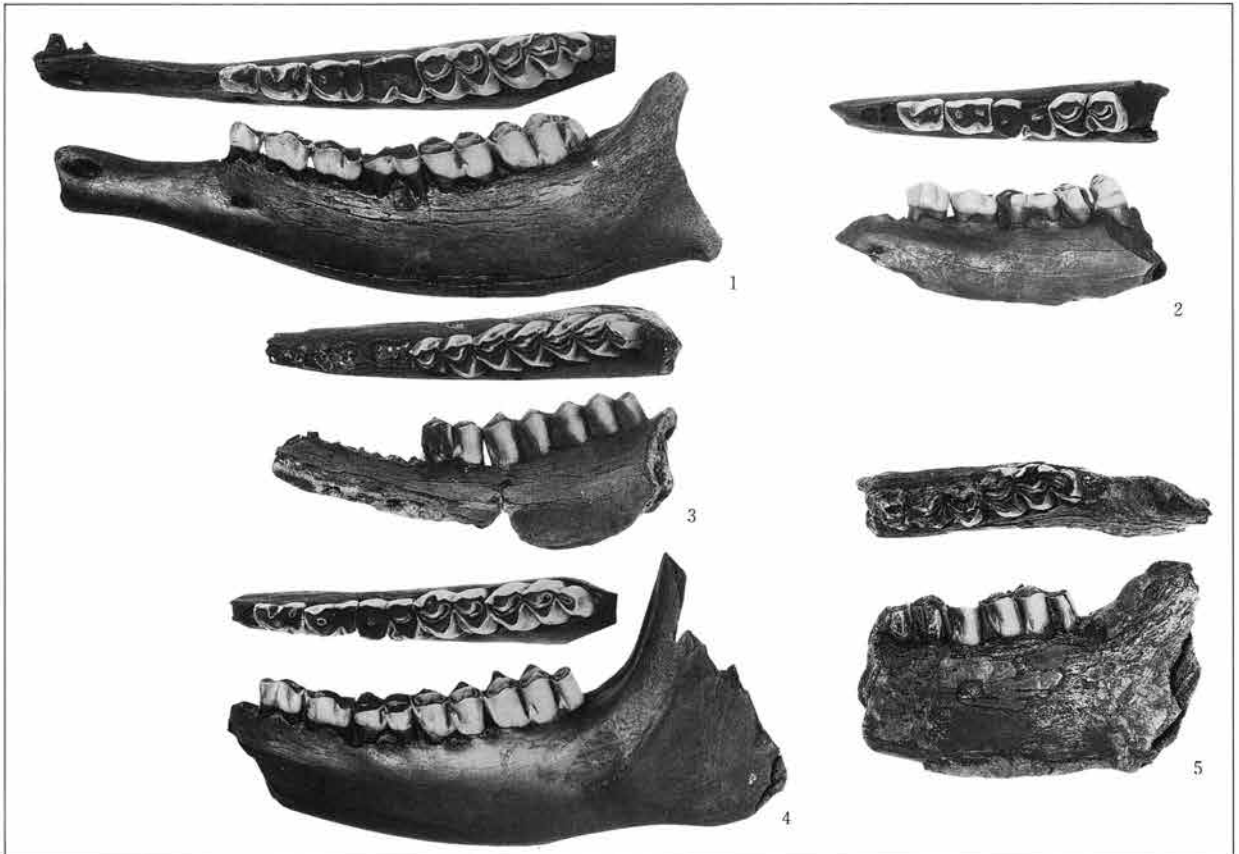
49 ニホンジカ 角 L/ウシ 大腿骨 R (1/3)
140



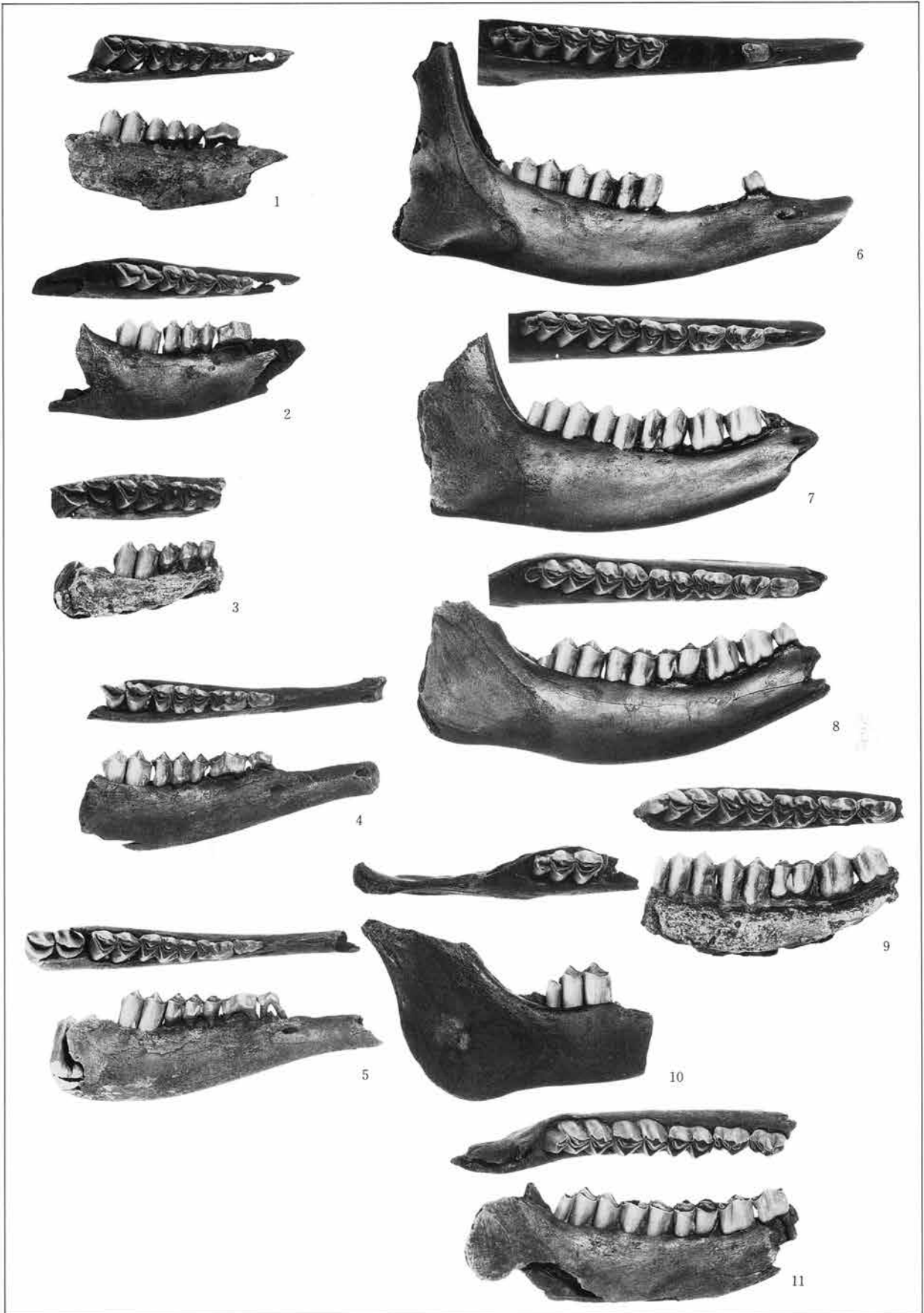
50 ニホンジカ 上顎骨 R・L (1/2)



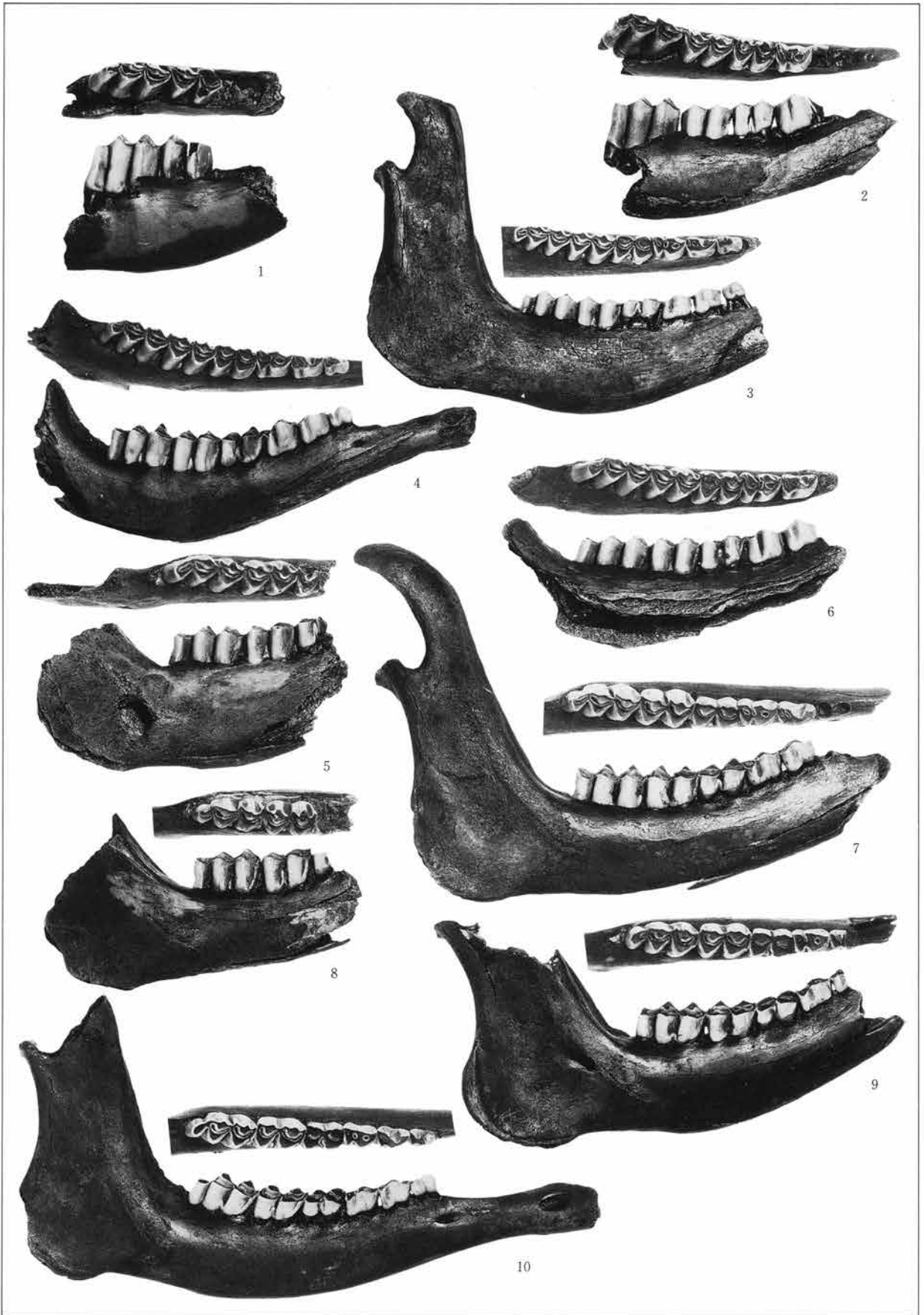
51 ニホンジカ 下顎骨 L (1/2)



52 ニホンジカ 下顎骨 L (1/2)



53 ニホンジカ 下顎骨 R (1/2)



54 ニホンジカ 下顎骨 R (1/2)



55 ニホンジカ 肩甲骨 R・L (1/2)



56 ニホンジカ 上腕骨 L (1/2)



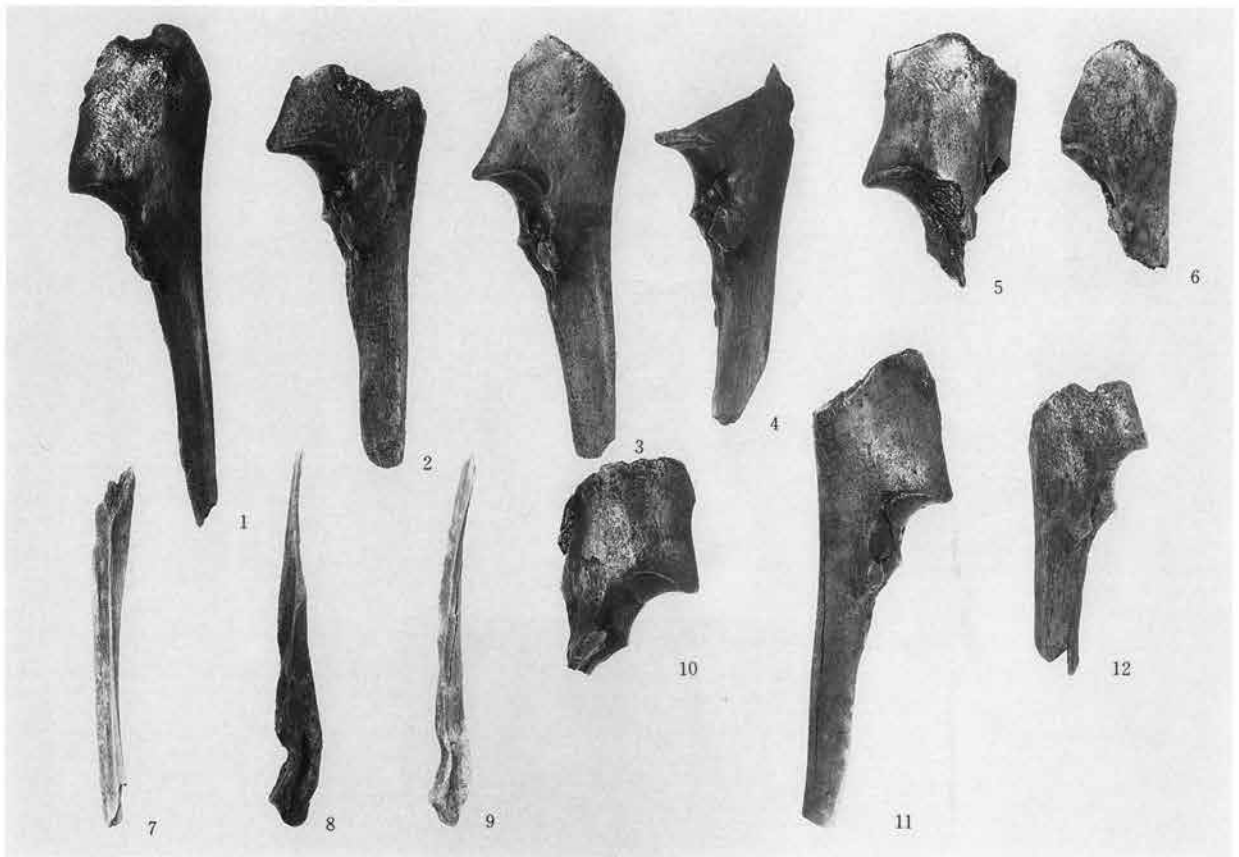
57 ニホンジカ 上腕骨 R (1/2)



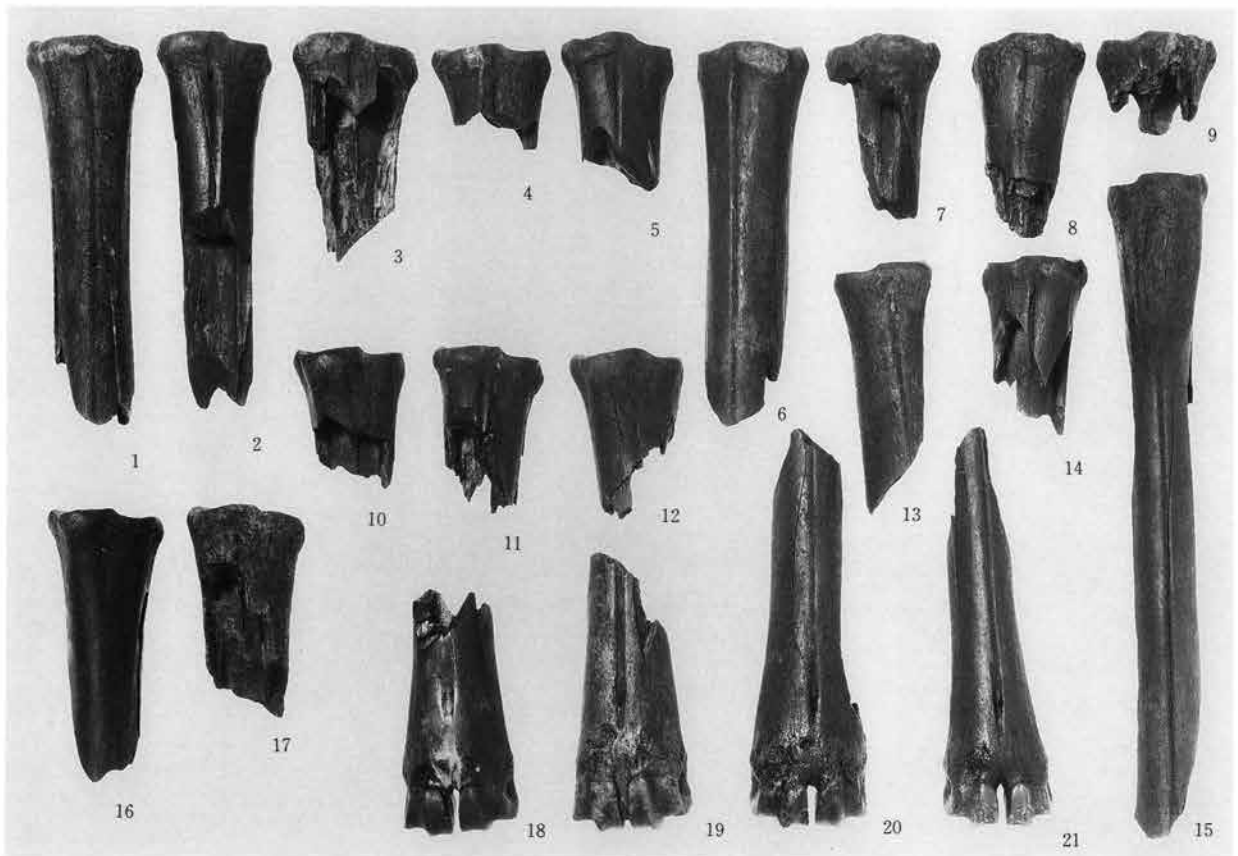
58 ニホンジカ 尺骨 L (1/2)



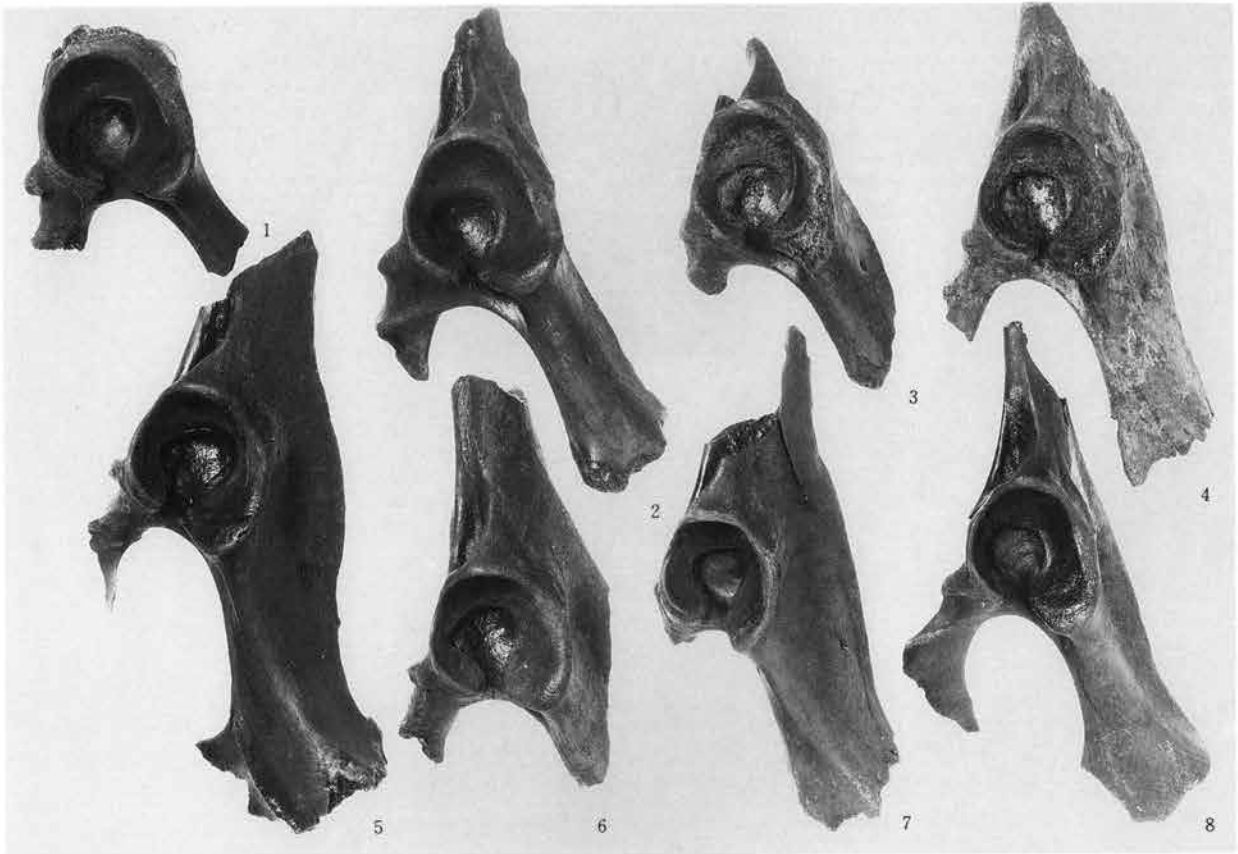
59 ニホンジカ 尺骨 R (1/2)



60 ニホンジカ 尺骨 R・L (1/2)



61 ニホンジカ 中手骨 R・L (1/2)



62 ニホンジカ 寛骨 L (1/2)



63 ニホンジカ 寛骨 R (1/2)



64 ニホンジカ 大腿骨 L (1/2)



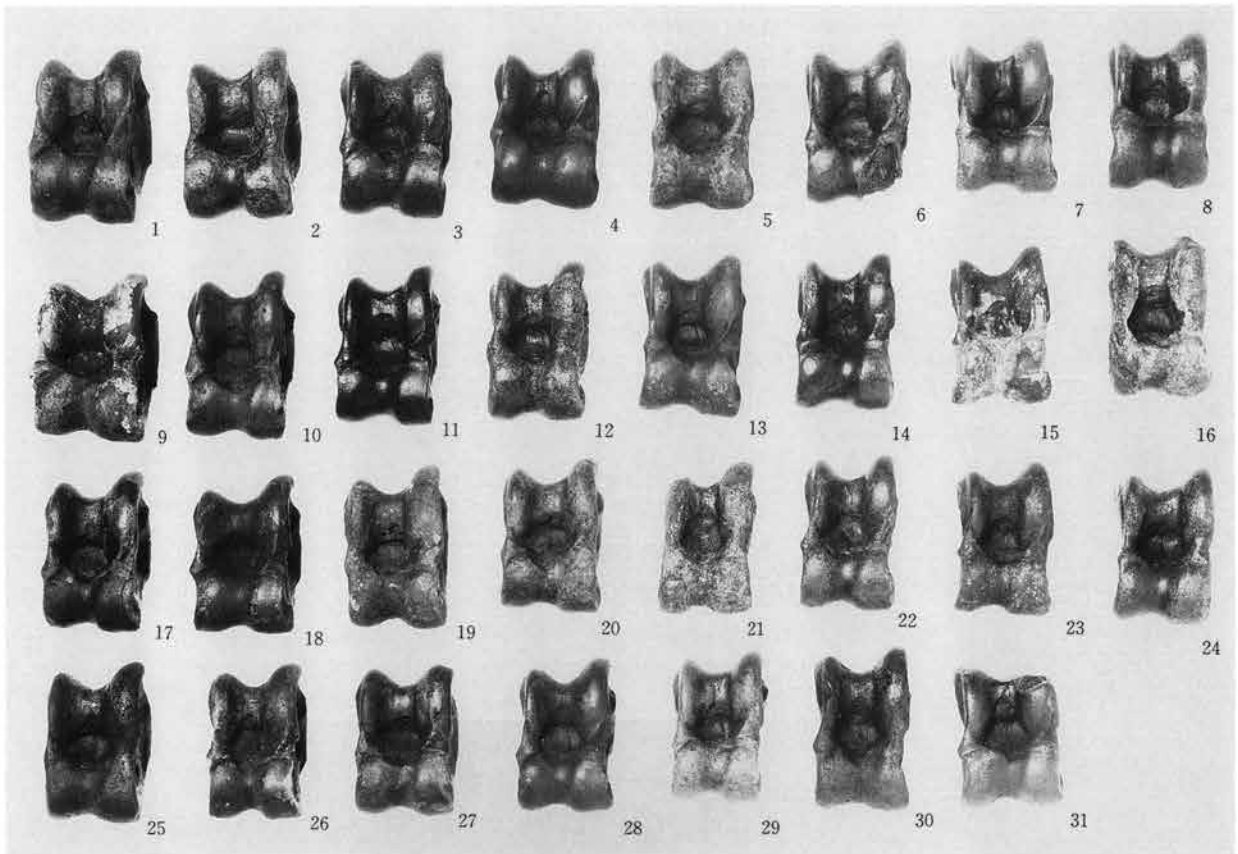
65 ニホンジカ 大腿骨 R (1/2)



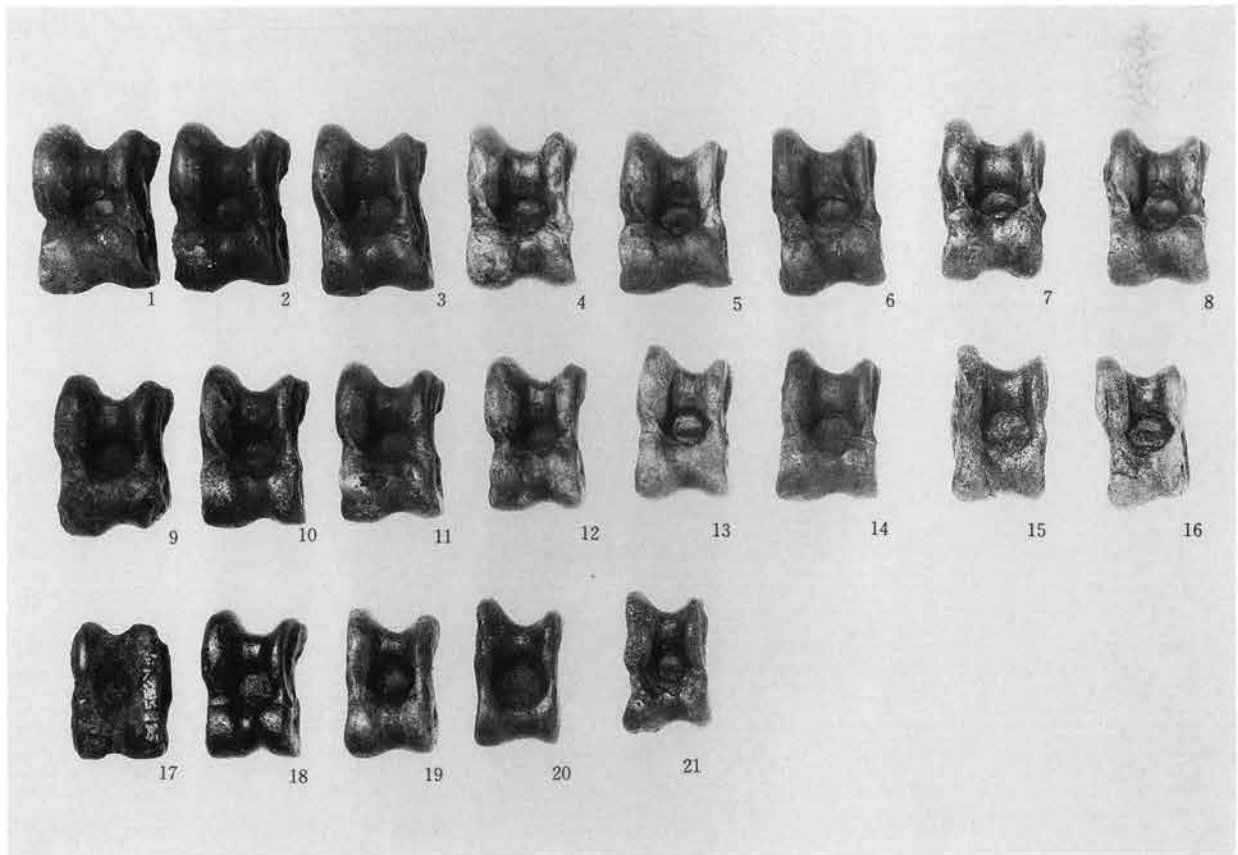
66 ニホンジカ 脛骨 L (1/2)



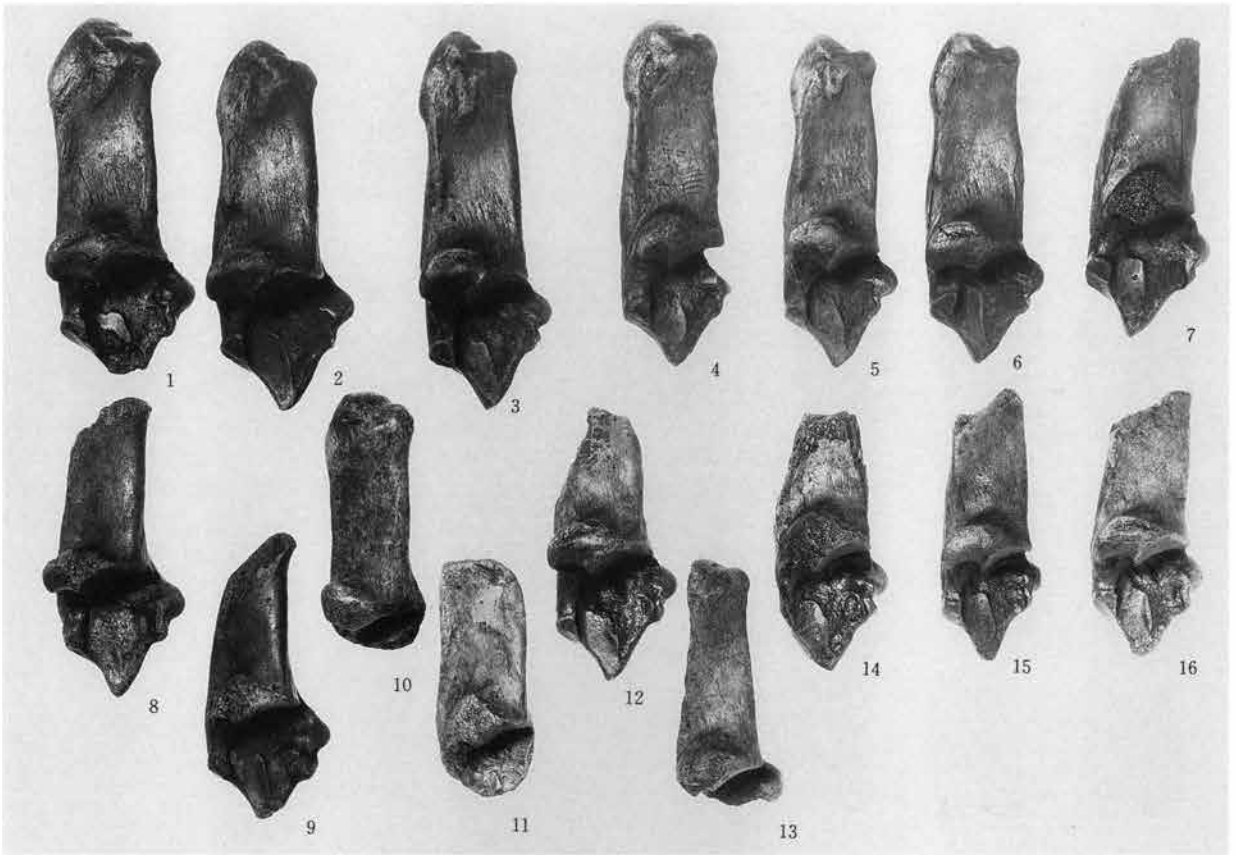
67 ニホンジカ 脛骨 R (1/2)
152



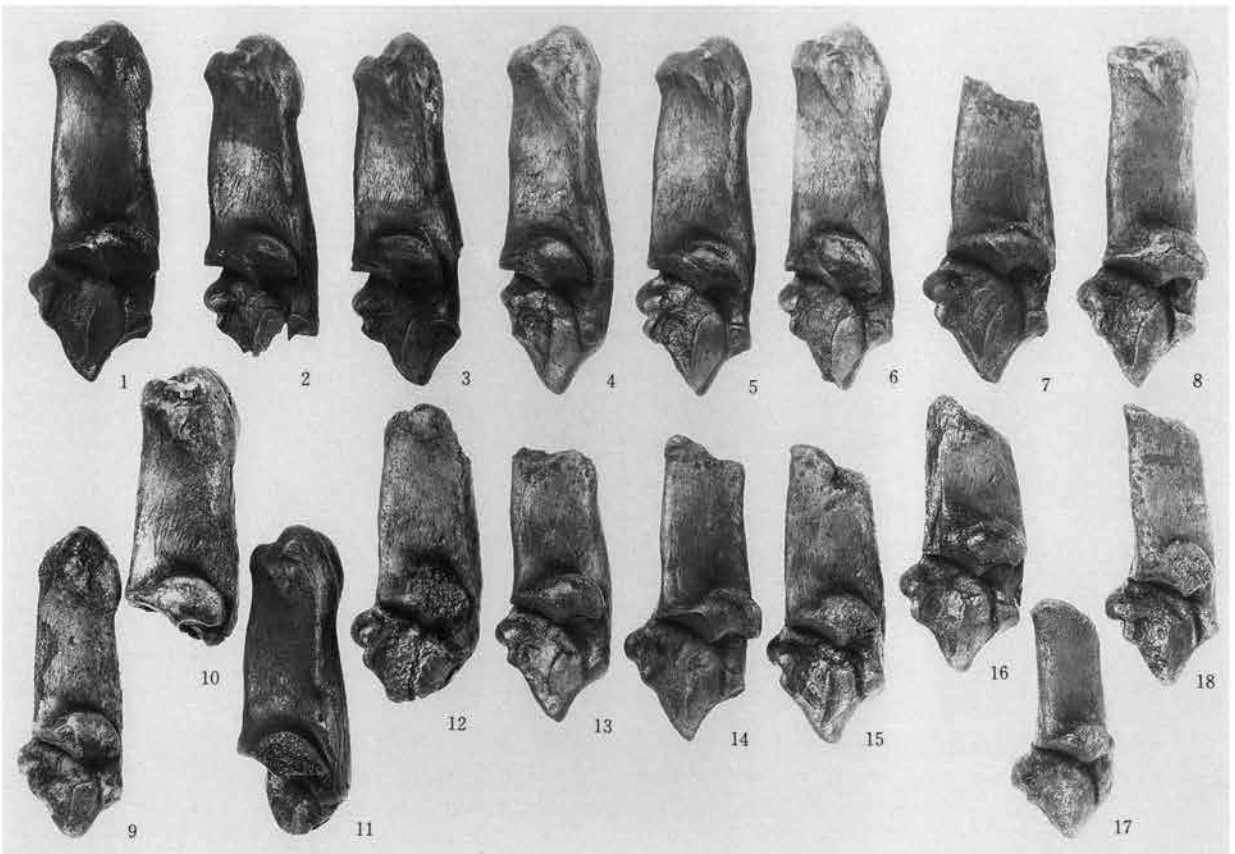
68 ニホンジカ 距骨 L (1/2)



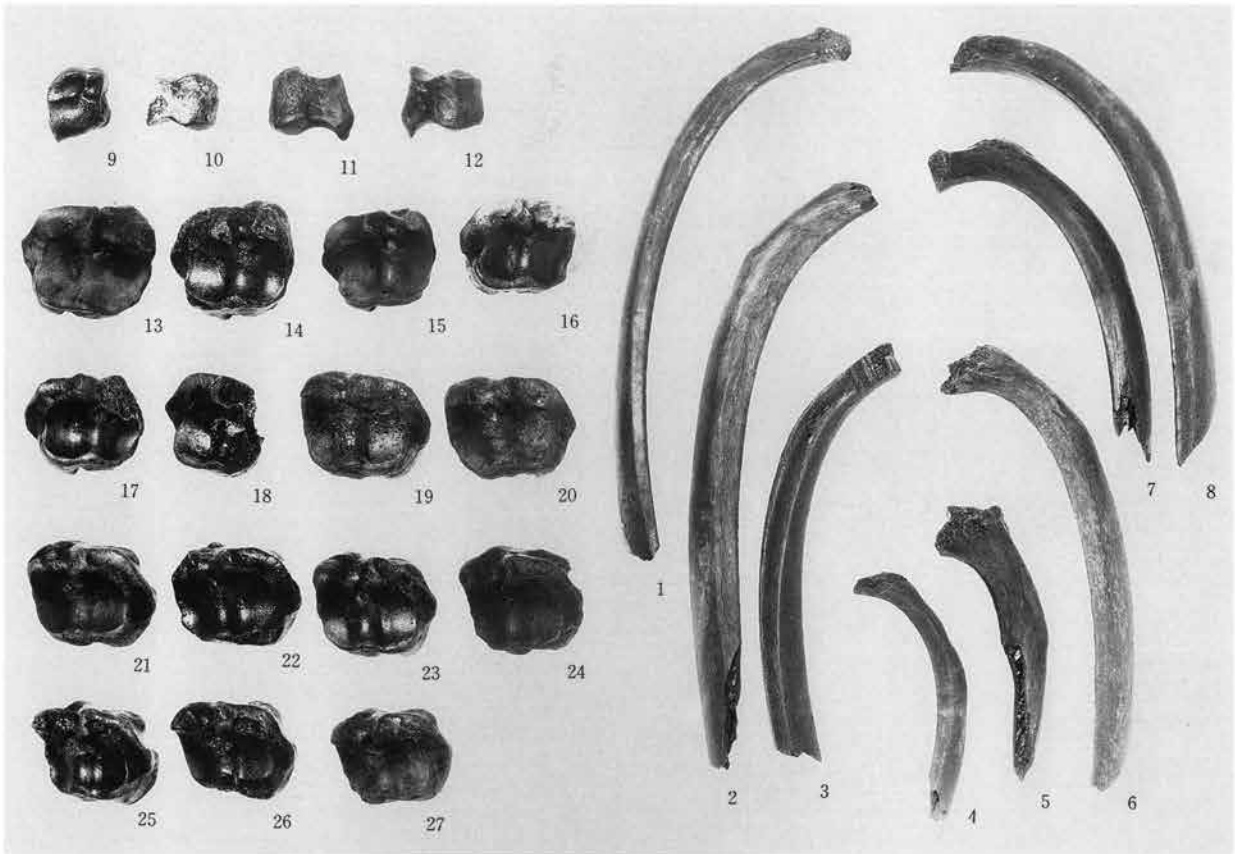
69 ニホンジカ 距骨 R (1/2)



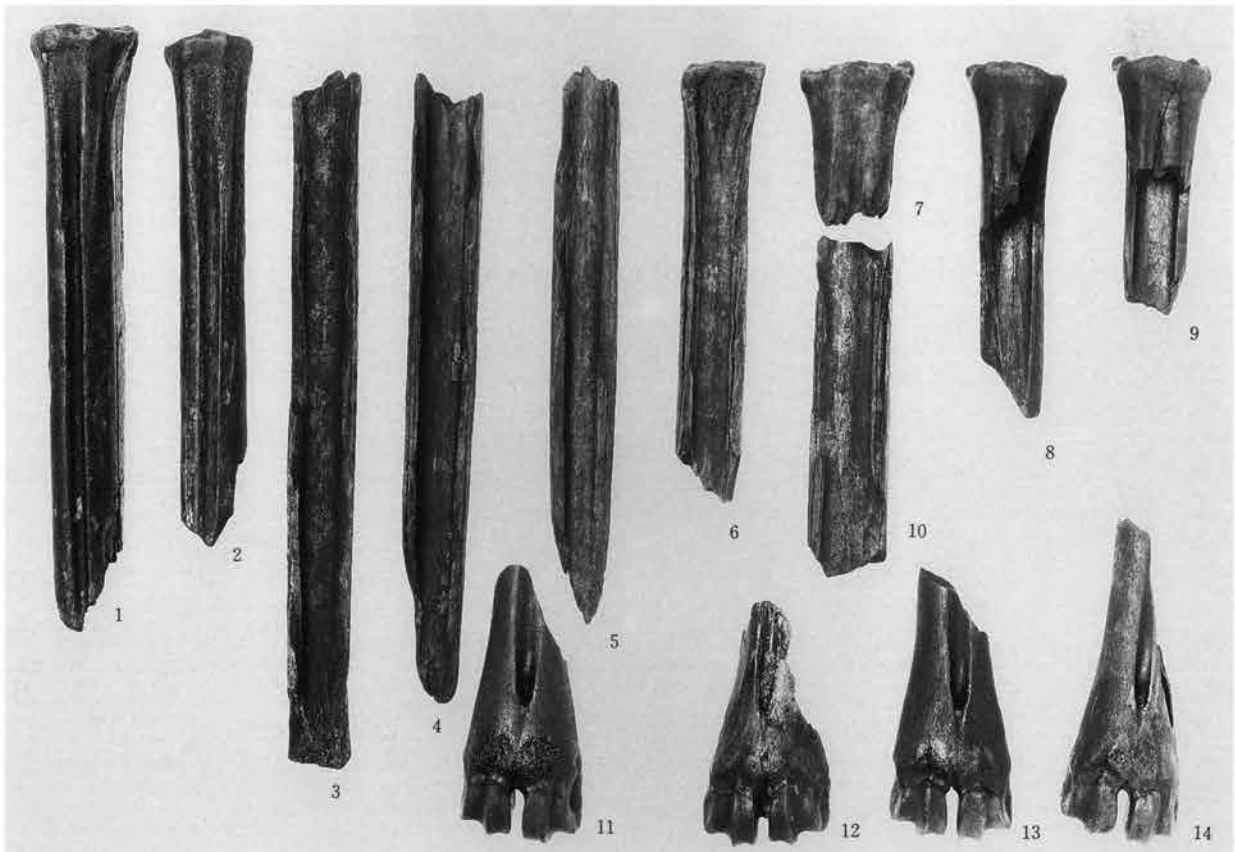
70 ニホンジカ 踵骨 L (1/2)



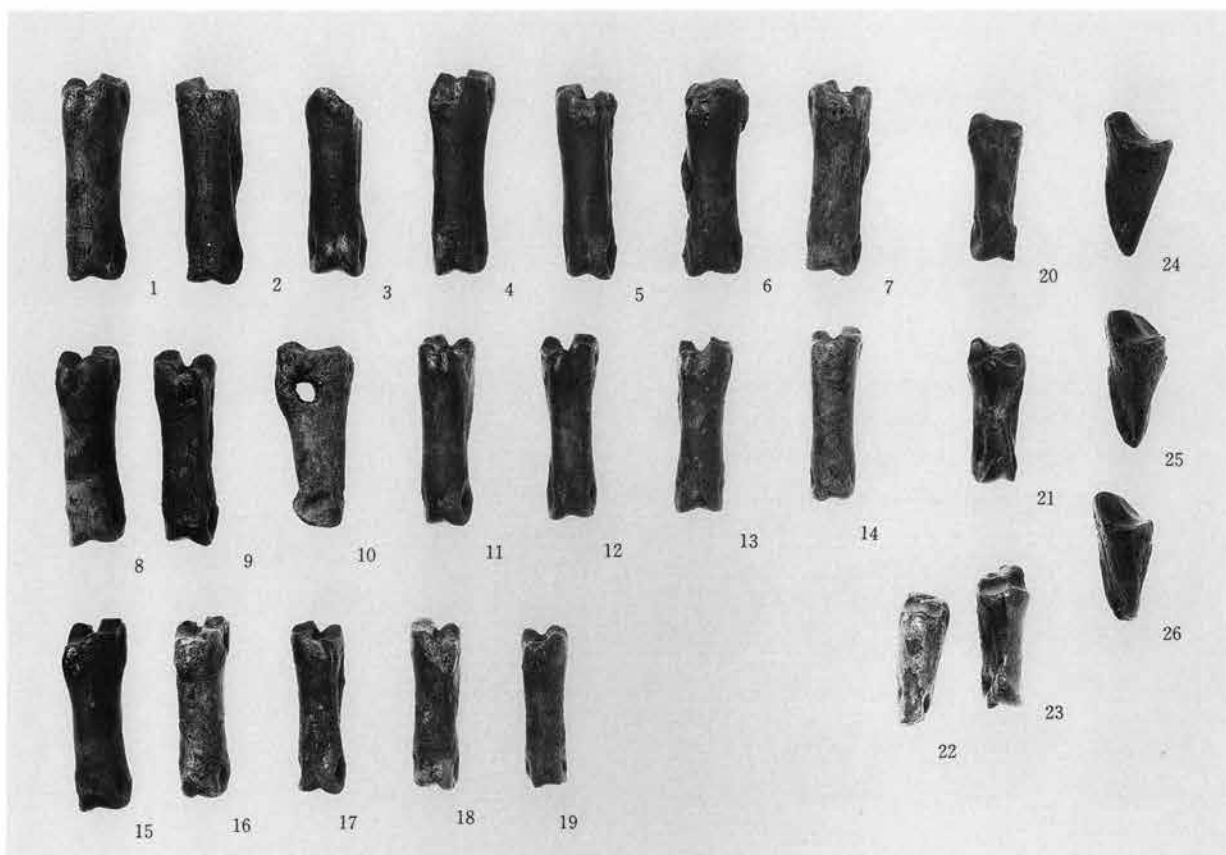
71 ニホンジカ 踵骨 R (1/2)



72 ニホンジカ 手根骨・足根骨・肋骨 R・L (1/2)



73 ニホンジカ 中足骨 R・L (1/2)



74 ニホンジカ 指趾骨 (基節・中節・末節) (1/2)

写 真 图 版



1 新保田中村前遺跡E・F区全景(北西より)



2 調査区中央を流下する染谷川(南より。左岸がE区、右岸がF区。)

図版 2



1 E区住居跡調査風景(南より)



2 E区住居跡調査風景(北西より)



3 E区2号河川跡調査風景(南西より)



4 E区2号河川跡調査風景(北より)



5 E区2号河川跡木器取り上げ作業風景(北西より)



6 E区2号河川跡木器取り上げ作業風景(北西より)



7 出土木器水洗作業風景(西より)



8 出土木器基本整理作業風景(西より)



1 E区調査区東壁土層断面(北半部、北西より。)



2 E区調査区東壁土層断面(南半部、南西より。)

図版 4

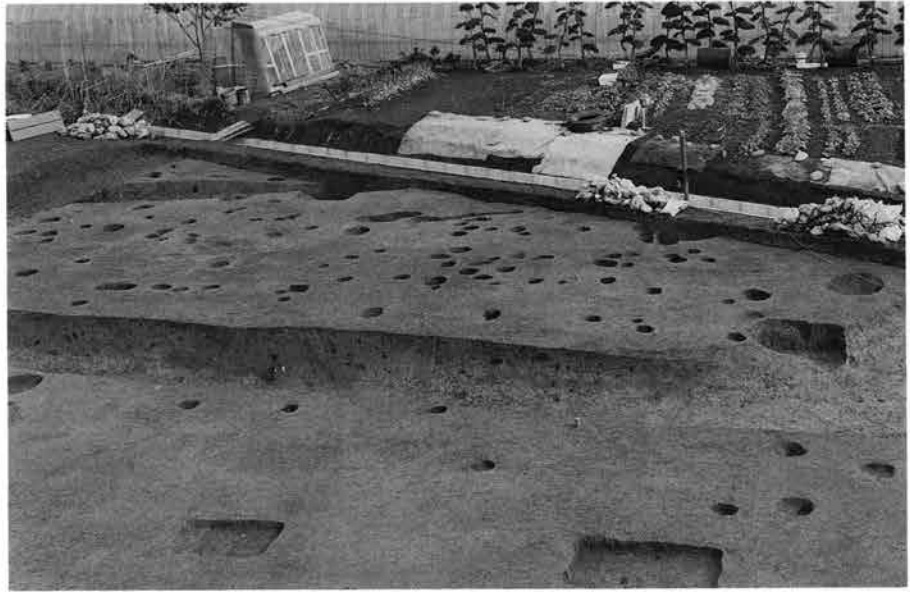


1 E区I面全景(北より)



2 E区I面全景(南より)

1 E区I面柱穴群
(西より)



2 E区I面51号溝
(南より)



3 E区I面52号溝
(北西より)



図版 6



1 E区I面98号溝
(東より)



2 E区I面99~101号溝
(北西より)



3 E区I面道路状遺構
(北西より)

1 E区I面1号溜井
(西より)



2 E区I面1号溜井
(南西より)



3 E区I面3号河川跡
(南より)



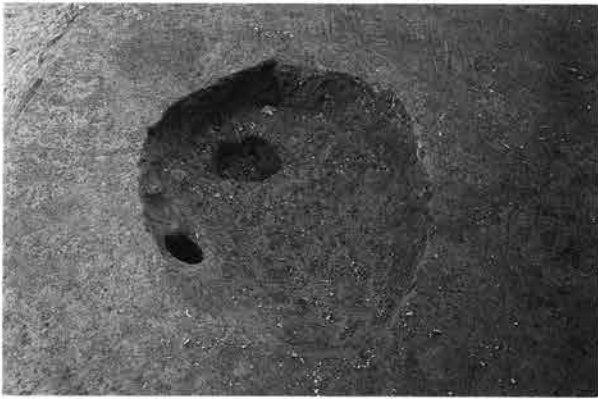
図版 8



1 E区I面93号土坑(東より)



2 E区I面95・96号土坑(南より)



3 E区I面97号土坑(東より)



4 E区I面99号土坑(南より)



5 E区I面98号土坑(南より)



6 E区I面98号土坑土層断面(南より)



7 E区I面100号土坑(南より)



8 E区I面102号土坑(南より)



1 E区Ⅱ面全景(北より)



2 E区Ⅱ面全景(西より)

図版10



1 E区Ⅱ面北半部全景
(南西より)



2 E区Ⅱ面中央部全景
(西より)



3 E区Ⅱ面南半部全景
(北西より)



1 E区Ⅱ面179・180号住居跡(南東より)



2 E区Ⅱ面179号住居跡遺物出土状態(西より)



3 E区Ⅱ面179・180号住居跡土層断面(西より)



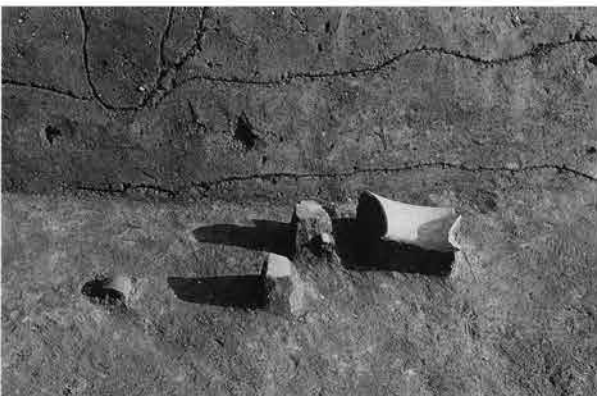
4 E区Ⅱ面181・182号住居跡(西より)



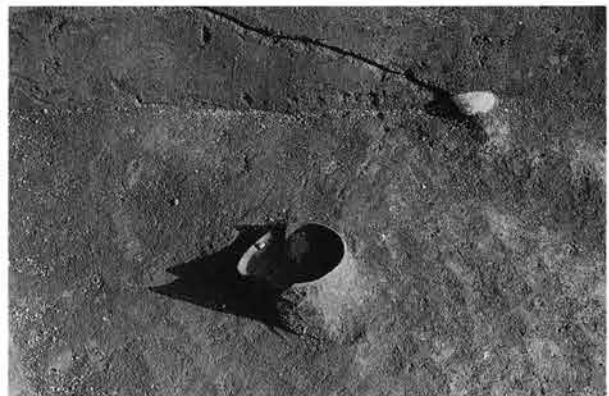
5 E区Ⅱ面183号住居跡(西より)



6 E区Ⅱ面183号住居跡掘り方(北西より)



7 E区Ⅱ面183号住居跡遺物出土状態(西より)



8 E区Ⅱ面183号住居跡遺物出土状態(西より)

図版12



1 E区II面184・185・198号住居跡(西より)



2 E区II面184・185・198号住居跡掘り方(西より)



3 E区II面184号住居跡カマド(西より)



4 E区II面184号住居跡床面下落ち込み(西より)



5 E区II面186・187・199号住居跡(西より)



6 E区II面186・187・199号住居跡掘り方(西より)



7 E区II面186号住居跡カマド(西より)



8 E区II面187号住居跡カマド(西より)



1 E区Ⅱ面188・202号住居跡(西より)



2 E区Ⅱ面188・202号住居跡掘り方(西より)



3 E区Ⅱ面188号住居跡カマド(西より)



4 E区Ⅱ面188号住居跡遺物出土状態(西より)



5 E区Ⅱ面202号住居跡カマド(西より)



6 E区Ⅱ面189・190号住居跡(西より)



7 E区Ⅱ面189・190号住居跡掘り方(西より)



8 E区Ⅱ面189号住居跡カマド掘り方(西より)

図版14



1 E区Ⅱ面191号住居跡(西より)



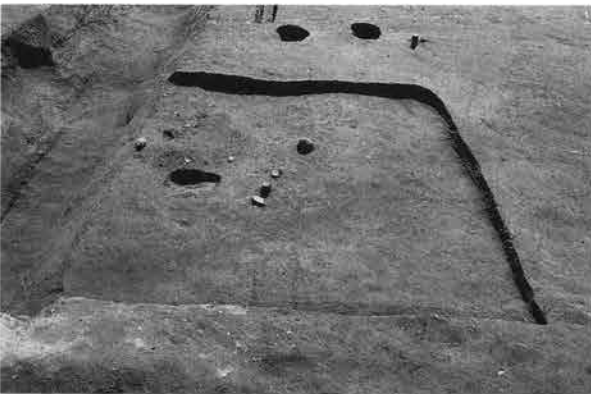
2 E区Ⅱ面191号住居跡掘り方(西より)



3 E区Ⅱ面191号住居跡カマド(西より)



4 E区Ⅱ面191号住居跡貯蔵穴(北西より)



5 E区Ⅱ面193号住居跡(西より)



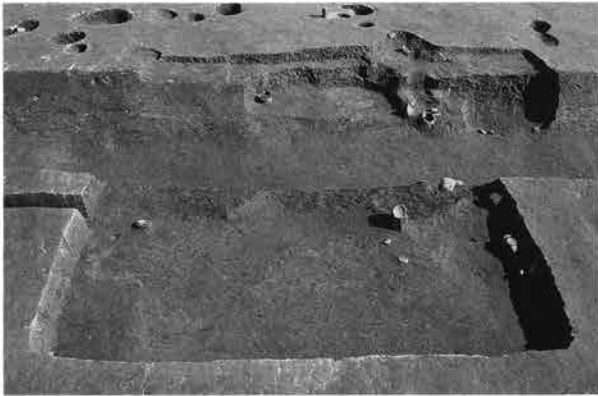
6 E区Ⅱ面193号住居跡遺物出土状態(西より)



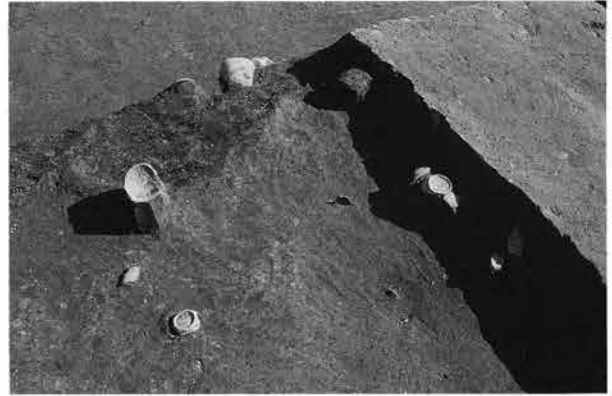
7 E区Ⅱ面193号住居跡カマド前掘り方(北西より)



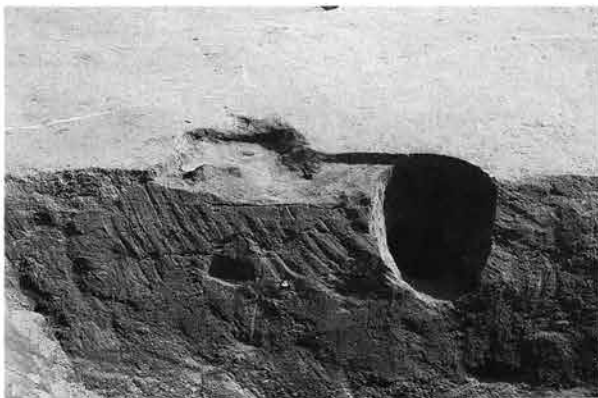
8 E区Ⅱ面193号住居跡掘り方遺物出土状態(南西より)



1 E区Ⅱ面192号住居跡(西より)



2 E区Ⅱ面192号住居跡遺物出土状態(北西より)



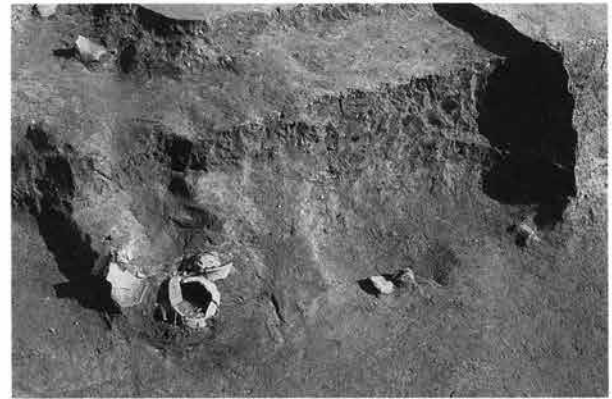
3 E区Ⅱ面194号住居跡(西より)



4 E区Ⅱ面194号住居跡(北より)



5 E区Ⅱ面195・200号住居跡(西より)



6 E区Ⅱ面195号住居跡カマド・貯蔵穴(北西より)



7 E区Ⅱ面195号住居跡遺物出土状態(西より)



8 E区Ⅱ面195・200号住居跡カマド掘り方(西より)

図版16



1 E区Ⅱ面197号住居跡(西より)



2 E区Ⅱ面197号住居跡カマド掘り方(南西より)



3 E区Ⅱ面201号住居跡(東より)



4 E区Ⅱ面201号住居跡カマド(北東より)



5 E区Ⅱ面柱穴群と1号円形周溝遺構(北より)



1 E区Ⅱ面1号円形周溝遺構(西より)



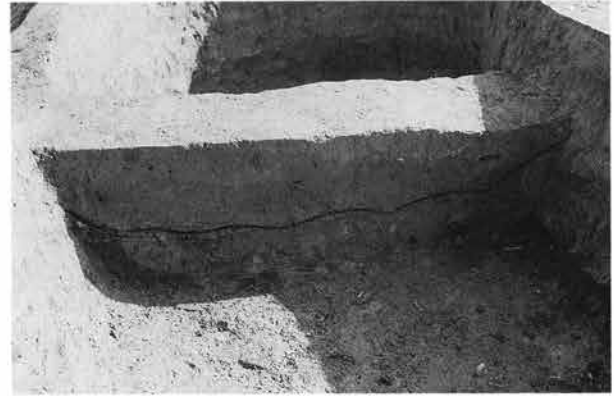
2 E区Ⅱ面108号土坑(西より)



3 E区Ⅱ面110・111号土坑(北西より)

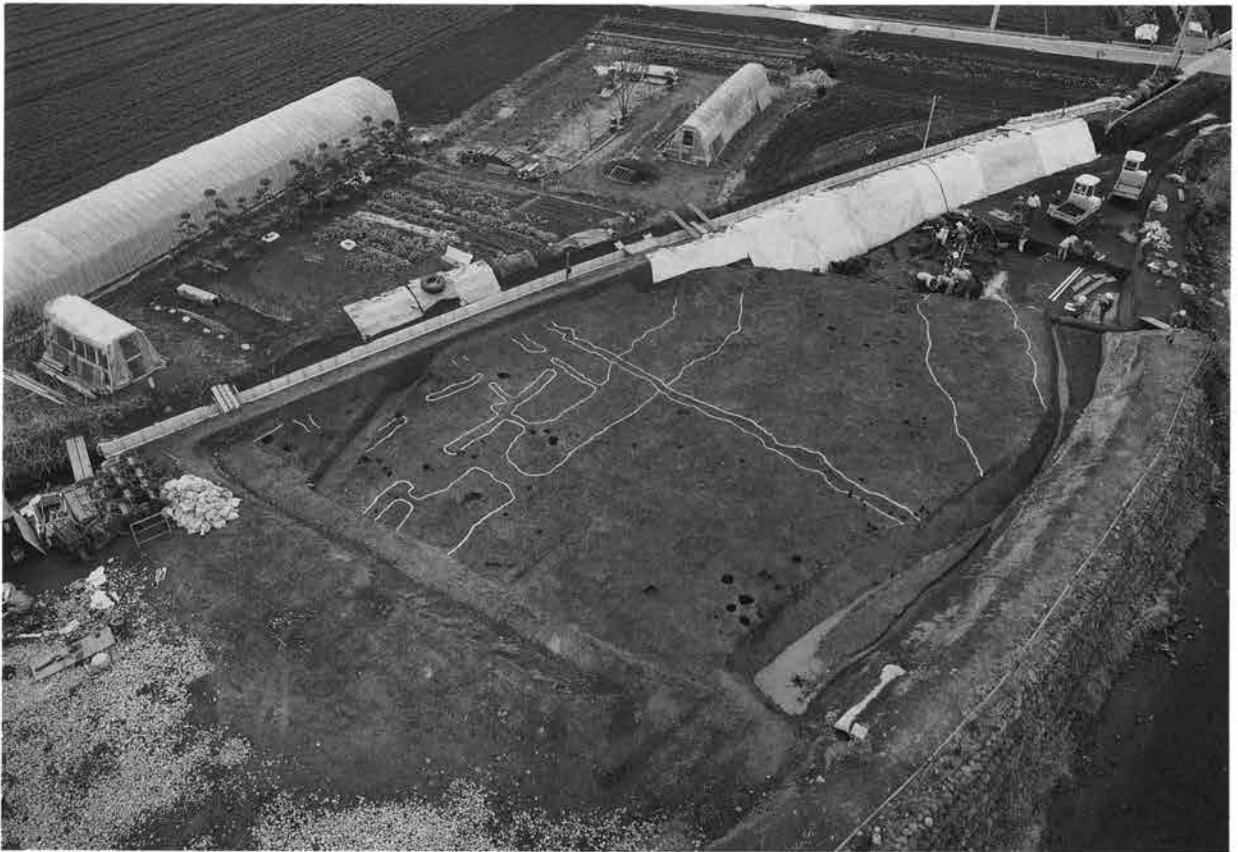


4 E区Ⅱ面109号土坑(東より)



5 E区Ⅱ面109号土坑土層断面(西より)

図版18



1 E区Ⅲ面水田跡全景(北西より)



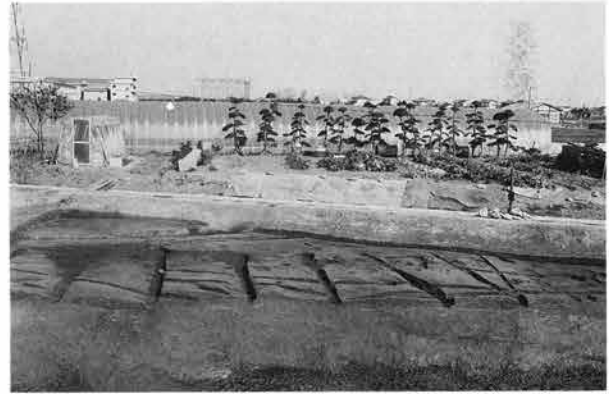
2 E区Ⅲ面水田跡(北西より)



1 E区IV面畠跡全景(北西より)



2 E区IV面畠跡(南より)



3 E区IV面畠跡(西より)



4 E区IV面畠跡(北東より)



5 E区IV面畠跡のS字甕出土状態(北西より)

図版20



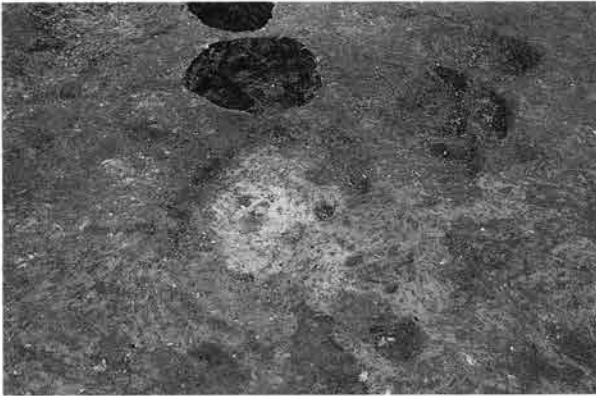
1 E区V面全景(北西より)



2 E区V面台地部住居群全景(北西より)



1 E区V面163・164・205号住居跡(南より)



2 E区V面205号住居跡1号炉(南より)



3 E区V面205号住居跡出入口柱穴(南より)



4 E区V面103号溝(西より)



5 E区V面112号土坑(西より)

図版22



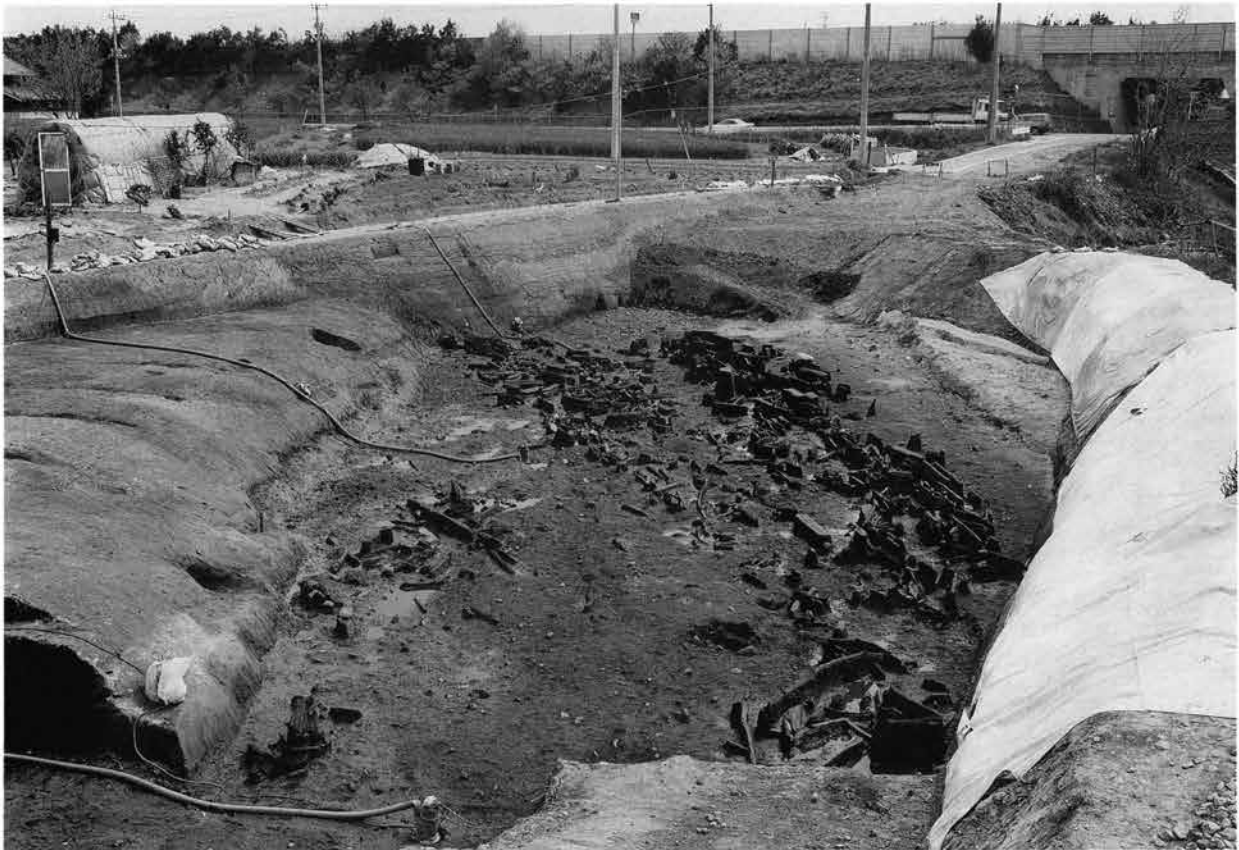
1 E区V面2号河川跡木器出土状態全景(北東より)



2 E区V面2号河川跡河道全景(南より)



1 E区V面2号河川跡木器出土状態全景(南より)



2 E区V面2号河川跡木器出土状態全景(北より)

図版24



1 E区V面2-2号河川跡
東西土層断面(南より)



2 E区V面2-1号河川跡
東西土層断面(南より)



3 E区V面2号河川跡
南北土層断面(西より)



1 E区V面2-2号河川跡木器出土状態全景(北より)



2 E区V面2-2号河川跡木器出土状態全景(南より)



1 E区V面2-2号河川跡南半部木器出土状態(西より)



2 E区V面2-2号河川跡北半部木器出土状態(南東より)



1 E区V面2-2号河川跡南端部木器出土状態(西より)



2 E区V面2-2号河川跡中央部木器出土状態(東より)

図版28



1 E区V面2-2号河川跡の
の板材や分割材の出土
状態(2E68グリット周
辺、南東より。)



2 E区V面2-2号河川跡
の板材の出土状態(2D
67グリット周辺、東よ
り。)



3 E区V面2-2号河川跡
の容器・糸巻・鋏・分割
材の出土状態(2D68グ
リット周辺、北東よ
り。)

- 1 E区V面2-2号河川跡の丸木弓と鋤の出土状態(2D70グリット周辺、東より。)



- 2 E区V面2-2号河川跡の長柄鋤の出土状態(2D69グリット周辺、東より。)



- 3 E区V面2-2号河川跡の鋤(未製品)の出土状態(2C69グリット周辺、北より。)





1 E区V面2-2号河川跡の斧柄の出土状態(2E69グリット周辺、南より。)



2 E区V面2-2号河川跡の分割材の出土状態(2E70グリット周辺、南より。)



3 E区V面2-2号河川跡の丸木弓の出土状態(2E69グリット周辺、東より。)

- 1 E区V面2-2号河川跡の環状金属器の出土状態(2D68グリット、東より。)



- 2 E区V面2-2号河川跡のシカ下顎の出土状態(2D70グリット、西より。)



- 3 E区V面2-2号河川跡のイノシシ頭骨とシカ角の出土状態(2E70グリット、東より。)



図版32



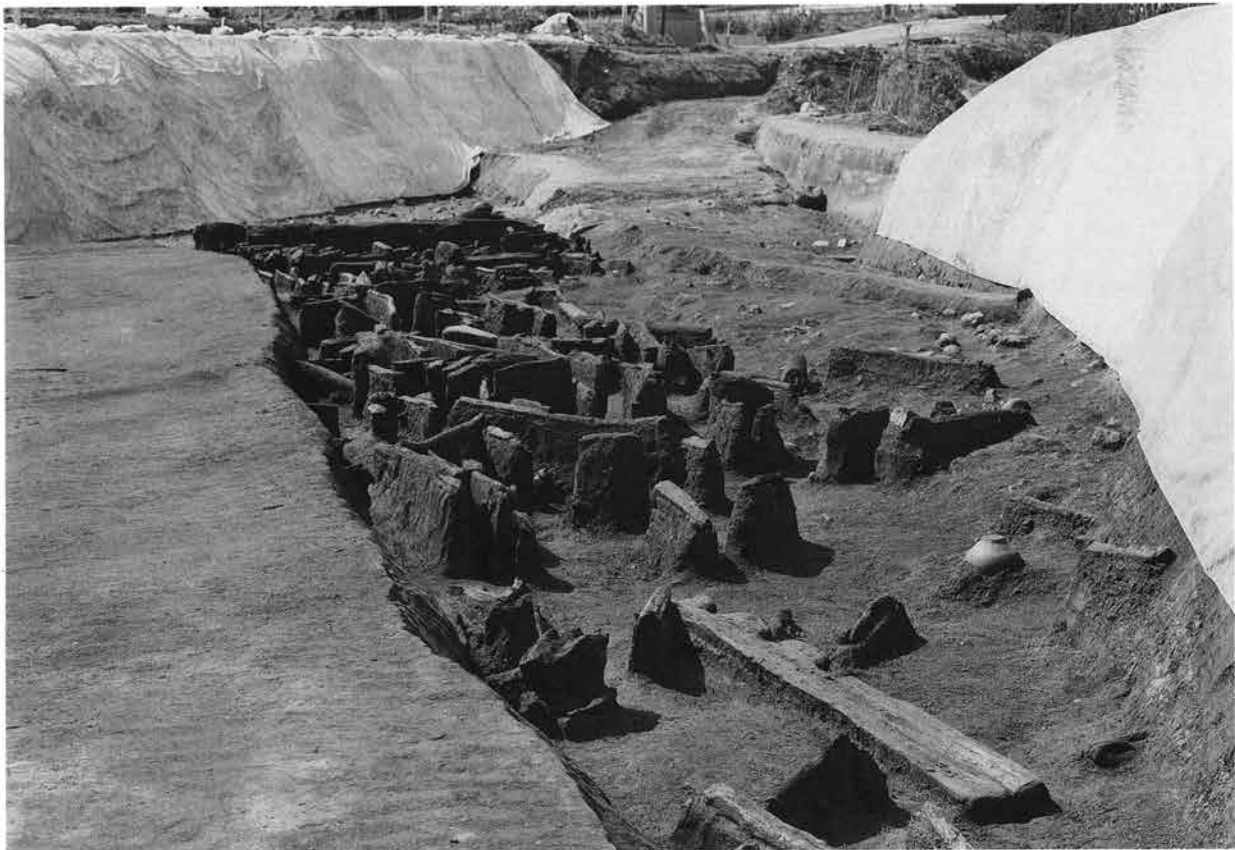
1 E区V面2-1号河川跡木器出土状態全景(南より)



2 E区V面2-1号河川跡河道全景(南より)



1 E区V面2-1号河川跡木器出土状態全景(南より)



2 E区V面2-1号河川跡木器出土状態全景(北より)

図版34



1 E区V面2-1号河川跡
の木橋の出土状態(2E
69グリット、西より。)



2 E区V面2-1号河川跡
の木橋の出土状態(2E
69グリット、北東よ
り。)



3 E区V面2-1号河川跡
の木橋に打ち込まれた
杭の出土状態(2E69グ
リット、南より。)

- 1 E区V面2-1号河川跡
の自然木の出土状態(2
E70グリット周辺、南
東より。)



- 2 E区V面2-1号河川跡
の建築材の出土状態(2
E66グリット周辺、南
西より。)



- 3 E区V面2-1号河川跡
の堅白の出土状態(2E
69グリット周辺、南東
より。)



図版36



1 E区V面2-1号河川跡の長柄又鋤と分割材の出土状態(2E68グリット周辺、北西より。)



2 E区V面2-1号河川跡の又鋤の出土状態(2E67グリット周辺、東より。)



3 E区V面2-1号河川跡の堅杵の出土状態(2E68グリット周辺、南西より。)



1 F区 I・II面全景(北より)



2 F区 I・II面全景(南より)

図版38



1 F区I・II面北半部全景(西より)



2 F区I・II面中央部全景(西より)



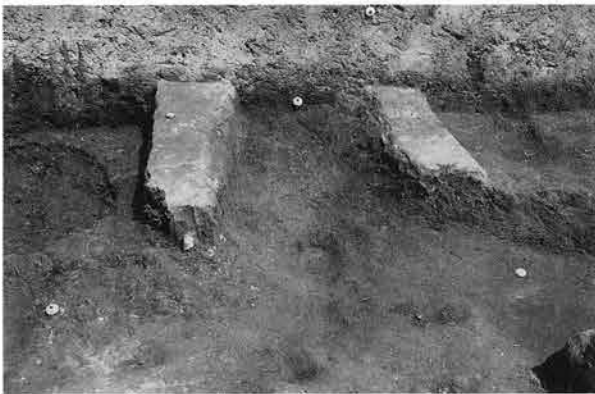
3 F区I・II面南半部全景(西より)



1 F区Ⅱ面209・210号住居跡(西より)



2 F区Ⅱ面211・212・215・236号住居跡(西より)



3 F区Ⅱ面211号住居跡カマド(西より)



4 F区Ⅱ面212号住居跡カマド(西より)



5 F区Ⅱ面213号住居跡(西より)



6 F区Ⅱ面213号住居跡カマド(西より)



7 F区Ⅱ面213号住居跡貯蔵穴(西より)



8 F区Ⅱ面213号住居跡北東隅の落ち込み(西より)

図版40



1 F区II面214号住居跡(西より)



2 F区II面214号住居跡カマド(西より)



3 F区II面214号住居跡貯蔵穴(西より)



4 F区II面216~219・220・239・240号住居跡(西より)



5 F区II面216号住居跡カマド(西より)



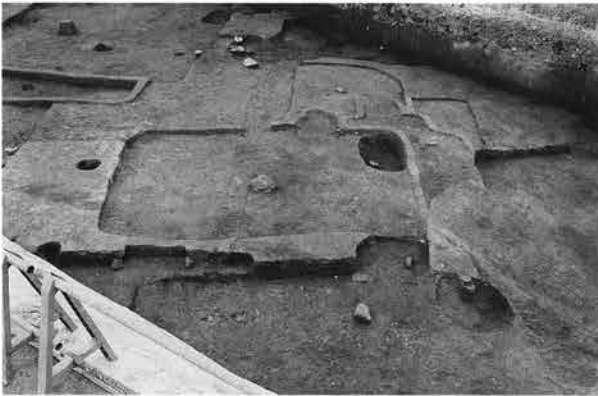
6 F区II面216号住居跡貯蔵穴(西より)



7 F区II面216~218号住居跡掘り方(北西より)



8 F区II面220・239・240号住居跡掘り方(西より)



1 F区Ⅱ面221~225・227・241・242号住居跡(西より)



2 F区Ⅱ面221号住居跡カマド(西より)



3 F区Ⅱ面222・225号住居跡カマド(西より)



4 F区Ⅱ面223号住居跡カマド(南西より)



5 F区Ⅱ面224号住居跡カマド(西より)



6 F区Ⅱ面221~225号住居跡掘り方(西より)



7 F区Ⅱ面228号住居跡(西より)



8 F区Ⅱ面228号住居跡貯蔵穴(西より)

図版42



1 F区Ⅱ面229～233号住居跡(西より)



2 F区Ⅱ面229号住居跡カマド(西より)



3 F区Ⅱ面229号住居跡貯蔵穴(西より)



4 F区Ⅱ面231号住居跡カマド(南西より)



5 F区Ⅱ面231号住居跡貯蔵穴(西より)



6 F区Ⅱ面233号住居跡カマド(西より)



7 F区Ⅱ面229～233号住居跡掘り方(西より)



8 F区Ⅱ面114号土坑(西より)



1 F区Ⅲ面水田跡全景(南より)



2 F区Ⅲ面水田跡全景(北より)

図版44



1 F区V面全景(北より)



2 F区V面全景(南西より)

- 1 F区V面243・245～
247・252号住居跡(南よ
り)



- 2 F区V面246号住居跡
遺物出土状態(西より)



- 3 F区V面252号住居跡
遺物出土状態(南東よ
り)



図版46



1 F区V面234・244・250・253号住居跡(西より)

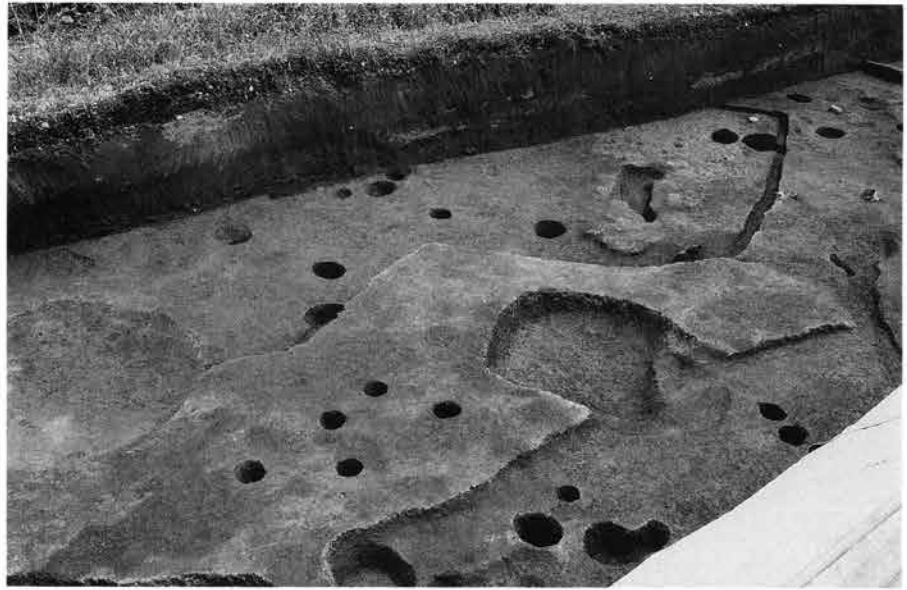


2 F区V面251号住居跡(東より)



3 F区V面251号住居跡炉(南より)

1 F区V面254~256号住居跡(北より)



2 F区V面248・249・256号住居跡(東より)



3 F区V面256号住居跡シカ角出土状態(南西より)



図版48



1 F区V面257・259号住居跡(西より)



2 F区V面257号住居跡遺物出土状態(西より)



3 F区V面257号住居跡炉(東より)

1 F区V面235・258～260号住居跡(北より)



2 F区V面261～263号住居跡(北より)



3 F区V面115号土坑(東より)



図版50



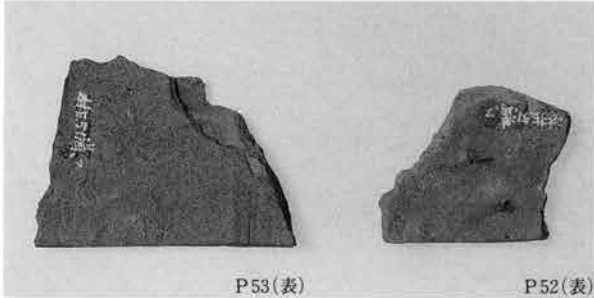
P49



P50

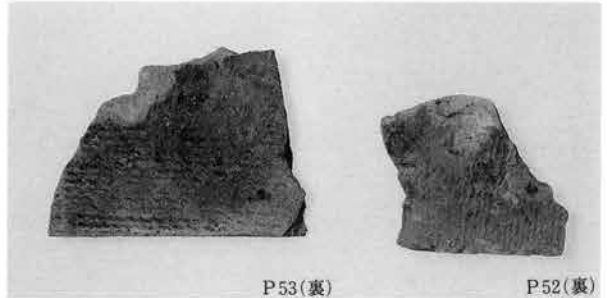


P51



P53(表)

P52(表)



P53(裏)

P52(裏)

1 E区I面51号溝出土遺物



P54



P55(表)



P55(裏)

2 E区I面1号溜井出土遺物



P56



P57



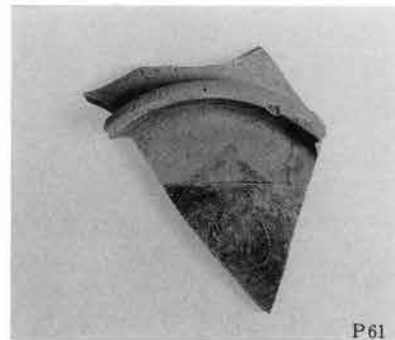
P58



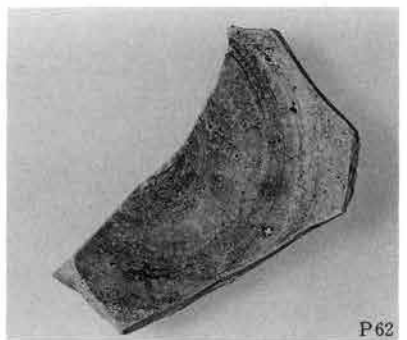
P59



P60

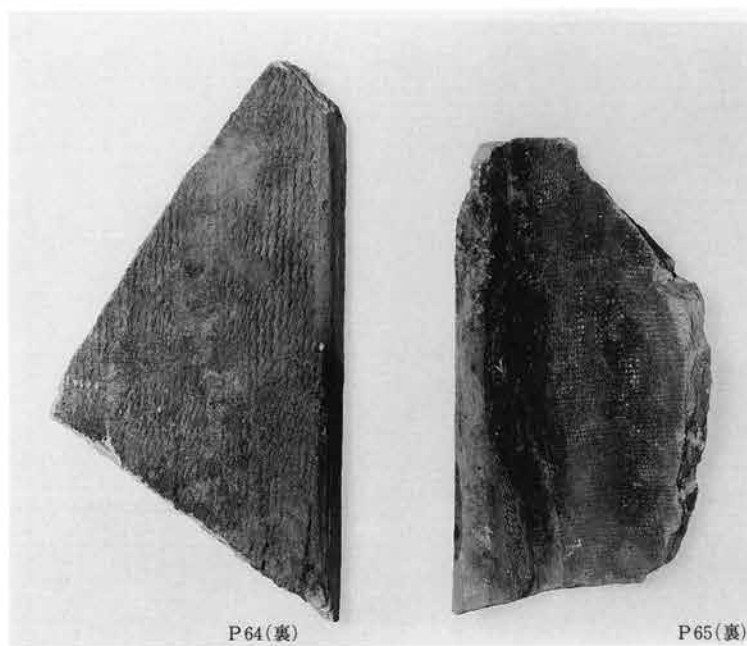
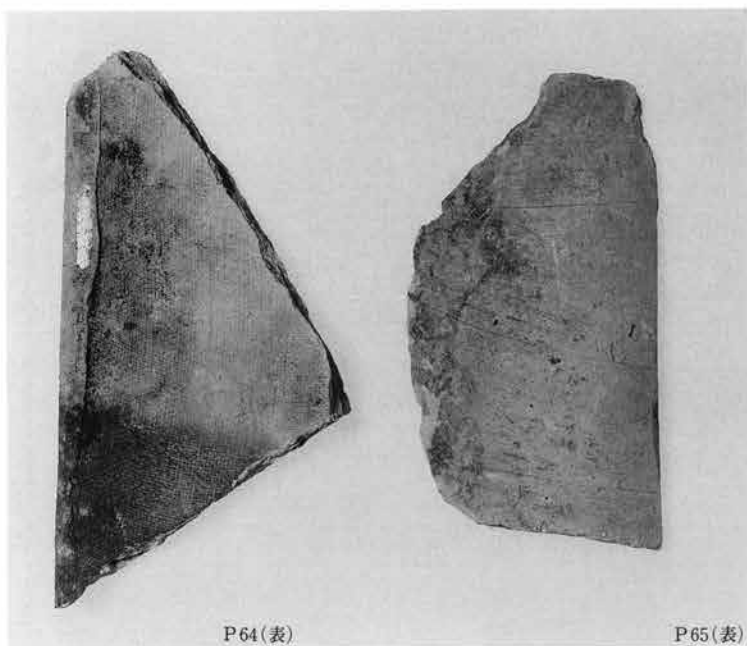


P61



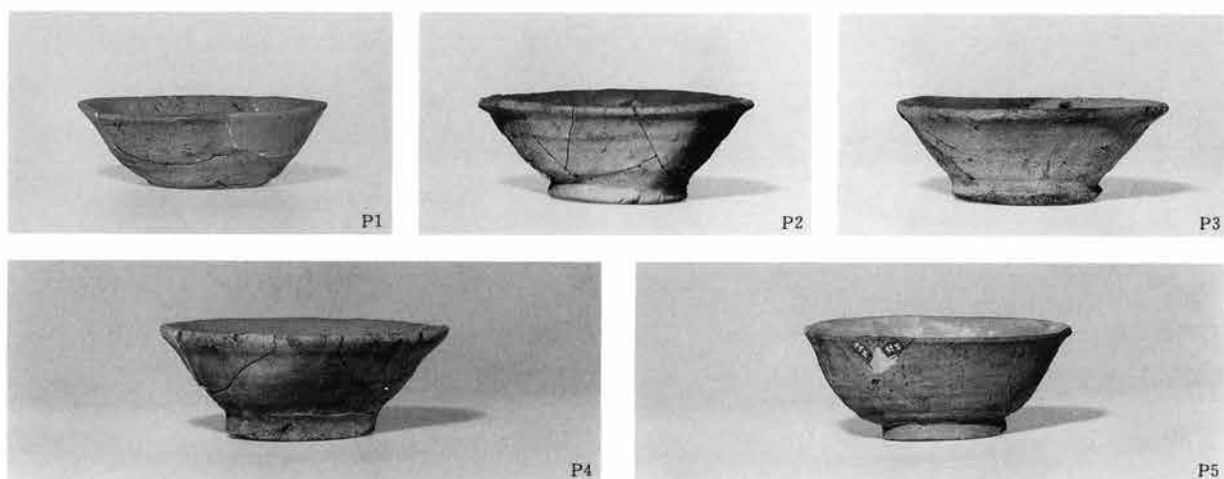
P62

3 E区I面3号河川跡出土遺物(1)

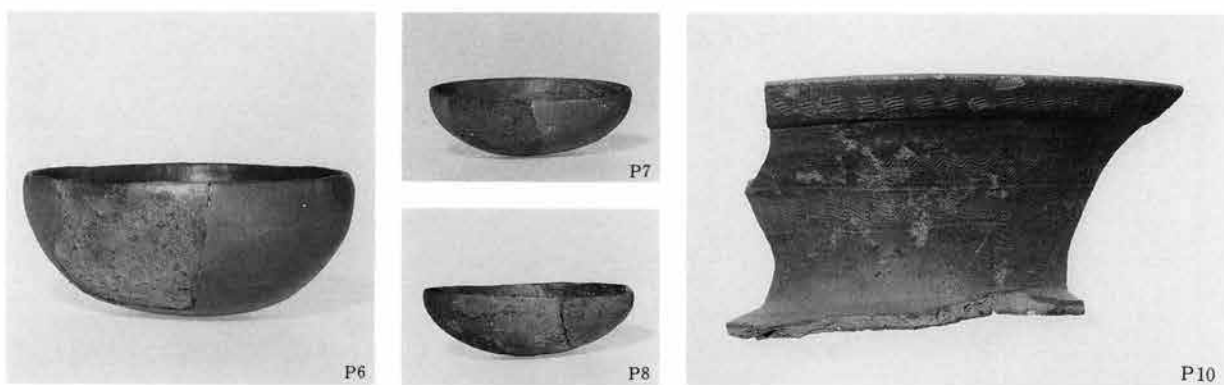


1 E区I面3号河川跡出土遺物(2)

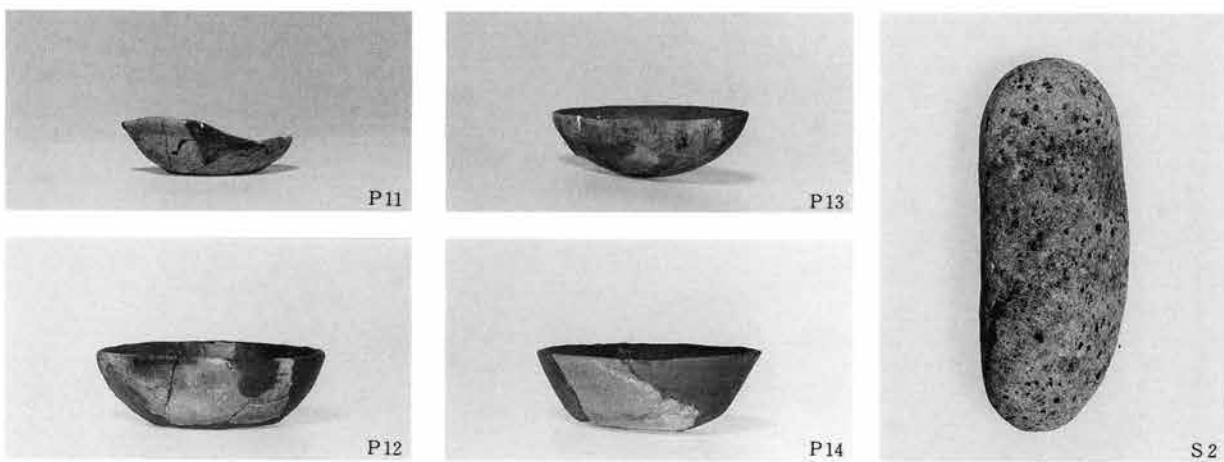
图版52



1 E区Ⅱ面179号住居跡出土遺物



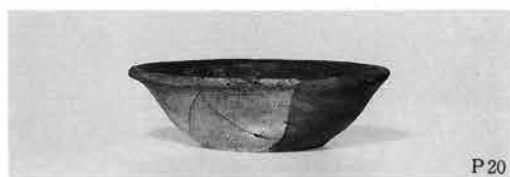
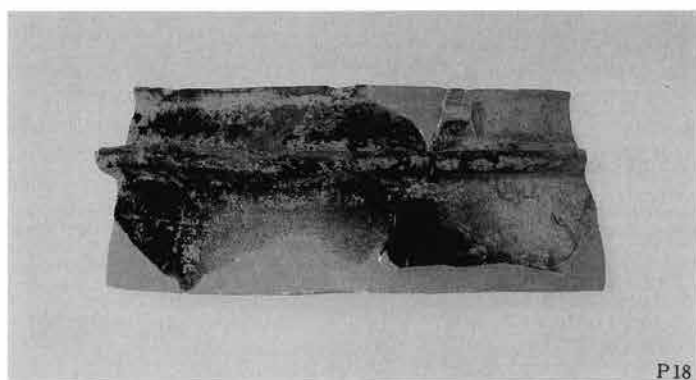
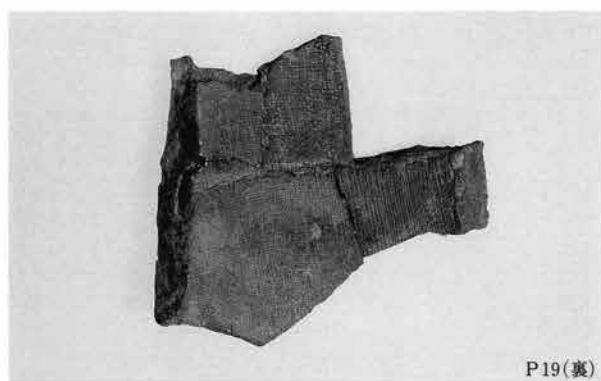
2 E区Ⅱ面181·183号住居跡出土遺物



3 E区Ⅱ面184·185号住居跡出土遺物



4 E区Ⅱ面186号住居跡出土遺物

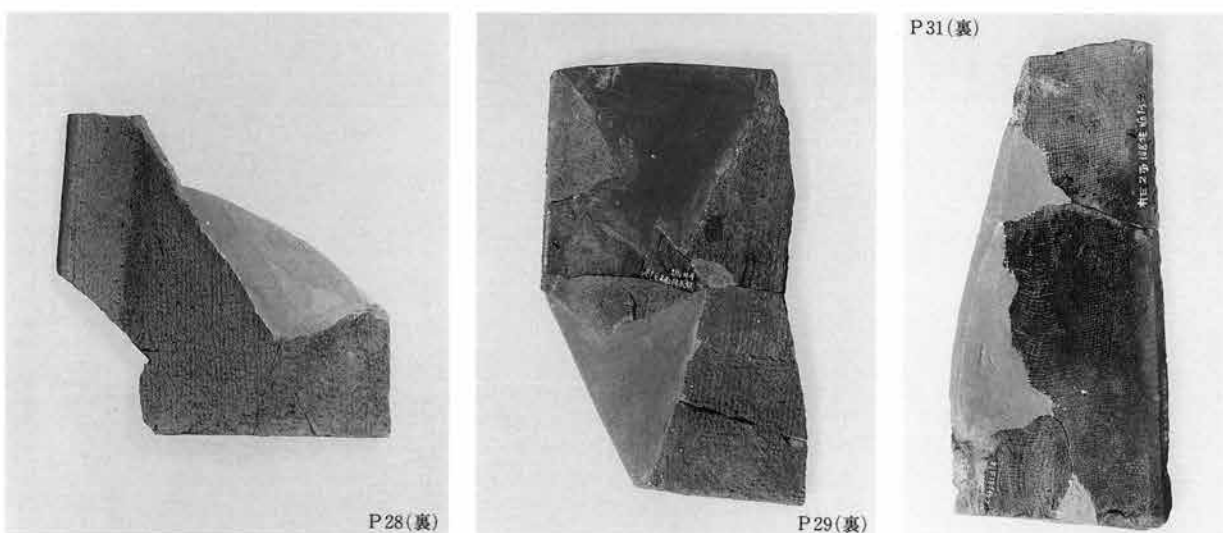
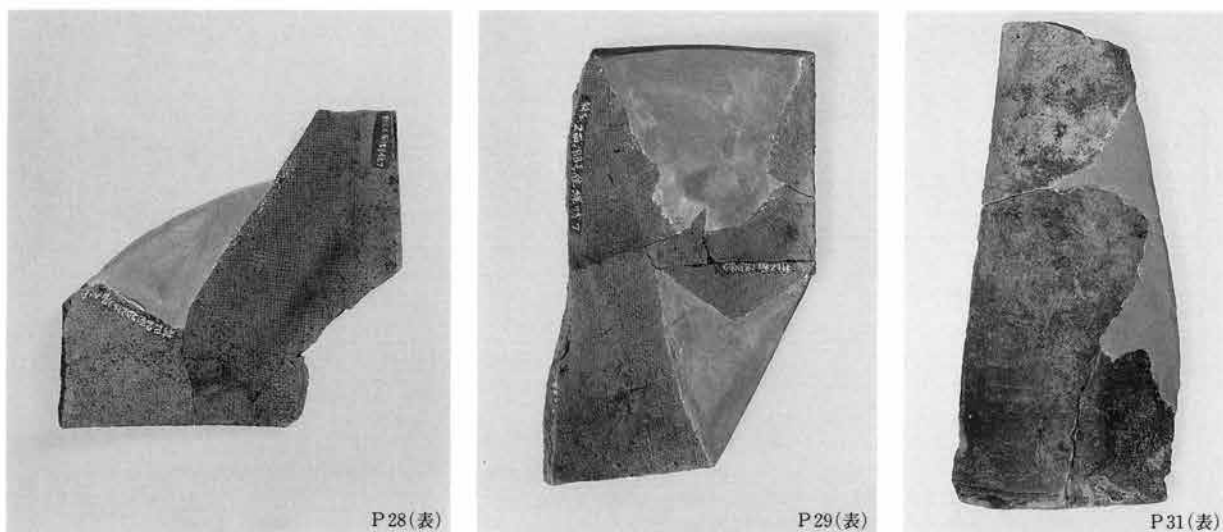


1 E区Ⅱ面186·187·202号住居跡出土遺物

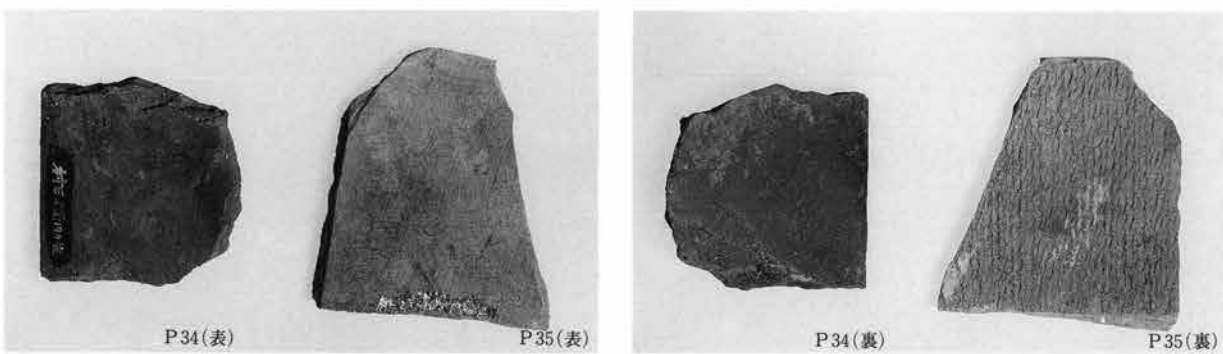


2 E区Ⅱ面188号住居跡出土遺物(1)

图版54



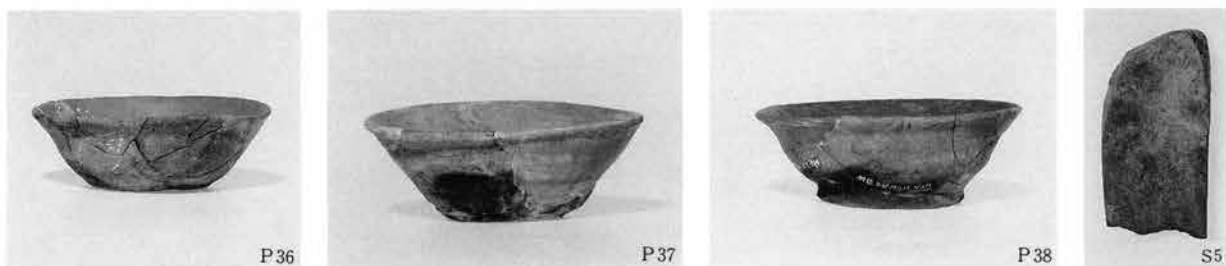
1 E区Ⅱ面188号住居跡出土遺物(2)



2 E区Ⅱ面190号住居跡出土遺物



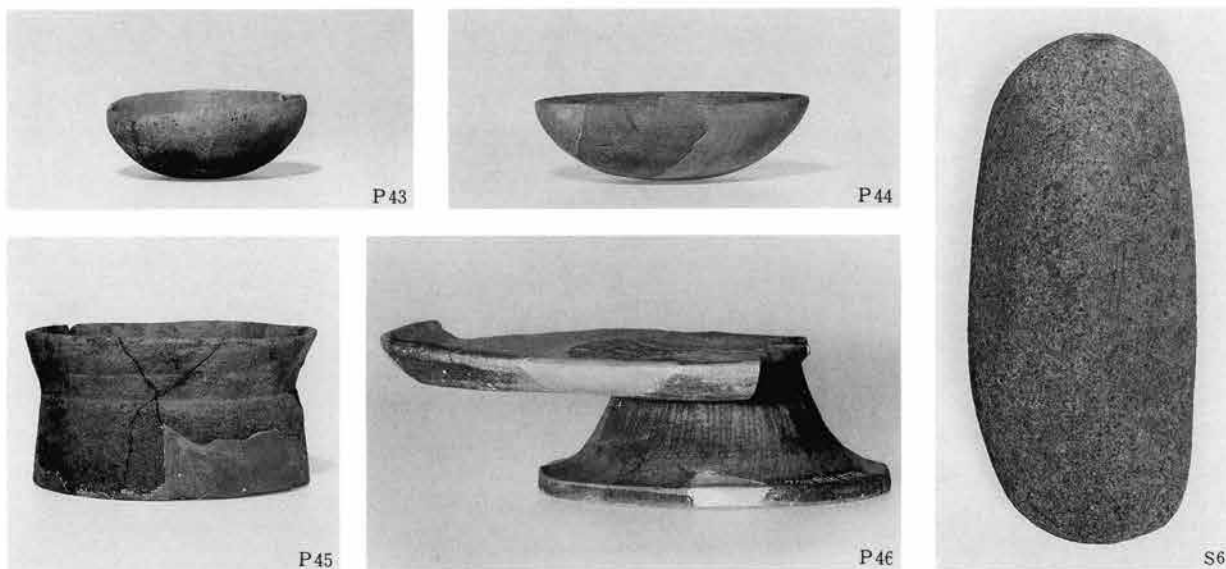
3 E区Ⅱ面189·201号住居跡出土遺物



1 E区Ⅱ面192号住居跡出土遺物



2 E区Ⅱ面193·196号住居跡出土遺物



3 E区Ⅱ面195·197号住居跡出土遺物



4 E区Ⅳ面畠跡出土遺物

图版56



P78

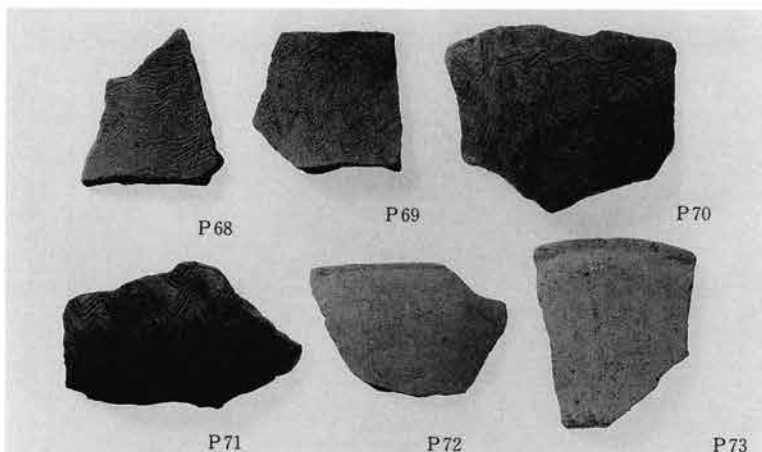


P79



S10

1 E区V面163号住居跡出土遺物



P68

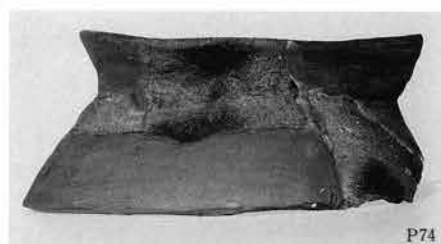
P69

P70

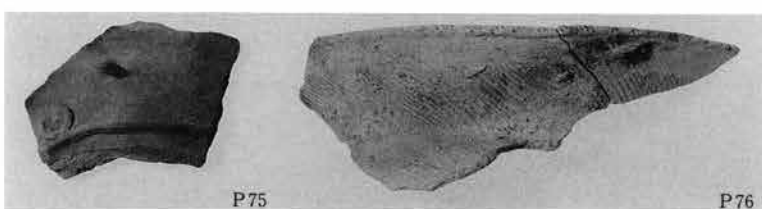
P71

P72

P73



P74



P75

P76

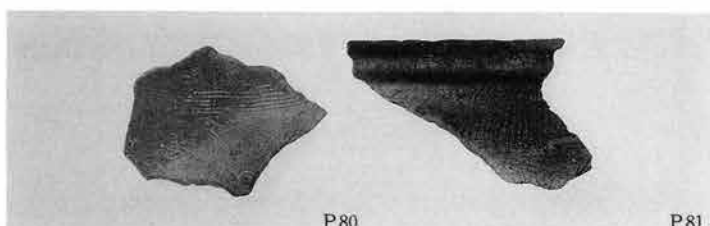


S9

2 E区V面205号住居跡出土遺物



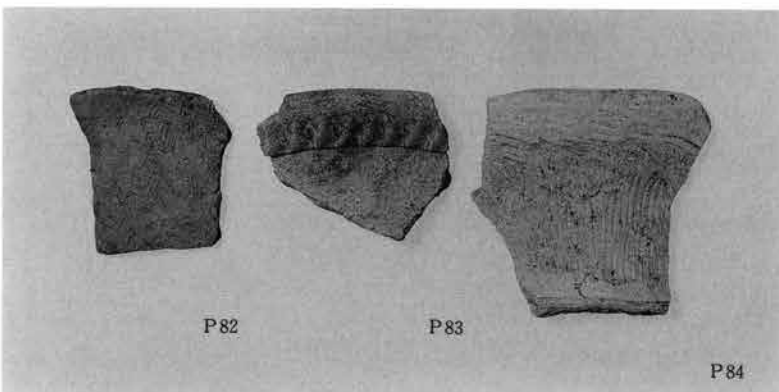
P77



P80

P81

3 E区V面207号住居跡・113号土坑出土遺物



P82

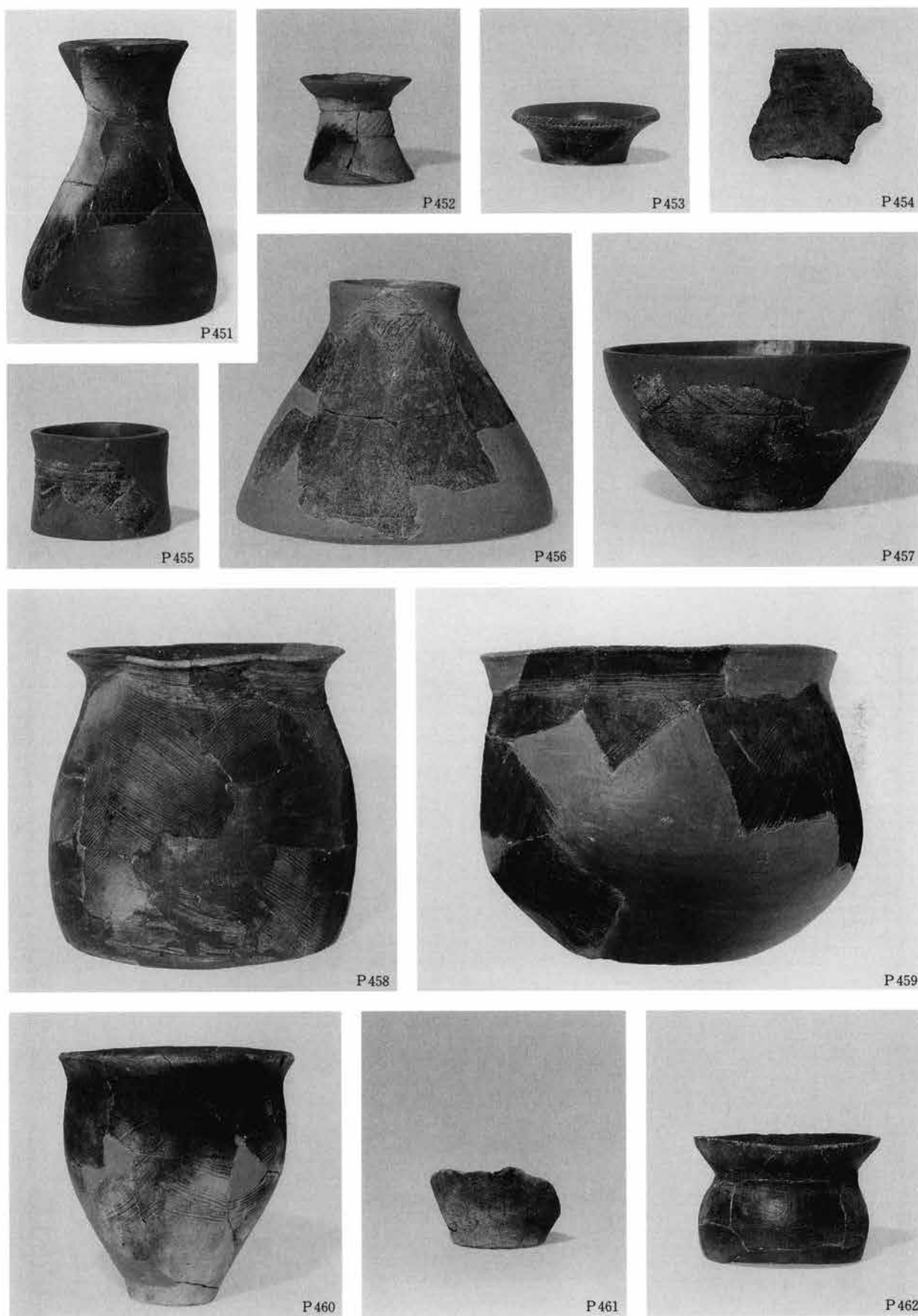
P83

P84

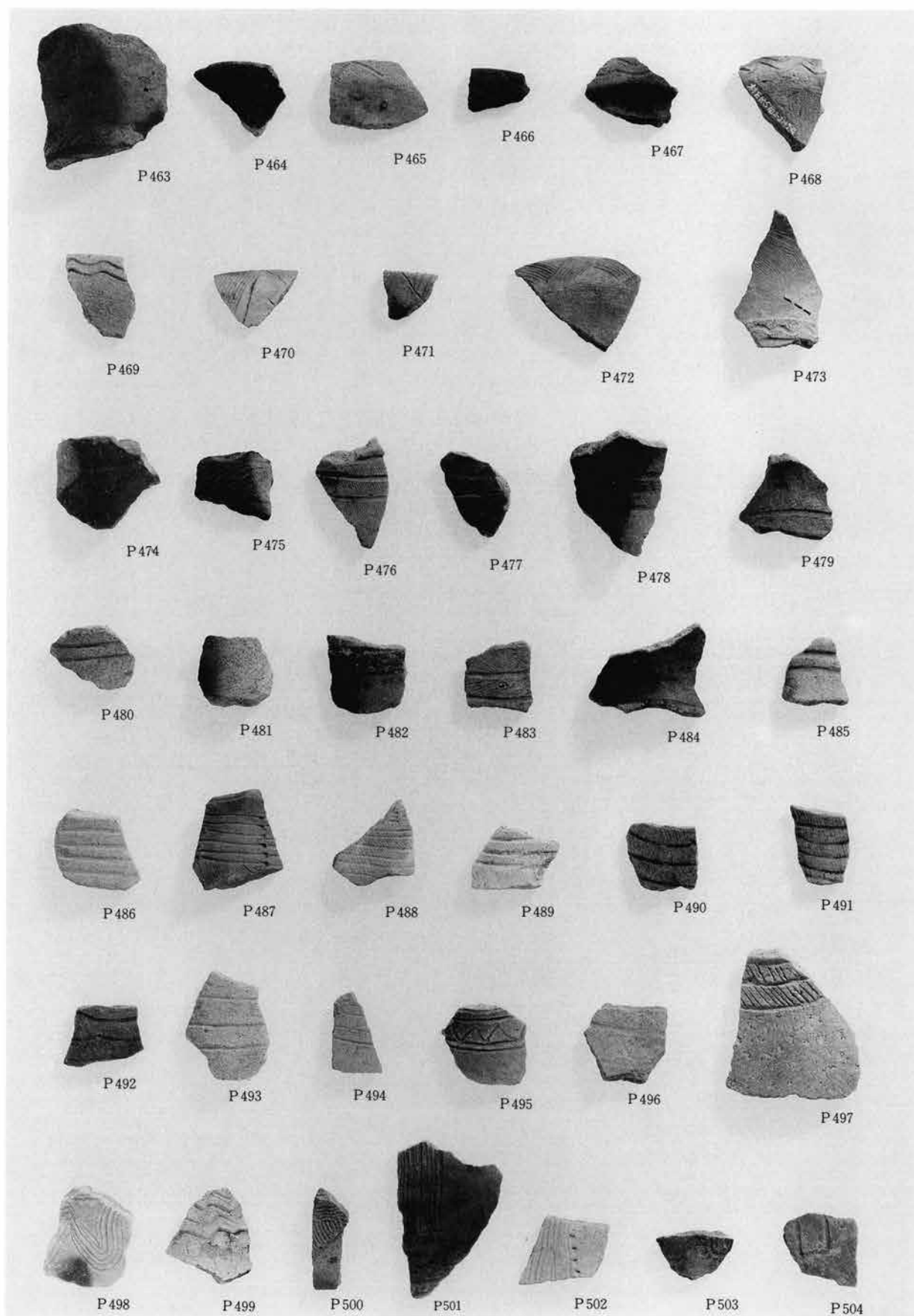


P85

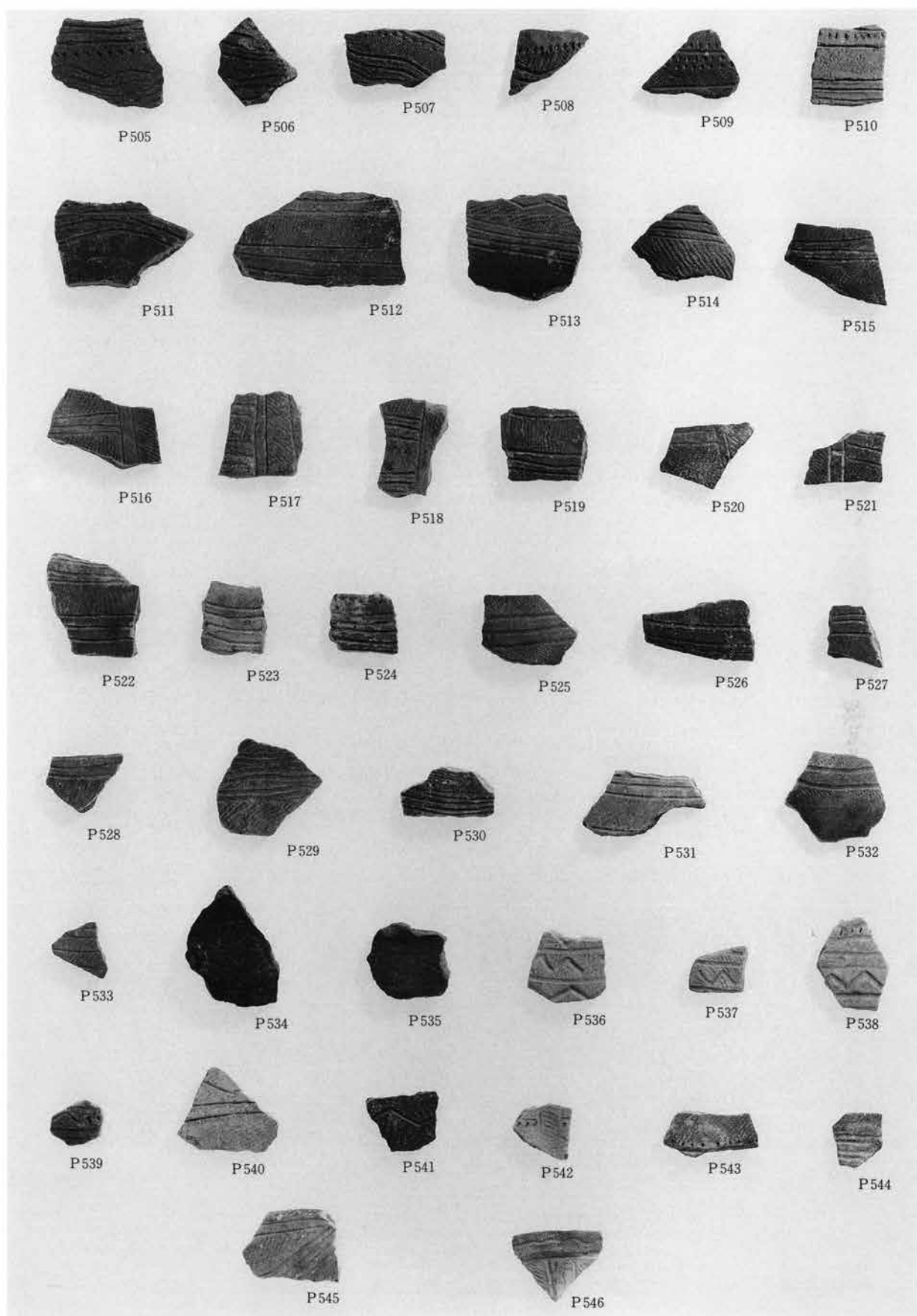
4 E区V面103号溝出土遺物



1 2-2号河川跡下層出土土器(1)

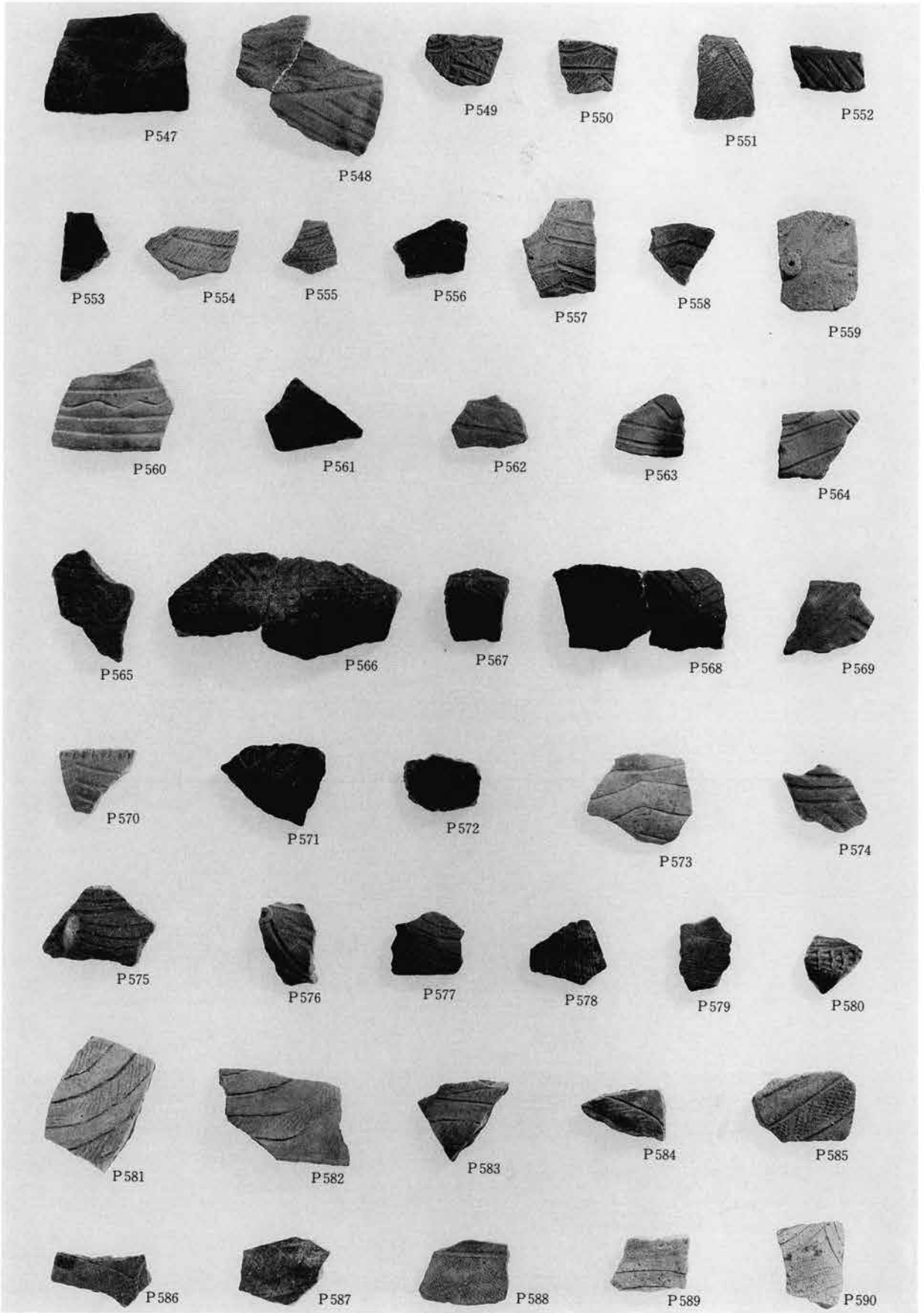


1 2-2号河川跡下層出土土器(2)

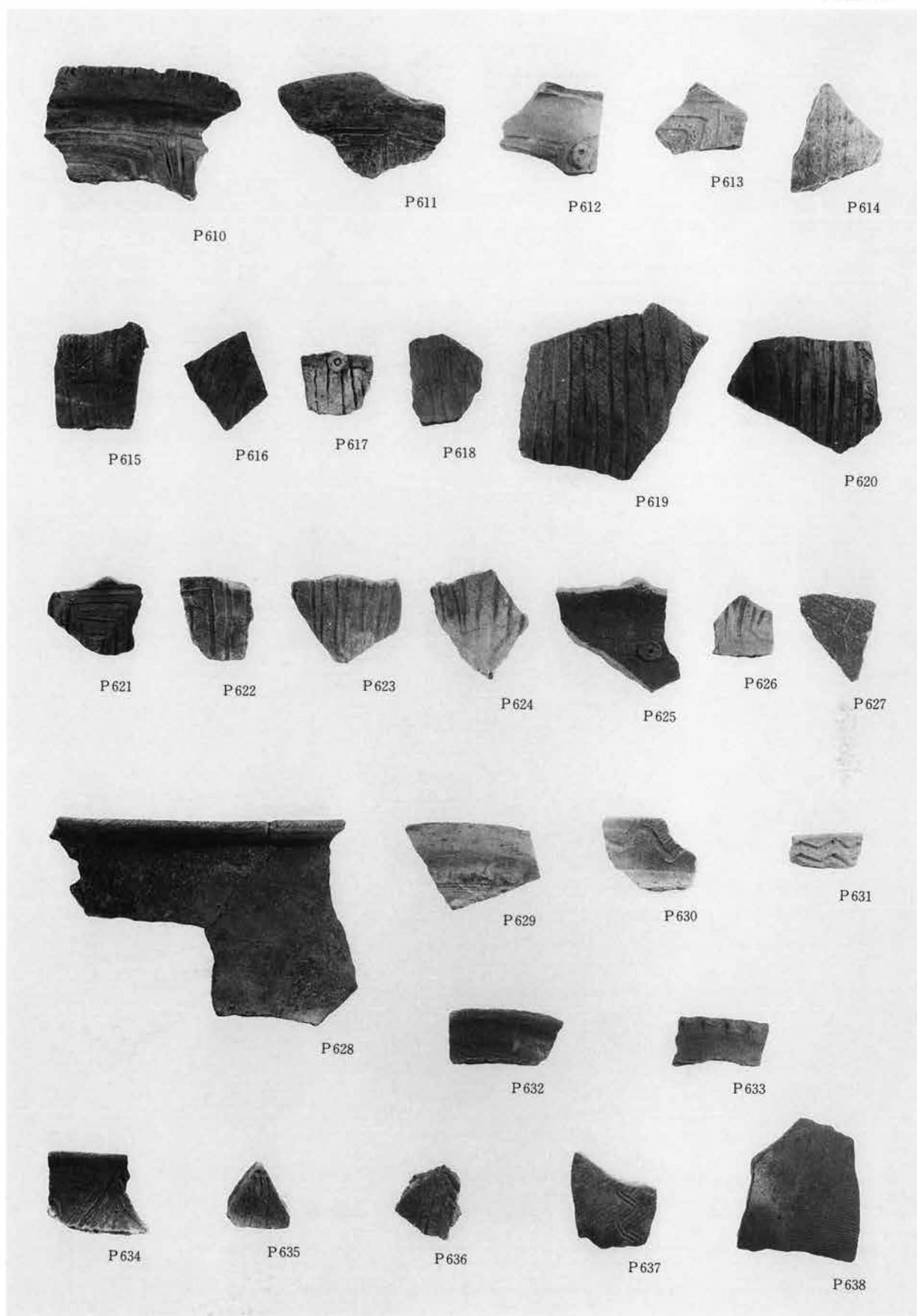


1 2-2号河川跡下層出土土器(3)

图版60

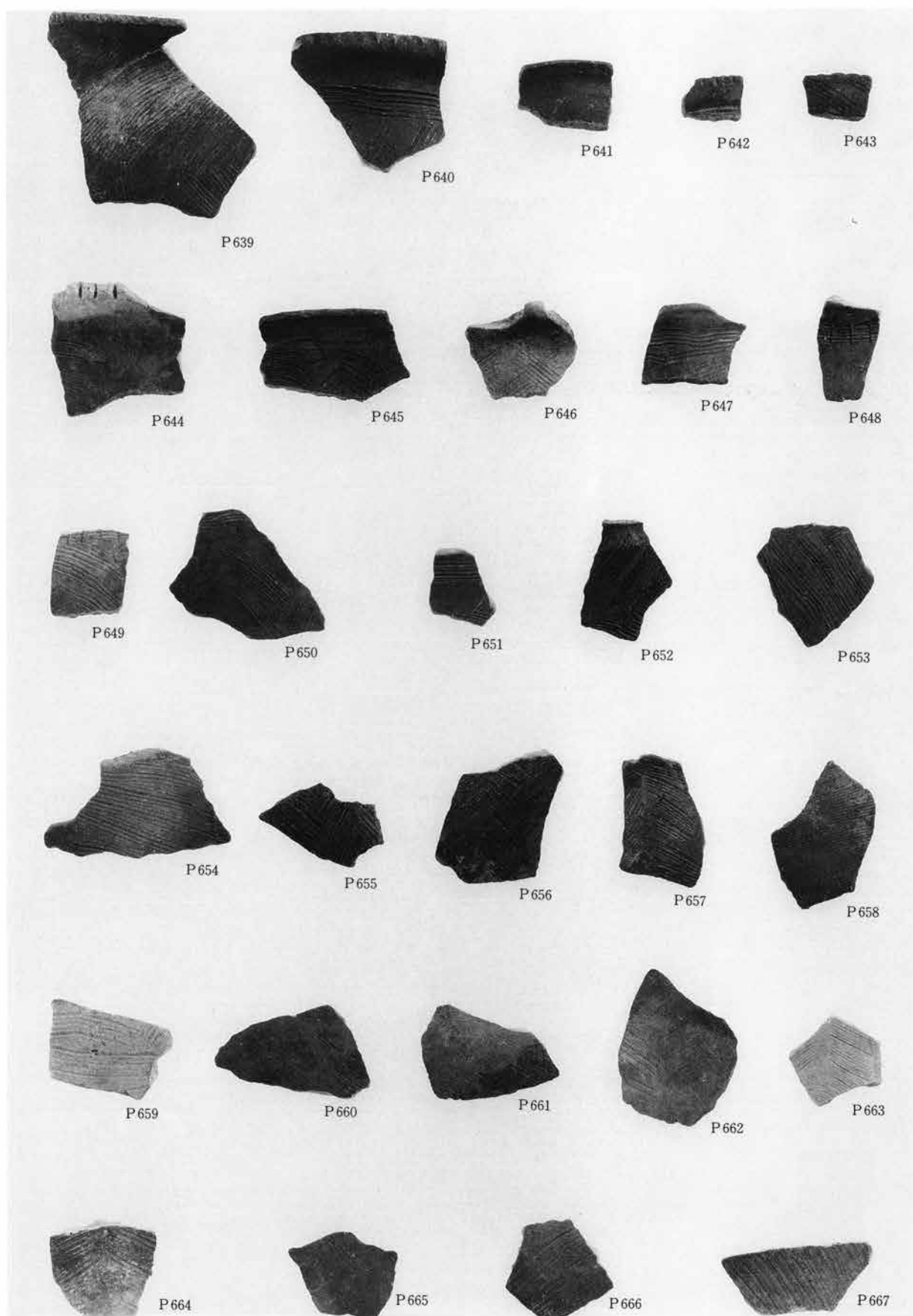


1 2-2号河川跡下層出土土器(4)

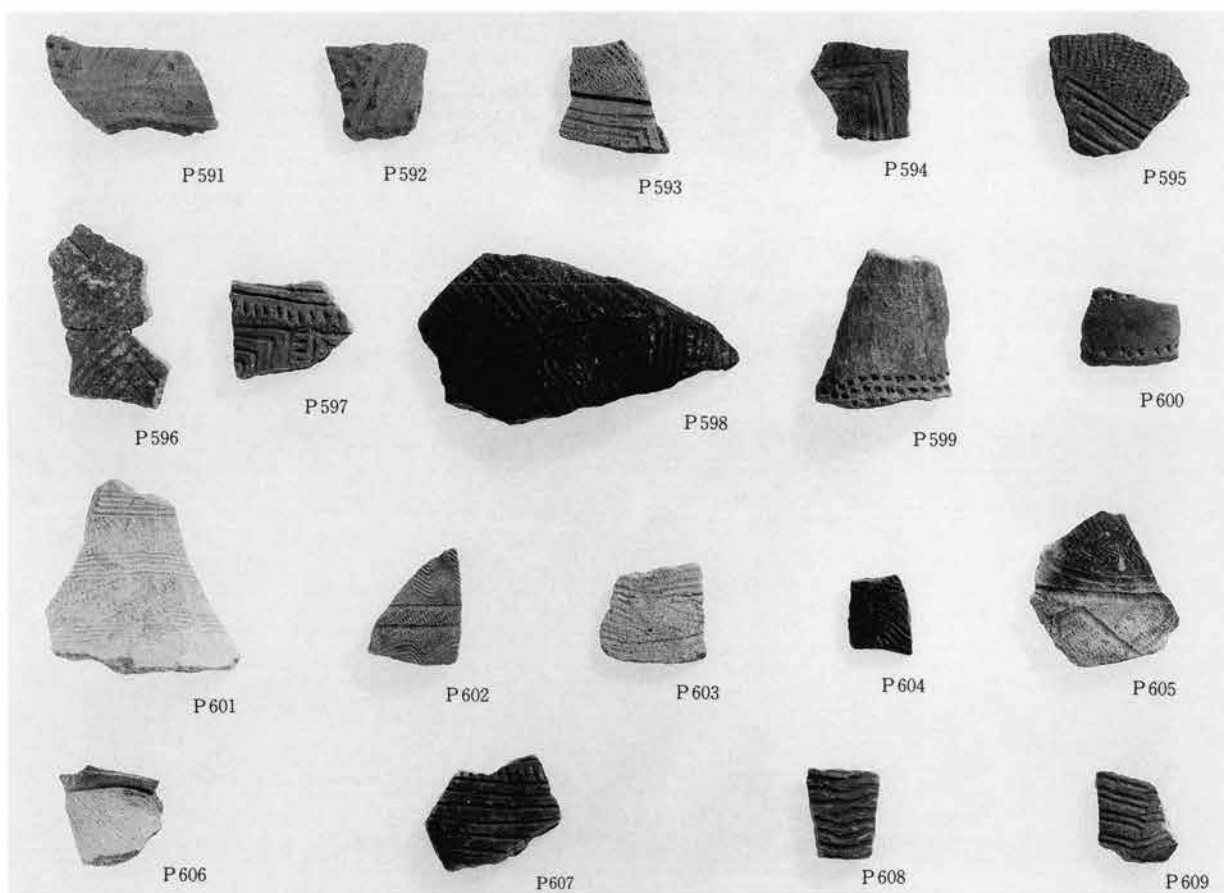


1 2-2号河川跡下層出土土器(5)

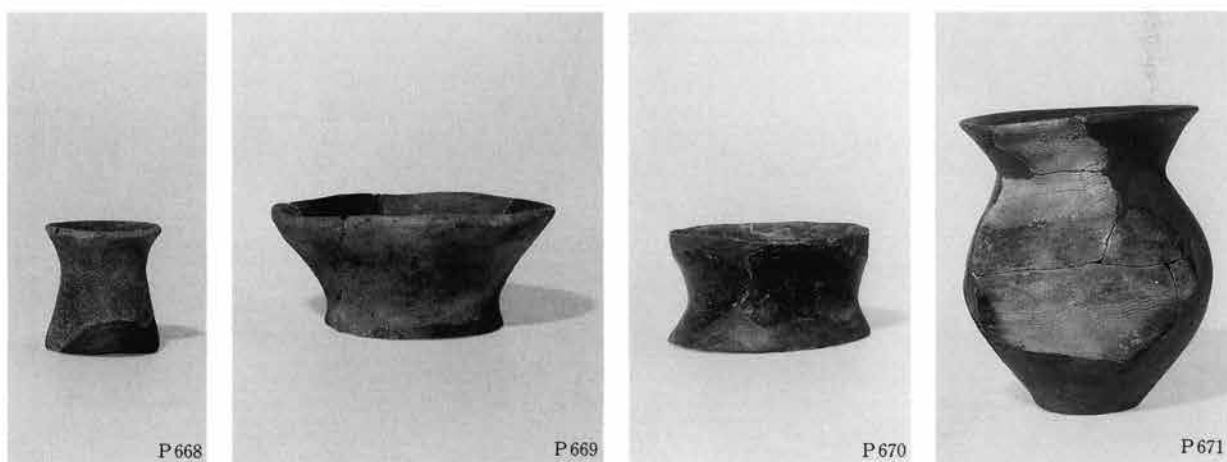
图版62



1 2-2号河川跡下層出土土器(6)

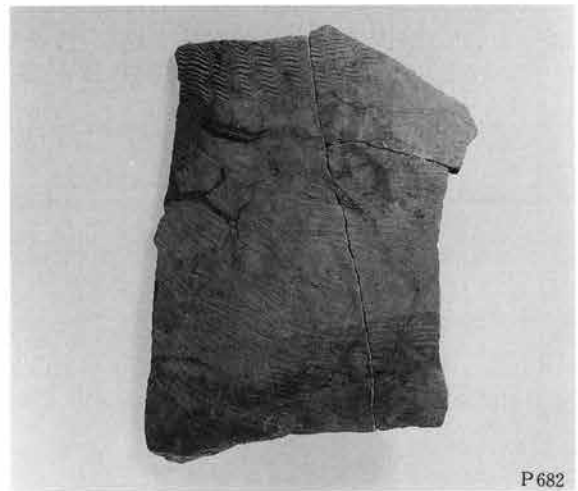
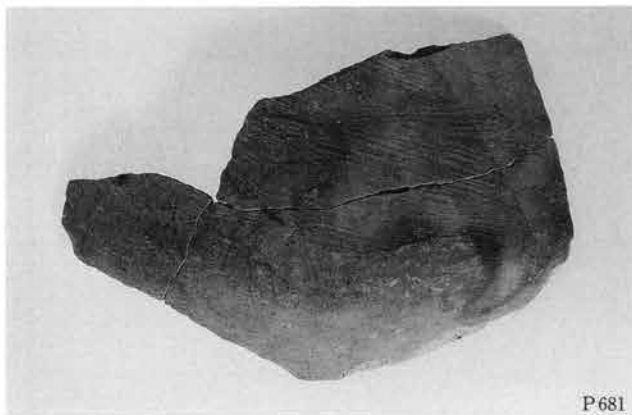
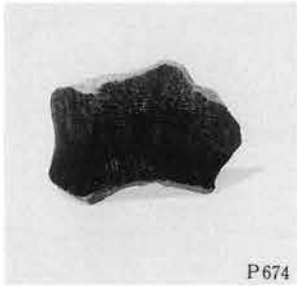


1 2-2号河川跡下層出土土器(7)

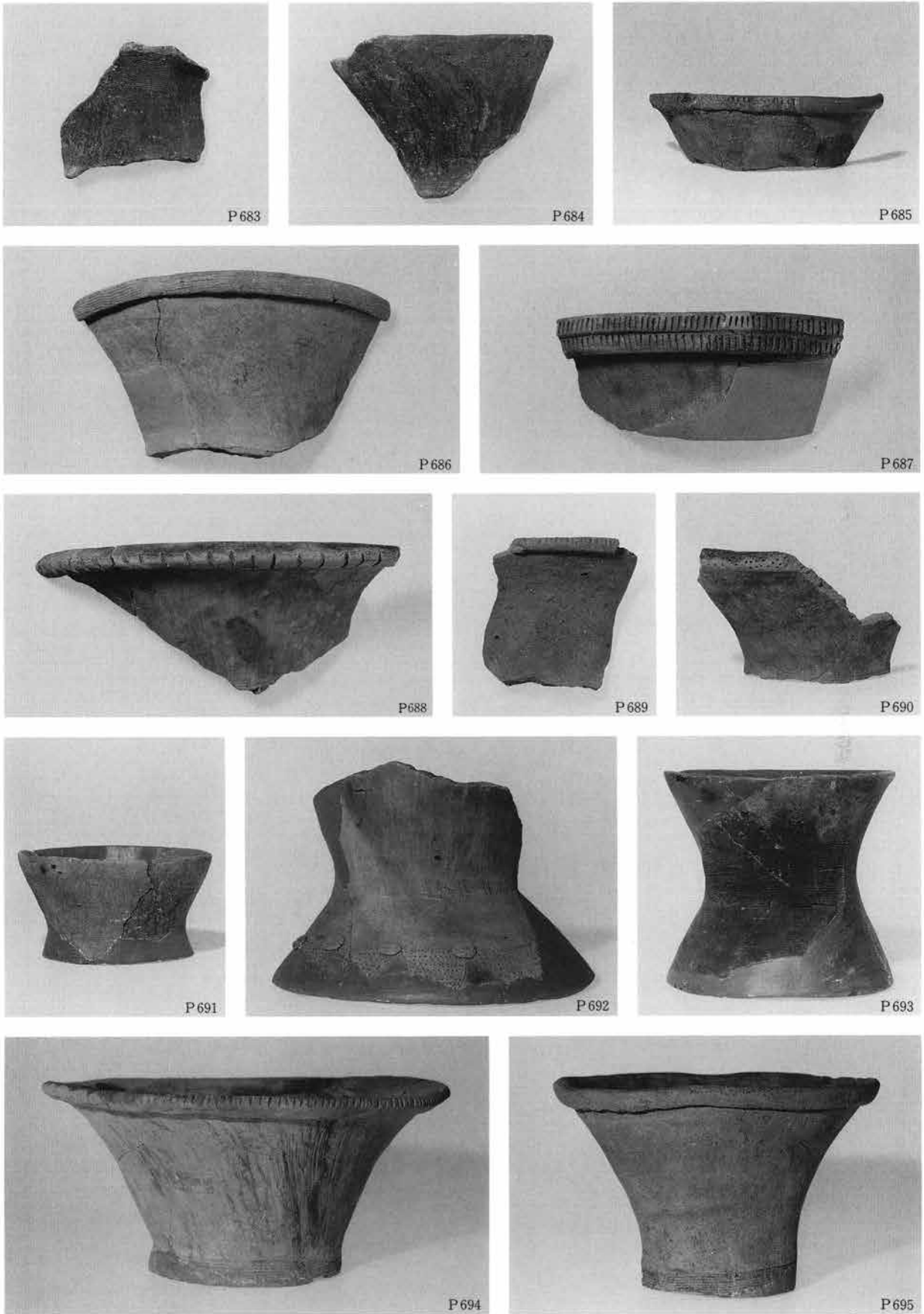


2 2-2号河川跡下層出土土器(8)

図版64

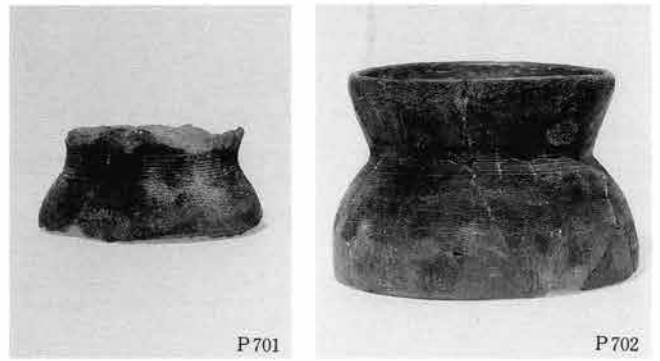
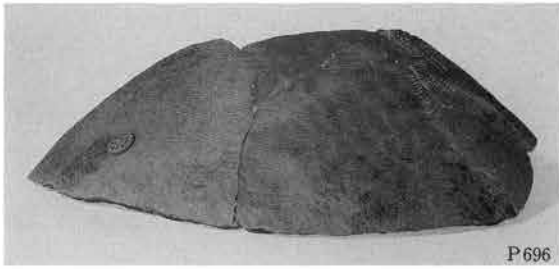


1 2-2号河川跡下層出土土器(9)

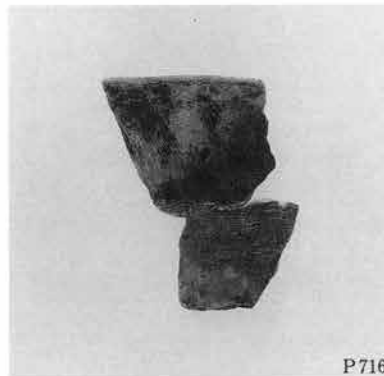
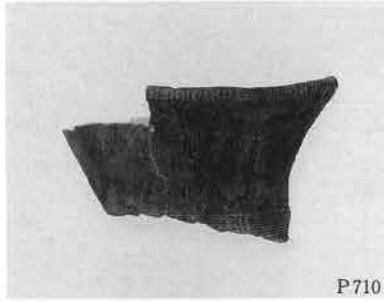
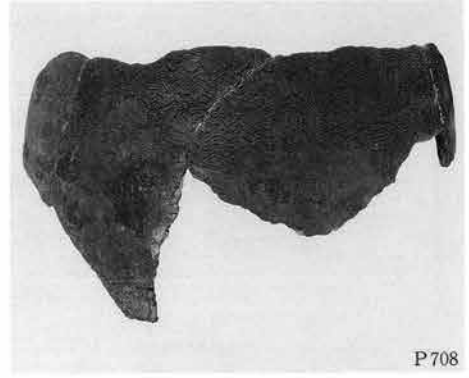


1 2-2号河川跡下層出土土器(10)

図版66



1 2-2号河川跡下層出土土器(11)

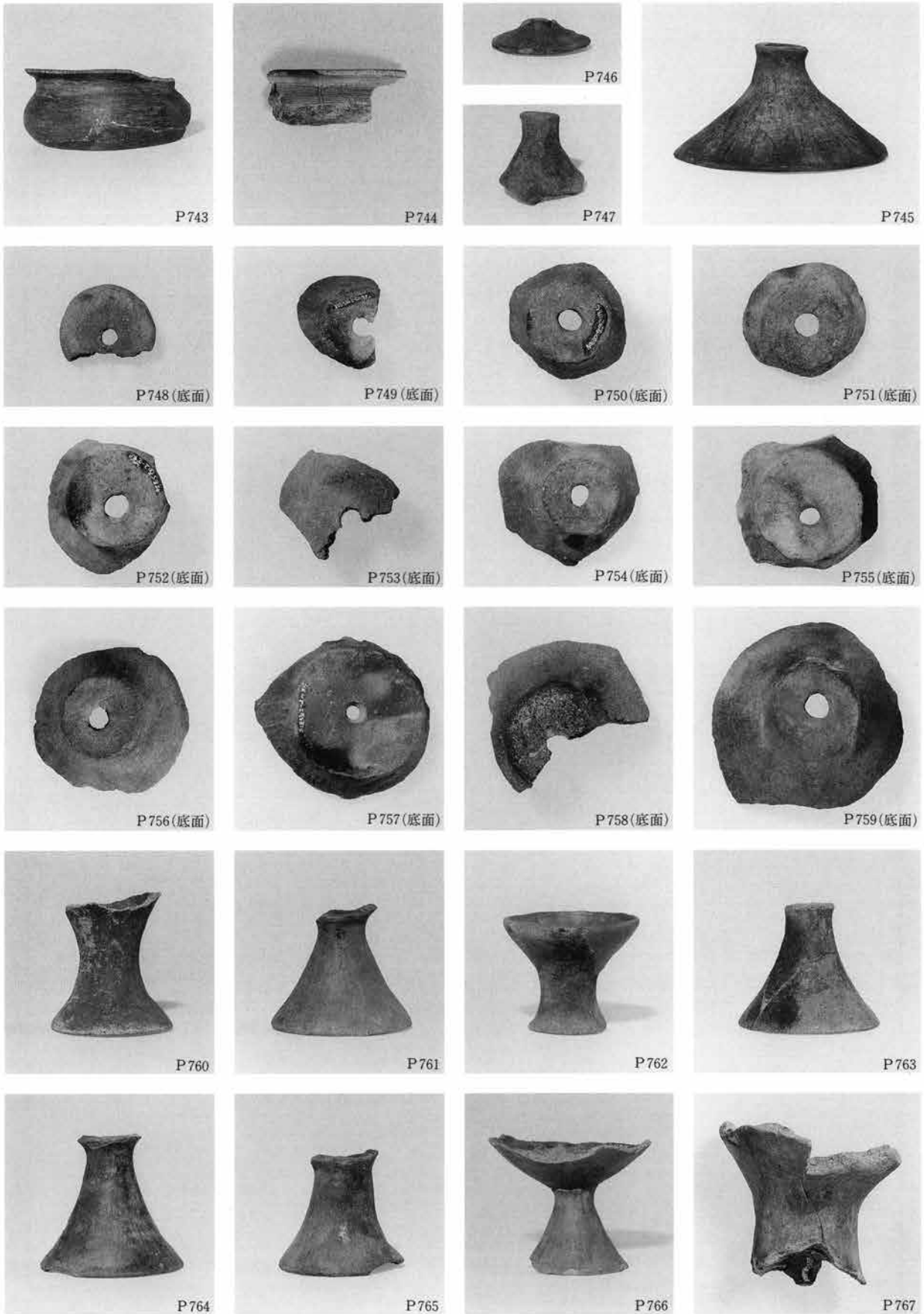


1 2-2号河川跡下層出土土器(12)

图版68

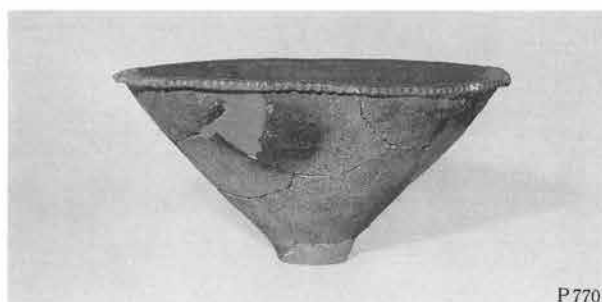


1 2-2号河川跡下層出土土器(13)

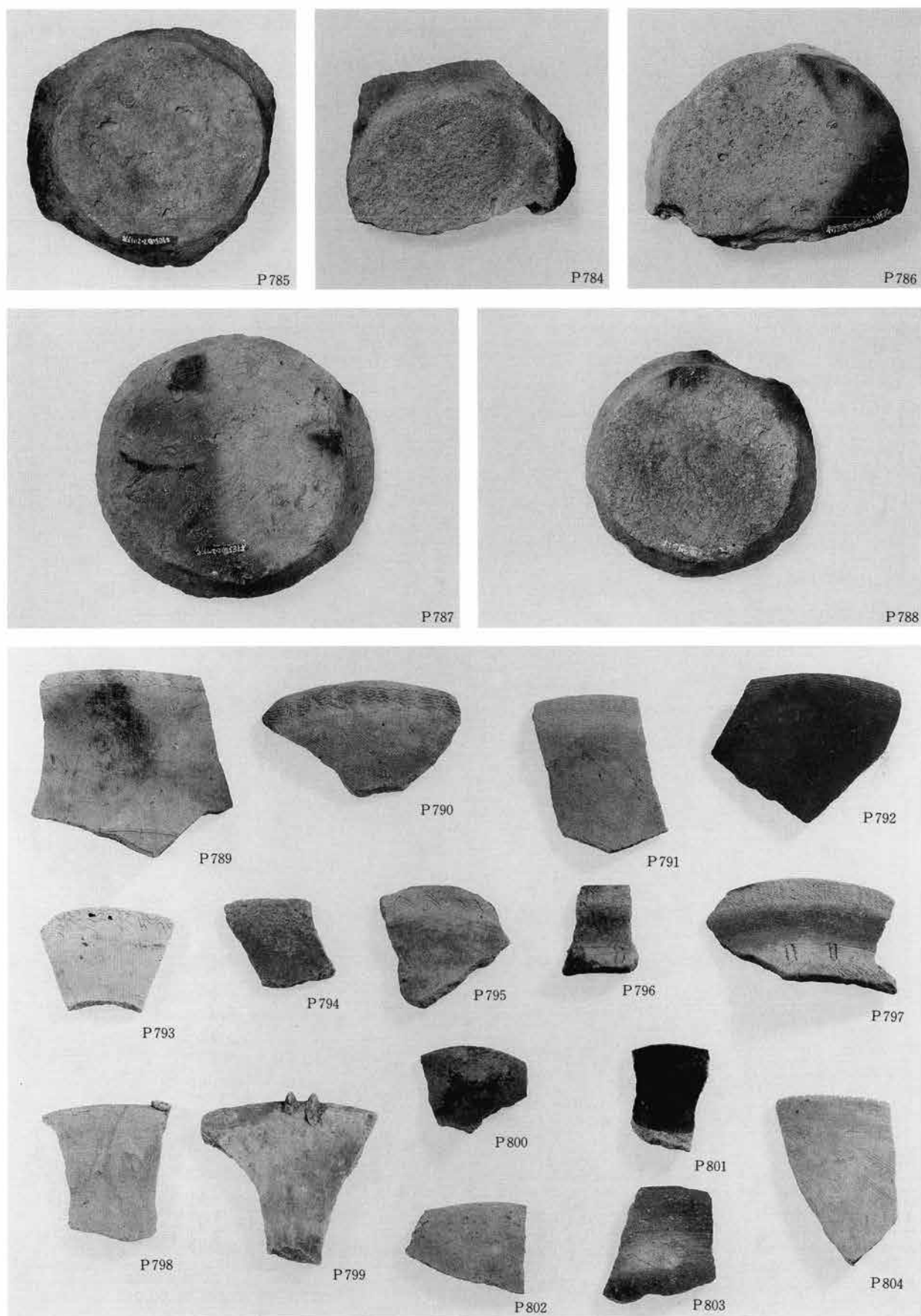


1 2-2号河川跡下層出土土器(14)

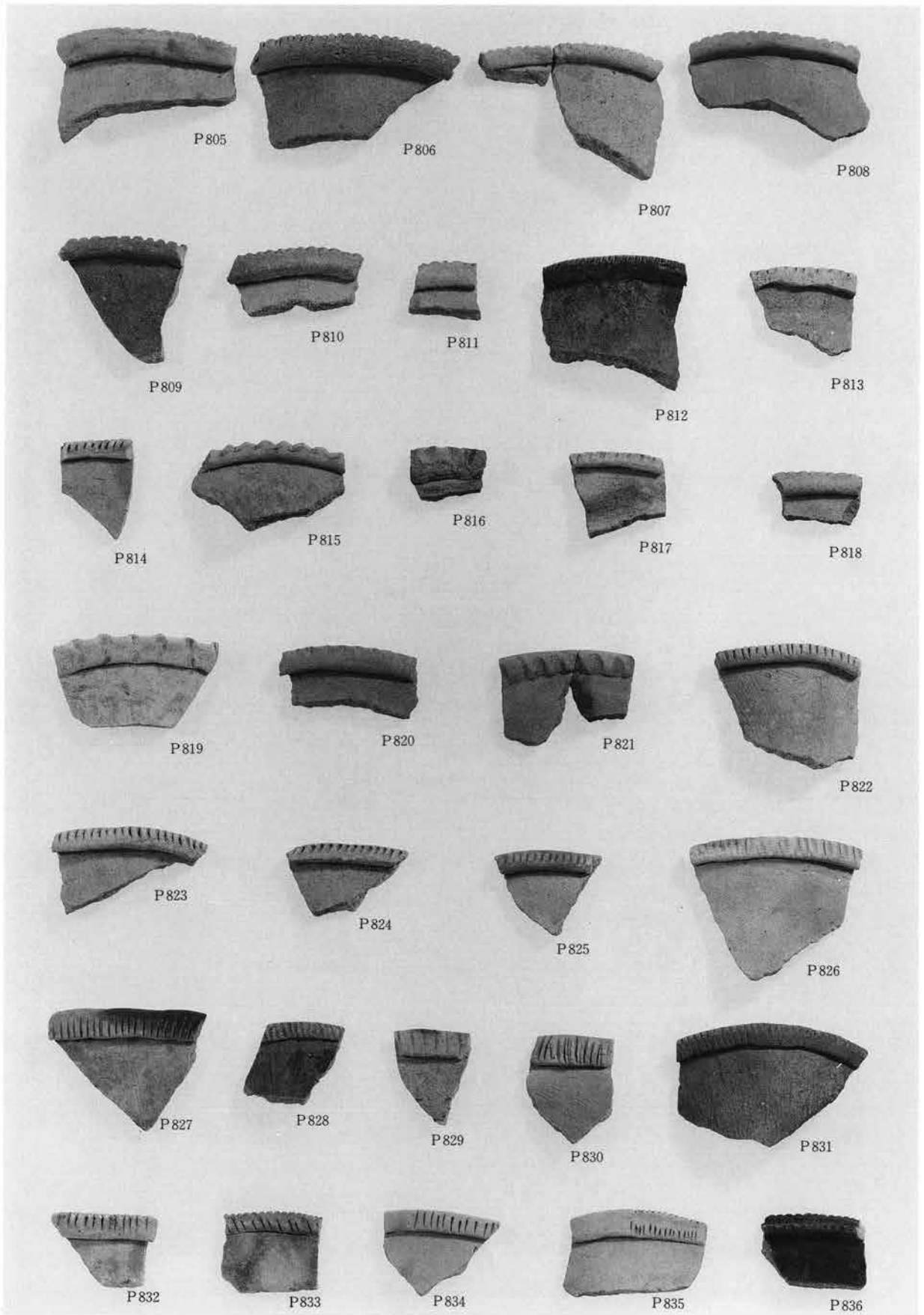
図版70



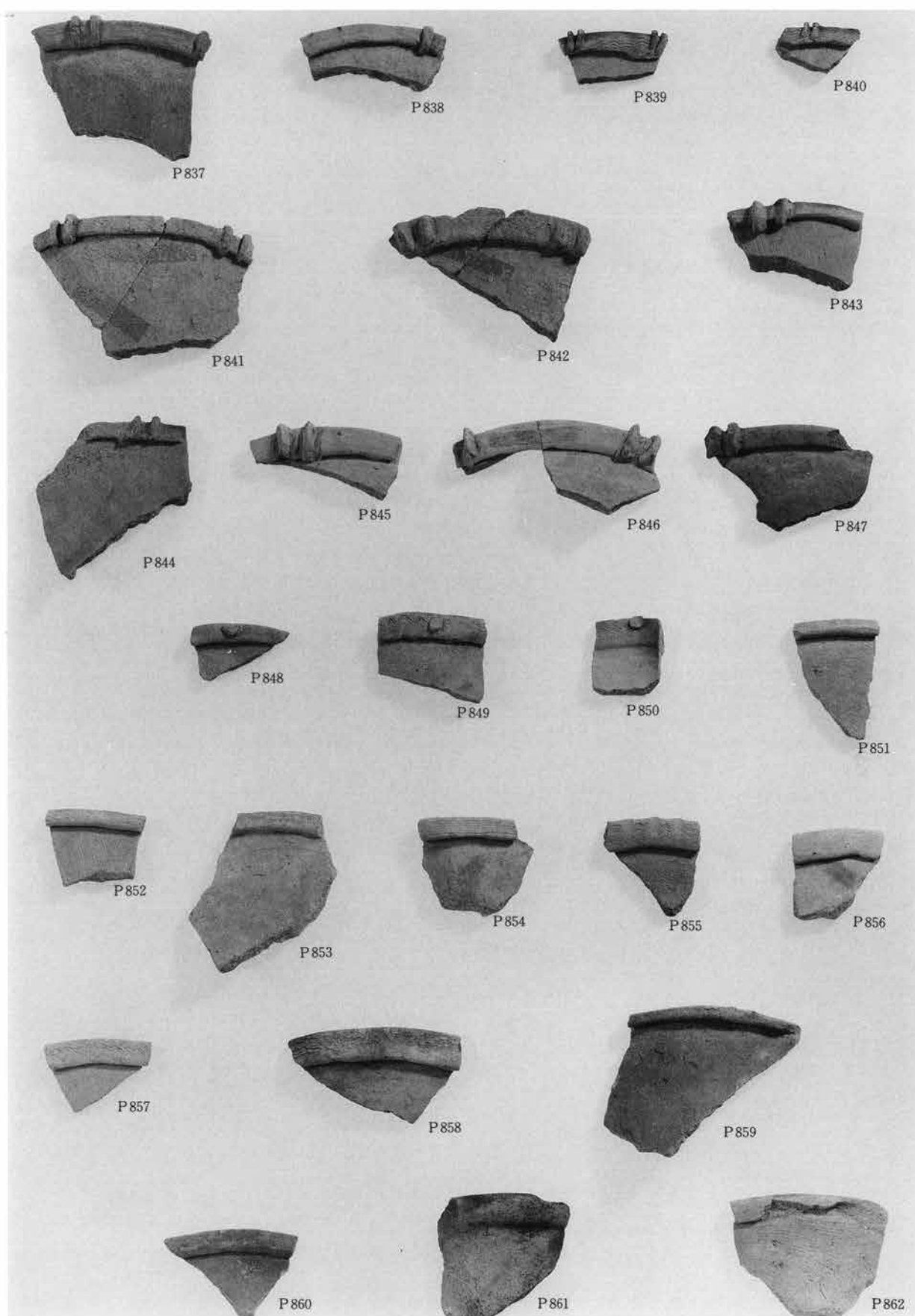
1 2-2号河川跡下層出土土器(15)



1 2-2号河川跡下層出土土器(16)

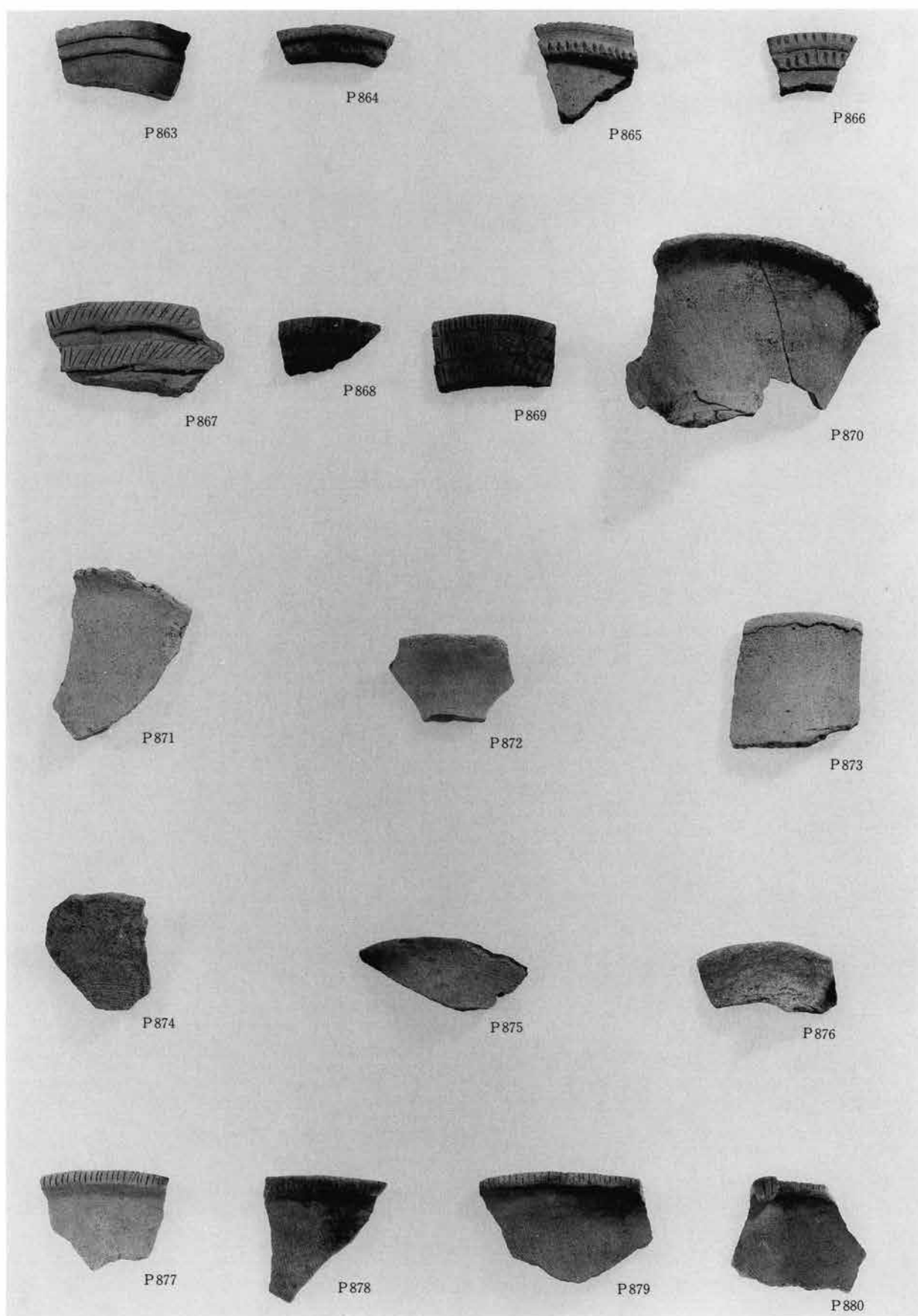


1 2-2号河川跡下層出土土器(17)

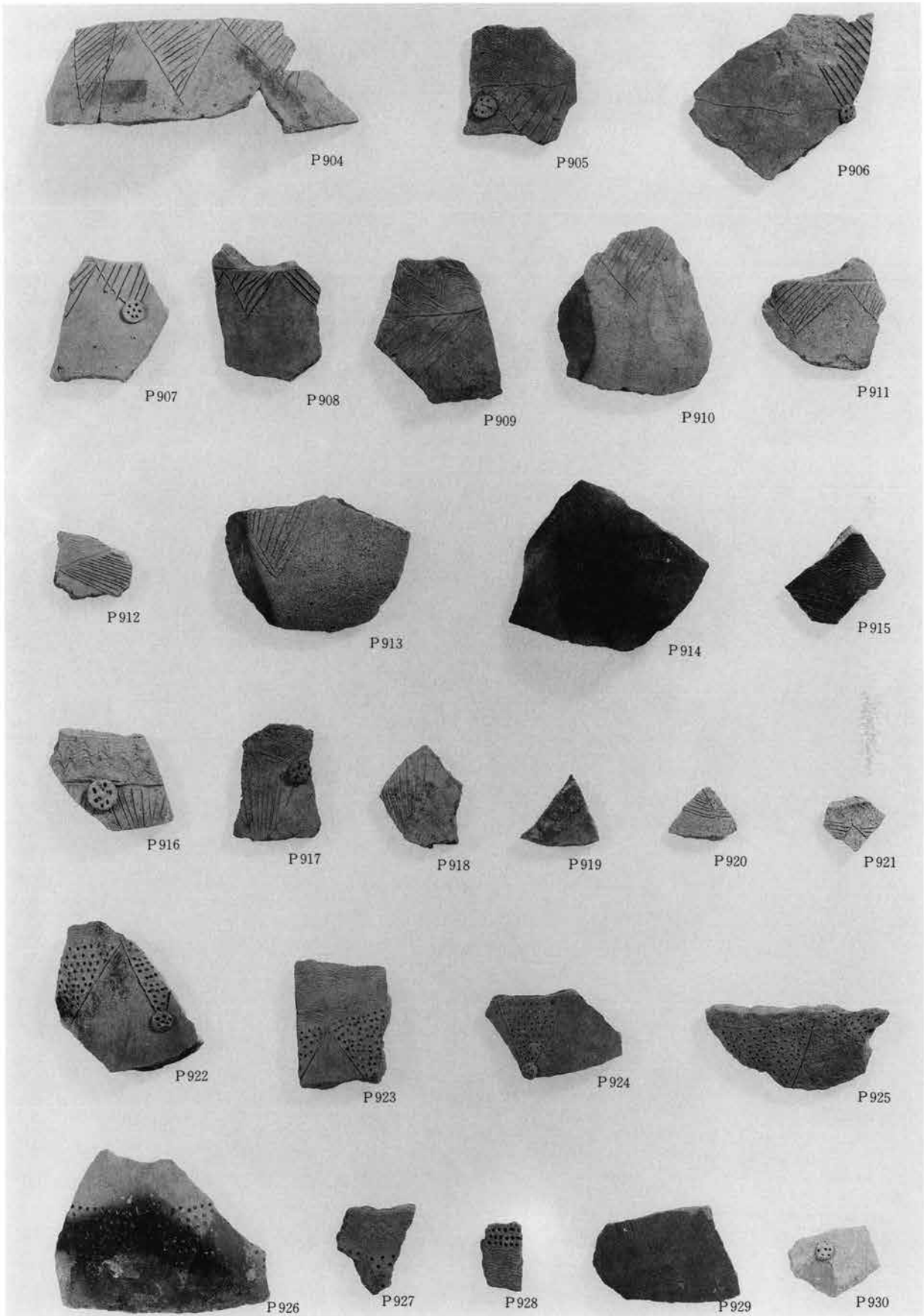


1 2-2号河川跡下層出土土器(18)

图版74

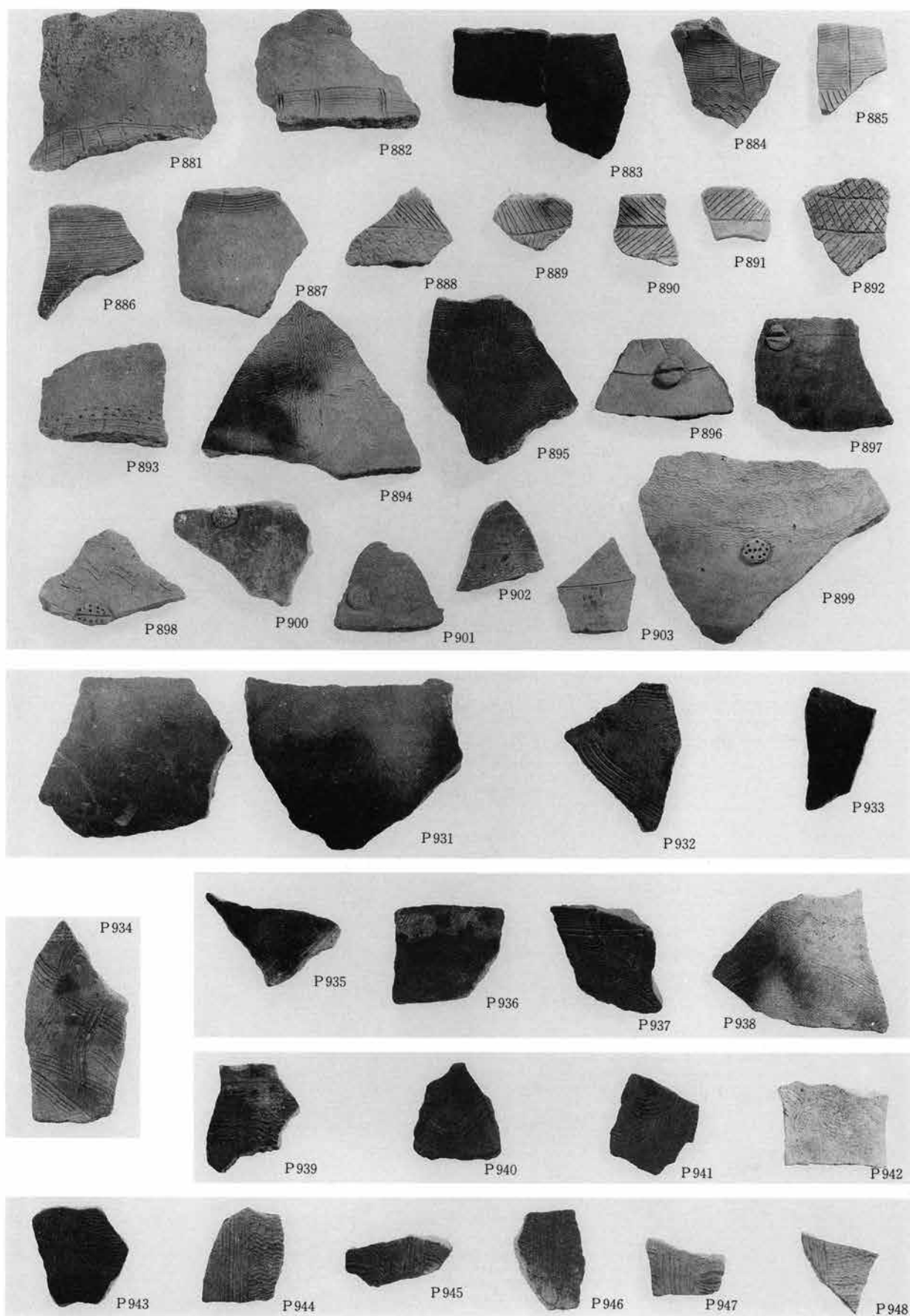


I 2-2号河川跡下層出土土器(19)

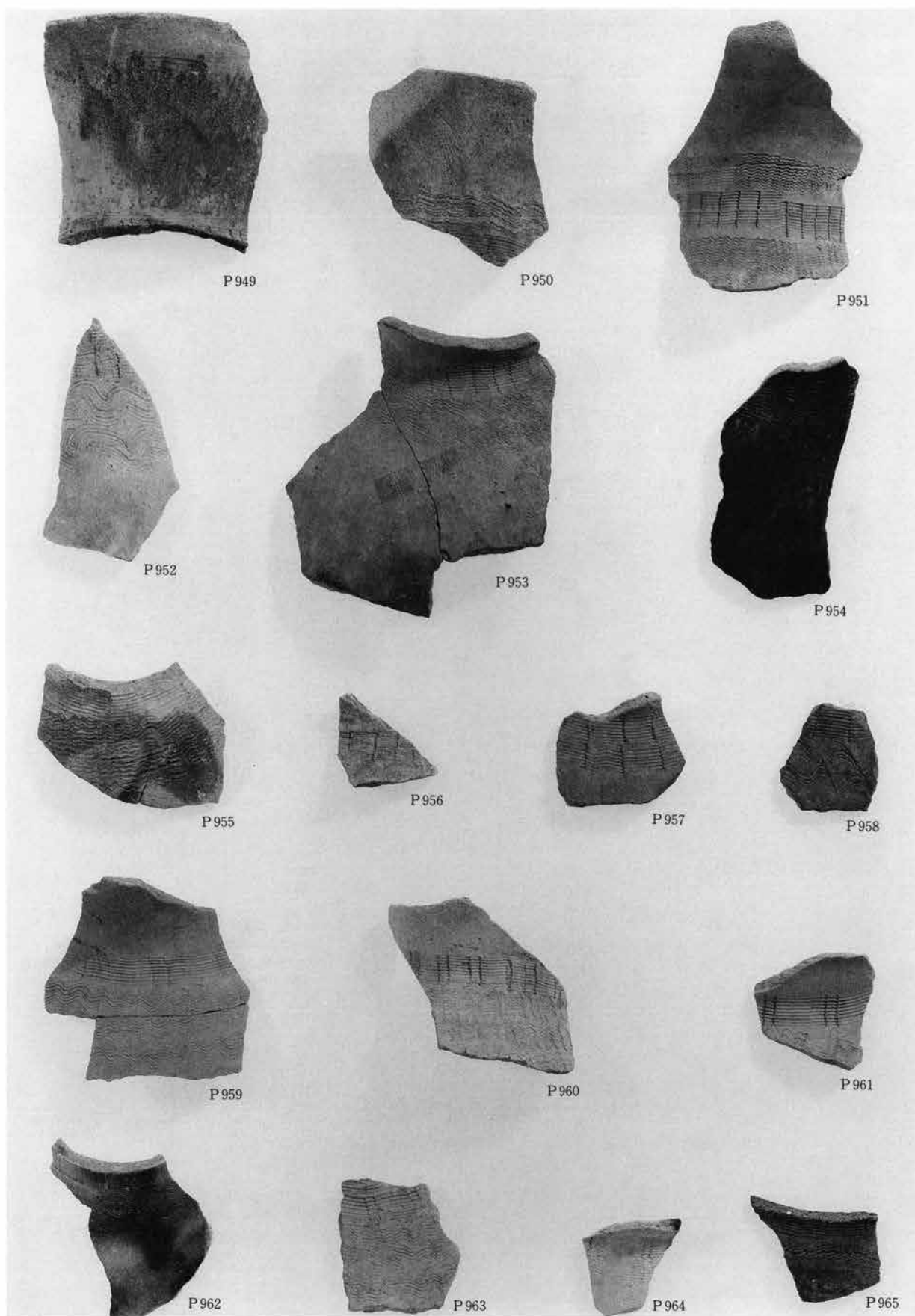


1 2-2号河川跡下層出土土器(20)

图版76

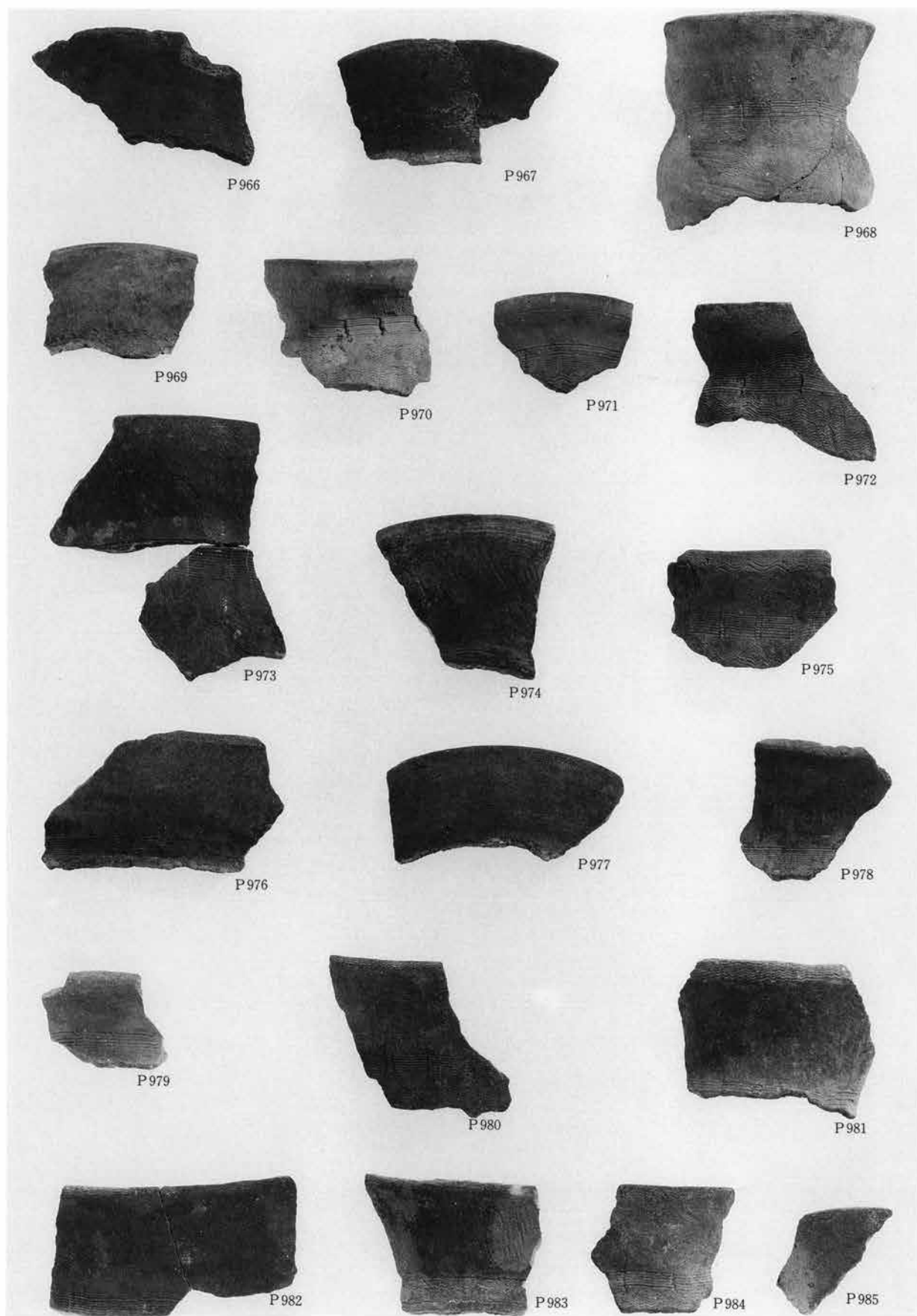


1 2-2号河川跡下層出土土器(21)

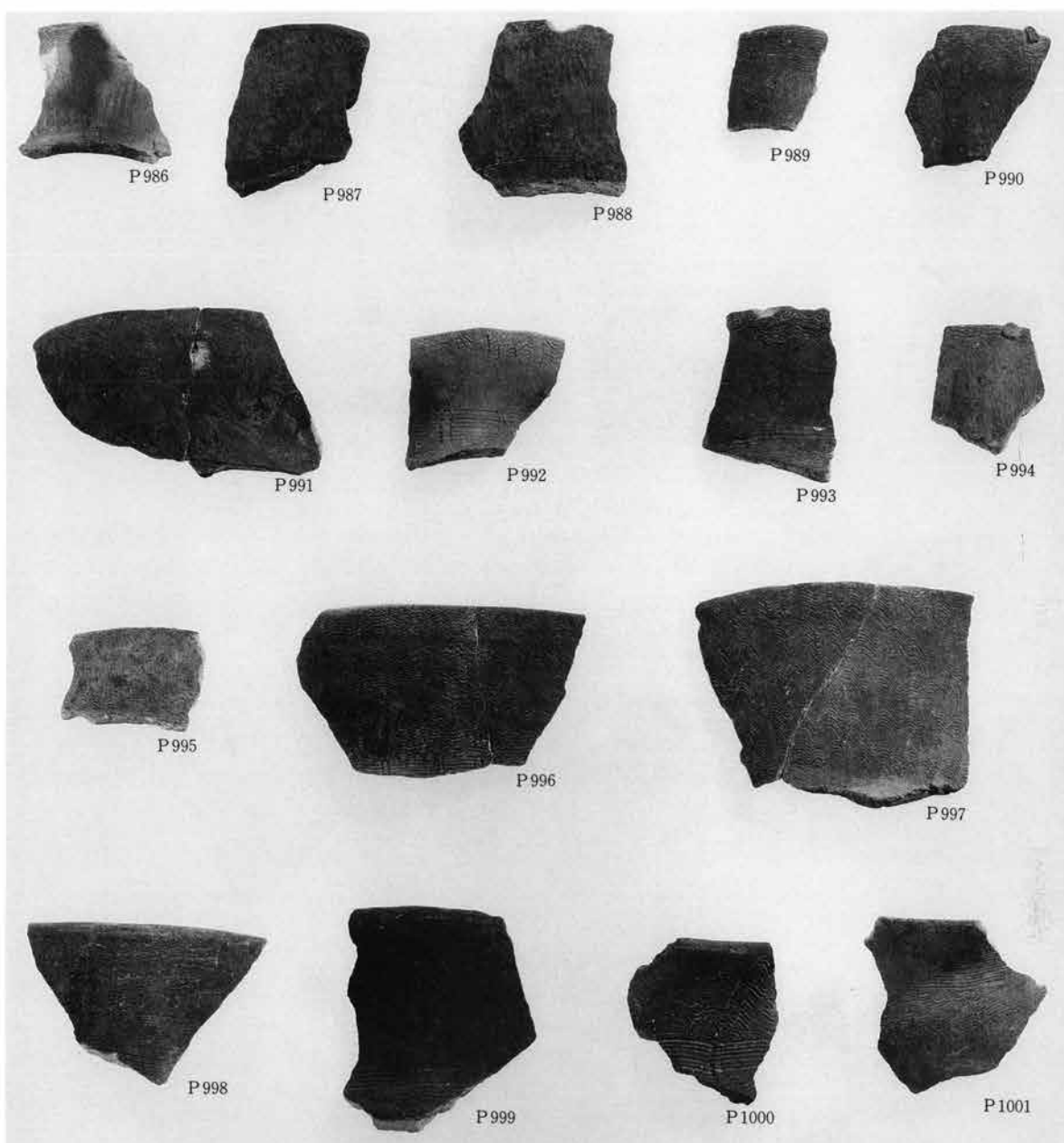


1 2-2号河川跡下層出土土器(22)

图版78

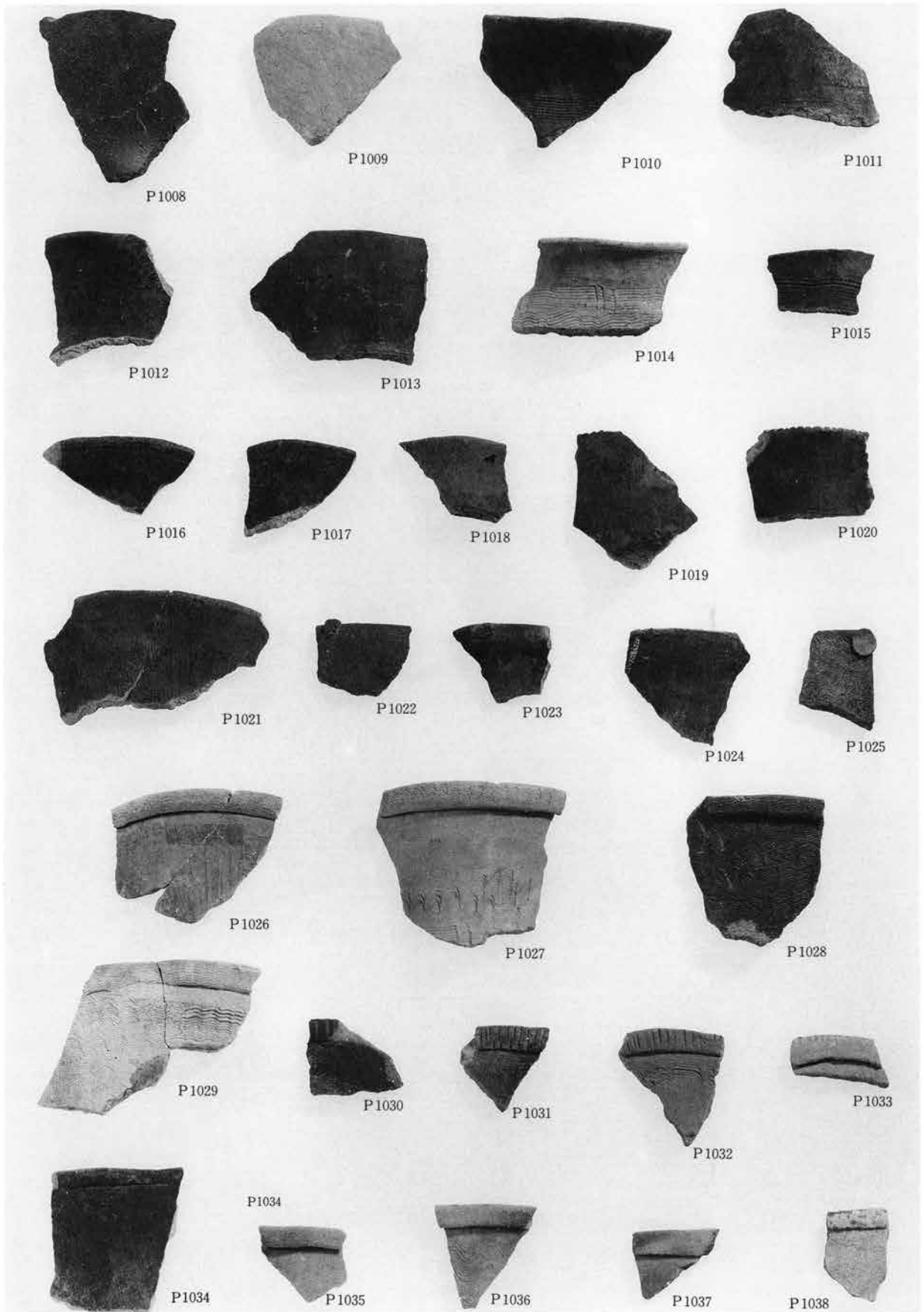


1 2-2号河川跡下層出土土器(23)

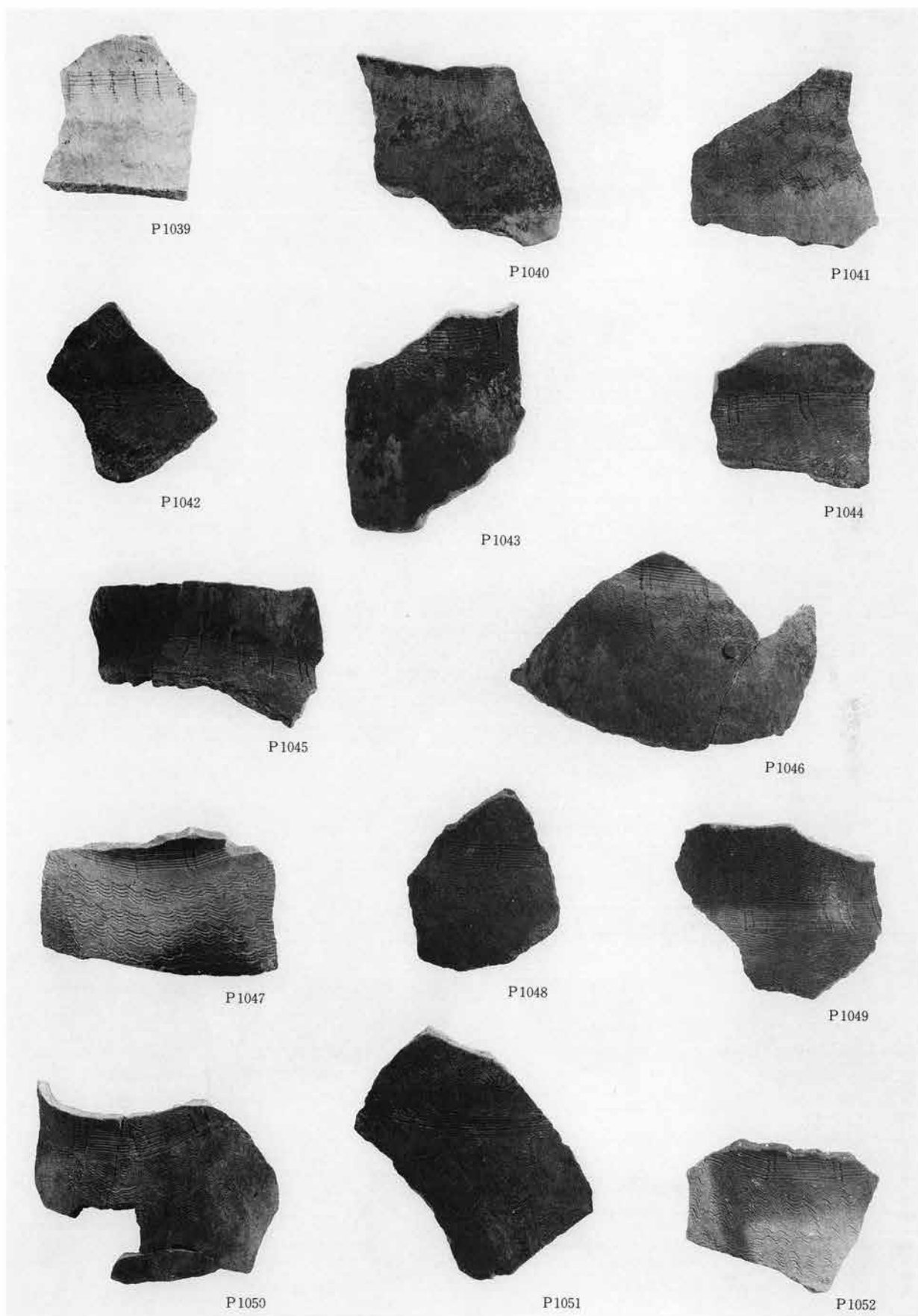


1 2-2号河川跡下層出土土器(24)

图版80

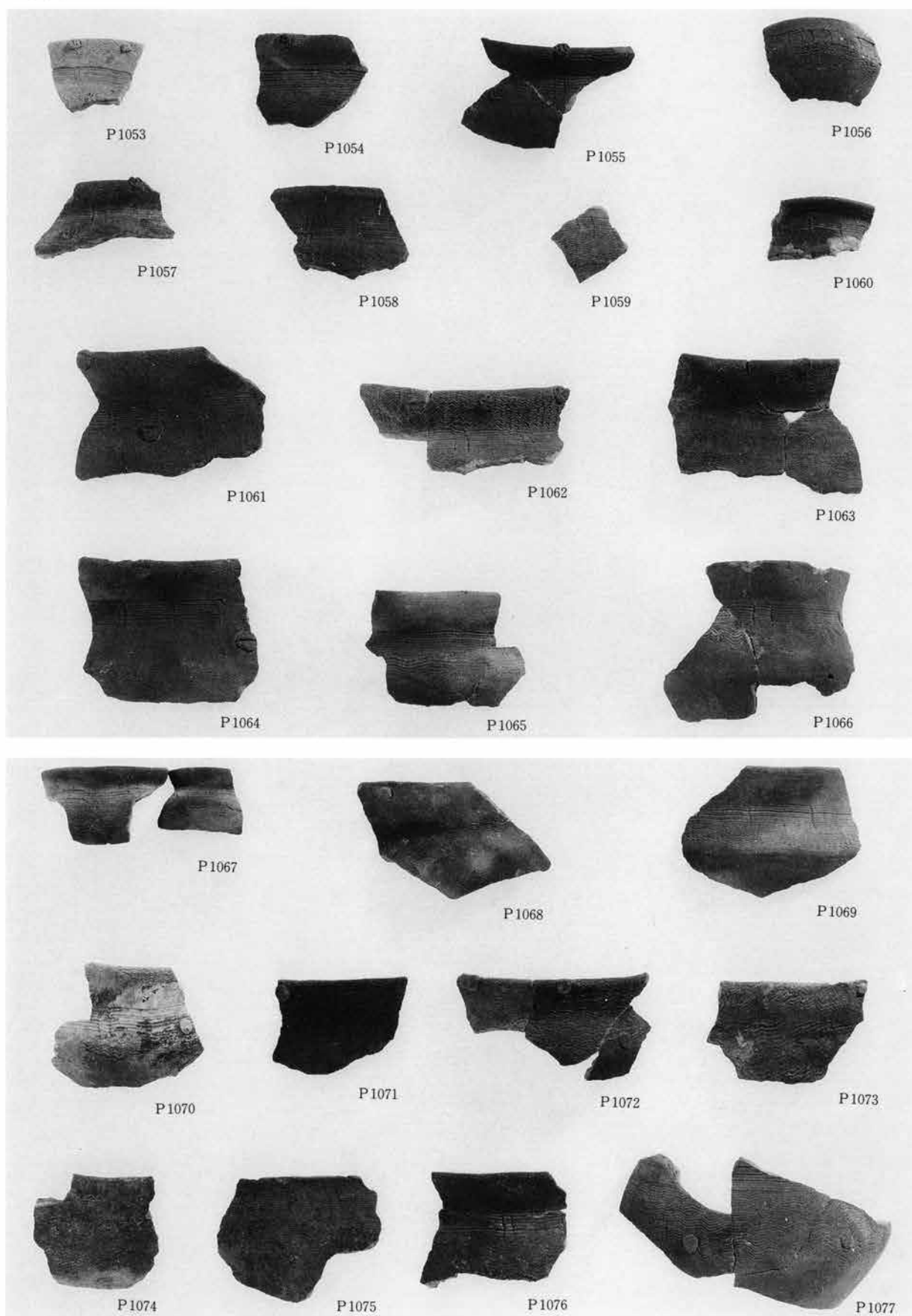


1 2-2号河川跡下層出土土器(25)

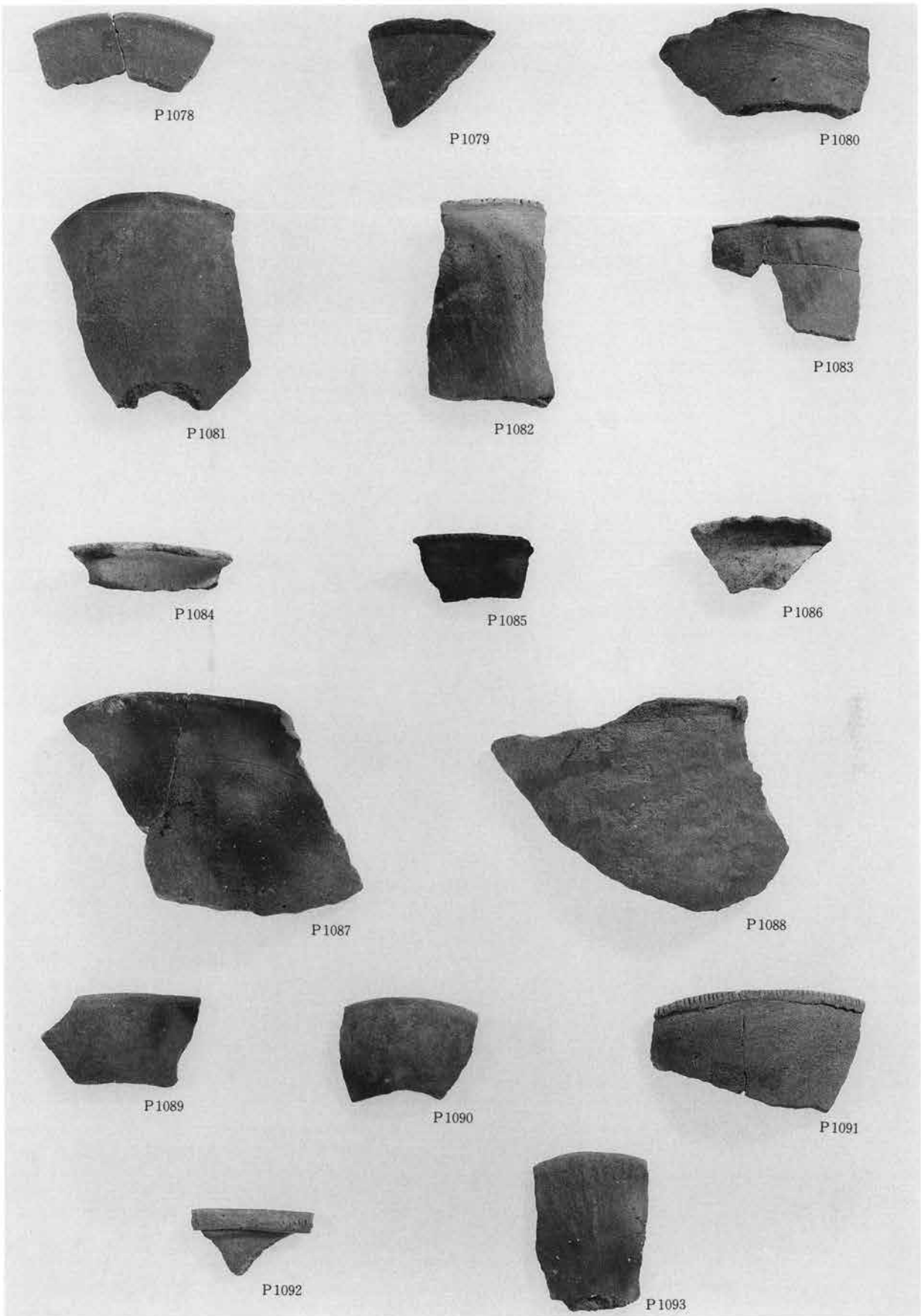


1 2-2号河川跡下層出土土器(26)

图版82

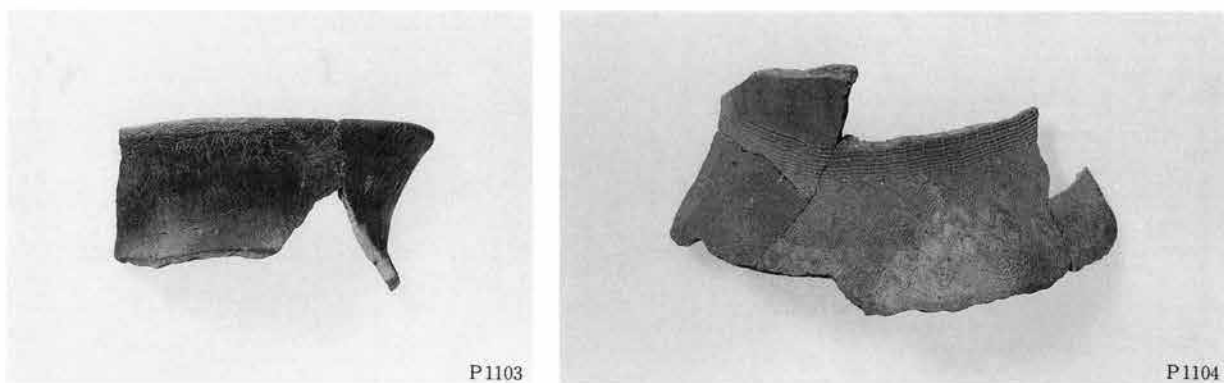
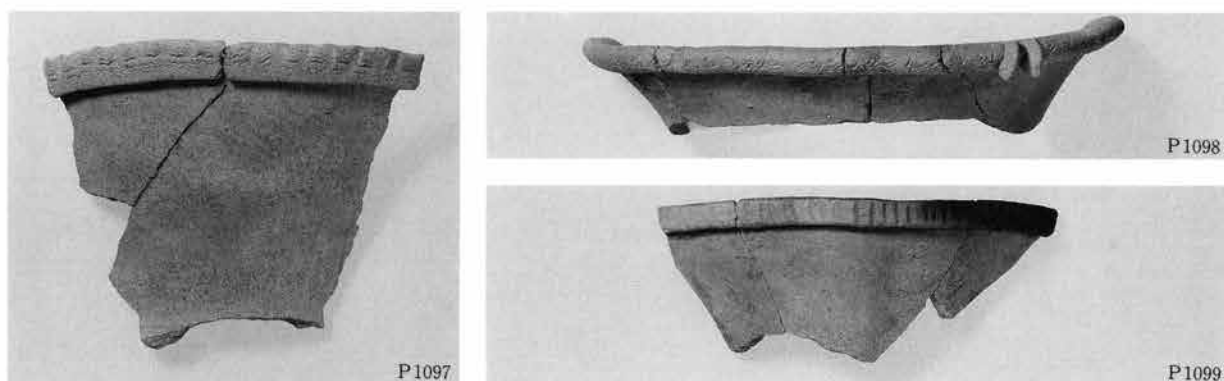


1 2-2号河川跡下層出土土器(27)



1 2-2号河川跡下層出土土器(28)

图版84



1 2-2号河川跡中層出土土器(1)



P1108



P1109



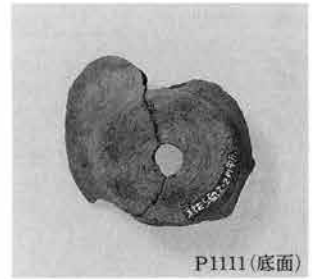
P1110(側面)



P1110(底面)



P1111(側面)



P1111(底面)



P1112



P1113



P1114



P1115



P1116



P1117



P1118



P1119



P1120

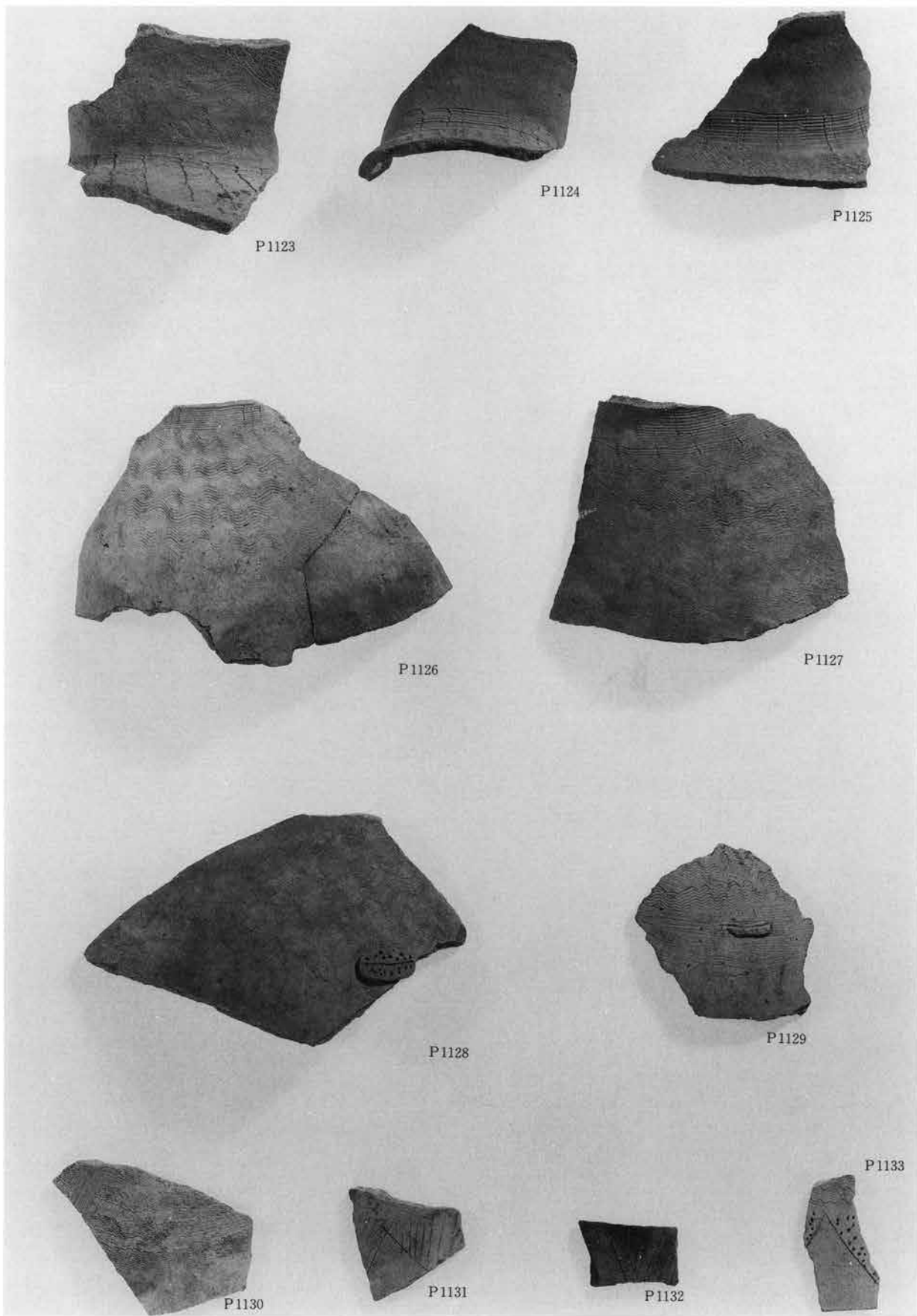


P1121

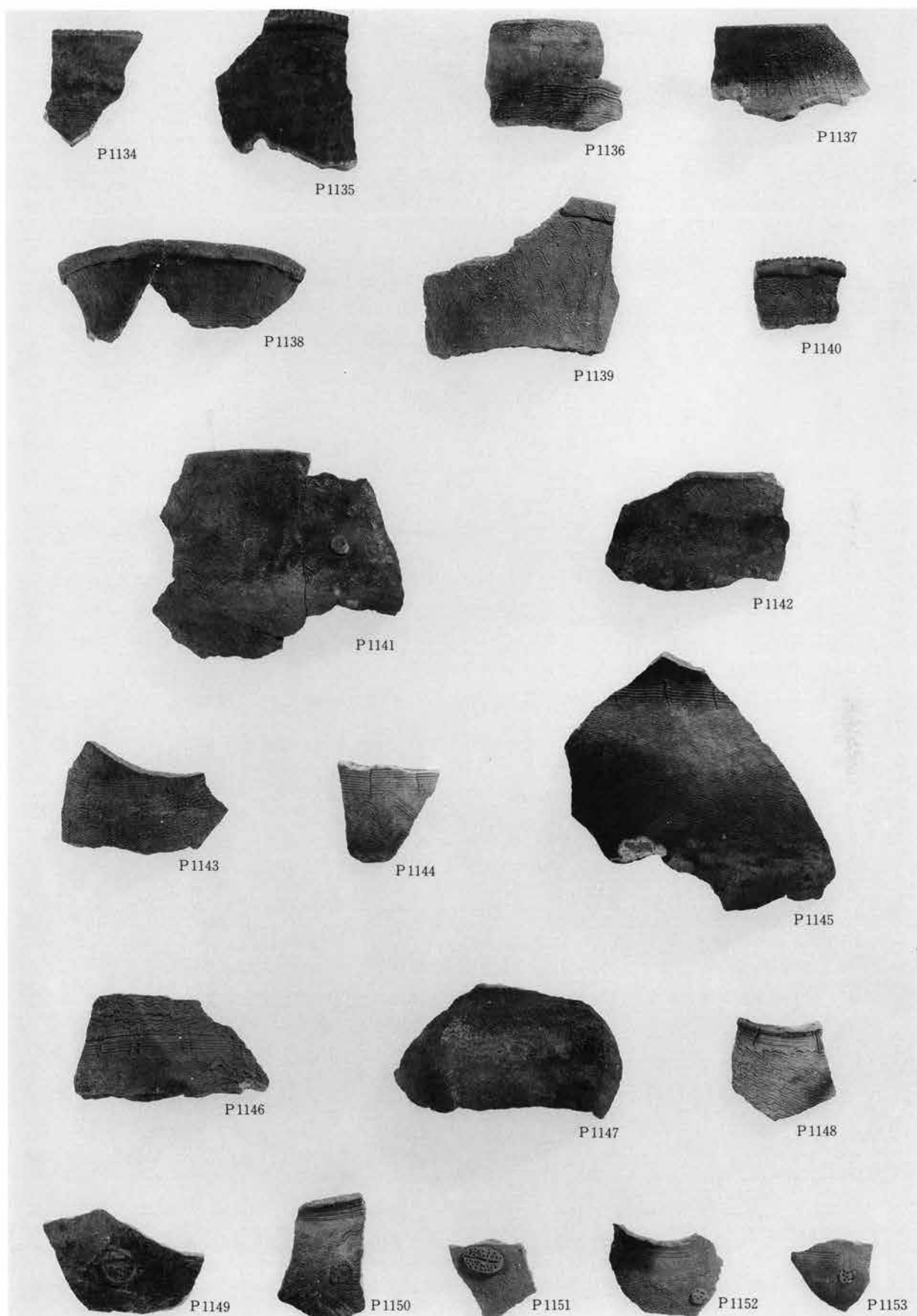


P1122

1 2-2号河川跡中層出土土器(2)

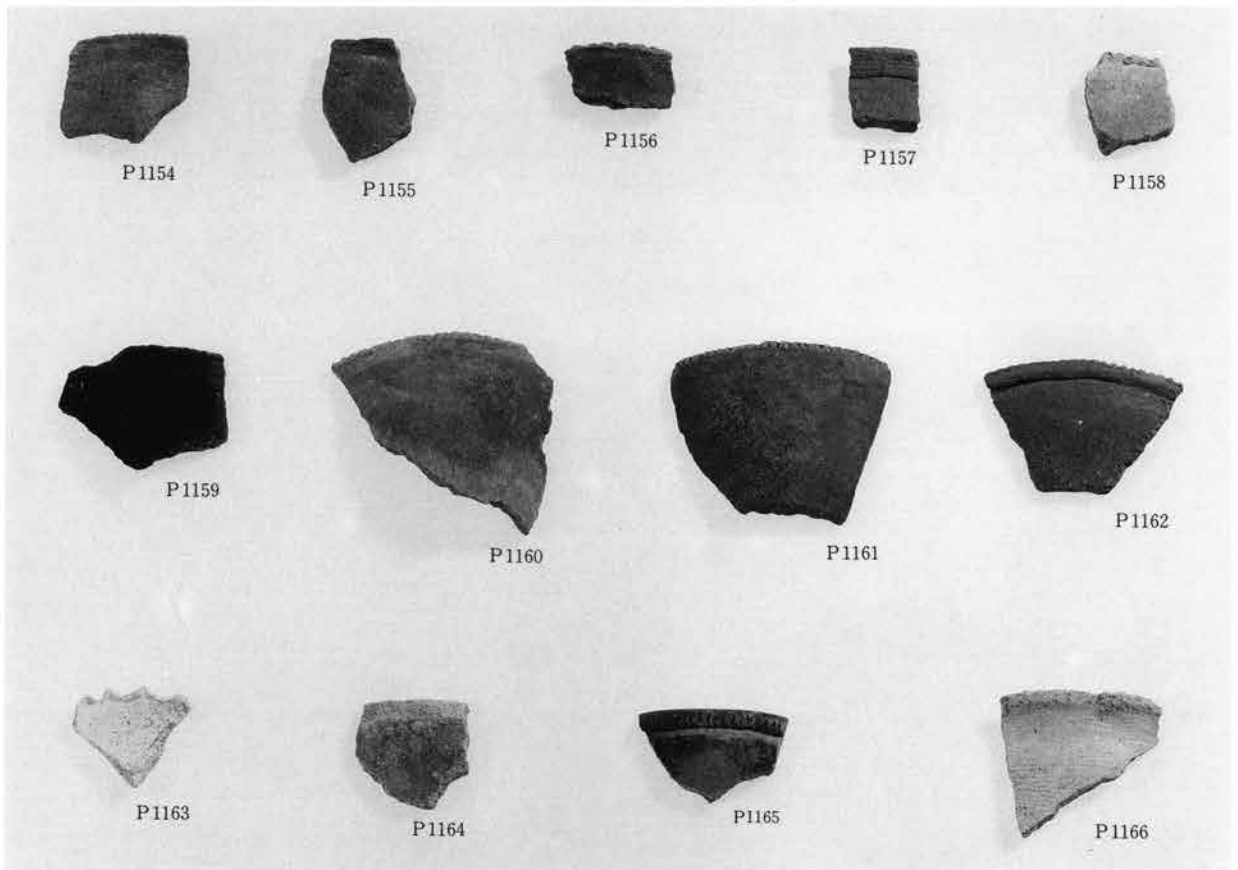


1 2-2号河川跡中層出土土器(3)

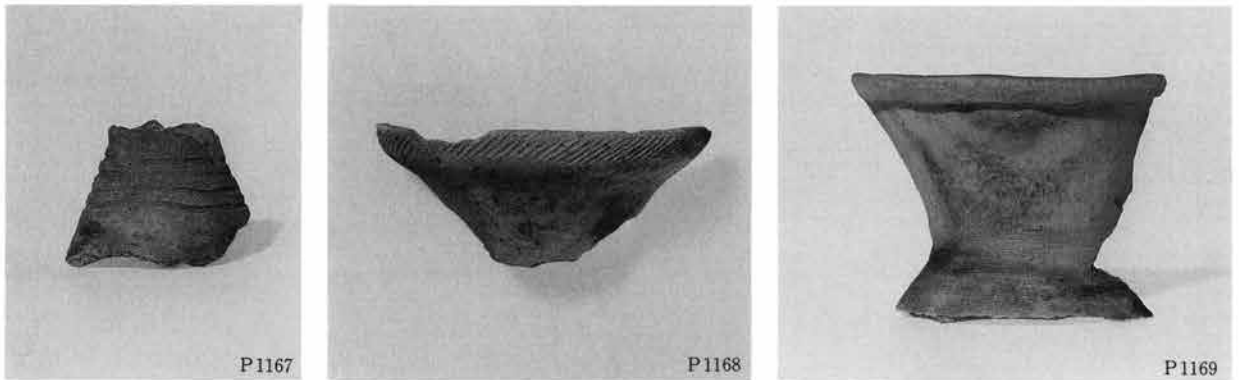


1 2-2号河川跡中層出土土器(4)

图版88



1 2-2号河川跡中層出土土器(5)



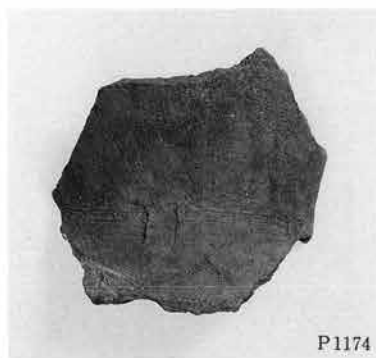
2 2-1号河川跡下層出土土器(1)



P1172



P1173



P1174



P1171



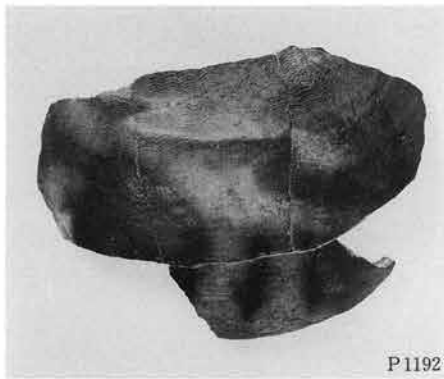
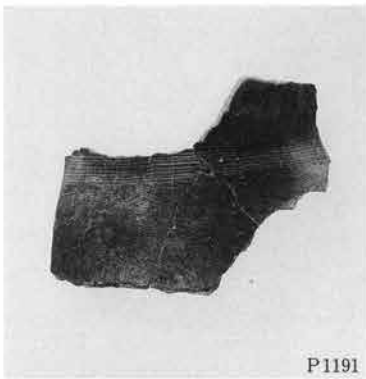
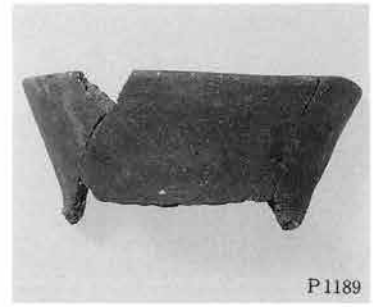
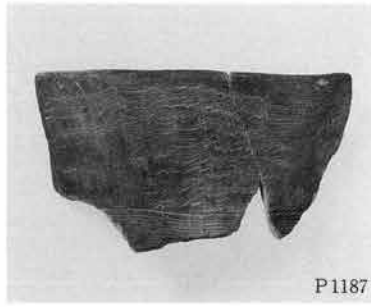
P1175

1 2-1号河川跡下層出土土器(2)

図版90



1 2-1号河川跡下層出土土器(3)

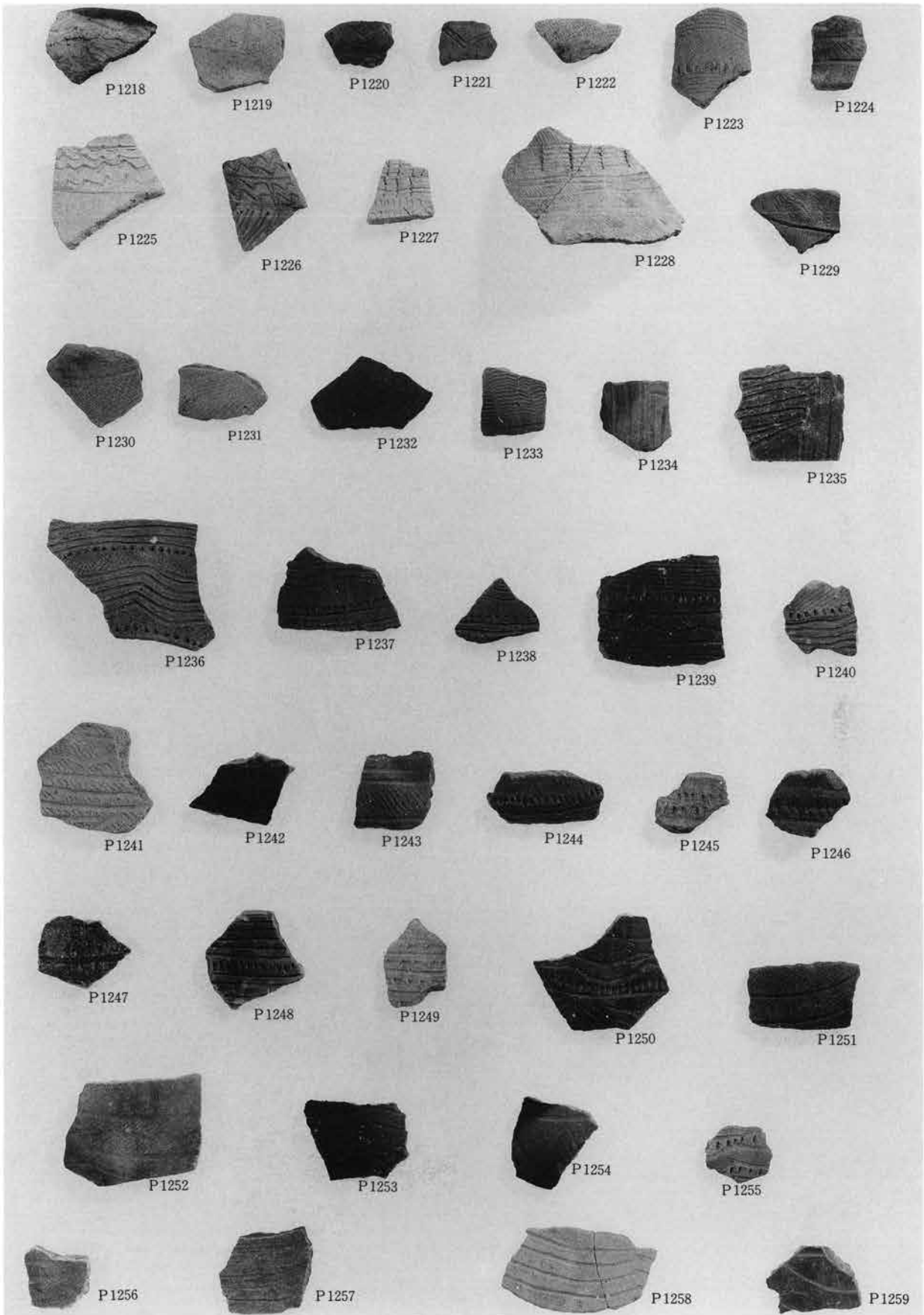


1 2-1号河川跡下層出土土器(4)

図版92

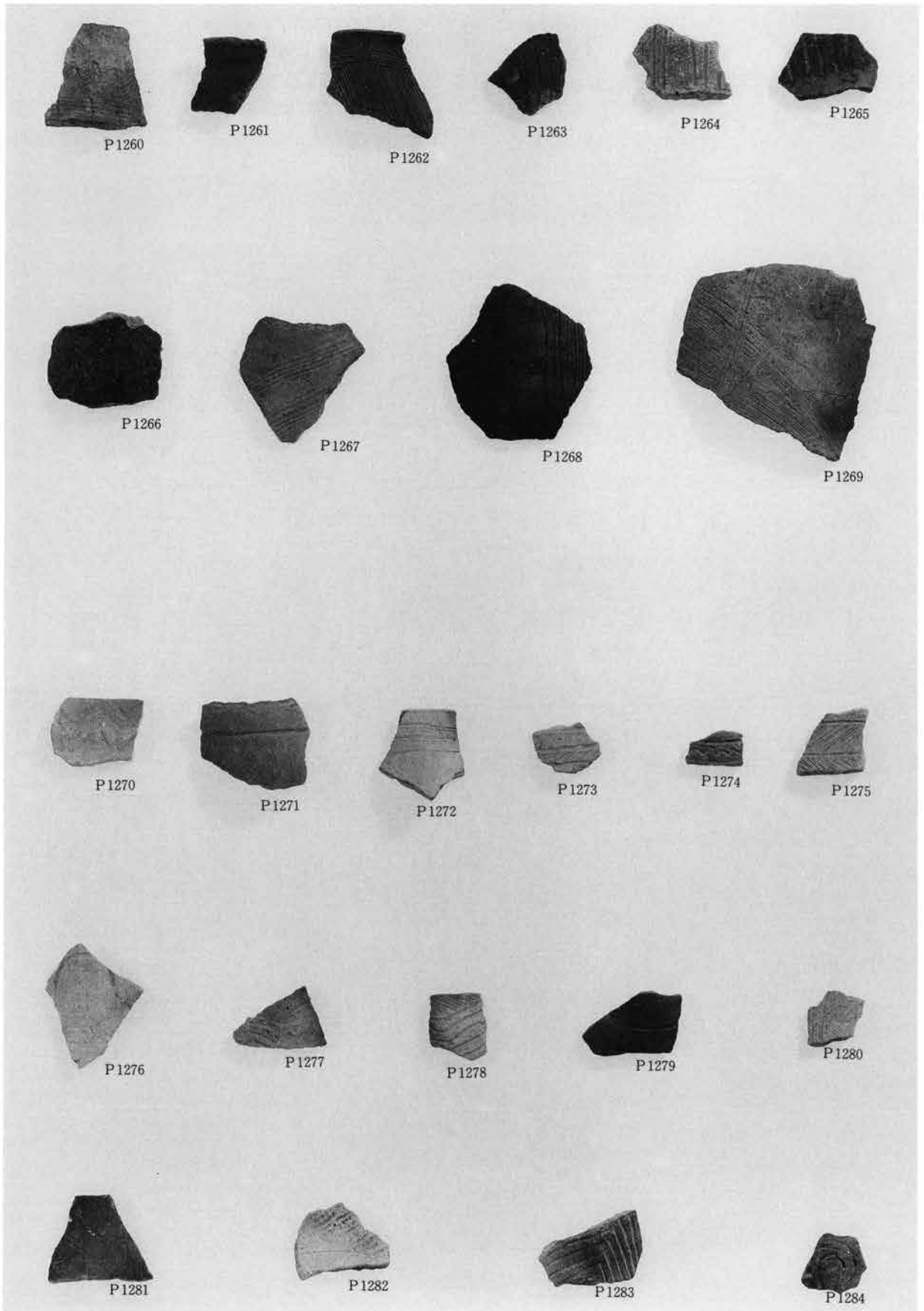


1 2-1号河川跡下層出土土器(5)

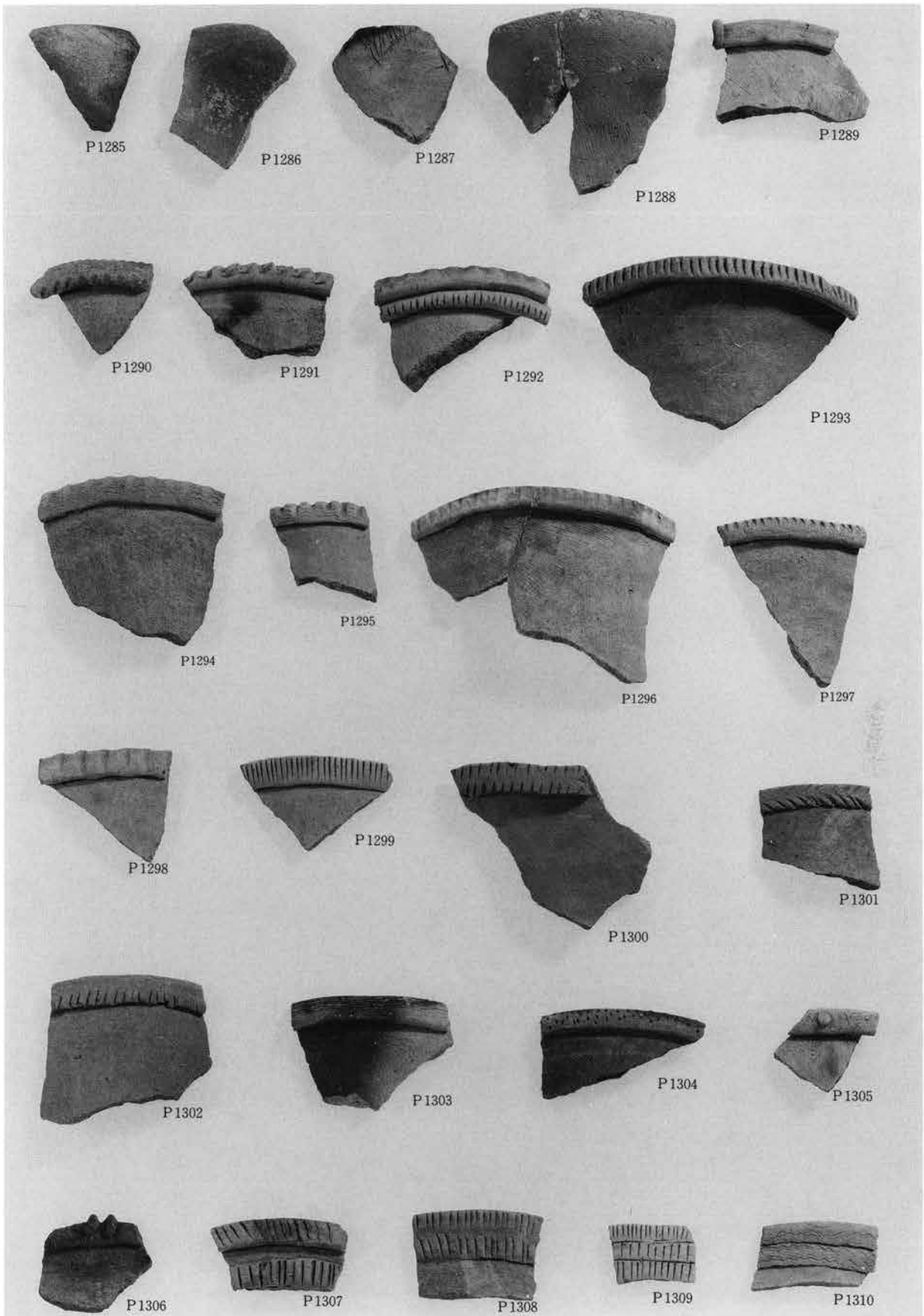


1 2-1号河川跡下層出土土器(6)

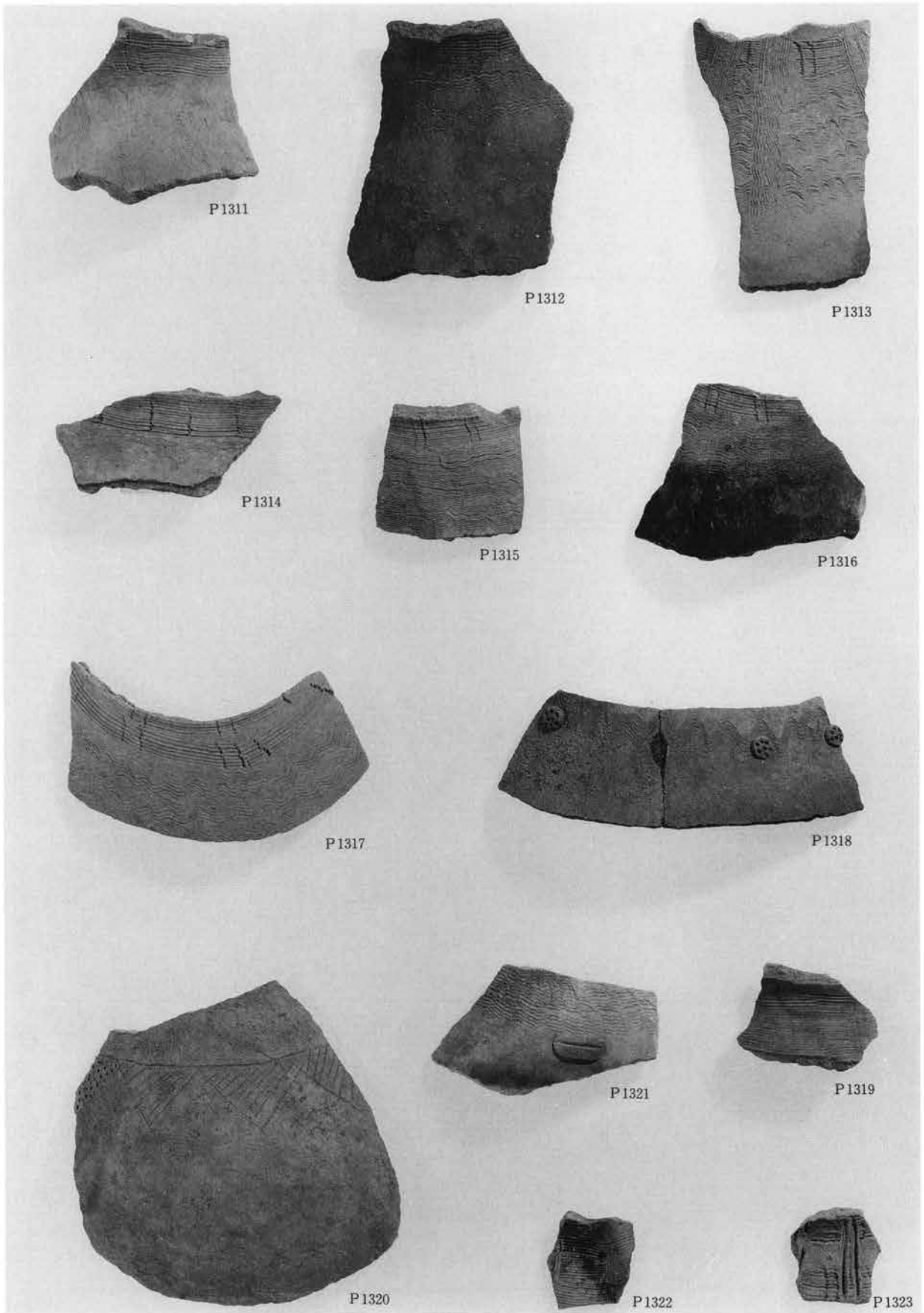
图版94



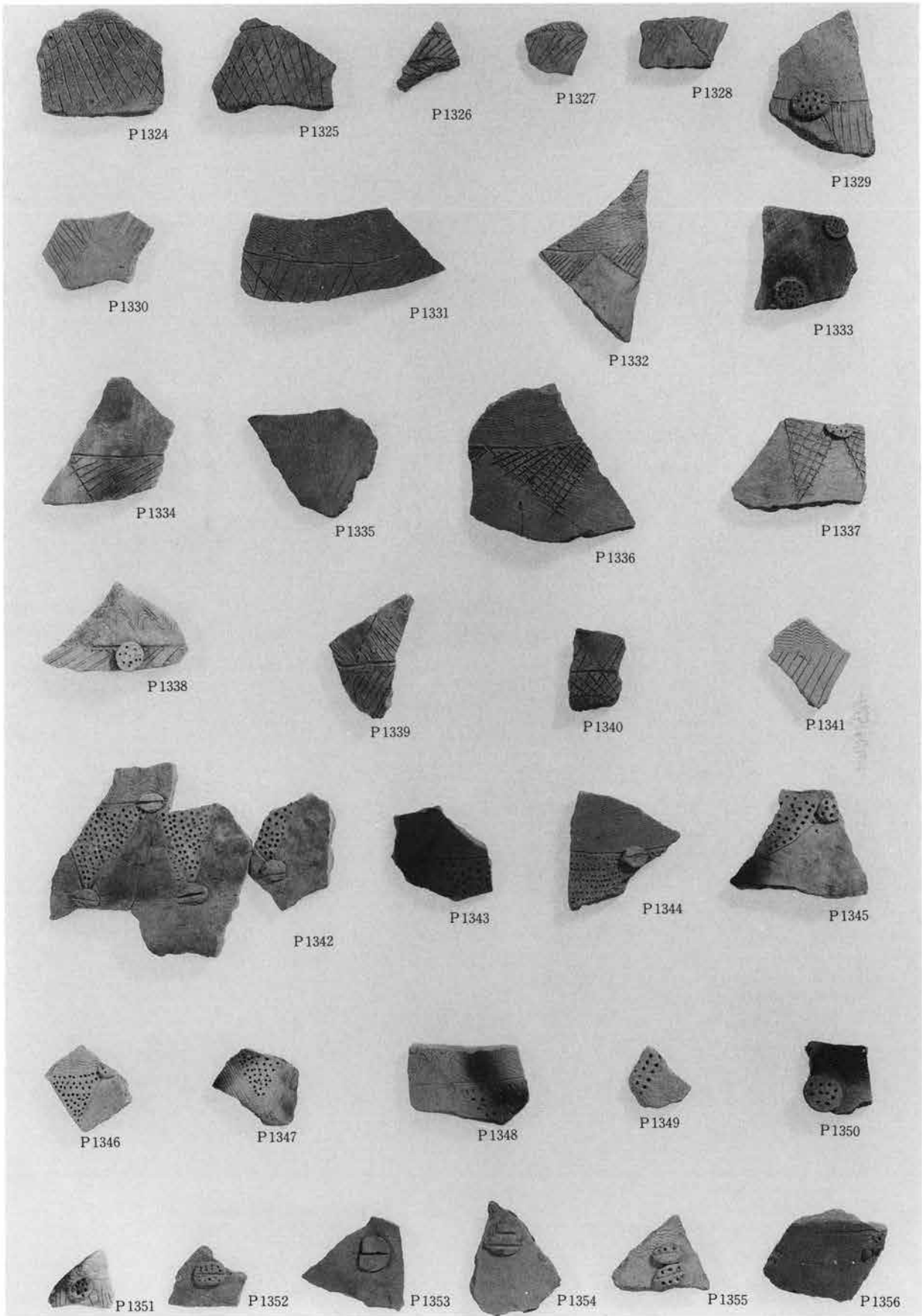
1 2-1号河川跡下層出土土器(7)



1 2-1号河川跡下層出土土器(8)

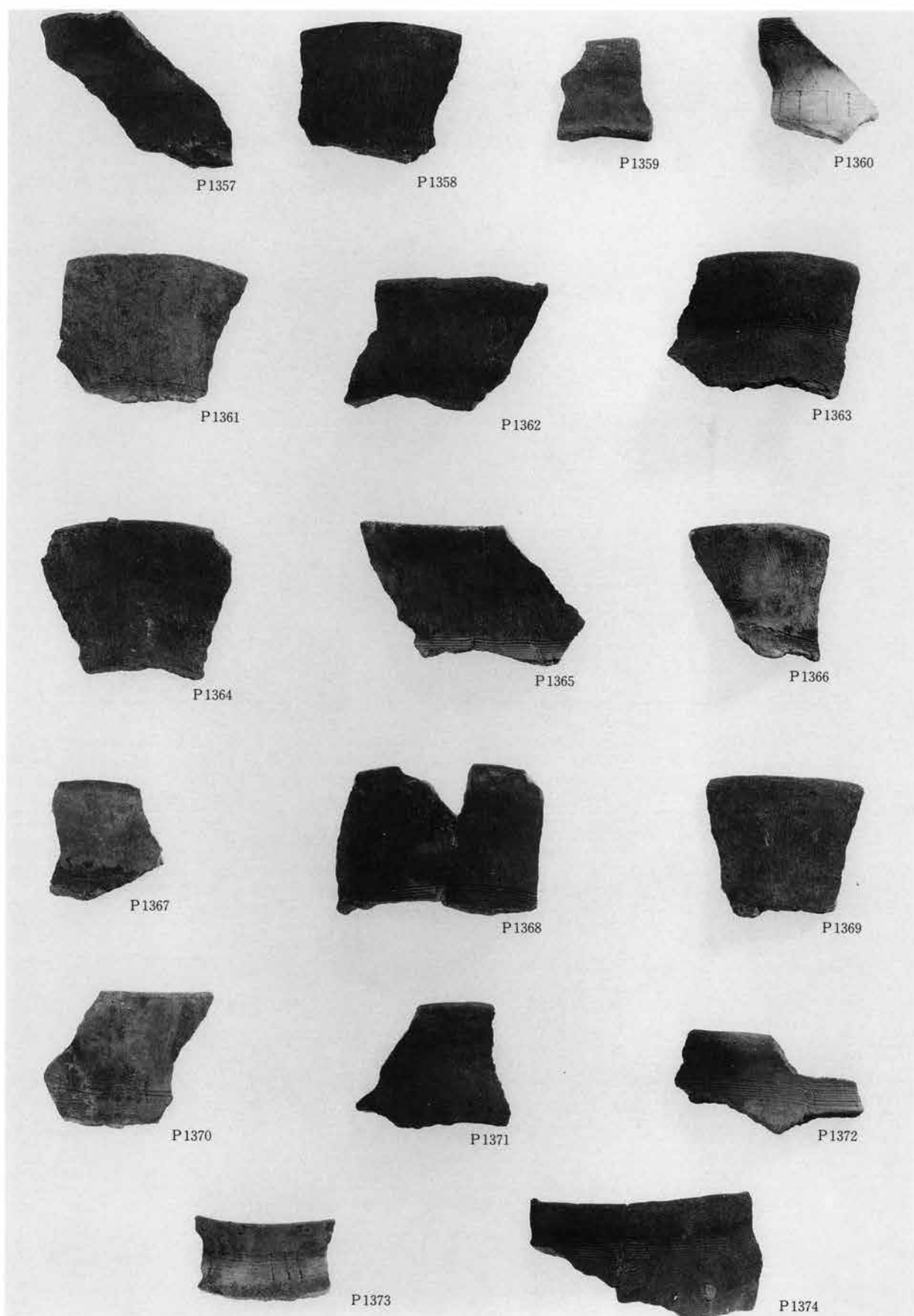


1 2-1号河川跡下層出土土器(9)

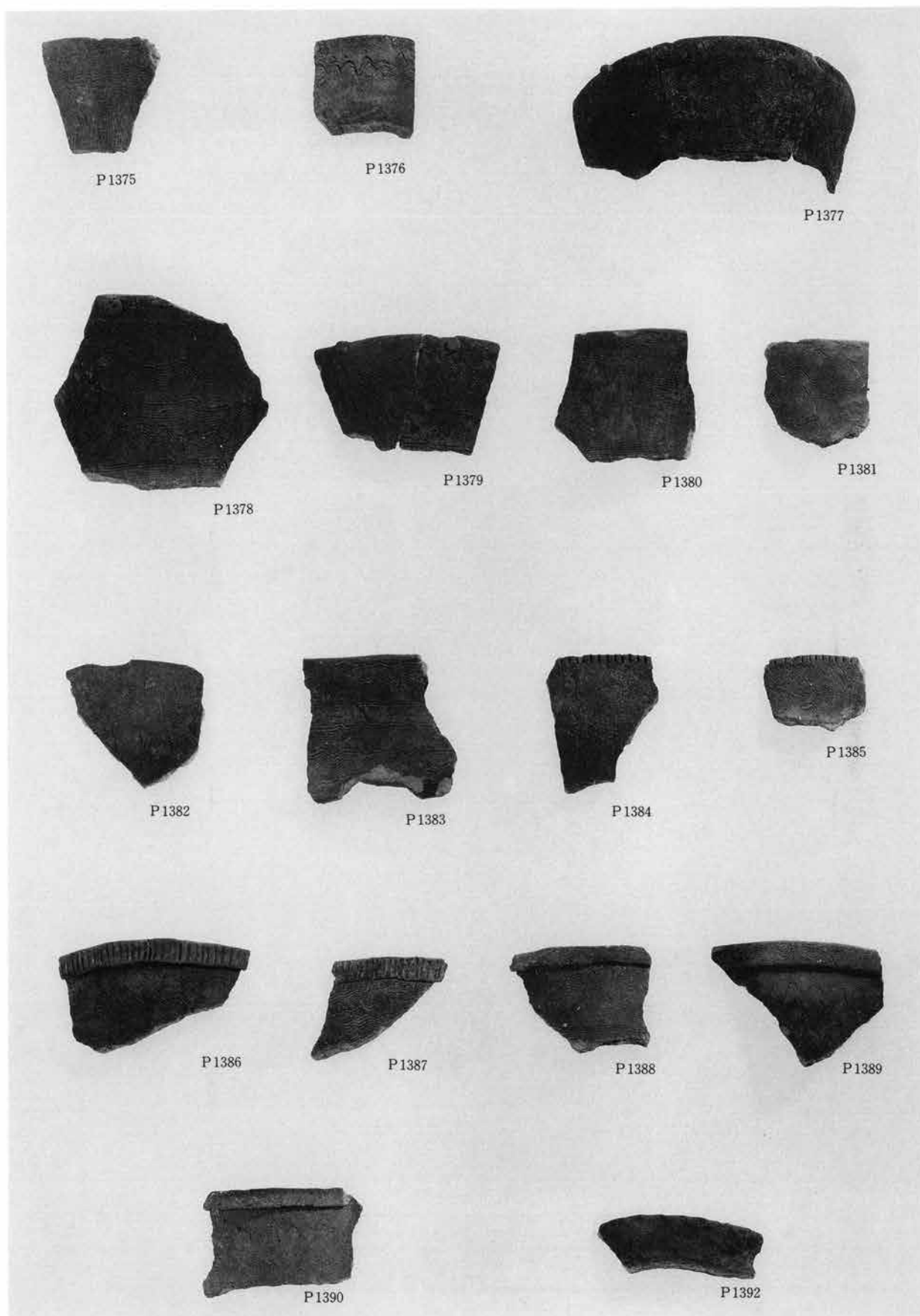


1 2-1号河川跡下層出土土器(10)

图版98

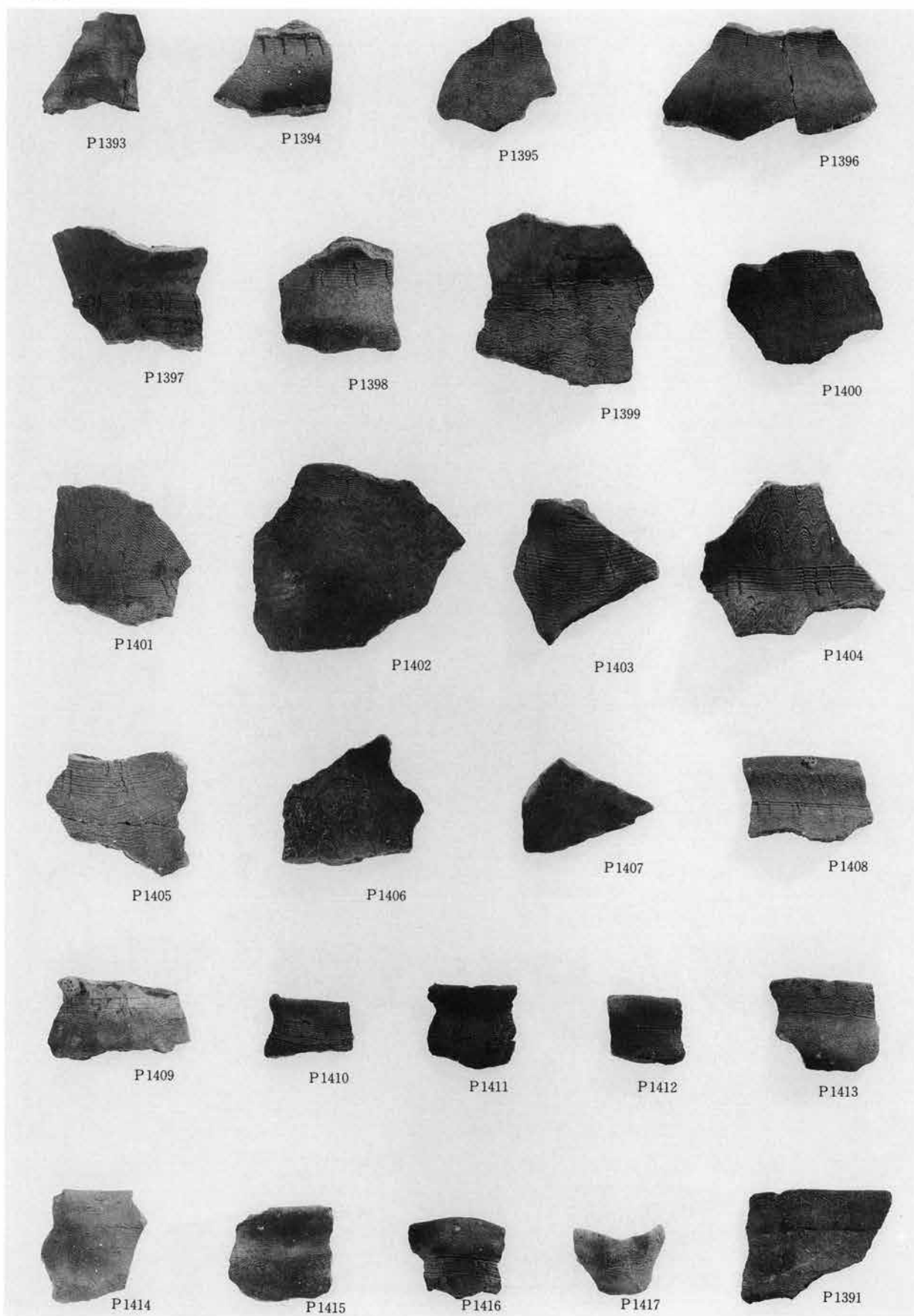


1 2-1号河川跡下層出土土器(11)

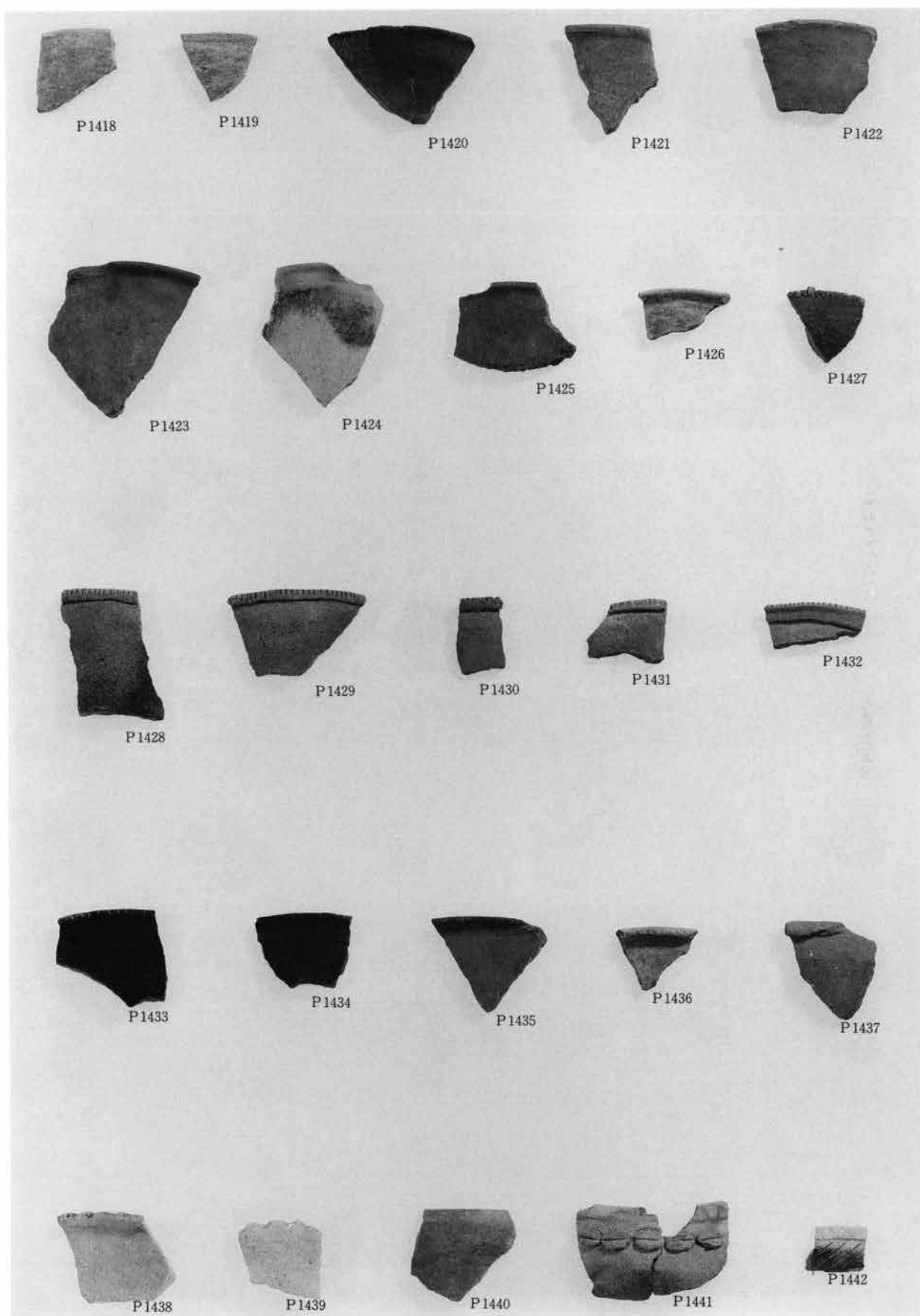


1 2-1号河川跡下層出土土器(12)

图版100

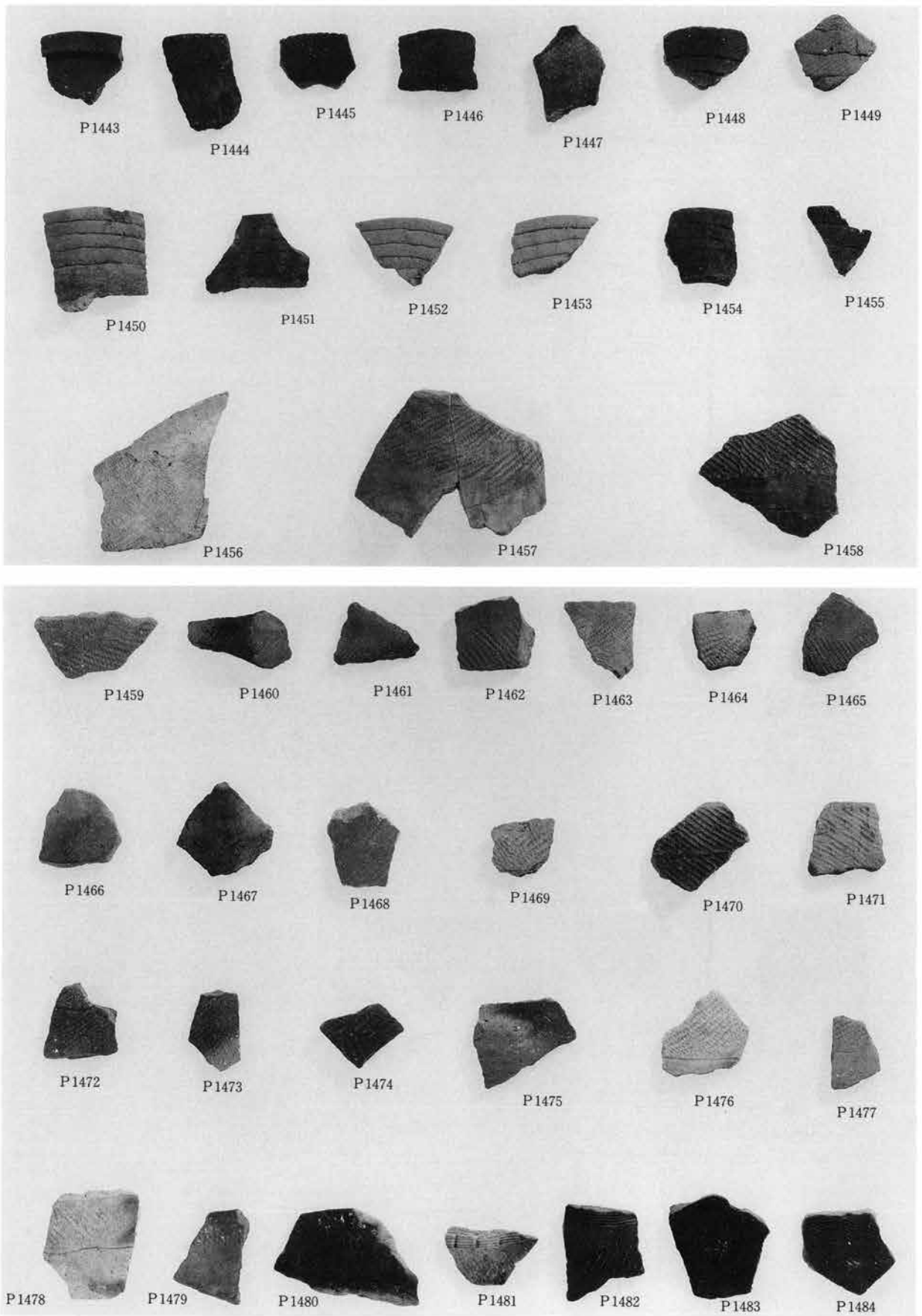


1 2-1号河川跡下層出土土器(13)



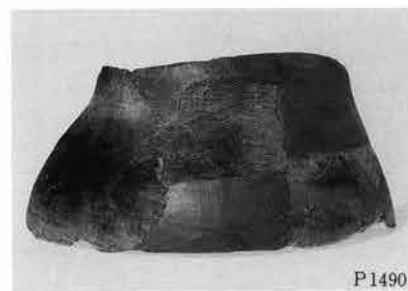
1 2-1号河川跡下層出土土器(14)

図版102



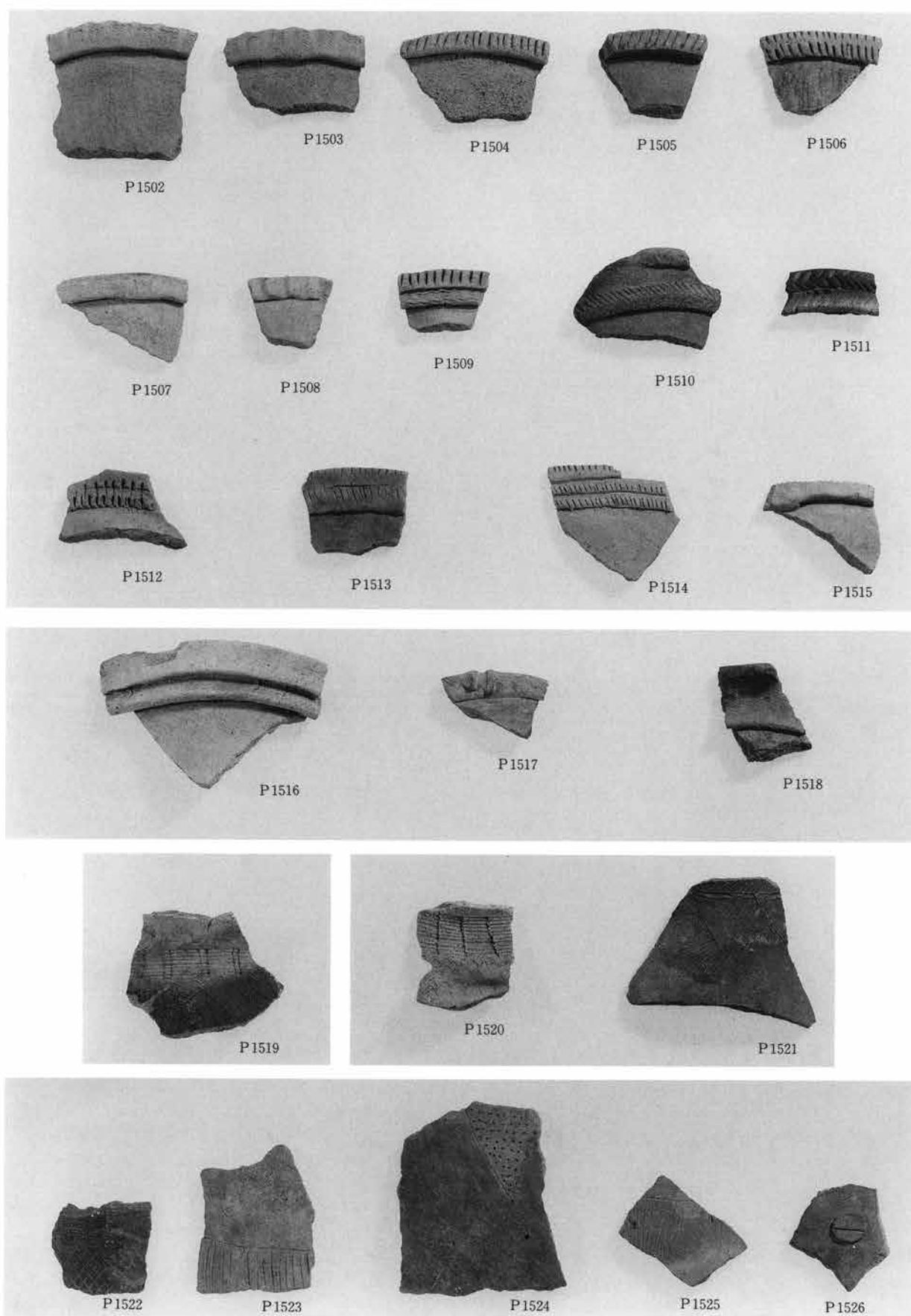
1 2-1号河川跡下層出土土器(15)

図版103

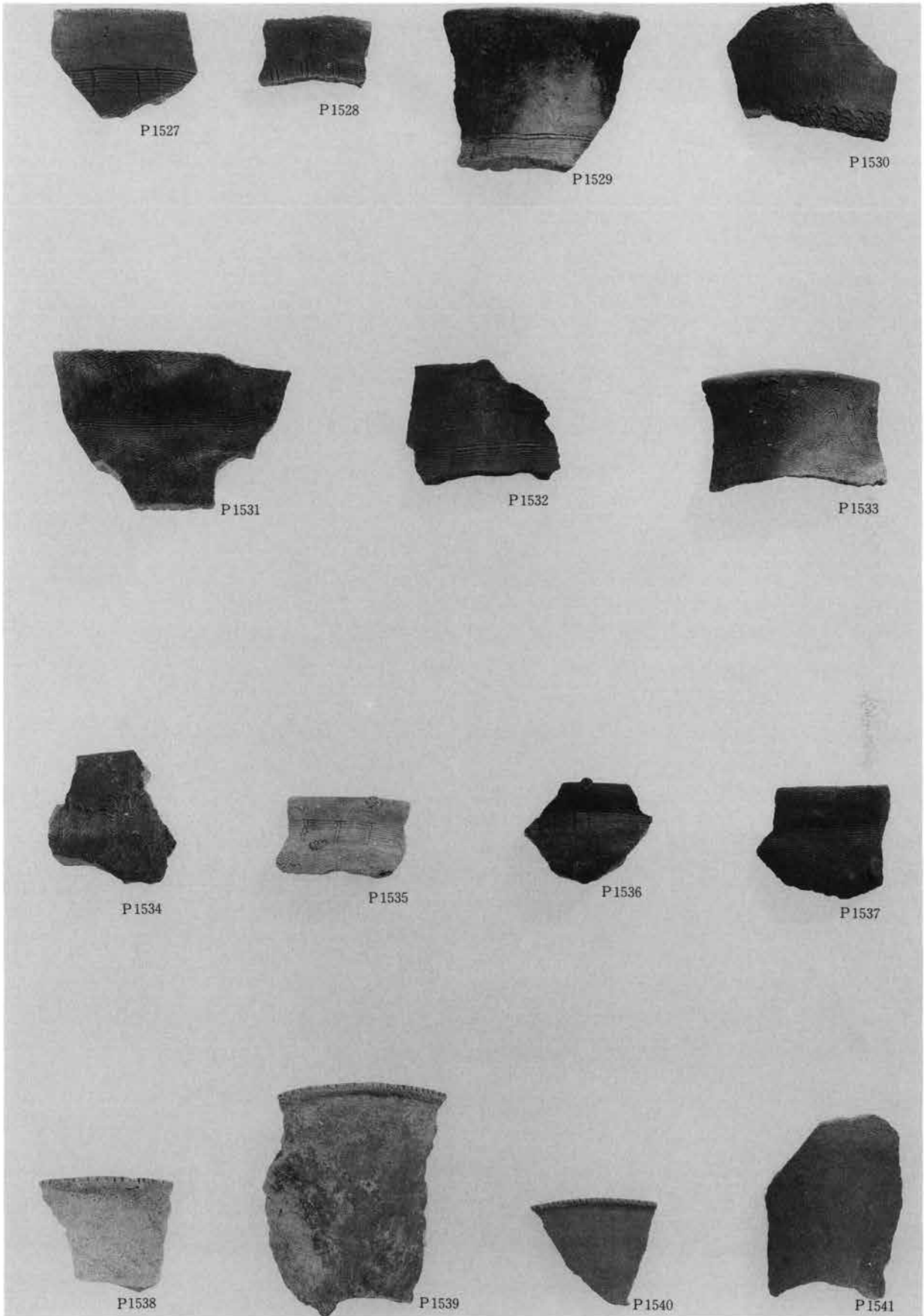


1 2-1号河川跡中層出土土器(1)

图版104

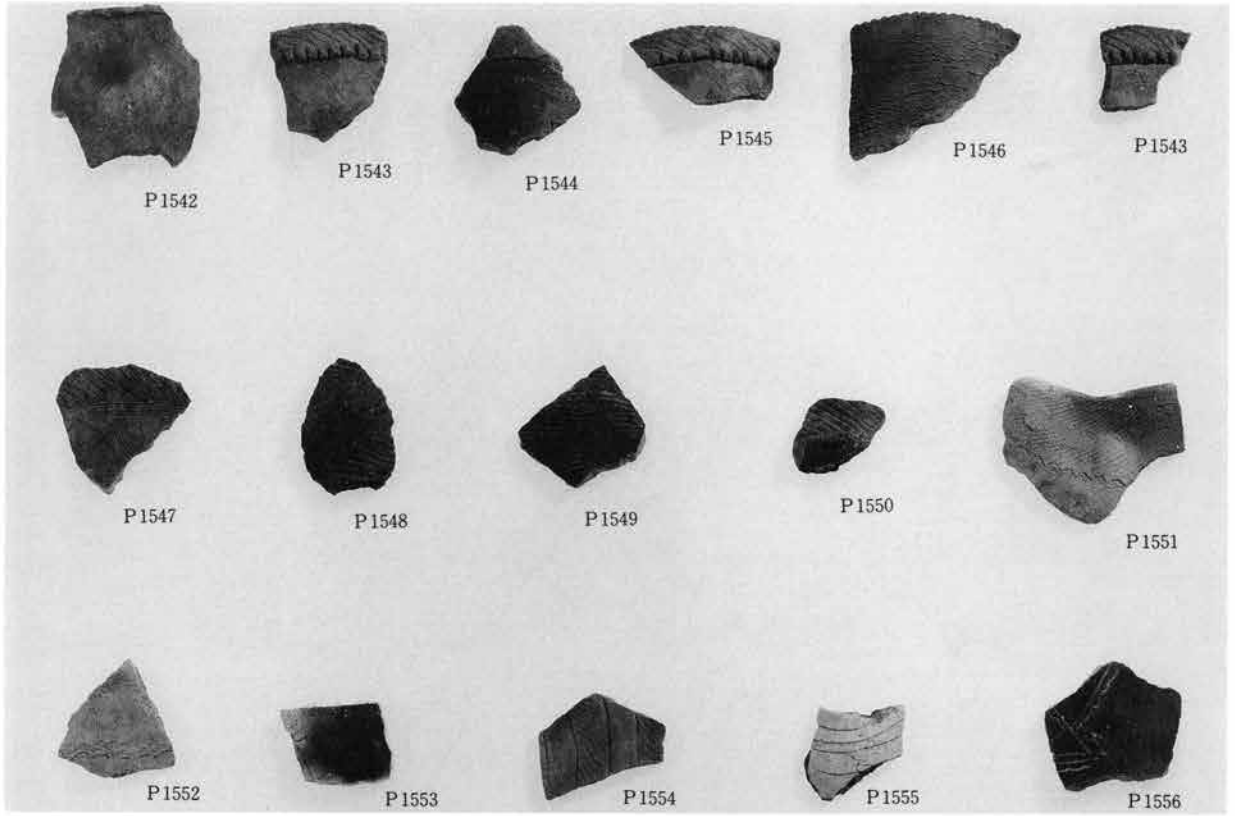


1 2-1号河川跡中層出土土器(2)

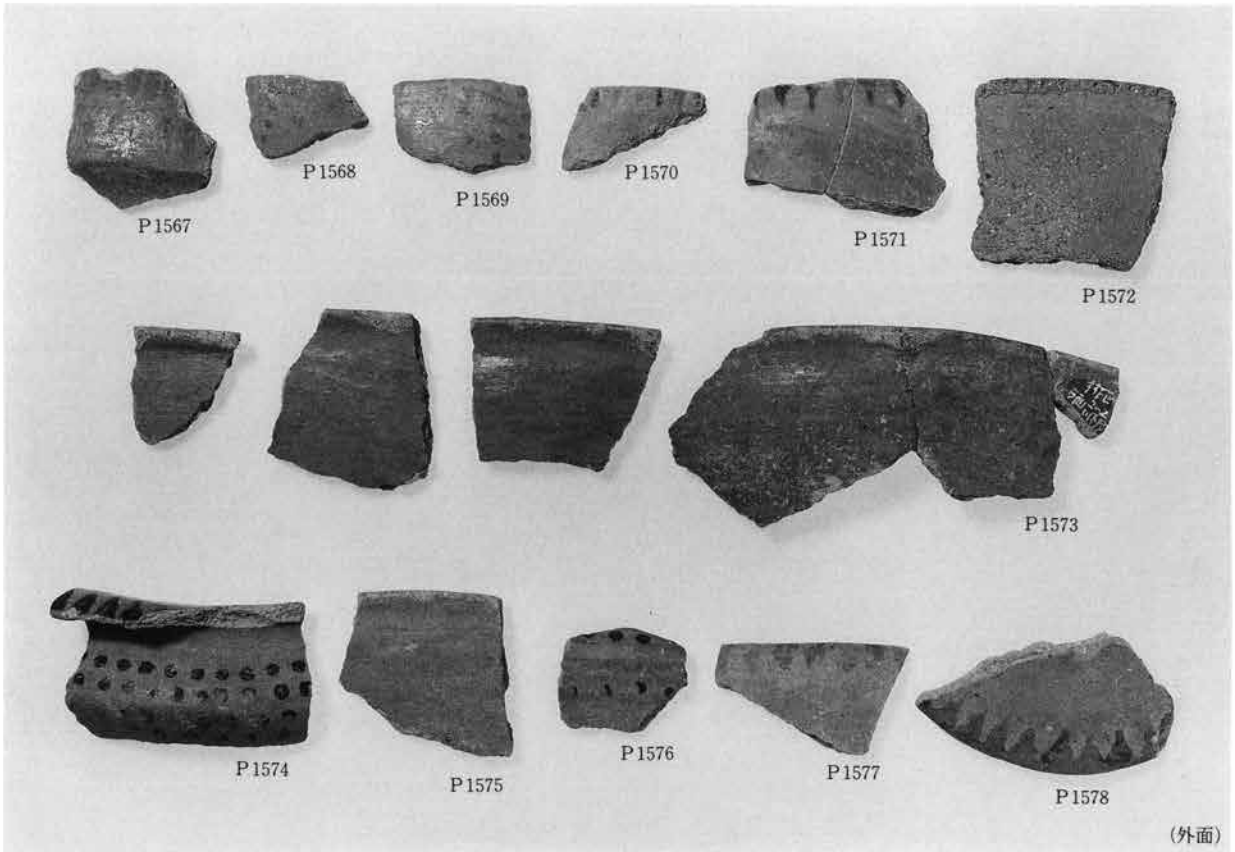


1 2-1号河川跡中層出土土器(3)

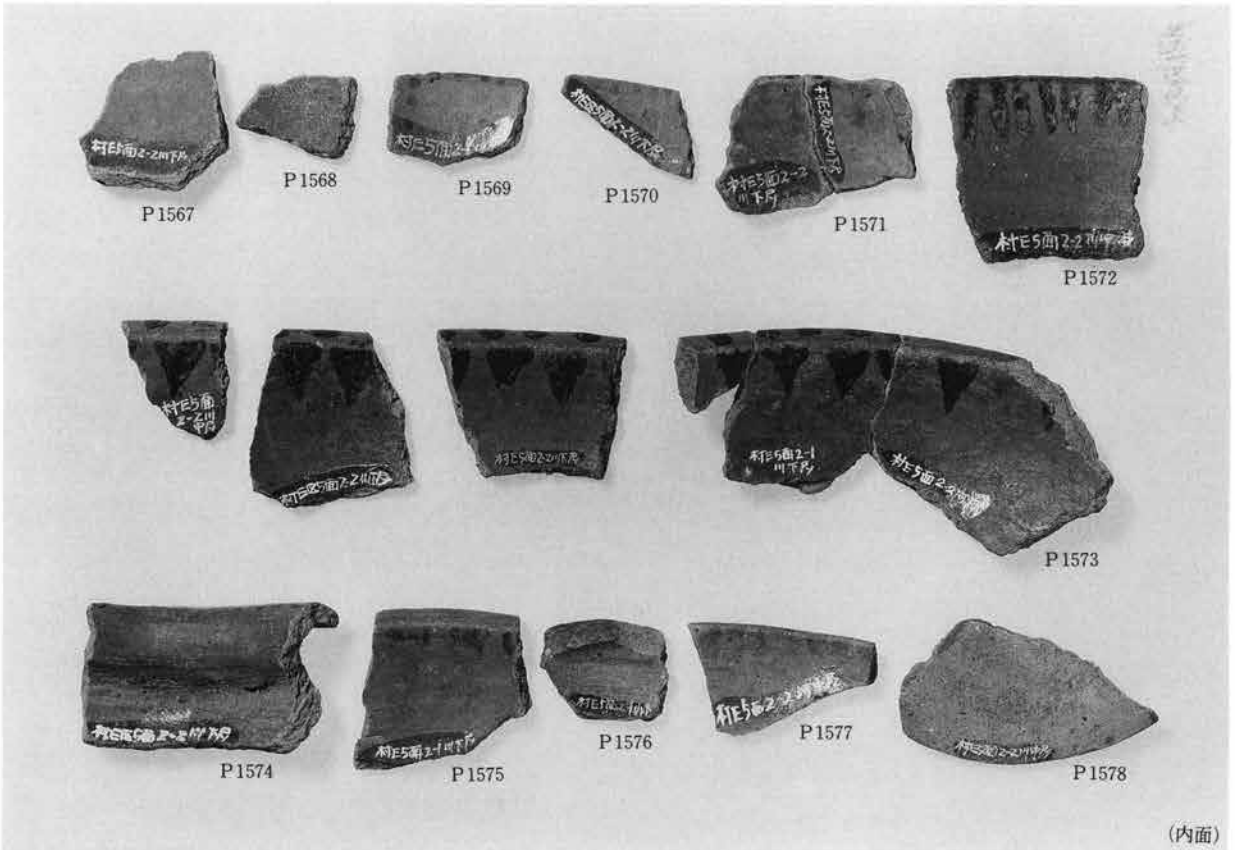
图版106



1 2-1号河川跡中層出土土器(4)·2号河川跡上層出土土器(1)

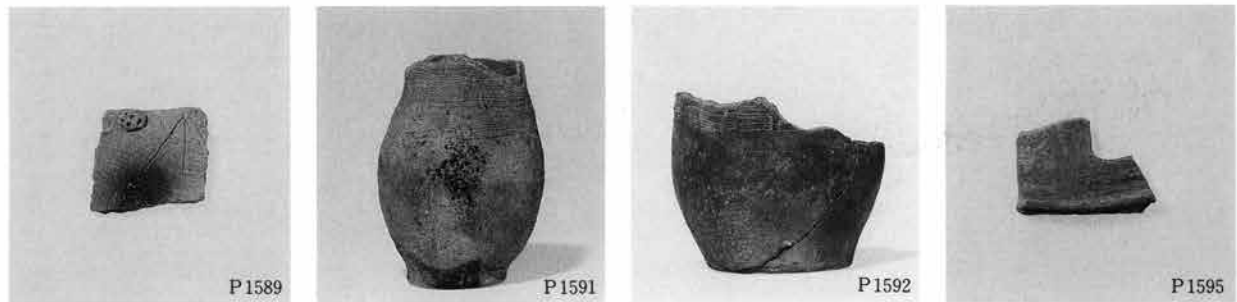
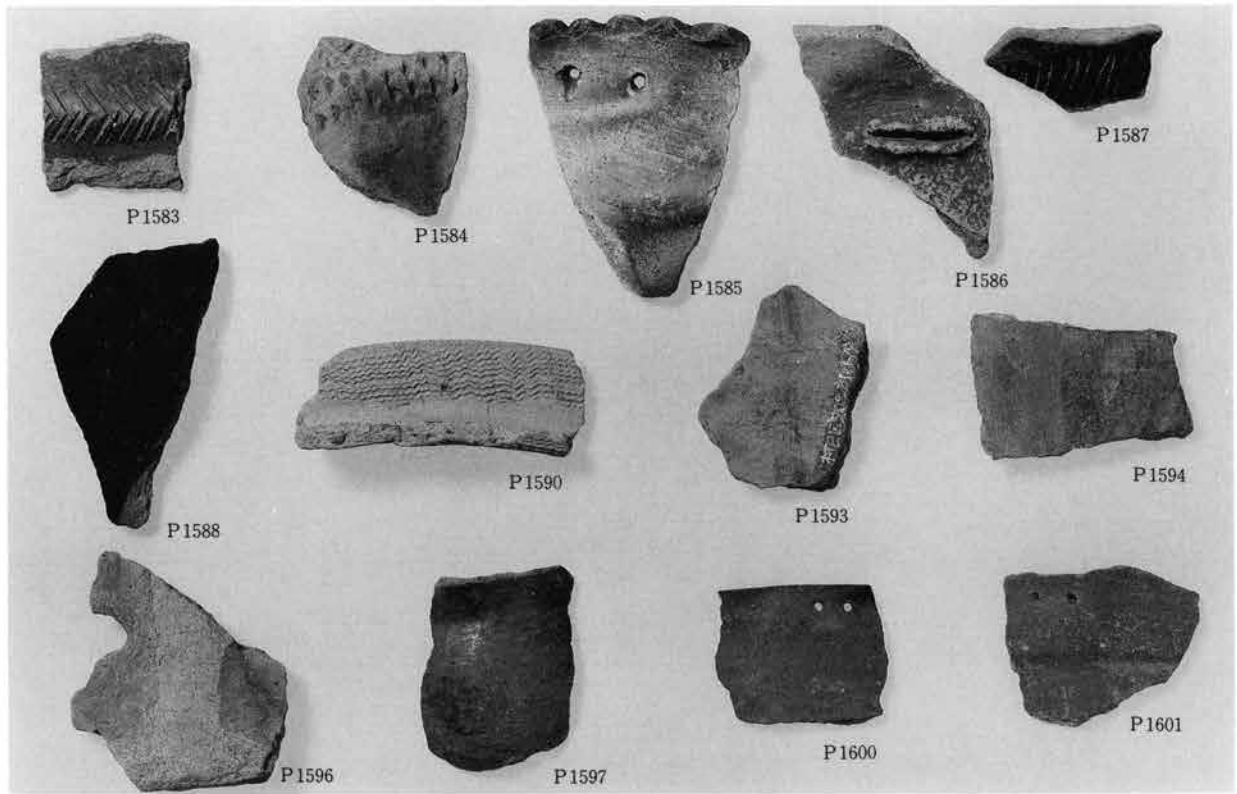
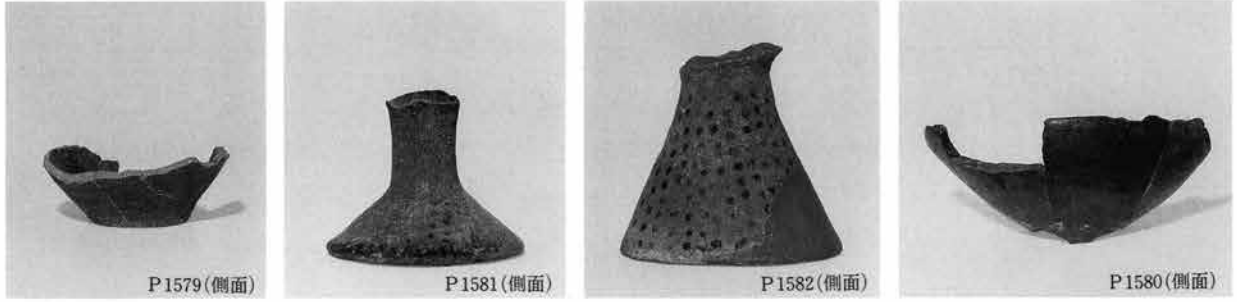
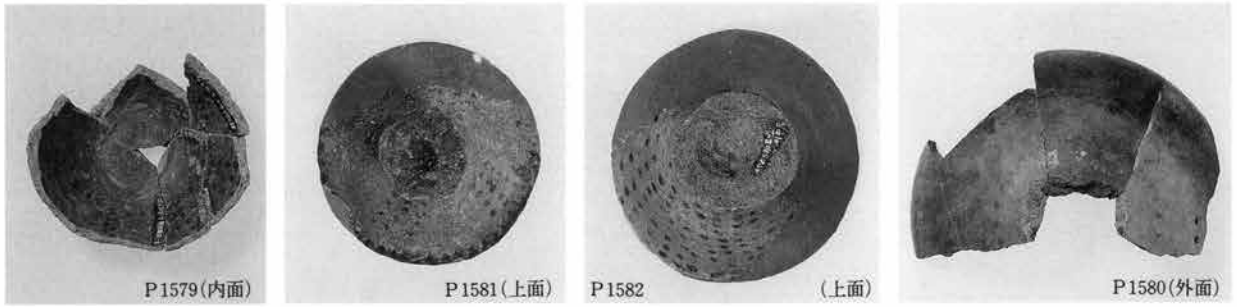


1 2号河川跡出土土器(1)

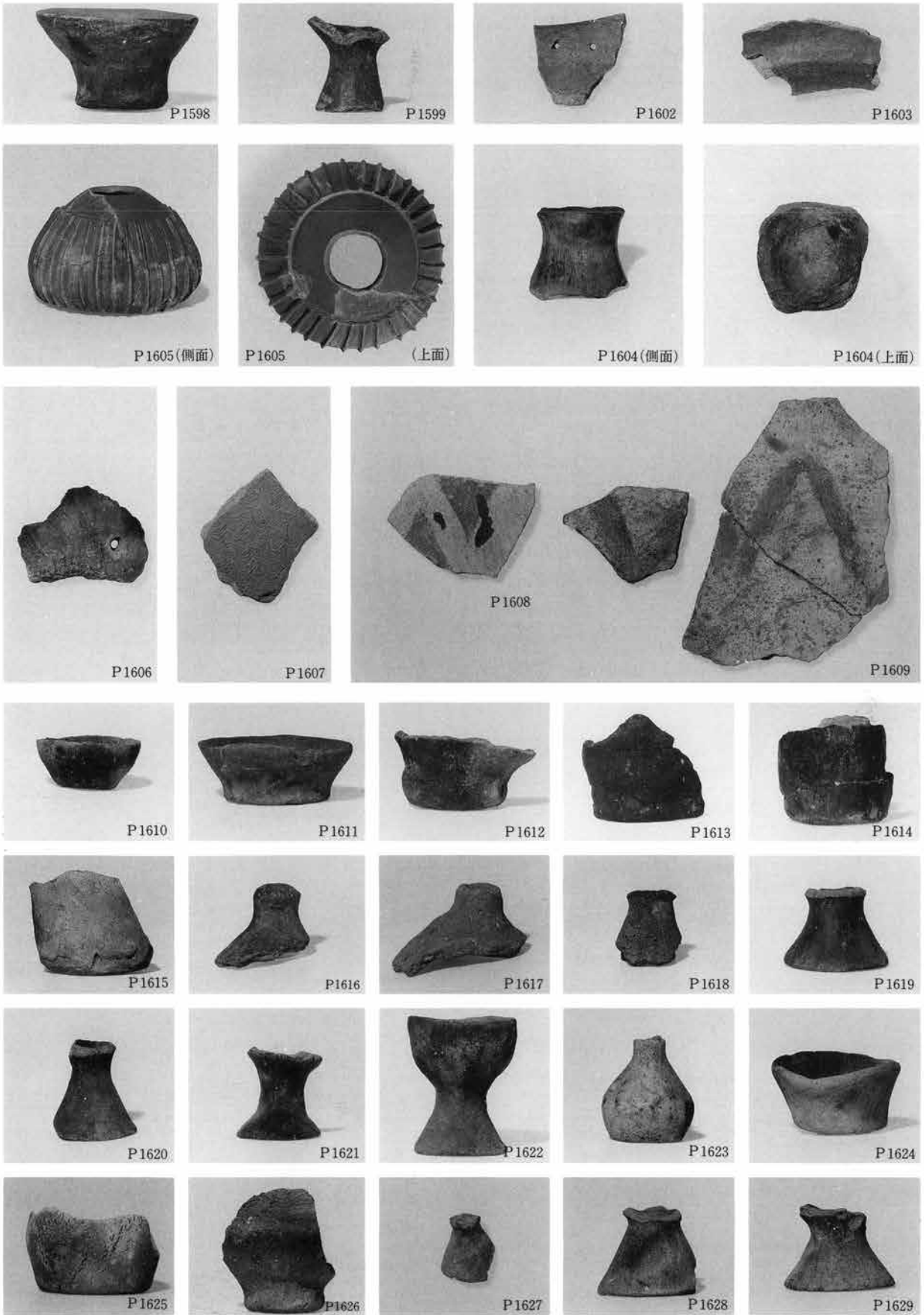


2 2号河川跡出土土器(2)

図版108

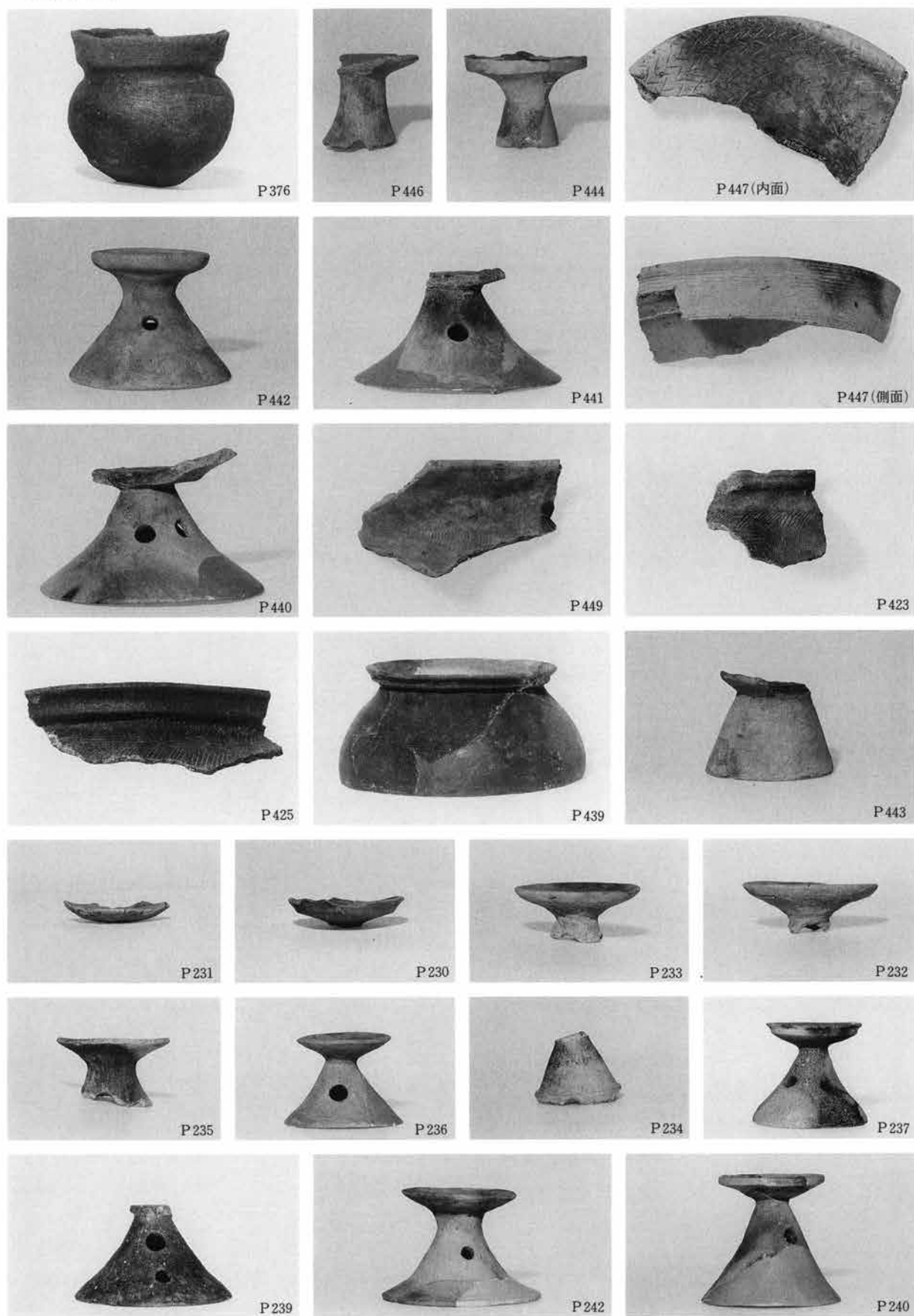


1 2号河川跡出土土器(3)

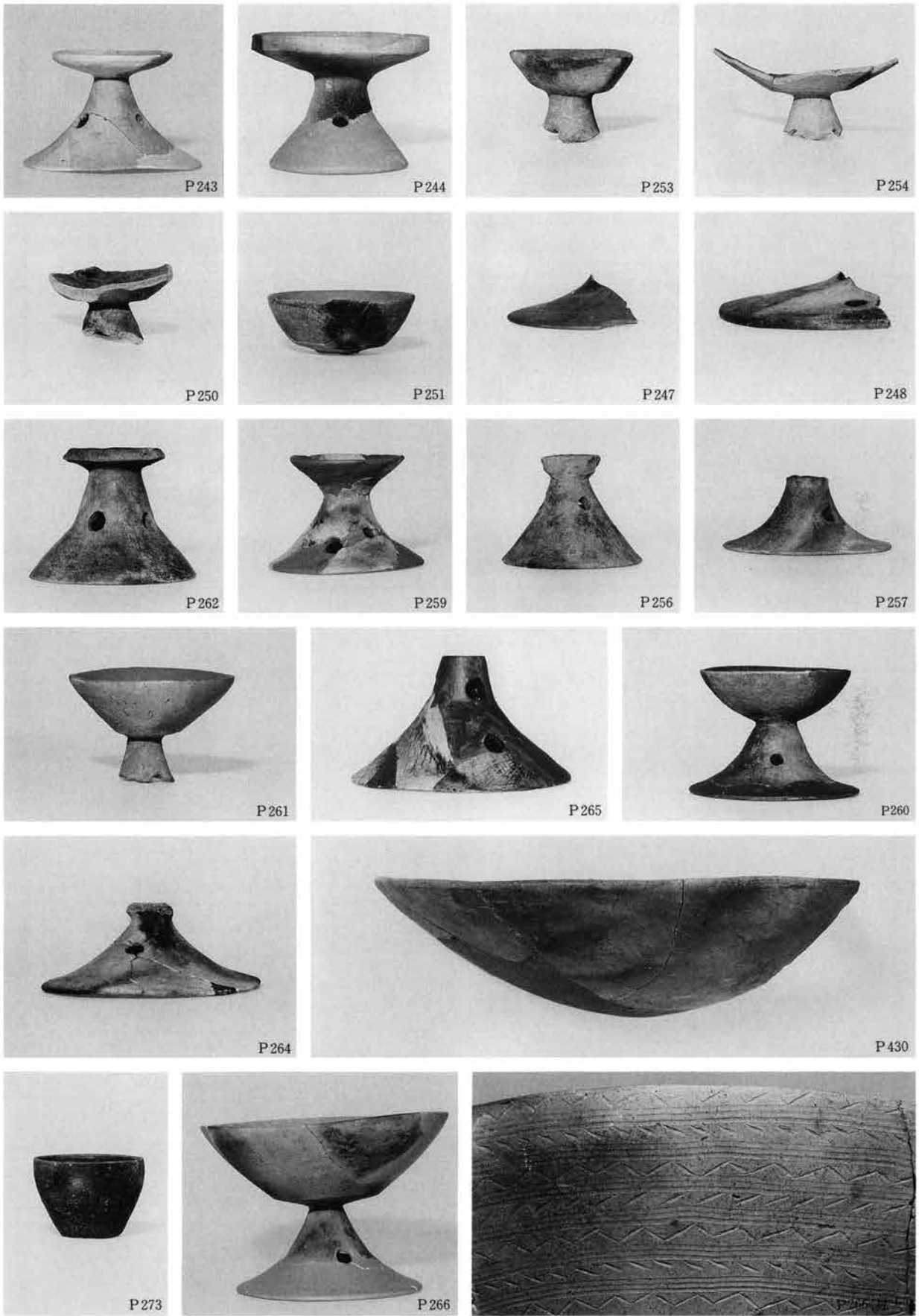


1 2号河川跡出土土器(4)

図版110



1 2-1号河川跡中層出土土器(5)

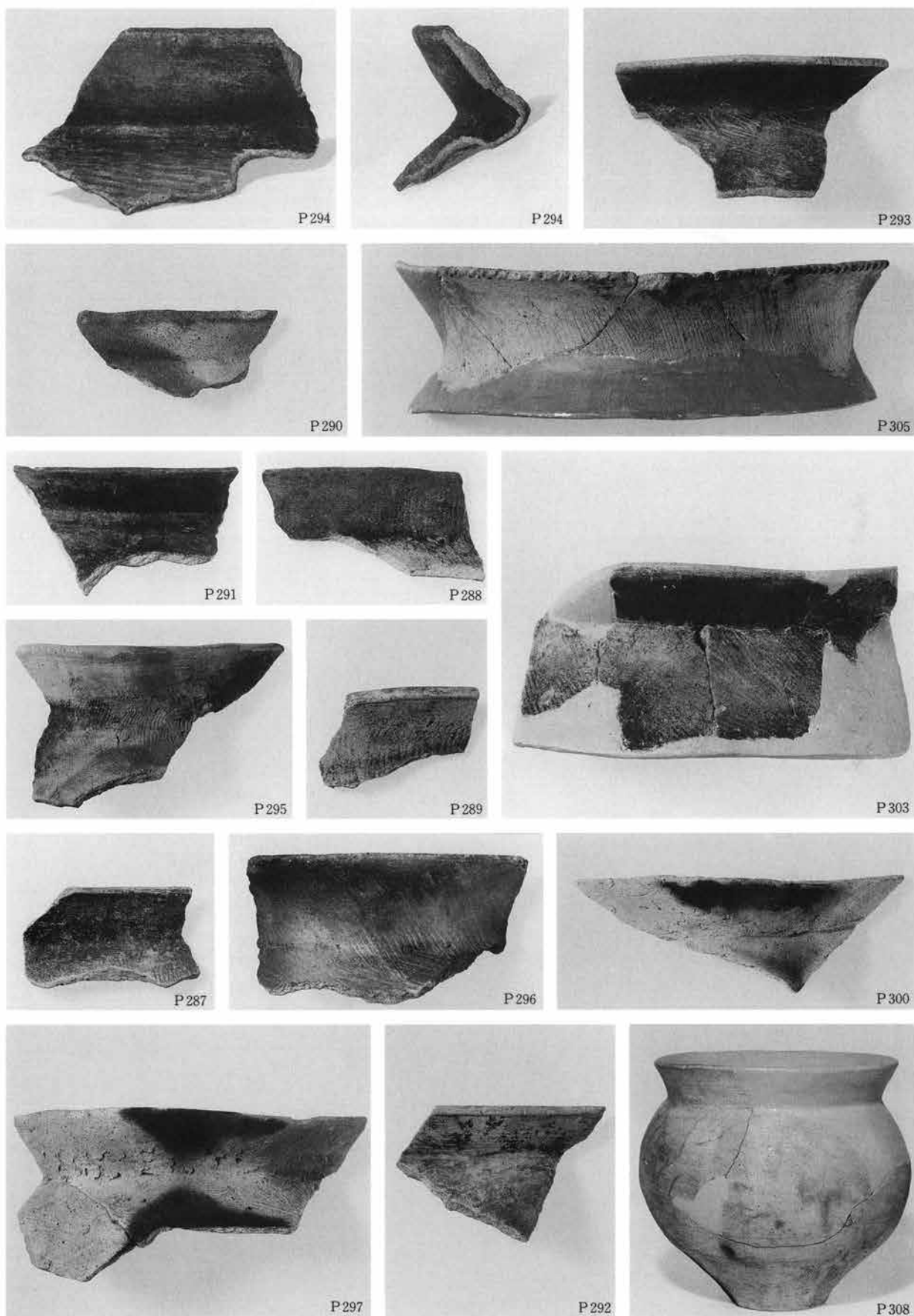


1 2-1号河川跡中層出土土器(6)

図版112



1 2-1号河川跡中層出土土器(7)

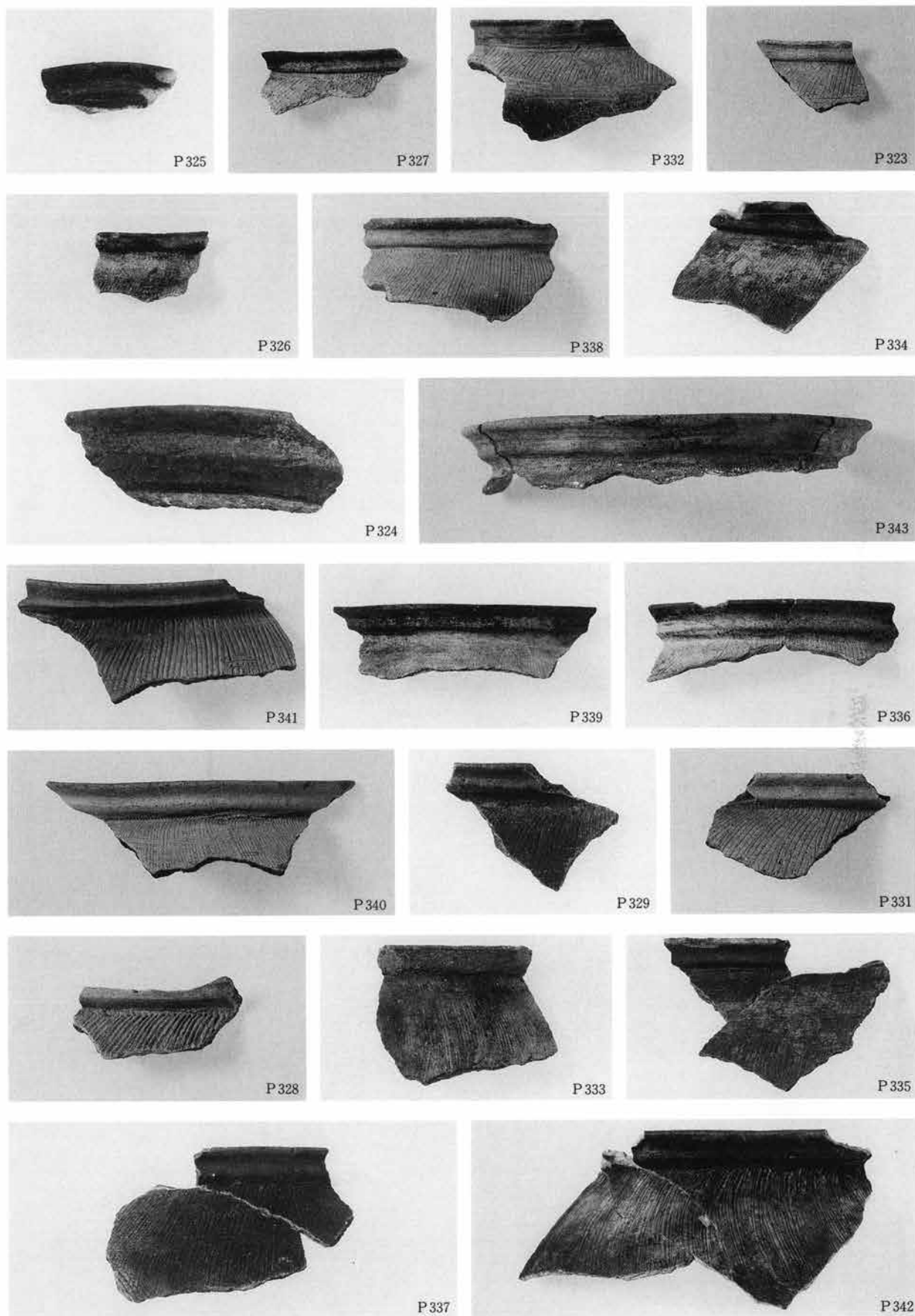


1 2-1号河川跡中層出土土器(8)

图版114

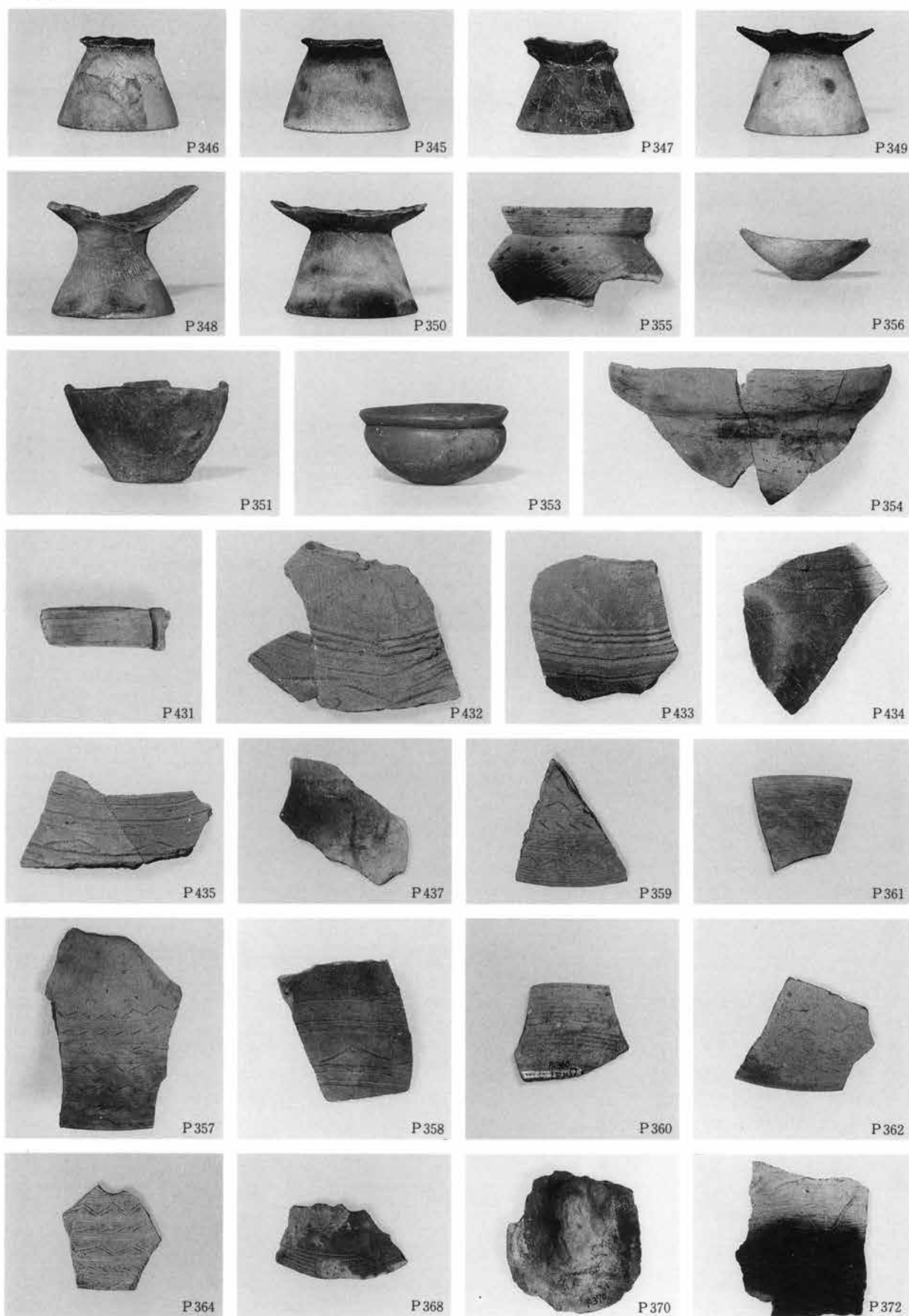


1 2-1号河川跡中層出土土器(9)

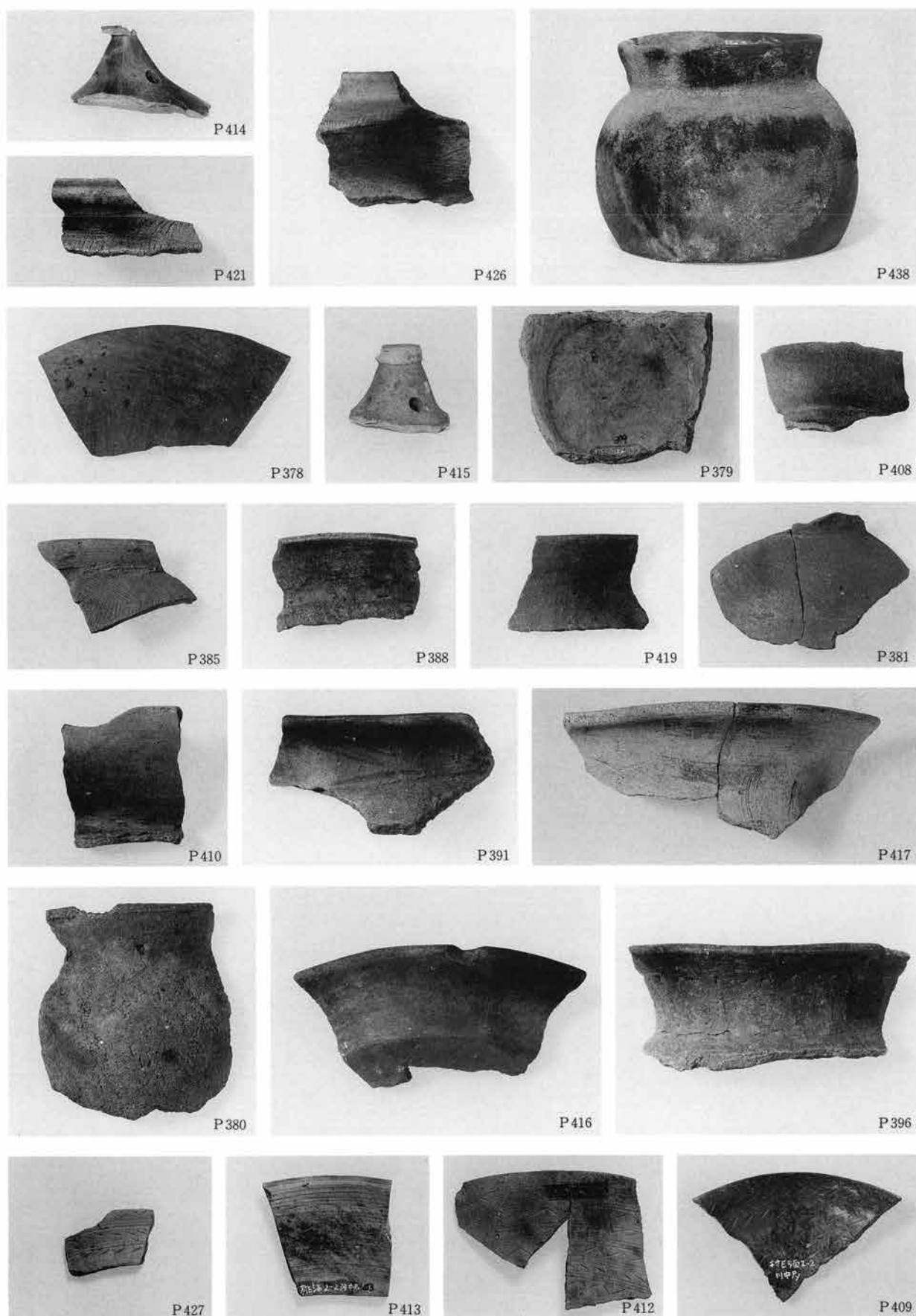


1 2-1号河川跡中層出土土器(10)

图版116

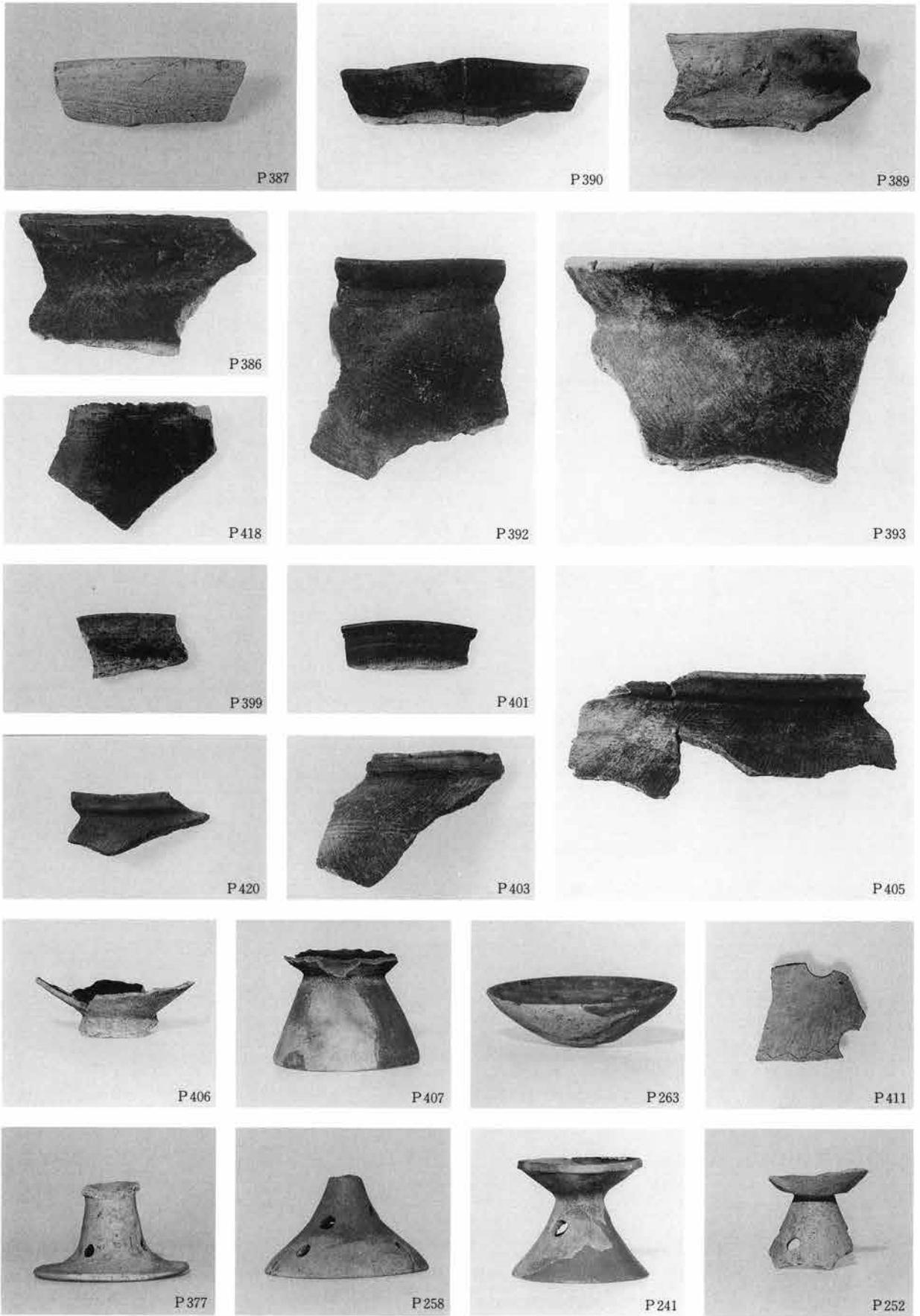


1 2-1号河川跡中層出土土器(11)



1 2-2号河川跡中層出土土器(6)

図版118



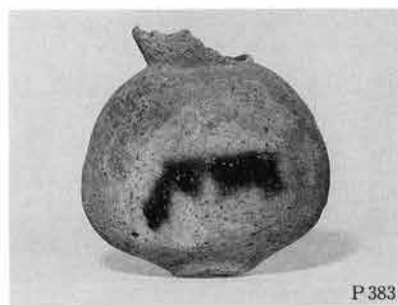
1 2-2号河川跡中層出土土器(7)・2号河川跡上層出土土器(2)



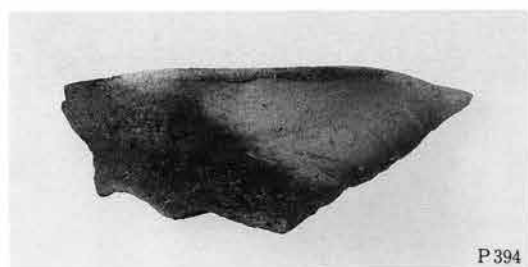
P384



P382



P383



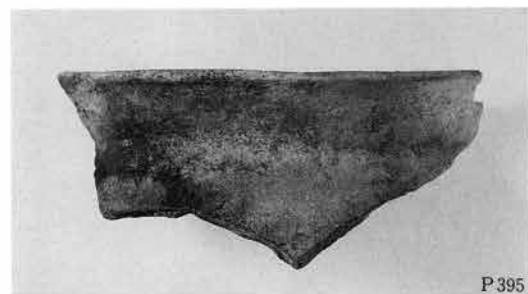
P394



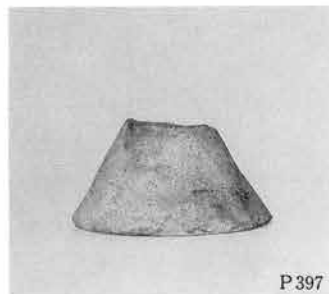
P299



P304



P395



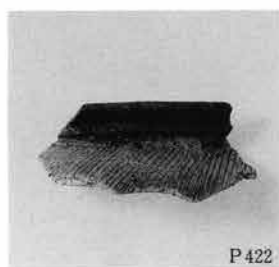
P397



P400



P330



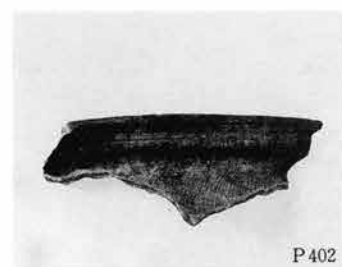
P422



P404



P424



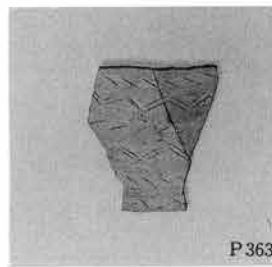
P402



P344



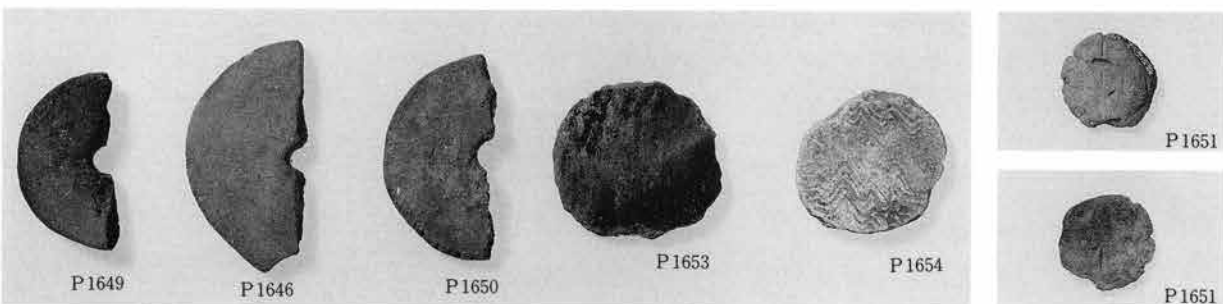
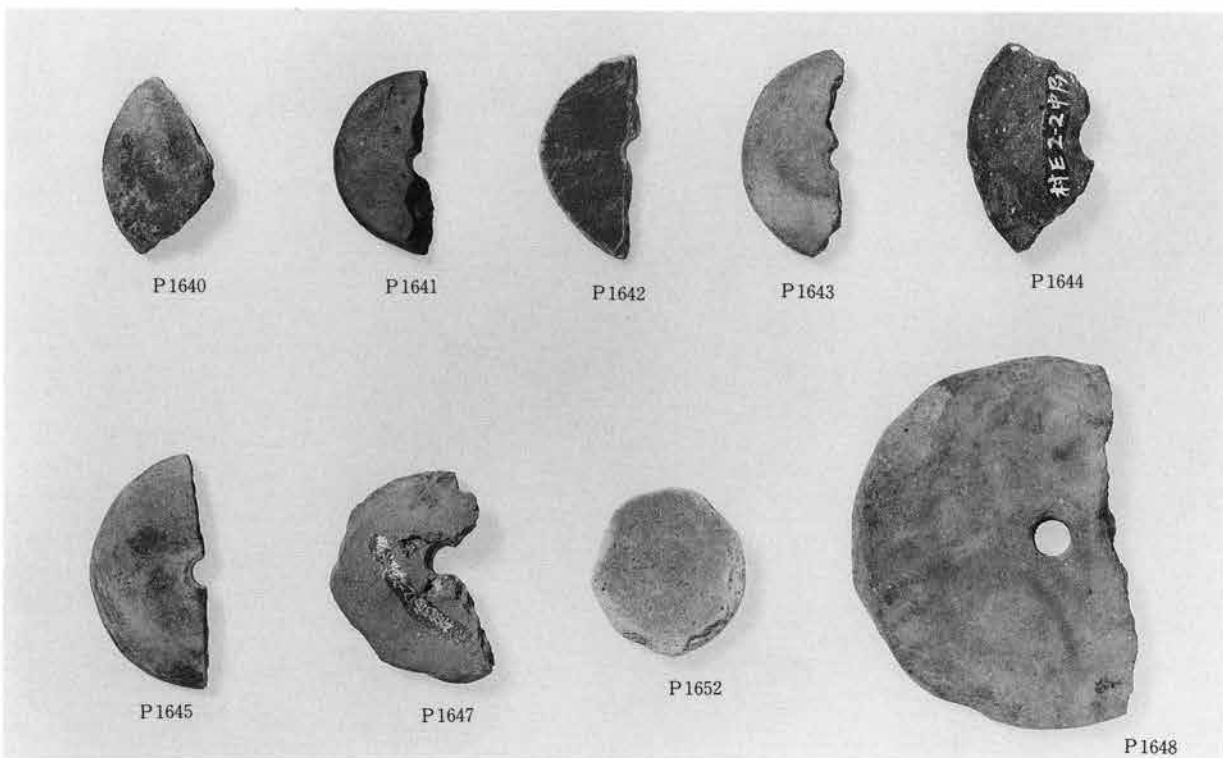
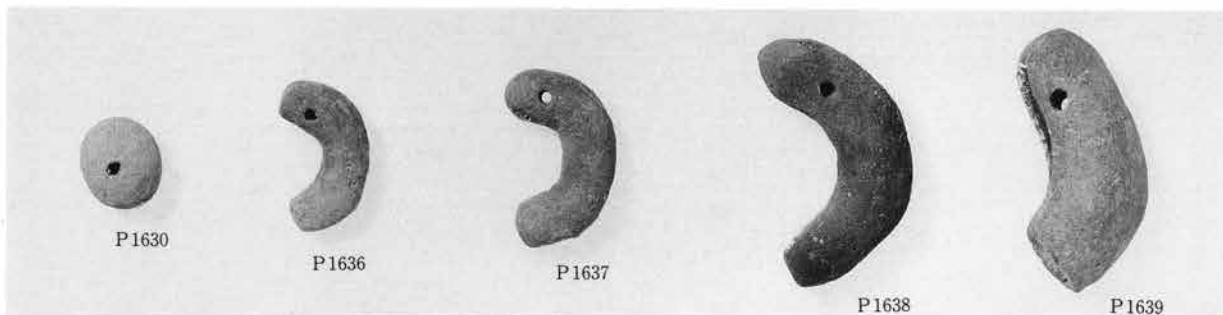
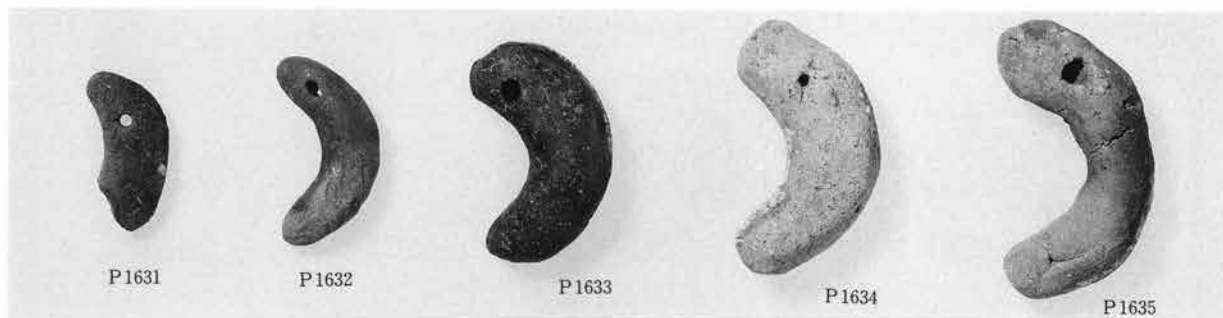
P365



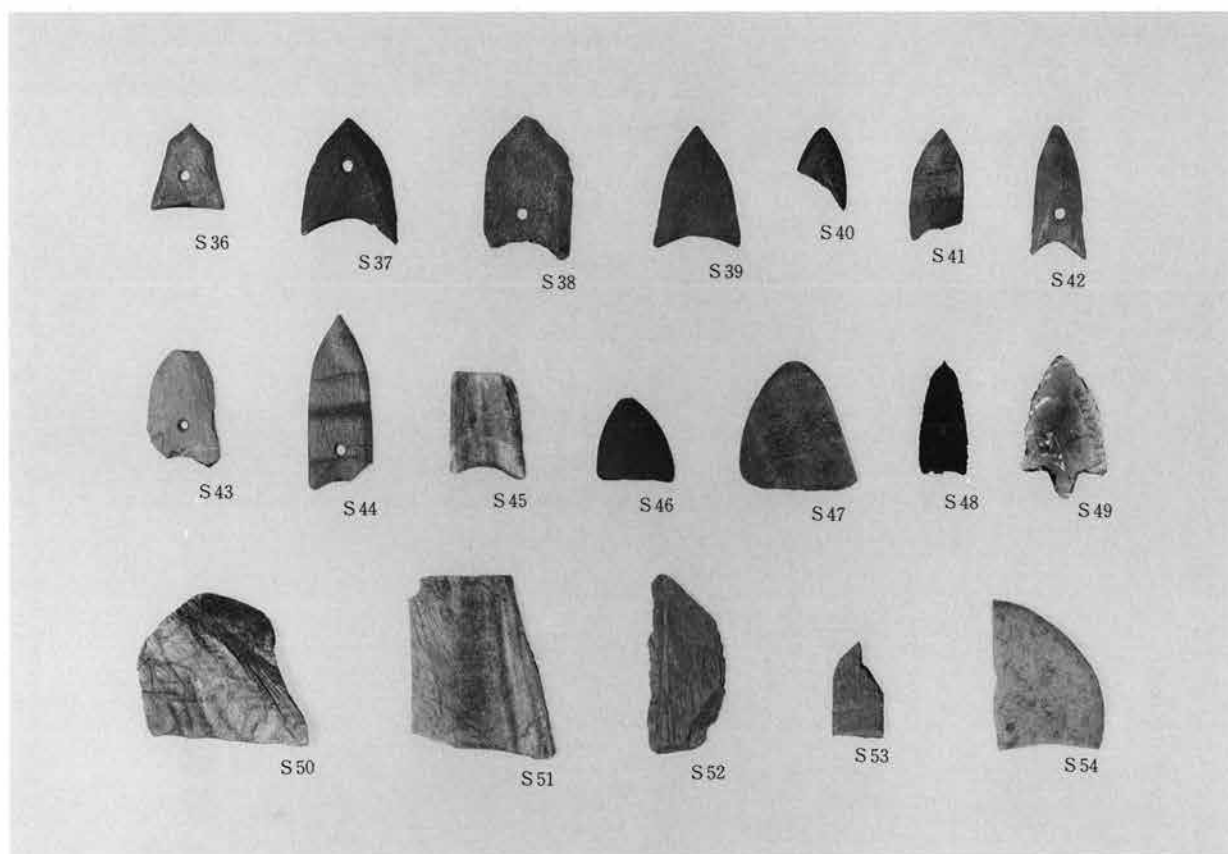
P363

1 2号河川跡上層出土土器(3)

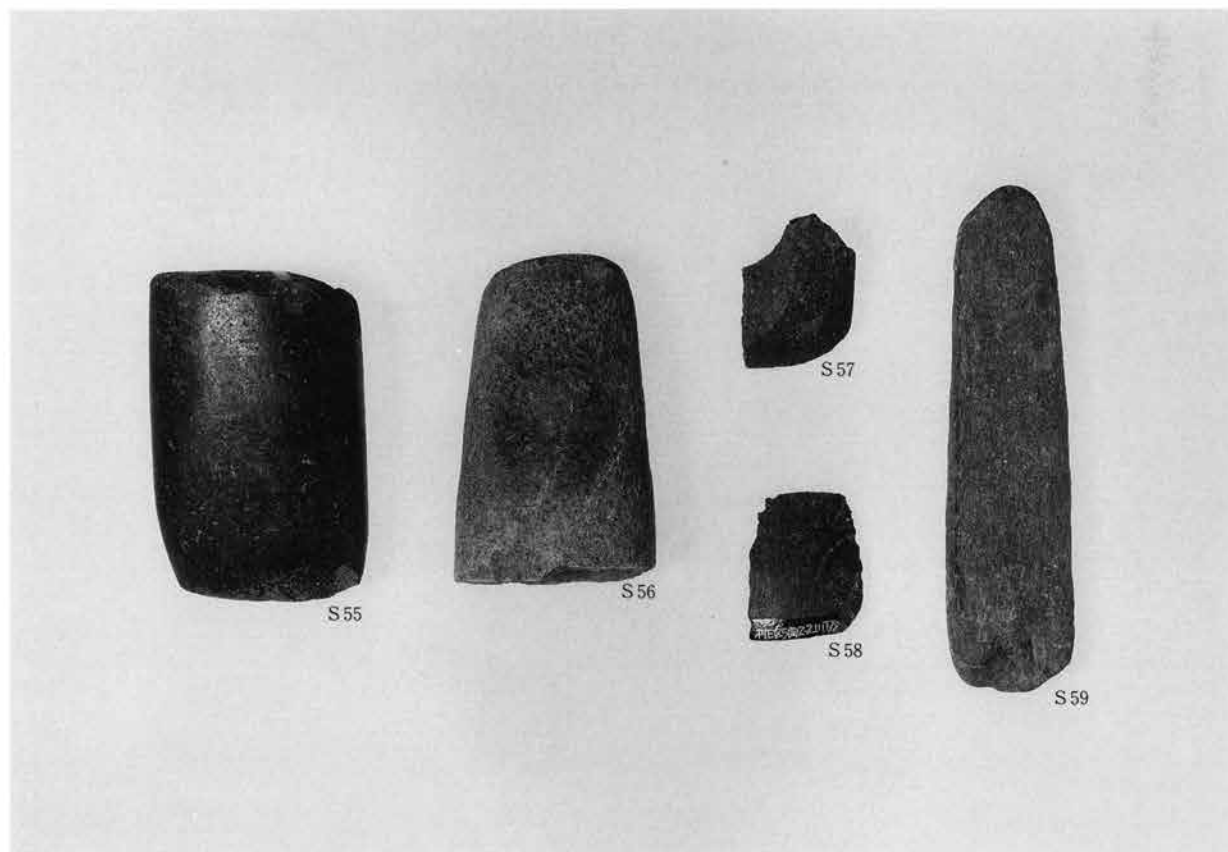
図版120



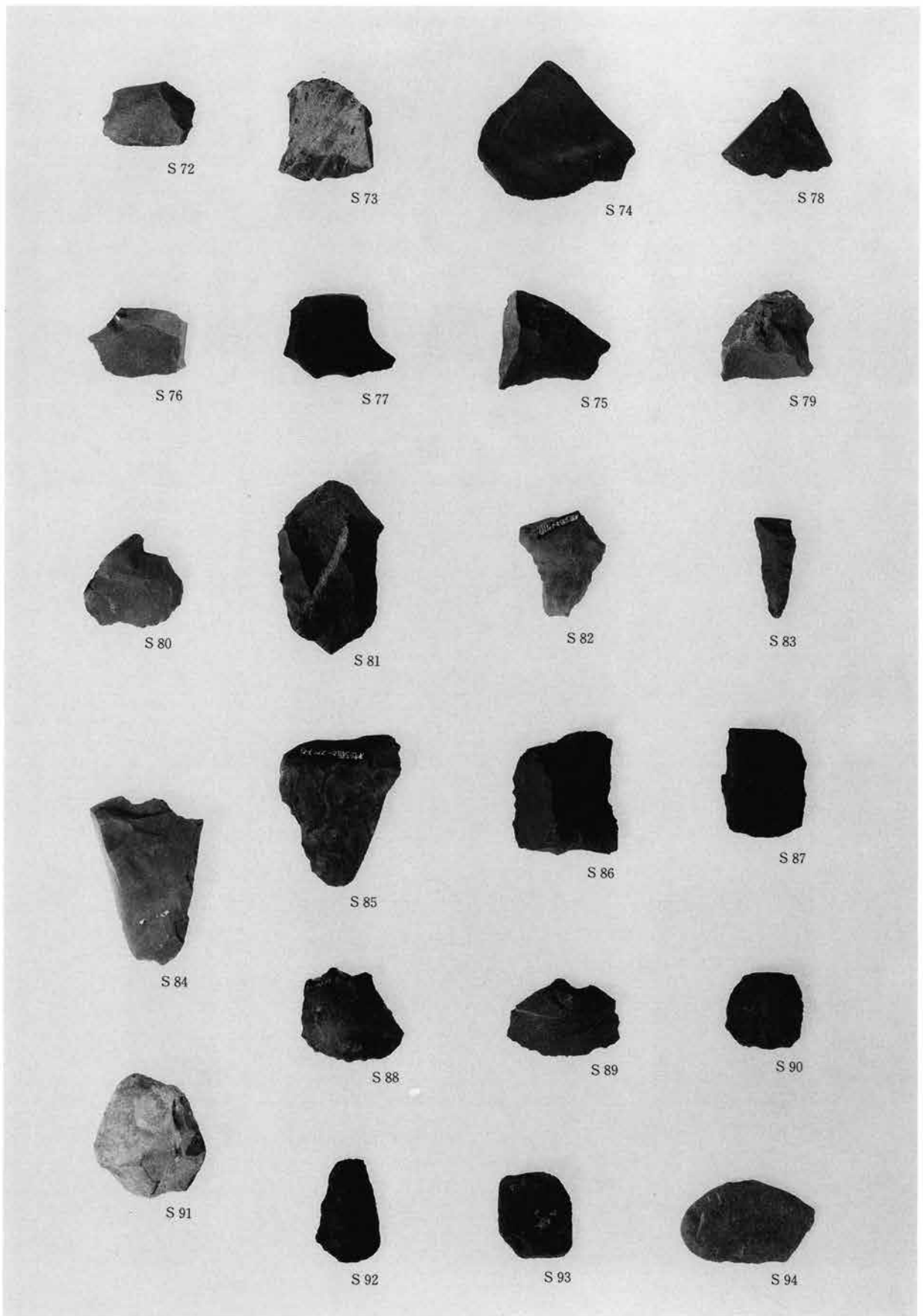
1 2号河川跡出土土製品



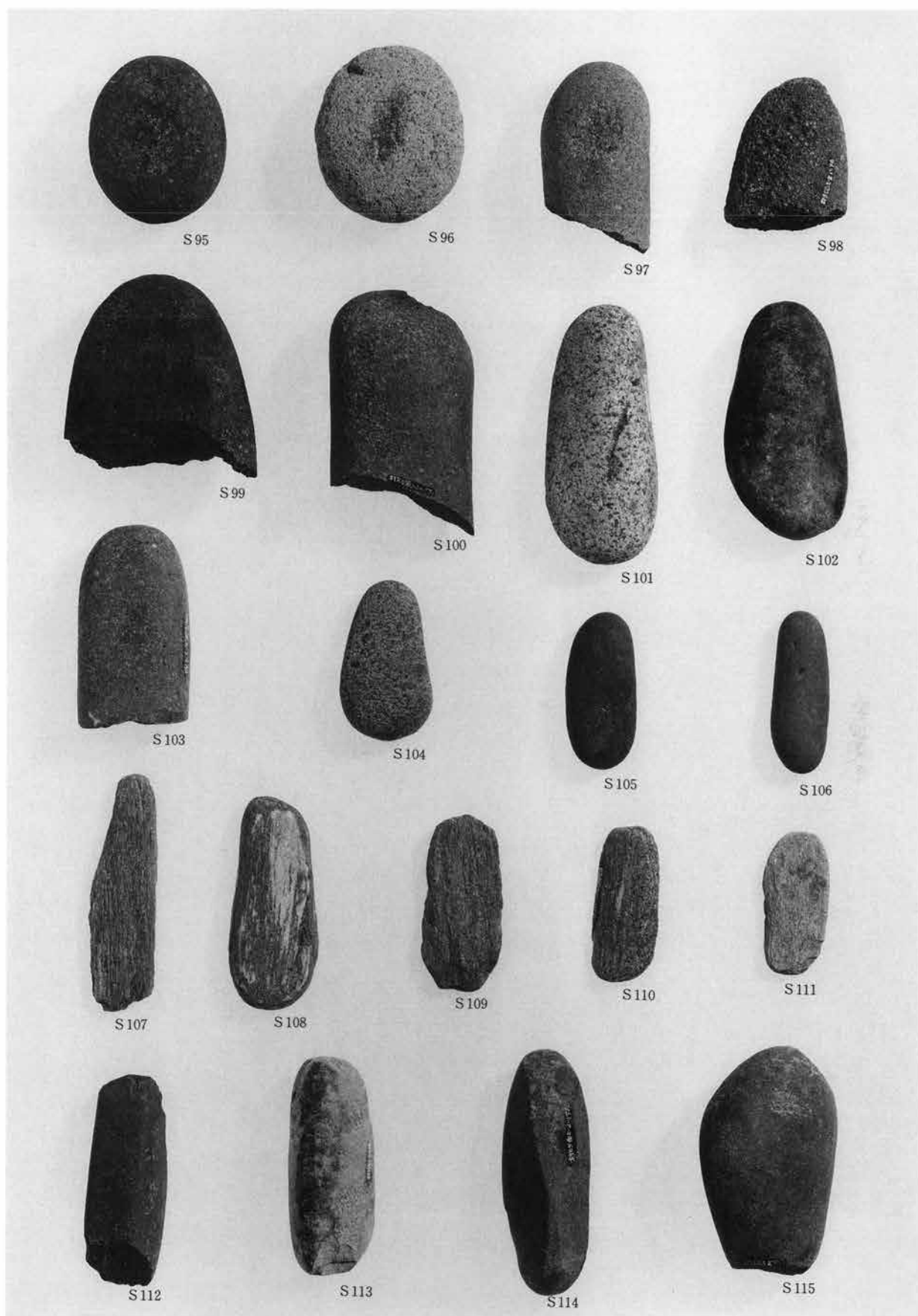
1 2-2号河川跡下層出土石器(1)



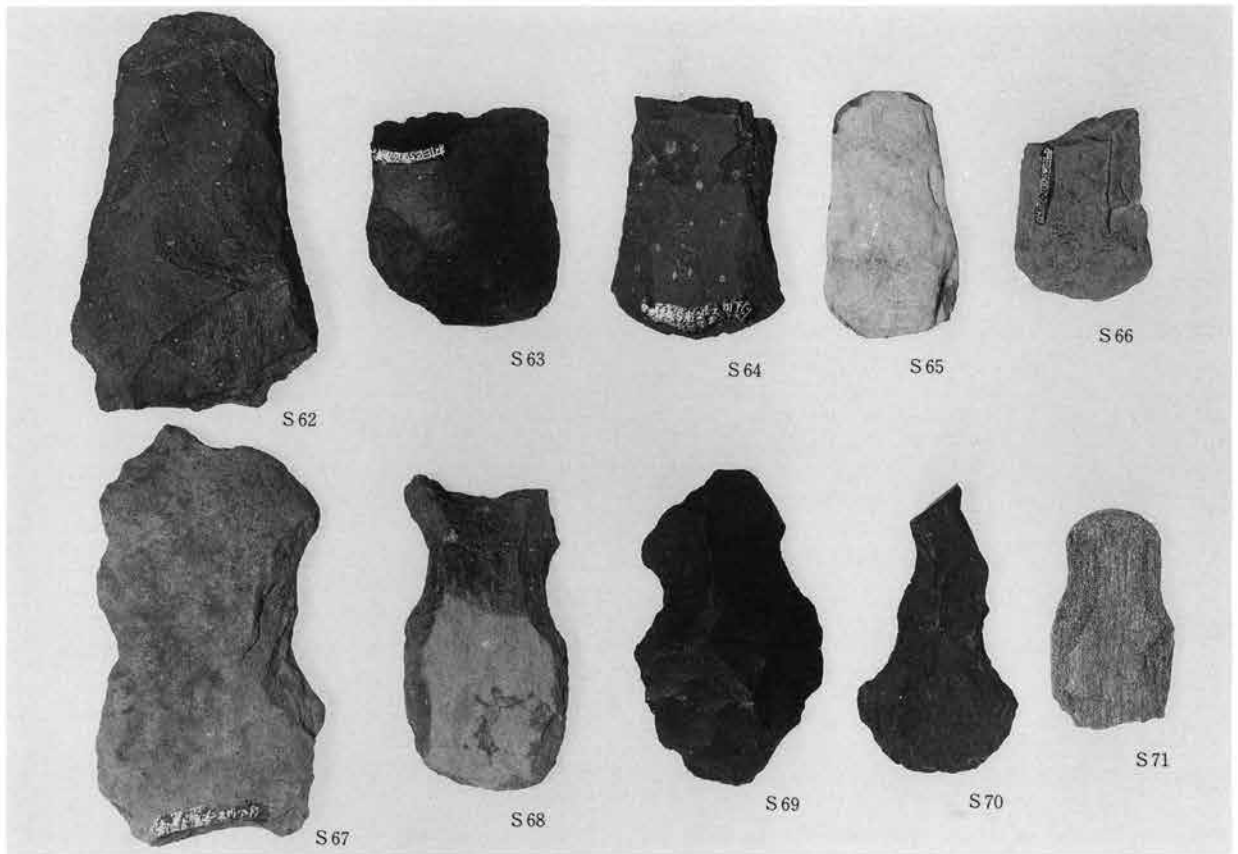
2 2-2号河川跡下層出土石器(2)



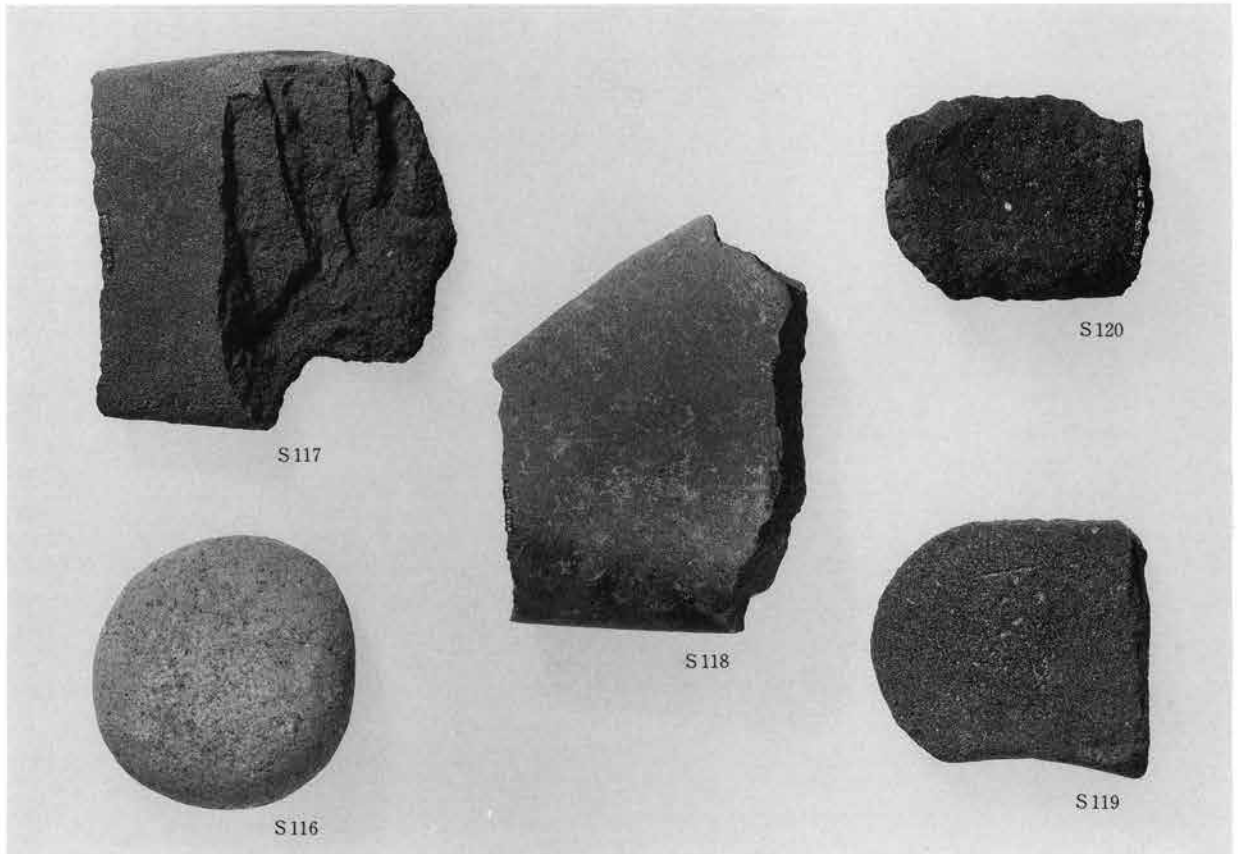
1 2-2号河川跡下層出土石器(3)



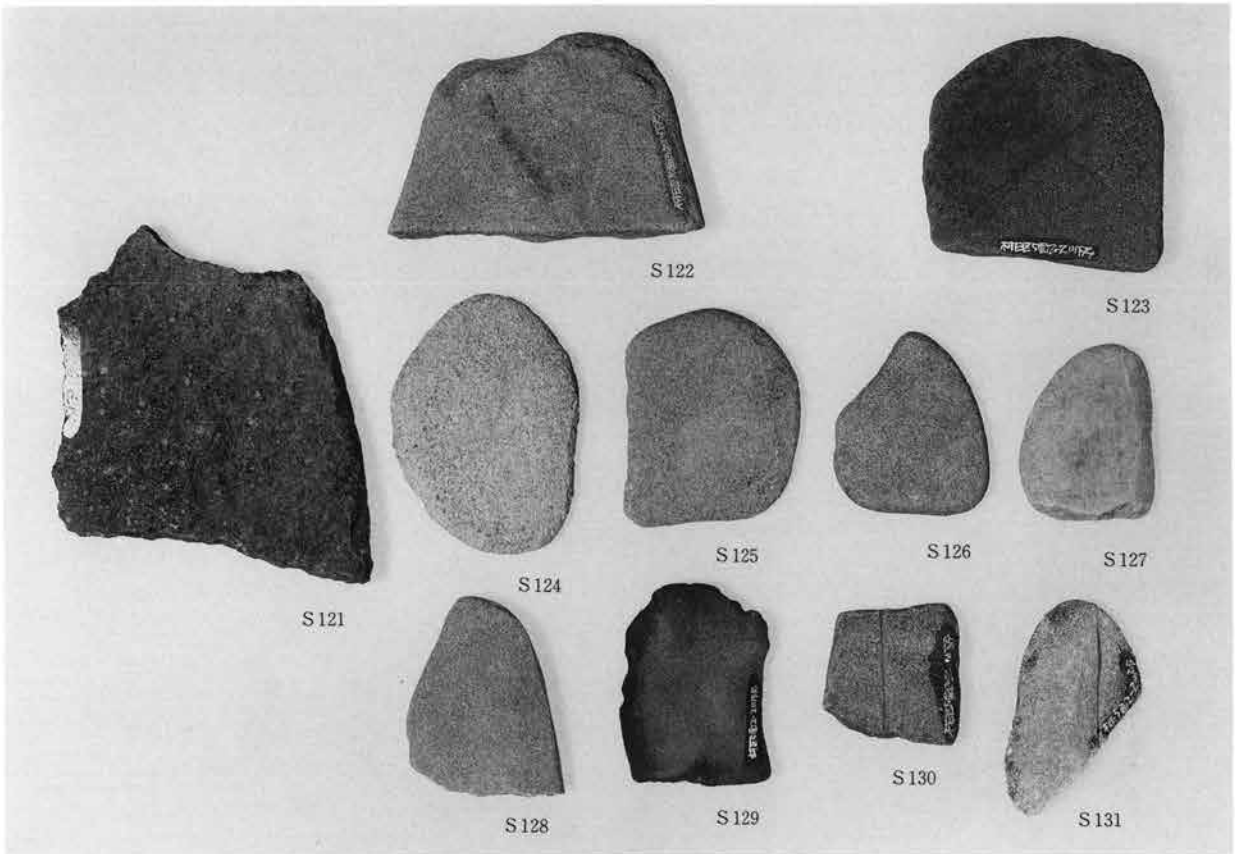
1 2-2号河川跡下層出土石器(4)



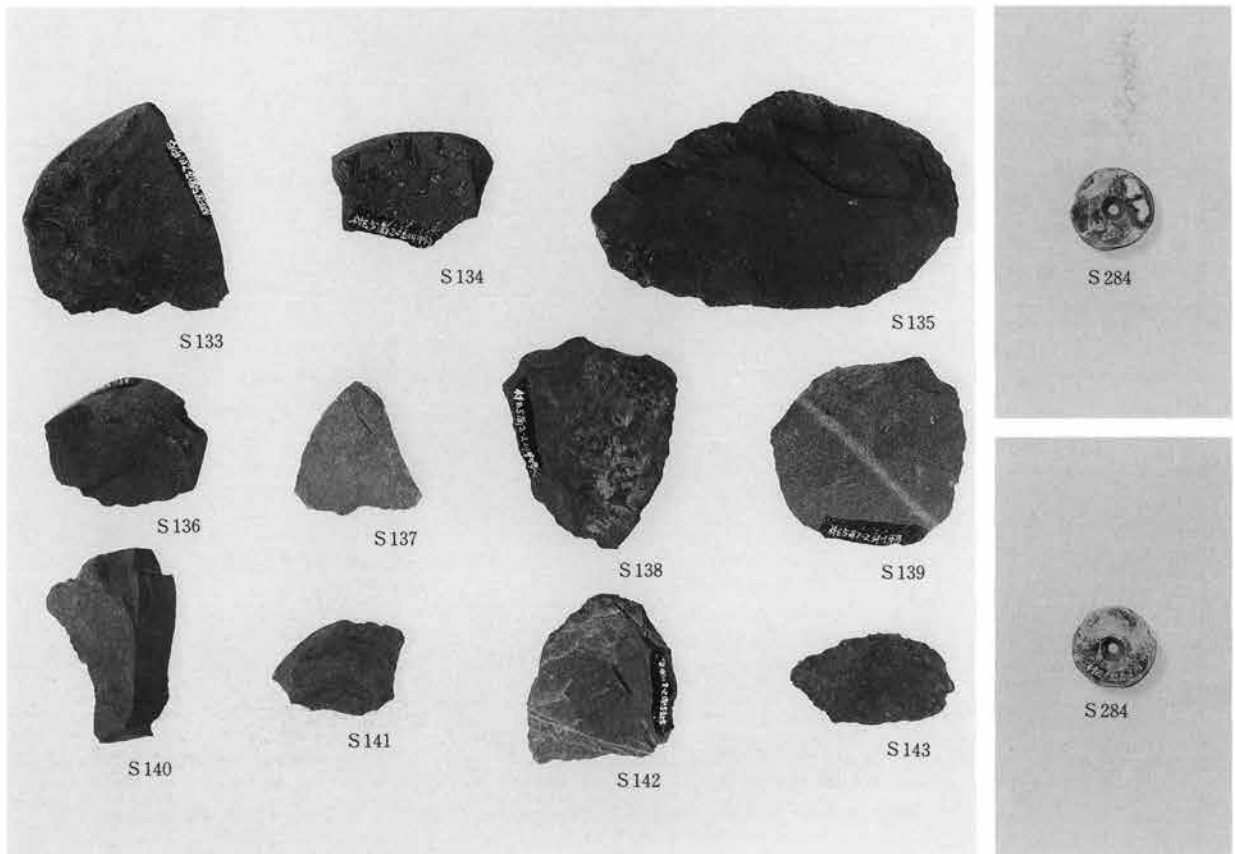
1 2-2号河川跡下層出土石器(5)



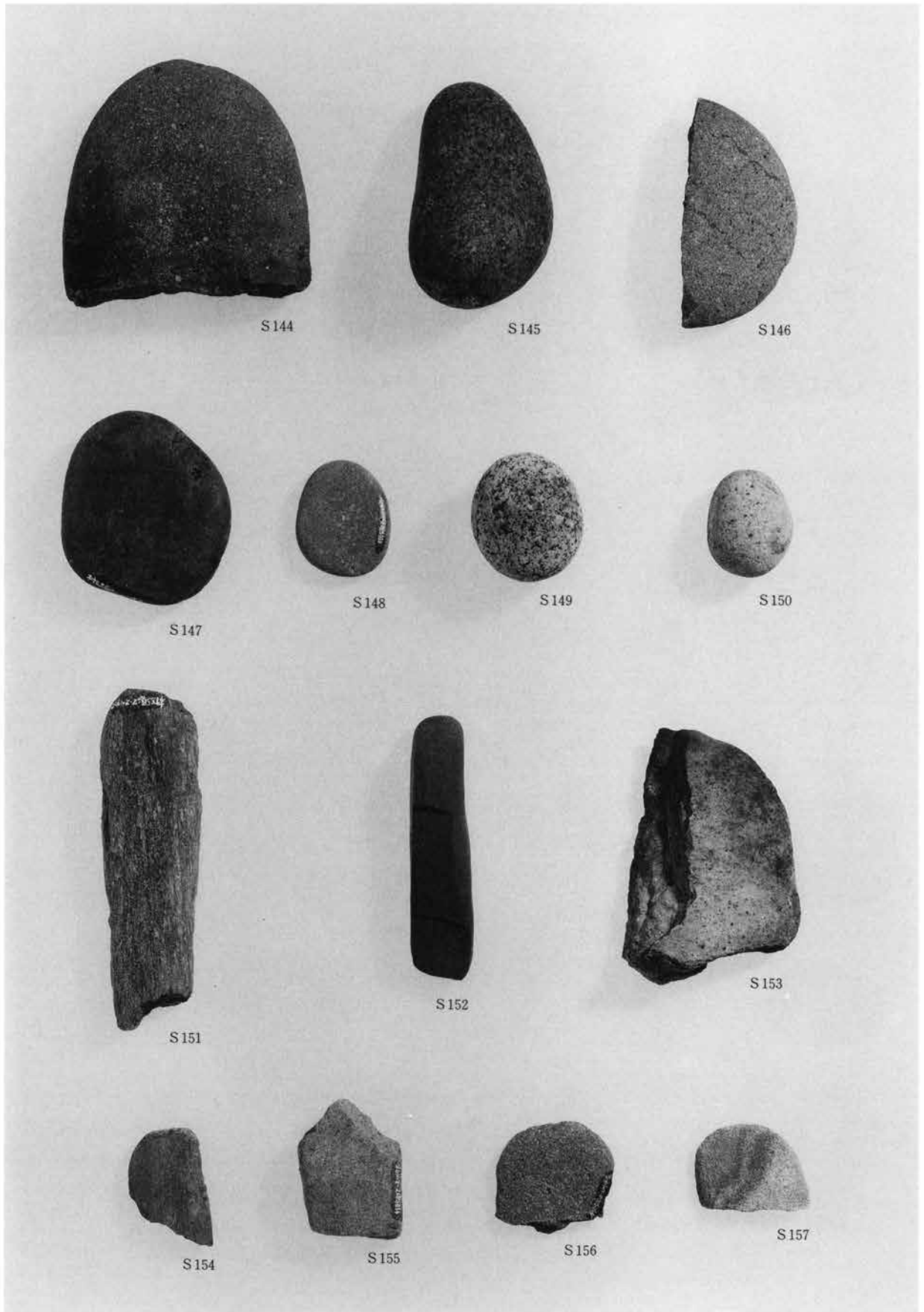
2 2-2号河川跡下層出土石器(6)



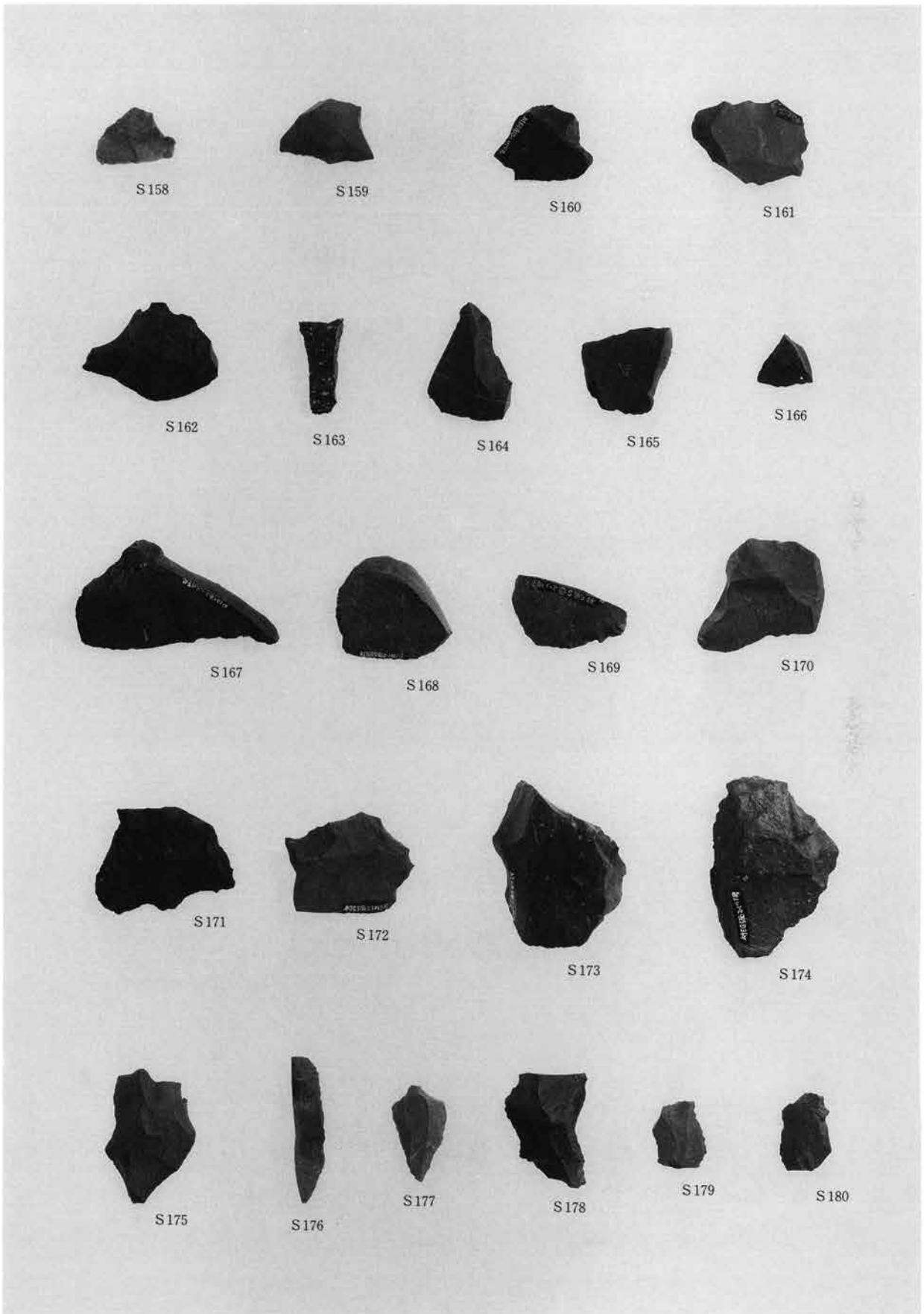
1 2-2号河川跡下層出土石器(7)



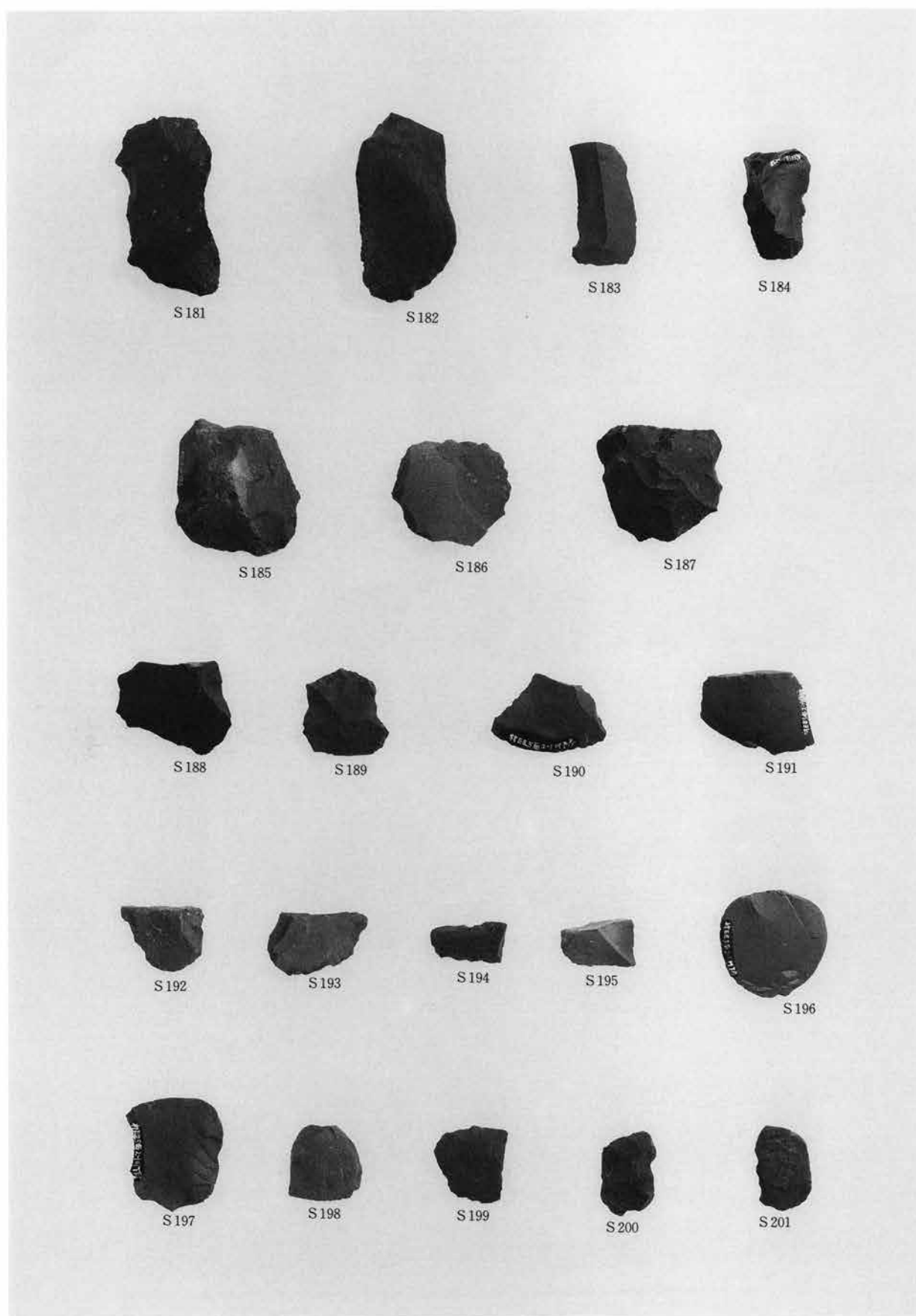
2 2-2号河川跡中層出土石器(1)



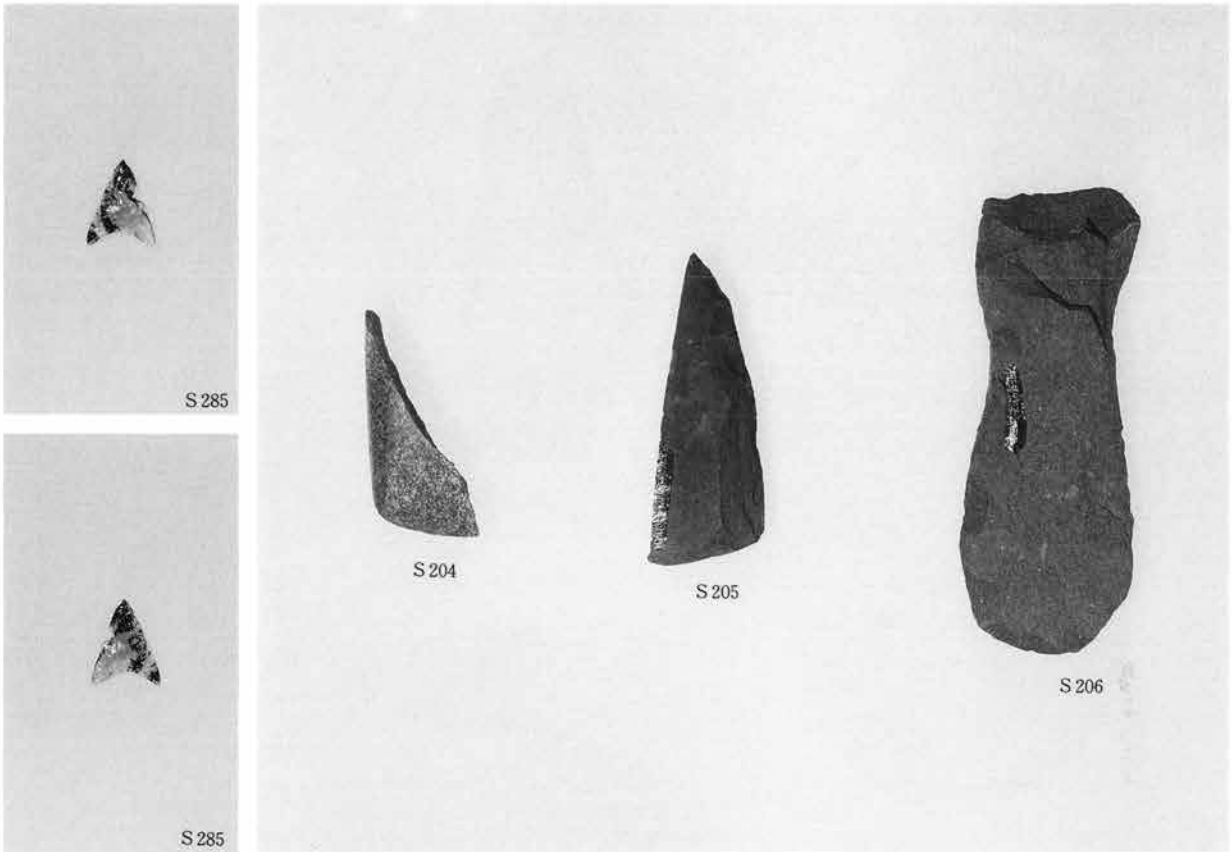
1 2-2号河川跡中層出土石器(2)



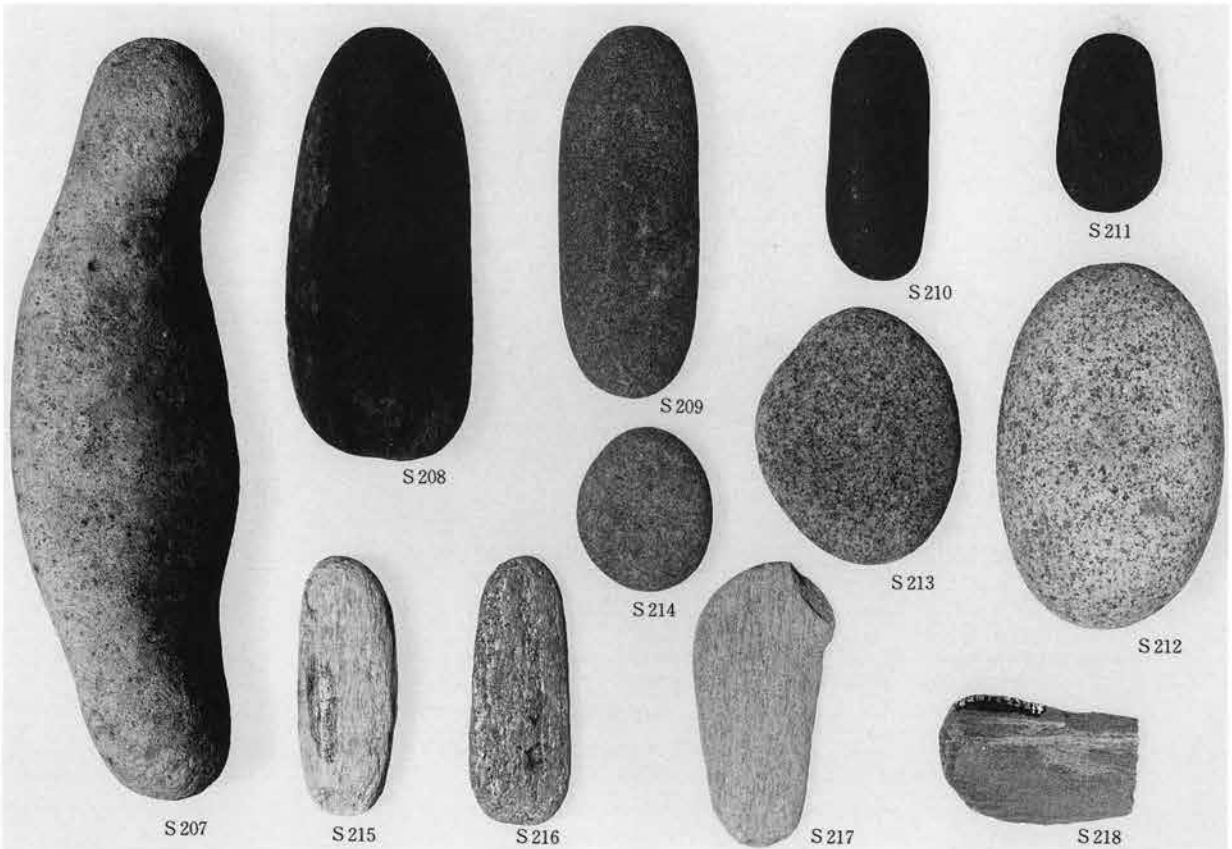
1 2-1号河川跡下層出土石器(1)



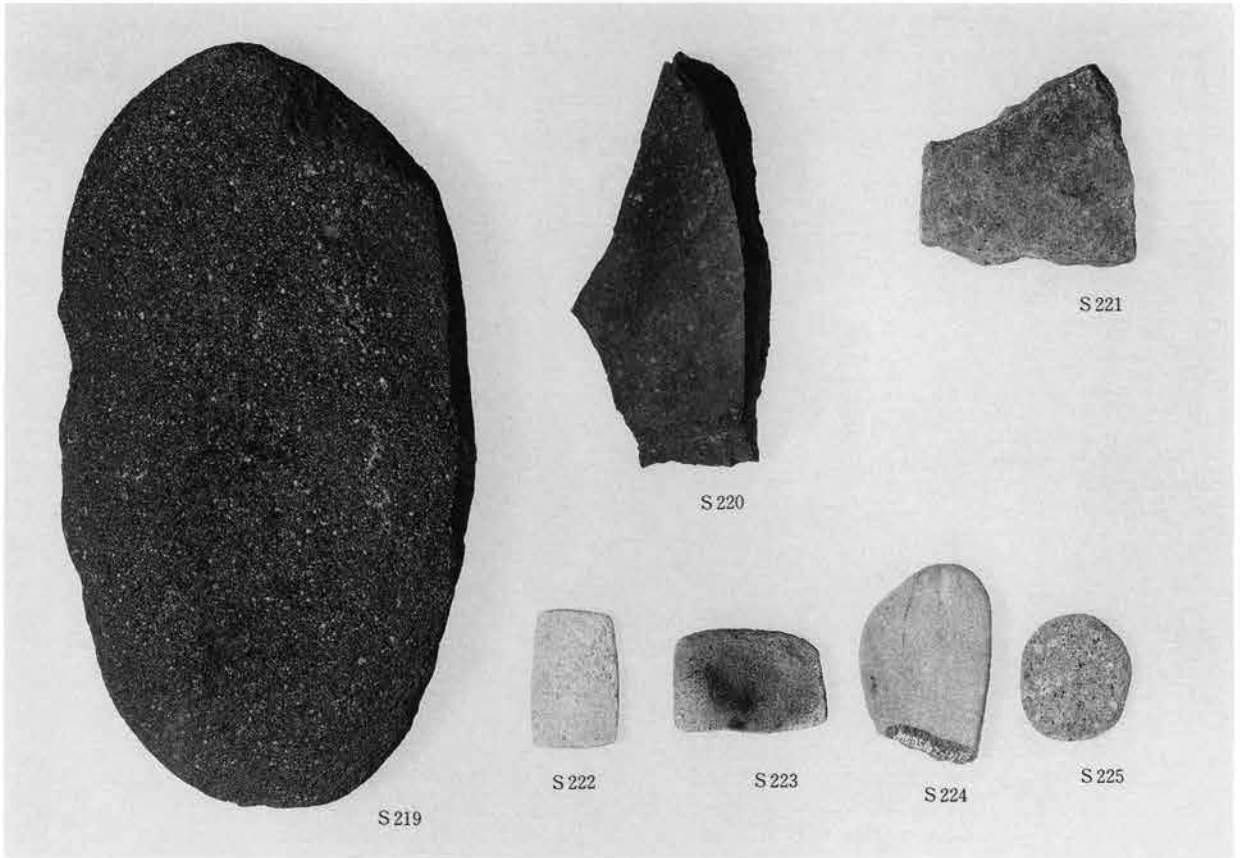
1 2-1号河川跡下層出土石器(2)



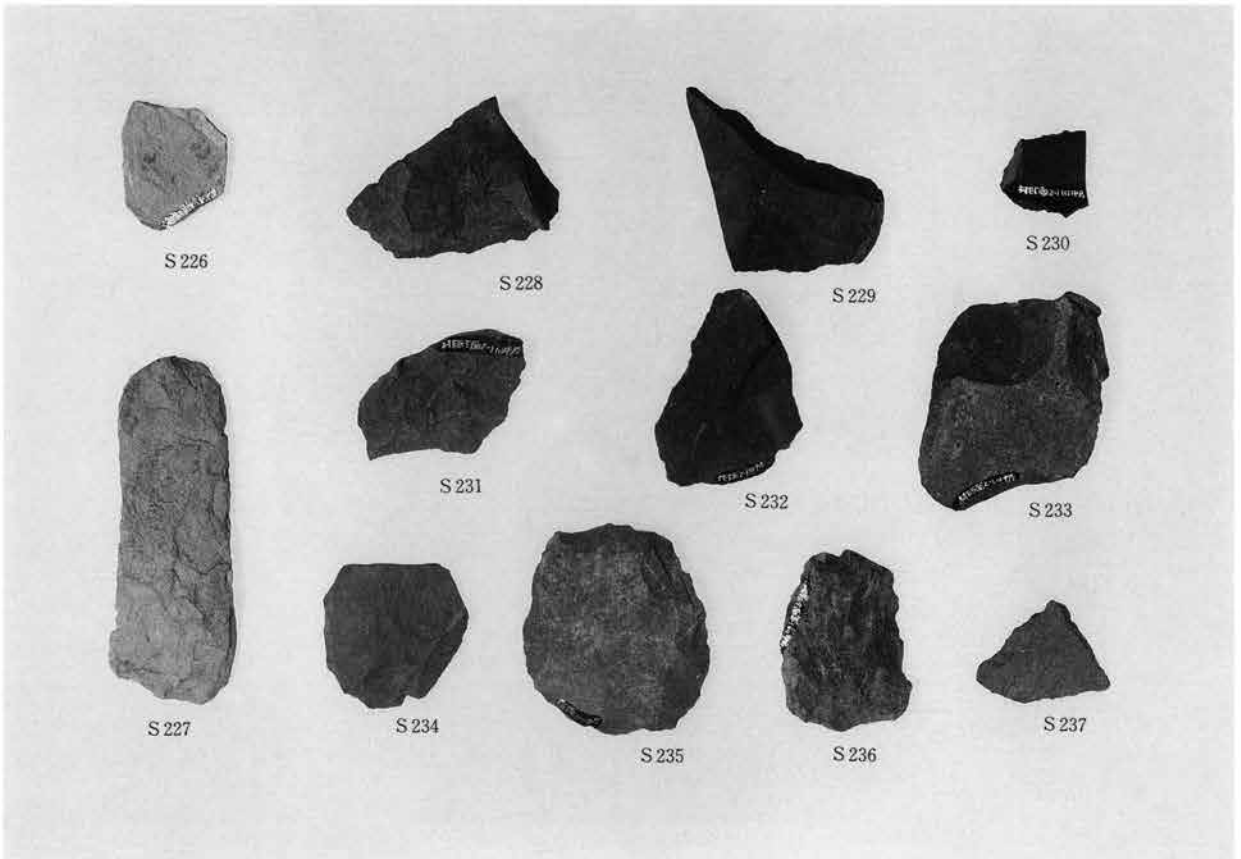
1 2-1号河川跡下層出土石器(3)



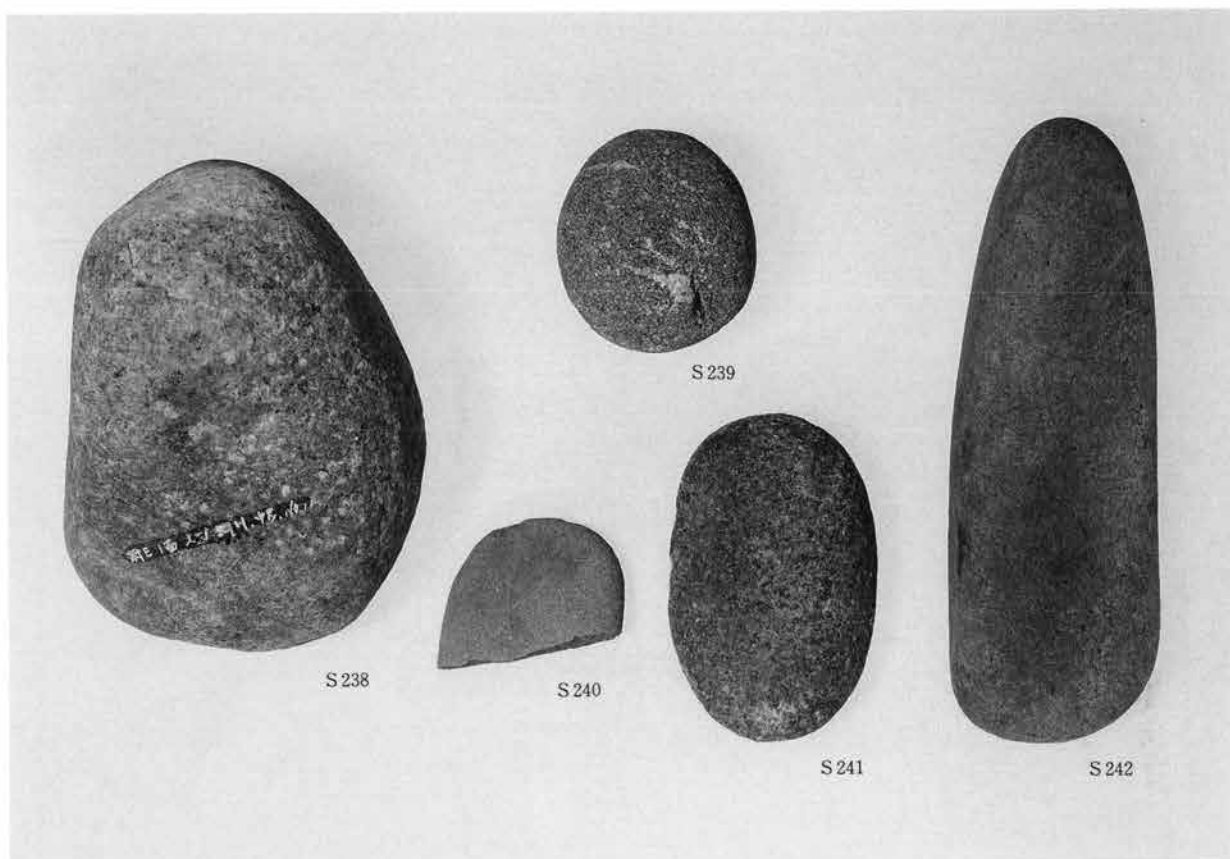
2 2-1号河川跡下層出土石器(4)



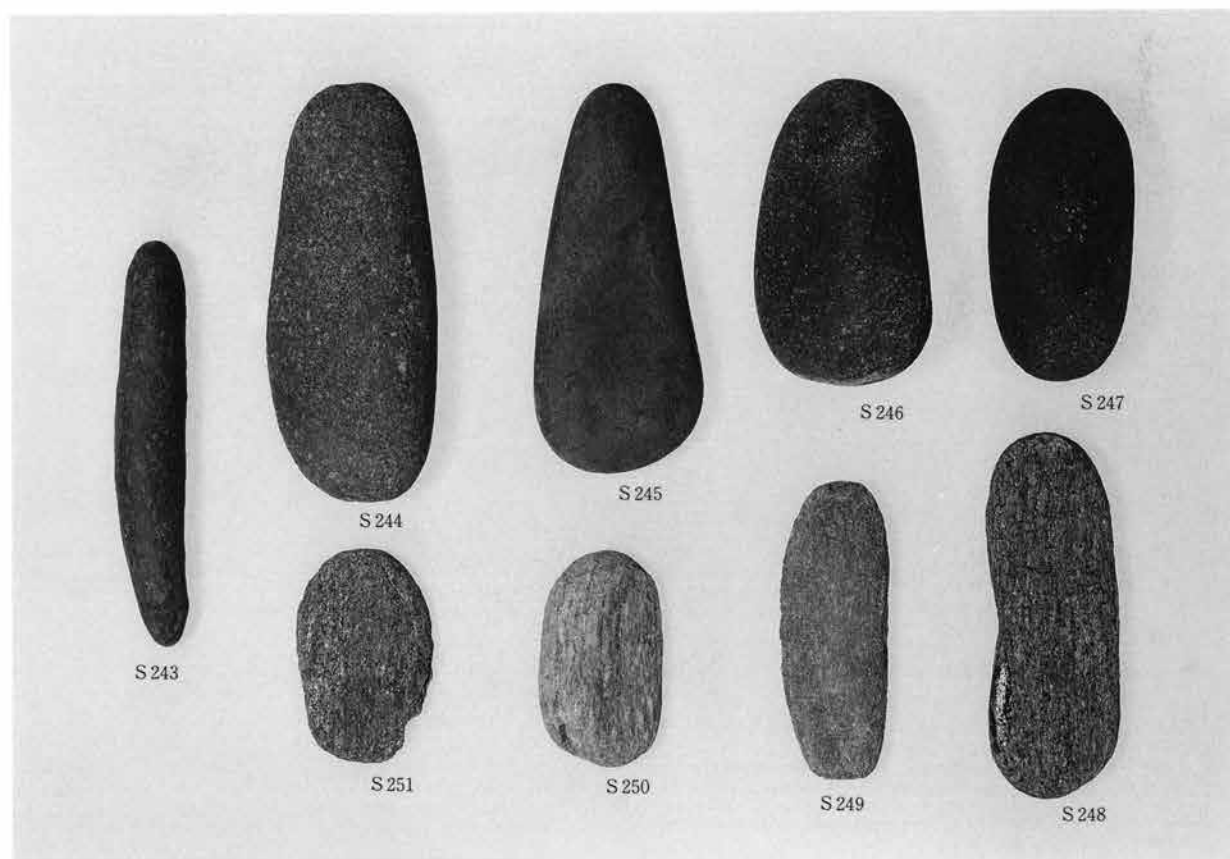
1 2-1号河川跡下層出土石器(5)



2 2-1号河川跡中層出土石器(1)

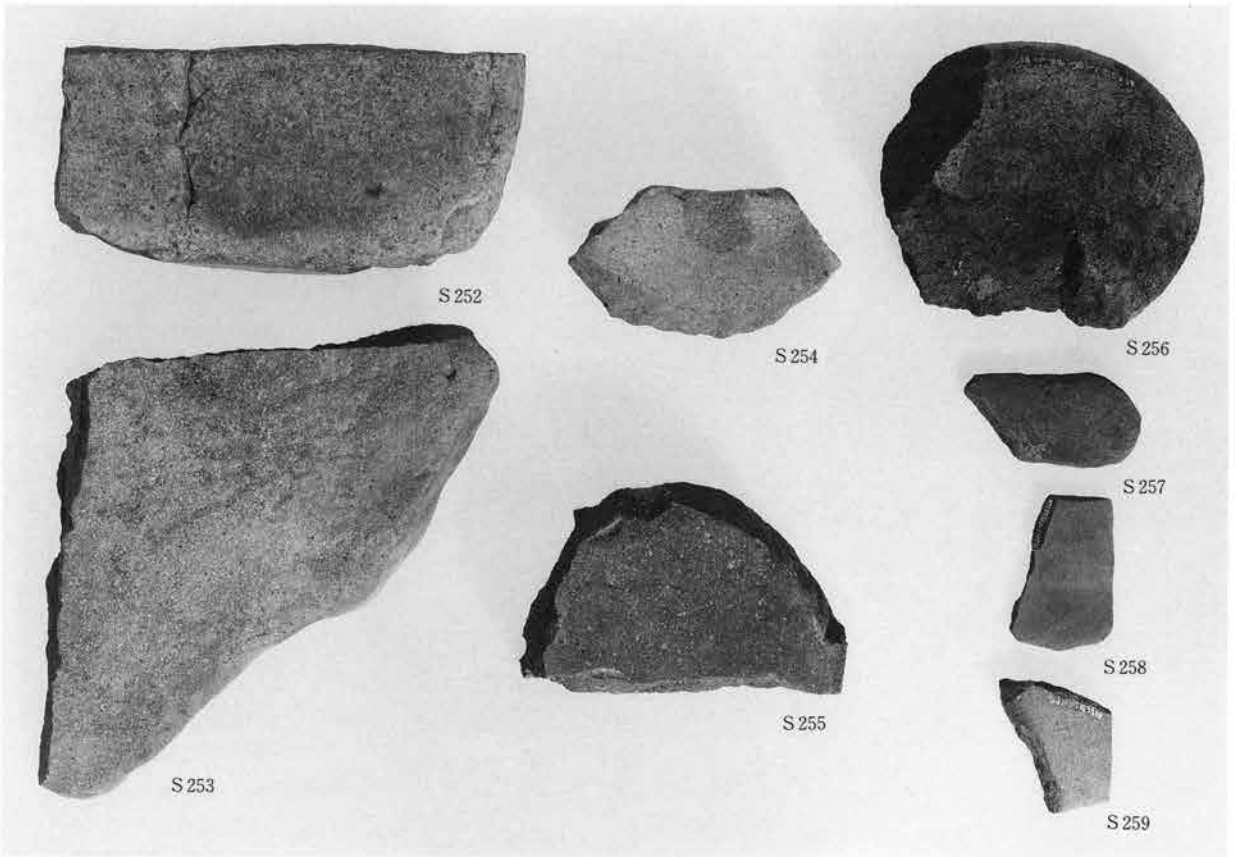


1 2-1号河川跡中層出土石器(2)

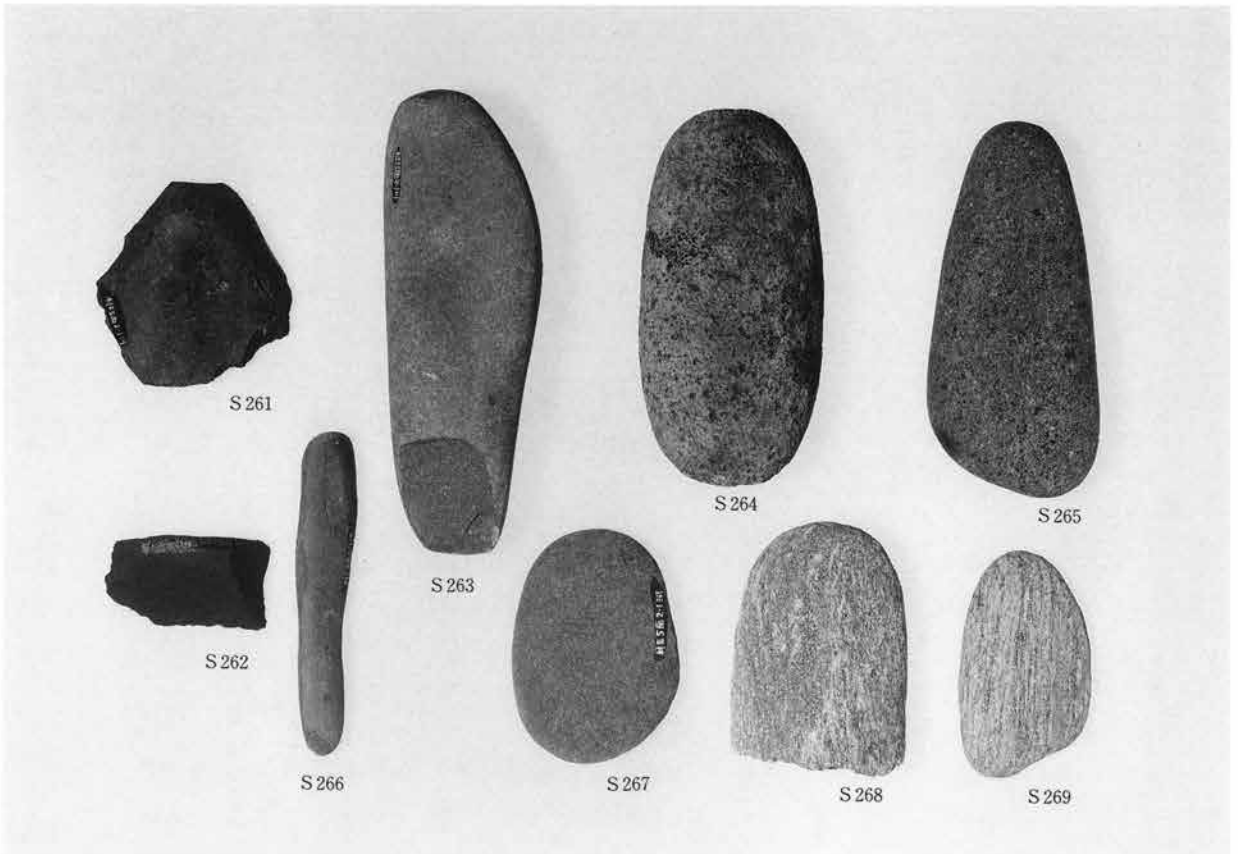


2 2-1号河川跡中層出土石器(3)

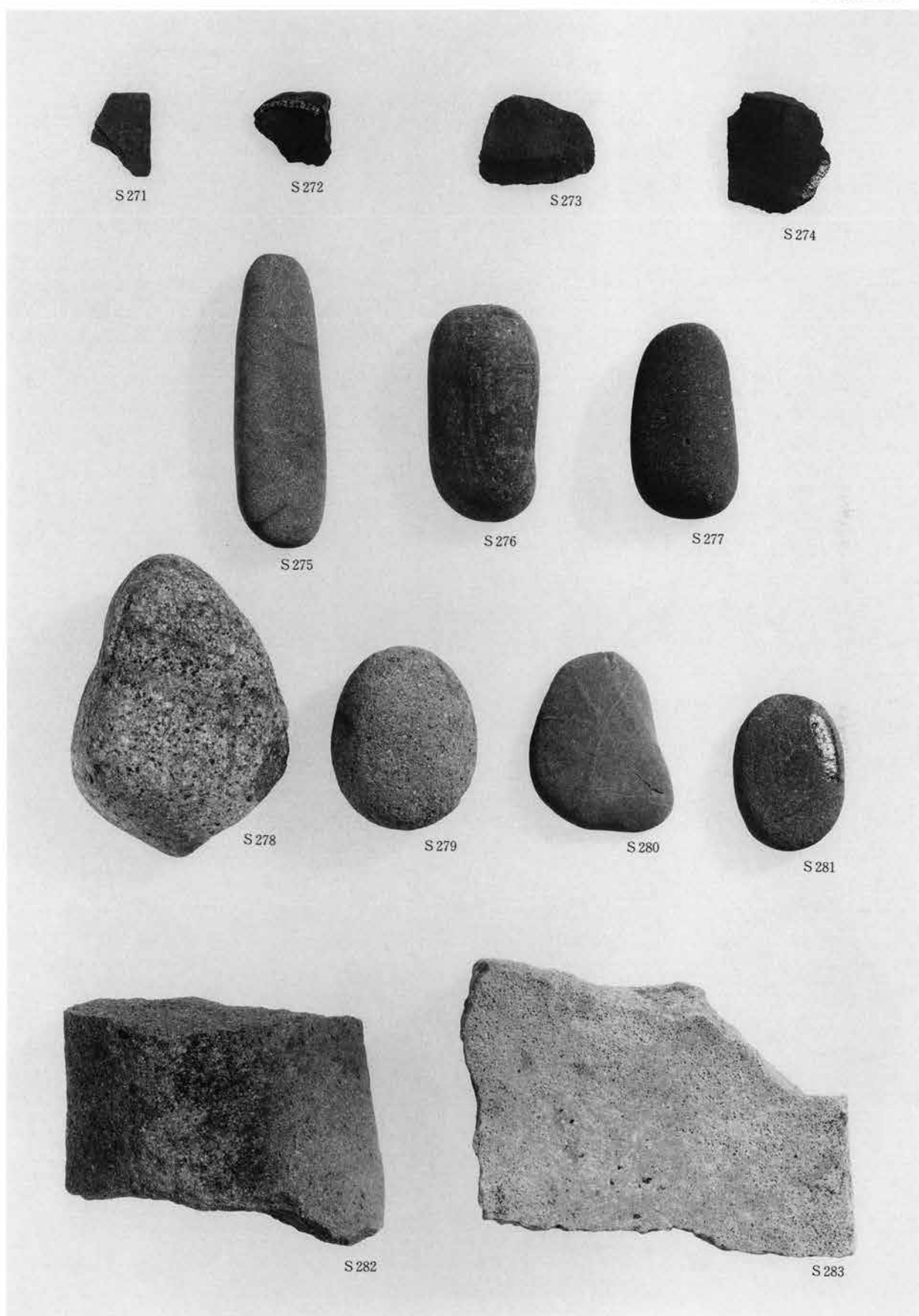
图版132



1 2-1号河川跡上層出土石器(1)

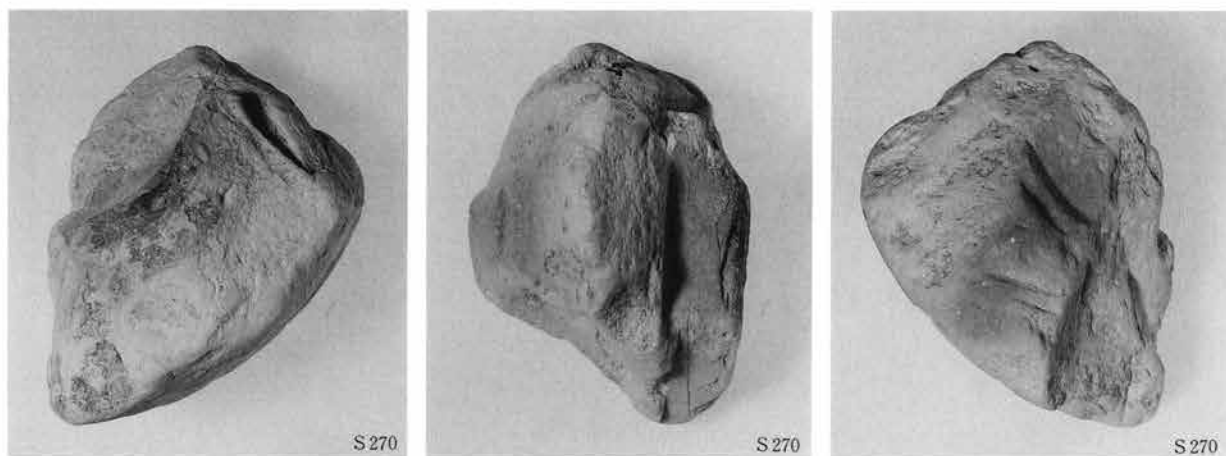


2 2-1号河川跡上層出土石器(2)

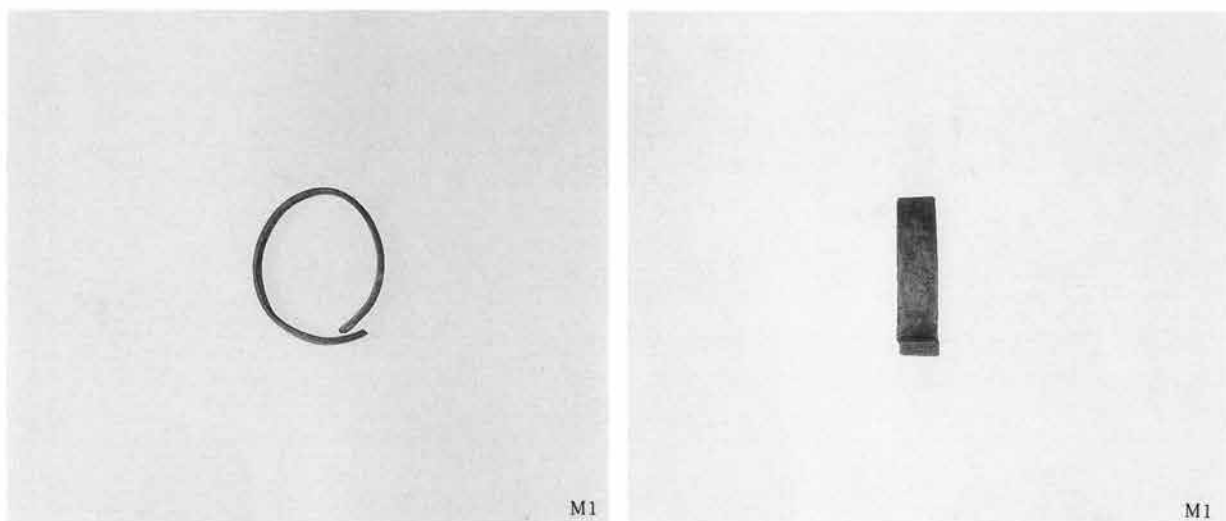


1 2-2号河川跡上層出土石器

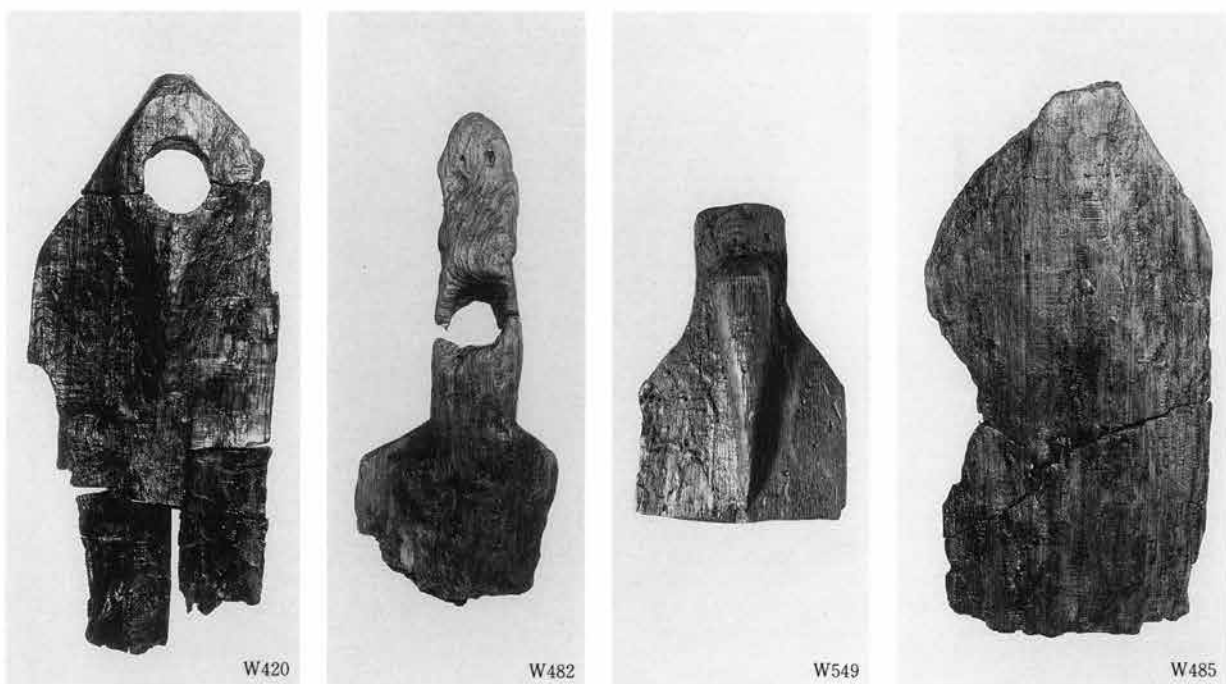
図版134



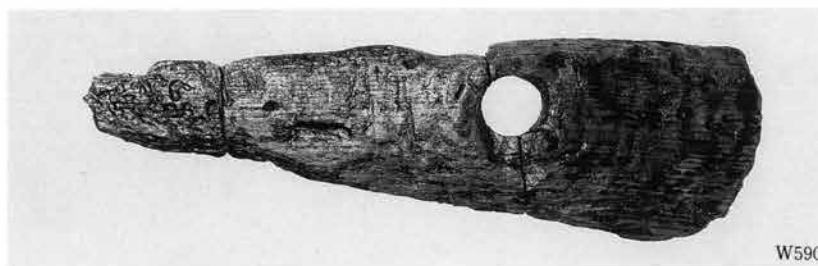
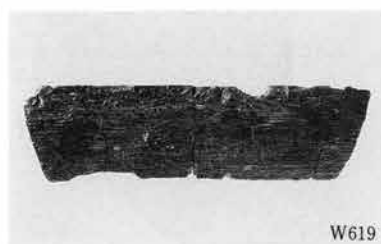
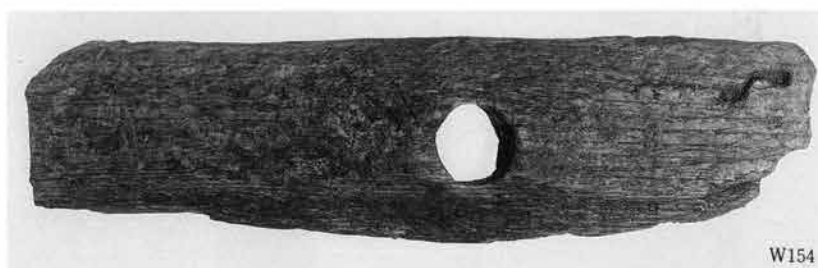
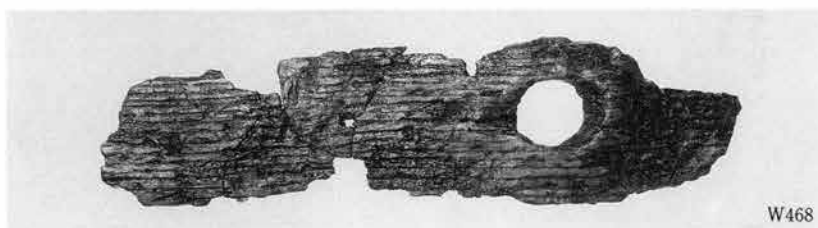
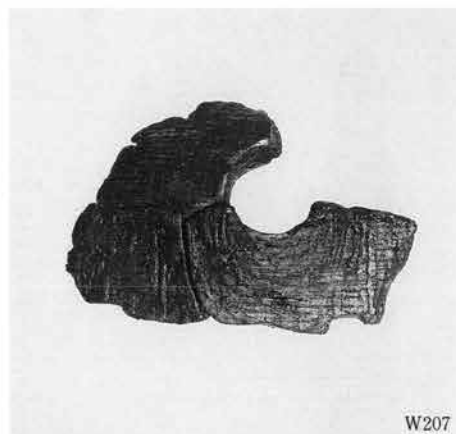
1 2号河川跡上層出土石製品



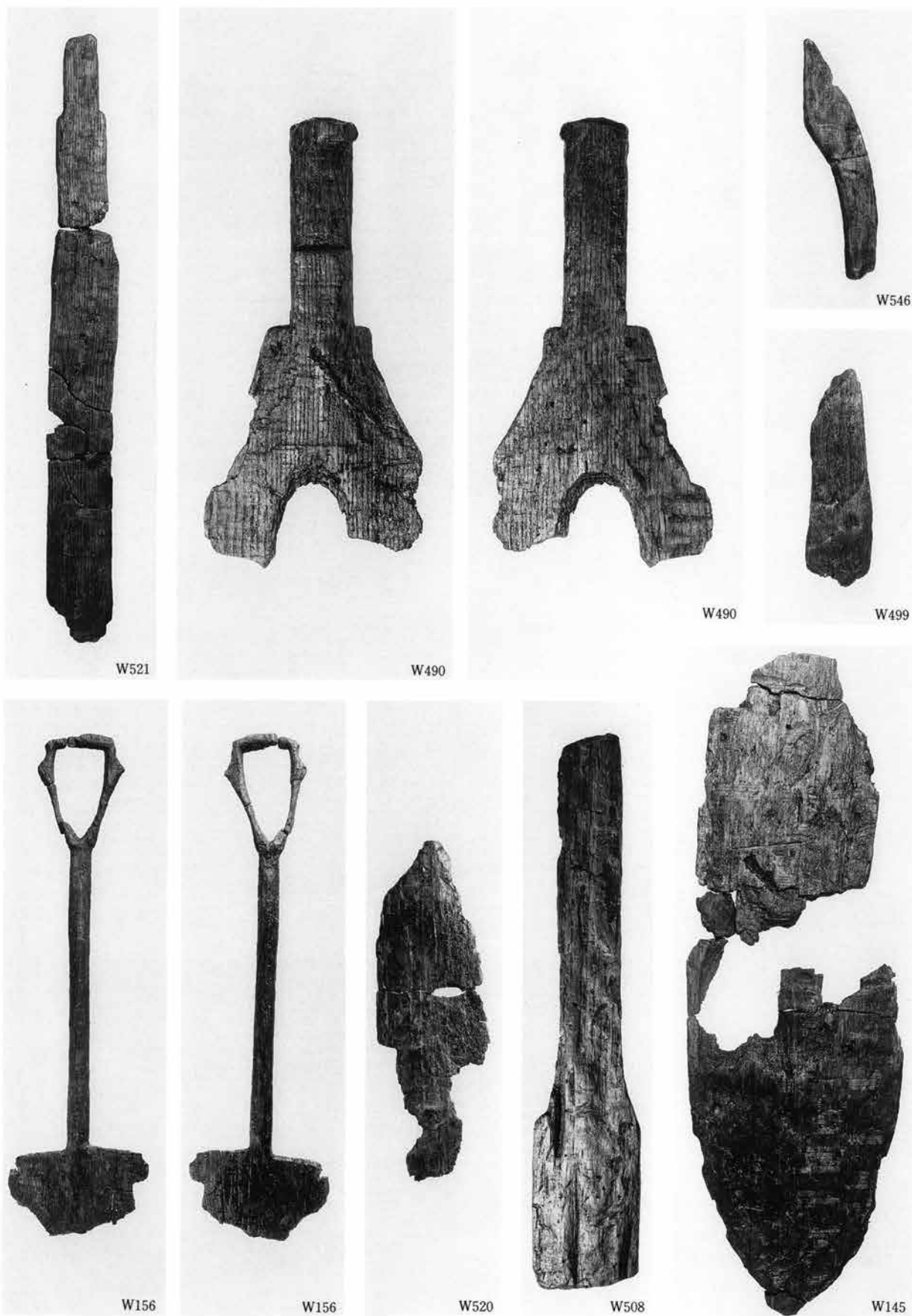
2 2-2号河川跡上層出土金属器



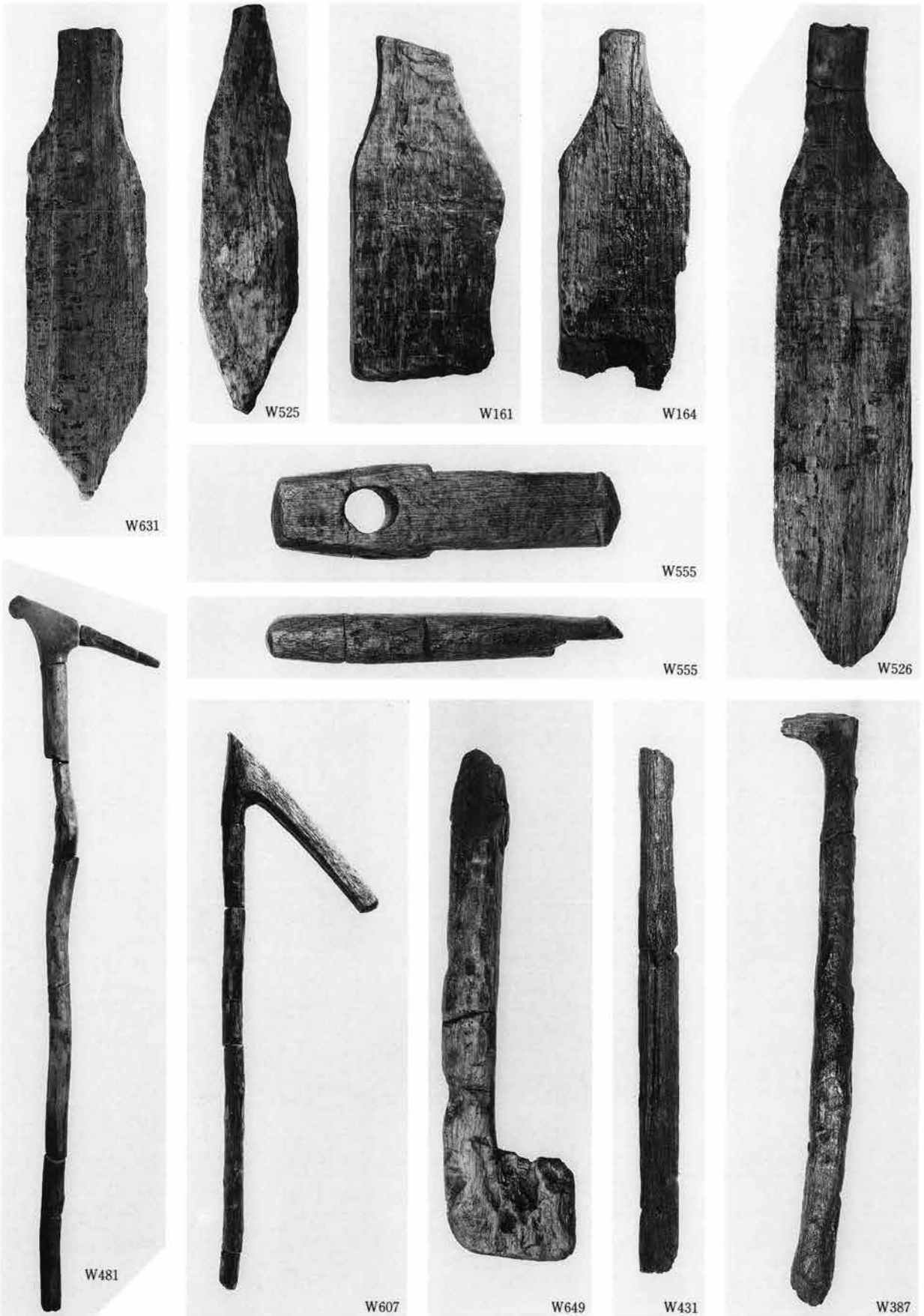
3 2-2号河川跡下層出土木器(1)



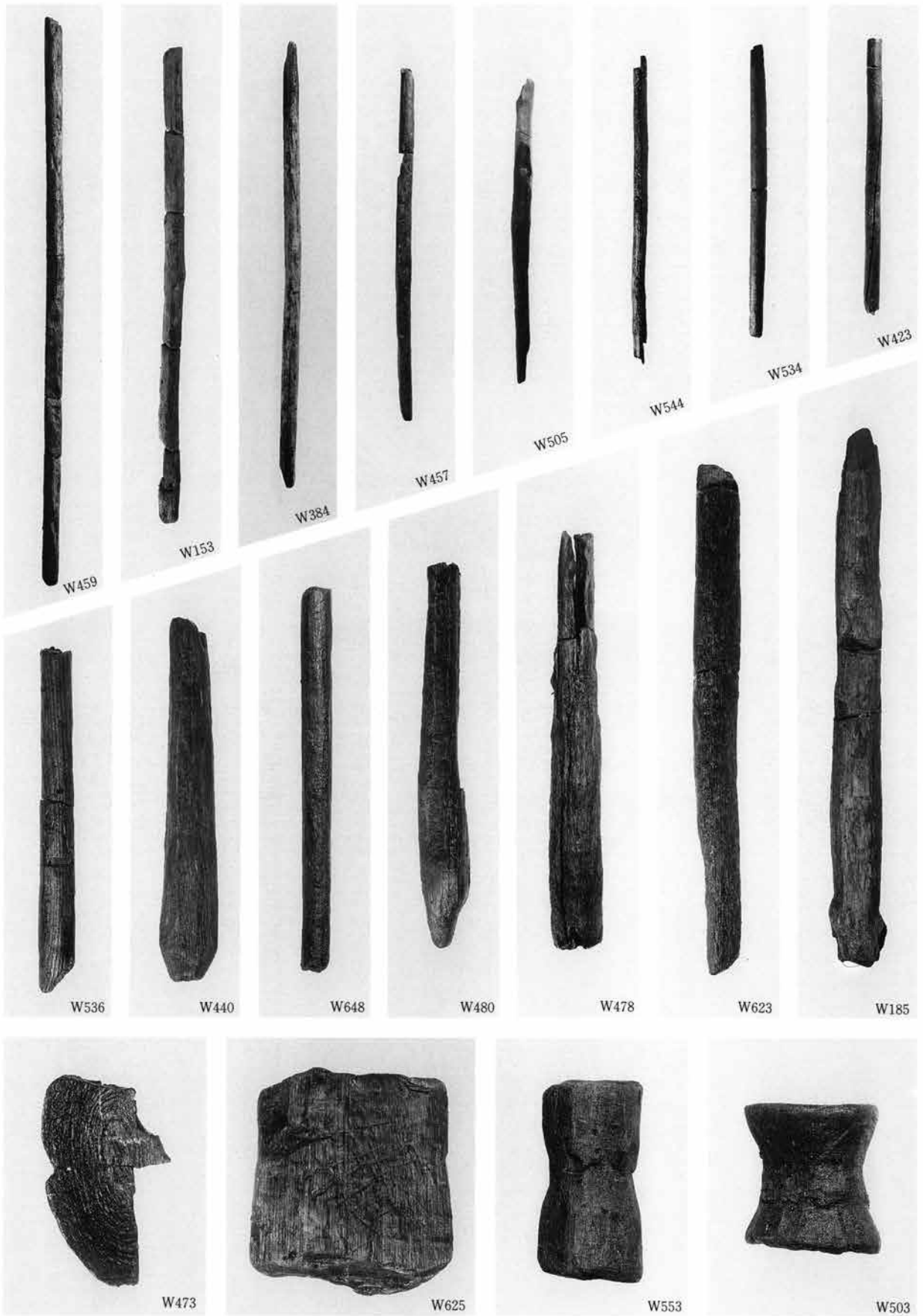
1 2-2号河川跡下層出土木器(2)



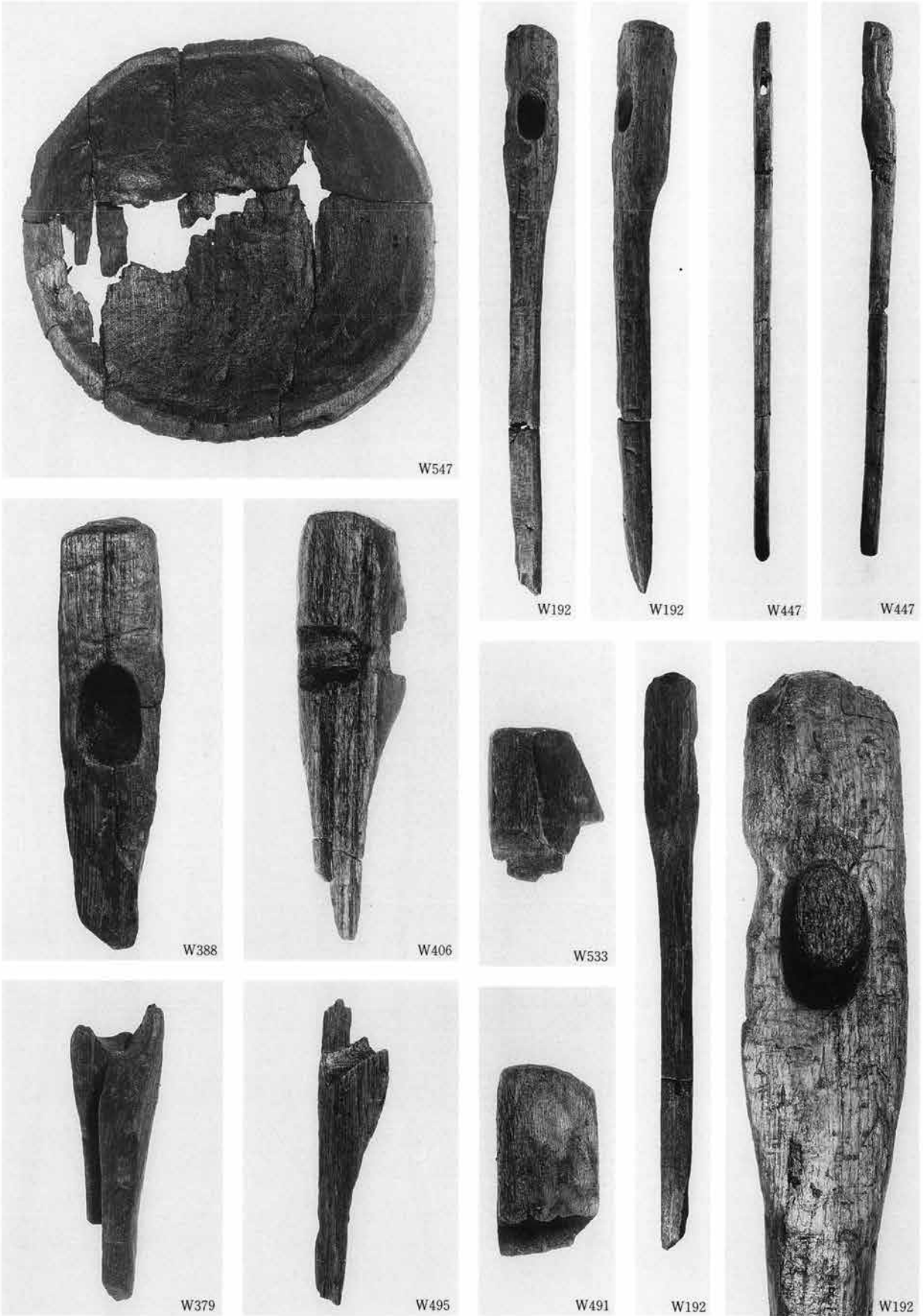
1 2-2号河川跡下層出土木器(3)



1 2-2号河川跡下層出土木器(4)

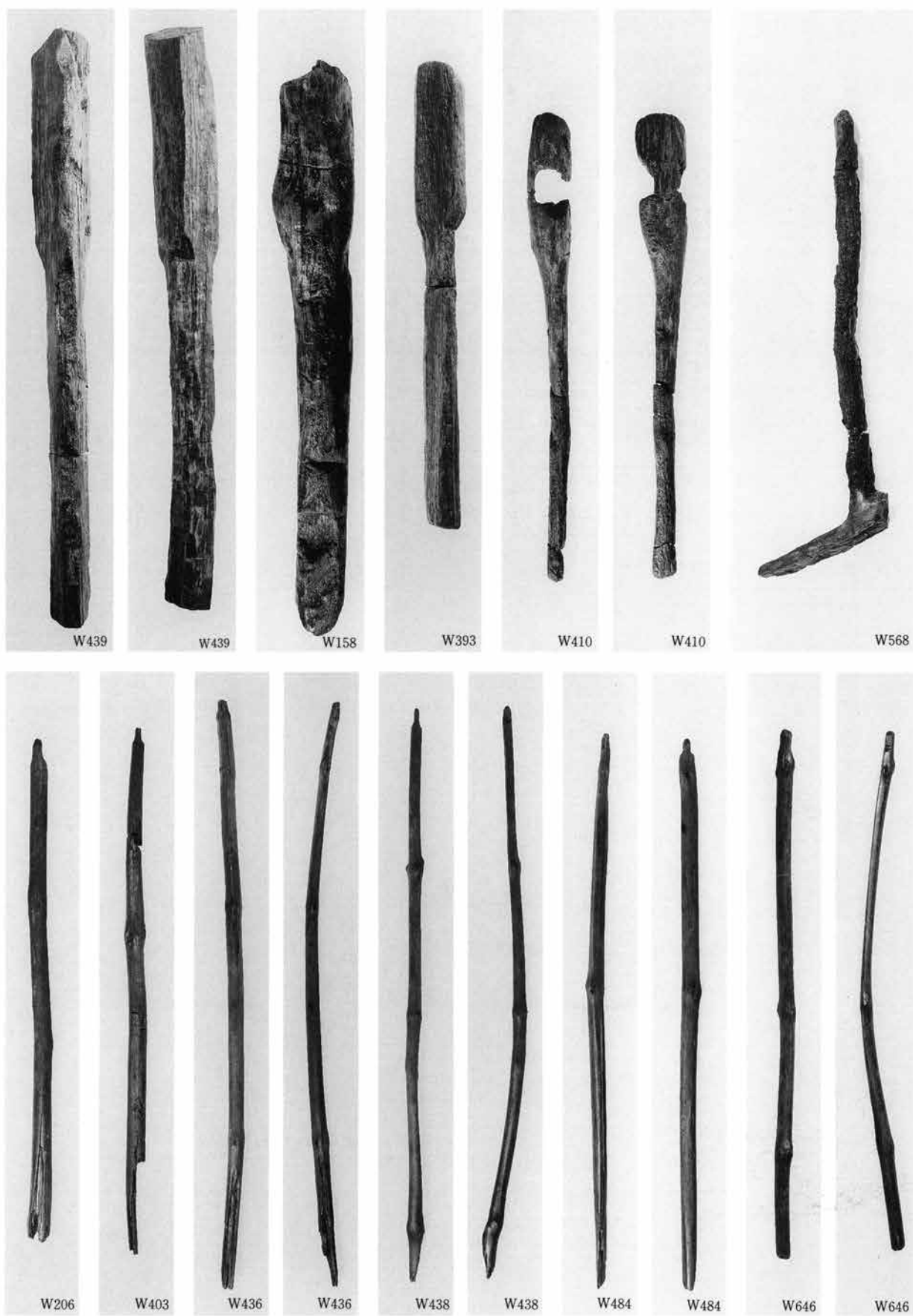


1 2-2号河川跡下層出土木器(5)

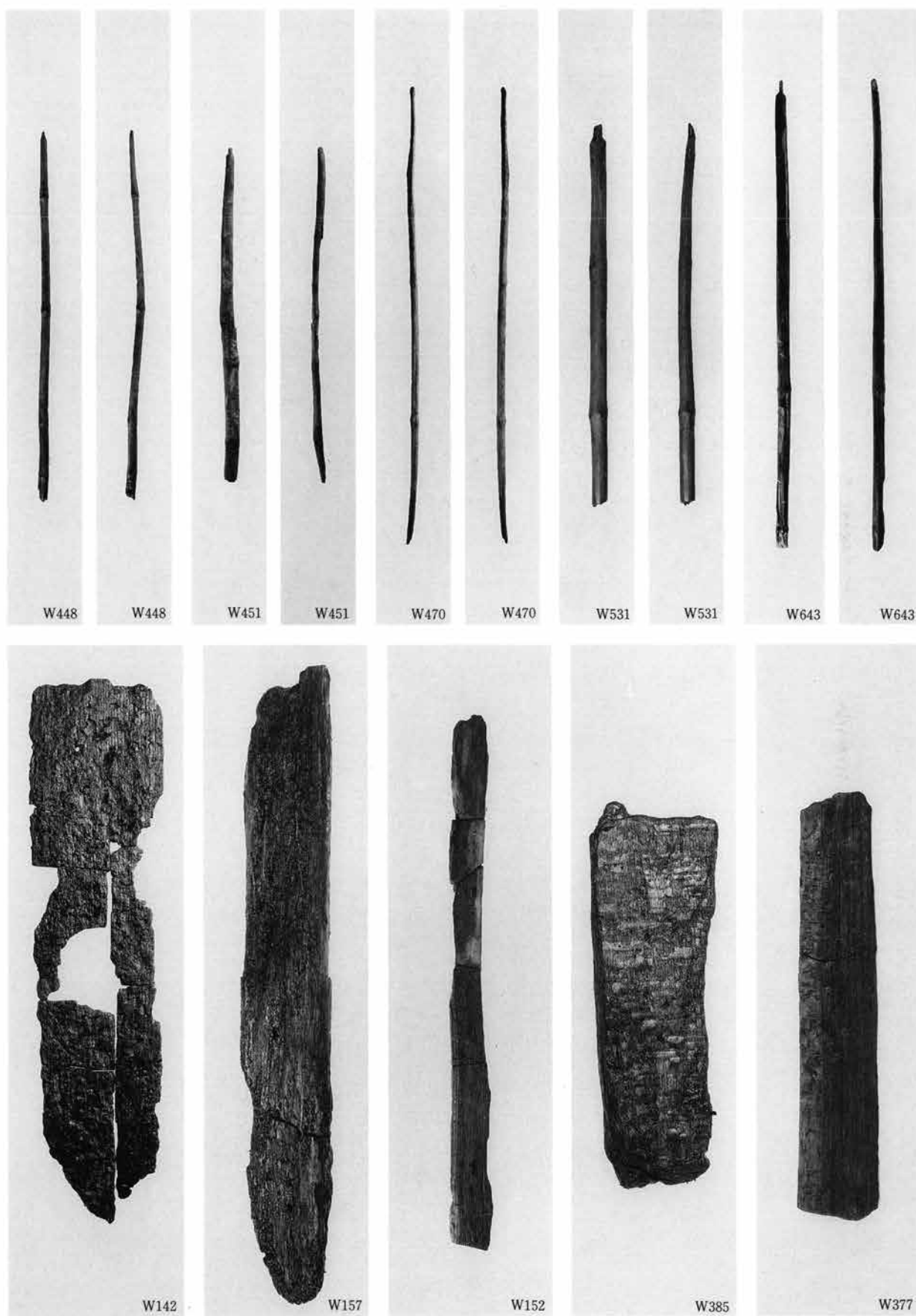


1 2-2号河川跡下層出土木器(6)

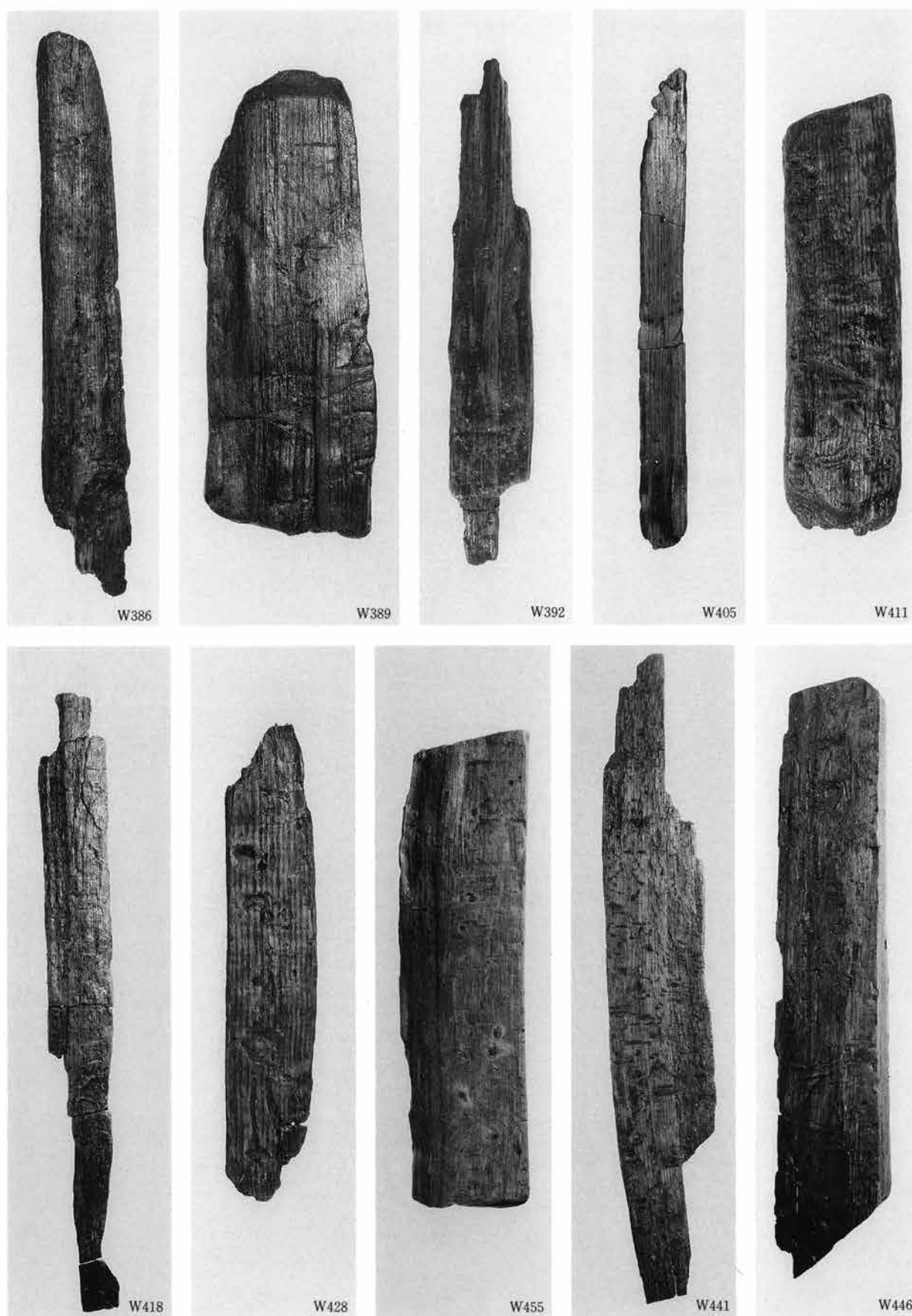
図版140



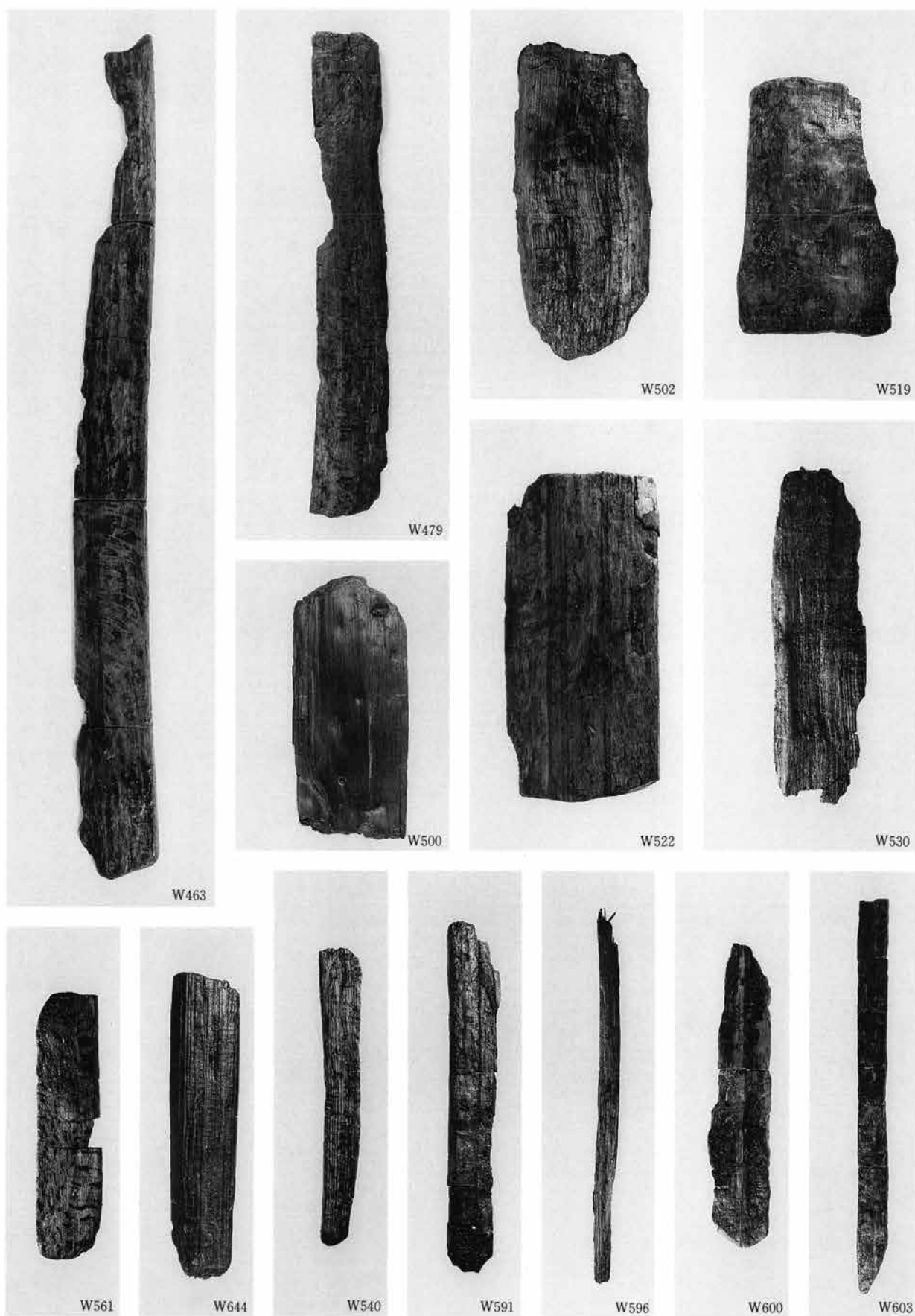
1 2-2号河川跡下層出土木器(7)



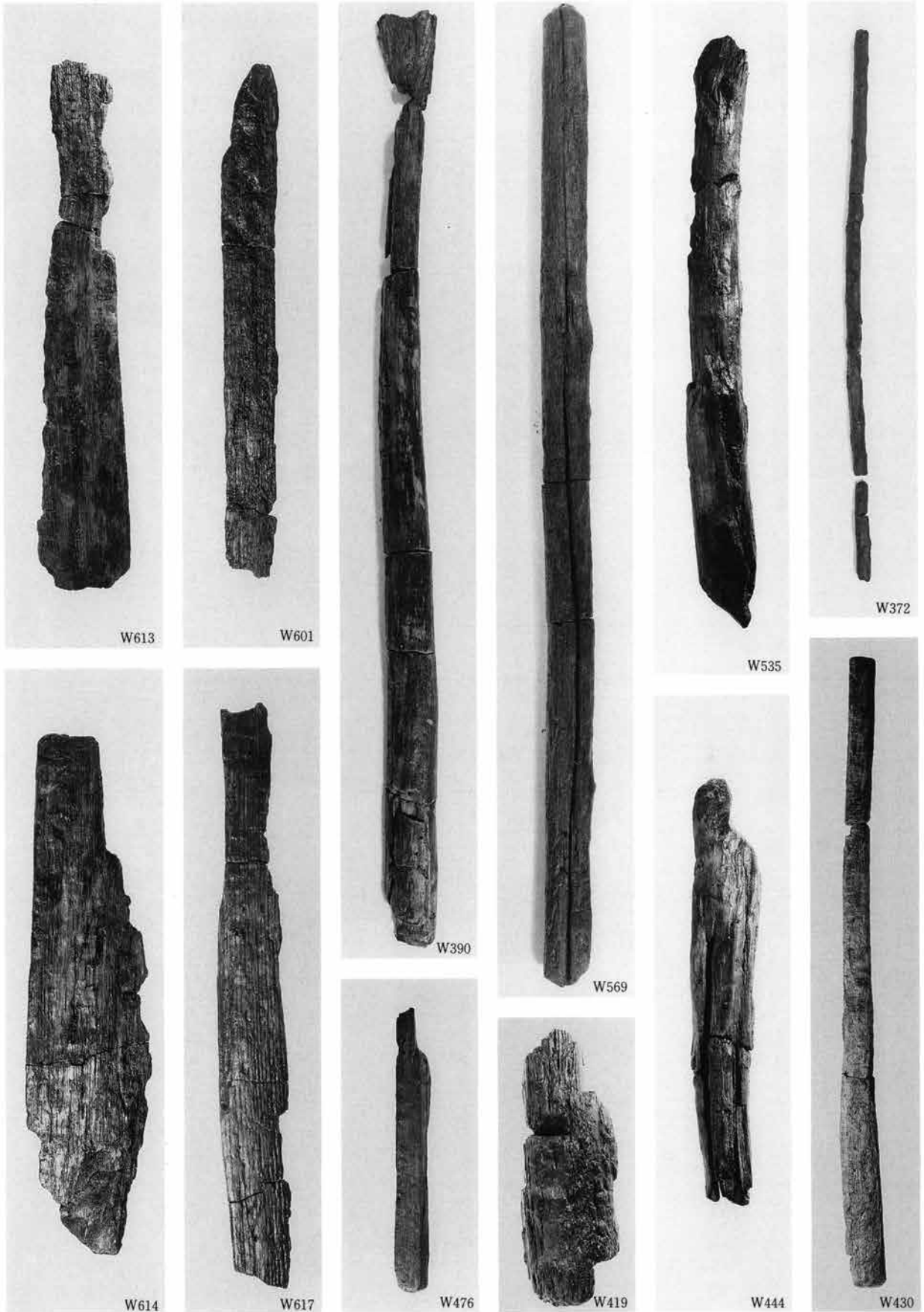
1 2-2号河川跡下層出土木器(8)



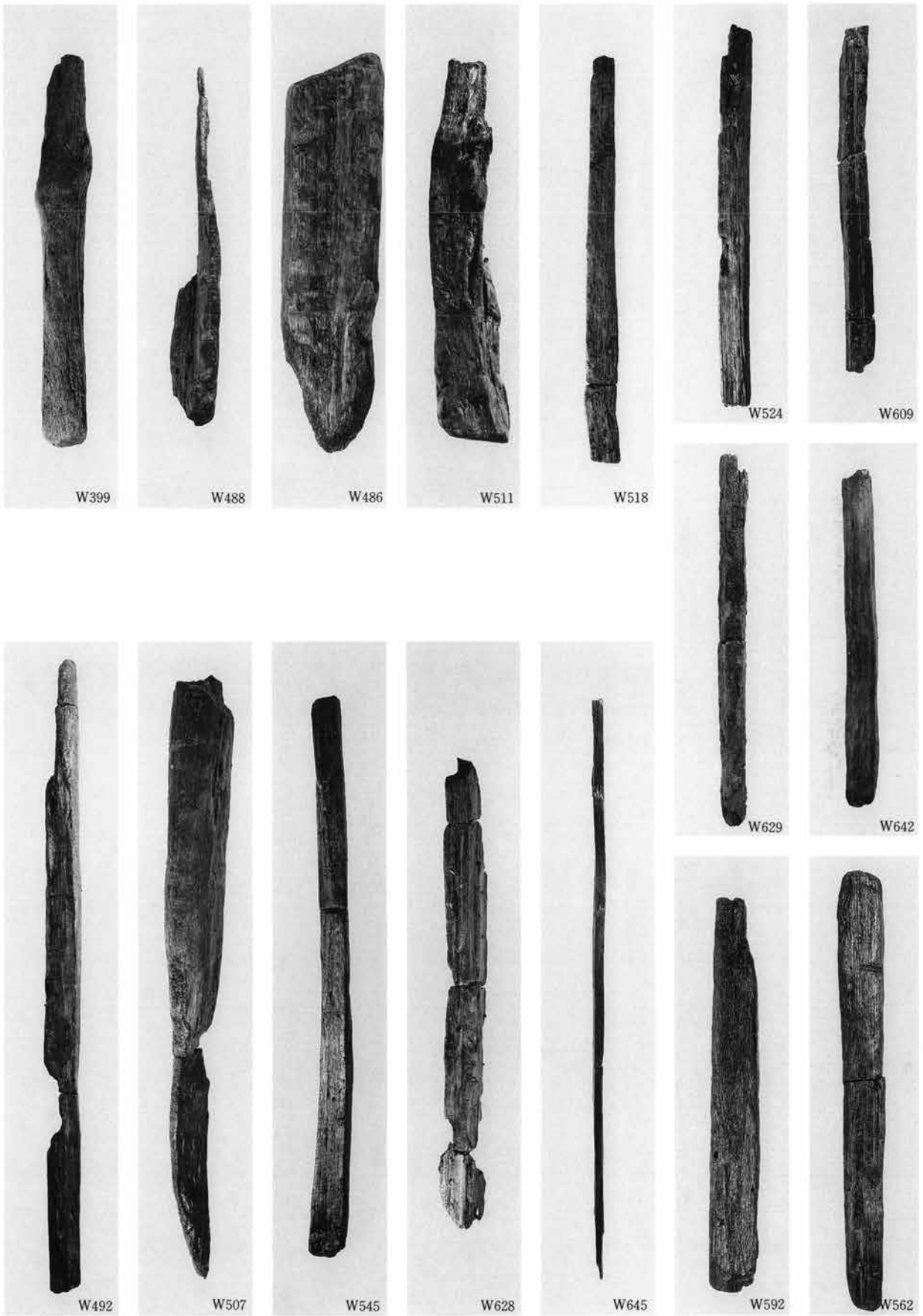
1 2-2号河川跡下層出土木器(9)



1 2-2号河川跡下層出土木器(10)

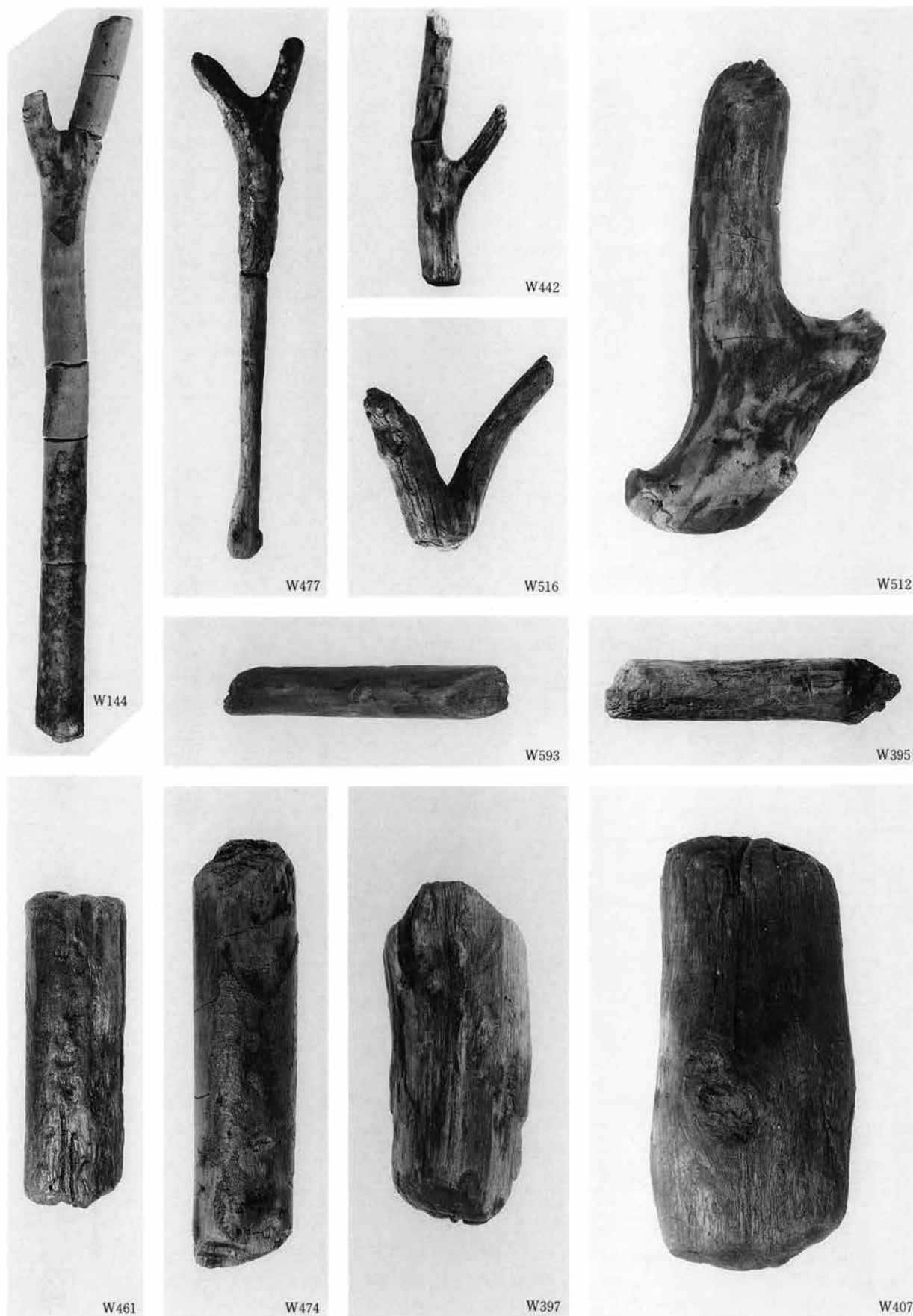


1 2-2号河川跡下層出土木器(11)

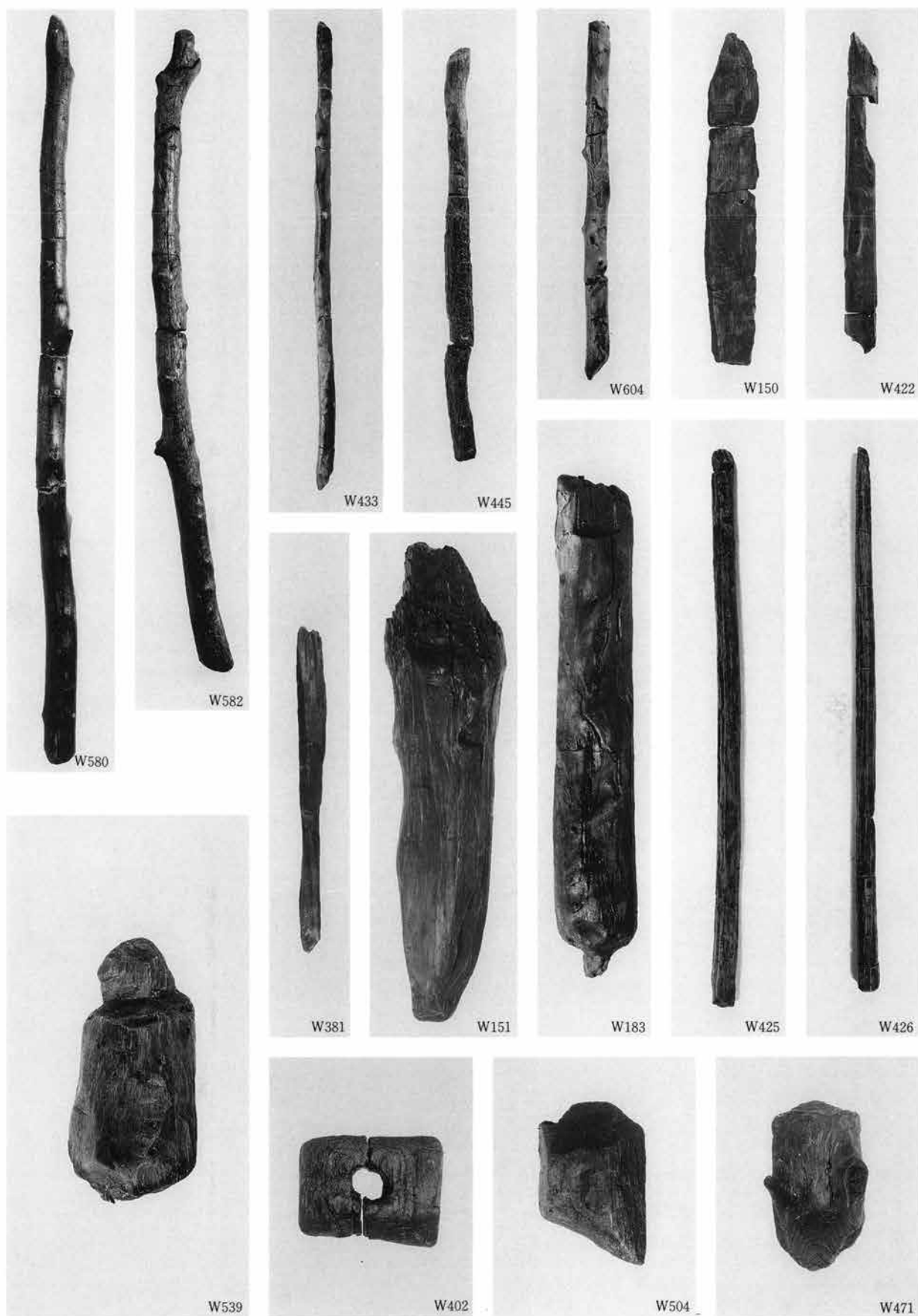


1 2-2号河川跡下層出土木器(12)

図版146

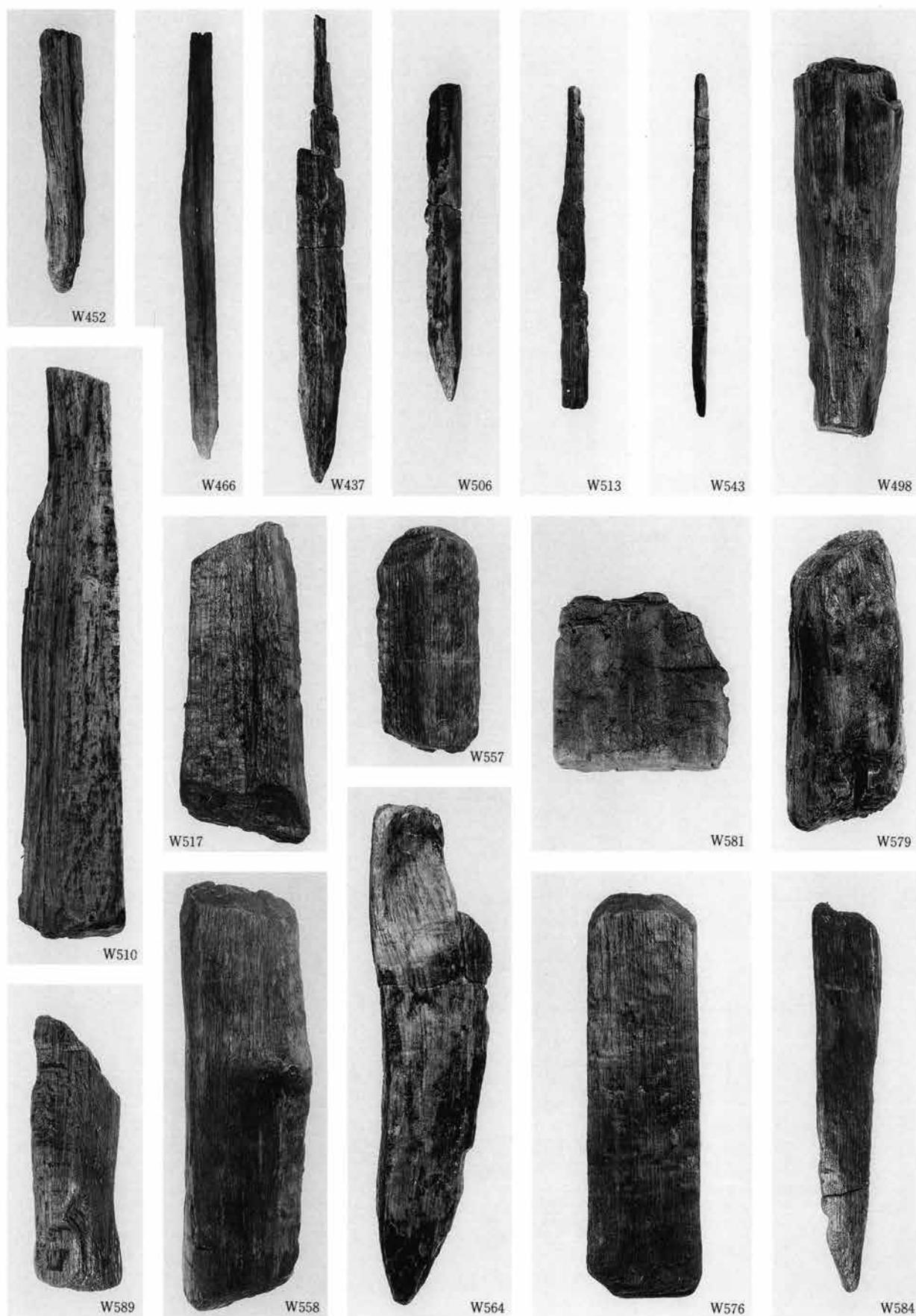


1 2-2号河川跡下層出土木器(13)

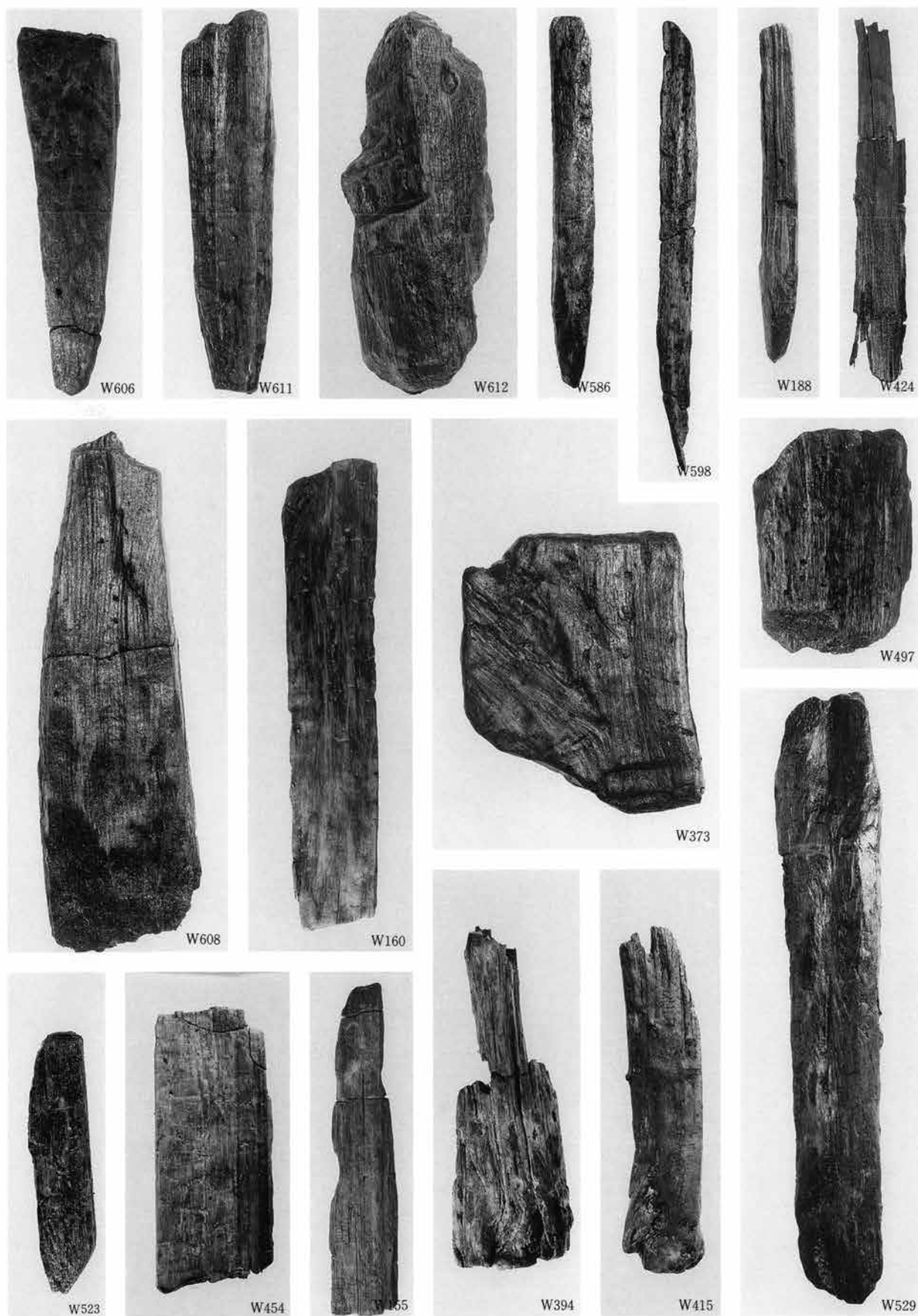


1 2-2号河川跡下層出土木器(14)

图版148

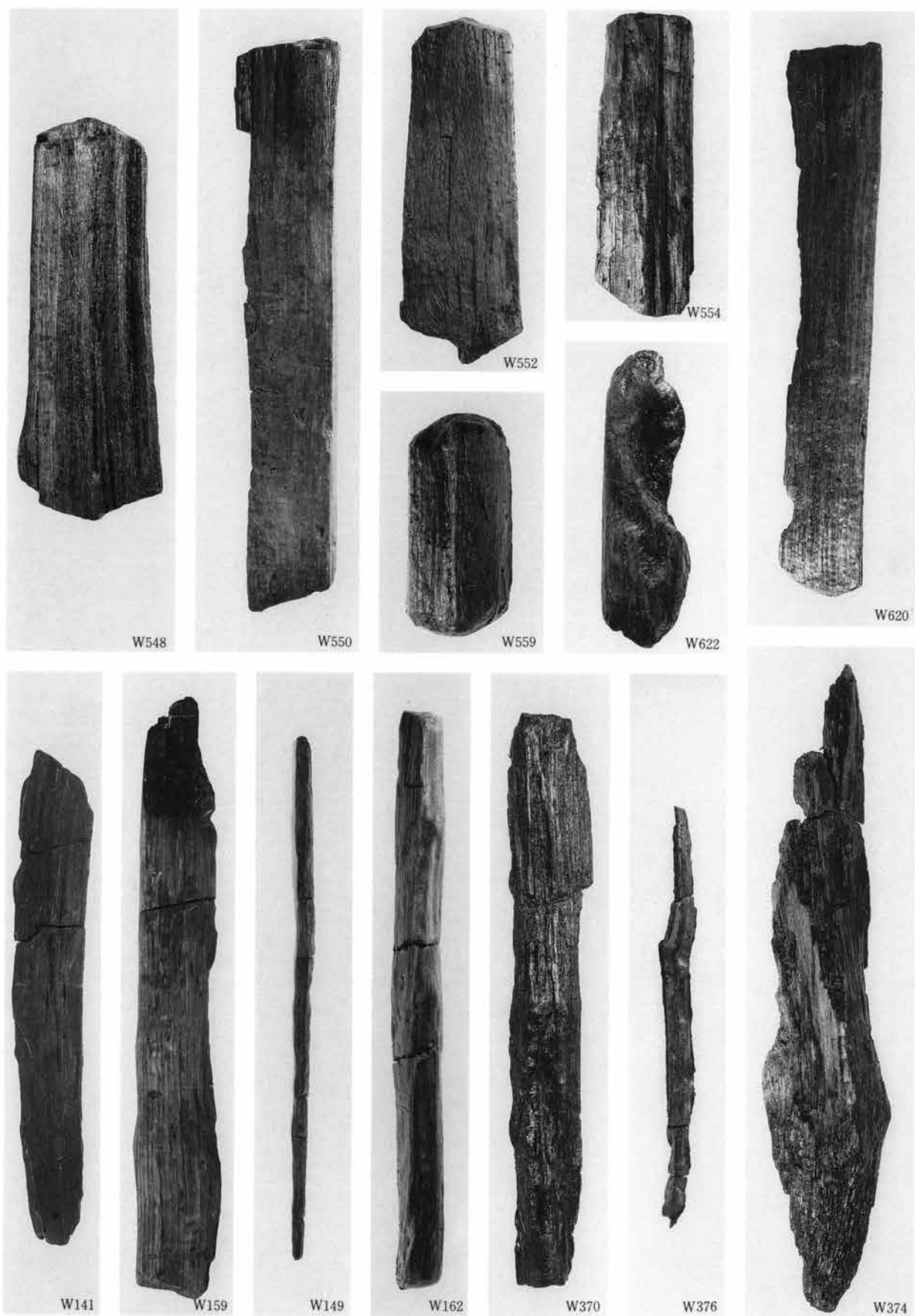


1 2-2号河川跡下層出土木器(15)



1 2-2号河川跡下層出土木器(16)

图版150



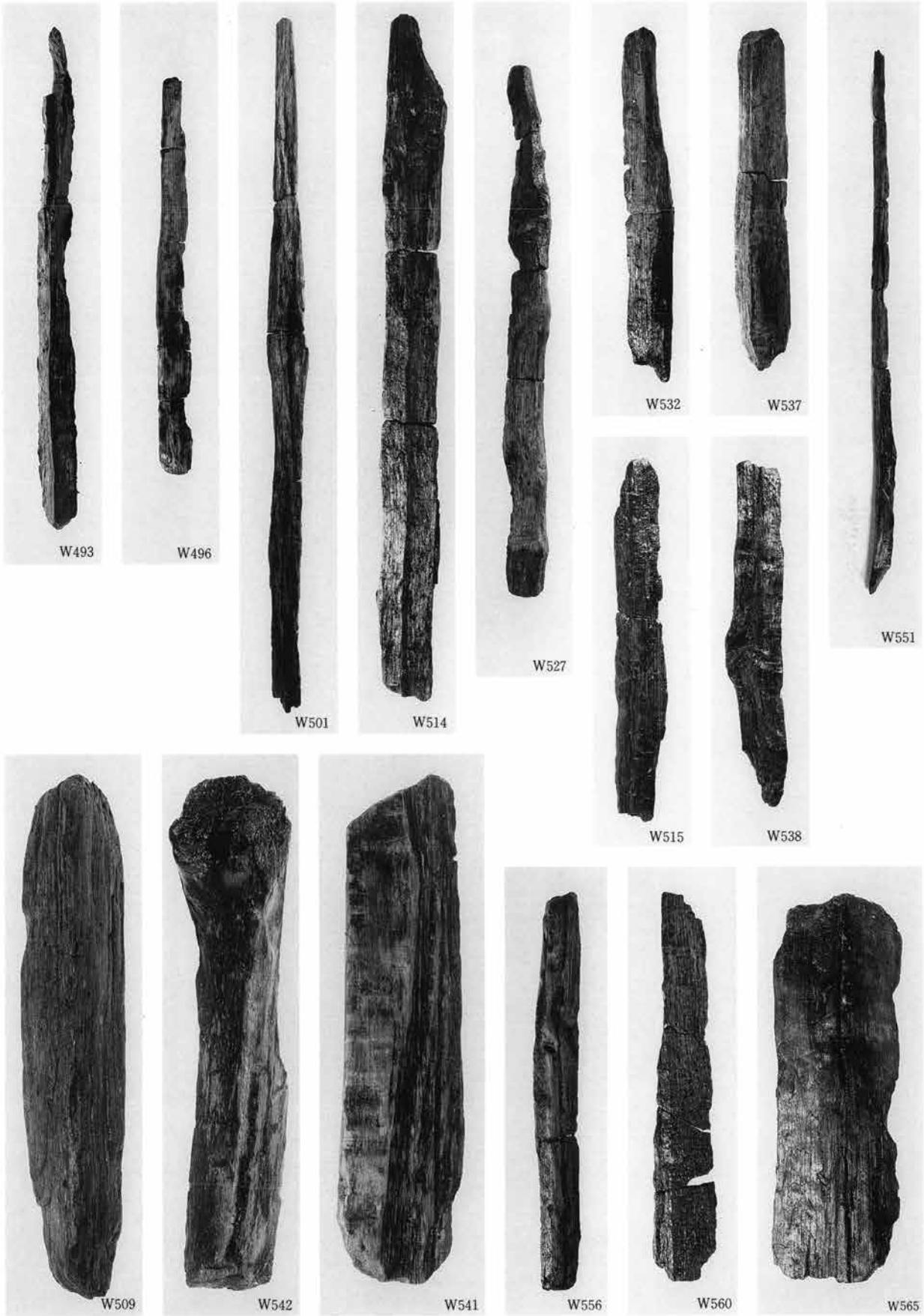
1 2-2号河川跡下層出土木器(17)



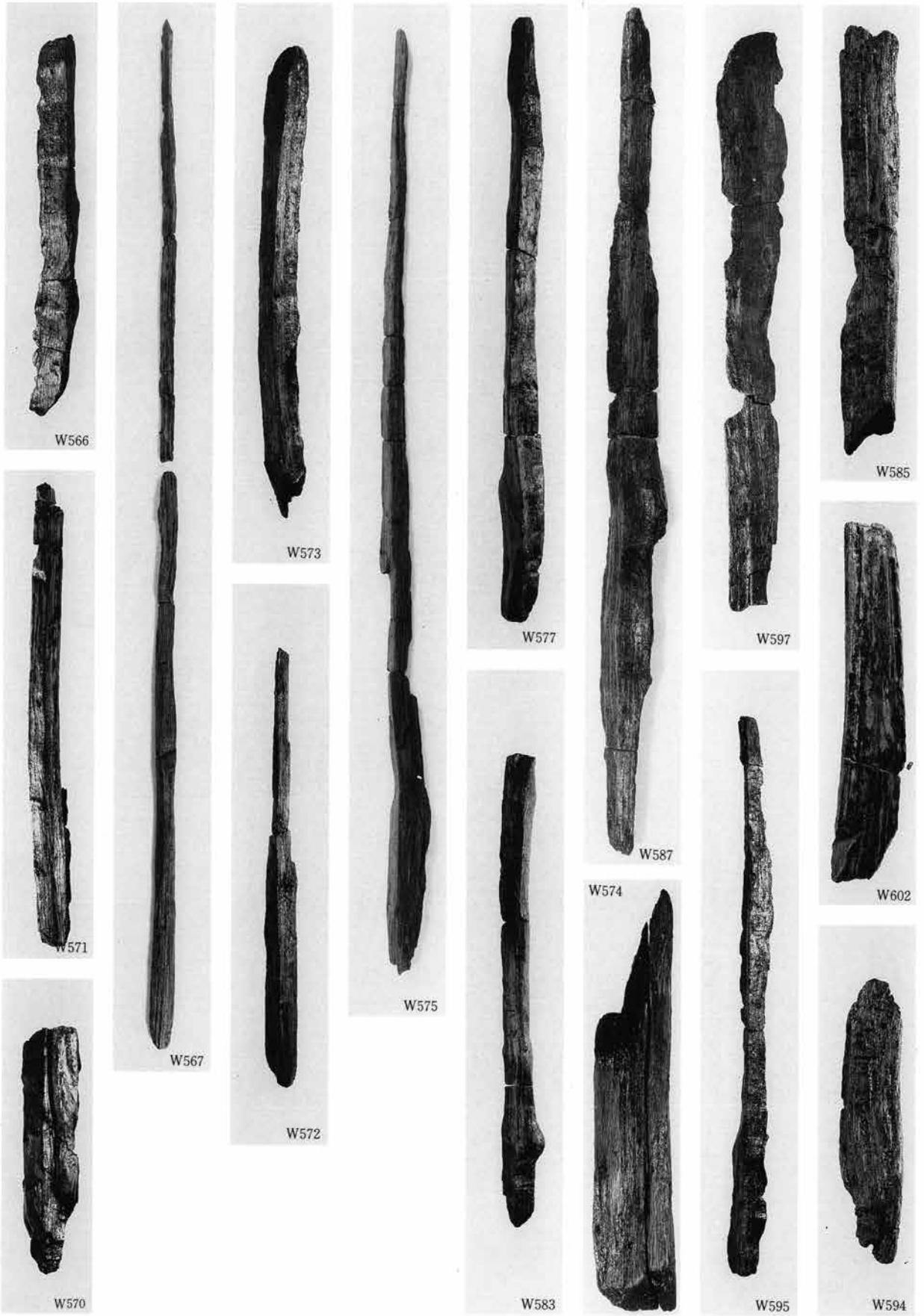
1 2-2号河川跡下層出土木器(18)



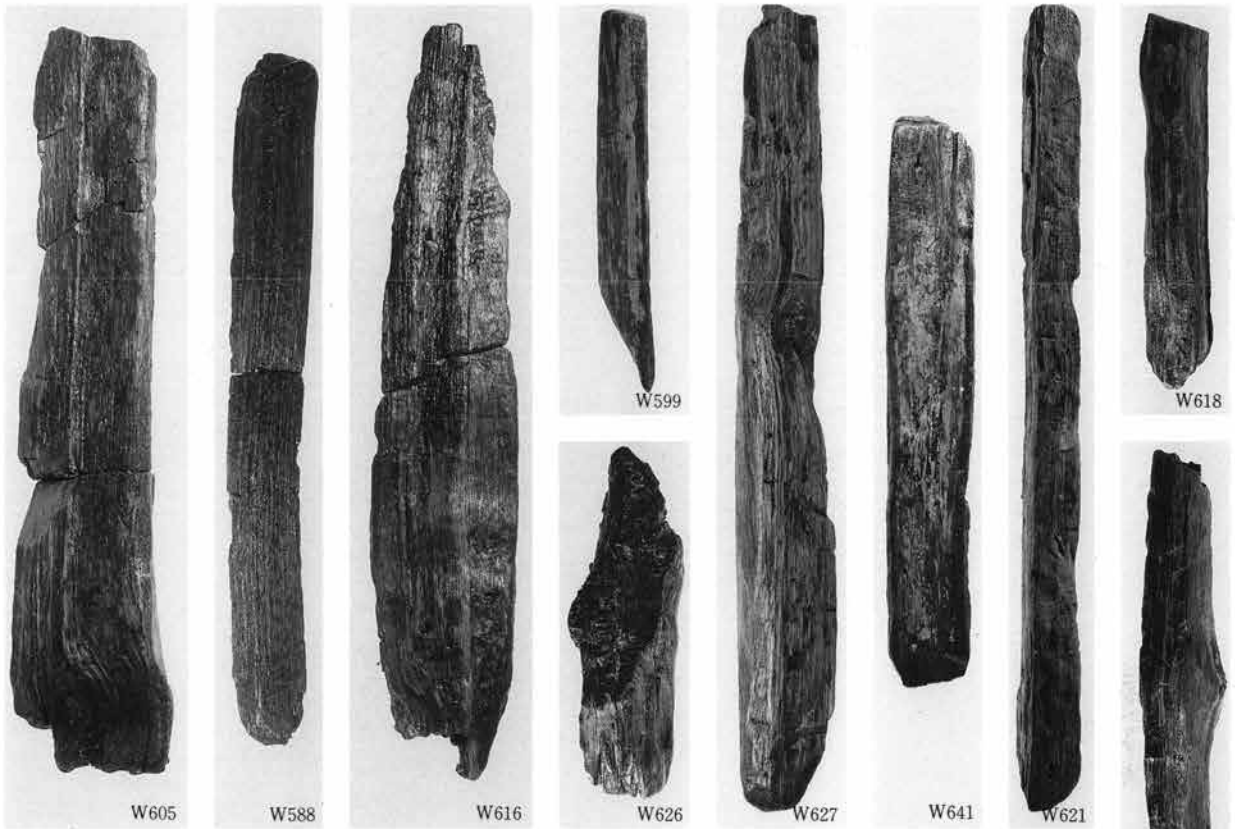
I 2-2号河川跡下層出土木器(19)



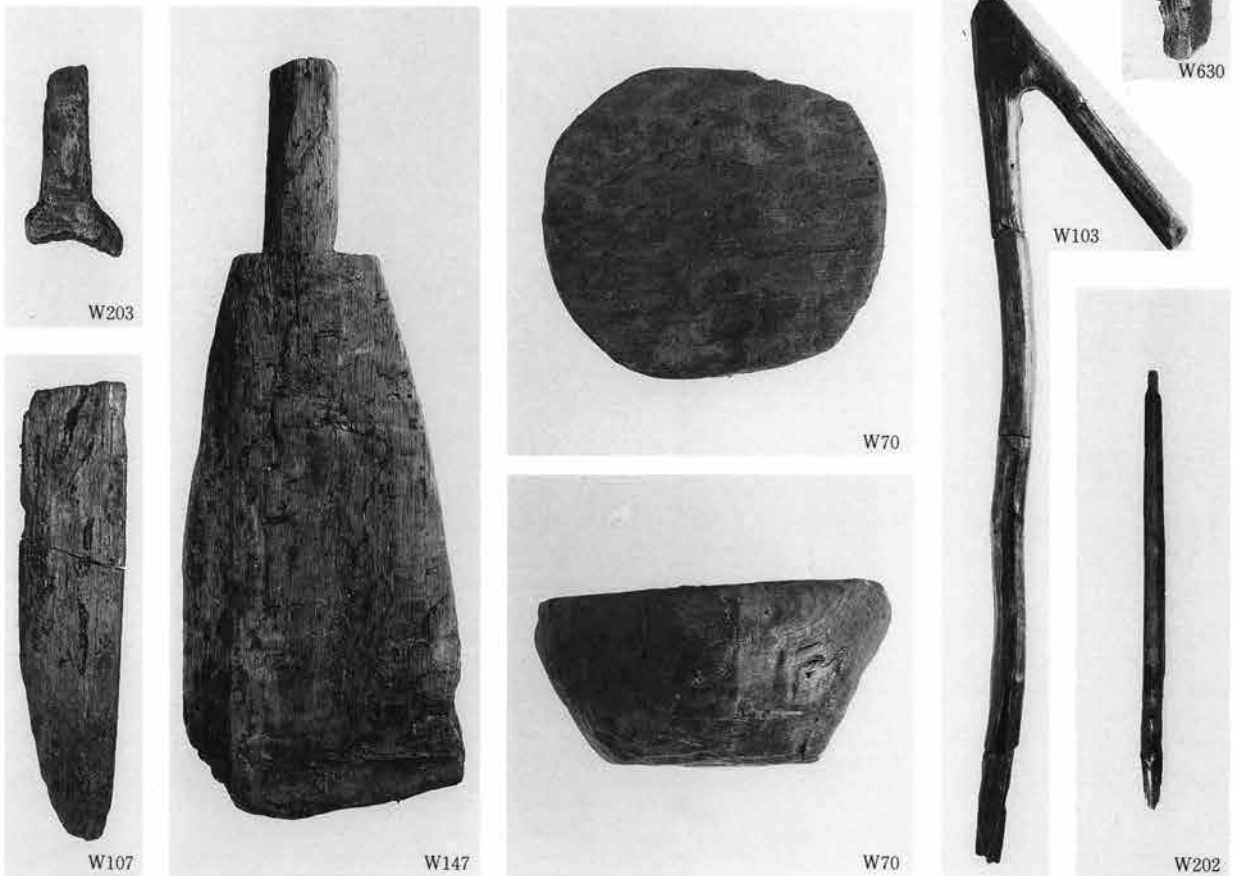
1 2-2号河川跡下層出土木器(20)



1 2-2号河川跡下層出土木器(21)

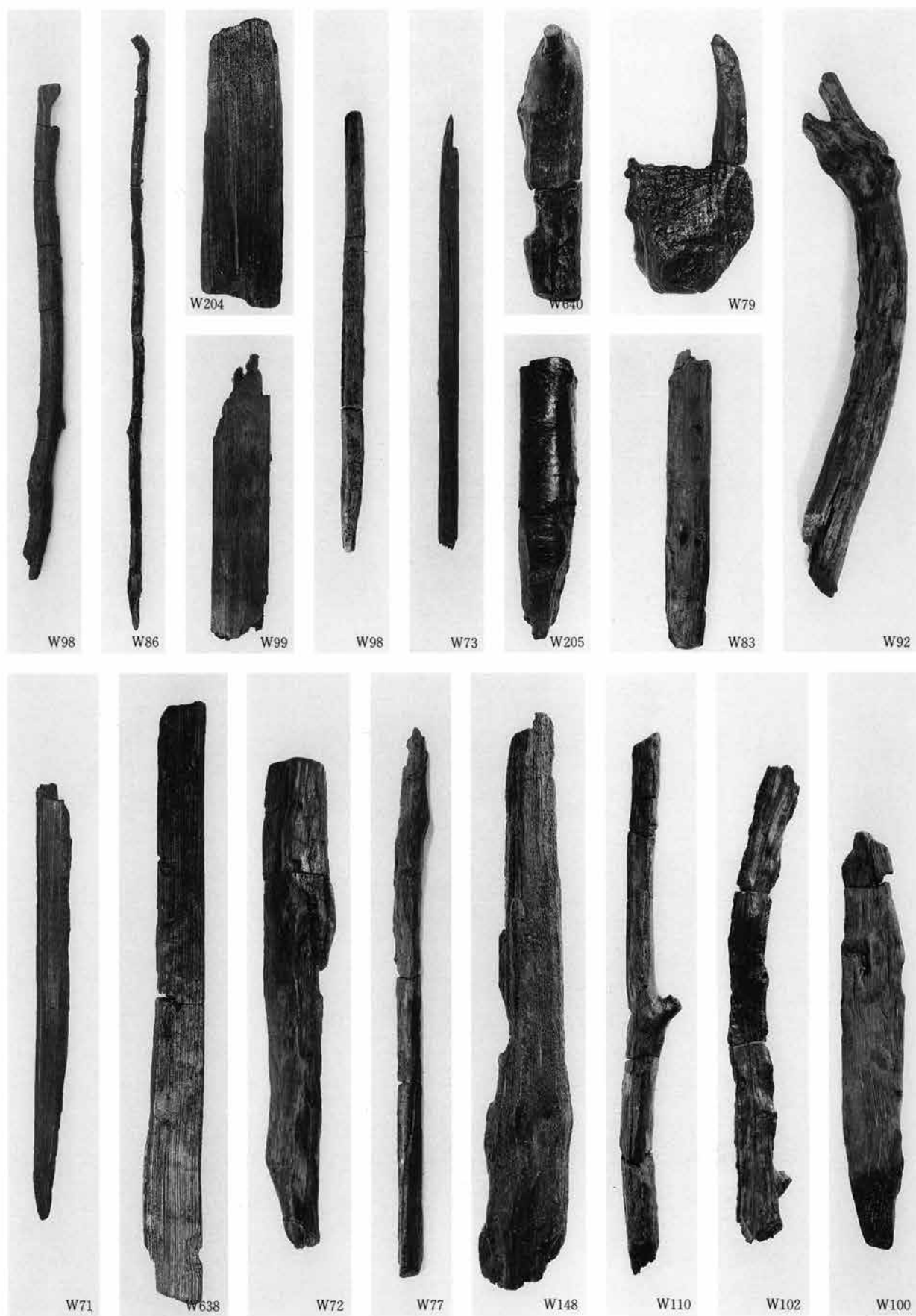


1 2-2号河川跡下層出土木器(22)

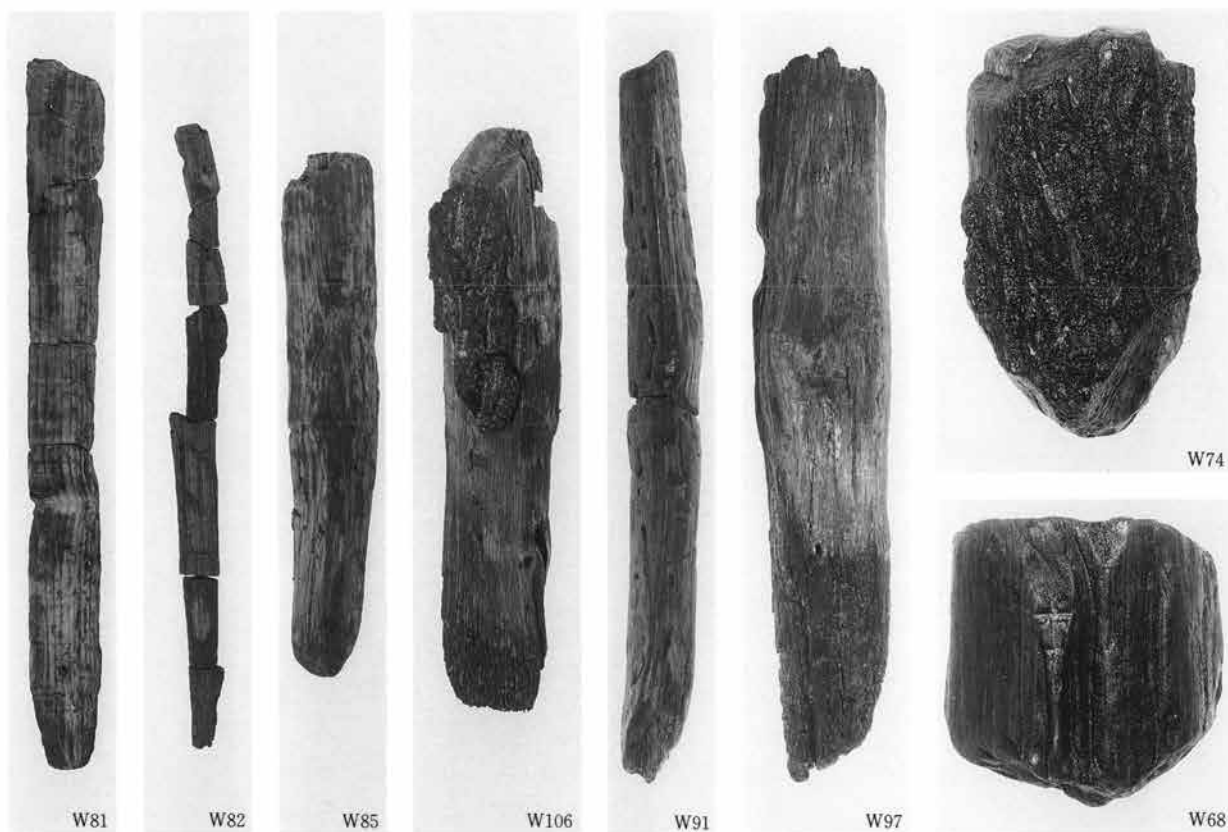


2 2-2号河川跡中層出土木器(1)

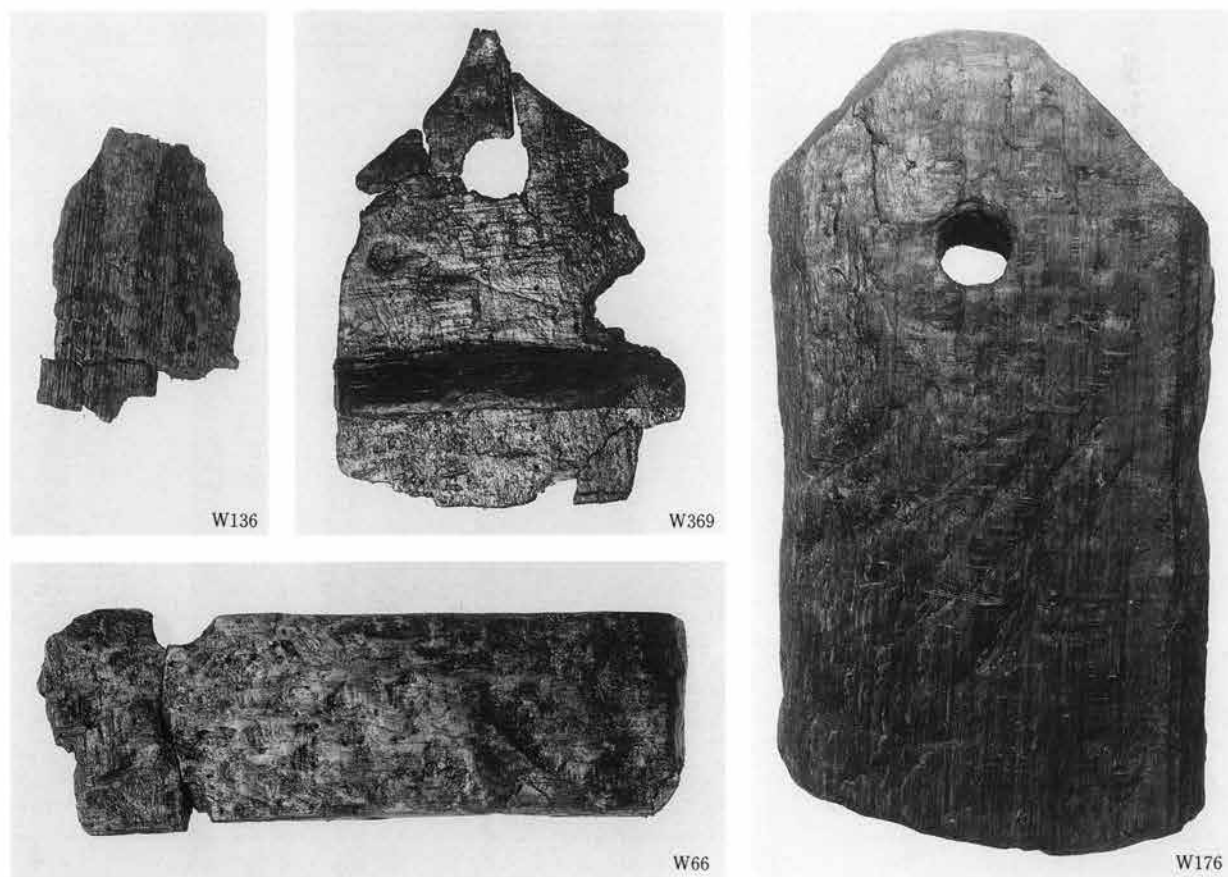
图版156



1 2-2号河川跡中層出土木器(2)

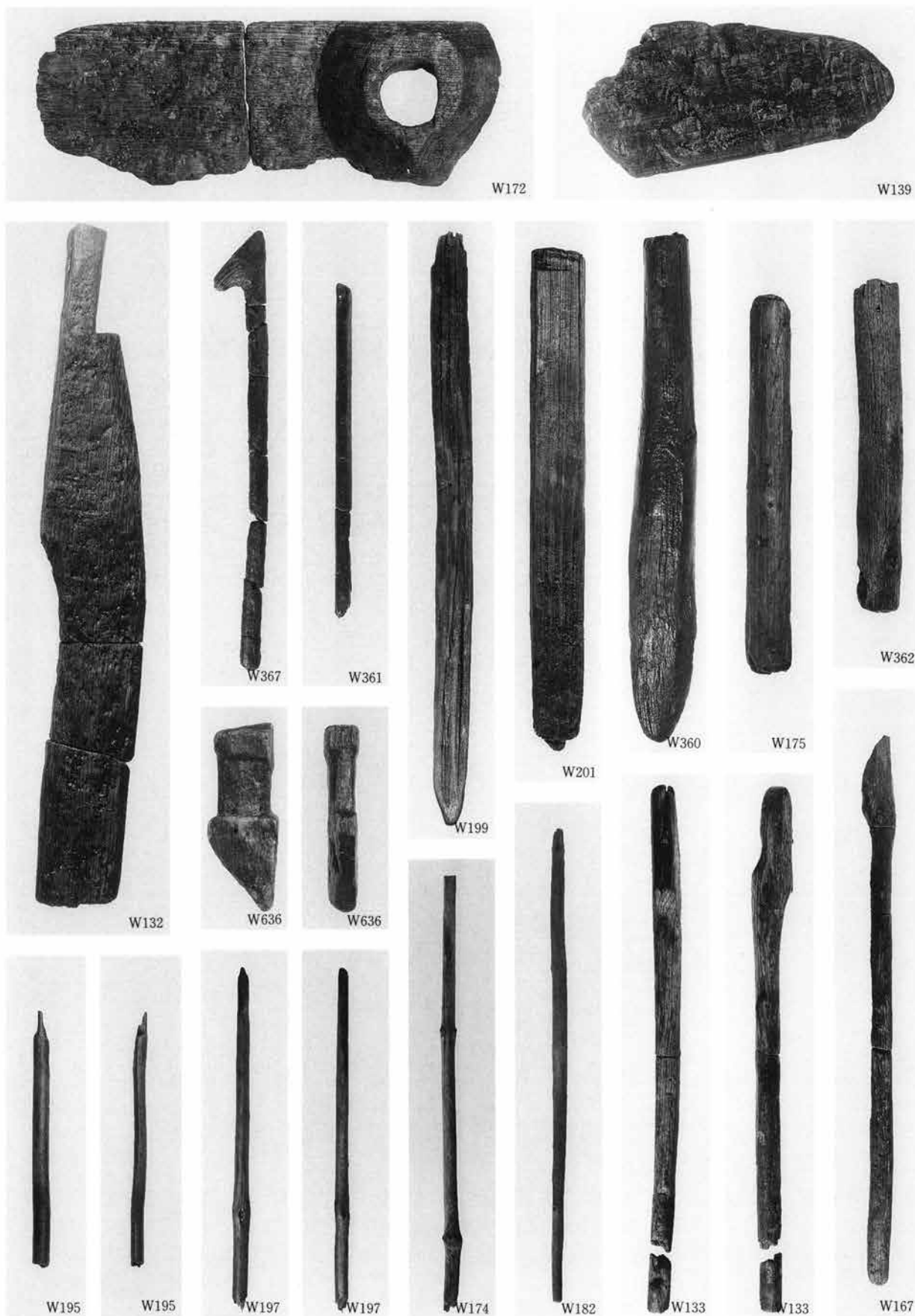


1 2-2号河川跡中層出土木器(3)

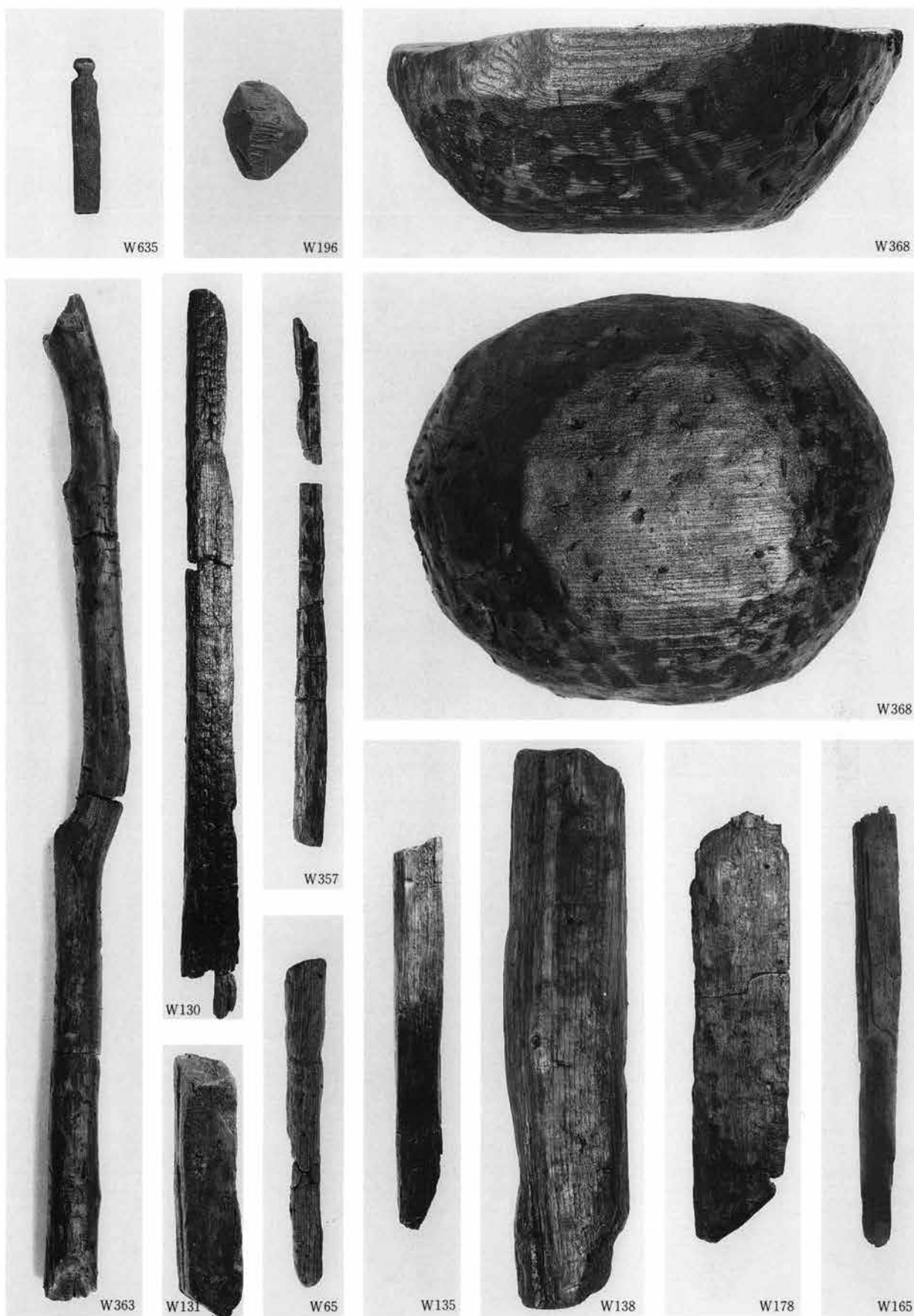


2 2-1号河川跡下層出土木器(1)

图版158

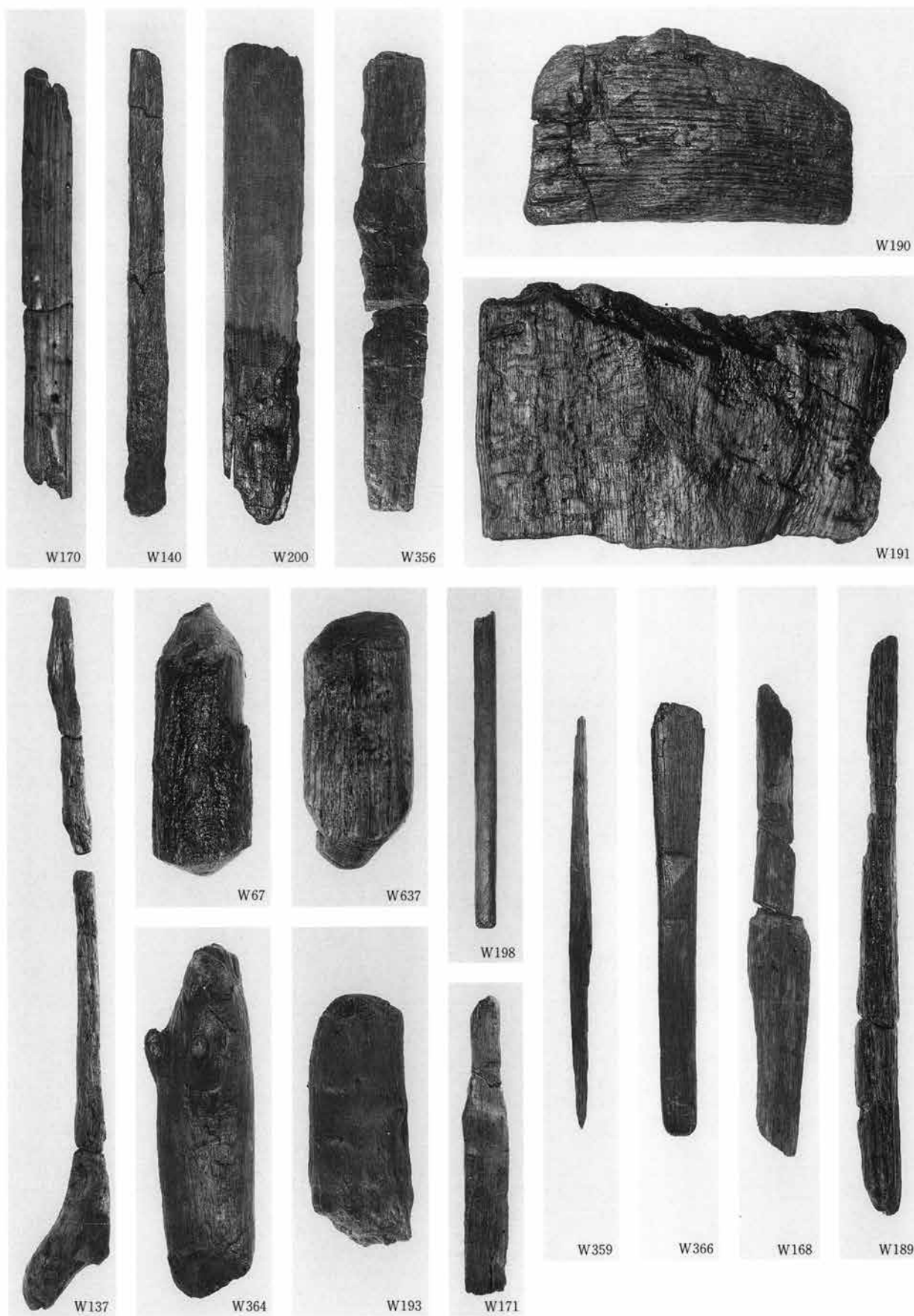


1 2-1号河川跡下層出土木器(2)

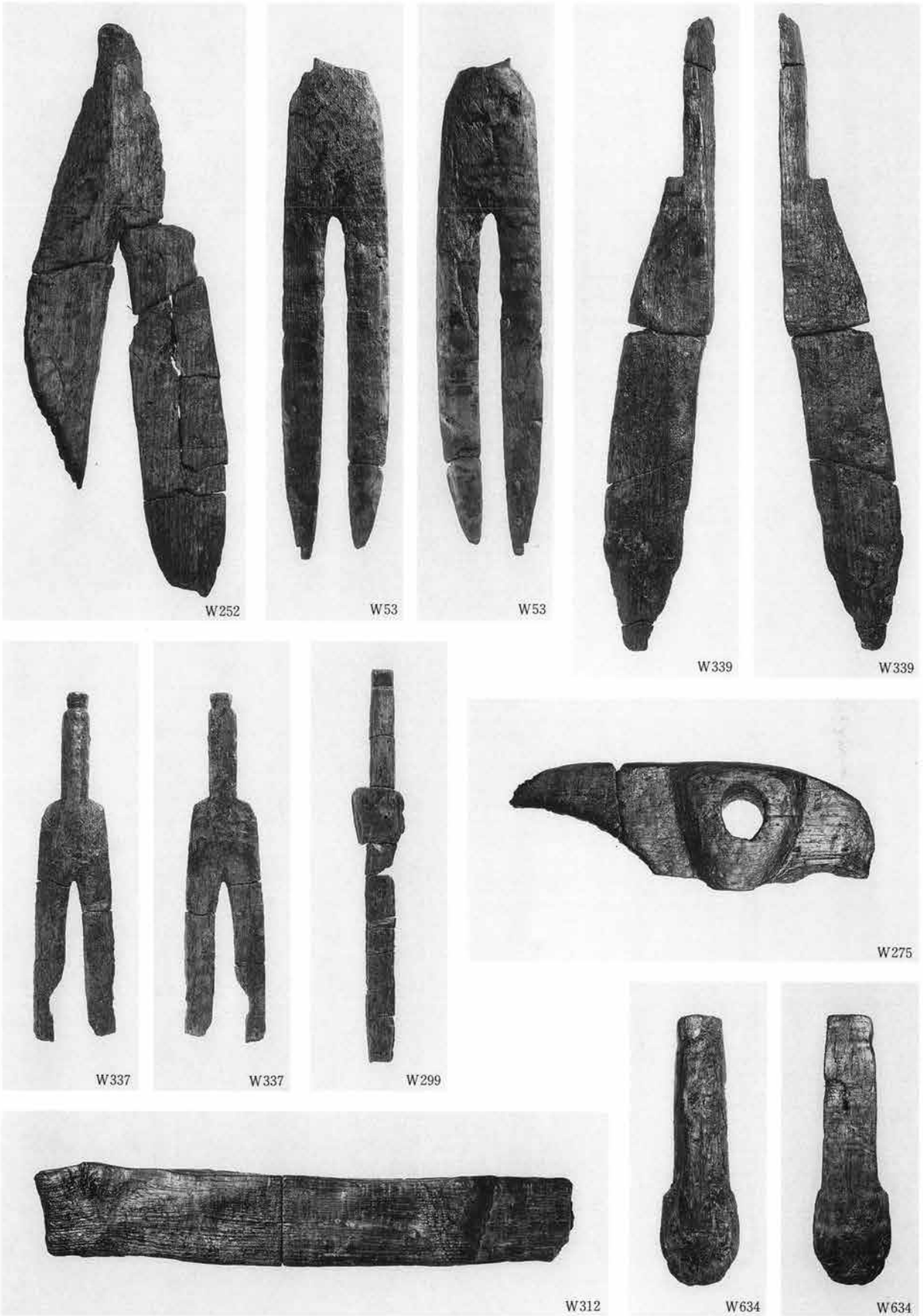


1 2-1号河川跡下層出土木器(3)

図版160

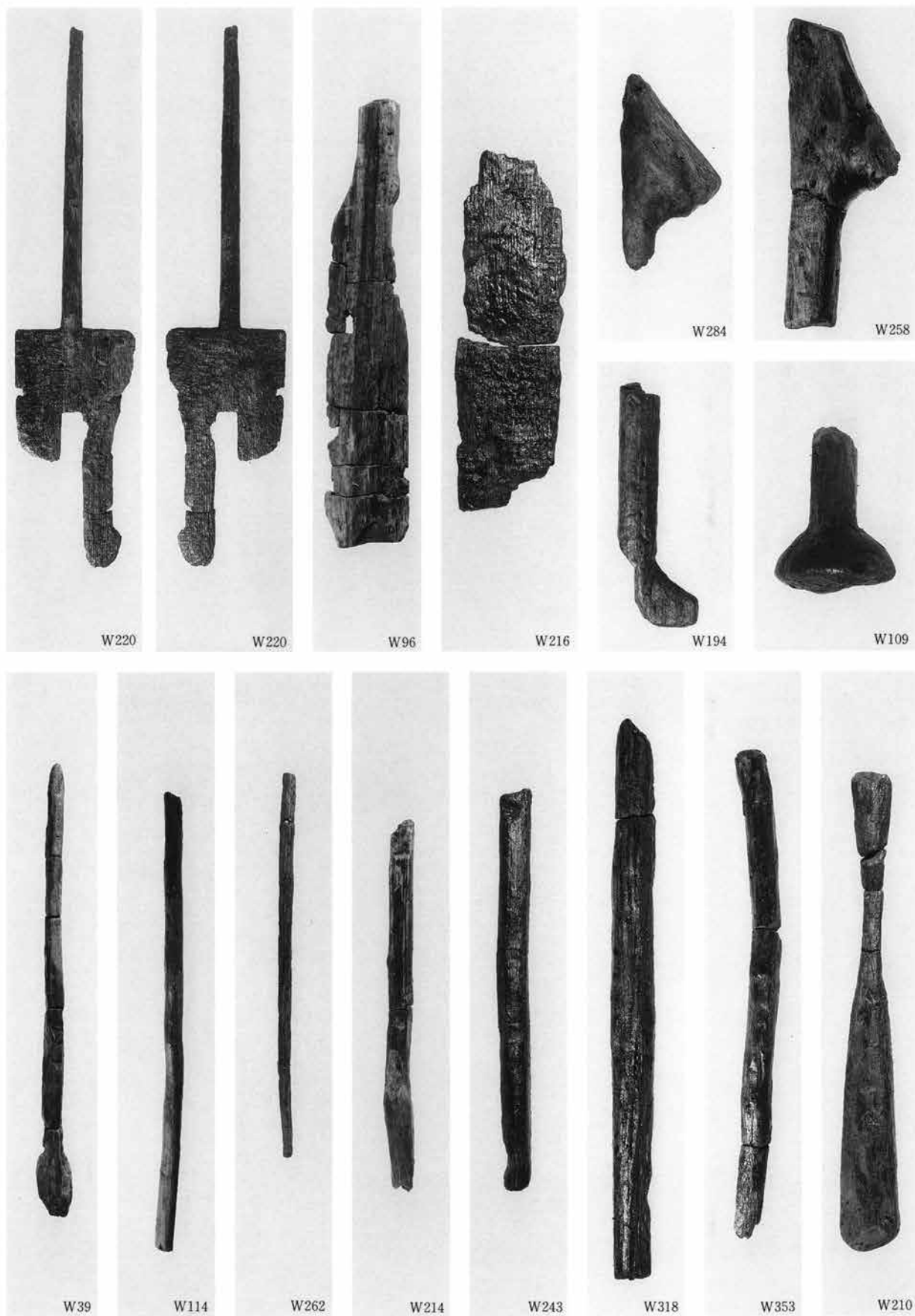


1 2-1号河川跡下層出土木器(4)

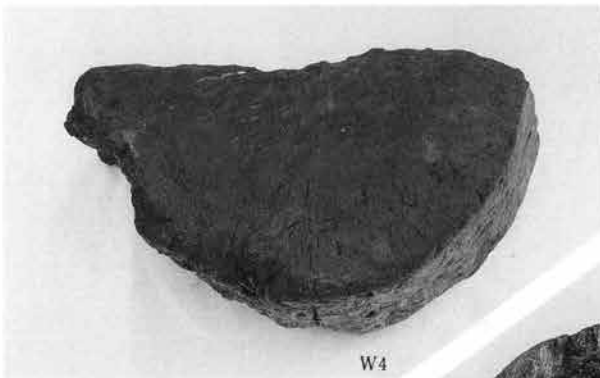


1 2-1号河川跡中層出土木器(1)

図版162

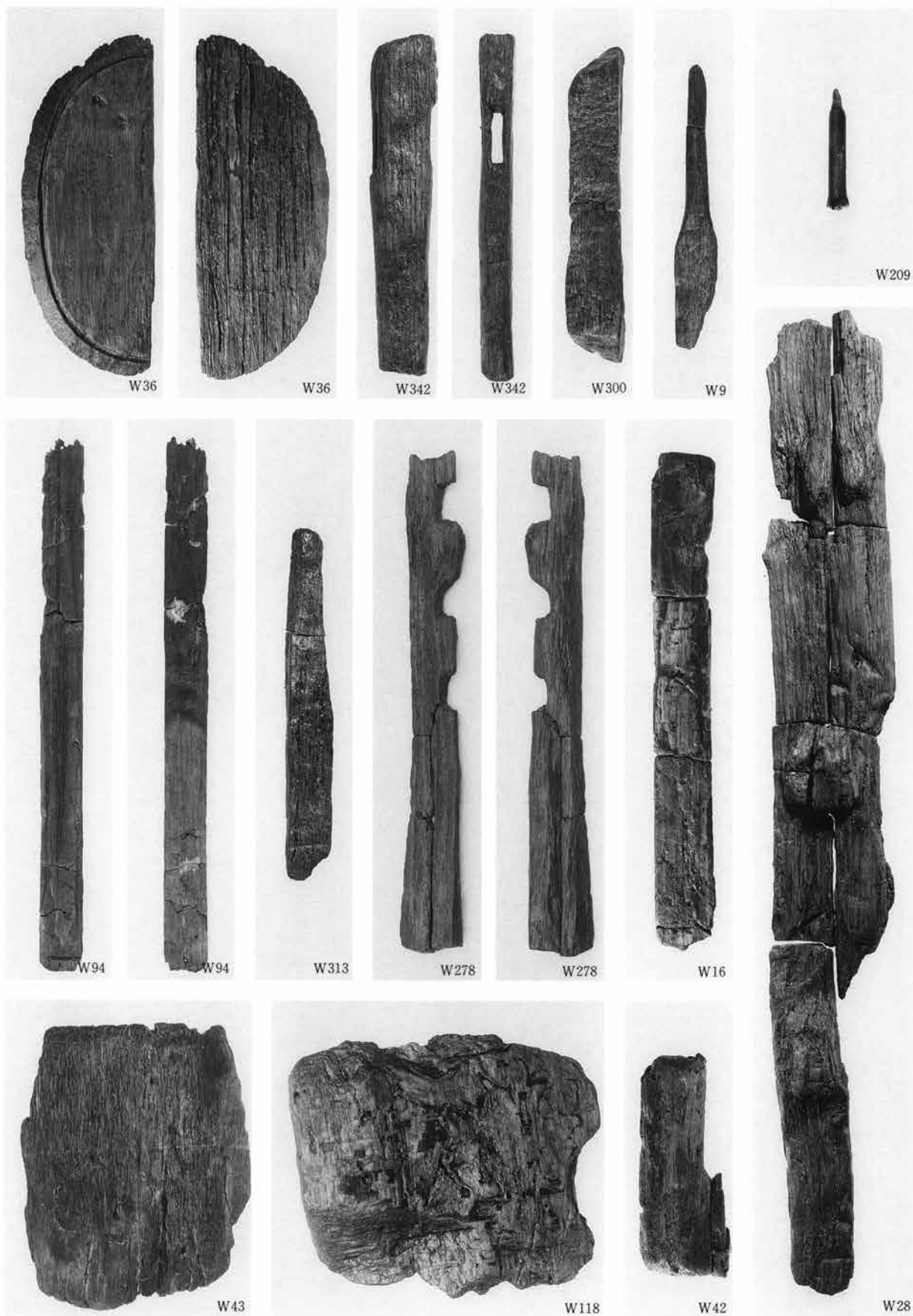


1 2-1号河川跡中層出土木器(2)

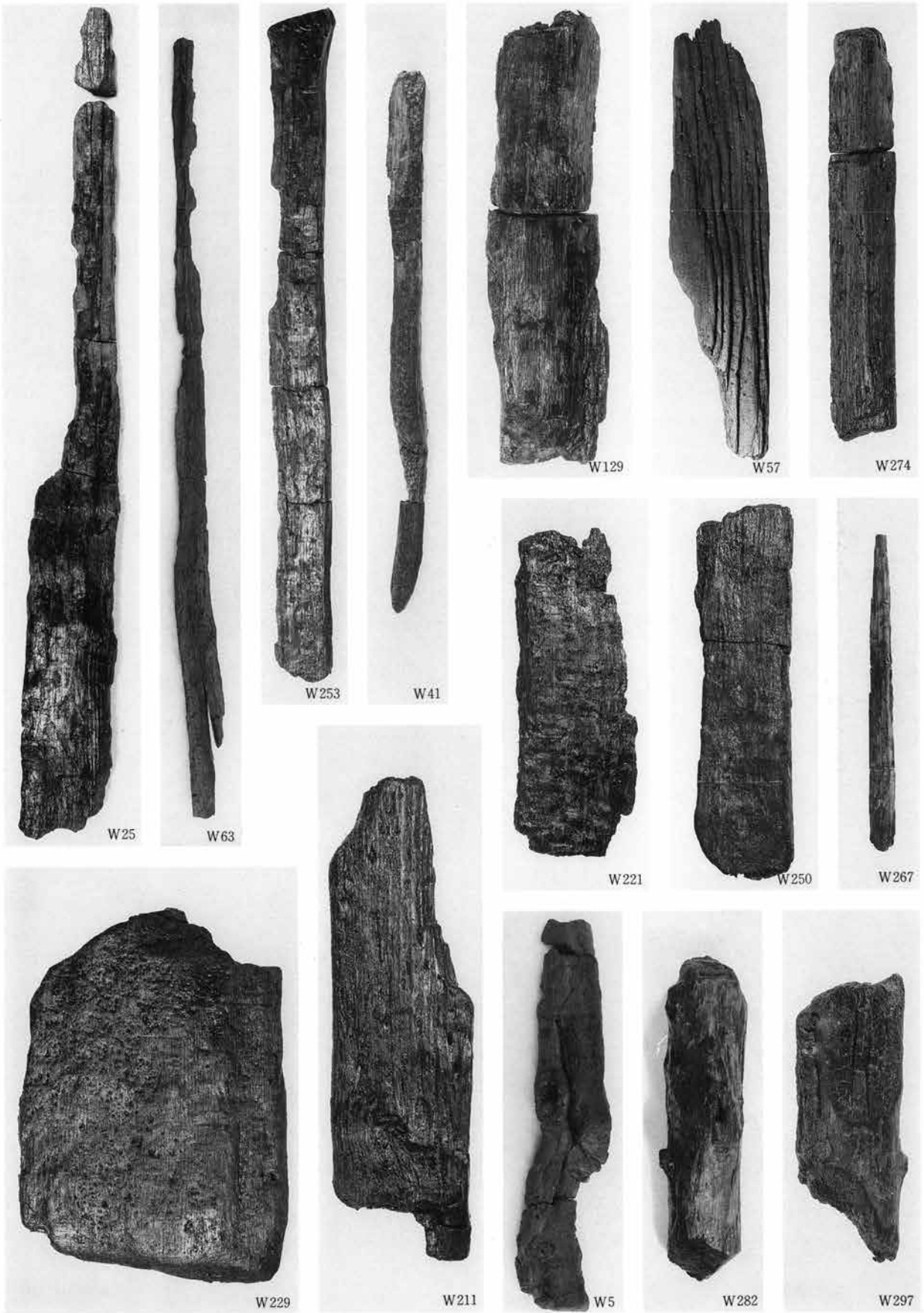


1 2-1号河川跡中層出土木器(3)

図版164

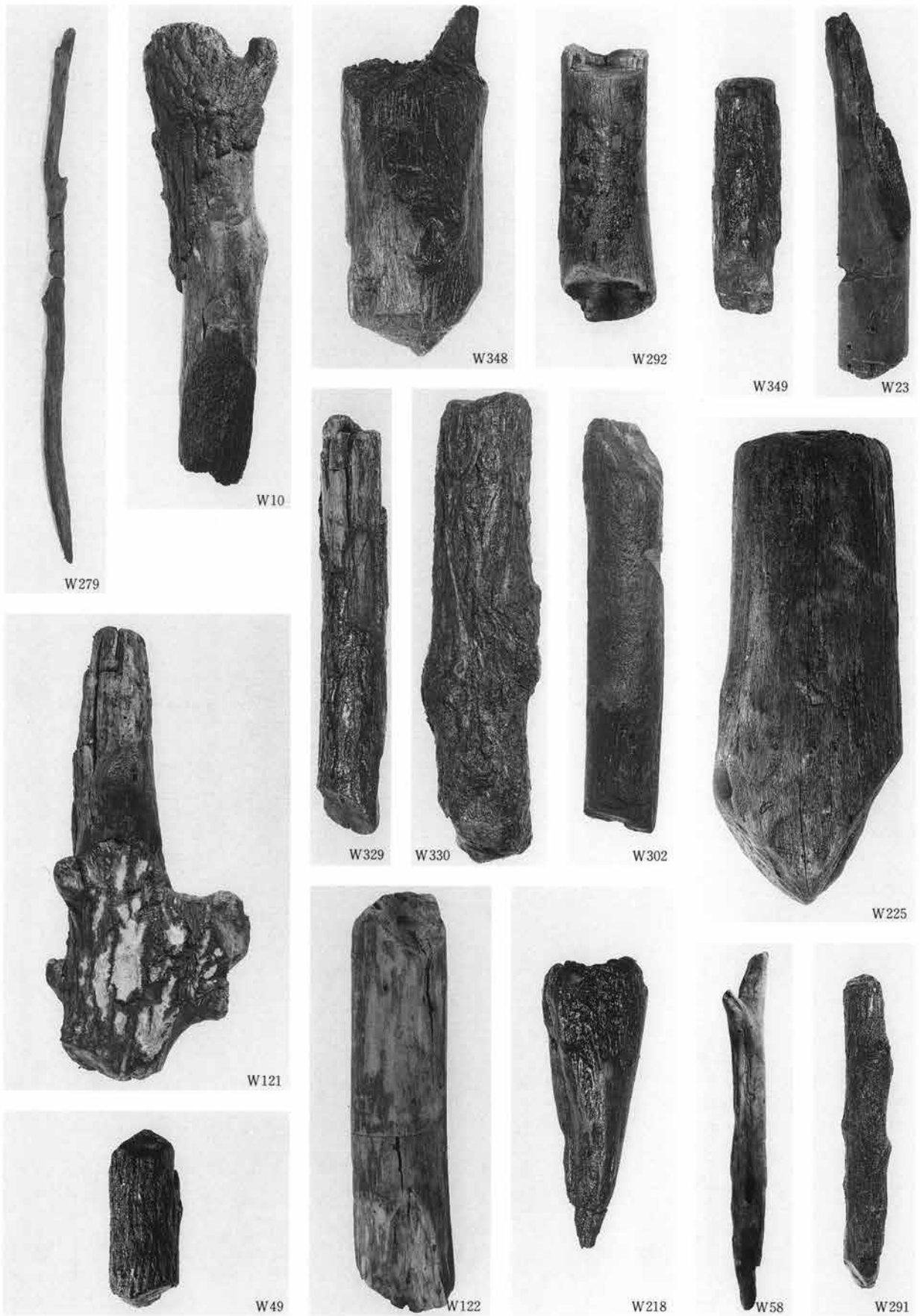


1 2-1号河川跡中層出土木器(4)

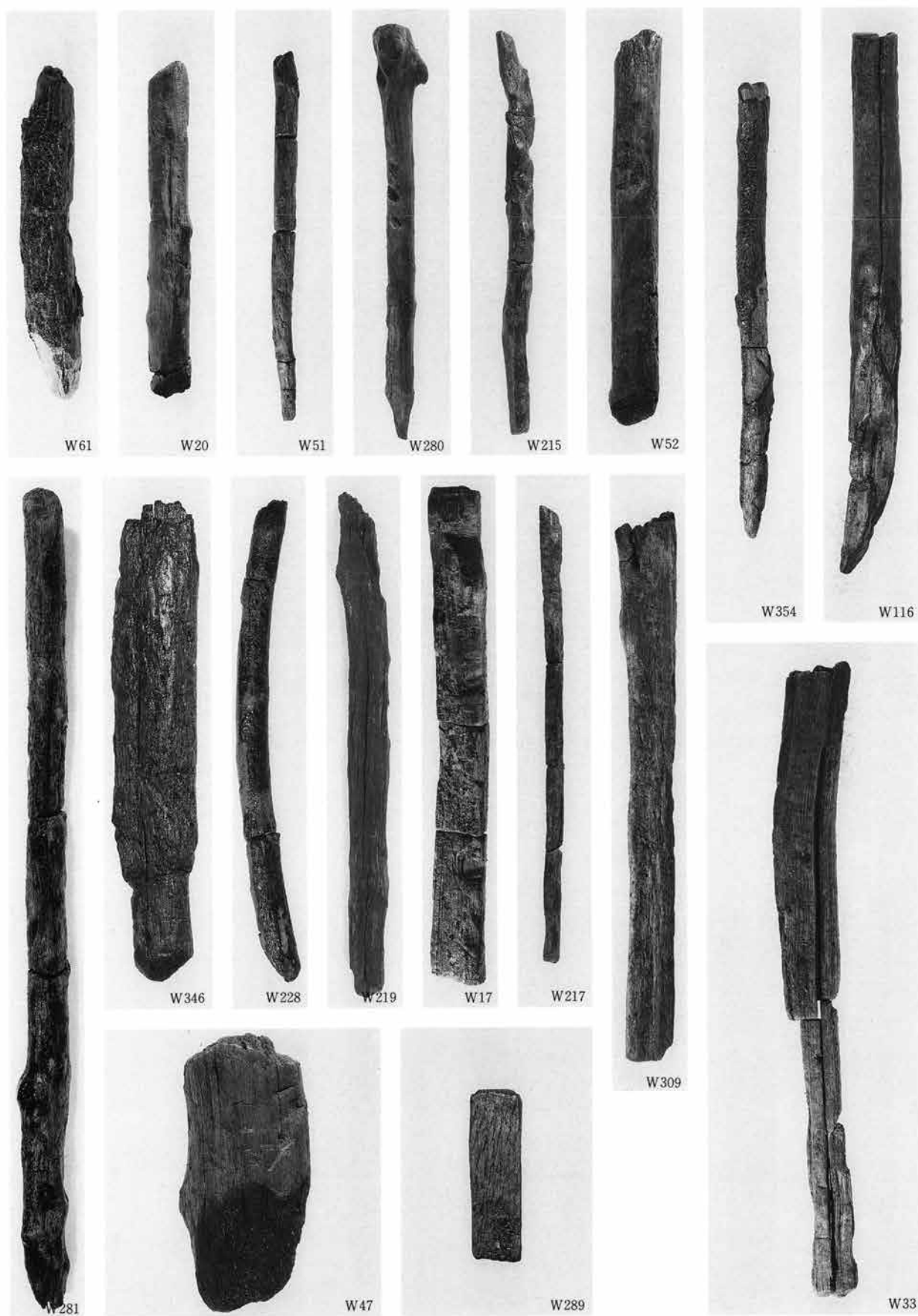


1 2-1号河川跡中層出土木器(5)

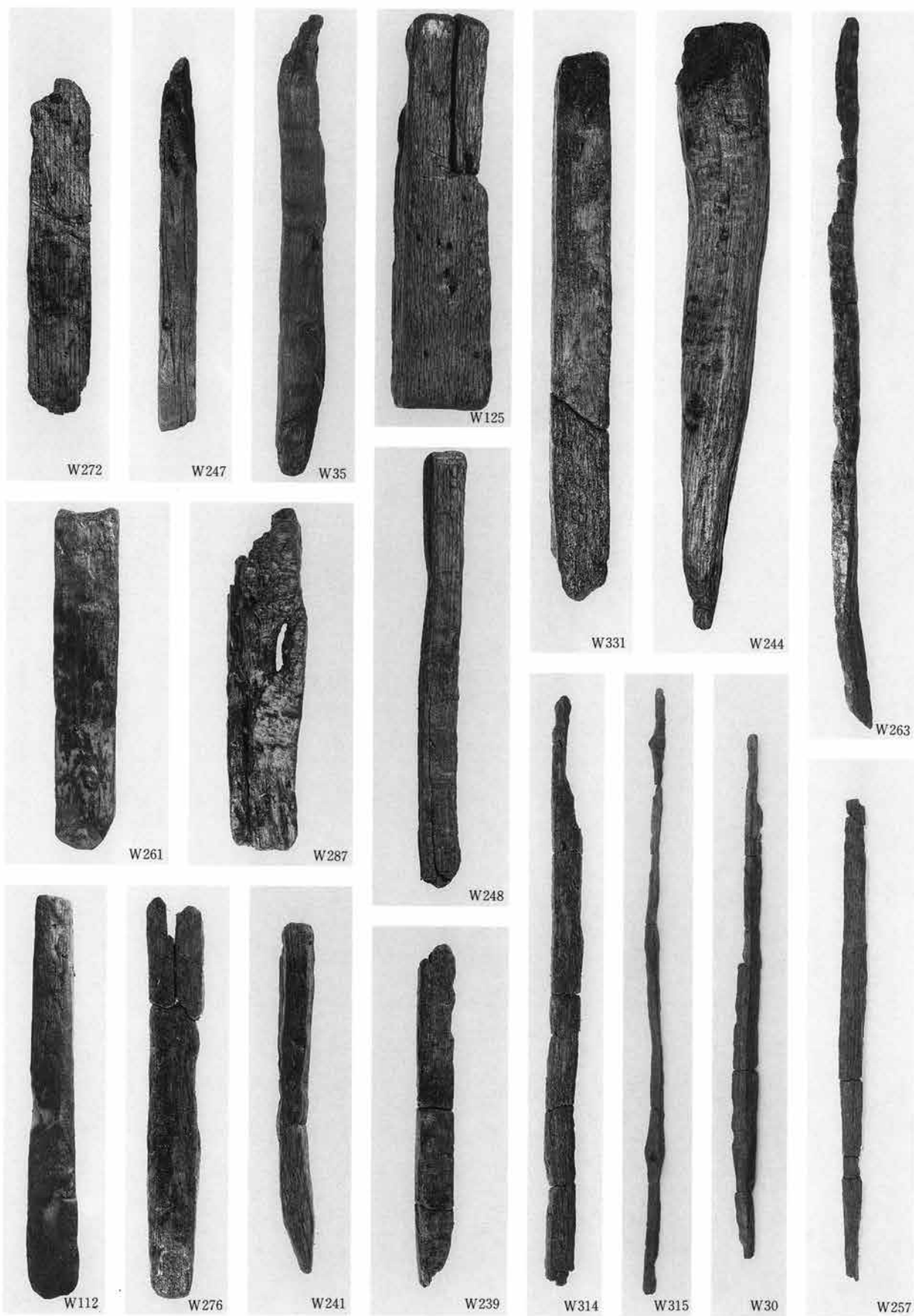
図版166



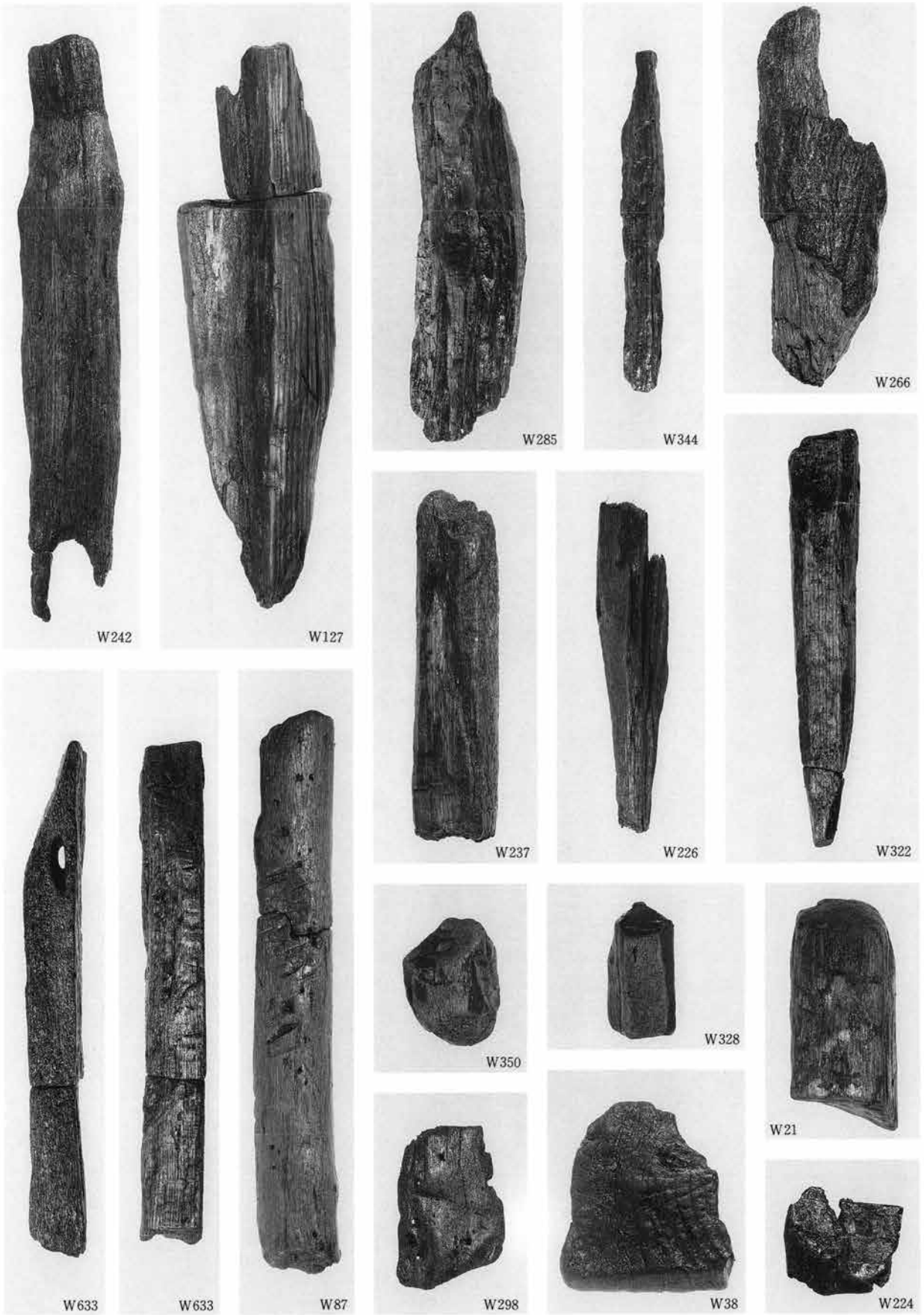
1 2-1号河川跡中層出土木器(6)



1 2-1号河川跡中層出土木器(7)

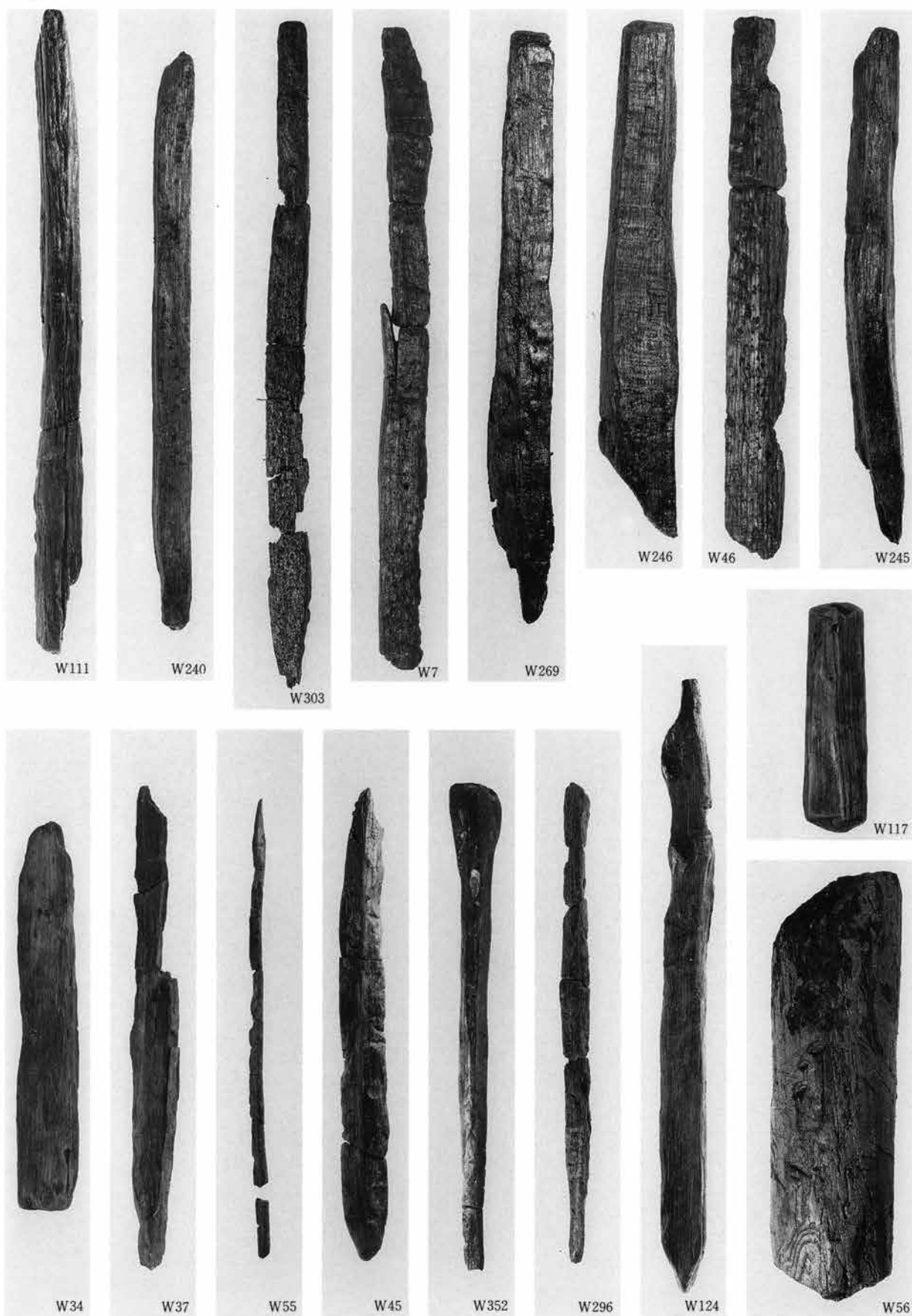


1 2-1号河川跡中層出土木器(8)

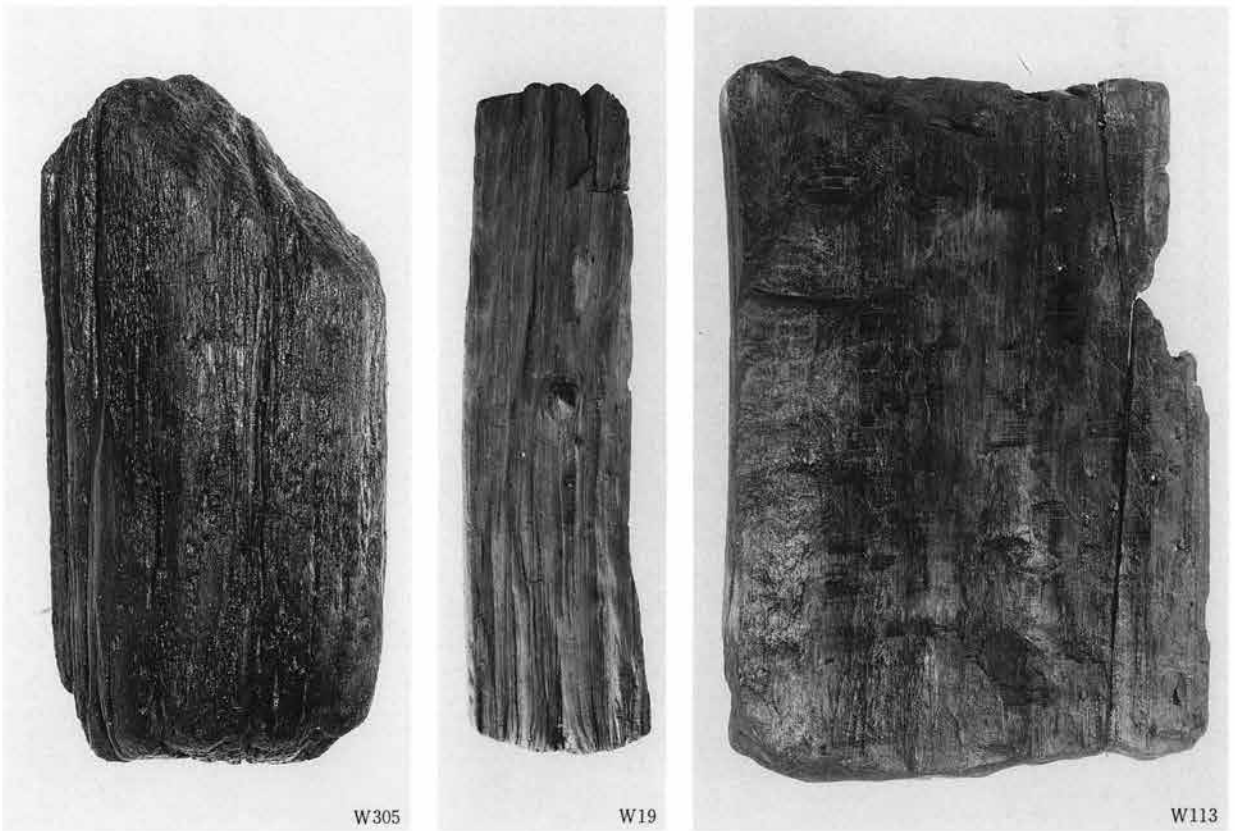
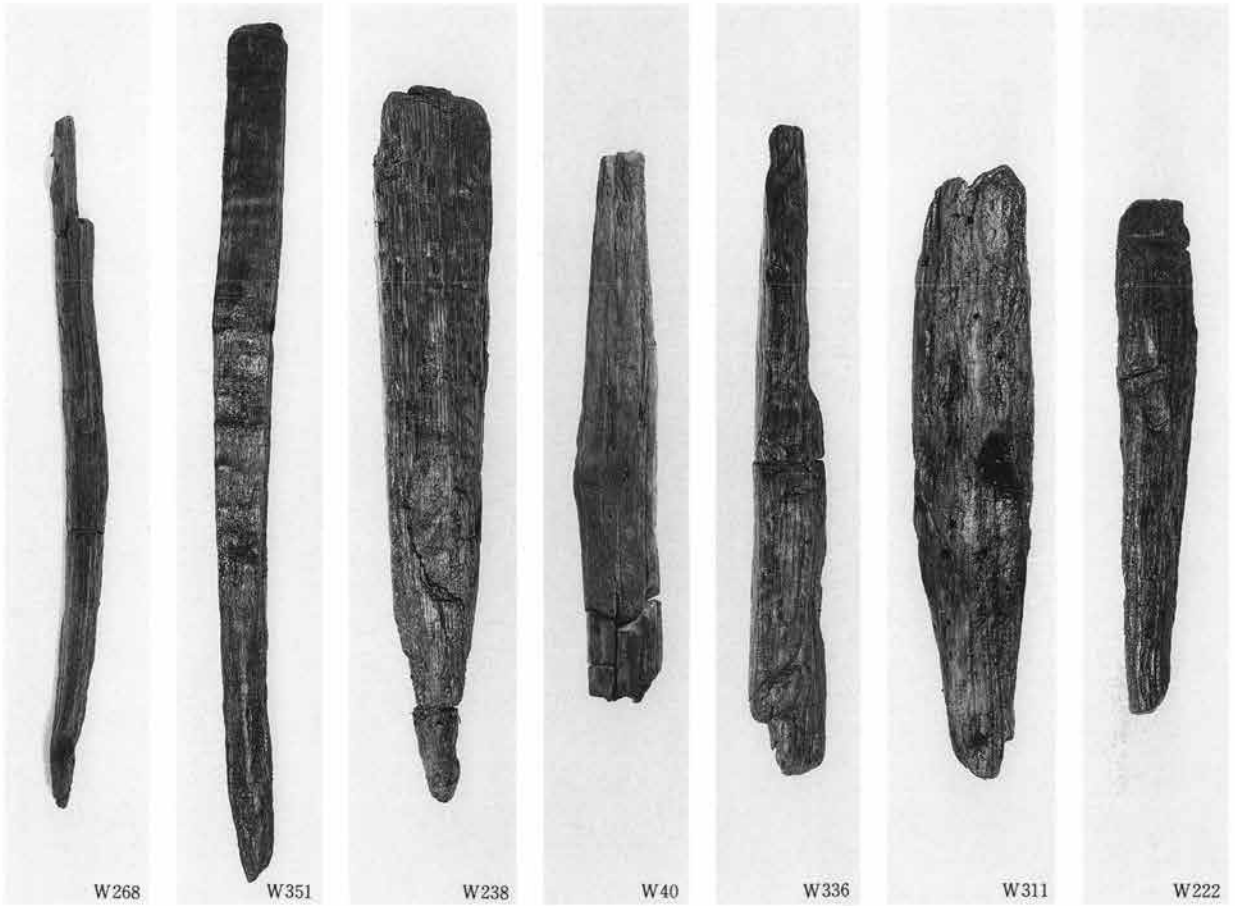


1 2-1号河川跡中層出土木器(9)

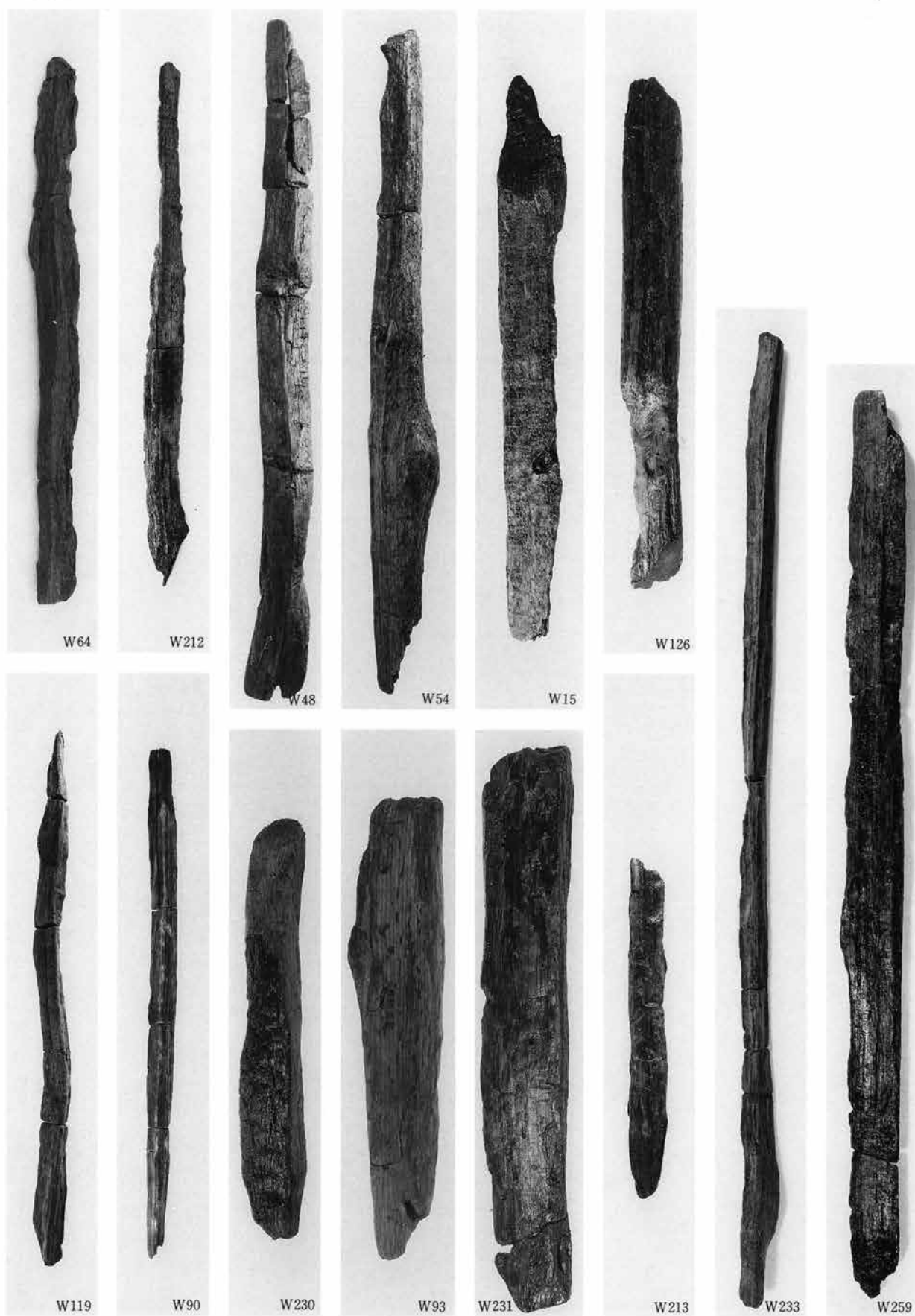
図版170



1 2-1号河川跡中層出土木器(10)



1 2-1号河川跡中層出土木器(11)

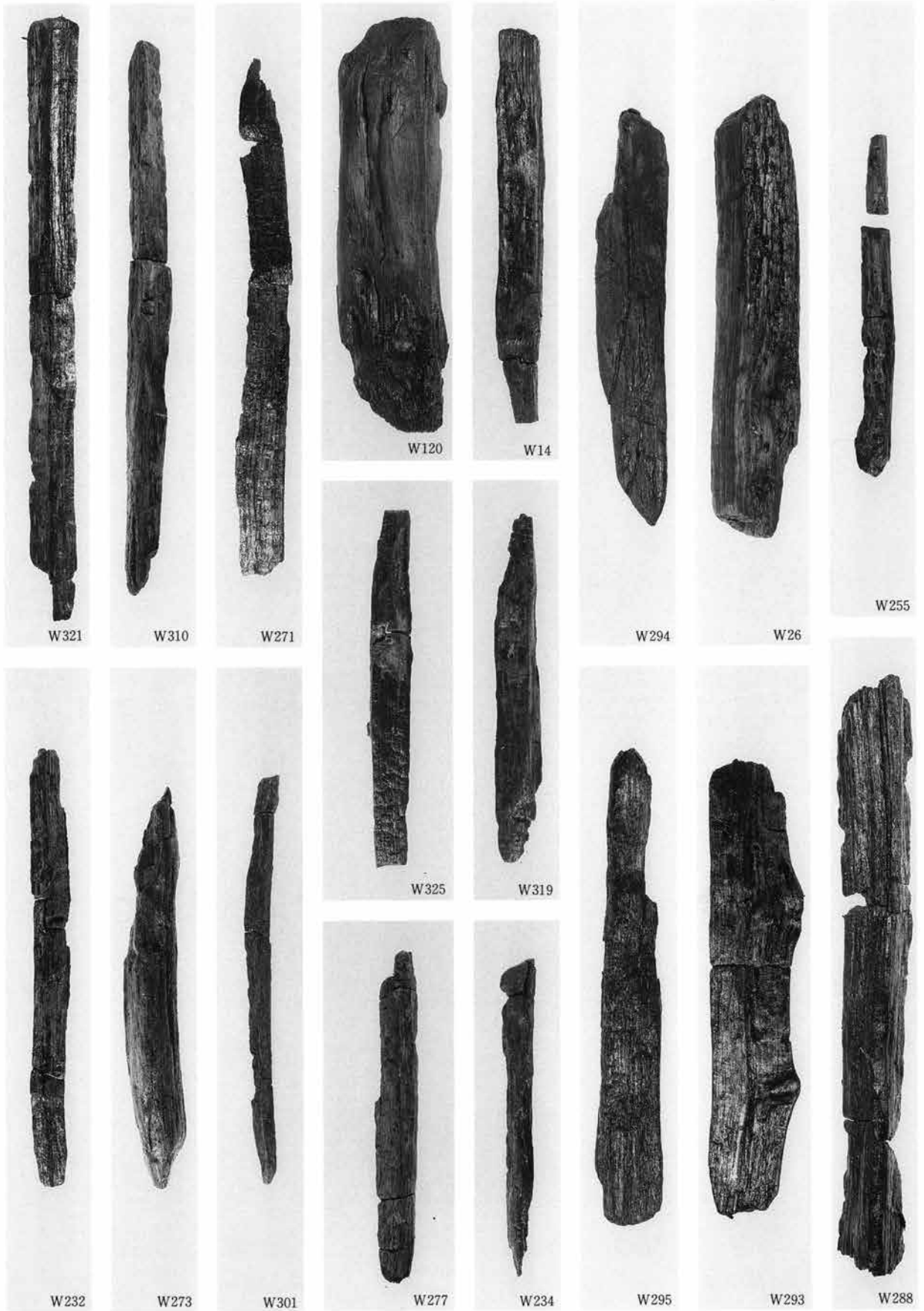


1 2-1号河川跡中層出土木器(12)

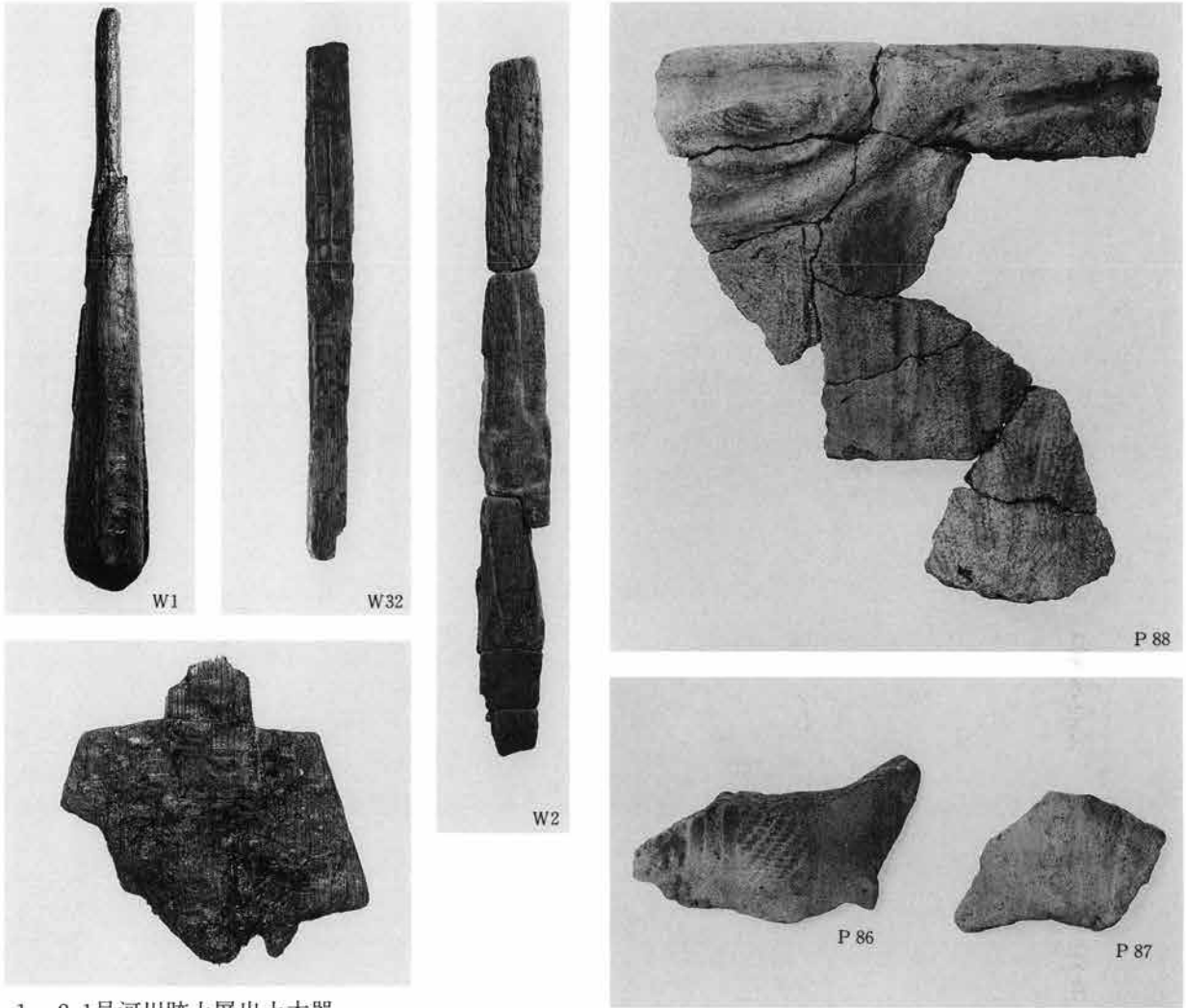


1 2-1号河川跡中層出土木器(13)

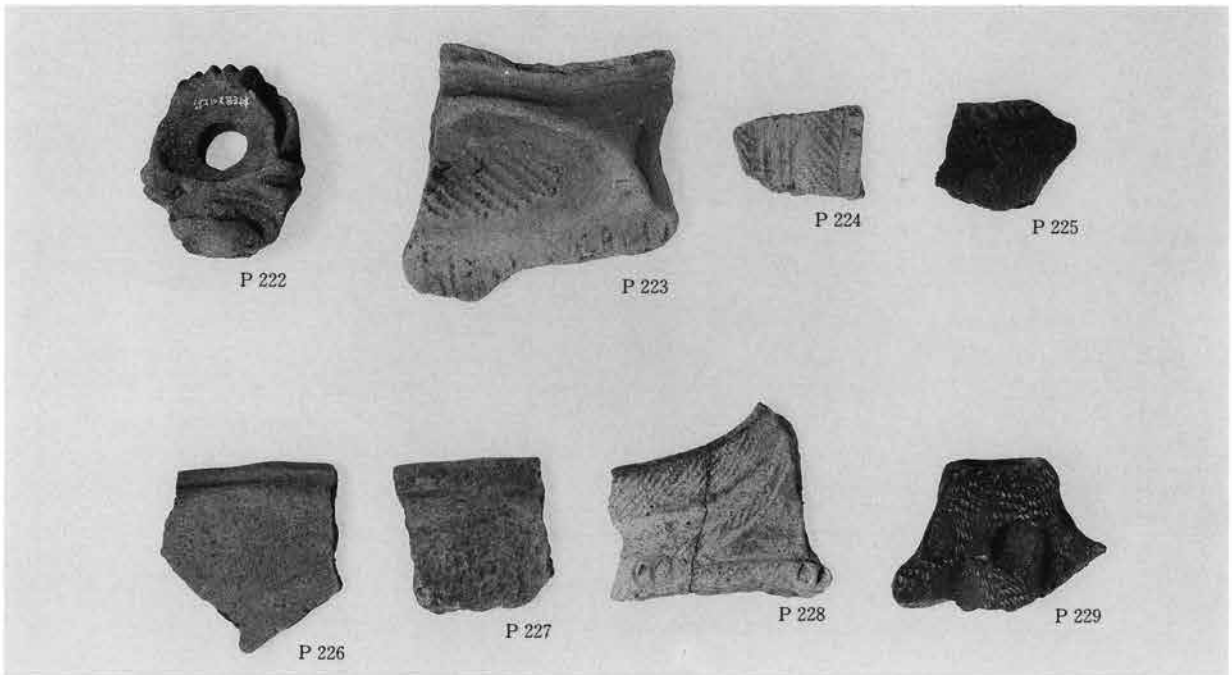
图版174



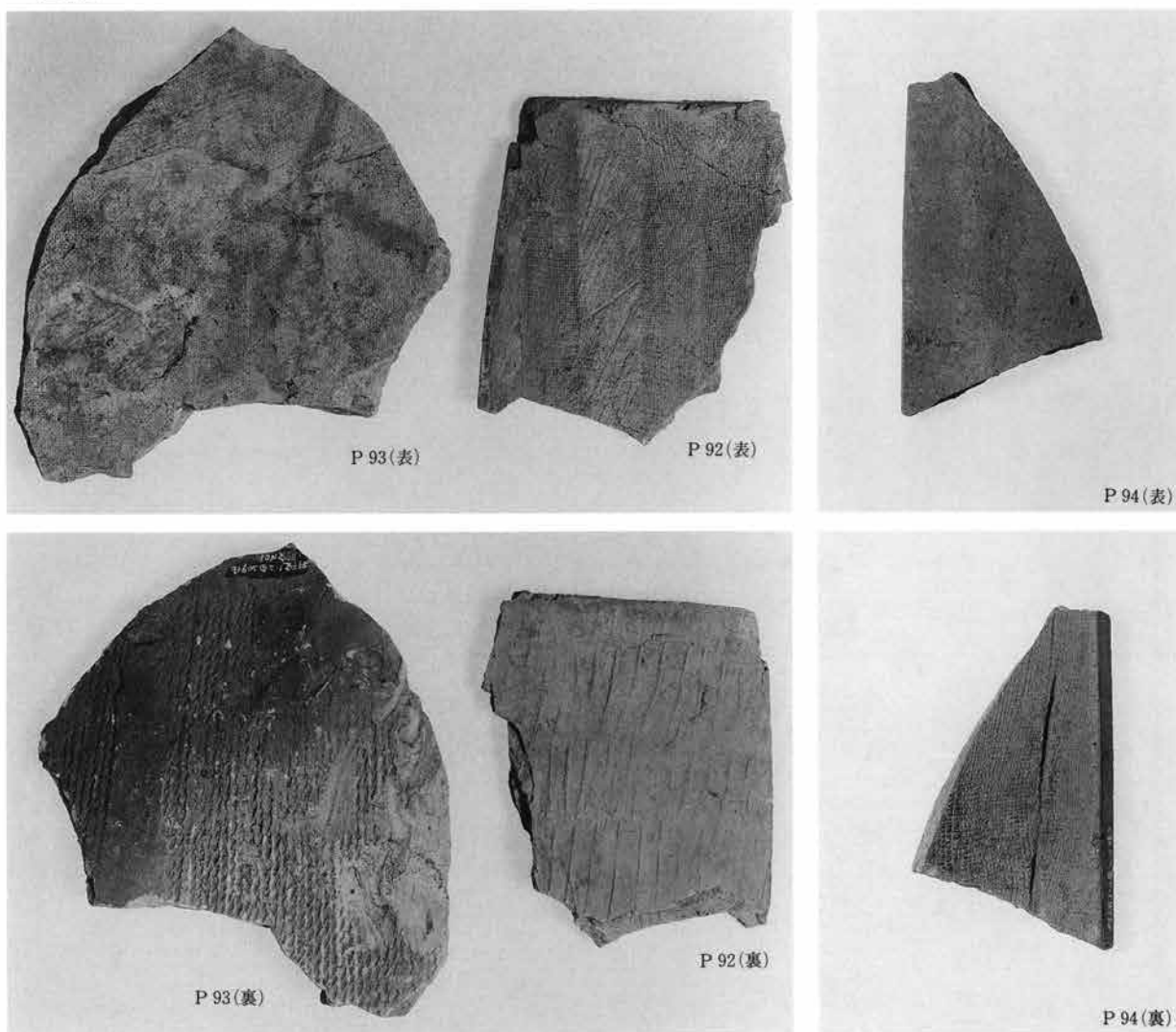
1 2-1号河川跡中層出土木器(14)



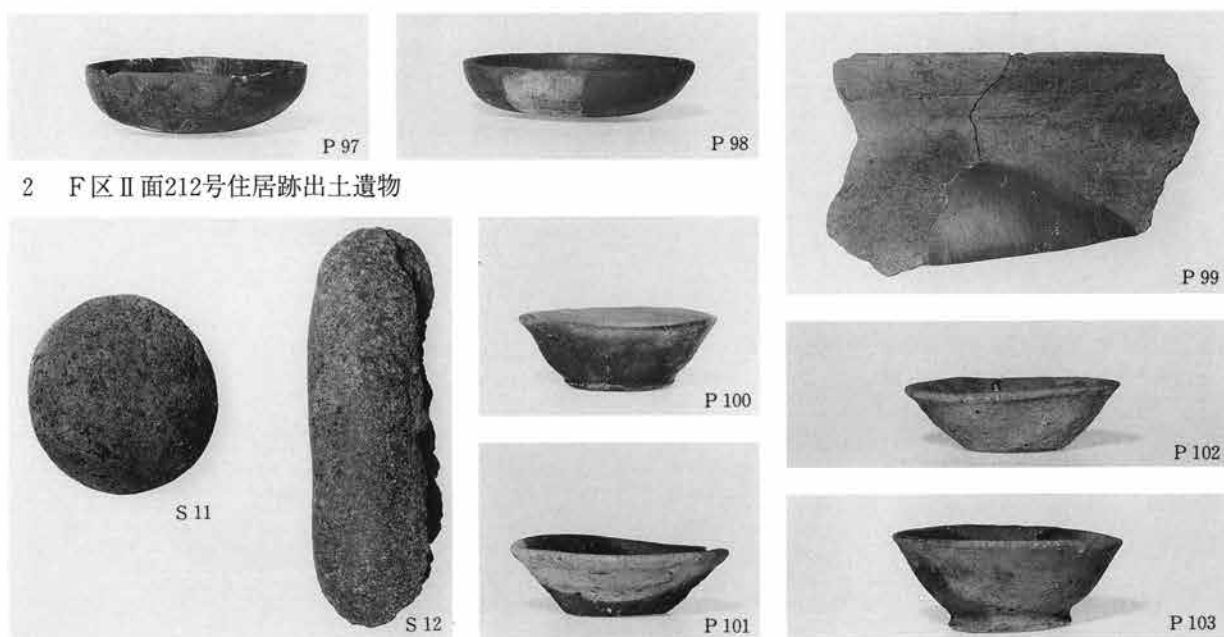
1 2-1号河川跡上層出土木器



2 グリットおよび2号河川跡出土の縄文土器



1 F区Ⅱ面209·210号住居跡出土遺物

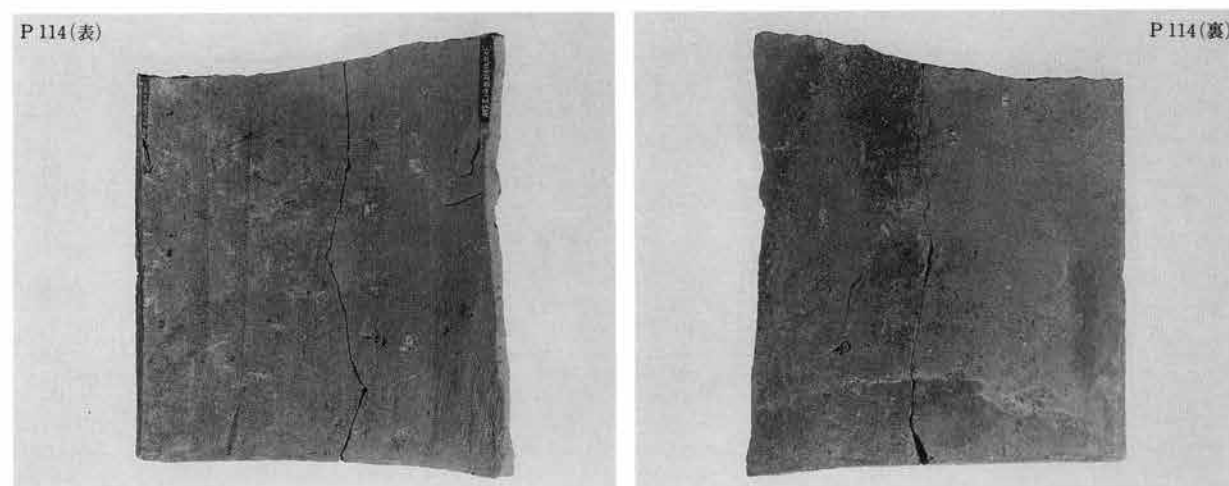
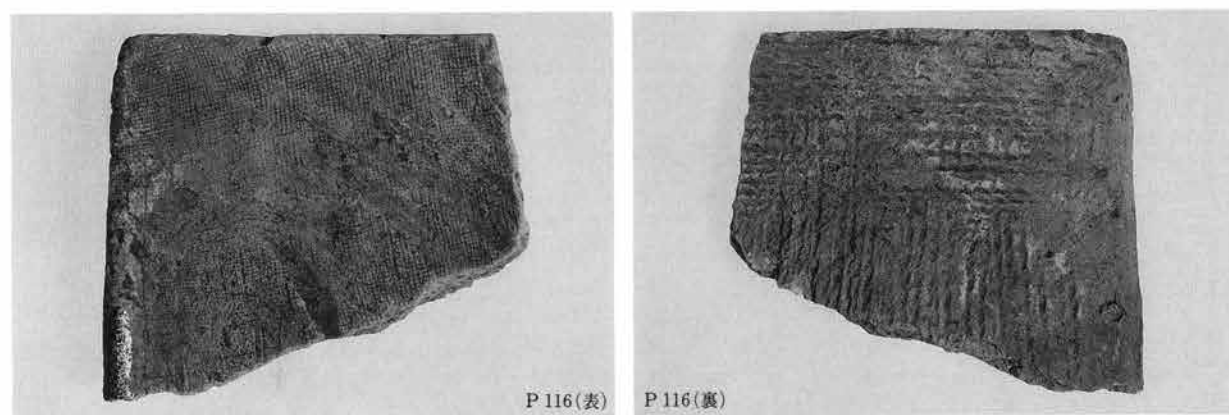
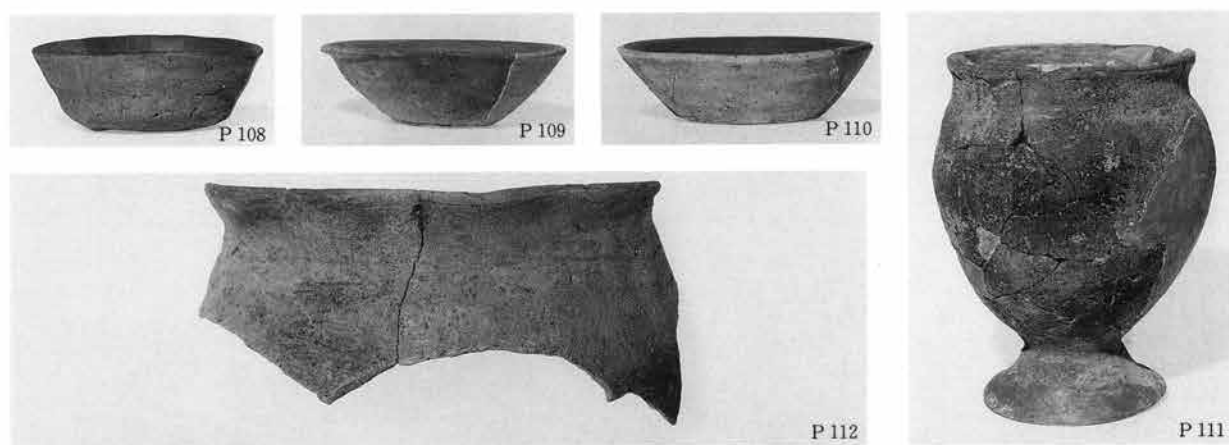


2 F区Ⅱ面212号住居跡出土遺物

3 F区Ⅱ面213号住居跡出土遺物(1)

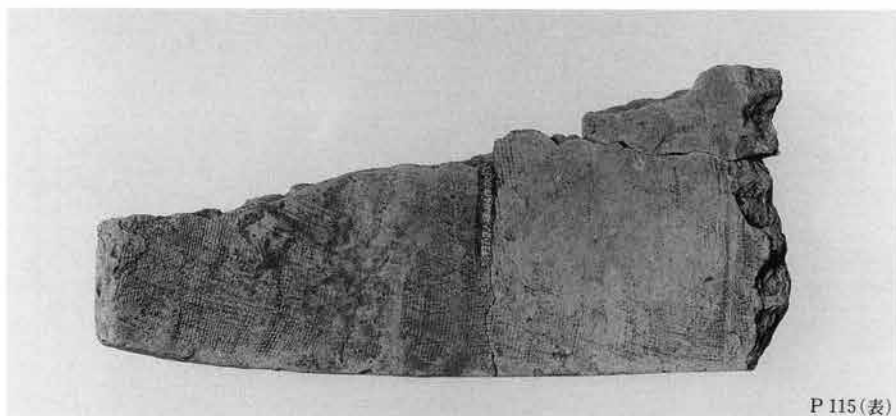
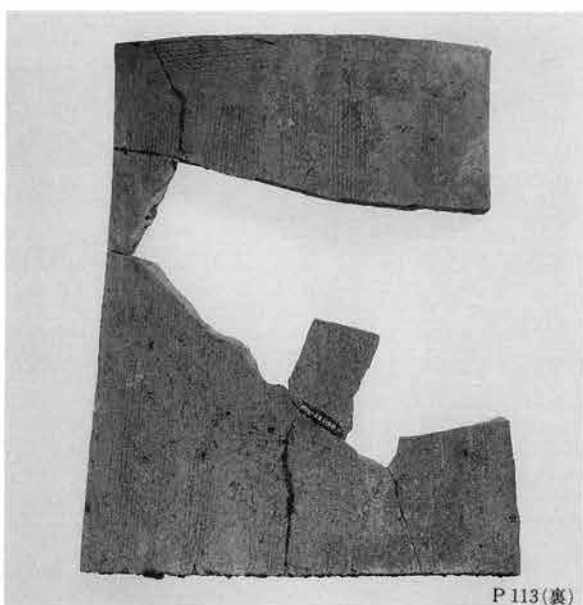
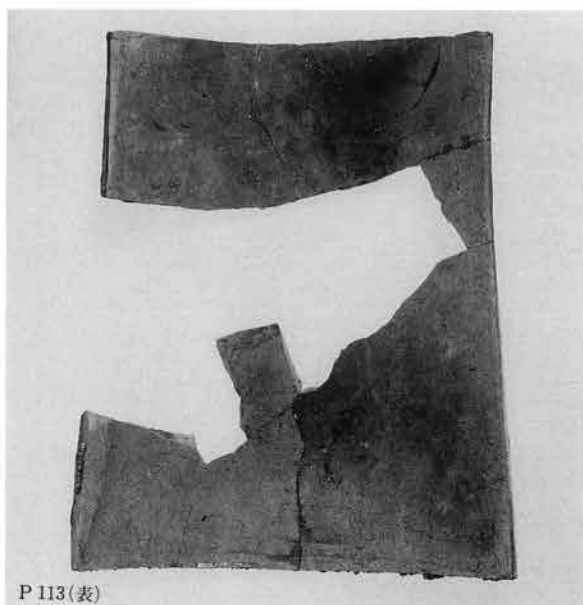


1 F区Ⅱ面213号住居跡出土遺物(2)



2 F区Ⅱ面214号住居跡出土遺物

图版178



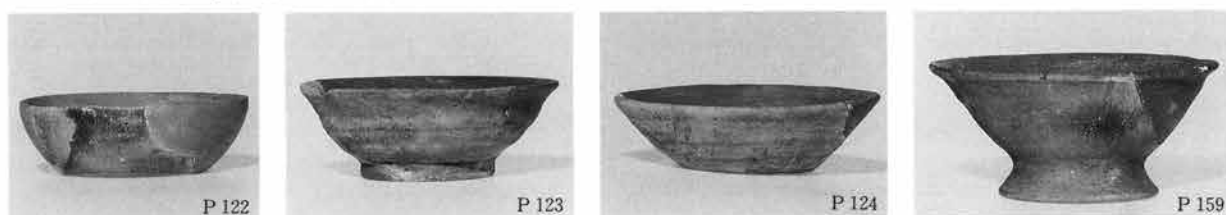
1 F区Ⅱ面211·214号住居跡出土遺物



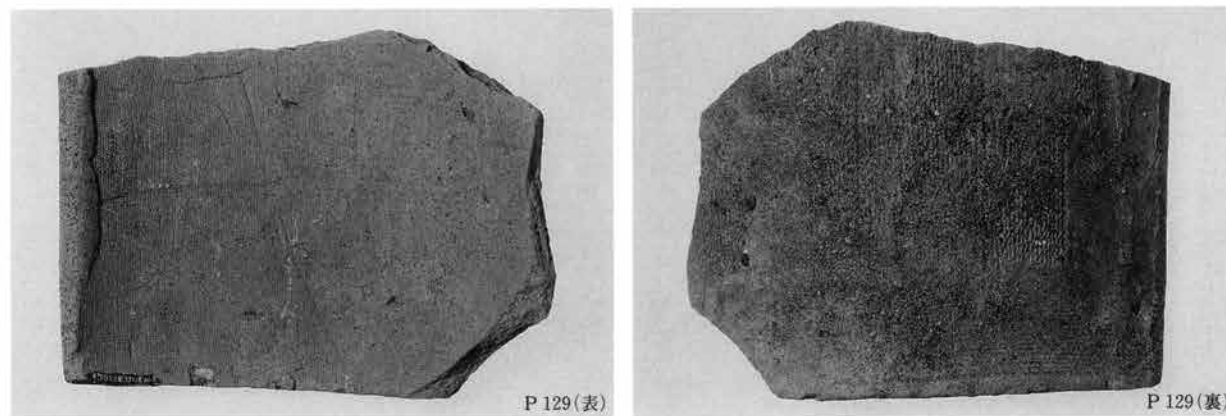
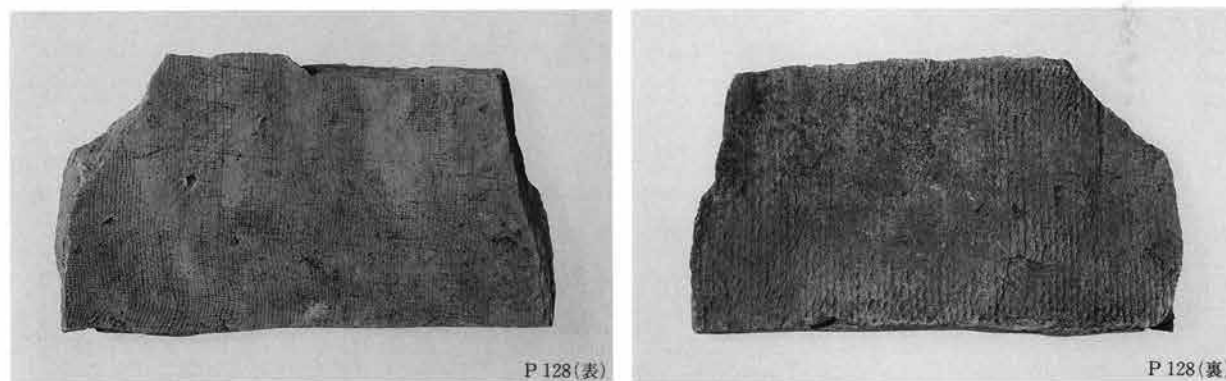
2 F区Ⅱ面215·216号住居跡出土遺物



1 F区Ⅱ面216号住居跡出土遺物

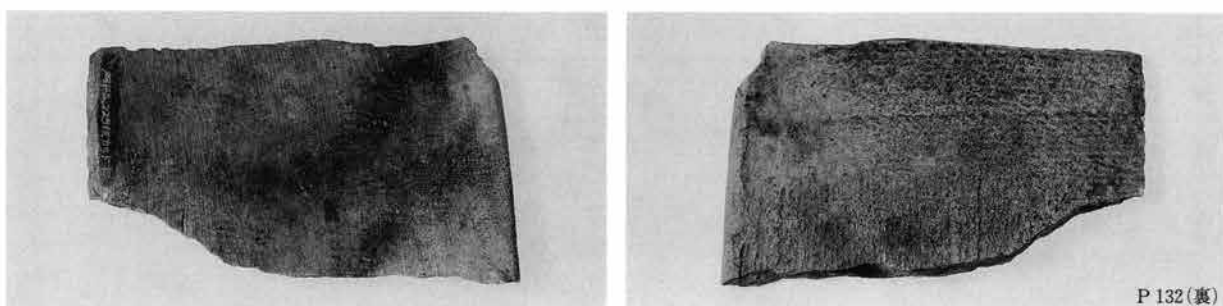


2 F区Ⅱ面217·219·239号住居跡出土遺物

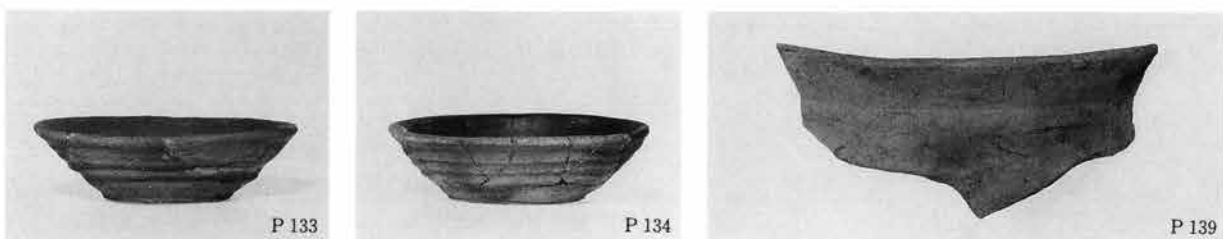


3 F区Ⅱ面221号住居跡出土遺物

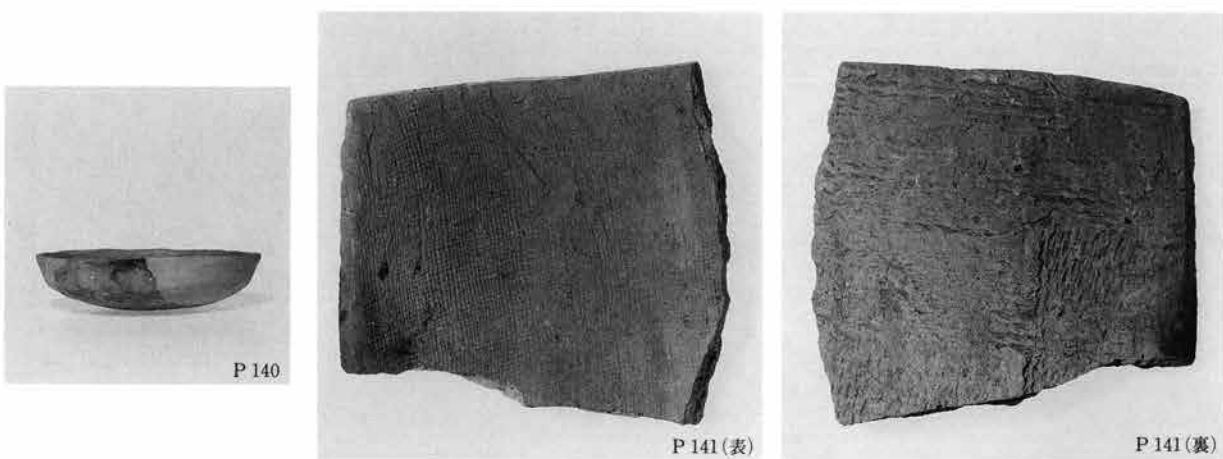
图版180



1 F区Ⅱ面222·223号住居跡出土遺物



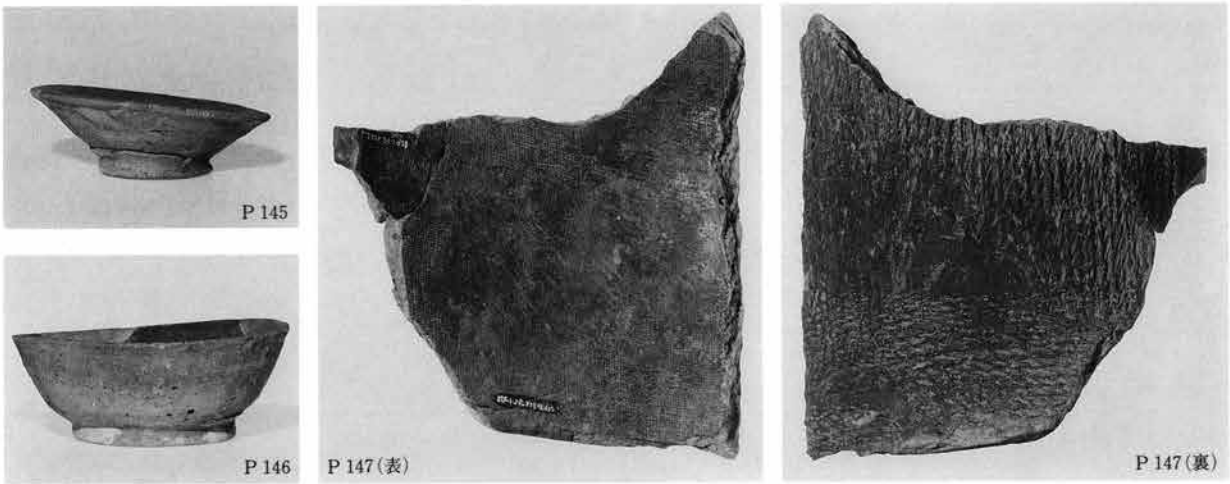
2 F区Ⅱ面224号住居跡出土遺物



3 F区Ⅱ面225·227号住居跡出土遺物



4 F区Ⅱ面228号住居跡出土遺物(1)



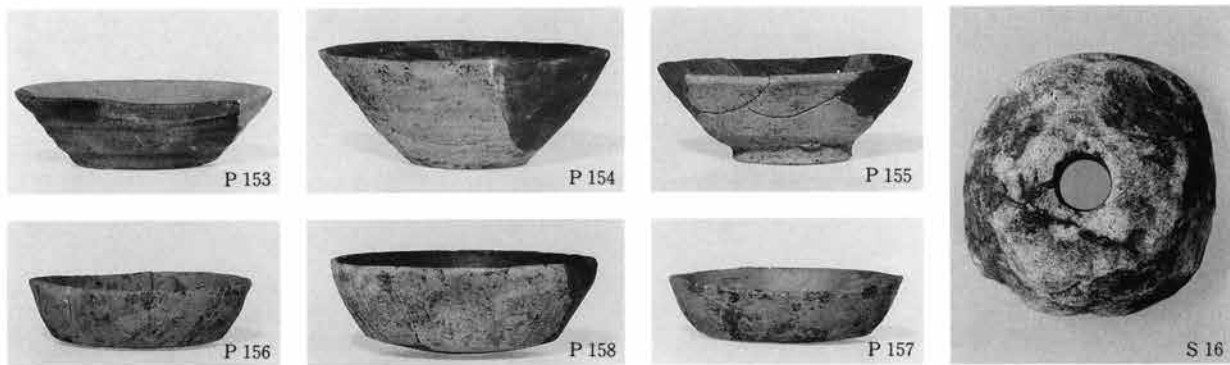
1 F区Ⅱ面228号住居跡出土遺物(2)



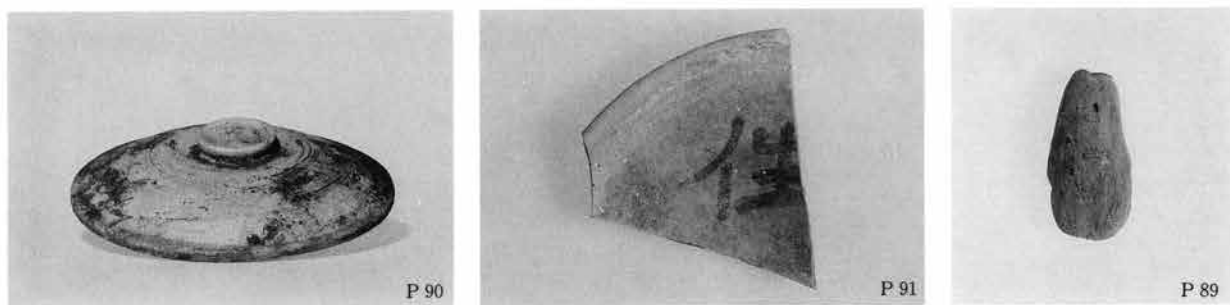
2 F区Ⅱ面229号住居跡出土遺物



3 F区Ⅱ面231号住居跡出土遺物(1)

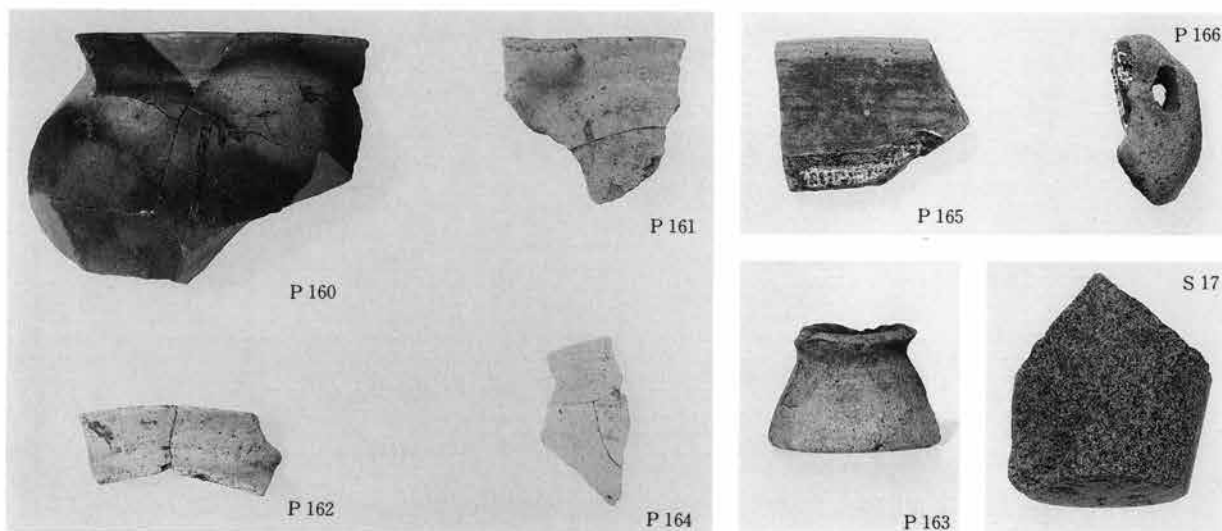


4 F区Ⅱ面231号住居跡出土遺物(2)

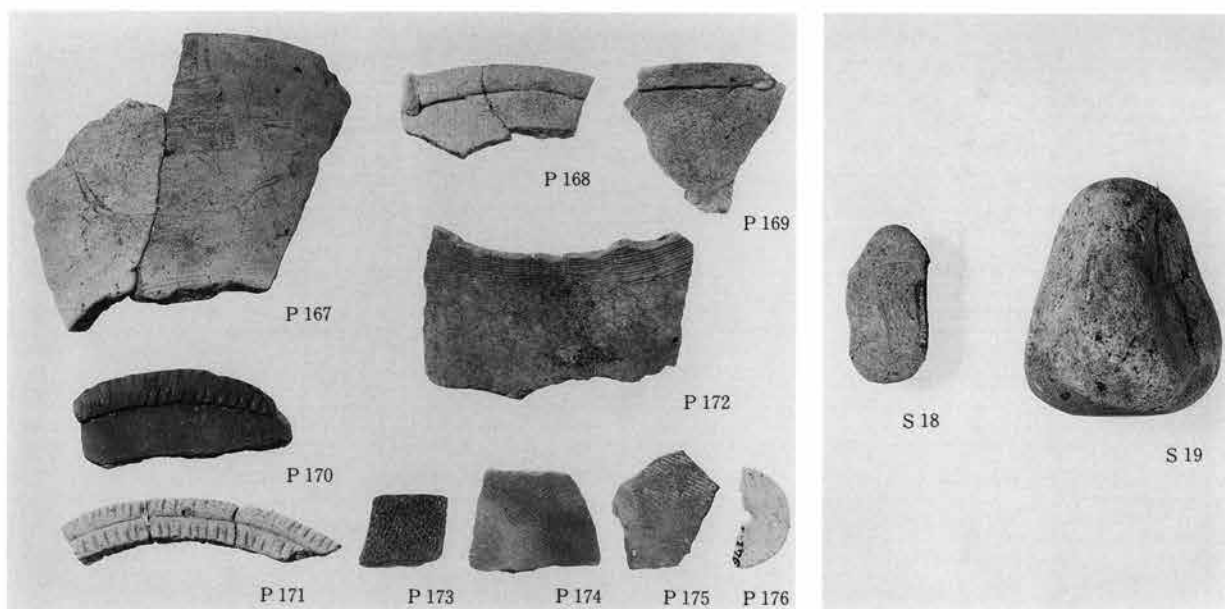


5 F区Ⅱ面グリット出土遺物

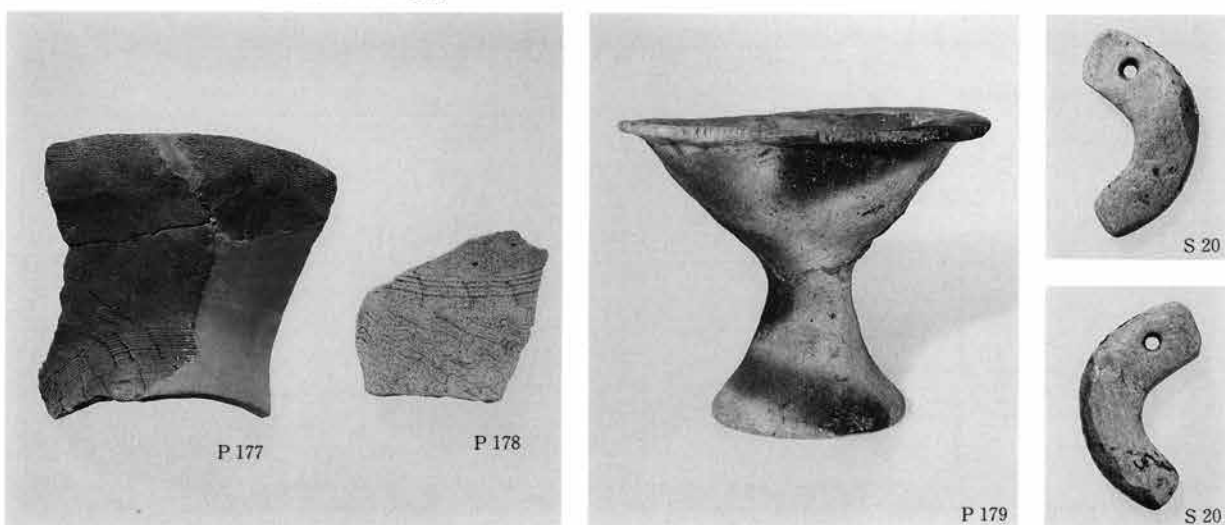
图版182



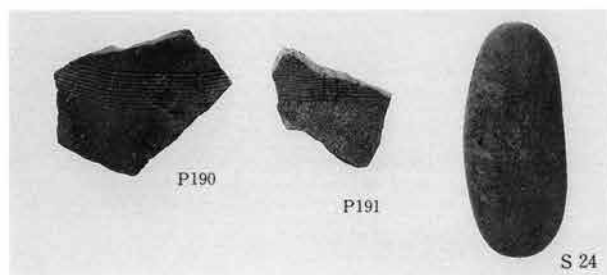
1 F区V面243号住居跡出土遺物



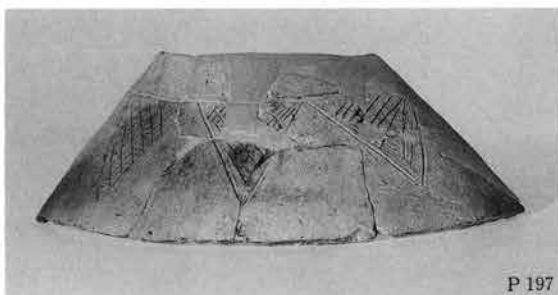
2 F区V面234・244号住居跡出土遺物



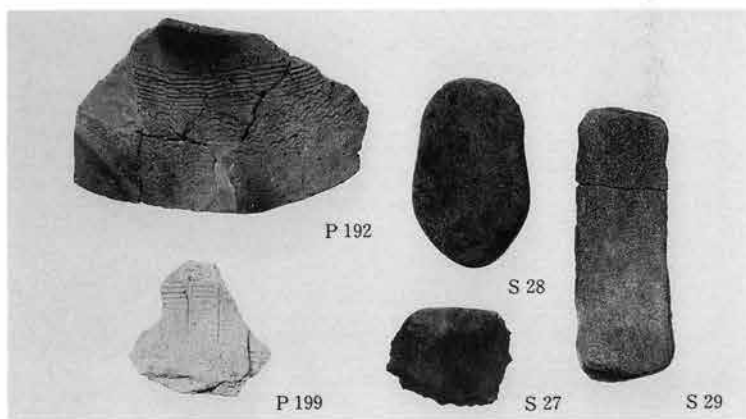
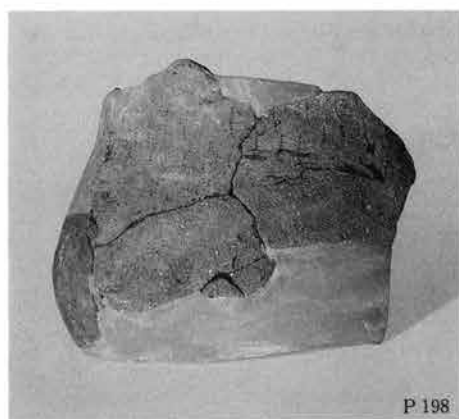
3 F区V面245・246号住居跡出土遺物



1 F区V面252号住居跡出土遺物



2 F区V面248号住居跡出土遺物

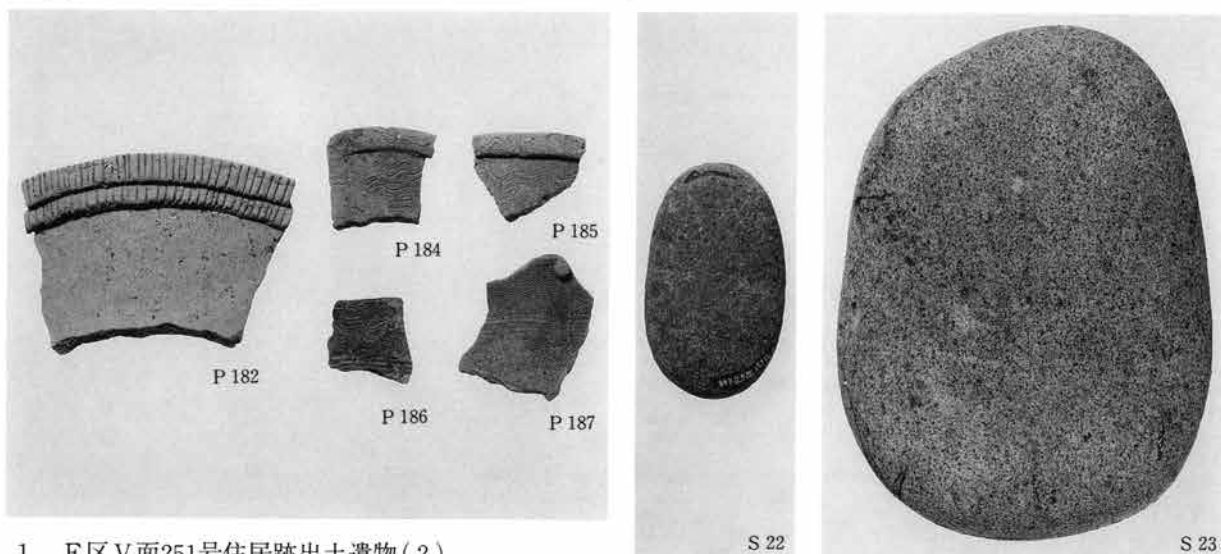


3 F区V面256号住居跡出土遺物

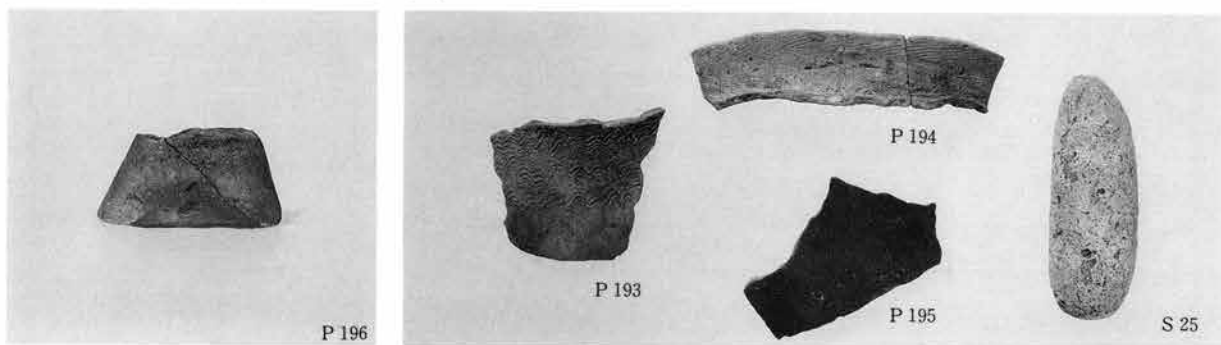


4 F区V面251号住居跡出土遺物(1)

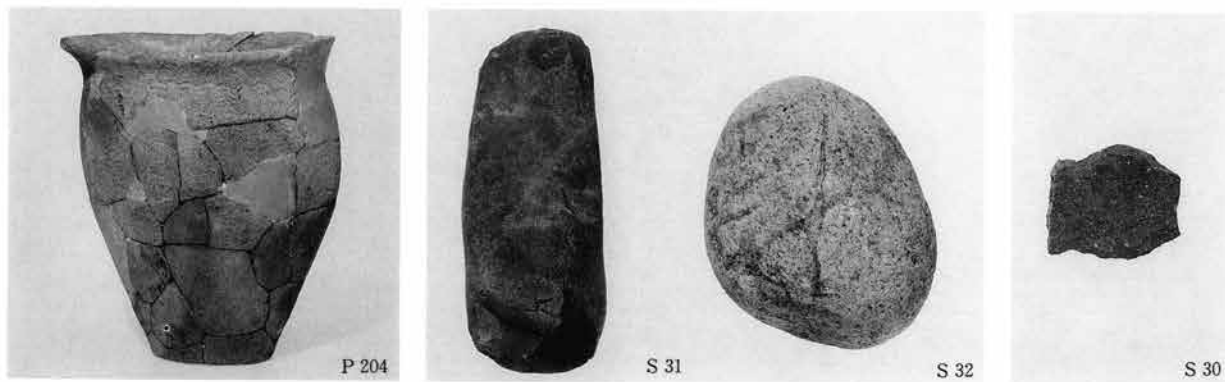
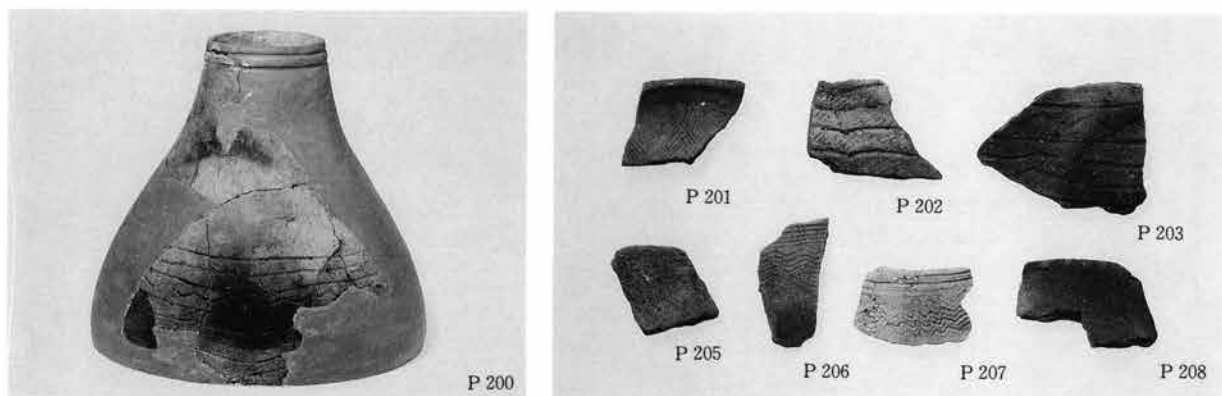
图版184



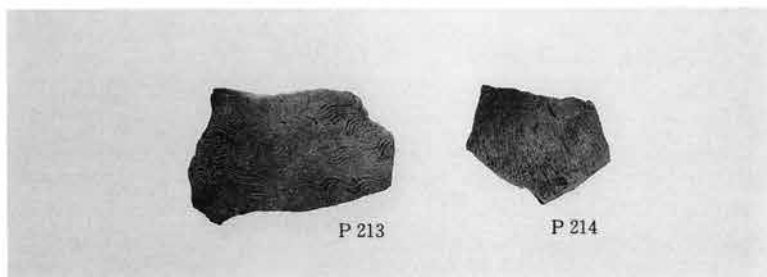
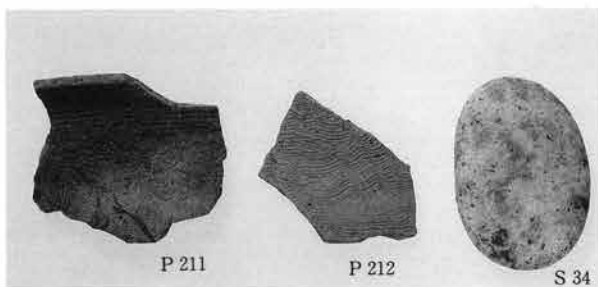
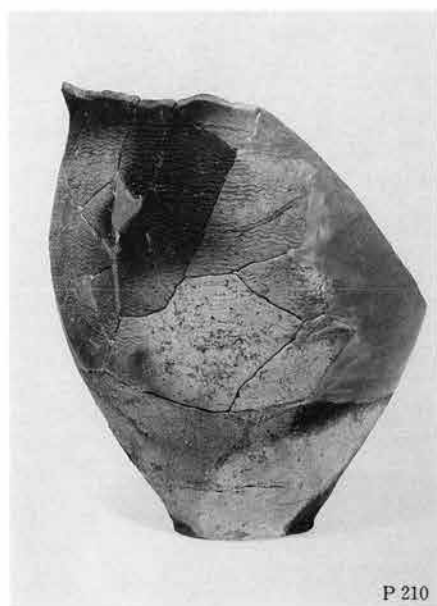
1 F区V面251号住居跡出土遺物(2)



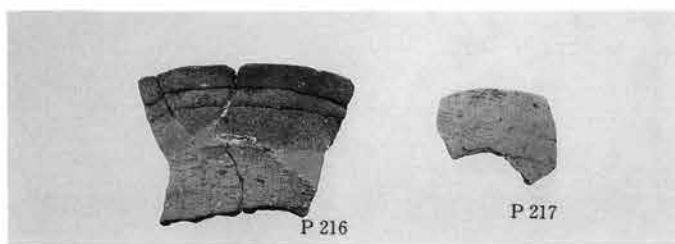
2 F区V面254号住居跡出土遺物



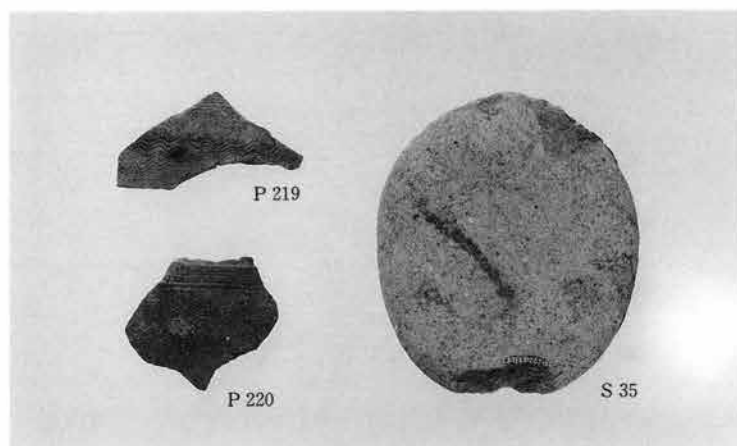
3 F区V面257号住居跡出土遺物



1 F区V面258·260号住居跡出土遺物



2 F区V面261号住居跡出土遺物



3 F区V面262号住居跡出土遺物

報 告 書 抄 録

ふりがな	しんぼたなかむらまえいせき							
書名	新保田中村前遺跡Ⅳ							
副書名	一級河川染谷川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	第4分冊							
シリーズ名	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書							
シリーズ番号	第176集							
編著者名	下城 正							
編集機関	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒377 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2 TEL 0279-52-2511							
発行年月日	西暦 1994年3月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °'〃	東経 °'〃	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しんぼたなかむらまえ 新保田中村前	たかきししんぼたなかまち 高崎市新保田中町	10202	94	36度 21分 12秒	139度 2分 40秒	19931001～ 19940625	1000	河川改修工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
新保田中村前	河川跡	弥生時代～ 古墳時代	埋没河川		弥生土器・古式土師器 木製品・骨角器		内陸部では希な弥生時代の骨角器が多量に出土。	
	生産	古墳時代～ 近世	水田跡	1面	なし			
	住居 墳墓	弥生時代～ 平安時代 古墳時代	島跡	1面	弥生土器・土師器・須 恵器 なし			
			溝跡	8条				
			溜井	2基				
			竪穴住居跡	86軒				
			円形周溝遺構	1基				

新保田中村前遺跡Ⅳ

《骨角製品・動物遺体編・写真図版編》

一級河川染谷川河川改修工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第4分冊

平成6年3月15日 印刷

平成6年3月25日 発行

編集／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

発行／群馬県考古資料普及会
勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／株式会社 前橋印刷所